

千葉市
障害者計画・障害福祉計画策定に係る
実態調査報告書

－障害者生活実態・意向調査－

平成 26 年 3 月

千葉市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的と方法.....	3
2 アンケート調査結果の概要	9
3 団体ヒアリング調査結果の概要	30
第2章 アンケート調査の結果.....	37
I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査	37
1 ご本人について.....	40
2 医療機関への受診状況について	47
3 ご家族や介助者について	54
4 相談や情報入手について	61
5 暮らしについて.....	68
6 災害対策について.....	82
7 日中活動・就労について	89
8 将来について	97
9 障害のある人に対する理解度について	100
10 サービスの利用について	106
11 収入や利用者負担について	114
12 市の障害者施策について	116
13 自由意見	117
II 施設に入所している方を対象とした調査.....	125
1 ご本人について.....	128
2 医療機関への受診状況について	134
3 施設への入所について	139
4 相談や情報入手について	143
5 日常生活（施設での生活）について.....	147

6	災害対策について	163
7	将来について	170
8	障害のある人に対する理解度について	176
9	サービス利用について	182
10	収入や利用者負担について	183
11	市の障害者施策について	185
12	自由意見	186
Ⅲ	18才未満の方と保護者の方を対象とした調査	193
1	ご本人について	196
2	医療機関への受診状況について	203
3	ご家族や介助者について	210
4	相談や情報入手について	217
5	暮らしについて	224
6	災害対策について	238
7	療育・保育について	245
8	学校・教育について	251
9	日中活動・就労について	256
10	将来について	257
11	障害のある人に対する理解度について	259
12	サービスの利用について	263
13	収入や利用者負担について	270
14	市の障害者施策について	272
15	自由意見	273
Ⅳ	発達障害のある方を対象とした調査	281
1	ご本人について	284
2	医療機関への受診状況について	288
3	ご家族や介助者について	292
4	相談や情報入手について	296
5	暮らしについて	300

6	災害対策について.....	302
7	日中活動・就労について.....	306
8	将来について.....	310
9	障害のある人への理解度について.....	312
10	サービス利用について.....	315
11	収入や利用者負担について.....	323
12	市の障害者施策について.....	324
13	自由意見.....	325
V	発達障害の18歳未満の方とその保護者の方を対象とした調査.....	331
1	ご本人について.....	334
2	医療機関への受診状況について.....	339
3	家族や介助者について.....	342
4	相談や情報入手について.....	346
5	暮らしについて.....	350
6	災害対策について.....	352
7	療育・保育について.....	356
8	学校・教育について.....	360
9	日中活動・就労について.....	363
10	将来について.....	364
11	障害のある人の理解度について.....	366
12	サービス利用について.....	369
13	収入や利用者負担について.....	376
14	市の障害者施策について.....	377
15	自由意見.....	378
VI	インターネットモニターを対象とした調査.....	383
第3章	障害者団体ヒアリング調査の結果.....	405
1	当事者団体.....	407
2	障害児者の親の会.....	427

3. 家族会・事業者団体連絡会	442
-----------------------	-----

資料編

- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（在宅の方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（施設に入所している方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（18 歳未満の方と保護者の方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（発達障害のある方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（発達障害の 18 歳未満の方とその保護者の方）
- インターネットモニター調査票
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（障害者団体ヒアリング事前調査）

第1章 調査の概要

1 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

福祉・保健・医療・雇用・教育・生活環境など、幅広い分野を対象とした障害者施策の総合的推進と、障害福祉サービス等の必要見込量とその確保のための方策を策定するためには、障害者等の生活実態と意向を明らかにするための基礎調査が不可欠です。

この調査は、障害者基本法第11条第3項に規定する障害者計画及び障害者総合支援法第88条に規定する障害福祉計画の次期計画の策定に係る必要なデータを収集し、障害者施策の一層の推進を図ることを目的として実施しました。

(2) アンケート調査の実施方法

①調査の対象

千葉市に住所のある方で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方の中から対象者を選定しました。

対象者	分類	母数	対象者数	対象者の選定方法
Ⅰ 在宅の方 (39,091 名)	身体障害	30,574	1,500	身体障害者手帳をお持ちの18歳以上の方から抽出
	知的障害	3,599	500	療育手帳をお持ちの18歳以上の方から抽出
	精神障害	4,918	500	精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方から抽出
Ⅱ 施設に入 所している 方 (761 名)	市内施設	397	397	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、千葉市から障害者施設に入所している方（全数）
	県内施設	320	320	
	県外施設	44	44	
Ⅲ 18 歳未満 の方と保護 者の方 (2,919 名)	身体障害	1,161	500	身体障害者手帳をお持ちの18歳未満の方から抽出
	知的障害	1,758	500	療育手帳をお持ちの18歳未満の方から抽出
Ⅳ 発達障害のある方(107 名)		107	107	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方（全数）

対象者		母数	対象者数	対象者の選定方法
V 発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者の方(47名)		26	26	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの 18 歳未満の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方（全数）
		21	21	千葉県療育センターまたは千葉県大宮学園に通っている方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方に対して、一定期間窓口配布
VI 一般市民 (3,776 名)		3,776	3,776	千葉県インターネットモニターとして登録がある方（全数）

②調査の方法

「在宅の方（18 歳以上）」、「18 歳未満の方と保護者の方」、「発達障害のある方」、「18 歳未満の発達障害のある方と保護者の方」を対象とした調査では、対象の方に郵送（一部窓口配布）で調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

「施設に入所している方」を対象とした調査では、対象の方が入所している施設を通じて調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

「一般市民」を対象とした調査では、市のインターネットモニターに登録している方を対象に実施しました。

③調査期間

平成 26 年 1 月 17 日～1 月 31 日の期間に実施しました。なお、インターネット調査は、平成 26 年 2 月 1 日～2 月 7 日までの実施です。

④配布・回収状況

調査票の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
I 在宅の方	2,500	1,300	52.0%
II 施設に入所している方	761	598	78.6%
III 18歳未満の方と保護者の方	1,000	461	46.1%
IV 発達障害のある方	107	53	49.5%
V 発達障害の18歳未満の方とその保護者の方	47	25	53.2%
VI 一般市民(インターネット調査)	3,776	1,307	34.6%

(3) ヒアリング調査の実施方法

①調査の対象

千葉市内の障害者団体 14 団体を対象としました。(順不同)

団体の種類	団 体 名
当事者団体	①千葉市視覚障害者協会 ②千葉市聴覚障害者協会 ③千葉市中途失聴・難聴者協会 ④千葉市身体障害者福祉会 ⑤千葉市オストミー協会 ⑥千葉市腎臓病患者友の会
障害児者の親の会	①千葉市肢体不自由児者父母の会 ②千葉市ことばを育てる会 ③千葉市重症心身障害児(者)を守る会 ④千葉市手をつなぐ育成会 ⑤千葉市自閉症協会
家族会・事業者 団体連絡会	①特定非営利活動法人千家連 ②千葉市精神障害者共同作業所等連絡会 ③千葉市中心身障がい者ワークホーム等連絡会

②調査の方法

対象団体に事前に調査票を配布し、当日代表の方に会場に来ていただいて、調査票の記入に基づいてお話を伺う形で実施しました。

③調査期間

平成 26 年 2 月 10 日～2 月 19 日の期間に実施しました。

調査日	団 体 名
2月10日	・ 千葉市腎臓病患者友の会 ・ 千葉市中途失聴・難聴者協会
2月12日	・ 千葉市身体障害者福祉会 ・ 千葉市視覚障害者協会 ・ 千葉市聴覚障害者協会
2月13日	・ 特定非営利活動法人千家連 ・ 千葉市心身障がい者ワークホーム等連絡会
2月14日	・ 千葉市オストミー協会 ・ 千葉市自閉症協会 ・ 千葉市重症心身障害児（者）を守る会 ・ 千葉市肢体不自由児者父母の会 ・ 千葉市手をつなぐ育成会
2月19日	・ 千葉市ことばを育てる会 ・ 千葉市精神障害者共同作業所等連絡会

◆調査結果の利用にあたって

- (1) 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。また、説明文の中で複数の選択肢を合わせた割合を記載している場合、実数から再計算した上で四捨五入しているため、各選択肢の割合をそのまま合計した値と若干異なっています。
- (2) 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- (3) 障害種別ごとの集計結果において、2つ以上障害のある方は、それぞれの集計結果に重複して入っています。
- (4) 掲載の都合上、選択肢の文言については一部省略している場合があります。

2 アンケート調査結果の概要

1 在宅の方（18 歳以上）を対象とした調査

（1）ご本人について

◆年齢 「75 歳以上」が最も多い（24.2%）

身体障害、難病のある方では、65 歳以上の割合がそれぞれ 66.7%、54.5%、平均年齢が 66.8 歳、63.1 歳となっています。また、知的障害、精神障害のある方では、40 歳未満の割合がそれぞれ 64.9%、37.2%、平均年齢がそれぞれ 34.6 歳、45.8 歳となっています。

（2）医療機関への受診状況について

◆医療機関への受診状況 「1 年間受診したが、入院はしていない」が最も多い（46.6%）

「1 年間受診したが、入院はしていない」は、精神障害、難病のある方ではそれぞれ 67.8%、58.4%と特に多くなっています。一方、知的障害のある方では、「障害や疾病では受診していない」「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」がそれぞれ 34.7%、34.3%と多くなっています。

◆通院している病院 「市内の病院（歩いていけない場所）」が最も多い（57.6%）

いずれの障害区分においても、「市内の病院（歩いていけない場所）」「市内の病院（歩いて行ける場所）」の順に多く、また市内への通院が 80%以上となっており、市内に多様な医療機関が充実していることがうかがえます。

（3）ご家族や介助者について

◆主な介助者の年齢 「70 歳以上」が最も多い（37.0%）

知的障害のある方では、「50 代」が最も多い（35.5%）

「70 歳以上」に次いで、「60 代」が 25.9%、「50 代」が 18.9%となっています。

◆主な介助者の介助継続年数 「1 年以上～5 年未満」「5 年以上～10 年未満」が多い（それぞれ 18.4%、16.8%）

知的障害のある方では、「30 年以上」が最も多い（30.3%）

知的障害のある方では、20 年以上が 67.7%である一方、身体障害、難病のある方では、10 年未満がそれぞれ 48.6%、44.5%と、障害により介助継続年数が大きく異なることが特徴です。

◆主な介助者が困っていること 「介護者の高齢化により不安がある」が最も多い (44.7%)

「介護者の高齢化により不安がある」の他には、身体障害、難病のある方では「介護者自身の健康に不安がある」がそれぞれ 36.7%、38.6%、知的障害のある方では「緊急時の対応に不安がある」が 37.4%、精神障害のある方では「精神的な負担が大きい」が 41.7%と多くなっています。

(4) 相談や情報入手について

◆日常生活で困っていること 「将来の生活に不安を感じている」が最も多い (45.5%)

「将来の生活に不安を感じている」と回答した人の割合は、知的障害、精神障害のある方では、それぞれ 59.4%、61.6%と特に多くなっています。

◆困ったときの相談先 「家族・親族」が最も多い (70.2%)

「家族・親族」の他には、身体障害、精神障害、難病のある方では「医療関係者（医師・看護師など）」がそれぞれ 26.6%、40.8%、32.2%、知的障害のある方では「施設等の職員」が 44.2%と多くなっています。

(5) 暮らしについて

◆外出の頻度 「週4回以上」が最も多い (45.0%)

週1回以上外出する方は全体の 79.1%となっています。これを障害別にみると、知的障害のある方は「週4回以上」が 69.7%と多くなっているのが特徴です。

◆外出の目的 「医療機関への受診」「買い物」が多い(それぞれ 53.5%、52.6%)

知的障害のある方は「通勤・通学・通所」が最も多い (73.3%)

精神障害、難病の方では「医療機関への受診」がそれぞれ 64.3%、65.5%と多くなっています。

◆移動手段で困っていること 「特に困っていることはない」が最も多い

困っていることは、鉄道では「駅構内の移動・乗り換えが大変」が 31.5%、路線バスでは「乗り降りが大変」が 22.8%、モノレールでは「駅構内の移動・乗り換えが大変」が 14.2%となっています。

◆外出するときに困っていること 「特に困っていることはない」が最も多い (37.5%)

困っていることは、障害種別に見ると、身体障害、難病のある方では「歩道・通路の段差」がそれぞれ31.6%、31.0%、知的障害のある方では「トイレの利用」が18.3%、精神障害のある方では「周囲の目が気になる」が17.3%となっています。

(6) 災害対策について

◆災害時の避難 「避難できると思うが、自信がない」、「避難できない」が多い (それぞれ35.8%、31.5%)

知的障害のある方では「避難できない」が最も多い(49.8%)

「避難できると思うが、自信が無い」「避難できない」は、全体でも高い割合ですが、知的障害のある方ではそれぞれ29.5%、49.8%と非常に高く、避難について特に不安が大きいことがうかがえます。

◆災害時の支援者 「一緒に住んでいる家族」が最も多い (70.5%)

91.6%の方が支援してくれる人がいると回答しています。一方、「いない」に回答した方は、全体では6.2%ですが、精神障害のある方では20.4%と特に多くなっています。

◆災害時に不安に思うこと 「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が最も多い (53.4%)

知的障害のある方では「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が最も多い(49.4%)

精神障害、難病のある方では「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が特に多く、それぞれ71.8%、65.5%となっています。

◆災害発生に備えた物資の備蓄 「備蓄していない」が最も多い (37.2%)

前問(問39)で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のうち、「備蓄していない」と回答した方は、全体では33.6%、特に不安な方が多かった精神障害、難病のある方についてもそれぞれ41.5%、28.1%となっています。

(7) 日中活動・就労について

◆仕事をする上で困っていること 「特に困っていることはない」が最も多い (34.6%)

全体では「特に困っていることはない」に次いで「給与・工賃などの収入が少ない」(27.3%)となっていますが、精神障害のある方では「精神的な負担が大きい」(38.7%)、「職場の人間関係」(30.6%)の順に多くなっています。

なお、働かない理由としては「障害や病気が重いから」「働く自信がないから」が多くなっています。

◆一般就労のために必要なこと 「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多い (40.3%)

18～39歳では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が56.7%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が52.6%と特に多くなっています。

(8) 将来について

◆将来の暮らし方の希望 「自宅で家族と暮らしたい」が最も多い (53.9%)

「自宅で家族と暮らしたい」「わからない」の他には、知的障害のある方では「障害者入所施設に入りたい」が13.5%、精神障害のある方では「自宅でひとり暮らしをしたい」が14.5%と多くなっています。

(9) 障害のある人に対する理解度について

◆地域で生活していて感じる差別の有無 「ほとんど感じない」が最も多い (36.1%)

知的障害のある方では「時々感じる」が多い(26.7%)

障害種別により差別の有無の感じ方が異なることがうかがえます。

◆障害のある人に対する市民の理解度 「あまり理解されていない」が最も多い (34.1%)

「よく理解されている」「おおむね理解されている」は28.0%、「あまり理解されていない」「まったく理解されていない」は40.3%となっています。

◆選挙投票の頻度 「毎行っている」が最も多い（48.7%）

全体では「毎行っている」が48.7%、「全く行っていない」が19.4%ですが、知的障害のある方ではそれぞれ25.1%、38.2%と、障害種別により差があることが特徴となっています。なお、選挙に行かない理由としては、「投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難」が多くなっています。

（10）サービスの利用について

◆サービスの利用状況・利用意向 現在の利用状況と比べ、潜在ニーズが非常に大きい

全体的に、現在の利用状況に対して、利用希望が多くなっています。なお、サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が多くなっています。

（11）収入や利用者負担について

◆利用者負担の負担感 「あまり負担に感じない」が最も多い（27.2%）

次いで多い「やや負担に感じる」も24.0%となっています。

（12）市の障害者施策について

◆満足度 「どちらとも言えない」が最も多い（41.2%）

「非常に満足」「やや満足」は24.4%、「やや不満」「非常に不満」は19.6%となっています。

2 施設に入所している方を対象とした調査

(1) ご本人について

◆年齢 「40 歳代」が最も多い (33.9%)

30 歳代と 40 歳代が特に多く、合わせて 64.0%を占めています。障害種別ではほとんど差はありません。

(2) 医療機関への受診状況について

◆医療機関への受診状況 「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」が最も多い (30.6%)

精神障害のある方では 45.1%と特に多くなっています。

(3) 施設への入所について

◆施設のある地域 「千葉市内」が最も多い (51.2%)

身体障害のある方では 65.3%と特に多くなっています。全体では、県外への施設に入所している方は 5.2%と低く、ほとんどが県内施設であることが特徴です。

◆施設に入所している期間 「10～15 年未満」が最も多い (29.3%)

10 年以上入所している方が全体の 69.9%となっています。

(4) 相談や情報入手について

◆困ったときの相談先 「施設の職員」が最も多い (83.8%)

「施設の職員」83.8%と「家族・親族」60.5%が突出して多くなっています。

(5) 日常生活（施設での生活）について

◆日中の過ごし方 「入所している施設で作業や訓練をしている」が最も多い (60.5%)

「他の施設に通って作業や訓練をしている」方は 0.7%であるため、ほとんどの利用者が入所している施設で過ごしているのが特徴です。

◆施設生活の満足度 「やや満足している」が最も多い (31.6%)

「満足している」「やや満足」が 59.2%となっています。これを障害種別に見ると、精神障害のある方では 51%、難病のある方では 48%と若干低くなっていることが特徴です。

◆自宅に帰る頻度 「10 回以上」が最も多い (44.5%)

若年層ほど「10 回以上」と回答した人の割合が高い傾向にあります。また、50 歳代からは「この 1 年間は帰っていない」が急激に多くなっています。

◆移動手段で困っていること 鉄道利用では「駅構内の移動・乗り換えが大変」、路線バス利用及びモノレール利用では「特に困っていることはない」が多い

鉄道利用では「駅構内の移動・乗り換えが大変」が 33.3%と最も多くなっています。路線バス利用では「特に困っていることはない」が 25.5%、「乗り降りが大変」が 24.5%、モノレール利用では「特に困っていることはない」が 20.6%、「駅構内の移動・乗り換えが大変」が 20.0%となっています。

(6) 災害対策について

◆災害時の避難 「避難できない」が最も多い (85.5%)

ひとりでは「避難できない」が 85.5%と突出して多く、在宅の方(問 35)の回答(31.5%)と比較してもやはり突出して多いことが特徴です。

◆災害時の支援者 「施設の職員」が最も多い (95.0%)

「いない」は 1.2%となっており、在宅の方(問 37)の回答(6.2%)とは大きく傾向が異なります。

◆災害時に不安に思うこと 「自分では助けを呼ぶことができない」が最も多い (68.7%)

「自分では助けを呼ぶことができない」が、全障害種別において最も多く、なかでも難病の方では 92.0%と特に多くなっています。

◆災害発生に備えた物資の備蓄 「備蓄していない」が最も多い (37.6%)

精神障害のある方では「1～3 日分くらいの備蓄がある」が最も多い (43.1%)

知的障害のある方では、「備蓄していない」が 31.8%と最も多くなっていますが、「1～3 日分くらいの備蓄がある」も 30.4%と多くなっています。なお、前問(問 33)で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のうち、「備蓄していない」と回答した方は、全体で 34.7%、特に不安な方が多かった精神障害、難病のある方については 29.6%、56.3%となっています。

(7) 将来について

◆将来の暮らし方の希望 「現在入所している施設で生活したい」が最も多い (47.5%)

年齢別に見ると、「現在入所している施設で生活したい」という回答は、年齢が上がるにつれて多くなっていることが特徴です。

◆施設で暮らしたい理由 「施設にいたほうが安心できるから」が最も多い (72.9%)

次いで「自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから」が41.2%となっています。

(8) 障害のある人に対する理解度について

◆日常生活の中で感じる差別の有無 「わからない」が最も多い (37.0%)

在宅の方と違い、障害による大きな差が見られないことが特徴です。

「頻繁に感じる」「時々感じる」は34.3%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」は22.5%となっています。

◆障害のある人に対する市民の理解度 「あまり理解されていない」が最も多い (38.0%)

「あまり理解されていない」「まったく理解されていない」は41.8%、「よく理解されている」「おおむね理解されている」は18.4%となっています。

◆選挙投票の頻度 「全く行っていない」が最も多い (57.0%)

また、選挙に行かない理由は、「投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難」が39.0%と最も多くなっています。

(9) サービス利用について

◆成年後見制度 「わからない」が最も多い (49.0%)

「現在利用しており、今後も利用を続けたい」「現在は利用していないが、今後利用したい」は39.8%となっています。

(10) 収入や利用者負担について

◆利用者の負担感 「あまり負担に感じない」が最も多い (32.9%)

次いで多い「やや負担に感じる」も30.8%となっています。

(11) 市の障害者施策について

◆満足度 「どちらとも言えない」が最も多い (45.7%)

「非常に満足」「やや満足」は 19.5%、「やや不満」「非常に不満」は 26.8%となっています。

3 18才未満の方と保護者の方を対象とした調査

(1) ご本人について

◆年齢 「9～11歳」が最も多い (24.1%)

9歳以上の方が 63.5%となっています。

(2) 医療機関への受診状況について

◆医療機関への受診状況 「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が最も多い (35.1%)

身体障害、難病のある方では、それぞれ 47.9%、48.5%と特に多くなっています。

◆通院している病院 「市内の病院(歩いていけない場所)」が最も多い (68.1%)

「市内(歩いていける場所・歩いていけない場所)」が、全体では 87.6%となっています。数値が最も低い精神障害のある方でも 71.4%、その他の障害種別については 90%前後となっていることから、市内に多様な医療機関が充実していることがうかがえます。

(3) ご家族や介助者について

◆主な介助者の年齢 「40代」が最も多い (59.1%)

「40代」が 59.1%と最も多く、次いで「30代」が 28.8%となっています。

◆主な介助者の介助継続年数 「5年以上～10年未満」が最も多い (40.1%)

次いで「10年以上～15年未満」が 31.4%となっています。

◆主な介助者が困っていること 「緊急時の対応に不安がある」が最も多い (50.7%)

次いで「精神的な負担が大きい」が 38.0%、「代わりに介助を頼める人がいない」が 36.0%となっています。

(4) 相談や情報入手について

◆日常生活で困っていること 「将来の生活に不安を感じている」が最も多い (66.8%)

精神障害のある方では 85.7%と特に多くなっていることが特徴です。

◆困ったときの相談先 「家族・親族」が最も多い (80.7%)

次いで「学校の職員」が 43.2%となっています。

◆福祉情報の入手先 「学校のお知らせ」、「ちば市政だより」が多い (それぞれ 39.7%、37.7%)

「学校のお知らせ」と「ちば市政だより」が突出して多くなっています。

(5) 暮らしについて

◆外出の頻度 「週 4 日以上」が最も多い (88.3%)

すべての障害種別において「週 4 日以上」が 80%以上となっています。

◆外出の目的 「通勤・通学・通所」が最も多い (94.6%)

その他には、身体障害、難病のある方では「医療機関への受診」がそれぞれ 52.5%、59.1%、知的障害のある方では「買い物」が 50.5%と多くなっています。

◆移動手段で困っていること 「特に困っていることはない」がおおむね多い

「特に困っていることはない」は、路線バス・モノレールについては最も多く、鉄道についても 2 番目に多い回答となっています。鉄道の利用で最も困っていることは「駅構内の移動・乗り換えが大変」となっています。

◆外出するときに困っていること 「特に困っていることはない」、「トイレの利用」が多い (それぞれ 33.4%、33.0%)

「トイレの利用」については、身体障害のある方では 44.6%、難病の方では 43.9%となっています。また、外出先のトイレで困ることについては、「多目的トイレの数が少ない」が 63.8%と最も多くなっています。

(6) 災害対策について

◆災害時の避難 「避難できない」が最も多い (70.9%)

「避難できると思うが、自信がない」「避難できない」は全体の88.5%となっています。

◆災害時の支援者 「一緒に住んでいる家族」が最も多い (93.3%)

支援をする方が「いない」は全体で3.5%となっています。

◆災害時に不安に思うこと 「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が最も多い (49.0%)

身体障害のある方では「避難所の設備が障害に対応しているか不安」、難病の方では「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が最も多い(それぞれ57.9%、66.7%)

精神障害のある方では、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」と「薬や医療的なケアが確保できるか不安」がともに85.7%となっています。

◆災害発生に備えた物資の備蓄 「1～3日分くらいの備蓄がある」が最も多い (43.0%)

「備蓄していない」は全体の31.0%となっています。前問(問39)で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のうち、「備蓄していない」と回答した方は、全体で19.6%となっています。

(7) 療育・保育について

◆障害に気づいた時期 「産まれたとき」が最も多い (25.6%)

障害に気づいたきっかけについても、「産まれてまもなく病院で知らされた」が25.4%と最も多くなっています。

◆療育・保育について困っていること 「本人の成長に不安がある」が最も多い (58.4%)

「0～2歳」「3～5歳」では、「本人の成長に不安がある」の他には、「療育・保育に関する情報が少ない」がそれぞれ57.1%、66.5%と多くなっています。

(8) 学校・教育について

◆学校・教育について困っていること 「学校終了後の進路に不安がある」が最も多い (65.1%)

知的障害のある方では、「学校終了後の進路に不安がある」が72.7%と特に多くなっています。

◆放課後や夏休みの過ごし方 「放課後等デイサービスを利用したい」が最も多い (45.6%)

身体障害、精神障害、難病のある方では「自宅で過ごしたい」が最も多い(それぞれ 43.5%、66.7%、41.1%)

知的障害のある方では、「放課後等デイサービスを利用したい」が 55.8%と特に多くなっています。

◆高等学校卒業後の進路 「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」が最も多い (46.6%)

知的障害の方では「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」が 56.8%と特に多くなっています。

(9) 日中活動・就労について

(対象者が極端に少ないため、省略)

(10) 将来について

◆将来の暮らし方の希望 「自宅で家族と暮らしたい」が最も多い (56.4%)

次いで「高齢者の入所施設に入りたい（特別養護老人ホームなど）」が 19.5%となっています。

(11) 障害のある人に対する理解度について

◆地域で生活していて感じる差別の有無 「時々感じる」が最も多い (38.6%)

「頻繁に感じる」「時々感じる」は 46.4%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」は 38.4%となっています。

◆障害のある人に対する市民の理解度 「あまり理解されていない」が最も多い (55.3%)

「あまり理解されていない」「まったく理解されていない」は 67.4%、「よく理解されている」「おおむね理解されている」は 14.1%となっています。

(12) サービスの利用について

◆サービスの利用状況・利用意向 全体として、現在の利用状況より潜在ニーズが極端に大きい

全体的に、現在の利用状況に対して、利用希望が多くなっています。

(13) 収入や利用者負担について

◆利用者負担の負担感 「やや負担に感じる」が最も多い(47.1%)

「非常に負担に感じる」「やや負担に感じる」は 62.4%、「あまり負担に感じない」は 25.5%となっています。

(14) 市の障害者施策について

◆満足度 「やや不満」が最も多い(33.0%)

「やや不満」「非常に不満」は 45.1%、「非常に満足」「やや満足」は 20.2%となっています。

4 発達障害のある方を対象とした調査

(1) ご本人について

◆性別・年齢 性別は「男性」、年齢は「20～29 歳」が最も多い(それぞれ 66.0%、49.1%)

年齢については、40 歳未満が 81.2%となっています。

(2) 医療機関への受診状況について

◆医療機関への受診状況 「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」が最も多い(71.7%)

次いで「障害や疾病では受診していない」「一時的に受診したが、入院はしていない」がそれぞれ 9.4%となっています。

◆通院している病院 「市内の病院(歩いていけない場所)」が最も多い(52.8%)

市外の病院については、「県内の市町村(千葉市以外)」が 20.8%、「東京都内」が 15.1%となっています。

(3) ご家族や介助者について

◆介助者の年齢 「50代」が最も多い(45.8%)

次いで「60代」が29.2%となっています。

◆介助者の介助継続年数 「5年以上～10年未満」が最も多い(25.0%)

次いで「20年以上～25年未満」が16.7%となっています。

◆主な介助者が困っていること 「介助者の高齢化により不安がある」が最も多い(62.5%)

次いで「精神的な負担が大きい」が58.3%、「経済的な負担が大きい」が45.8%となっています。

(4) 相談や情報入手について

◆日常生活で困っていること 「将来の生活に不安を感じている」が最も多い(84.9%)

次いで「収入や生活費に不安を感じている」が58.5%となっています。

◆困ったときの相談先 「医療関係者(医師・看護師など)」が最も多い(73.6%)

次いで「家族・親族」が66.0%、「発達障害者支援センター」が52.8%となっています。

◆福祉情報の入手先 「医療機関」が最も多い(47.2%)

次いで、在宅(問23)で最も多かった「ちば市政だより」が30.2%となっています。

(5) 暮らしについて

◆外出の頻度 「週4日以上」が最も多い(60.4%)

週1回以上外出する方は全体の81.2%となっています。

◆外出の目的 「医療機関への受診」が最も多い(71.7%)

次いで「買い物」が66.0%となっています。

(6) 災害対策について

◆災害時の避難 「避難できる」が最も多い (47.2%)

「避難できると思うが、自信がない」「避難できない」が全体の52.9%となっています。

◆災害時の支援者 「一緒に住んでいる家族」が最も多い (90.6%)

支援者が「いない」は全体の3.8%となっています。

◆災害時に不安に思うこと 「薬や医療ケアが確保できるか不安」、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が多い

「薬や医療ケアが確保できるか不安」が64.2%、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が62.3%となっています。

◆災害発生に備えた物資の備蓄 「備蓄していない」が最も多い (50.9%)

次いで「1～3日分くらいの備蓄がある」が28.3%となっています。

(7) 日中活動・就労について

◆平日の日中の主な過ごし方 「パート・アルバイトなどで働いている」が最も多い (20.8%)

次いで「自宅で家事や手伝いをしている」が15.1%となっています。一方、「特に何もしてない」は11.3%となっています。

◆働いていない理由 「人間関係がうまくいか不安があるから」が最も多い (50.0%)

次いで「障害や病気が重いから」が38.9%、「働く自信がないから」が33.3%となっています。

◆一般就労のために必要なこと 「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多い (79.2%)

次いで「職場理解を促進するための職場への働きかけ」が69.8%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が67.9%となっています。

(8) 将来について

◆将来の暮らし方の希望 「自宅で家族と暮らしたい」が最も多い (37.7%)

次いで「わからない」が24.5%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が20.8%となっています。

(9) 障害のある人への理解度について

◆地域で生活していて感じる差別の有無 「ほとんど感じない」が最も多い (32.1%)

「あまり感じない」「ほとんど感じない」は43.4%、「頻繁に感じる」「時々感じる」は32.0%となっています。

◆障害のある人に対する市民の理解度 「あまり理解されていない」が最も多い (41.5%)

「あまり理解されていない」「まったく理解されていない」は56.6%、「よく理解されている」「おおむね理解されている」は13.2%となっています。

(10) サービス利用について

◆サービスの利用状況・利用意向 現在の利用状況と比べ、潜在ニーズが非常に大きい

全体的に、現在の利用状況に対して、利用希望が多くなっています。

(11) 収入や利用者負担について

◆利用者負担の負担感 「あまり負担に感じない」が最も多い (50.0%)

「非常に負担に感じる」「やや負担に感じる」は26.7%となっています。

(12) 市の障害者施策について

◆満足度 「どちらとも言えない」が最も多い (62.3%)

「非常に満足」「やや満足」は20.8%、「やや不満」「非常に不満」は13.2%となっています。

5 発達障害の18歳未満の方とその保護者の方を対象とした調査

(1) ご本人について

◆年齢 「15歳以上」が最も多い(28.0%)

次いで「6～8歳」が24.0%、「3～5歳」が20.0%となっています。

(2) 医療機関への受診状況について

◆医療機関への受診状況 「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が最も多い(40.0%)

次いで「障害や疾病では受診していない」「一時的に受診したが、入院はしていない」がともに24.0%となっています。

◆通院している病院 「市内の病院(歩いていけない場所)」が最も多い(52.0%)

市外の病院については、「県内の市町村(千葉市以外)」が20.0%、「東京都内」が8.0%となっています。

(3) ご家族や介助者について

◆主な介助者の年齢 「40代」が最も多い(44.4%)

次いで「30代」が38.9%となっています。

◆主な介助者の介助継続年数 「5年以上～10年未満」が最も多い(38.9%)

次いで「10年以上～15年未満」が27.8%となっています。

◆主な介助者が困っていること 「精神的な負担が大きい」が最も多い(55.6%)

次いで「緊急時の対応に不安がある」「休養や息抜きの時間がない」がともに44.4%となっています。

(4) 相談や情報入手について

◆日常生活で困っていること 「将来の生活に不安を感じている」が最も多い(60.0%)

次いで「外出するのに支障がある」が32.0%となっています。

◆困ったときの相談先 「家族・親族」が最も多い（64.0%）

次いで「友人・知人」が 32.0%となっています。なお、「発達障害者支援センター」は 24.0%となっています。

◆福祉情報の入手先 「ちば市政だより」が最も多い（40.0%）

次いで「医療機関」が 32.0%となっています。

（5）暮らしについて

◆外出の頻度 「週4日以上」が最も多い（84.0%）

週1回以上外出する方が全体の 92.0%となっています。

◆外出の目的 「通勤・通学・通所」が最も多い（92.0%）

次いで「買い物」が 32.0%となっています。

（6）災害対策について

◆災害時の避難 「避難できない」が最も多い（48.0%）

「避難できると思うが、自信がない」「避難できない」は 72.0%となっています。

◆災害時の支援者 「一緒に住んでいる家族」が最も多い（96.0%）

支援者が「いない」は 4.0%となっています。

◆災害時に不安に思うこと 「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が最も多い（56.0%）

次いで「薬や医療ケアが確保できるか不安」が 44.0%となっています。

◆災害発生に備えた物資の蓄積 「1～3日分くらいの備蓄がある」が最も多い（40.0%）

「備蓄していない」は 36.0%となっています。

（7）療育・保育について

◆障害に気づいたきっかけ 「家族や周りの人が気づいた」が最も多い（56.0%）

障害に気づいた時期は「2歳」が 28.0%と最も多くなっています。

◆療育・保育について困っていること 「本人の成長に不安がある」が最も多い (76.0%)

次いで「友だちとの関係づくりがうまくできない」が56.0%、「療育・保育に関する情報が少ない」が52.0%となっています。

(8) 学校・教育について

◆学校・教育について困っていること 「学校終了後の進路に不安がある」が最も多い (42.1%)

次いで「友だちとの関係づくりがうまくできない」が31.6%となっています。

(9) 将来について

◆将来の暮らし方の希望 「わからない」が最も多い (32.0%)

次いで「自宅で家族と暮らしたい」が24.0%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が16.0%となっています。

(10) 障害のある人の理解度について

◆地域で生活していて感じる差別の有無 「時々感じる」が最も多い (52.0%)

「頻繁に感じる」「時々感じる」は60.0%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」は28.0%となっています。

◆障害のある人に対する市民の理解度 「あまり理解されていない」が最も多い (52.0%)

「あまり理解されていない」「まったく理解されていない」は84.0%、「よく理解されている」「おおむね理解されている」は12.0%となっています。

(11) サービス利用について

◆サービスの利用状況・利用意向 現在の利用状況と比べ、潜在ニーズが非常に大きい

全体的に、現在の利用の状況に対して、利用希望が多くなっています。

(12) 収入や利用者負担について

◆利用者負担の負担感 「あまり負担に感じない」が最も多い (38.9%)

「非常に負担に感じる」「やや負担に感じる」は 38.9%となっています。

(13) 市の障害者施策について

◆満足度 「どちらとも言えない」が最も多い (36.0%)

「非常に満足」「やや満足」は 4.0%、「やや不満」「非常に不満」は 56.0%となっています。

6 インターネット調査

(1) 障害者との交流経験について

◆身近な障害者の存在・障害者との交流経験 「身近にはいない」が最も多い (39.1%)

10 歳代、20 歳代、50 歳代では「学校や職場にいる (いた)」が最も多い (それぞれ 44.4%、38.9%、35.8%)

60 歳では「身近にはいない」が 46.6%と特に高くなっています。

(2) 障害に関する認知度

◆障害に関する認知度 「身体障害」が最も多い (91.8%)

次いで「知的障害」は 86.9%、「発達障害」は 78.6%、「精神障害」は 71.8%、「内部障害」は 45.1%となっています。

(3) 障害者福祉に対する関心

◆障害者福祉に対する関心 「少し関心がある」が最も多い (54.7%)

障害者福祉に対する関心が「ある」と回答された方の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向があります。

(4) 障害への理解を深めるために必要なこと

◆障害への理解を深めるために必要なこと 「学校での福祉教育の充実」が最も多い (67.3%)

障害者福祉の関心別にみると、「(障害者福祉に関心が) ある」方は、「ない」人と比べて「障害のある方との交流」や「ボランティア活動の呼びかけ」を重視し、「少しある」方は「学校での福祉教育の充実」を重視しています。

また、身近に障害者がいるかどうかでみると、「いる」人と「いない」人で割合に差があ

る項目は、「障害のある方との交流」となっているのが特徴です。

(5) ノーマライゼーションの認知度

◆ノーマライゼーションの認知度 「聞いたことはない」が最も多い(46.2%)

「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「聞いたことはない」が80.0%となっています。

(6) 地域社会における障害者への差別、偏見、配慮のなさの有無

◆地域生活における障害者への差別、偏見、配慮のなさの有無 「時々感じる」が最も多い(47.2%)

「よく感じる」「時々感じる」は63.1%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」は28.4%となっています。

(7) 障害者への差別、偏見、配慮のなさを感じる場面

◆障害者への差別、偏見、配慮のなさを感じる場面 「移動手段(交通機関等)」「雇用や就労」が多い(それぞれ68.4%、65.3%)

性別でみると、女性の方は「教育」が37.1%、「他の人とのコミュニケーション」が47.9%の2項目が、男性より10ポイント以上多くなっています。

(8) 障害者施策の進捗度

◆障害者施策の進捗度 「不足」が最も多い(43.5%)

「充実している」は4.5%となっています。

(9) 障害のある方が地域で生活していくために必要なこと

◆障害のある方が地域で生活していくために必要なこと 「障害に対する理解」が最も多い(69.9%)

次いで「就労支援」は52.6%、「道路・交通・建物のバリアフリー化」は51.4%となっています。

3 団体ヒアリング調査結果の概要

1 当事者団体

(1) 団体について

◆活動の内容～会員の活動、相談、社会参加のための支援活動

会員の生活を支援するため、行事やイベント等の開催、旅行などを実施しています。また、市や県からの各種の委託事業を受託して、専門職の育成を行っています。

◆団体としての課題～会員の高齢化と、厳しい収支状況

会員の高齢化や会員数の減少が進んでいます。その理由としては、新規の障害者などの情報入手が個人情報保護法による制約で困難なことや、若い方は収入が少なく、自身の生活で精一杯のため団体活動に携わることができないことが挙げられます。

◆地域の中で果たすべき役割について～市民への周知と、障害者の地域への参加を支援

障害者が地域の中で生活できるよう、講習会の開催や、障害特性に応じたマークの普及等を行っています。また、障害者の地域への参加を促進するため、イベントや防災訓練等への参加を実施しています。

(2) 相談支援体制について

◆利用することが多い相談機関～団体の上部機関を利用するケースが多い。

上部団体を有する団体は、上部団体に相談を行っています。上部団体を有しない団体については、保健福祉センターや障害者相談センターなど、相談先が異なることが特徴です。

◆会員の方への情報提供～会報などでの周知が多い

会員への情報提供については、入会時の案内書類に記載したり、会報を活用して周知を行っています。また、会員の電話番号等を把握している団体は、電話での連絡を行っています。

◆相談支援に関する意見～さらなる情報提供を求める声もある

相談支援に関しては、さらなる情報提供を求める意見もありました。また、制度が変更された際には、周知を図ってほしいとの意見もありました。

(3) サービス利用について

◆会員の方が利用することが多いサービス

タクシー券、ガソリン券などの意見がありました。

- 医療・・・透析が医療機関の都合で、自由な時間での対応が困難である。
- 外出・・・ガソリンの値上げにより、給油できる量が減った。
- 認定基準・・・国の認定基準では、聴覚の認定が厳しく手帳がもらえない。
- 日常生活用具、補装具
・・・家族の有無により、支給内容が異なる。
- 駐車場・・・「きぼーる」で駐車料金が発生する。

◆今後充実してほしいサービス～移動手段や視覚・聴覚向けサービスが多い

会員の方が利用するサービスは、移動手段や視覚・聴覚向けサービスなどの意見がありました。

主なサービスに関する意見を列記します。

- 移動手段・・・タクシー券よりガソリン券の方が良い。
- 視覚・聴覚・・・地域活動支援センターの充実や、聴覚障害者への支援機器の整備。

(4) 療育・教育、就労について

◆療育・教育や学校生活～パンフレットを作成して支援している

18歳未満の方向けのパンフレットを作成しています。

先生により技量の差がある、障害の重さにより対応に差があるなどの意見がありました。

◆一般就労のために必要なこと～障害者への理解促進

一般就労を図るため、障害者への理解促進や、意思疎通の支援のための情報バリアフリー機器の導入等が必要との意見がありました。

(5) 障害に対する理解や差別について

◆就労やサービス提供関係の場面での意見が多い

同一の仕事でも給与差があるとか、介護施設の入居を断られる、医師が装具を知らず不適切な対応をするなどの意見がありました。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

◆トイレについては運用面での意見が多い

トイレについては、適切な使い方など、運用に関する意見が多くありました。また、障

害者のトイレ利用に関する理解を進めてほしいという意見がありました。

（７）防災体制の整備について

◆防災体制は、トイレ、避難所、地域とのかかわり等の意見が多い

防災面では、ストーマ装具等をつけている場合の対応、避難所における専門職員の配置、避難所で生活できない人にも物資を配給してほしい等の意見がありました。地域との関わりでは、地域と連携した防災訓練等の開催などの意見がありました。

（８）市の障害福祉施策について

団体の財政的な支援等に関する意見がありました。

２ 障害児者の親の会

（１）団体について

◆活動の内容～会員（子ども）や、その保護者への活動が主

会員（子ども）への支援に係る活動の他に、子どもを支援する保護者向けの活動を実施しています。会員数がいずれも 100 人を超えており、子どもと保護者でさまざまな事業に参加するなどの、交流活動が主となっています。

◆団体としての課題～参加者数の減少と、個人情報保護法の壁

会員の減少が進んでいます。特に個人情報保護法による制約のため、新規会員の獲得が困難になっています。また、インターネット等の普及により、会に入らなくても情報入手が出来ると考える保護者が多くなっていることも一因です。

◆地域の中で果たすべき役割について～多様な活動による啓発

障害者が地域の中で生活できるよう、市民を対象とした多様な啓発活動、親同士の連携や支え合い、行政等への働きかけをおこなっています。

（２）相談支援体制について

◆利用することが多い相談機関～相談先は多岐にわたる

療育センター、相談支援事業所、学校、行政などと多岐にわたっています。

◆会員の方への情報提供～会報などでの周知が多い

会員の方への情報提供手段は、会報が多くなっています。

◆相談支援に関する意見～相談機関により、やや評価に差が見られる

相談機関による差が見られるとの意見がありました。また、相談機関に関する情報提供を求める意見もありました。

(3) サービス利用について

◆会員の方が利用することが多いサービス～移動支援など

移動支援やショートステイに関する意見がありました。特にショートステイは、床数が少ないとの意見がありました。

◆今後充実してほしいサービス～移動手段や預かりサービスが多い

移動手段や預かりサービスなどに関する意見がありました。

(4) 療育・教育、就労について

◆療育・教育や学校生活～教育現場に関するご意見が多い

医師が療育に貢献しているという意見がある一方、学校の教師に対しては、障害に関する理解や技量に差があるとの意見がありました。

◆一般就労のために必要なこと～ジョブコーチの配置や、仕事の進め方に関して

ジョブコーチの活用も含めた仕事の進め方についてのご意見がありました。

(5) 障害に対する理解や差別について

◆地域の中で障害者が共生しているかどうか

障害に対する理解や差別については、外出するとじろじろ見られるという意見や、地域の方が障害者に無関心になっているという意見がありました。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

◆トイレに関する意見が多く、設備面の意見が多い

トイレの設備に関する意見が多くありました。障害者のトイレ利用に関する理解を進めてほしいという意見がありました。

(7) 防災体制の整備について

◆避難所に関する意見が多い

防災体制に関する意見としては、避難所での生活や、避難所での生活をあきらめているなどの意見がありました。

(8) 市の障害福祉施策について

市の施策をより充実してほしいという意見や、障害の区分により受けられるサービスの差が大きいなどの意見がありました。

3 家族会・事業者団体連絡会

(1) 団体について

◆活動の内容～会員間での情報交換が主

団体の性格上、会員間で情報交換、親睦などが主となっています。

◆団体としての課題～参加者の高齢化が進む

会員の減少が進んでいます。また、予算の制約があるために活動場所の確保が困難になっているという意見がありました。

◆地域の中で果たすべき役割について～地域の方の理解を深める

障害者が地域の中で生活できるよう、実施事業を通じて市民の理解を深めていくことが重要との意見がありました。

(2) 相談支援体制について

◆利用することが多い相談機関～相談先は多様である

利用することが多い相談機関については、障害企画課、保健福祉センター、健康センターなど多岐にわたっています。

◆会員の方への情報提供～定例総会やイベント時に周知を図る

会員の方への情報提供については、定例総会やイベント時を活用して周知を図っています。

◆相談支援に関する意見～相談機関の充実を求める声が多い

相談機関のさらなる充実を求める意見がありました。

(3) サービス利用について

◆会員の方が利用することが多いサービス～自立に向けたスキルの獲得

障害者が自立するためのスキルを獲得するためのサービスに関する意見がありました。また、必要な時になかなか使えないなどという意見がありました。

◆今後充実してほしいサービス～支援センターの充実やピアサポートの実施

今後充実してほしいサービスとしては、支援センターの充実や、ピアサポートの実施、その他必要な情報提供を求める意見がありました。

(4) 療育・教育、就労について

◆一般就労のために必要なこと～短時間労働やジョブコーチの意見が多い

短時間労働やジョブコーチに関するご意見がありました。

(5) 障害に対する理解や差別について

◆「家族」「医師」に関する意見が多い

障害に対する理解を進める上では「家族」「医師」に関するご意見がありました。また、地域の方との交流を進めていくことが必要とのご意見がありました。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

特になし

(7) 防災体制の整備について

◆避難所や薬に関する意見が多い

防災面では、避難所での生活に関するご意見や、薬の確保を心配する意見がありました。

(8) 市の障害福祉施策について

グループホーム設立のための条件緩和、ワークホーム制度の存続、精神障害者の理解促進に関する意見がありました。

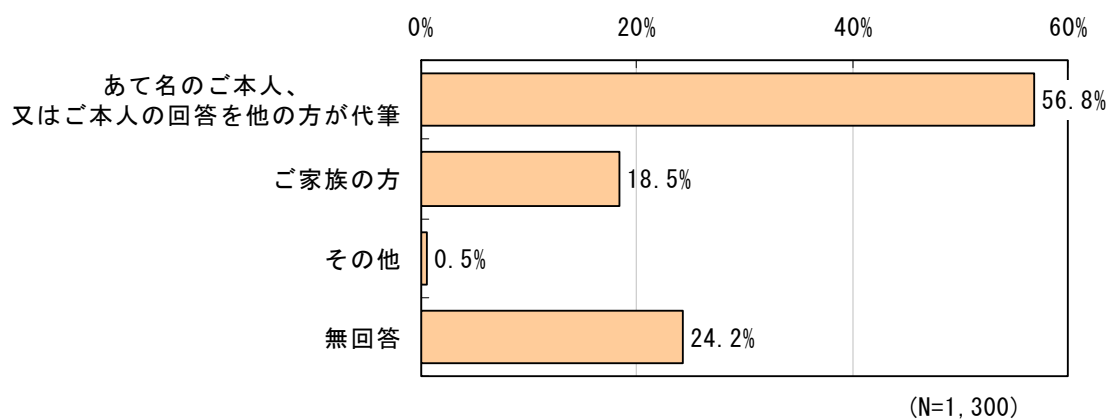
第2章 アンケート調査の結果

I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「あて名のご本人、又はご本人の回答をほかの方が代筆」が 56.8%、「ご家族の方」が 18.5% となっています。

●全体



●障害種別

		合計	あて名のご本人、 又はご本人の回答 を他の方が代筆	ご家族の方	その他	無回答
全体	人数	1,300	739	240	6	315
	構成比		56.8%	18.5%	0.5%	24.2%
身体障害	人数	857	514	132	2	209
	構成比		60.0%	15.4%	0.2%	24.4%
知的障害	人数	251	77	118	3	53
	構成比		30.7%	47.0%	1.2%	21.1%
精神障害	人数	255	166	35	1	53
	構成比		65.1%	13.7%	0.4%	20.8%
難病	人数	255	152	36	3	64
	構成比		59.6%	14.1%	1.2%	25.1%
無回答	人数	35	12	2	0	21
	構成比		34.3%	5.7%	0.0%	60.0%

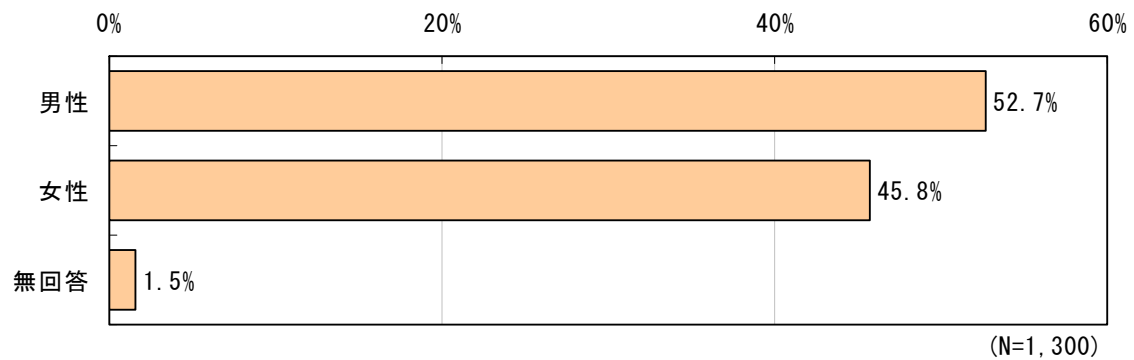
1. ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が52.7%、「女性」が45.8%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	男性	女性	無回答
全体	人数	1,300	685	595	20
	構成比		52.7%	45.8%	1.5%
身体障害	人数	857	462	391	4
	構成比		53.9%	45.6%	0.5%
知的障害	人数	251	144	105	2
	構成比		57.4%	41.8%	0.8%
精神障害	人数	255	120	135	0
	構成比		47.1%	52.9%	0.0%
難病	人数	255	131	124	0
	構成比		51.4%	48.6%	0.0%
無回答	人数	35	9	11	15
	構成比		25.7%	31.4%	42.9%

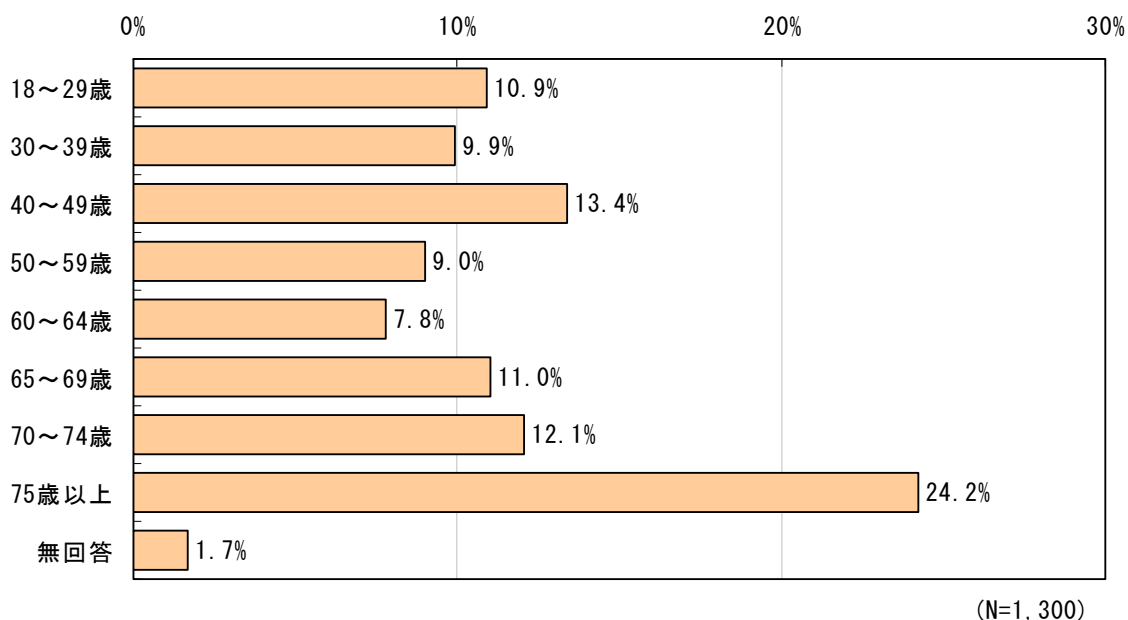
(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「75歳以上」が24.2%、「40～49歳」が13.4%、「70～74歳」が12.1%となっています。

障害種別に見ると、身体障害のある方では高齢の方が多く、平均年齢は66.8歳となっています。知的障害のある方では40歳未満の方が多く、平均年齢は34.6歳となっています。精神障害のある方の平均年齢は45.8歳、難病の方の平均年齢は63.1歳となっています。

●全体



●障害種別

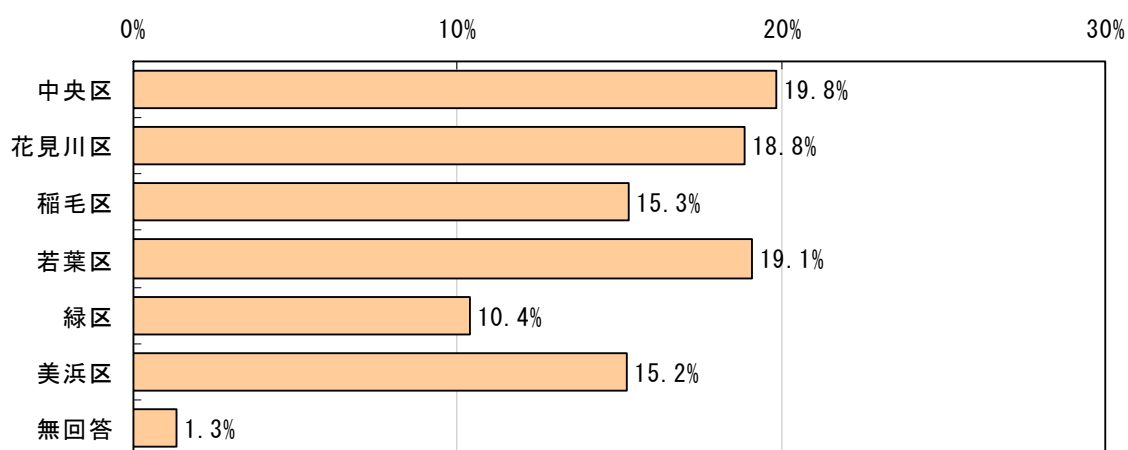
		総計	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全体	人数	1,300	142	129	174	117	101	143	157	315	22
	構成比		10.9%	9.9%	13.4%	9.0%	7.8%	11.0%	12.1%	24.2%	1.7%
身体障害	人数	857	30	37	59	67	88	125	148	298	5
	構成比		3.5%	4.3%	6.9%	7.8%	10.3%	14.6%	17.3%	34.8%	0.6%
知的障害	人数	251	111	52	59	19	4	1	2	3	0
	構成比		44.2%	20.7%	23.5%	7.6%	1.6%	0.4%	0.8%	1.2%	0.0%
精神障害	人数	255	32	63	74	39	10	21	5	9	2
	構成比		12.5%	24.7%	29.0%	15.3%	3.9%	8.2%	2.0%	3.5%	0.8%
難病	人数	255	16	19	21	24	35	38	29	72	1
	構成比		6.3%	7.5%	8.2%	9.4%	13.7%	14.9%	11.4%	28.2%	0.4%
無回答	人数	35	0	3	3	1	0	2	4	7	15
	構成比		0.0%	8.6%	8.6%	2.9%	0.0%	5.7%	11.4%	20.0%	42.9%

(3) お住まいの区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「中央区」が19.8%、「若葉区」が19.1%、「花見川区」が18.8%となっています。市全体の分布に比較的近い傾向となっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

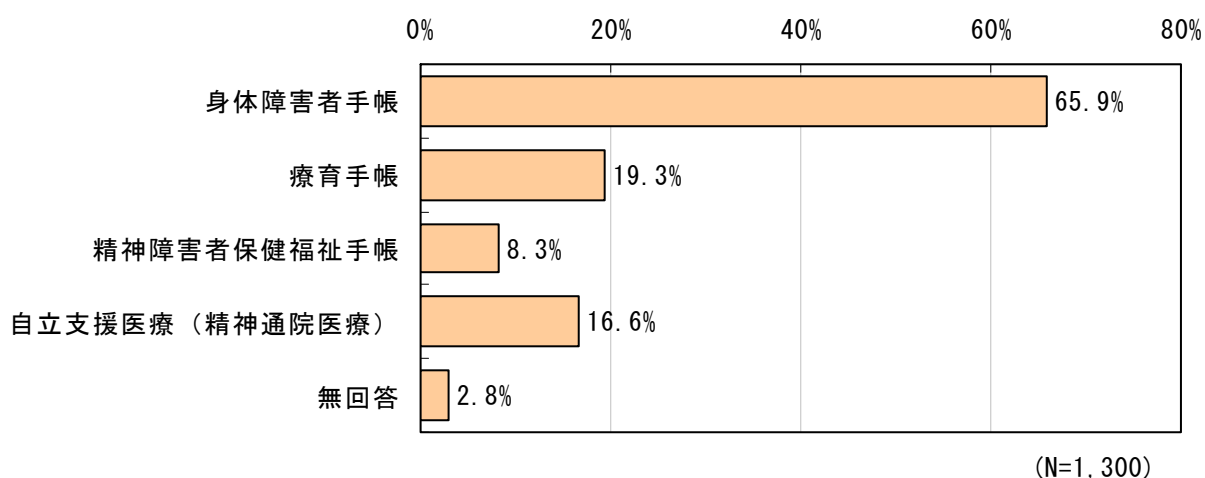
		合計	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全体	人数	1,300	258	245	199	248	135	198	17
	構成比		19.8%	18.8%	15.3%	19.1%	10.4%	15.2%	1.3%
身体障害	人数	857	171	172	134	169	79	132	0
	構成比		20.0%	20.1%	15.6%	19.7%	9.2%	15.4%	0.0%
知的障害	人数	251	58	43	34	51	38	27	0
	構成比		23.1%	17.1%	13.5%	20.3%	15.1%	10.8%	0.0%
精神障害	人数	255	50	45	35	44	30	49	2
	構成比		19.6%	17.6%	13.7%	17.3%	11.8%	19.2%	0.8%
難病	人数	255	48	44	50	50	18	45	0
	構成比		18.8%	17.3%	19.6%	19.6%	7.1%	17.6%	0.0%
無回答	人数	35	5	3	5	2	2	3	15
	構成比		14.3%	8.6%	14.3%	5.7%	5.7%	8.6%	42.9%

(4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

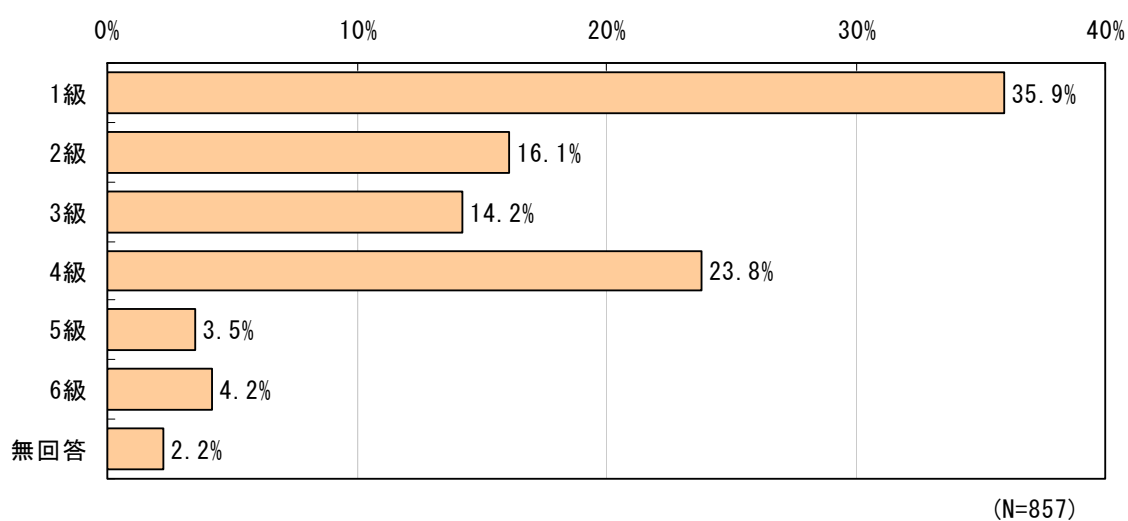
「身体障害者手帳」が65.9%、「療育手帳」が19.3%、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が16.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が8.3%となっています。

●全体



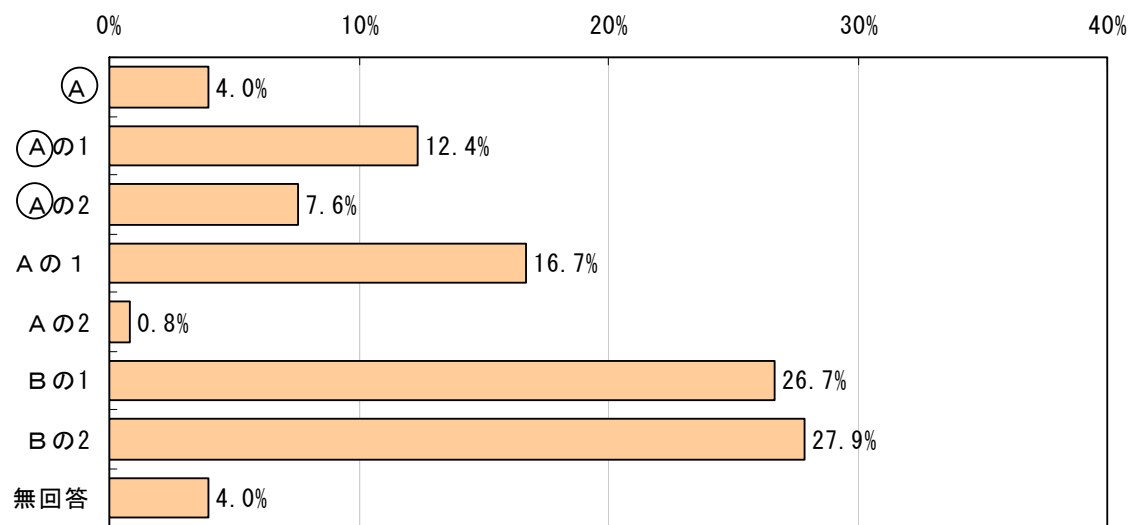
①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1級」が35.9%、「4級」が23.8%となっています。



②療育手帳の程度

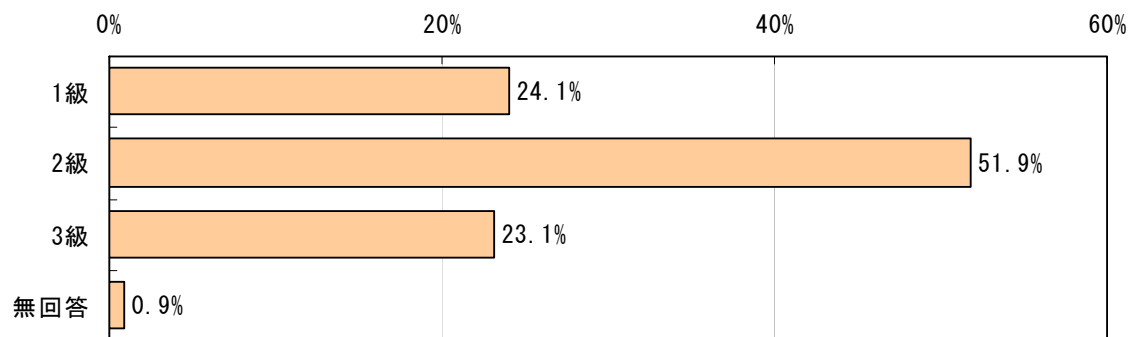
療育手帳の程度では、「B の 2」が27.9%、「B の 1」が26.7%となっています。



(N=251)

③精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級では、「2 級」が51.9%となっています。



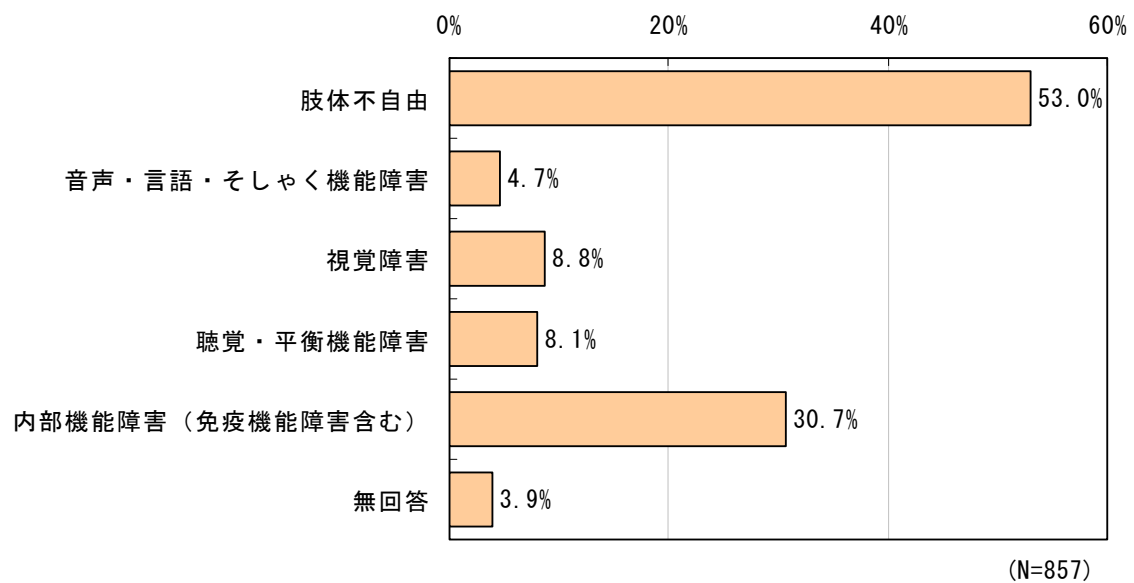
(N=108)

(5) 身体障害の部位

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が53.0%、「内部機能障害（免疫機能障害を含む）」が30.7%となっています。

●全体



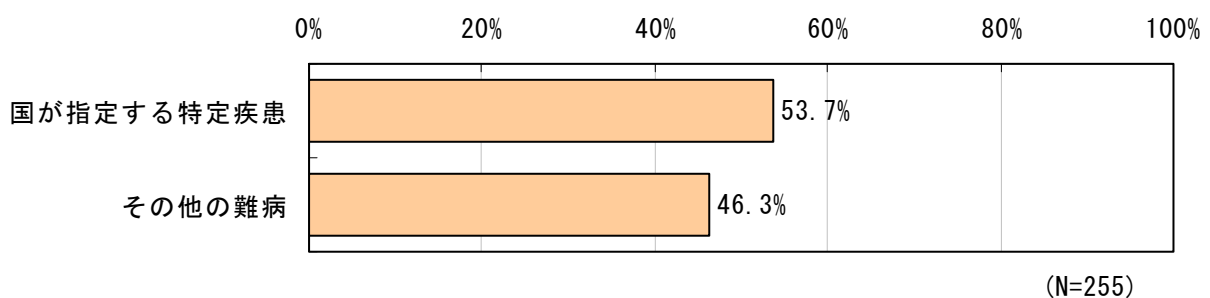
(6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

(難病に罹患している方のみで集計、内訳は複数回答)

「国が指定する特定疾患」が53.7%となっています。

●全体



●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数	病名	人数
パーキンソン病	3	パーキンソン病関連疾患	10	肺動脈性肺高血圧症	3
多発性硬化症	0	アミロイドーシス	0	神経線維腫症	2
重症筋無力症	2	後縦靱帯骨化症	2	亜急性硬化性全脳炎	0
全身性エリテマトーデス	8	ハンチントン病	0	バッド・キアリ症候群	0
スモン	1	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	2	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1
再生不良性貧血	0	ウェゲナー肉芽腫症	0	ライソゾーム病(ファブリー〔Fabry〕病含む)	1
サルコイドーシス	4	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	5	副腎白質ジストロフィー	0
筋萎縮性側索硬化症	4	多系統萎縮症	0	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	8	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0	脊髄性筋萎縮症	3
特発性血小板減少性紫斑病	1	膿疱性乾癬	2	球脊髄性筋萎縮症	1
結節性動脈周囲炎	2	広範脊柱管狭窄症	1	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2
潰瘍性大腸炎	6	原発性胆汁性肝硬変	2	肥大型心筋症	8
大動脈炎症候群	2	重症急性膵炎	0	拘束型心筋症	3
ピュルガー病	1	特発性大腿骨頭壊死症	7	ミトコンドリア病	1
天疱瘡	0	混合性結合組織病	0	リンパ管筋腫症(LAM)	1
脊髄小脳変性症	7	原発性免疫不全症候群	1	重症多型滲出性紅斑(急性期)	0
クローン病	1	特発性間質性肺炎	4	黄色靱帯骨化症	0
難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1	網膜色素変性症	15	間脳下垂体機能障害	0
悪性関節リウマチ	20	プリオン病	0	計(実人数)	137

●その他の難病の内訳(3人以上のもののみ掲載しています。)

病名	人数	病名	人数	病名	人数
てんかん	11	腎不全	5	腎臓機能障害	3
うつ病	11	慢性腎不全(人工透析)	4	心臓ペースメーカー	3
統合失調症	8	心臓機能障害	4	ペースメーカー使用	3
慢性腎不全	6	脳梗塞	4	慢性関節リウマチ	3
				計(実人数)	118

2. 医療機関への受診状況について

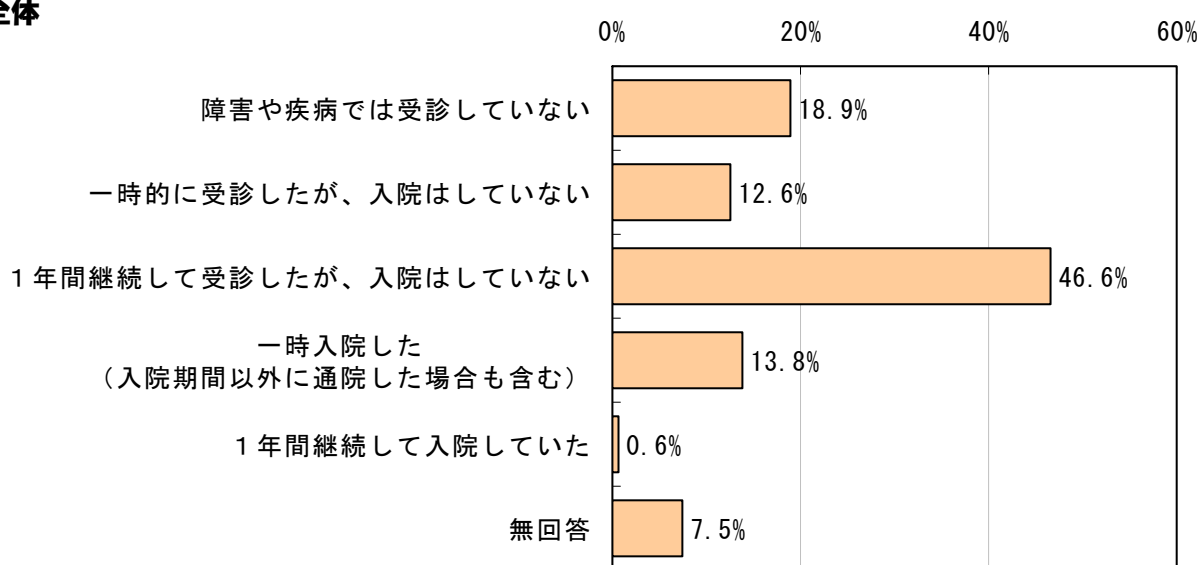
(1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が46.6%、「障害や疾病では受診していない」が18.9%となっています。

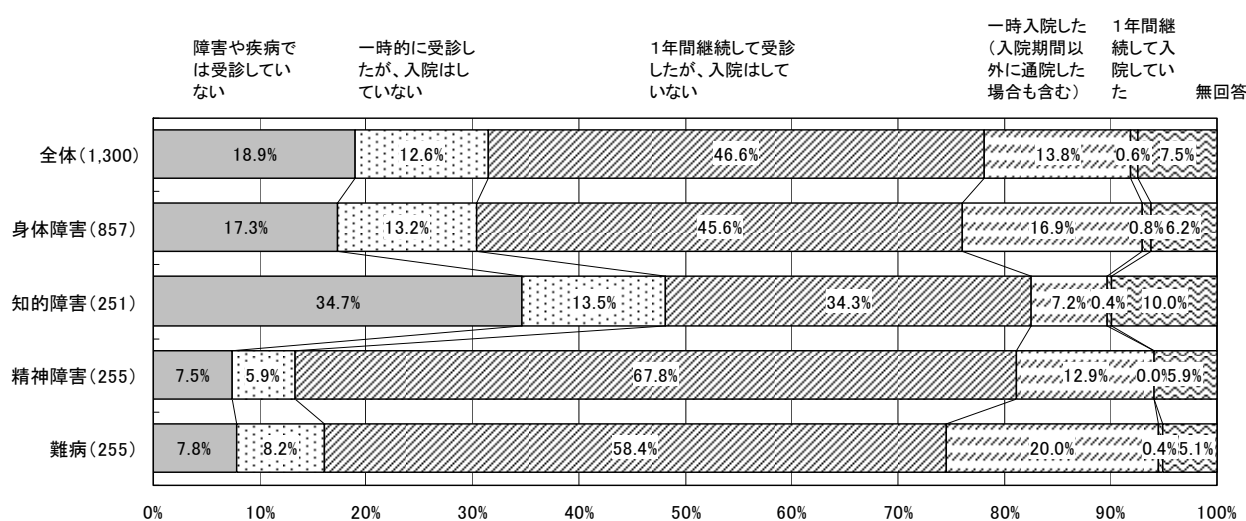
障害種別に見ると、精神障害のある方や難病のある方では「1年間継続して受診したが、入院はしていない」がより多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

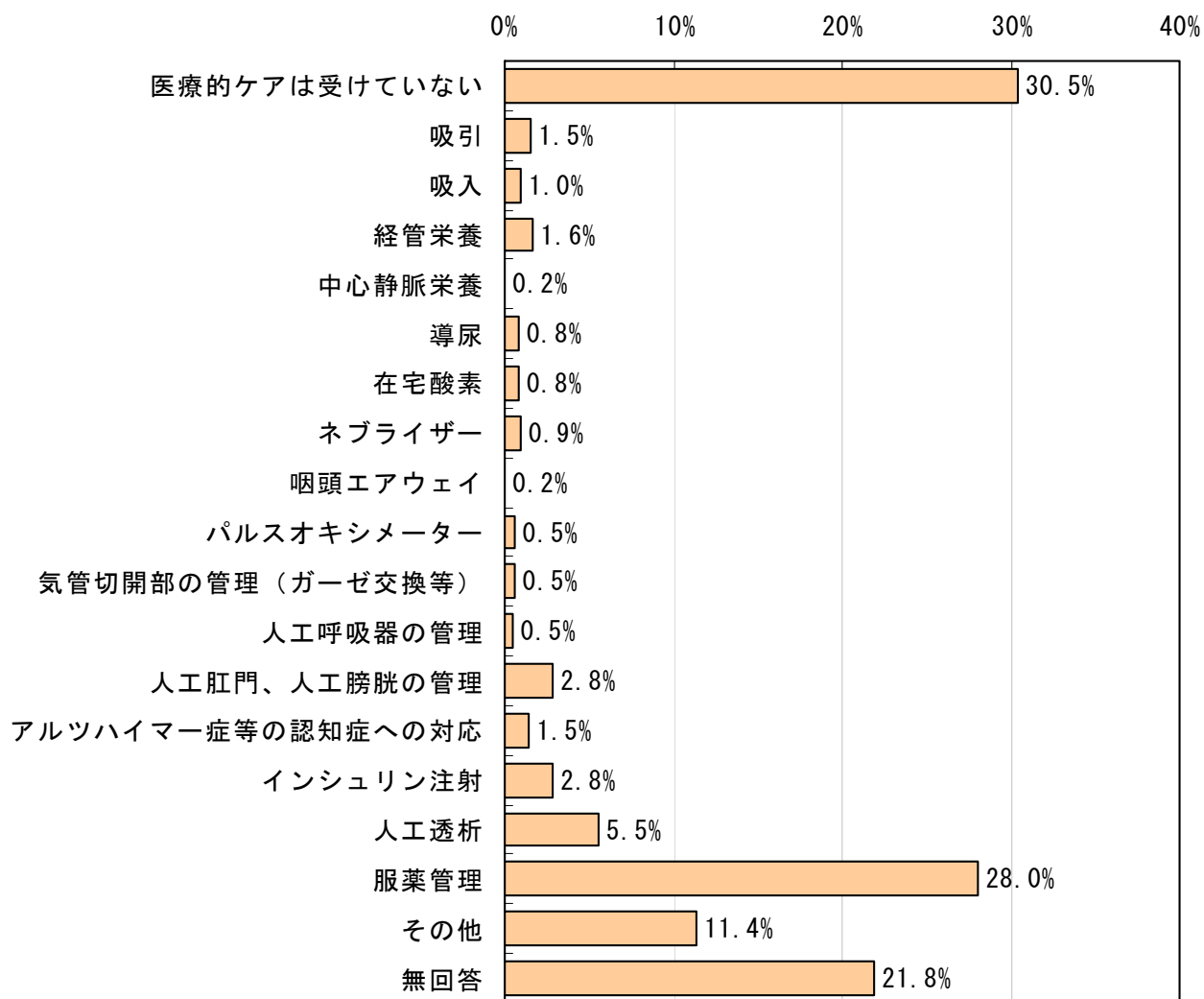


(2) 医療的ケアの種類

問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

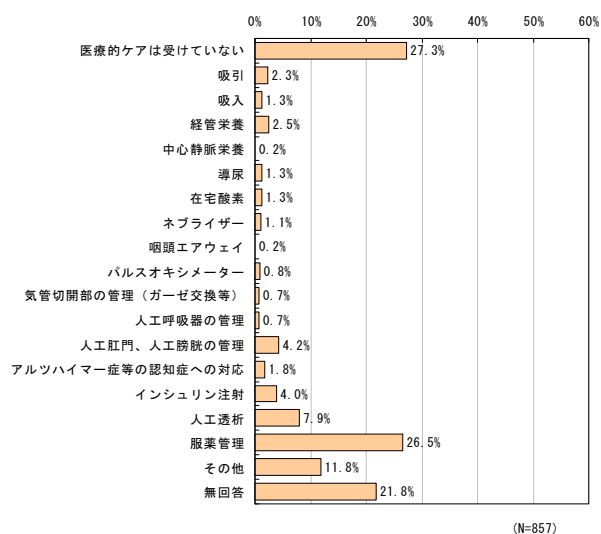
「医療的ケアは受けていない」が30.5%、「服薬管理」が28.0%となっています。

●全体

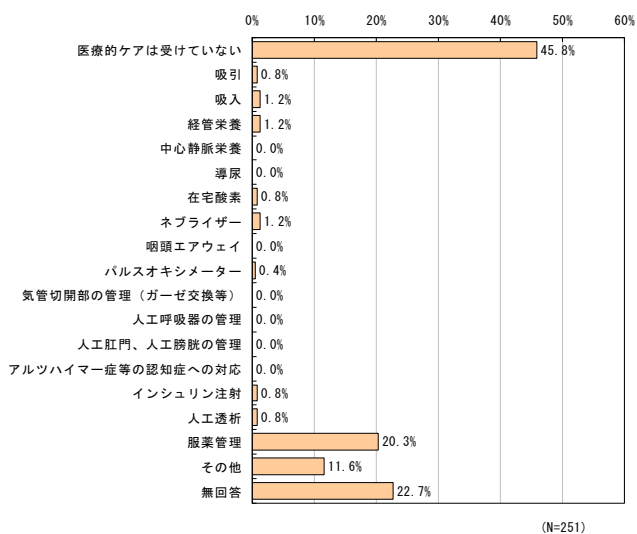


(N=1, 300)

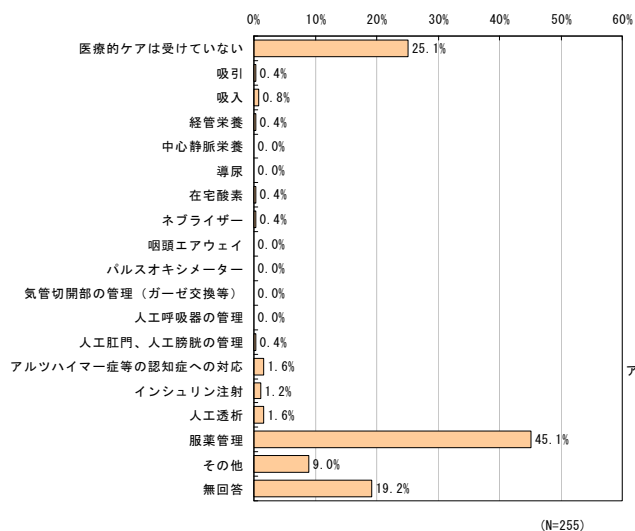
●身体障害



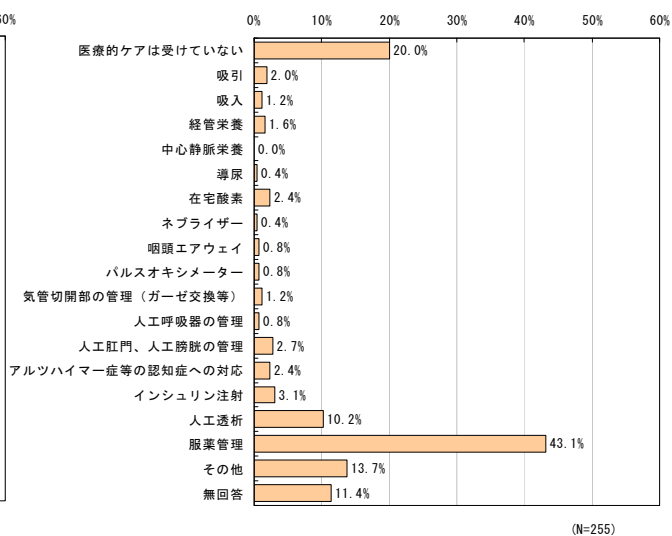
●知的障害



●精神障害



●難病

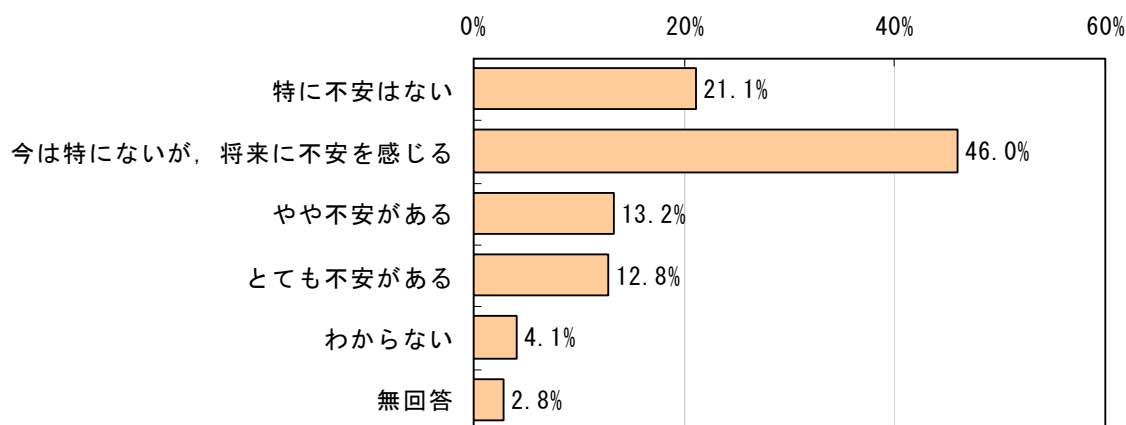


(3) 医療費に対する不安

問9 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(〇は1つ)

全体では、「今は特にないが、将来に不安を感じる」が46.0%、「特に不安はない」が21.1%となっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	特に不安はない	今は特にないが、将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	1,300	274	598	172	167	53	36
	構成比		21.1%	46.0%	13.2%	12.8%	4.1%	2.8%
身体障害	人数	857	187	387	125	106	30	22
	構成比		21.8%	45.2%	14.6%	12.4%	3.5%	2.6%
知的障害	人数	251	48	134	17	22	20	10
	構成比		19.1%	53.4%	6.8%	8.8%	8.0%	4.0%
精神障害	人数	255	51	111	40	48	4	1
	構成比		20.0%	43.5%	15.7%	18.8%	1.6%	0.4%
難病	人数	255	52	126	31	33	8	5
	構成比		20.4%	49.4%	12.2%	12.9%	3.1%	2.0%
無回答	人数	35	8	14	2	5	2	4
	構成比		22.9%	40.0%	5.7%	14.3%	5.7%	11.4%

●年齢別

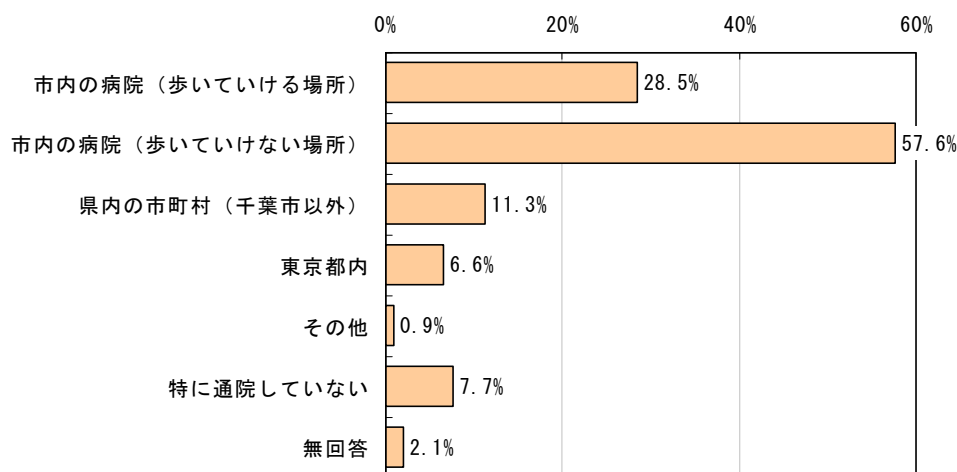
		合計	特に不安はない	今は特にないが、将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	1,300	274	598	172	167	53	36
	構成比		21.1%	46.0%	13.2%	12.8%	4.1%	2.8%
18～39歳	人数	289	56	146	31	37	15	4
	構成比		19.4%	50.5%	10.7%	12.8%	5.2%	1.4%
40～64歳	人数	374	65	177	53	55	15	9
	構成比		17.4%	47.3%	14.2%	14.7%	4.0%	2.4%
65～74歳	人数	300	72	128	41	42	8	9
	構成比		24.0%	42.7%	13.7%	14.0%	2.7%	3.0%
75歳以上	人数	315	78	136	46	28	14	13
	構成比		24.8%	43.2%	14.6%	8.9%	4.4%	4.1%
無回答	人数	22	3	11	1	5	1	1
	構成比		13.6%	50.0%	4.5%	22.7%	4.5%	4.5%

(4) 通院している病院

問 10 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどの病院に通院していますか。
(〇はいくつでも)

「市内の病院(歩いていけない場所)」が57.6%、「市内の病院(歩いていける場所)」が28.5%となっています。

●全体



●障害種別

(N=1,300)

		合計	市内の病院 (歩いていける 場所)	市内の病院 (歩いていけない 場所)	県内の市 町村(千葉市以 外)	東京都内	その他	特に通院 していない	無回答
全体	人数	1,300	370	749	147	86	12	100	27
	構成比		28.5%	57.6%	11.3%	6.6%	0.9%	7.7%	2.1%
身体障害	人数	857	228	520	97	67	9	48	18
	構成比		26.6%	60.7%	11.3%	7.8%	1.1%	5.6%	2.1%
知的障害	人数	251	75	126	22	15	2	55	6
	構成比		29.9%	50.2%	8.8%	6.0%	0.8%	21.9%	2.4%
精神障害	人数	255	69	154	43	13	3	1	3
	構成比		27.1%	60.4%	16.9%	5.1%	1.2%	0.4%	1.2%
難病	人数	255	61	167	26	29	3	4	6
	構成比		23.9%	65.5%	10.2%	11.4%	1.2%	1.6%	2.4%
無回答	人数	35	14	15	3	0	1	1	2
	構成比		40.0%	42.9%	8.6%	0.0%	2.9%	2.9%	5.7%

●年齢別

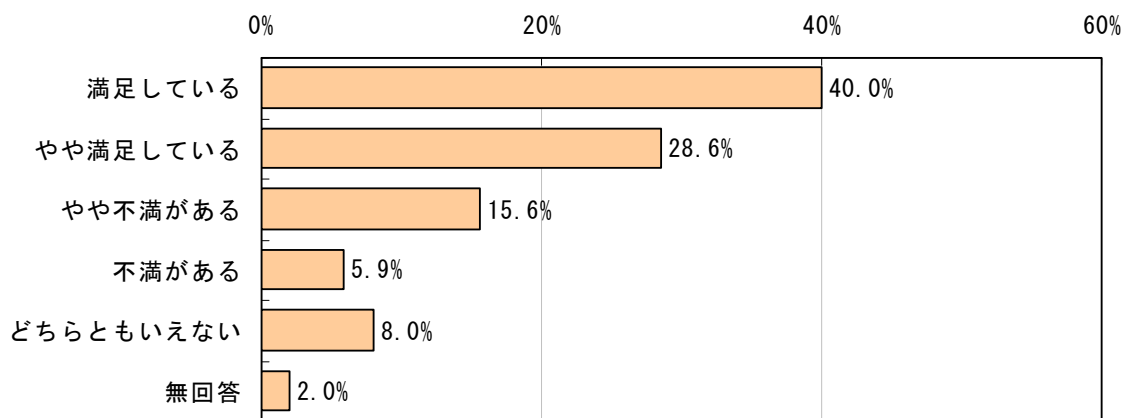
		合計	市内の病院 (歩いていける 場所)	市内の病院 (歩いていけない 場所)	県内の市 町村(千葉市以 外)	東京都内	その他	特に通院 していない	無回答
全体	人数	1,300	370	749	147	86	12	100	27
	構成比		28.5%	57.6%	11.3%	6.6%	0.9%	7.7%	2.1%
18～39歳	人数	289	81	153	38	22	3	41	5
	構成比		28.0%	52.9%	13.1%	7.6%	1.0%	14.2%	1.7%
40～64歳	人数	374	103	212	41	28	2	32	4
	構成比		27.5%	56.7%	11.0%	7.5%	0.5%	8.6%	1.1%
65～74歳	人数	300	94	160	42	19	4	15	8
	構成比		31.3%	53.3%	14.0%	6.3%	1.3%	5.0%	2.7%
75歳以上	人数	315	87	215	21	16	3	11	8
	構成比		27.6%	68.3%	6.7%	5.1%	1.0%	3.5%	2.5%
無回答	人数	22	5	9	5	1	0	1	2
	構成比		22.7%	40.9%	22.7%	4.5%	0.0%	4.5%	9.1%

(5) 医療機関の満足度

問 11 【問 10 で通院している（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。（○は 1 つ）

「満足している」が 40.0%、「やや満足している」が 28.6%となっています。

●全体



(N=1,179)

●障害種別

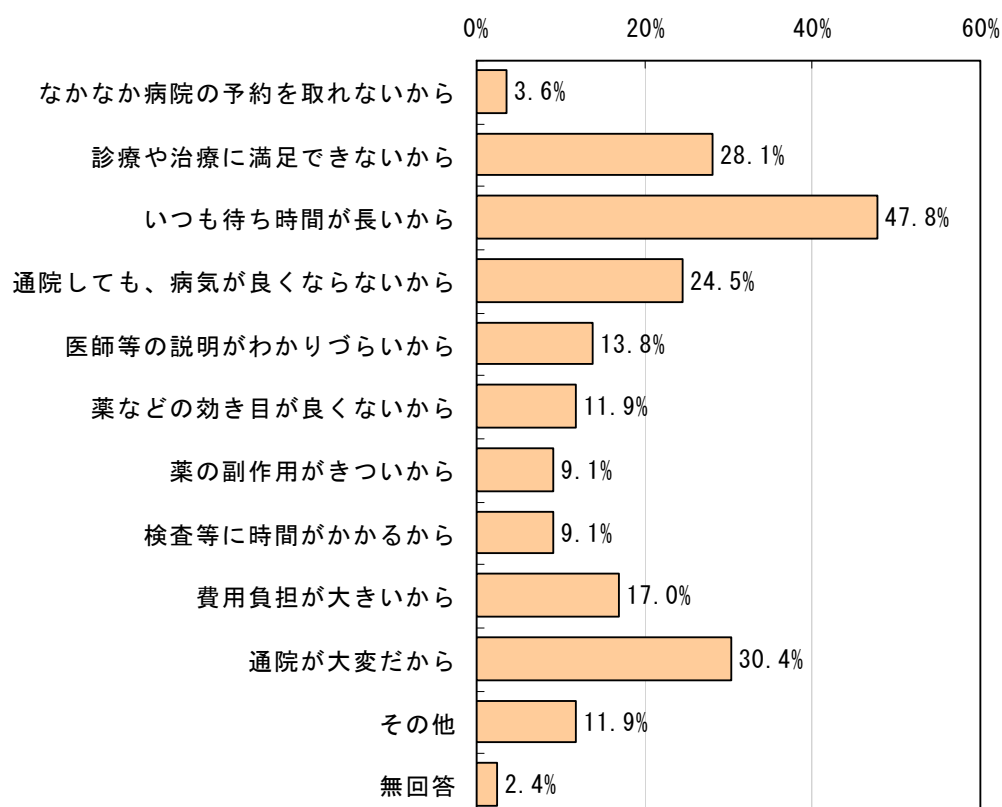
		合計	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	どちらともいえない	無回答
全体	人数	1,179	472	337	184	69	94	23
	構成比		40.0%	28.6%	15.6%	5.9%	8.0%	2.0%
身体障害	人数	795	323	229	117	46	63	17
	構成比		40.6%	28.8%	14.7%	5.8%	7.9%	2.1%
知的障害	人数	192	73	59	27	10	19	4
	構成比		38.0%	30.7%	14.1%	5.2%	9.9%	2.1%
精神障害	人数	251	90	76	50	20	13	2
	構成比		35.9%	30.3%	19.9%	8.0%	5.2%	0.8%
難病	人数	245	86	74	42	17	21	5
	構成比		35.1%	30.2%	17.1%	6.9%	8.6%	2.0%
無回答	人数	32	14	8	4	1	3	2
	構成比		43.8%	25.0%	12.5%	3.1%	9.4%	6.3%

(6) 医療機関の不満の理由

問 12 【問 11 で医療機関に不満がある（3、4番）に○をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。（○はいくつでも）

「いつも待ち時間が長いから」が47.8%、「通院が大変だから」が30.4%、「診療や治療に満足できないから」が28.1%となっています。また、精神障害のある方では「通院しても、病気が良くならないから」も多くなっています。

●全体



(N=253)

●障害種別

	合計	なかなか病院の予約を取れないから	診療や治療に満足できないから	いつも待ち時間が長いから	通院しても、病気が良くならないから	医師等の説明がわかりづらいから	薬などの効き目が良くないから	薬の副作用がきついから	検査等に時間がかかるから	費用負担が大きいから	通院が大変だから	その他	無回答
全体	人数 253	9	71	121	62	35	30	23	23	43	77	30	6
	構成比	3.6%	28.1%	47.8%	24.5%	13.8%	11.9%	9.1%	9.1%	17.0%	30.4%	11.9%	2.4%
身体障害	人数 163	5	37	83	30	22	12	9	19	24	49	18	5
	構成比	3.1%	22.7%	50.9%	18.4%	13.5%	7.4%	5.5%	11.7%	14.7%	30.1%	11.0%	3.1%
知的障害	人数 37	5	11	18	8	6	3	4	4	7	11	6	2
	構成比	13.5%	29.7%	48.6%	21.6%	16.2%	8.1%	10.8%	10.8%	18.9%	29.7%	16.2%	5.4%
精神障害	人数 70	2	27	33	28	9	17	12	2	15	23	8	1
	構成比	2.9%	38.6%	47.1%	40.0%	12.9%	24.3%	17.1%	2.9%	21.4%	32.9%	11.4%	1.4%
難病	人数 59	2	13	26	11	9	5	6	8	9	18	8	2
	構成比	3.4%	22.0%	44.1%	18.6%	15.3%	8.5%	10.2%	13.6%	15.3%	30.5%	13.6%	3.4%
無回答	人数 5	0	2	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0
	構成比	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%

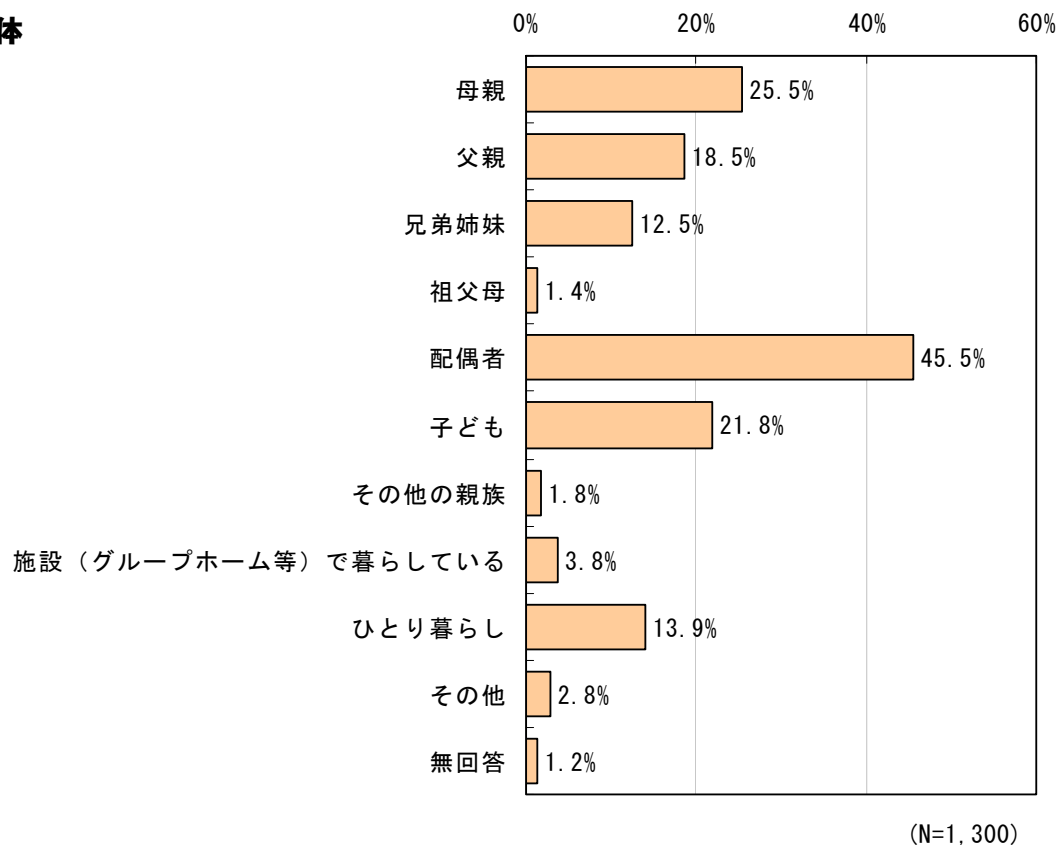
3. ご家族や介助者について

(1) 同居者

問 13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「配偶者」が45.5%、「母親」が25.5%、「子ども」が21.8%となっています。
障害種別に見ると、身体障害のある方や難病のある方では「配偶者」、知的障害のある方や精神障害のある方では「母親」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	施設（グループホーム等）で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全体	人数	1,300	331	241	162	18	592	284	23	49	181	37	16
	構成比		25.5%	18.5%	12.5%	1.4%	45.5%	21.8%	1.8%	3.8%	13.9%	2.8%	1.2%
身体障害	人数	857	99	67	41	5	503	227	20	31	127	28	12
	構成比		11.6%	7.8%	4.8%	0.6%	58.7%	26.5%	2.3%	3.6%	14.8%	3.3%	1.4%
知的障害	人数	251	200	152	112	11	7	4	1	17	6	10	2
	構成比		79.7%	60.6%	44.6%	4.4%	2.8%	1.6%	0.4%	6.8%	2.4%	4.0%	0.8%
精神障害	人数	255	96	67	34	6	77	45	1	5	50	4	2
	構成比		37.6%	26.3%	13.3%	2.4%	30.2%	17.6%	0.4%	2.0%	19.6%	1.6%	0.8%
難病	人数	255	42	36	22	3	139	59	3	9	36	5	3
	構成比		16.5%	14.1%	8.6%	1.2%	54.5%	23.1%	1.2%	3.5%	14.1%	2.0%	1.2%
無回答	人数	35	6	4	3	0	15	10	2	3	6	0	1
	構成比		17.1%	11.4%	8.6%	0.0%	42.9%	28.6%	5.7%	8.6%	17.1%	0.0%	2.9%

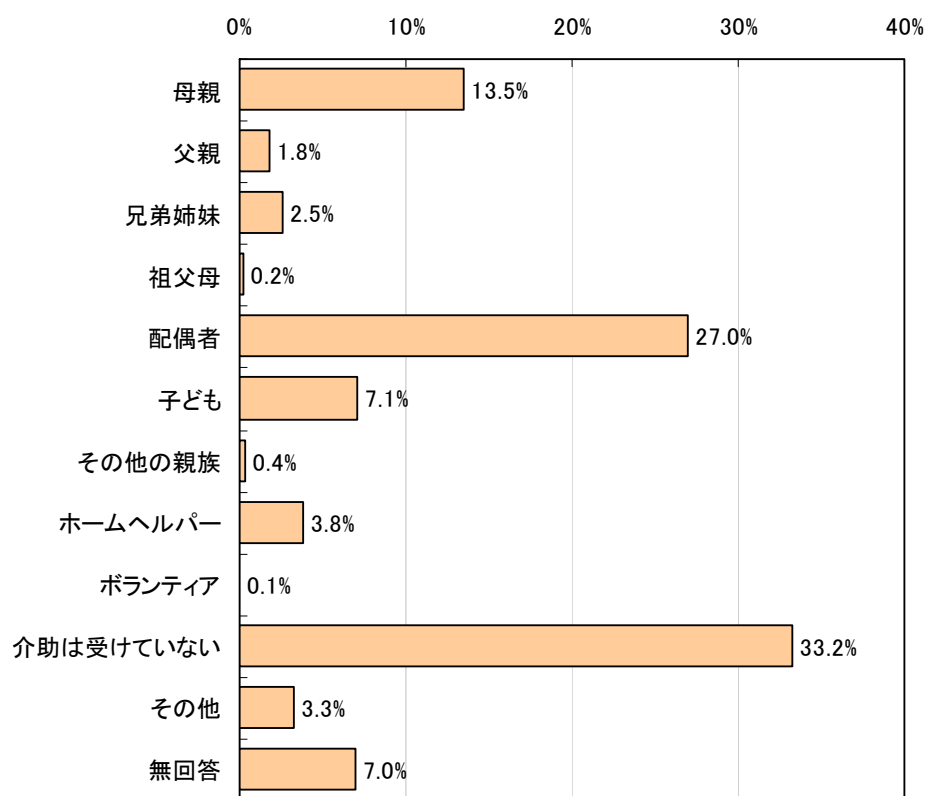
(2) 介助の必要性・主な介助者

問 14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

全体では、「介助は受けていない」が33.2%、「配偶者」が27.0%、「母親」が13.5%となっています。

障害種別に見ると、主な介助者は、身体障害のある方や難病のある方では「配偶者」、知的障害のある方では「母親」が多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全体	人数	1,300	176	23	33	3	351	92	5	50	1	432	43	91
	構成比		13.5%	1.8%	2.5%	0.2%	27.0%	7.1%	0.4%	3.8%	0.1%	33.2%	3.3%	7.0%
身体障害	人数	857	54	8	13	0	310	81	5	41	1	265	25	54
	構成比		6.3%	0.9%	1.5%	0.0%	36.2%	9.5%	0.6%	4.8%	0.1%	30.9%	2.9%	6.3%
知的障害	人数	251	123	9	13	3	5	2	0	3	0	57	13	23
	構成比		49.0%	3.6%	5.2%	1.2%	2.0%	0.8%	0.0%	1.2%	0.0%	22.7%	5.2%	9.2%
精神障害	人数	255	46	12	12	0	37	8	0	3	0	112	7	18
	構成比		18.0%	4.7%	4.7%	0.0%	14.5%	3.1%	0.0%	1.2%	0.0%	43.9%	2.7%	7.1%
難病	人数	255	26	8	6	0	93	20	0	13	0	69	5	15
	構成比		10.2%	3.1%	2.4%	0.0%	36.5%	7.8%	0.0%	5.1%	0.0%	27.1%	2.0%	5.9%
無回答	人数	35	4	1	0	0	8	1	0	4	0	9	3	5
	構成比		11.4%	2.9%	0.0%	0.0%	22.9%	2.9%	0.0%	11.4%	0.0%	25.7%	8.6%	14.3%

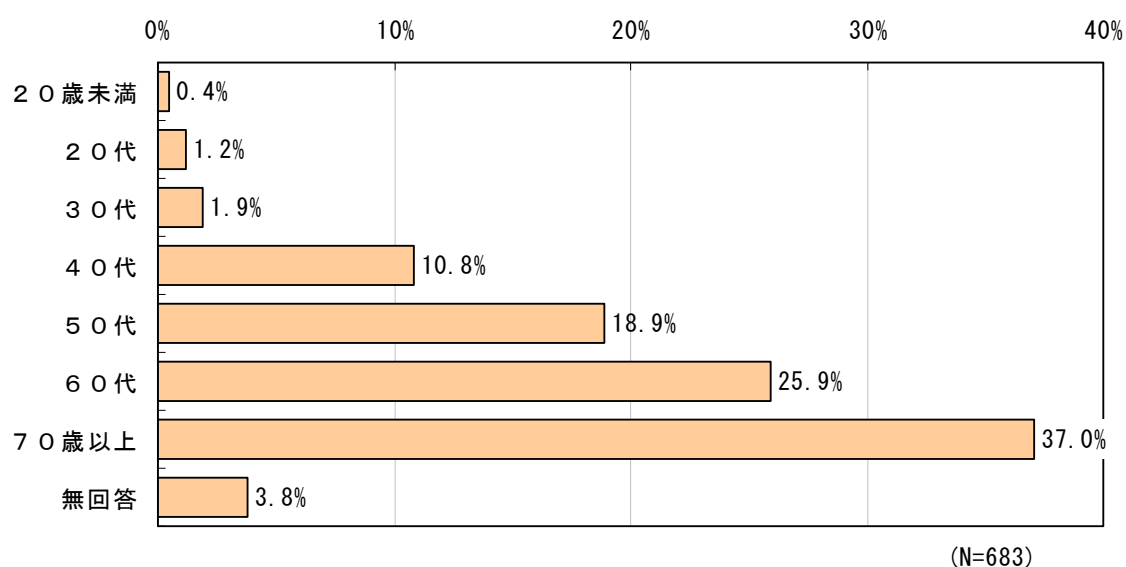
(3) 主な介助者の年齢

問 15 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。
主な介助者の年齢をお答えください。（○は１つ）

全体では、「70 歳以上」が 37.0%、「60 代」が 25.9%となっています。

障害種別に見ると、身体障害、精神障害、難病のある方では「70 歳以上」、知的障害のある方では「50 代」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全体	人数	683	3	8	13	74	129	177	253	26
	構成比		0.4%	1.2%	1.9%	10.8%	18.9%	25.9%	37.0%	3.8%
身体障害	人数	471	1	2	9	43	66	136	195	19
	構成比		0.2%	0.4%	1.9%	9.1%	14.0%	28.9%	41.4%	4.0%
知的障害	人数	155	0	3	1	26	55	35	30	5
	構成比		0.0%	1.9%	0.6%	16.8%	35.5%	22.6%	19.4%	3.2%
精神障害	人数	115	2	4	4	15	30	24	35	1
	構成比		1.7%	3.5%	3.5%	13.0%	26.1%	20.9%	30.4%	0.9%
難病	人数	153	1	1	4	12	23	42	62	8
	構成比		0.7%	0.7%	2.6%	7.8%	15.0%	27.5%	40.5%	5.2%
無回答	人数	14	0	0	0	1	1	4	6	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	28.6%	42.9%	14.3%

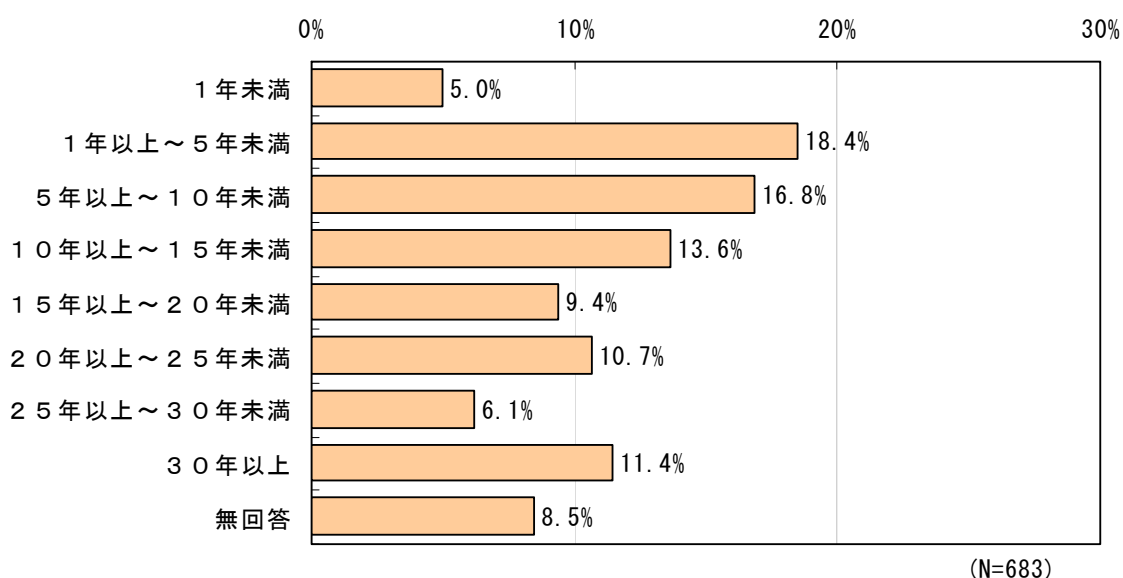
(4) 主な介助者の介助継続年数

問 16 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

全体では、「１年以上～５年未満」が 18.4%、「５年以上～１０年未満」が 16.8%となっています。

障害種別に見ると、知的障害のある方では「３０年以上」が多くなっています。

●全体



●障害種別

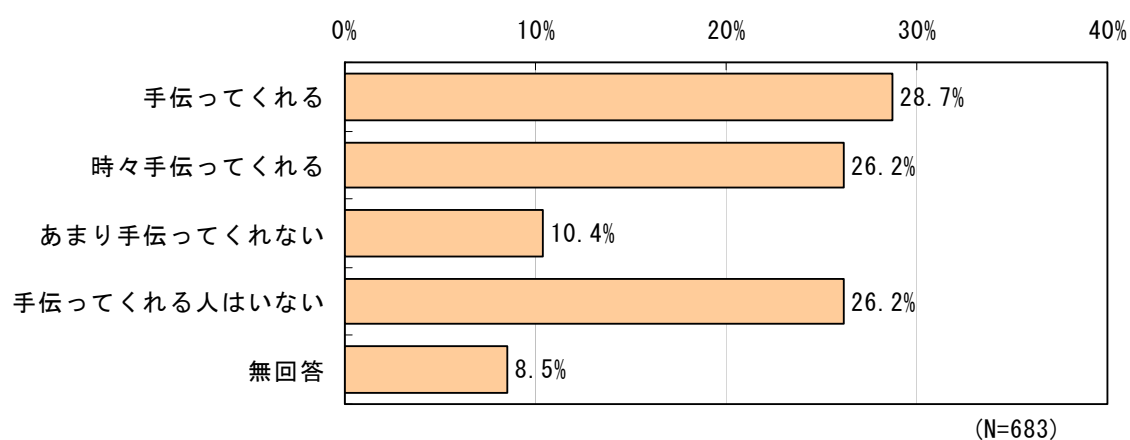
		合計	１年未満	１年以上～５年未満	５年以上～１０年未満	１０年以上～１５年未満	１５年以上～２０年未満	２０年以上～２５年未満	２５年以上～３０年未満	３０年以上	無回答
全体	人数	683	34	126	115	93	64	73	42	78	58
	構成比		5.0%	18.4%	16.8%	13.6%	9.4%	10.7%	6.1%	11.4%	8.5%
身体障害	人数	471	27	108	94	66	46	36	19	37	38
	構成比		5.7%	22.9%	20.0%	14.0%	9.8%	7.6%	4.0%	7.9%	8.1%
知的障害	人数	155	1	6	5	9	15	33	25	47	14
	構成比		0.6%	3.9%	3.2%	5.8%	9.7%	21.3%	16.1%	30.3%	9.0%
精神障害	人数	115	5	15	19	23	11	18	11	8	5
	構成比		4.3%	13.0%	16.5%	20.0%	9.6%	15.7%	9.6%	7.0%	4.3%
難病	人数	153	9	39	20	24	18	11	8	12	12
	構成比		5.9%	25.5%	13.1%	15.7%	11.8%	7.2%	5.2%	7.8%	7.8%
無回答	人数	14	1	2	3	1	0	1	0	2	4
	構成比		7.1%	14.3%	21.4%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	28.6%

(5) 主な介助者以外の手伝いの有無

問 17 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は１つ）

「手伝ってくれる」が 28.7%、「時々手伝ってくれる」、「手伝ってくれる人はいない」がそれぞれ 26.2%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	手伝ってくれる	時々手伝ってくれる	あまり手伝ってくれない	手伝ってくれる人はいない	無回答
全体	人数	683	196	179	71	179	58
	構成比		28.7%	26.2%	10.4%	26.2%	8.5%
身体障害	人数	471	129	130	49	130	33
	構成比		27.4%	27.6%	10.4%	27.6%	7.0%
知的障害	人数	155	61	41	12	23	18
	構成比		39.4%	26.5%	7.7%	14.8%	11.6%
精神障害	人数	115	29	27	17	36	6
	構成比		25.2%	23.5%	14.8%	31.3%	5.2%
難病	人数	153	45	38	12	45	13
	構成比		29.4%	24.8%	7.8%	29.4%	8.5%
無回答	人数	14	2	4	0	4	4
	構成比		14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%

(6) 主な介護者が困っていること

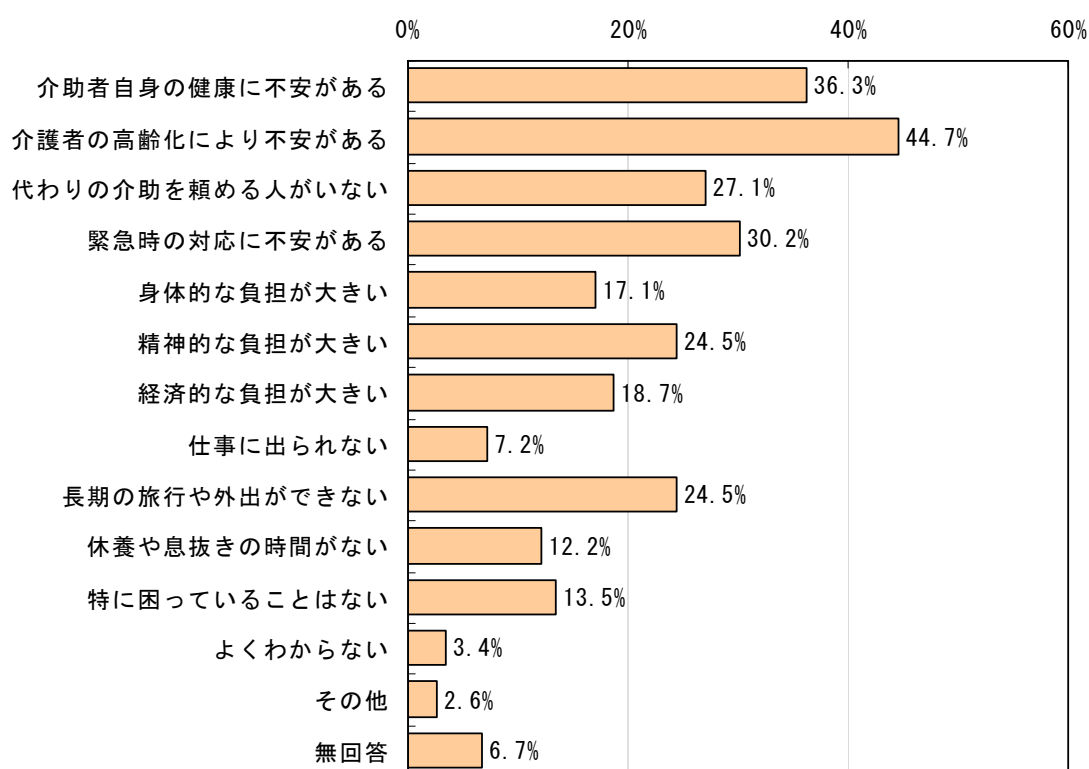
問 18 【問 14 で主な介護者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
 主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

全体では、「介護者の高齢化により不安がある」が 44.7%、「介護者自身の健康に不安がある」が 36.3%、「緊急時の対応に不安がある」が 30.2%となっています。

障害種別に見ると、「介護者の高齢化により不安がある」以外において、身体障害のある方や難病のある方では「介護者自身の健康に不安がある」、知的障害のある方では「緊急時の対応に不安がある」、精神障害のある方では「精神的な負担が大きい」が多くなっています。

なお、平成 21 年度に実施した千葉市障害者計画・障害福祉計画策定に係る実態調査結果（以下「前回調査」と記載）と比較すると、前回調査では「介護者自身の健康に不安がある」が 42.2%と最も多くなっていますが、今回調査で最も多かった「介護者の高齢化に不安がある」は今回新しく付け加えた設問であるため、前回調査の時に設定されていた選択肢を基準にみると、1 位、2 位の項目と順序は同じになっています。

●全体



(N=683)

●障害種別

		合計	介助者自身の健康に不安がある	介護者の高齢化により不安がある	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出不来	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	人数	683	248	305	185	206	117	167	128	49	167	83	92	23	18	46
	構成比		36.3%	44.7%	27.1%	30.2%	17.1%	24.5%	18.7%	7.2%	24.5%	12.2%	13.5%	3.4%	2.6%	6.7%
身体障害	人数	471	173	205	124	133	80	96	76	29	118	49	72	10	13	30
	構成比		36.7%	43.5%	26.3%	28.2%	17.0%	20.4%	16.1%	6.2%	25.1%	10.4%	15.3%	2.1%	2.8%	6.4%
知的障害	人数	155	57	75	46	58	32	45	27	13	39	27	15	5	7	13
	構成比		36.8%	48.4%	29.7%	37.4%	20.6%	29.0%	17.4%	8.4%	25.2%	17.4%	9.7%	3.2%	4.5%	8.4%
精神障害	人数	115	42	57	38	40	23	48	35	12	25	17	11	9	2	3
	構成比		36.5%	49.6%	33.0%	34.8%	20.0%	41.7%	30.4%	10.4%	21.7%	14.8%	9.6%	7.8%	1.7%	2.6%
難病	人数	153	59	75	37	41	29	34	29	6	36	19	19	4	6	10
	構成比		38.6%	49.0%	24.2%	26.8%	19.0%	22.2%	19.0%	3.9%	23.5%	12.4%	12.4%	2.6%	3.9%	6.5%
無回答	人数	14	4	5	2	1	2	2	5	1	1	0	1	2	0	2
	構成比		28.6%	35.7%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	35.7%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	14.3%

●介助者の年齢別

		合計	介助者自身の健康に不安がある	介護者の高齢化により不安がある	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出不来	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	人数	683	248	305	185	206	117	167	128	49	167	83	92	23	18	46
	構成比		36.3%	44.7%	27.1%	30.2%	17.1%	24.5%	18.7%	7.2%	24.5%	12.2%	13.5%	3.4%	2.6%	6.7%
20歳未満	人数	3	1	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	人数	8	2	0	1	3	2	4	2	0	0	2	0	2	0	1
	構成比		25.0%	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%
30代	人数	13	2	1	3	4	3	4	4	1	1	2	1	1	1	0
	構成比		15.4%	7.7%	23.1%	30.8%	23.1%	30.8%	30.8%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%
40代	人数	74	16	8	18	26	9	14	14	9	19	9	16	5	5	3
	構成比		21.6%	10.8%	24.3%	35.1%	12.2%	18.9%	18.9%	12.2%	25.7%	12.2%	21.6%	6.8%	6.8%	4.1%
50代	人数	129	40	35	45	54	26	41	29	20	42	24	19	5	4	5
	構成比		31.0%	27.1%	34.9%	41.9%	20.2%	31.8%	22.5%	15.5%	32.6%	18.6%	14.7%	3.9%	3.1%	3.9%
60代	人数	177	63	75	43	43	30	44	32	10	37	15	33	3	5	9
	構成比		35.6%	42.4%	24.3%	24.3%	16.9%	24.9%	18.1%	5.6%	20.9%	8.5%	18.6%	1.7%	2.8%	5.1%
70歳以上	人数	253	120	182	75	74	44	59	45	9	68	30	20	7	3	11
	構成比		47.4%	71.9%	29.6%	29.2%	17.4%	23.3%	17.8%	3.6%	26.9%	11.9%	7.9%	2.8%	1.2%	4.3%
無回答	人数	26	4	4	0	1	1	0	2	0	0	0	3	0	0	17
	構成比		15.4%	15.4%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%	0.0%	65.4%

4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

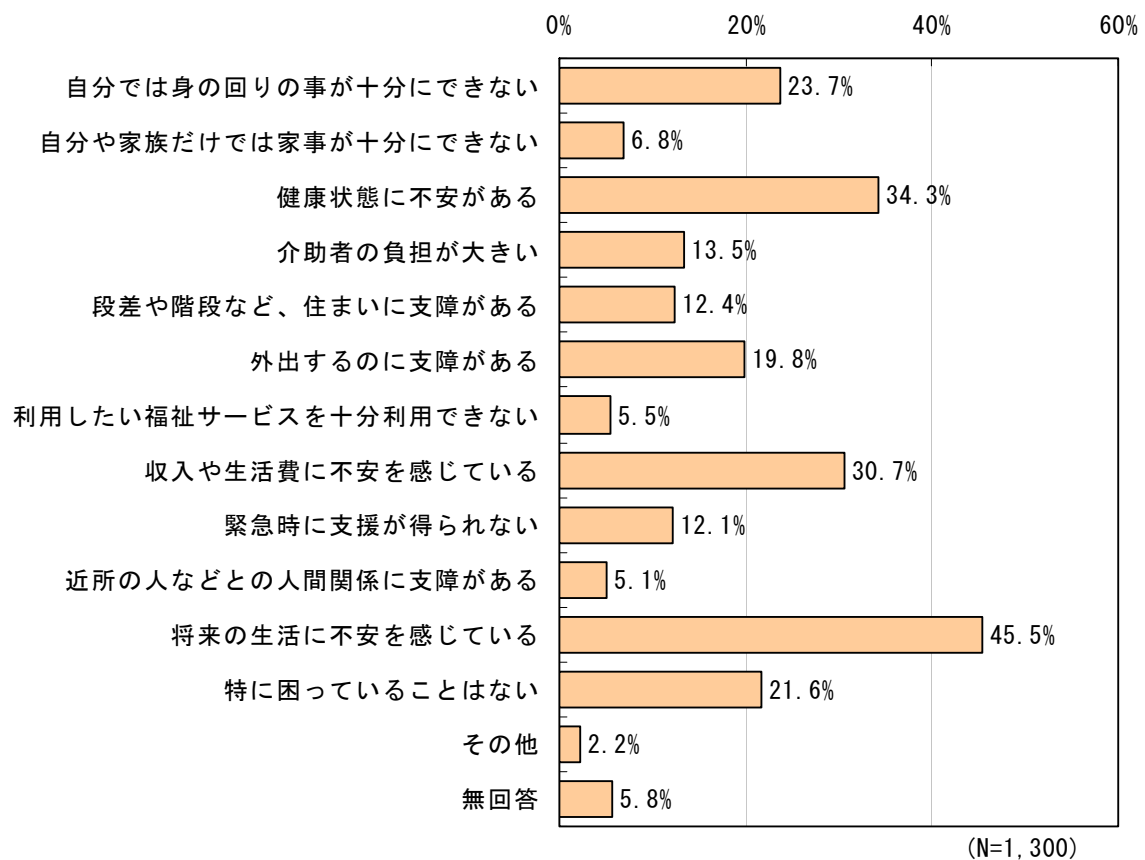
問 19 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「将来の生活に不安を感じている」が 45.5%、「健康状態に不安がある」が 34.3%、「収入や生活費に不安を感じている」が 30.7%となっています。

障害種別に見ると、「将来の生活に不安を感じている」以外において、身体障害のある方や難病のある方では「健康状態に不安がある」、知的障害のある方では「自分では身の回りの事が十分にできない」、精神障害のある方では「収入や生活費に不安を感じている」が多くなっています。なお、前回調査と比較すると順位は 4 位までは同じです。

年齢別に見ると、74 歳以下では「将来の生活に不安を感じている」、75 歳以上では「健康状態に不安がある」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族だけでは家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分に利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人など人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	1,300	308	89	446	175	161	258	72	399	157	66	591	281	29	75
	構成比		23.7%	6.8%	34.3%	13.5%	12.4%	19.8%	5.5%	30.7%	12.1%	5.1%	45.5%	21.6%	2.2%	5.8%
身体障害	人数	857	202	55	302	116	141	195	37	238	101	26	337	200	14	53
	構成比		23.6%	6.4%	35.2%	13.5%	16.5%	22.8%	4.3%	27.8%	11.8%	3.0%	39.3%	23.3%	1.6%	6.2%
知的障害	人数	251	77	19	63	47	15	44	34	69	42	20	149	47	3	14
	構成比		30.7%	7.6%	25.1%	18.7%	6.0%	17.5%	13.5%	27.5%	16.7%	8.0%	59.4%	18.7%	1.2%	5.6%
精神障害	人数	255	57	21	107	34	14	45	14	118	31	24	157	37	11	7
	構成比		22.4%	8.2%	42.0%	13.3%	5.5%	17.6%	5.5%	46.3%	12.2%	9.4%	61.6%	14.5%	4.3%	2.7%
難病	人数	255	78	23	114	43	40	60	13	78	32	10	120	40	8	10
	構成比		30.6%	9.0%	44.7%	16.9%	15.7%	23.5%	5.1%	30.6%	12.5%	3.9%	47.1%	15.7%	3.1%	3.9%
無回答	人数	35	6	2	8	6	5	3	0	12	2	2	11	10	1	3
	構成比		17.1%	5.7%	22.9%	17.1%	14.3%	8.6%	0.0%	34.3%	5.7%	5.7%	31.4%	28.6%	2.9%	8.6%

●年齢別

		合計	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族だけでは家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分に利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人など人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	1,300	308	89	446	175	161	258	72	399	157	66	591	281	29	75
	構成比		23.7%	6.8%	34.3%	13.5%	12.4%	19.8%	5.5%	30.7%	12.1%	5.1%	45.5%	21.6%	2.2%	5.8%
18～39歳	人数	289	80	15	86	50	18	46	33	116	47	26	180	47	9	9
	構成比		27.7%	5.2%	29.8%	17.3%	6.2%	15.9%	11.4%	40.1%	16.3%	9.0%	62.3%	16.3%	3.1%	3.1%
40～64歳	人数	374	63	30	130	34	34	63	18	122	40	21	198	82	9	16
	構成比		16.8%	8.0%	34.8%	9.1%	9.1%	16.8%	4.8%	32.6%	10.7%	5.6%	52.9%	21.9%	2.4%	4.3%
65～74歳	人数	300	63	13	91	33	41	54	6	75	22	11	102	96	6	20
	構成比		21.0%	4.3%	30.3%	11.0%	13.7%	18.0%	2.0%	25.0%	7.3%	3.7%	34.0%	32.0%	2.0%	6.7%
75歳以上	人数	315	94	30	130	57	64	91	14	76	44	7	101	51	4	30
	構成比		29.8%	9.5%	41.3%	18.1%	20.3%	28.9%	4.4%	24.1%	14.0%	2.2%	32.1%	16.2%	1.3%	9.5%
無回答	人数	22	8	1	9	1	4	4	1	10	4	1	10	5	1	0
	構成比		36.4%	4.5%	40.9%	4.5%	18.2%	18.2%	4.5%	45.5%	18.2%	4.5%	45.5%	22.7%	4.5%	0.0%

(2) 困ったときの相談先

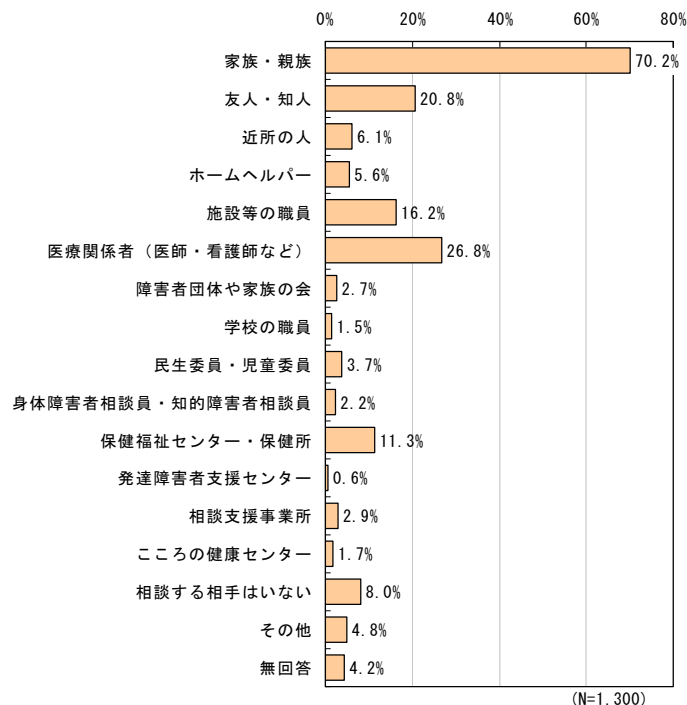
問 20 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「家族・親族」70.2%、「医療関係者（医師・看護師など）」が26.8%、「友人・知人」が20.8%となっています。

障害種別に見ると、「家族・親族」以外において、身体障害、精神障害、難病のある方では「医療関係者（医師・看護師など）」、知的障害のある方では「施設等の職員」が多くなっています。

前回調査と比較すると、順位は3位まで同じですが、「相談する相手はいない」が前回調査は2.6%であったのが、今回調査では8.0%に増加しているのが特徴です。

●全体



●障害種別

		合計	家族・親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者（医師・看護師など）	障害者団体や家族の会	学校の職員	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター・保健所	発達障害者支援センター	相談支援事業所	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全体	人数	1,300	913	270	79	73	211	349	35	19	48	29	147	8	38	22	104	63	55
	構成比		70.2%	20.8%	6.1%	5.6%	16.2%	26.8%	2.7%	1.5%	3.7%	2.2%	11.3%	0.6%	2.9%	1.7%	8.0%	4.8%	4.2%
身体障害	人数	857	608	161	56	62	107	228	17	3	40	13	87	1	11	3	71	38	39
	構成比		70.9%	18.8%	6.5%	7.2%	12.5%	26.6%	2.0%	0.4%	4.7%	1.5%	10.2%	0.1%	1.3%	0.4%	8.3%	4.4%	4.6%
知的障害	人数	251	170	47	11	5	111	47	15	16	6	14	43	6	18	1	14	11	12
	構成比		67.7%	18.7%	4.4%	2.0%	44.2%	18.7%	6.0%	6.4%	2.4%	5.6%	17.1%	2.4%	7.2%	0.4%	5.6%	4.4%	4.8%
精神障害	人数	255	184	76	14	8	33	104	12	3	7	3	37	2	12	19	20	16	2
	構成比		72.2%	29.8%	5.5%	3.1%	12.9%	40.8%	4.7%	1.2%	2.7%	1.2%	14.5%	0.8%	4.7%	7.5%	7.8%	6.3%	0.8%
難病	人数	255	189	52	11	21	37	82	5	2	10	4	29	1	3	5	19	13	9
	構成比		74.1%	20.4%	4.3%	8.2%	14.5%	32.2%	2.0%	0.8%	3.9%	1.6%	11.4%	0.4%	1.2%	2.0%	7.5%	5.1%	3.5%
無回答	人数	35	18	9	5	2	6	4	0	0	0	0	2	0	2	0	5	1	3
	構成比		51.4%	25.7%	14.3%	5.7%	17.1%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	5.7%	0.0%	14.3%	2.9%	8.6%

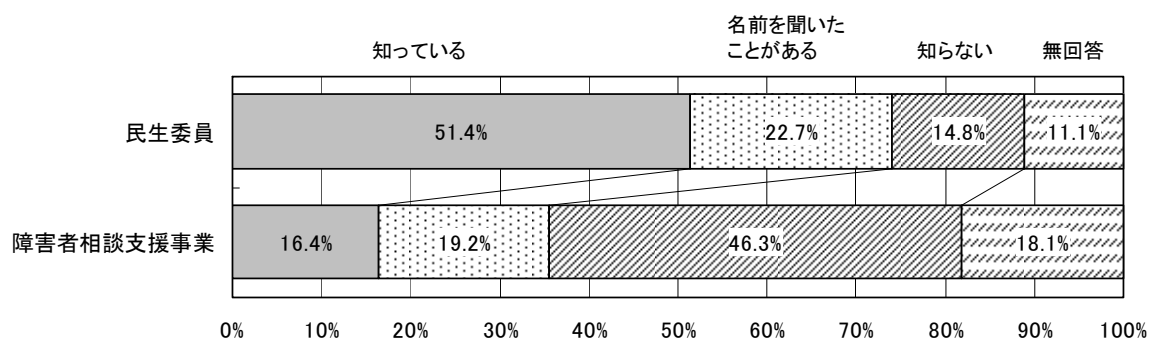
(3) 制度・事業の認知度

問21 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。

最も多い回答は、民生委員は「知っている」、障害者相談支援事業は「知らない」となっています。

障害種別に見ると、民生委員については、難病のある方や身体障害のある方で「知っている」がより多くなっています。障害者支援相談事業については、他障害の方と比較すると、知的障害のある方で「知っている」がより多くなっています。

●全体



●障害種別

民生委員

		合計	知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	人数	1,300	668	295	193	144
	構成比		51.4%	22.7%	14.8%	11.1%
身体障害	人数	857	507	182	88	80
	構成比		59.2%	21.2%	10.3%	9.3%
知的障害	人数	251	92	58	66	35
	構成比		36.7%	23.1%	26.3%	13.9%
精神障害	人数	255	101	75	58	21
	構成比		39.6%	29.4%	22.7%	8.2%
難病	人数	255	153	55	28	19
	構成比		60.0%	21.6%	11.0%	7.5%
無回答	人数	35	13	3	4	15
	構成比		37.1%	8.6%	11.4%	42.9%

障害者相談支援事業

		合計	知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	人数	1,300	213	250	602	235
	構成比		16.4%	19.2%	46.3%	18.1%
身体障害	人数	857	135	172	388	162
	構成比		15.8%	20.1%	45.3%	18.9%
知的障害	人数	251	69	51	91	40
	構成比		27.5%	20.3%	36.3%	15.9%
精神障害	人数	255	41	45	147	22
	構成比		16.1%	17.6%	57.6%	8.6%
難病	人数	255	45	54	119	37
	構成比		17.6%	21.2%	46.7%	14.5%
無回答	人数	35	3	1	11	20
	構成比		8.6%	2.9%	31.4%	57.1%

(4) 希望する相談制度

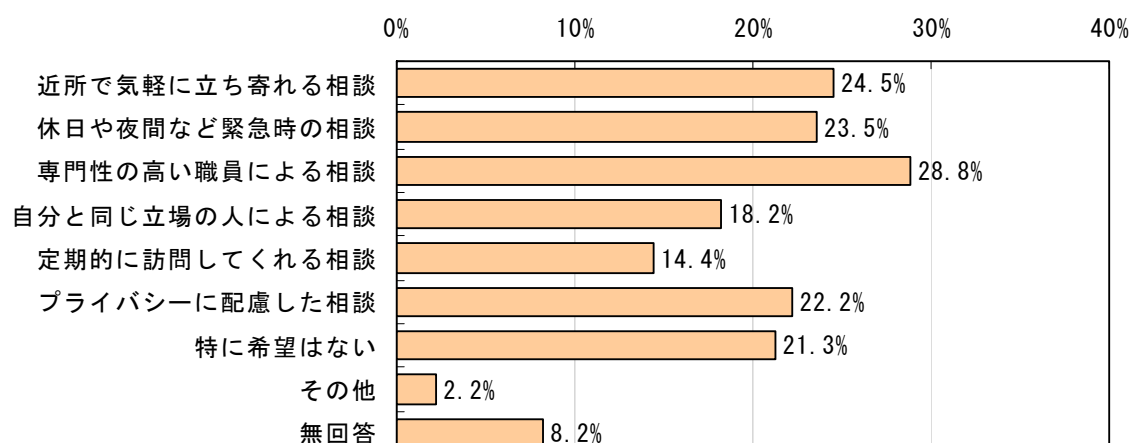
問 22 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。
（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」が 28.8%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が 24.5%、「休日や夜間など緊急時の相談」が 23.5%、「プライバシーに配慮した相談」が 22.2%となっています。

障害種別に見ると、精神障害のある方では「プライバシーに配慮した相談」が最も多くなっています。

年齢別に見ると、64 歳以下では「専門性の高い職員による相談」、65～74 歳では「特に希望はない」、75 歳以上では「休日や夜間など緊急時の相談」が最も多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	人数	1,300	319	306	375	237	187	289	277	29	107
	構成比		24.5%	23.5%	28.8%	18.2%	14.4%	22.2%	21.3%	2.2%	8.2%
身体障害	人数	857	192	196	224	125	122	158	200	17	72
	構成比		22.4%	22.9%	26.1%	14.6%	14.2%	18.4%	23.3%	2.0%	8.4%
知的障害	人数	251	81	65	94	49	32	56	41	7	17
	構成比		32.3%	25.9%	37.5%	19.5%	12.7%	22.3%	16.3%	2.8%	6.8%
精神障害	人数	255	80	64	84	80	43	93	35	6	17
	構成比		31.4%	25.1%	32.9%	31.4%	16.9%	36.5%	13.7%	2.4%	6.7%
難病	人数	255	55	58	83	46	40	50	44	9	16
	構成比		21.6%	22.7%	32.5%	18.0%	15.7%	19.6%	17.3%	3.5%	6.3%
無回答	人数	35	3	4	4	5	2	5	11	1	7
	構成比		8.6%	11.4%	11.4%	14.3%	5.7%	14.3%	31.4%	2.9%	20.0%

●年齢別

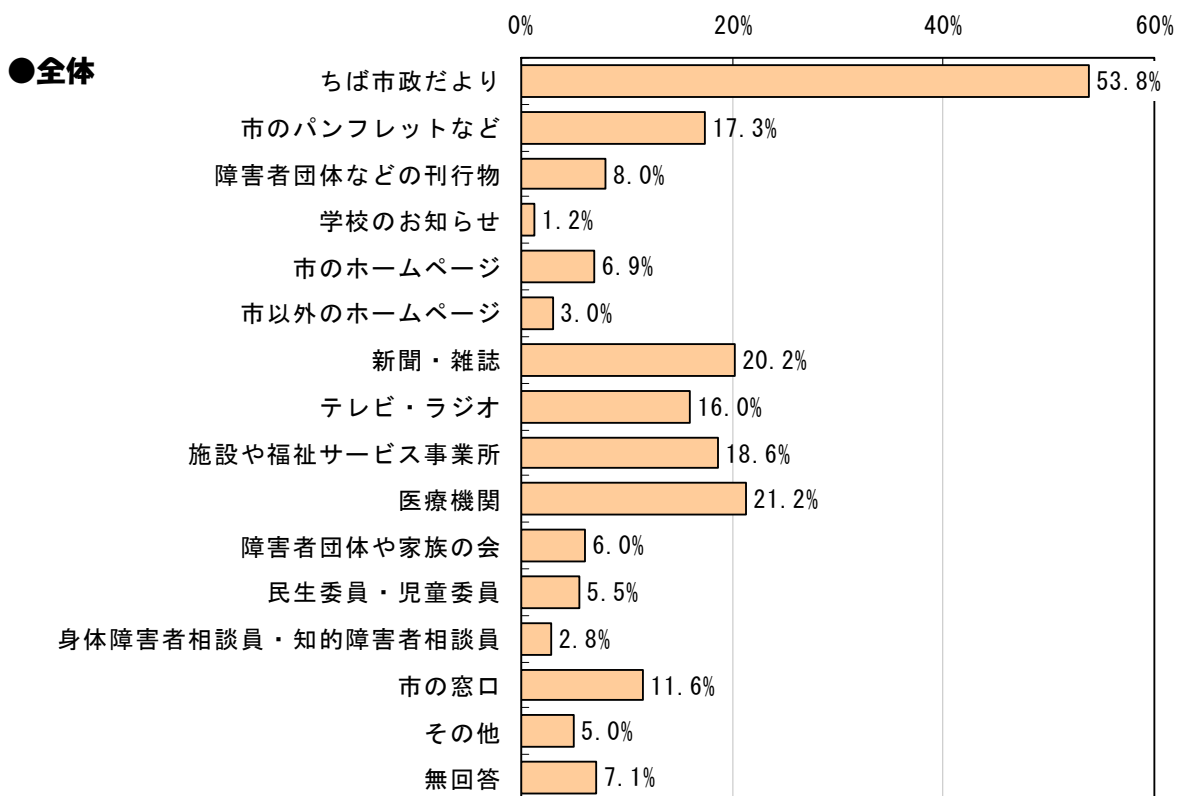
		合計	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	人数	1,300	319	306	375	237	187	289	277	29	107
	構成比		24.5%	23.5%	28.8%	18.2%	14.4%	22.2%	21.3%	2.2%	8.2%
18～39歳	人数	289	97	80	116	86	39	84	40	6	13
	構成比		33.6%	27.7%	40.1%	29.8%	13.5%	29.1%	13.8%	2.1%	4.5%
40～64歳	人数	374	98	78	106	82	50	100	71	9	24
	構成比		26.2%	20.9%	28.3%	21.9%	13.4%	26.7%	19.0%	2.4%	6.4%
65～74歳	人数	300	56	57	68	36	31	56	93	9	29
	構成比		18.7%	19.0%	22.7%	12.0%	10.3%	18.7%	31.0%	3.0%	9.7%
75歳以上	人数	315	65	85	81	27	63	46	69	4	38
	構成比		20.6%	27.0%	25.7%	8.6%	20.0%	14.6%	21.9%	1.3%	12.1%
無回答	人数	22	3	6	4	6	4	3	4	1	3
	構成比		13.6%	27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	13.6%	18.2%	4.5%	13.6%

(5) 福祉情報の入手先

問 23 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。
（〇はいくつでも）

全体では、「ちば市政だより」が53.8%、「医療機関」が21.2%、「新聞・雑誌」が20.2%となっています。

障害種別に見ると、「ちば市政だより」以外において、身体障害のある方では「新聞・雑誌」、精神障害のある方や難病のある方では「医療機関」が多くなっています。知的障害のある方では「施設や福祉サービス事業所」が最も多くなっています。



(N=1,300)

●障害種別

		合計	ちば市政だより	市のパンフレットなど	障害者団体などの刊行物	学校のお知らせ	市のホームページ	市以外のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	施設や福祉サービス事業所	医療機関	障害者団体や家族の会	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	その他	無回答
全体	人数	1,300	700	225	104	16	90	39	263	208	242	276	78	71	36	151	65	92
	構成比		53.8%	17.3%	8.0%	1.2%	6.9%	3.0%	20.2%	16.0%	18.6%	21.2%	6.0%	5.5%	2.8%	11.6%	5.0%	7.1%
身体障害	人数	857	509	159	64	2	58	19	201	155	132	184	41	63	21	106	35	56
	構成比		59.4%	18.6%	7.5%	0.2%	6.8%	2.2%	23.5%	18.1%	15.4%	21.5%	4.8%	7.4%	2.5%	12.4%	4.1%	6.5%
知的障害	人数	251	100	38	44	13	8	2	25	24	114	23	42	1	14	31	14	20
	構成比		39.8%	15.1%	17.5%	5.2%	3.2%	0.8%	10.0%	9.6%	45.4%	9.2%	16.7%	0.4%	5.6%	12.4%	5.6%	8.0%
精神障害	人数	255	114	35	15	3	24	17	43	37	35	87	15	4	5	26	20	14
	構成比		44.7%	13.7%	5.9%	1.2%	9.4%	6.7%	16.9%	14.5%	13.7%	34.1%	5.9%	1.6%	2.0%	10.2%	7.8%	5.5%
難病	人数	255	153	51	19	0	16	5	52	44	46	69	13	15	9	33	11	7
	構成比		60.0%	20.0%	7.5%	0.0%	6.3%	2.0%	20.4%	17.3%	18.0%	27.1%	5.1%	5.9%	3.5%	12.9%	4.3%	2.7%
無回答	人数	35	16	5	0	0	1	1	6	4	3	4	1	4	0	2	3	8
	構成比		45.7%	14.3%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	17.1%	11.4%	8.6%	11.4%	2.9%	11.4%	0.0%	5.7%	8.6%	22.9%

5. 暮らしについて

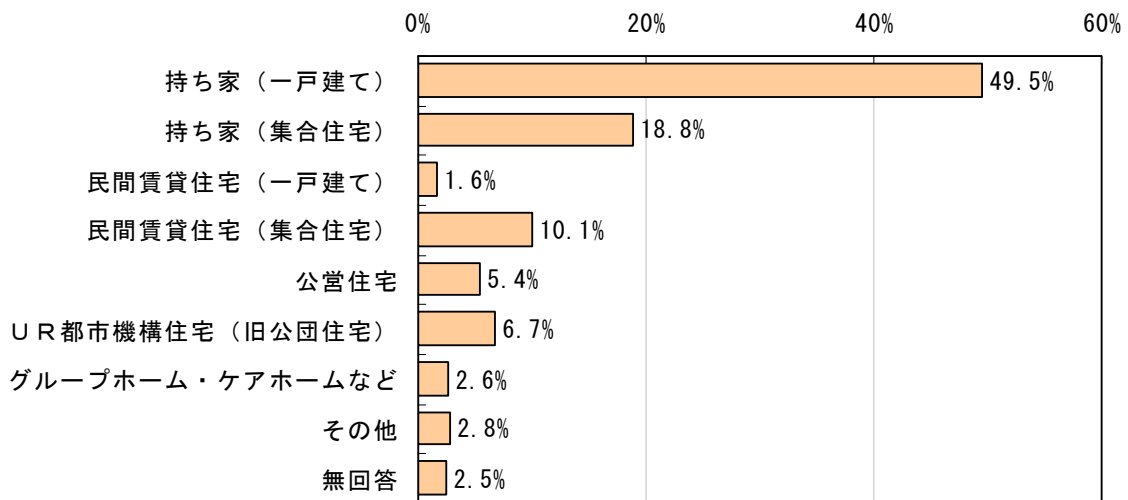
(1) 住まいの種類

問 24 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

全体では、「持ち家（一戸建て）」が49.5%、「持ち家（集合住宅）」が18.8%となっています。

障害種別に見ると、精神障害のある方では「民間賃貸住宅（集合住宅）」が、他より多くなっています。

●全体



(N=1, 300)

●障害種別

		合計	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	民間賃貸 住宅(一戸建て)	民間賃貸 住宅(集合住宅)	公営住宅	UR都市 機構住宅 (旧公団住宅)	グループ ホーム・ ケアホームなど	その他	無回答
全体	人数	1,300	643	245	21	131	70	87	34	36	33
	構成比		49.5%	18.8%	1.6%	10.1%	5.4%	6.7%	2.6%	2.8%	2.5%
身体障害	人数	857	447	167	10	74	39	59	18	23	20
	構成比		52.2%	19.5%	1.2%	8.6%	4.6%	6.9%	2.1%	2.7%	2.3%
知的障害	人数	251	124	46	5	20	14	16	15	4	7
	構成比		49.4%	18.3%	2.0%	8.0%	5.6%	6.4%	6.0%	1.6%	2.8%
精神障害	人数	255	106	43	9	43	19	15	4	11	5
	構成比		41.6%	16.9%	3.5%	16.9%	7.5%	5.9%	1.6%	4.3%	2.0%
難病	人数	255	130	48	4	29	16	16	5	6	1
	構成比		51.0%	18.8%	1.6%	11.4%	6.3%	6.3%	2.0%	2.4%	0.4%
無回答	人数	35	12	5	0	5	4	1	2	1	5
	構成比		34.3%	14.3%	0.0%	14.3%	11.4%	2.9%	5.7%	2.9%	14.3%

(2) 住まいについて困っていること

問 25 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

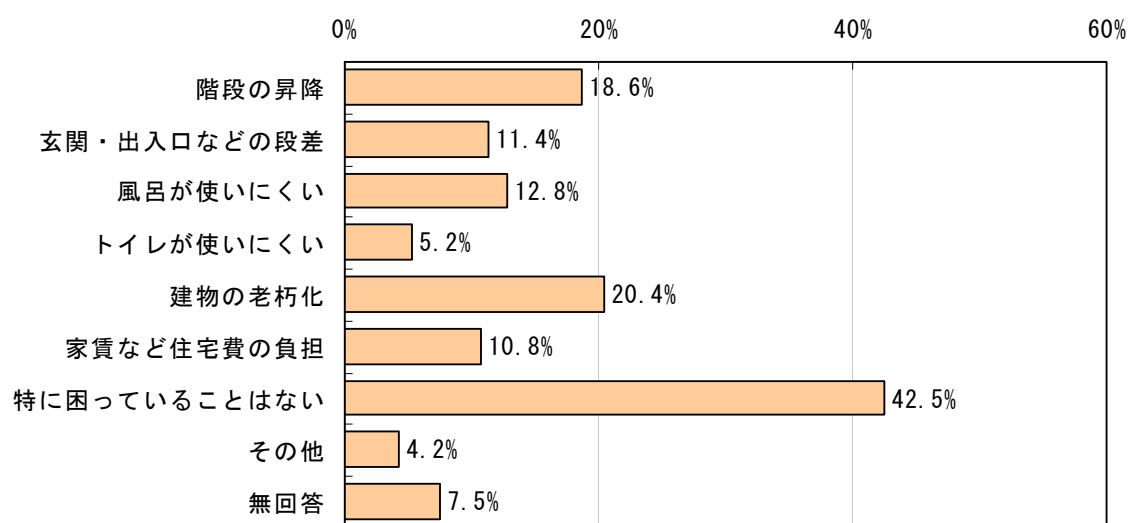
全体では、「特に困っていることはない」が42.5%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「建物の老朽化」が20.4%、「階段の昇降」が18.6%となっています。

障害種別に見ると、「特に困っていることはない」以外において、身体障害のある方や難病のある方では「階段の昇降」、知的障害のある方や精神障害のある方では「建物の老朽化」が多くなっています。

住まいの種類別に見ると、公営住宅の方では「建物の老朽化」、民間住宅及びUR 都市機構住宅の方では「家賃などの住宅費の負担」、それ以外の方では「特に困っていることはない」が最も多くなっています。

身体障害の種類別に見ると、「特に困っていることはない」以外において、肢体不自由の方、音声・言語・そしゃく機能障害の方、聴覚・平衡機能障害の方では「階段の昇降」、内部機能障害の方では「建物の老朽化」が多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	1,300	242	148	166	68	265	140	552	55	97
	構成比		18.6%	11.4%	12.8%	5.2%	20.4%	10.8%	42.5%	4.2%	7.5%
身体障害	人数	857	204	131	136	51	166	85	332	35	65
	構成比		23.8%	15.3%	15.9%	6.0%	19.4%	9.9%	38.7%	4.1%	7.6%
知的障害	人数	251	20	15	25	10	51	14	128	8	20
	構成比		8.0%	6.0%	10.0%	4.0%	20.3%	5.6%	51.0%	3.2%	8.0%
精神障害	人数	255	37	15	23	11	67	42	107	13	18
	構成比		14.5%	5.9%	9.0%	4.3%	26.3%	16.5%	42.0%	5.1%	7.1%
難病	人数	255	61	37	32	10	56	30	89	10	15
	構成比		23.9%	14.5%	12.5%	3.9%	22.0%	11.8%	34.9%	3.9%	5.9%
無回答	人数	35	2	2	2	1	5	4	20	3	3
	構成比		5.7%	5.7%	5.7%	2.9%	14.3%	11.4%	57.1%	8.6%	8.6%

●住まいの種類別

		合計	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	1,300	242	148	166	68	265	140	552	55	97
	構成比		18.6%	11.4%	12.8%	5.2%	20.4%	10.8%	42.5%	4.2%	7.5%
持ち家(一戸建て)	人数	842	122	93	75	25	150	10	300	23	44
	構成比		14.5%	11.0%	8.9%	3.0%	17.8%	1.2%	35.6%	2.7%	5.2%
持ち家(集合住宅)	人数	283	42	11	21	5	32	18	135	5	14
	構成比		14.8%	3.9%	7.4%	1.8%	11.3%	6.4%	47.7%	1.8%	4.9%
民間賃貸住宅(一戸建て)	人数	37	2	2	3	2	9	11	6	2	0
	構成比		5.4%	5.4%	8.1%	5.4%	24.3%	29.7%	16.2%	5.4%	0.0%
民間賃貸住宅(集合住宅)	人数	193	25	21	22	12	25	42	34	9	3
	構成比		13.0%	10.9%	11.4%	6.2%	13.0%	21.8%	17.6%	4.7%	1.6%
公営住宅	人数	112	19	4	17	8	25	12	16	7	4
	構成比		17.0%	3.6%	15.2%	7.1%	22.3%	10.7%	14.3%	6.3%	3.6%
UR都市機構住宅(旧公団住宅)	人数	141	24	10	10	11	20	38	20	3	5
	構成比		17.0%	7.1%	7.1%	7.8%	14.2%	27.0%	14.2%	2.1%	3.5%
グループホーム・ケアホームなど	人数	38	3	2	7	1	2	1	20	0	2
	構成比		7.9%	5.3%	18.4%	2.6%	5.3%	2.6%	52.6%	0.0%	5.3%
その他	人数	52	4	3	7	4	2	7	18	5	2
	構成比		7.7%	5.8%	13.5%	7.7%	3.8%	13.5%	34.6%	9.6%	3.8%
無回答	人数	35	1	2	4	0	0	1	3	1	23
	構成比		2.9%	5.7%	11.4%	0.0%	0.0%	2.9%	8.6%	2.9%	65.7%

●身体障害の種類別

		合計	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	857	204	131	136	51	166	85	332	35	65
	構成比		23.8%	15.3%	15.9%	6.0%	19.4%	9.9%	38.7%	4.1%	7.6%
肢体不自由	人数	666	119	93	86	31	85	44	157	21	30
	構成比		17.9%	14.0%	12.9%	4.7%	12.8%	6.6%	23.6%	3.2%	4.5%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数	22	7	9	10	3	6	8	12	2	4
	構成比		31.8%	40.9%	45.5%	13.6%	27.3%	36.4%	54.5%	9.1%	18.2%
視覚障害	人数	97	20	14	13	6	18	10	26	1	7
	構成比		20.6%	14.4%	13.4%	6.2%	18.6%	10.3%	26.8%	1.0%	7.2%
聴覚・平衡機能障害	人数	64	16	12	6	1	12	4	23	5	9
	構成比		25.0%	18.8%	9.4%	1.6%	18.8%	6.3%	35.9%	7.8%	14.1%
内部機能障害(免疫機能障害含む)	人数	307	53	28	29	14	59	29	124	9	14
	構成比		17.3%	9.1%	9.4%	4.6%	19.2%	9.4%	40.4%	2.9%	4.6%
無回答	人数	49	11	4	7	2	7	1	10	1	6
	構成比		22.4%	8.2%	14.3%	4.1%	14.3%	2.0%	20.4%	2.0%	12.2%

(3) 外出の頻度

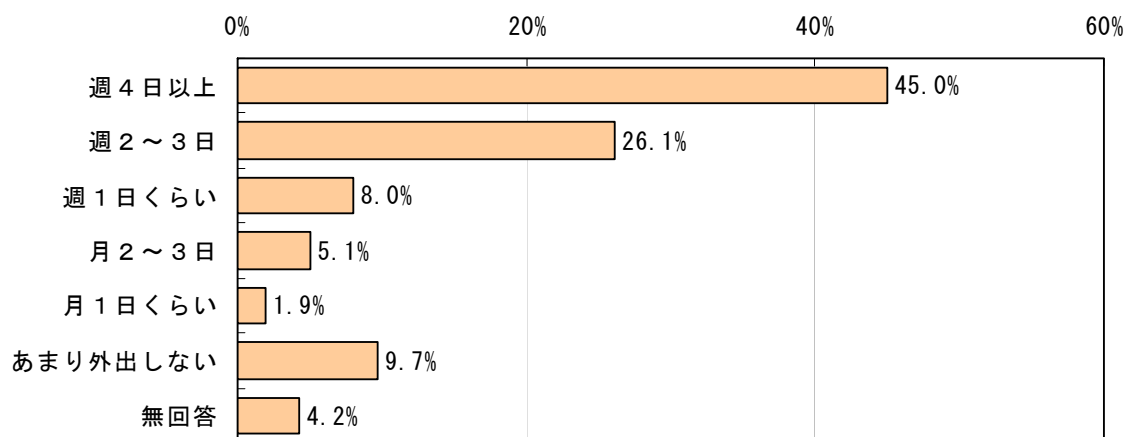
問 26 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

「週4日以上」が45.0%、「週2～3日」が26.1%となっています。

障害種別に見ると、知的障害のある方において、外出する頻度は他より多くなっています。

年齢別に見ると、75歳以上の方では「あまり外出しない」が他より多くなっています。

●全体



(N=1, 300)

●障害種別

		合計	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	人数	1,300	585	339	104	66	25	126	55
	構成比		45.0%	26.1%	8.0%	5.1%	1.9%	9.7%	4.2%
身体障害	人数	857	332	260	74	43	21	88	39
	構成比		38.7%	30.3%	8.6%	5.0%	2.5%	10.3%	4.6%
知的障害	人数	251	175	26	14	11	3	10	12
	構成比		69.7%	10.4%	5.6%	4.4%	1.2%	4.0%	4.8%
精神障害	人数	255	122	62	20	15	2	29	5
	構成比		47.8%	24.3%	7.8%	5.9%	0.8%	11.4%	2.0%
難病	人数	255	100	79	18	13	6	32	7
	構成比		39.2%	31.0%	7.1%	5.1%	2.4%	12.5%	2.7%
無回答	人数	35	14	10	2	1	1	4	3
	構成比		40.0%	28.6%	5.7%	2.9%	2.9%	11.4%	8.6%

●年齢別

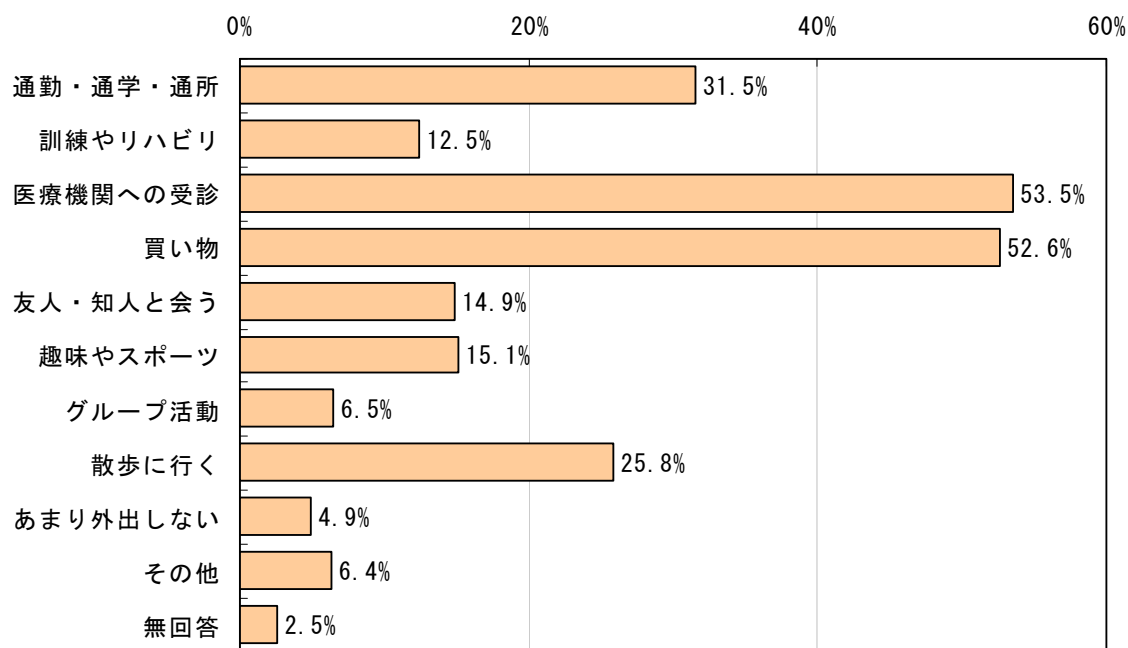
		合計	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	人数	1,300	585	339	104	66	25	126	55
	構成比		45.0%	26.1%	8.0%	5.1%	1.9%	9.7%	4.2%
18～39歳	人数	289	196	38	21	11	1	14	8
	構成比		67.8%	13.1%	7.3%	3.8%	0.3%	4.8%	2.8%
40～64歳	人数	374	193	87	27	17	5	27	18
	構成比		51.6%	23.3%	7.2%	4.5%	1.3%	7.2%	4.8%
65～74歳	人数	300	120	100	26	16	9	16	13
	構成比		40.0%	33.3%	8.7%	5.3%	3.0%	5.3%	4.3%
75歳以上	人数	315	67	109	29	21	9	67	13
	構成比		21.3%	34.6%	9.2%	6.7%	2.9%	21.3%	4.1%
無回答	人数	22	9	5	1	1	1	2	3
	構成比		40.9%	22.7%	4.5%	4.5%	4.5%	9.1%	13.6%

(4) 外出の目的

問27 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では、「医療機関への受診」が53.5%、「買い物」が52.6%となっています。
障害種別に見ると、知的障害のある方では「通勤・通学・通所」が多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

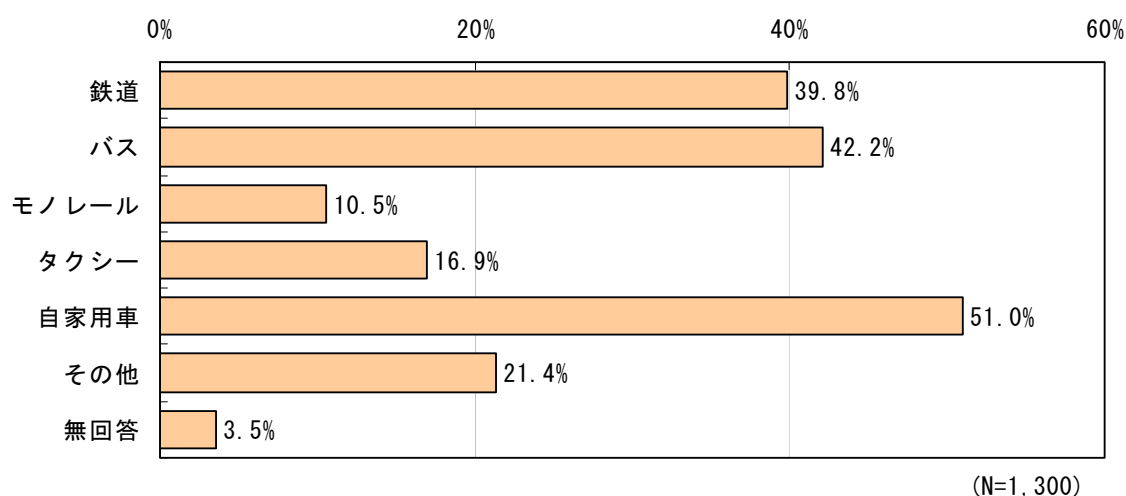
		合計	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	人数	1,300	410	162	696	684	194	196	84	336	64	83	33
	構成比		31.5%	12.5%	53.5%	52.6%	14.9%	15.1%	6.5%	25.8%	4.9%	6.4%	2.5%
身体障害	人数	857	179	142	494	445	130	131	58	229	41	57	24
	構成比		20.9%	16.6%	57.6%	51.9%	15.2%	15.3%	6.8%	26.7%	4.8%	6.7%	2.8%
知的障害	人数	251	184	12	73	116	28	34	24	57	4	15	6
	構成比		73.3%	4.8%	29.1%	46.2%	11.2%	13.5%	9.6%	22.7%	1.6%	6.0%	2.4%
精神障害	人数	255	96	21	164	145	37	37	12	64	17	19	4
	構成比		37.6%	8.2%	64.3%	56.9%	14.5%	14.5%	4.7%	25.1%	6.7%	7.5%	1.6%
難病	人数	255	59	41	167	133	33	35	14	69	16	21	6
	構成比		23.1%	16.1%	65.5%	52.2%	12.9%	13.7%	5.5%	27.1%	6.3%	8.2%	2.4%
無回答	人数	35	6	3	17	18	5	4	0	7	4	3	2
	構成比		17.1%	8.6%	48.6%	51.4%	14.3%	11.4%	0.0%	20.0%	11.4%	8.6%	5.7%

(5) 外出時の移動手段

問 28 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。（〇はいくつでも）

全体では、「自家用車」が51.0%、「バス」が42.2%、「鉄道」が39.8%となっています。
障害種別に見ると、身体障害のある方や難病のある方では「自家用車」、知的障害のある方は「バス」、精神障害のある方では「鉄道」、「バス」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全体	人数	1,300	518	548	137	220	663	278	46
	構成比		39.8%	42.2%	10.5%	16.9%	51.0%	21.4%	3.5%
身体障害	人数	857	285	323	79	183	488	153	30
	構成比		33.3%	37.7%	9.2%	21.4%	56.9%	17.9%	3.5%
知的障害	人数	251	120	133	41	16	111	67	9
	構成比		47.8%	53.0%	16.3%	6.4%	44.2%	26.7%	3.6%
精神障害	人数	255	129	122	26	25	97	71	9
	構成比		50.6%	47.8%	10.2%	9.8%	38.0%	27.8%	3.5%
難病	人数	255	92	100	27	54	131	49	7
	構成比		36.1%	39.2%	10.6%	21.2%	51.4%	19.2%	2.7%
無回答	人数	35	15	13	0	6	19	9	2
	構成比		42.9%	37.1%	0.0%	17.1%	54.3%	25.7%	5.7%

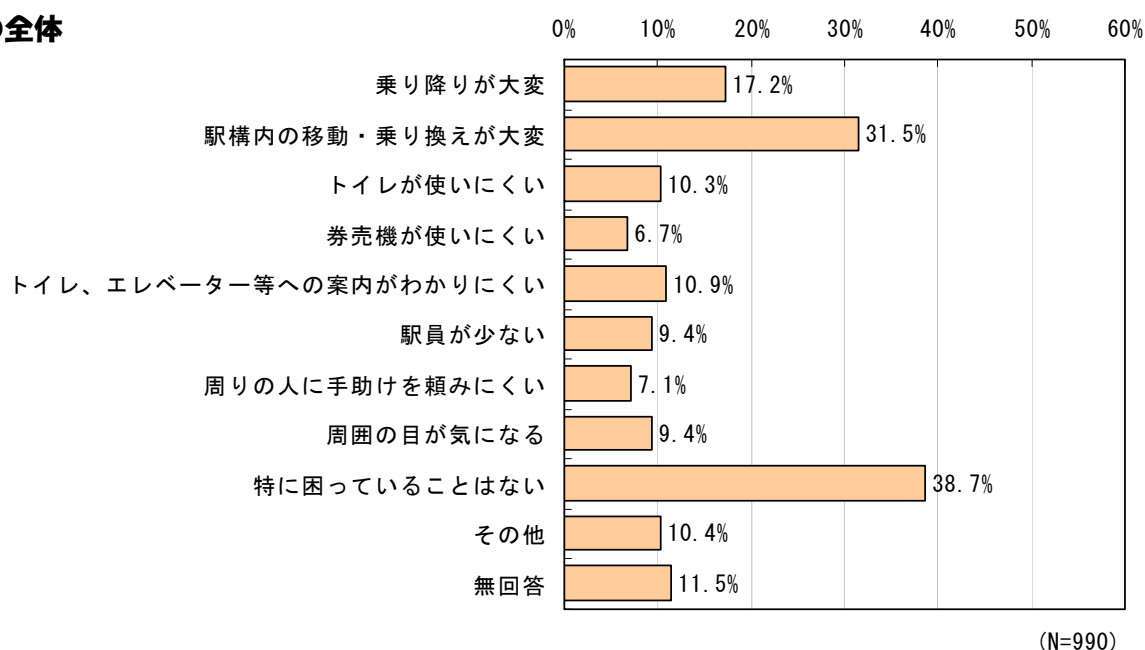
(6) 鉄道利用の際に困っていること（鉄道を使っていない方を除いた数で集計）

問 29 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が38.7%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「駅構内の移動・乗り換えが大変」が31.5%、「乗り降りが大変」が17.2%となっています。

障害種別に見ると、身体障害のある方や難病のある方では「駅構内の移動・乗り換えが大変」、「乗り降りが大変」が他より多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	990	170	312	102	66	108	93	70	93	383	103	114
	構成比		17.2%	31.5%	10.3%	6.7%	10.9%	9.4%	7.1%	9.4%	38.7%	10.4%	11.5%
身体障害	人数	613	141	245	70	49	87	53	46	24	212	63	77
	構成比		23.0%	40.0%	11.4%	8.0%	14.2%	8.6%	7.5%	3.9%	34.6%	10.3%	12.6%
知的障害	人数	203	23	48	22	21	14	26	26	41	74	29	23
	構成比		11.3%	23.6%	10.8%	10.3%	6.9%	12.8%	12.8%	20.2%	36.5%	14.3%	11.3%
精神障害	人数	218	19	45	21	5	16	17	12	41	102	19	18
	構成比		8.7%	20.6%	9.6%	2.3%	7.3%	7.8%	5.5%	18.8%	46.8%	8.7%	8.3%
難病	人数	194	47	77	25	15	19	15	16	7	63	24	27
	構成比		24.2%	39.7%	12.9%	7.7%	9.8%	7.7%	8.2%	3.6%	32.5%	12.4%	13.9%
無回答	人数	29	4	9	2	1	1	4	2	4	10	0	6
	構成比		13.8%	31.0%	6.9%	3.4%	3.4%	13.8%	6.9%	13.8%	34.5%	0.0%	20.7%

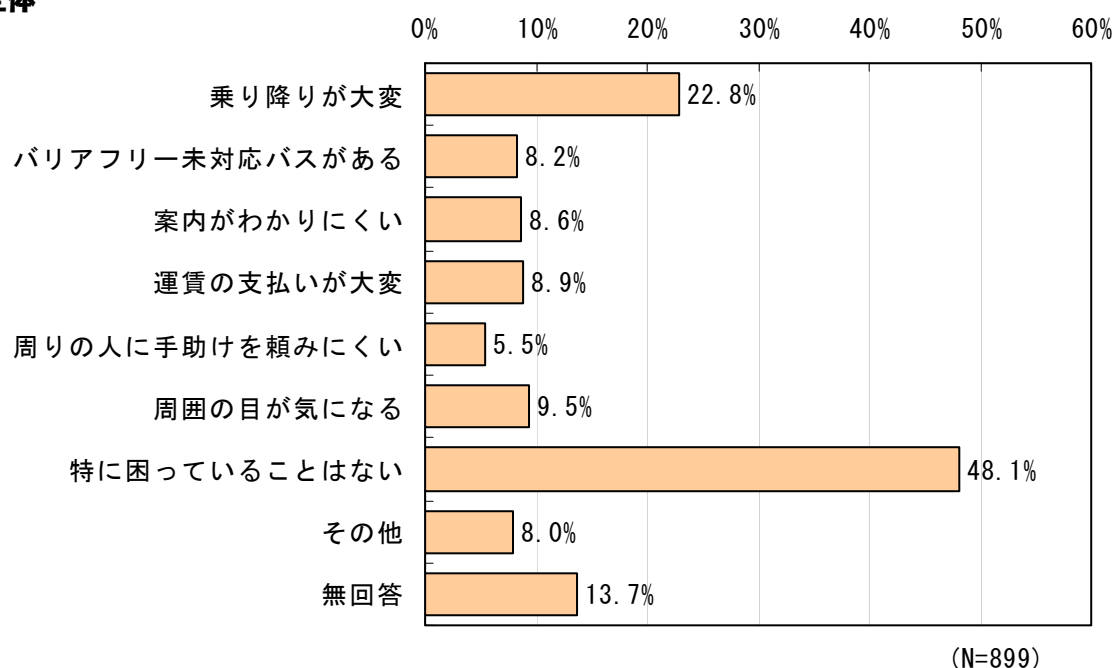
(7) 路線バス利用の際に困っていること（バスを使っていない方を除いた数で集計）

問 30 あなたは、路線バスを利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が48.1%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「乗り降りが大変」が22.8%となっています。

障害種別に見ると、身体障害のある方や難病のある方では「乗り降りが大変」、知的障害のある方や精神障害のある方では「周囲の目が気になる」が多くなっています。

●全体



●障害種別

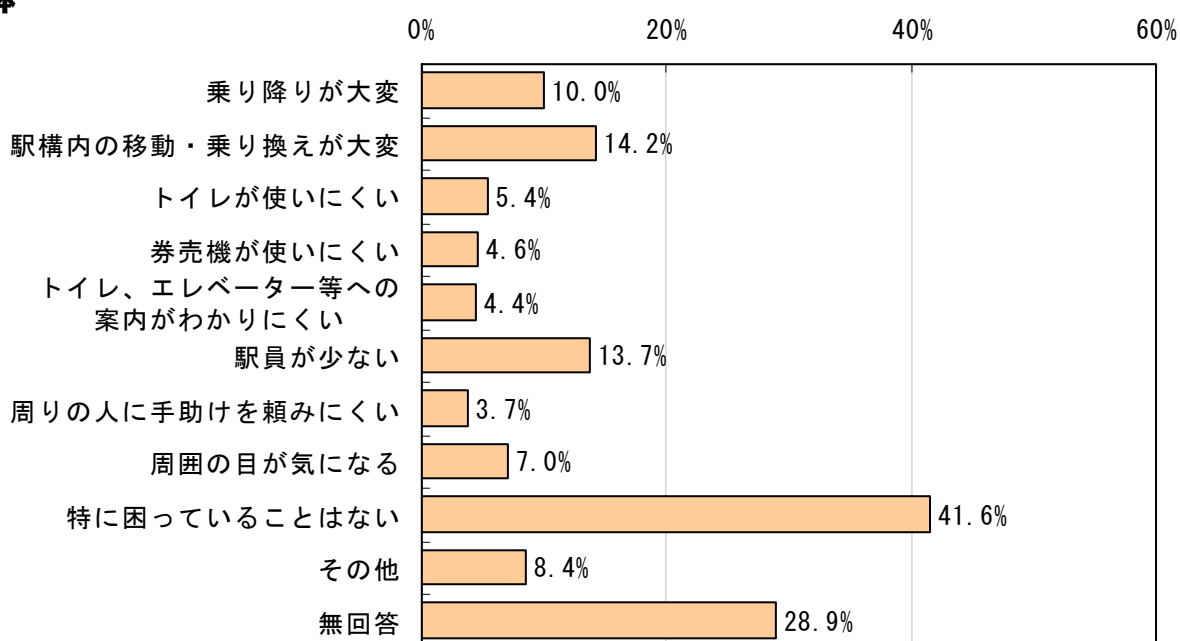
		合計	乗り降り が大変	バリアフ リー未 対応バ スがあ る	案内が わかり にくい	運賃の 支払い が大変	周りの 人に手 助けを 頼みに くい	周囲の 目が気 になる	特に 困って いるこ とはな い	その他	無回答
全体	人数	899	205	74	77	80	49	85	432	72	123
	構成比		22.8%	8.2%	8.6%	8.9%	5.5%	9.5%	48.1%	8.0%	13.7%
身体障害	人数	555	178	65	45	42	27	28	250	46	80
	構成比		32.1%	11.7%	8.1%	7.6%	4.9%	5.0%	45.0%	8.3%	14.4%
知的障害	人数	188	24	13	20	27	19	38	87	12	25
	構成比		12.8%	6.9%	10.6%	14.4%	10.1%	20.2%	46.3%	6.4%	13.3%
精神障害	人数	201	16	6	18	15	7	32	100	22	21
	構成比		8.0%	3.0%	9.0%	7.5%	3.5%	15.9%	49.8%	10.9%	10.4%
難病	人数	178	46	17	18	11	9	7	70	26	28
	構成比		25.8%	9.6%	10.1%	6.2%	5.1%	3.9%	39.3%	14.6%	15.7%
無回答	人数	26	8	1	1	4	1	3	13	2	4
	構成比		30.8%	3.8%	3.8%	15.4%	3.8%	11.5%	50.0%	7.7%	15.4%

(8) モノレール利用の際に困っていること（モノレールを使っていない方を除いた数で集計）

問31 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が41.6%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「駅構内の移動・乗り換えが大変」が14.2%、「駅員が少ない」が13.7%となっています。

●全体



(N=570)

●障害種別

		合計	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	570	57	81	31	26	25	78	21	40	237	48	165
	構成比		10.0%	14.2%	5.4%	4.6%	4.4%	13.7%	3.7%	7.0%	41.6%	8.4%	28.9%
身体障害	人数	352	47	62	24	18	18	47	13	11	138	30	109
	構成比		13.4%	17.6%	6.8%	5.1%	5.1%	13.4%	3.7%	3.1%	39.2%	8.5%	31.0%
知的障害	人数	126	13	13	7	4	5	25	6	21	50	14	28
	構成比		10.3%	10.3%	5.6%	3.2%	4.0%	19.8%	4.8%	16.7%	39.7%	11.1%	22.2%
精神障害	人数	118	4	12	4	2	5	12	3	14	57	8	30
	構成比		3.4%	10.2%	3.4%	1.7%	4.2%	10.2%	2.5%	11.9%	48.3%	6.8%	25.4%
難病	人数	121	15	20	5	4	2	15	1	2	43	9	36
	構成比		12.4%	16.5%	4.1%	3.3%	1.7%	12.4%	0.8%	1.7%	35.5%	7.4%	29.8%
無回答	人数	19	3	3	1	3	1	2	2	0	7	0	8
	構成比		15.8%	15.8%	5.3%	15.8%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	36.8%	0.0%	42.1%

(9) 外出するときに困っていること

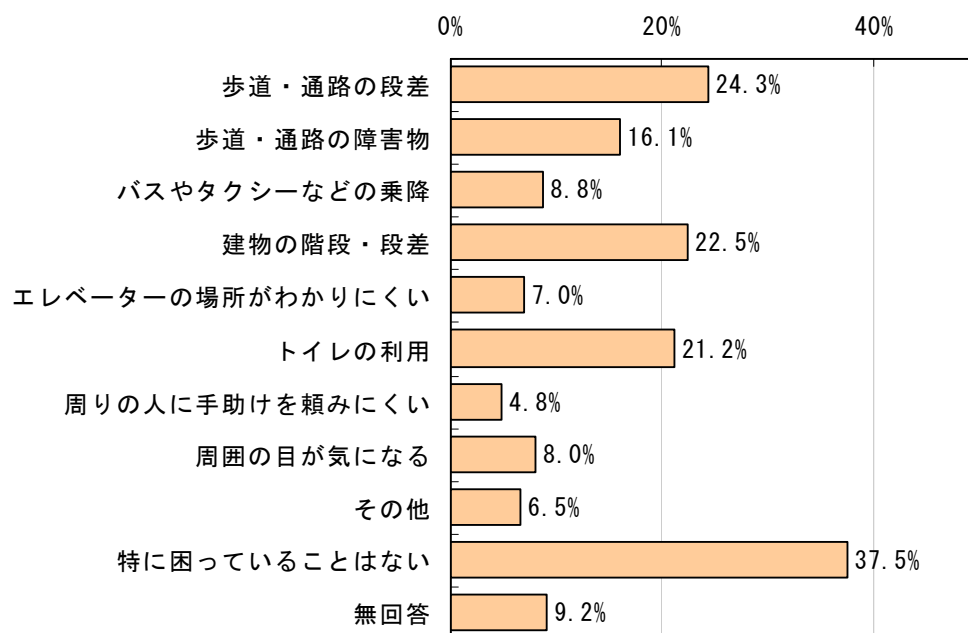
問 32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「特に困っていることはない」が37.5%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「歩道・通路の段差」が24.3%、「建物の階段・段差」が22.5%、「トイレの利用」が21.2%となっています。

障害種別に見ると、身体障害のある方や難病のある方では「歩道・通路の段差」、知的障害のある方では「トイレの利用」、精神障害のある方では「周囲の目が気になる」が多くなっています。

前回調査と比較すると「特に困っていることはない」が6.9ポイント増加しています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

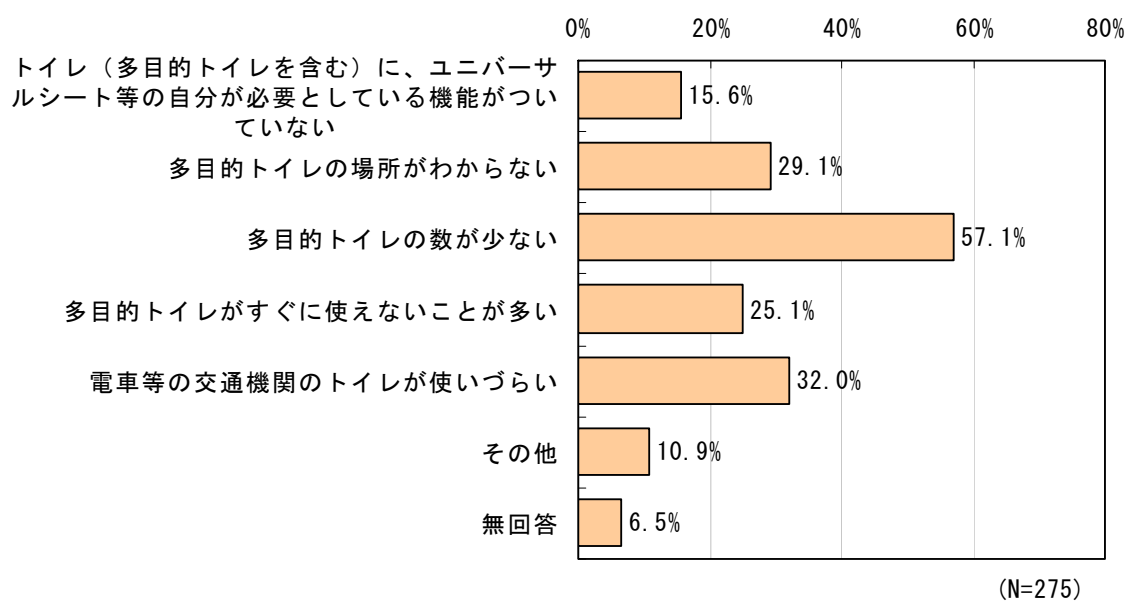
		合計	歩道・通路の段差	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	人数	1,300	316	209	114	292	91	275	62	104	85	488	119
	構成比		24.3%	16.1%	8.8%	22.5%	7.0%	21.2%	4.8%	8.0%	6.5%	37.5%	9.2%
身体障害	人数	857	271	171	103	262	75	216	34	39	52	270	76
	構成比		31.6%	20.0%	12.0%	30.6%	8.8%	25.2%	4.0%	4.6%	6.1%	31.5%	8.9%
知的障害	人数	251	39	29	10	31	13	46	23	38	24	107	22
	構成比		15.5%	11.6%	4.0%	12.4%	5.2%	18.3%	9.2%	15.1%	9.6%	42.6%	8.8%
精神障害	人数	255	27	25	8	25	12	40	9	44	17	120	24
	構成比		10.6%	9.8%	3.1%	9.8%	4.7%	15.7%	3.5%	17.3%	6.7%	47.1%	9.4%
難病	人数	255	79	51	28	77	20	61	11	11	19	82	22
	構成比		31.0%	20.0%	11.0%	30.2%	7.8%	23.9%	4.3%	4.3%	7.5%	32.2%	8.6%
無回答	人数	35	6	7	4	6	1	4	2	5	0	13	7
	構成比		17.1%	20.0%	11.4%	17.1%	2.9%	11.4%	5.7%	14.3%	0.0%	37.1%	20.0%

(10) 外出先でのトイレ利用で困っていること

問 33 【問 32 で外出時にトイレ利用が困る（6 番）に○をつけた方におたずねします】 外出先でのトイレ利用について、困ることは何ですか。（○はいくつでも）

「多目的トイレの数が少ない」が57.1%、「電車等の交通機関のトイレが使いづらい」が32.0%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	トイレ（多目的トイレを含む）に、ユニバーサルシート等の自分が必要としている機能がついていない	多目的トイレの場所がわからない	多目的トイレの数が少ない	多目的トイレがすぐに使えないことが多い	電車等の交通機関のトイレが使いづらい	その他	無回答
全体	人数	275	43	80	157	69	88	30	18
	構成比		15.6%	29.1%	57.1%	25.1%	32.0%	10.9%	6.5%
身体障害	人数	216	40	61	125	58	65	19	14
	構成比		18.5%	28.2%	57.9%	26.9%	30.1%	8.8%	6.5%
知的障害	人数	46	8	7	26	10	14	5	2
	構成比		17.4%	15.2%	56.5%	21.7%	30.4%	10.9%	4.3%
精神障害	人数	40	5	13	22	6	17	7	3
	構成比		12.5%	32.5%	55.0%	15.0%	42.5%	17.5%	7.5%
難病	人数	61	11	23	38	18	20	3	3
	構成比		18.0%	37.7%	62.3%	29.5%	32.8%	4.9%	4.9%
無回答	人数	4	0	1	2	0	1	0	1
	構成比		0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%

(11) 外出時や災害時などのトイレ利用で困ること

問 34 【すべての方におたずねします。】外出時や災害時などのトイレ利用について、困ること（困るのではないかと思うこと）を、自由にお書きください。（自由記述）

全体では 574 件の意見がありました。

	全体	①設置数	②場所	③設備・備品	④洋式トイレ	⑤多目的トイレ	⑥理解・配慮	⑦オムツ	⑧災害時	⑨その他
件数（件）	574	74	71	19	71	20	61	13	61	205
構成比（％）	100.0	12.9	12.4	3.3	12.4	3.5	10.6	2.2	10.6	35.7

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 設置数について（74 件）

トイレの数が少ないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
公衆トイレが少ないのが困る	身体障害 (肢体不自由)	70代	男性	本人
トイレの数が少ない	精神障害	40代	男性	本人

② 場所について（71 件）

トイレの場所がわからないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
場所が分かりにくい。わかりにくい。トイレ内の配置を統一してほしい。	身体障害 (視覚障害) 難病	60代	女性	本人
トイレの場所が分からない	知的障害	20代	男性	本人

③ 設備・備品について（19 件）

トイレトペーパーがない、使えないか心配などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
トイレトペーパーの予備が少ないと困る。 何かあった時にならせるブザーをできるだけ設置してほしい。	身体障害 (内部機能障害) 難病	80代	女性	本人

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
トイレトーパーがない。水が使えなくて汚いなど。	精神障害	30代	女性	不明

④ 洋式トイレが必要（108 件）

洋式のトイレが少ない（和式では対応できない）などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
自分は和式トイレが使えないのでできるだけ全て洋式に変えてほしい。	身体障害 （肢体不自由）	60代	女性	本人
和式しかない時（足が痛いので）	精神障害	60代	女性	本人

⑤ 多目的トイレについて（20 件）

多目的トイレが使いにくい、増やしてほしいなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
多目的トイレがずっと閉まっている所がある。とてもきたなく使用出来ない様な所がある。	身体障害 （肢体不自由） 難病	60代	女性	本人
多目的トイレの数がまだまだ少ない。行くまでの通路のせまさ、段差など	身体障害 （肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害） 知的障害	30代	女性	家族

⑥ 障害者の利用に対する理解・配慮について（61 件）

災害時のトイレが心配、十分なトイレを確保できるかどうか心配などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
特に災害時等は身体障害者用に、皆が使用するので設立してもらいたい。	身体障害 （肢体不自由）	70代	男性	本人
介助者が男性の場合、トイレと一緒に入れない。その際、多目的トイレを使用するが周囲に変な目で見られる。	知的障害	20代	女性	家族

⑦ オムツ交換について（13 件）

オムツ交換への配慮が必要（交換台等がほしい）などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
車イス用のトイレは、現在、設置している施設は多いが、オムツ替えが必要は人のためのベツがない。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	20代	男性	家族
オムツを使用している為時間がかかるから、他の利用者の人に気がひけるような気がする。	精神障害	70代	女性	家族

⑧ 災害時について（61 件）

災害時にどこにトイレがあるかわからないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
災害時にどこにあるのか場所が分からないことや、避難所まで行かない時のトイレがすくないのではないかな。	身体障害 (肢体不自由)	70代	女性	本人
災害時は一時的に多くの人が集まるので、利用できなくなるので困る。トイレを多く用意して欲しい	精神障害	40代	女性	家族

⑨ その他（205 件）

車いすやストマ対応のトイレが少ないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
ストマ対応のトイレが少ない。	身体障害 (肢体不自由、内部機能障害) 難病	90代 以上	女性	本人
車イス使用なので、すべての場所が車イス対応になっていると安心。段差の無い事を希望。	身体障害 (肢体不自由) 難病	70代	女性	本人

6. 災害対策について

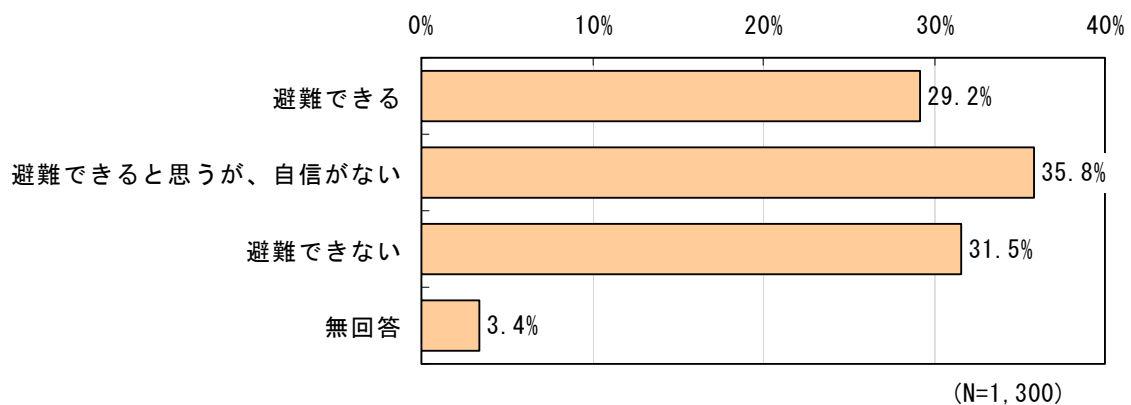
(1) 災害時の避難

問 35 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

全体では、「避難できると思うが、自信がない」が35.8%、「避難できない」が31.5%、「避難できる」が29.2%となっています。

障害種別に見ると、知的障害のある方では「避難できない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

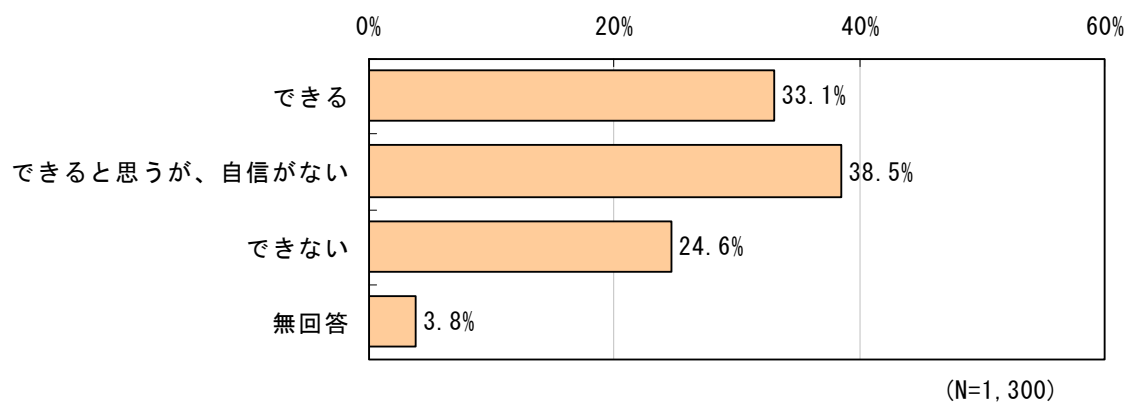
		合計	避難できる	避難できると思うが、自信がない	避難できない	無回答
全体	人数	1,300	380	466	410	44
	構成比		29.2%	35.8%	31.5%	3.4%
身体障害	人数	857	246	297	286	28
	構成比		28.7%	34.7%	33.4%	3.3%
知的障害	人数	251	45	74	125	7
	構成比		17.9%	29.5%	49.8%	2.8%
精神障害	人数	255	91	116	41	7
	構成比		35.7%	45.5%	16.1%	2.7%
難病	人数	255	66	95	87	7
	構成比		25.9%	37.3%	34.1%	2.7%
無回答	人数	35	11	10	11	3
	構成比		31.4%	28.6%	31.4%	8.6%

(2) 災害時に困っていることを周囲に知らせることが可能か

問 36 あなたは、災害時に自分が困っていることを、周囲の人に知らせることができると思いますか。(〇は1つ)

全体では、「できると思うが、自信がない」が38.5%、「できる」が33.1%となっています。障害種別に見ると、知的障害のある方では「できない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

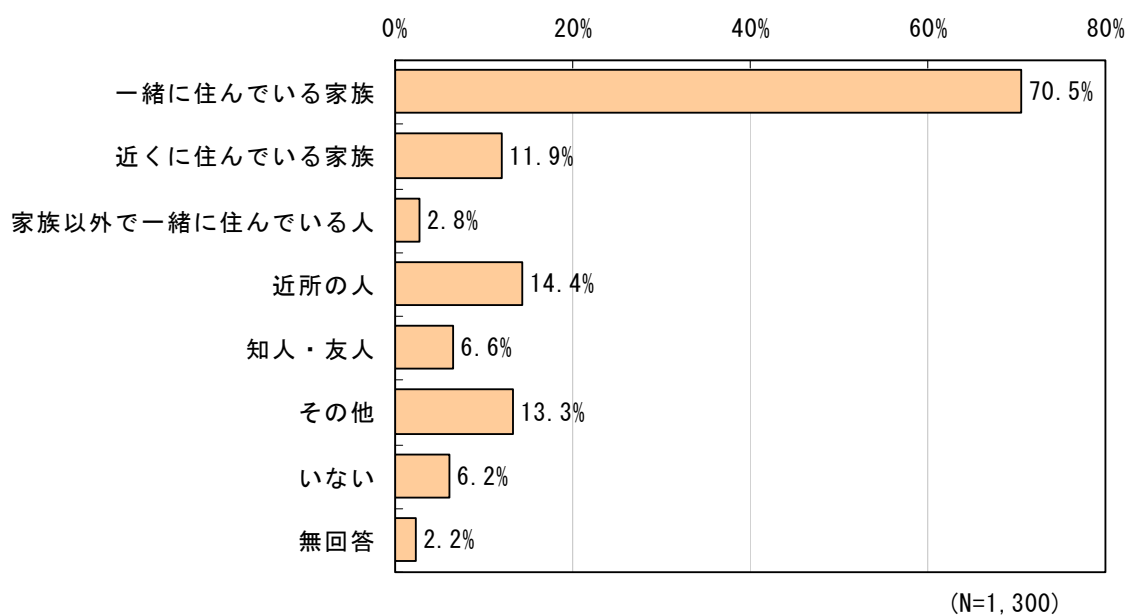
		合計	できる	できると思うが、自信がない	できない	無回答
全体	人数	1,300	430	501	320	49
	構成比		33.1%	38.5%	24.6%	3.8%
身体障害	人数	857	309	325	189	34
	構成比		36.1%	37.9%	22.1%	4.0%
知的障害	人数	251	39	93	113	6
	構成比		15.5%	37.1%	45.0%	2.4%
精神障害	人数	255	89	107	53	6
	構成比		34.9%	42.0%	20.8%	2.4%
難病	人数	255	76	114	58	7
	構成比		29.8%	44.7%	22.7%	2.7%
無回答	人数	35	12	10	9	4
	構成比		34.3%	28.6%	25.7%	11.4%

(3) 災害時に避難を支援してくれる人の有無

問37 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

「一緒に住んでいる家族」が70.5%となっています。また、障害種別にみると、精神障害のある方では、「支援者はいない」も多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	一緒に住 んでいる 家族	近くに住 んでいる 家族	家族以外 で一緒に 住んでい る人	近所の人	知人・友 人	いない	その他	無回答
全体	人数	1,300	916	155	36	187	86	80	173	29
	構成比		70.5%	11.9%	2.8%	14.4%	6.6%	6.2%	13.3%	2.2%
身体障害	人数	857	601	112	20	142	57	105	48	19
	構成比		70.1%	13.1%	2.3%	16.6%	6.7%	12.3%	5.6%	2.2%
知的障害	人数	251	211	16	15	23	12	18	23	3
	構成比		84.1%	6.4%	6.0%	9.2%	4.8%	7.2%	9.2%	1.2%
精神障害	人数	255	165	30	6	33	26	52	12	4
	構成比		64.7%	11.8%	2.4%	12.9%	10.2%	20.4%	4.7%	1.6%
難病	人数	255	182	32	7	45	16	35	15	4
	構成比		71.4%	12.5%	2.7%	17.6%	6.3%	13.7%	5.9%	1.6%
無回答	人数	35	20	2	1	3	1	6	2	3
	構成比		57.1%	5.7%	2.9%	8.6%	2.9%	17.1%	5.7%	8.6%

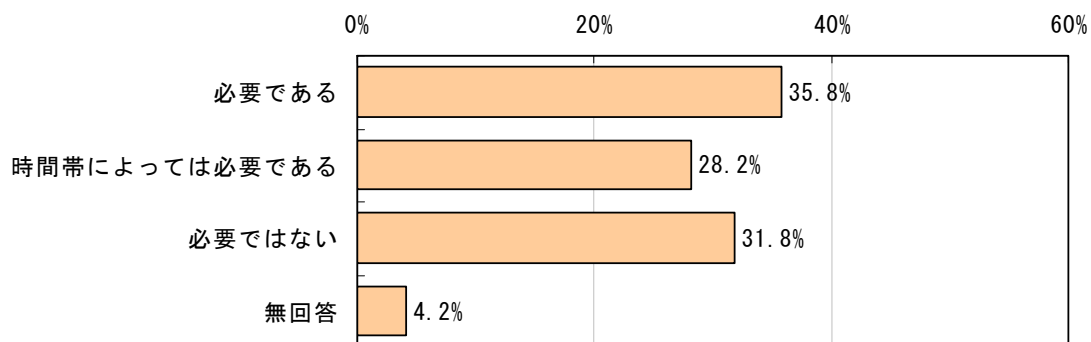
(4) 災害時に地域の方による避難の支援の必要性

問 38 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(〇は1つ)

全体では、「必要である」が35.8%、「必要ではない」が31.8%となっています。

障害種別に見ると、身体障害、知的障害、難病のある方では「必要である」、精神障害のある方では「必要ではない」が多くなっています。また、支援者が「いない」に回答した方でも約半数が支援を必要であると回答しています。

●全体



●障害種別

(N=1,300)

		合計	必要である	時間帯によっては必要である	必要ではない	無回答
全体	人数	1,300	466	366	414	54
	構成比		35.8%	28.2%	31.8%	4.2%
身体障害	人数	857	331	245	248	33
	構成比		38.6%	28.6%	28.9%	3.9%
知的障害	人数	251	103	75	61	12
	構成比		41.0%	29.9%	24.3%	4.8%
精神障害	人数	255	67	70	113	5
	構成比		26.3%	27.5%	44.3%	2.0%
難病	人数	255	95	81	73	6
	構成比		37.3%	31.8%	28.6%	2.4%
無回答	人数	35	11	7	12	5
	構成比		31.4%	20.0%	34.3%	14.3%

●支援者の有無

		合計	必要である	時間帯によっては必要である	必要ではない	無回答
全体	人数	1,300	466	366	414	54
	構成比		35.8%	28.2%	31.8%	4.2%
一緒に住んでいる家族	人数	916	302	270	316	28
	構成比		33.0%	29.5%	34.5%	3.1%
近くに住んでいる家族	人数	155	55	48	49	3
	構成比		35.5%	31.0%	31.6%	1.9%
家族以外で一緒に住んでいる人	人数	36	21	11	4	0
	構成比		58.3%	30.6%	11.1%	0.0%
近所の人	人数	187	69	58	54	6
	構成比		36.9%	31.0%	28.9%	3.2%
知人・友人	人数	86	32	27	26	1
	構成比		37.2%	31.4%	30.2%	1.2%
その他	人数	173	84	33	51	5
	構成比		48.6%	19.1%	29.5%	2.9%
いない	人数	80	40	21	18	1
	構成比		50.0%	26.3%	22.5%	1.3%
無回答	人数	29	3	5	5	16
	構成比		10.3%	17.2%	17.2%	55.2%

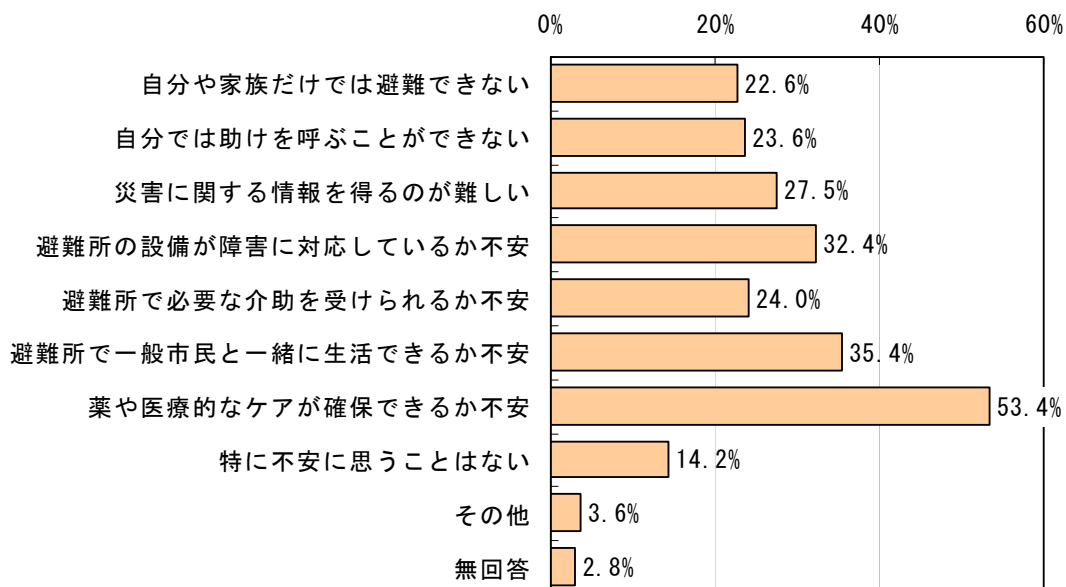
(5) 災害時に不安に思うこと

問 39 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。
(〇はいくつでも)

全体では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が53.4%、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が35.4%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が32.4%となっています。

なかでも、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」については、精神障害、難病のある方で特に多く、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」については、知的障害、精神障害のある方で特になくなっていきます。また知的障害のある方では「自分では助けを呼ぶことができない」「災害に関する情報を得るのが難しい」もなくなっていきます。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

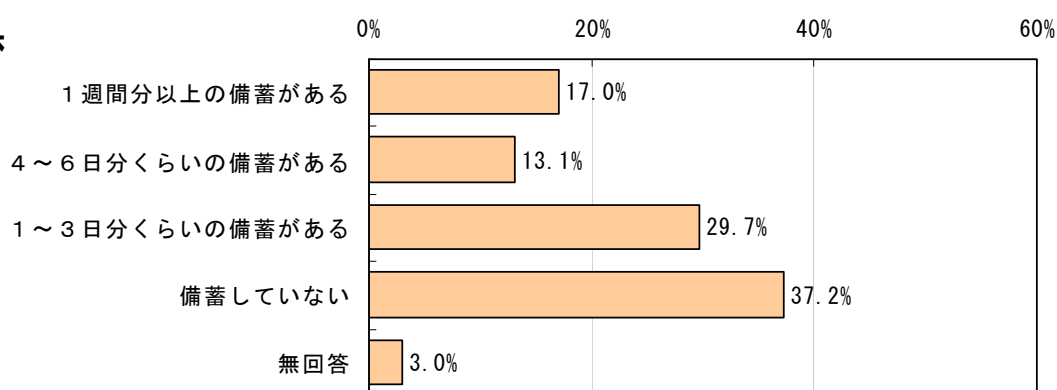
		合計	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	人数	1,300	294	307	357	421	312	460	694	185	47	37
	構成比		22.6%	23.6%	27.5%	32.4%	24.0%	35.4%	53.4%	14.2%	3.6%	2.8%
身体障害	人数	857	225	185	207	336	246	270	467	122	29	24
	構成比		26.3%	21.6%	24.2%	39.2%	28.7%	31.5%	54.5%	14.2%	3.4%	2.8%
知的障害	人数	251	50	122	107	78	65	124	96	38	10	7
	構成比		19.9%	48.6%	42.6%	31.1%	25.9%	49.4%	38.2%	15.1%	4.0%	2.8%
精神障害	人数	255	42	45	74	41	35	106	183	27	13	4
	構成比		16.5%	17.6%	29.0%	16.1%	13.7%	41.6%	71.8%	10.6%	5.1%	1.6%
難病	人数	255	70	56	62	92	80	86	167	24	9	4
	構成比		27.5%	22.0%	24.3%	36.1%	31.4%	33.7%	65.5%	9.4%	3.5%	1.6%
無回答	人数	35	4	8	5	7	7	11	14	5	0	4
	構成比		11.4%	22.9%	14.3%	20.0%	20.0%	31.4%	40.0%	14.3%	0.0%	11.4%

(6) 災害発生に備えた備蓄状況

問 40 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「備蓄していない」が37.2%、「1～3日分くらいの備蓄がある」が29.7%となっています。また、問39で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のうち、避難生活に必要な薬や装具等を「備蓄していない」と回答した方は33.6%となっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全体	人数	1,300	221	170	386	484	39
	構成比		17.0%	13.1%	29.7%	37.2%	3.0%
身体障害	人数	857	160	135	258	279	25
	構成比		18.7%	15.8%	30.1%	32.6%	2.9%
知的障害	人数	251	34	25	80	106	6
	構成比		13.5%	10.0%	31.9%	42.2%	2.4%
精神障害	人数	255	47	23	70	110	5
	構成比		18.4%	9.0%	27.5%	43.1%	2.0%
難病	人数	255	50	39	82	80	4
	構成比		19.6%	15.3%	32.2%	31.4%	1.6%
無回答	人数	35	5	1	10	15	4
	構成比		14.3%	2.9%	28.6%	42.9%	11.4%

●障害種別（問39で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のみ）

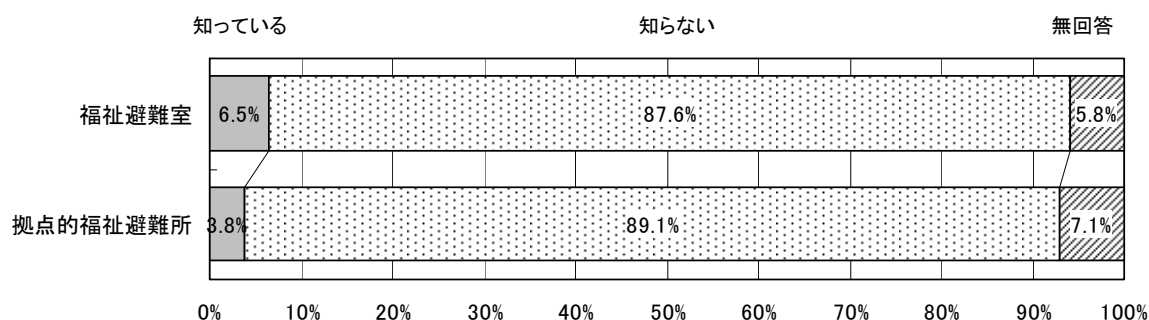
		総計	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全体	人数	694	143	114	195	233	9
	構成比		20.6%	16.4%	28.1%	33.6%	1.3%
身体障害	人数	467	103	91	133	133	7
	構成比		22.1%	19.5%	28.5%	28.5%	1.5%
知的障害	人数	96	22	17	25	32	0
	構成比		22.9%	17.7%	26.0%	33.3%	0.0%
精神障害	人数	183	36	18	51	76	2
	構成比		19.7%	9.8%	27.9%	41.5%	1.1%
難病	人数	167	38	29	52	47	1
	構成比		22.8%	17.4%	31.1%	28.1%	0.6%
無回答	人数	14	3	0	6	5	0
	構成比		21.4%	0.0%	42.9%	35.7%	0.0%

(7) 福祉避難所

問 41 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。

いずれの福祉避難所も、「知らない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

【福祉避難室】

		合計	知っている	知らない	無回答
全体	人数	1,300	85	1,139	76
	構成比		6.5%	87.6%	5.8%
身体障害	人数	857	60	752	45
	構成比		7.0%	87.7%	5.3%
知的障害	人数	251	24	211	16
	構成比		9.6%	84.1%	6.4%
精神障害	人数	255	10	237	8
	構成比		3.9%	92.9%	3.1%
難病	人数	255	24	218	13
	構成比		9.4%	85.5%	5.1%
無回答	人数	35	1	23	11
	構成比		2.9%	65.7%	31.4%

【拠点の福祉避難所】

		合計	知っている	知らない	無回答
全体	人数	1,300	50	1,158	92
	構成比		3.8%	89.1%	7.1%
身体障害	人数	857	35	763	59
	構成比		4.1%	89.0%	6.9%
知的障害	人数	251	17	221	13
	構成比		6.8%	88.0%	5.2%
精神障害	人数	255	3	243	9
	構成比		1.2%	95.3%	3.5%
難病	人数	255	11	232	12
	構成比		4.3%	91.0%	4.7%
無回答	人数	35	1	22	12
	構成比		2.9%	62.9%	34.3%

7. 日中活動・就労について

(1) 日中の過ごし方

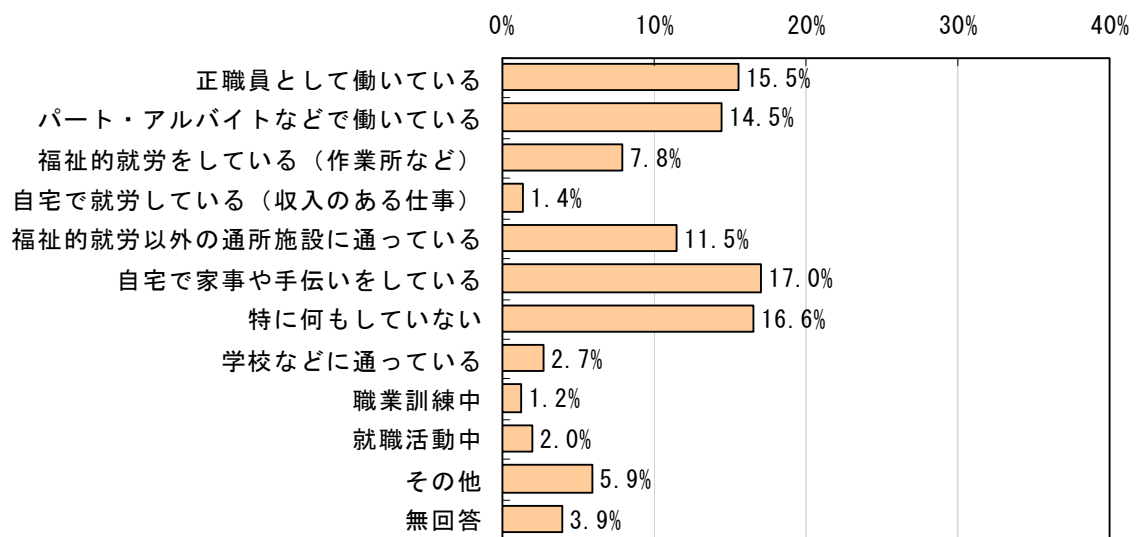
問 42 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

(65歳未満の方のみ集計)

「自宅で家事や手伝いをしている」が17.0%、「特に何もしてない」が16.6%、「正職員として働いている」が15.5%、「パート・アルバイトなどで働いている」が14.5%となっています。

障害種別に見ると、身体障害のある方では「正職員として働いている」、「自宅で家事や手伝いをしている」、知的障害のある方では「福祉的就労以外の通所施設に通っている」、精神障害のある方では「特になにもしてない」、難病のある方では「自宅で家事や手伝いをしている」が多くなっています。

●全体



(N=663)

●障害種別

		合計	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている (作業所など)	自宅で就労している (収入のある仕事)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしてない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全体	人数	663	103	96	52	9	76	113	110	18	8	13	39	26
	構成比		15.5%	14.5%	7.8%	1.4%	11.5%	17.0%	16.6%	2.7%	1.2%	2.0%	5.9%	3.9%
身体障害	人数	281	61	31	10	7	27	58	50	7	0	2	17	11
	構成比		21.7%	11.0%	3.6%	2.5%	9.6%	20.6%	17.8%	2.5%	0.0%	0.7%	6.0%	3.9%
知的障害	人数	245	21	40	43	1	66	17	21	9	4	4	10	9
	構成比		8.6%	16.3%	17.6%	0.4%	26.9%	6.9%	8.6%	3.7%	1.6%	1.6%	4.1%	3.7%
精神障害	人数	218	26	31	11	1	11	44	50	4	5	7	14	14
	構成比		11.9%	14.2%	5.0%	0.5%	5.0%	20.2%	22.9%	1.8%	2.3%	3.2%	6.4%	6.4%
難病	人数	115	12	17	5	4	11	25	19	4	0	0	12	6
	構成比		10.4%	14.8%	4.3%	3.5%	9.6%	21.7%	16.5%	3.5%	0.0%	0.0%	10.4%	5.2%
無回答	人数	7	1	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0
	構成比		14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●年齢別

		合計	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている(作業所など)	自宅で就労している(収入のある仕事)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全体	人数	663	103	96	52	9	76	113	110	18	8	13	39	26
	構成比		15.5%	14.5%	7.8%	1.4%	11.5%	17.0%	16.6%	2.7%	1.2%	2.0%	5.9%	3.9%
18～39歳	人数	289	33	47	31	1	60	34	26	18	7	6	13	13
	構成比		11.4%	16.3%	10.7%	0.3%	20.8%	11.8%	9.0%	6.2%	2.4%	2.1%	4.5%	4.5%
40～64歳	人数	374	70	49	21	8	16	79	84	0	1	7	26	13
	構成比		18.7%	13.1%	5.6%	2.1%	4.3%	21.1%	22.5%	0.0%	0.3%	1.9%	7.0%	3.5%

(2) 仕事をする上で困っていること

問 43 【問 42 で働いている（1～4 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事
上で困っていることはなんですか。（○は3つまで）

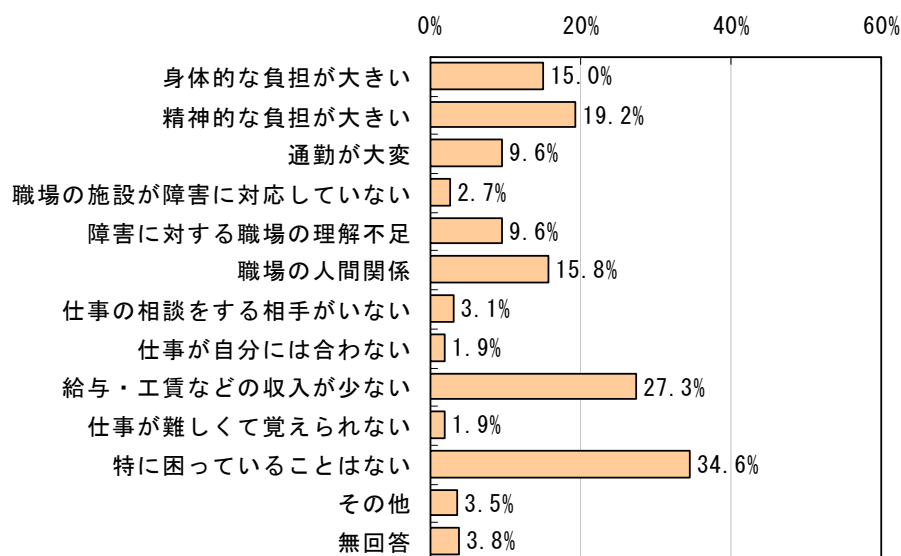
（65歳未満の方のみ集計）

全体では、「特に困っていることはない」が34.6%と最も多くなっています。困っていること
がある方については、「給与・工賃などの収入が少ない」が27.3%、「精神的な負担が大きい」
が19.2%となっています。

障害種別に見ると、「特に困っていることはない」以外において、身体障害のある方や難病の
ある方では「身体的な負担が大きい」、「給与・工賃などの収入が少ない」、知的障害のある方
では「給与・工賃などの収入が少ない」、精神障害のある方では「精神的な負担が大きい」が多
くなっています。

前回調査と比較すると、「特に困っていることはない」が8.4ポイント増加しています。

●全体



●障害種別

(N=260)

		合計	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	通勤が大変	職場の施設が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	仕事の相談をする相手がいない	仕事が自分には合わない	給与・工賃などの収入が少ない	仕事が難しく覚えられない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	260	39	50	25	7	25	41	8	5	71	5	90	9	10
	構成比		15.0%	19.2%	9.6%	2.7%	9.6%	15.8%	3.1%	1.9%	27.3%	1.9%	34.6%	3.5%	3.8%
身体障害	人数	107	25	16	12	5	12	9	2	0	26	0	41	5	2
	構成比		23.4%	15.0%	11.2%	4.7%	11.2%	8.4%	1.9%	0.0%	24.3%	0.0%	38.3%	4.7%	1.9%
知的障害	人数	99	4	12	9	3	7	15	3	3	33	3	45	4	3
	構成比		4.0%	12.1%	9.1%	3.0%	7.1%	15.2%	3.0%	3.0%	33.3%	3.0%	45.5%	4.0%	3.0%
精神障害	人数	62	10	24	5	2	8	19	3	2	18	3	15	2	6
	構成比		16.1%	38.7%	8.1%	3.2%	12.9%	30.6%	4.8%	3.2%	29.0%	4.8%	24.2%	3.2%	9.7%
難病	人数	37	12	5	2	0	6	3	1	0	12	0	14	1	1
	構成比		32.4%	13.5%	5.4%	0.0%	16.2%	8.1%	2.7%	0.0%	32.4%	0.0%	37.8%	2.7%	2.7%
無回答	人数	5	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 働いていない理由

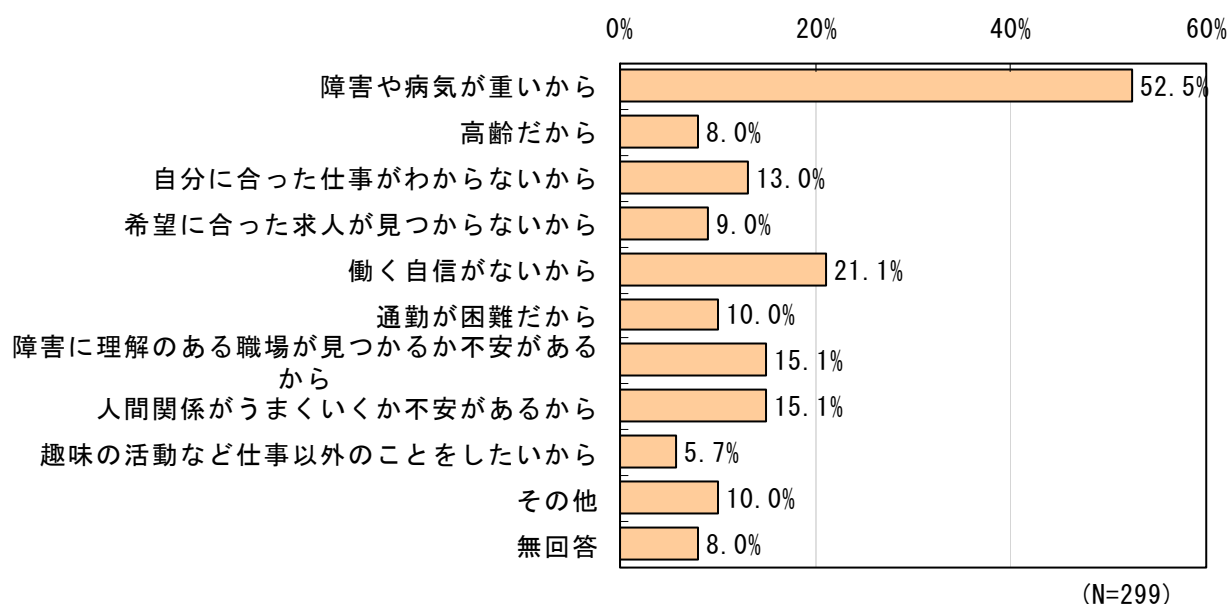
問 44 【問 42 で働いていない（5～7 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

（65歳未満の方のみ集計）

全体では、「障害や病気が重いから」が52.5%、「働く自信がないから」が21.1%となっています。

障害別にみると、精神障害のある方では「働く自信がないから」が35.2%、「人間関係がうまくいくか不安があるから」が26.7%と多くなっているのが特徴です。

●全体



●障害種別

		合計	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	働く自信がないから	通勤が困難だから	障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから	人間関係がうまくいくか不安があるから	趣味の活動など仕事以外のことをしたいから	その他	無回答
全体	人数	299	157	24	39	27	63	30	45	45	17	30	24
	構成比		52.5%	8.0%	13.0%	9.0%	21.1%	10.0%	15.1%	15.1%	5.7%	10.0%	8.0%
身体障害	人数	135	75	19	10	13	20	16	15	4	9	10	11
	構成比		55.6%	14.1%	7.4%	9.6%	14.8%	11.9%	11.1%	3.0%	6.7%	7.4%	8.1%
知的障害	人数	104	62	3	16	3	10	11	14	18	4	9	13
	構成比		59.6%	2.9%	15.4%	2.9%	9.6%	10.6%	13.5%	17.3%	3.8%	8.7%	12.5%
精神障害	人数	105	54	3	16	14	37	8	21	28	3	12	4
	構成比		51.4%	2.9%	15.2%	13.3%	35.2%	7.6%	20.0%	26.7%	2.9%	11.4%	3.8%
難病	人数	55	35	8	5	6	11	4	9	5	2	4	4
	構成比		63.6%	14.5%	9.1%	10.9%	20.0%	7.3%	16.4%	9.1%	3.6%	7.3%	7.3%
無回答	人数	8	3	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0
	構成比		37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%

(4) 一般就労のために必要なこと

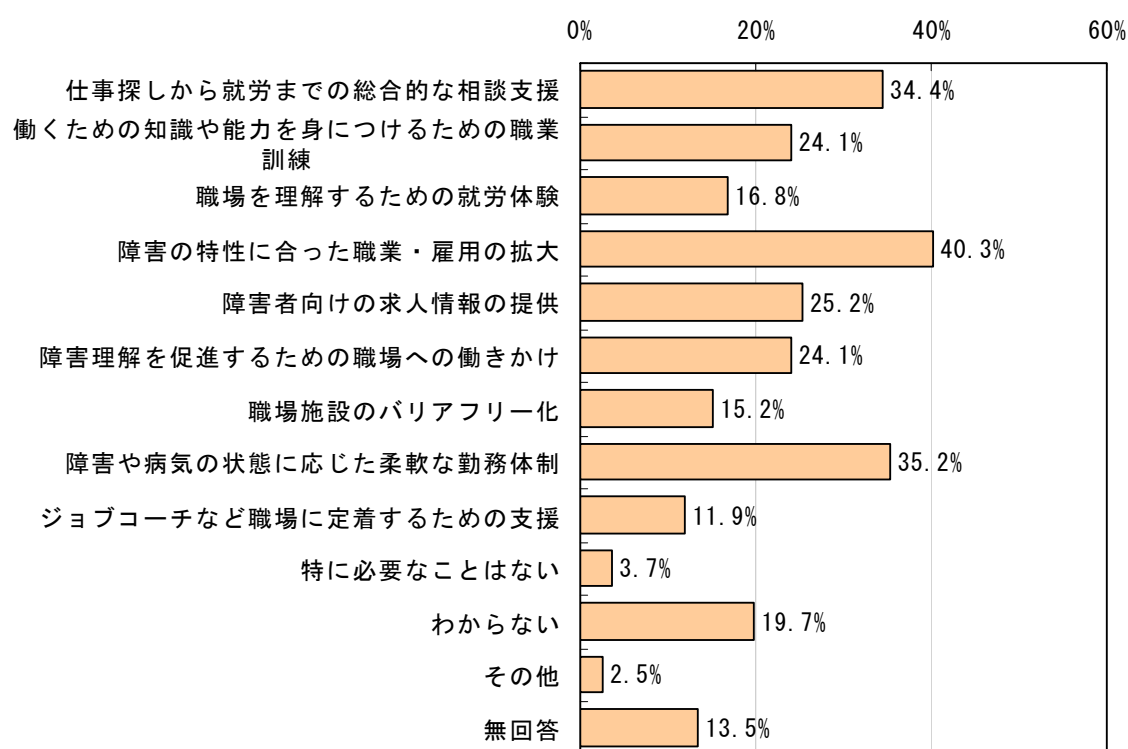
問 45 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が40.3%、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」が35.2%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が34.4%となっています。

障害種別に見ると、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」以外において、身体障害のある方や精神障害のある方では「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」、知的障害のある方や難病のある方では「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が多くなっています。

年齢別に見ると、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」以外において、18～39歳や75歳以上では「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、40～74歳では「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」が多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要はない	わからない	その他	無回答
全体	人数 構成比	1,300	447 34.4%	313 24.1%	219 16.8%	524 40.3%	328 25.2%	313 24.1%	197 15.2%	458 35.2%	155 11.9%	48 3.7%	256 19.7%	32 2.5%	175 13.5%
身体障害	人数 構成比	857	257 30.0%	169 19.7%	108 12.6%	323 37.7%	193 22.5%	167 19.5%	142 16.6%	276 32.2%	58 6.8%	34 4.0%	169 19.7%	19 2.2%	131 15.3%
知的障害	人数 構成比	251	110 43.8%	79 31.5%	77 30.7%	118 47.0%	68 27.1%	87 34.7%	35 13.9%	93 37.1%	72 28.7%	9 3.6%	54 21.5%	6 2.4%	21 8.4%
精神障害	人数 構成比	255	115 45.1%	88 34.5%	58 22.7%	123 48.2%	90 35.3%	82 32.2%	34 13.3%	121 47.5%	40 15.7%	6 2.4%	44 17.3%	8 3.1%	21 8.2%
難病	人数 構成比	255	89 34.9%	53 20.8%	39 15.3%	101 39.6%	59 23.1%	55 21.6%	38 14.9%	87 34.1%	20 7.8%	12 4.7%	42 16.5%	5 2.0%	29 11.4%
無回答	人数 構成比	35	7 20.0%	5 14.3%	2 5.7%	8 22.9%	6 17.1%	4 11.4%	4 11.4%	8 22.9%	2 5.7%	3 8.6%	8 22.9%	0 0.0%	12 34.3%

●年齢別

		合計	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要はない	わからない	その他	無回答
全体	人数 構成比	1,300	447 34.4%	313 24.1%	219 16.8%	524 40.3%	328 25.2%	313 24.1%	197 15.2%	458 35.2%	155 11.9%	48 3.7%	256 19.7%	32 2.5%	175 13.5%
18～39歳	人数 構成比	289	152 52.6%	118 40.8%	96 33.2%	164 56.7%	106 36.7%	119 41.2%	55 19.0%	140 48.4%	89 30.8%	6 2.1%	42 14.5%	11 3.8%	16 5.5%
40～64歳	人数 構成比	374	129 34.5%	85 22.7%	65 17.4%	163 43.6%	111 29.7%	99 26.5%	58 15.5%	155 41.4%	39 10.4%	12 3.2%	67 17.9%	8 2.1%	28 7.5%
65～74歳	人数 構成比	300	78 26.0%	52 17.3%	33 11.0%	109 36.3%	65 21.7%	53 17.7%	47 15.7%	95 31.7%	15 5.0%	16 5.3%	61 20.3%	5 1.7%	47 15.7%
75歳以上	人数 構成比	315	80 25.4%	53 16.8%	22 7.0%	78 24.8%	40 12.7%	36 11.4%	35 11.1%	59 18.7%	9 2.9%	12 3.8%	85 27.0%	8 2.5%	80 25.4%
無回答	人数 構成比	22	8 36.4%	5 22.7%	3 13.6%	10 45.5%	6 27.3%	6 27.3%	2 9.1%	9 40.9%	3 13.6%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	4 18.2%

(5) 余暇活動への参加意向

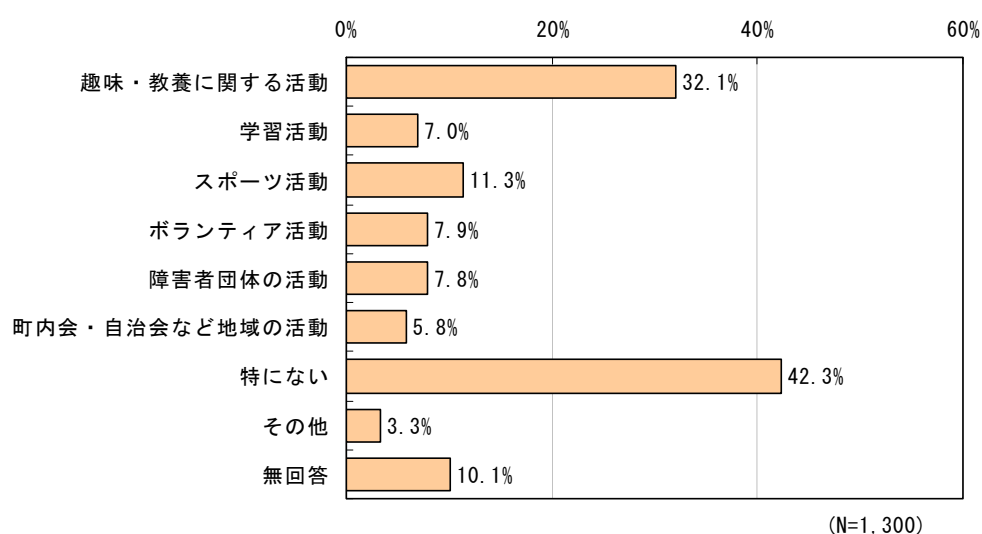
問 46 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

「特にない」が42.3%と最も多くなっています。取り組みたいことがある方については、「趣味・教養に関する活動」が32.1%、「スポーツ活動」が11.3%となっています。

障害種別に見ると、精神障害の方では「趣味・教養に関する活動」が多くなっています。

年齢別に見ると、18～39歳では「趣味・教養に関する活動」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
全体	人数	1,300	417	91	147	103	102	76	550	43	131
	構成比		32.1%	7.0%	11.3%	7.9%	7.8%	5.8%	42.3%	3.3%	10.1%
身体障害	人数	857	264	42	72	60	54	59	380	31	97
	構成比		30.8%	4.9%	8.4%	7.0%	6.3%	6.9%	44.3%	3.6%	11.3%
知的障害	人数	251	71	13	43	12	35	8	109	6	22
	構成比		28.3%	5.2%	17.1%	4.8%	13.9%	3.2%	43.4%	2.4%	8.8%
精神障害	人数	255	105	37	41	37	26	12	87	9	16
	構成比		41.2%	14.5%	16.1%	14.5%	10.2%	4.7%	34.1%	3.5%	6.3%
難病	人数	255	80	14	17	16	22	14	108	14	25
	構成比		31.4%	5.5%	6.7%	6.3%	8.6%	5.5%	42.4%	5.5%	9.8%
無回答	人数	35	9	3	3	1	1	1	19	0	5
	構成比		25.7%	8.6%	8.6%	2.9%	2.9%	2.9%	54.3%	0.0%	14.3%

●年齢別

		合計	趣味・教 養に関す る活動	学習活動	スポーツ 活動	ボラン ティア活 動	障害者団 体の活動	町内会・ 自治会な ど地域の 活動	特にない	その他	無回答
全体	人数	1,300	417	91	147	103	102	76	550	43	131
	構成比		32.1%	7.0%	11.3%	7.9%	7.8%	5.8%	42.3%	3.3%	10.1%
18～39歳	人数	289	112	32	60	22	43	12	95	9	13
	構成比		38.8%	11.1%	20.8%	7.6%	14.9%	4.2%	32.9%	3.1%	4.5%
40～64歳	人数	374	136	35	43	52	34	22	149	11	28
	構成比		36.4%	9.4%	11.5%	13.9%	9.1%	5.9%	39.8%	2.9%	7.5%
65歳～74歳	人数	300	99	16	28	21	15	25	134	11	28
	構成比		33.0%	5.3%	9.3%	7.0%	5.0%	8.3%	44.7%	3.7%	9.3%
75歳以上	人数	315	63	6	15	6	9	16	162	12	59
	構成比		20.0%	1.9%	4.8%	1.9%	2.9%	5.1%	51.4%	3.8%	18.7%
無回答	人数	22	7	2	1	2	1	1	10	0	3
	構成比		31.8%	9.1%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	45.5%	0.0%	13.6%

8. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

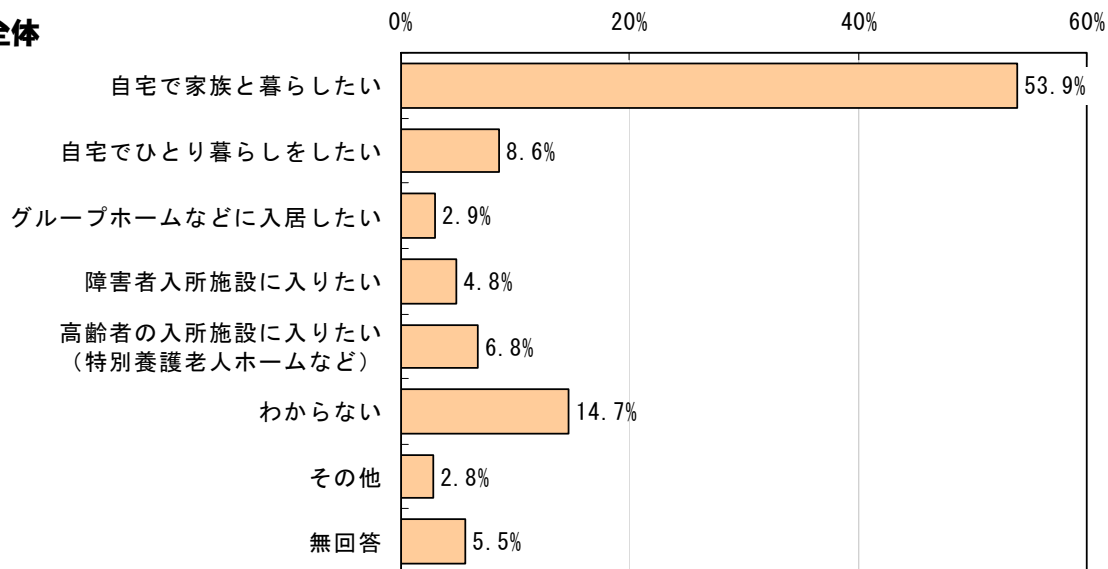
問 47 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「自宅で家族と暮らしたい」が53.9%、「わからない」が14.7%となっています。

障害種別に見ると、「自宅で家族と暮らしたい」、「わからない」以外において、知的障害のある方では「障害者入所施設に入りたい」、「グループホームなどに入居したい」が多く、精神障害のある方では「自宅でひとり暮らしをしたい」が多くなっています。

年齢別に見ると、「自宅で家族と暮らしたい」、「わからない」以外において、18～39歳では「自宅でひとり暮らしをしたい」、「障害者入所施設に入りたい」、40～64歳では「自宅でひとり暮らしをしたい」、65歳以上では「高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)」が多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	自宅で家族と暮らし たい	自宅でひとり暮らし をしたい	グループ ホームなどに入居 したい	障害者入 所施設に 入りたい	高齢者の 入所施設 に入りたい(特別 養護老人 ホームな ど)	わからな い	その他	無回答
全体	人数	1,300	701	112	38	62	88	191	36	72
	構成比		53.9%	8.6%	2.9%	4.8%	6.8%	14.7%	2.8%	5.5%
身体障害	人数	857	492	64	13	37	75	108	22	46
	構成比		57.4%	7.5%	1.5%	4.3%	8.8%	12.6%	2.6%	5.4%
知的障害	人数	251	107	13	28	34	9	41	6	13
	構成比		42.6%	5.2%	11.2%	13.5%	3.6%	16.3%	2.4%	5.2%
精神障害	人数	255	122	37	6	11	6	47	13	13
	構成比		47.8%	14.5%	2.4%	4.3%	2.4%	18.4%	5.1%	5.1%
難病	人数	255	136	27	4	12	20	35	7	14
	構成比		53.3%	10.6%	1.6%	4.7%	7.8%	13.7%	2.7%	5.5%
無回答	人数	35	17	4	0	0	2	8	0	4
	構成比		48.6%	11.4%	0.0%	0.0%	5.7%	22.9%	0.0%	11.4%

●年齢別

		合計	自宅で家族と暮らし たい	自宅でひとり暮らし をしたい	グループ ホームなどに入居 したい	障害者入 所施設に 入りたい	高齢者の 入所施設 に入りたい(特別 養護老人 ホームな ど)	わからな い	その他	無回答
全体	人数	1,300	701	112	38	62	88	191	36	72
	構成比		53.9%	8.6%	2.9%	4.8%	6.8%	14.7%	2.8%	5.5%
18～39歳	人数	289	133	36	26	34	1	37	12	10
	構成比		46.0%	12.5%	9.0%	11.8%	0.3%	12.8%	4.2%	3.5%
40～64歳	人数	374	208	34	7	10	17	72	6	20
	構成比		55.6%	9.1%	1.9%	2.7%	4.5%	19.3%	1.6%	5.3%
65～74歳	人数	300	183	17	3	6	26	46	8	11
	構成比		61.0%	5.7%	1.0%	2.0%	8.7%	15.3%	2.7%	3.7%
75歳以上	人数	315	168	21	2	11	42	32	10	29
	構成比		53.3%	6.7%	0.6%	3.5%	13.3%	10.2%	3.2%	9.2%
無回答	人数	22	9	4	0	1	2	4	0	2
	構成比		40.9%	18.2%	0.0%	4.5%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%

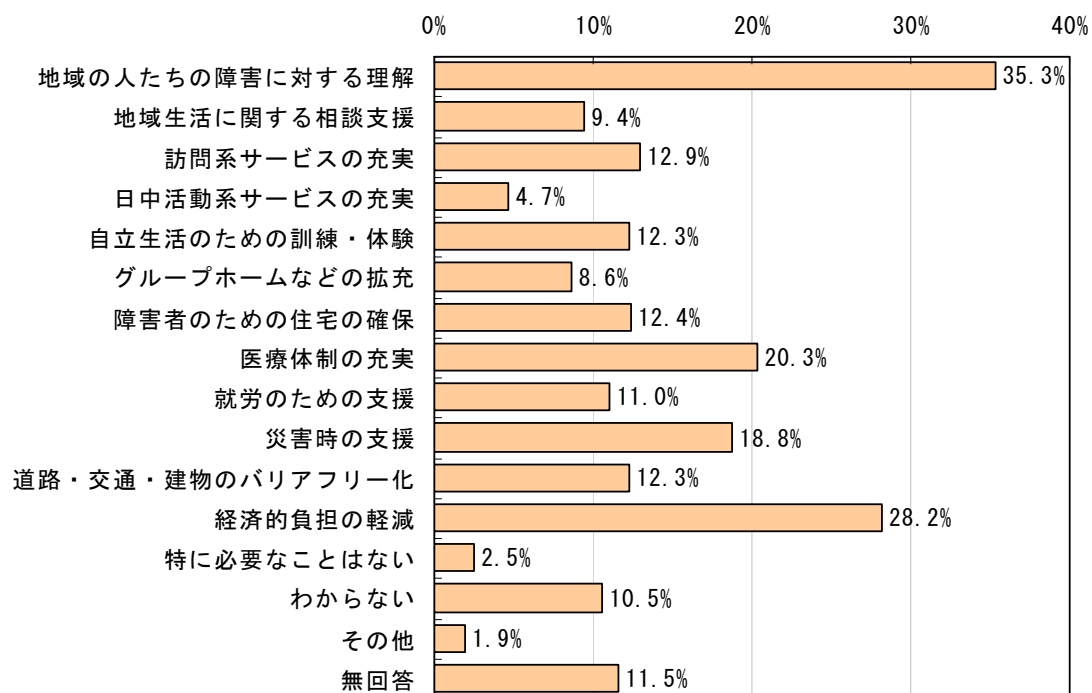
(2) 地域で生活するために必要なこと

問 48 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が35.3%、「経済的負担の軽減」が28.2%となっています。

障害種別に見ると、「地域の人たちの障害に対する理解」、「経済的負担の軽減」以外において、知的障害のある方では「グループホームなどの拡充」が多くなっています。

●全体



●障害種別

(N=1,300)

		合計	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全体	人数	1,300	459	122	168	61	160	112	161	264	143	244	160	366	32	137	25	150
	構成比		35.3%	9.4%	12.9%	4.7%	12.3%	8.6%	12.4%	20.3%	11.0%	18.8%	12.3%	28.2%	2.5%	10.5%	1.9%	11.5%
身体障害	人数	857	282	80	138	26	84	61	104	200	60	181	137	224	23	78	14	104
	構成比		32.9%	9.3%	16.1%	3.0%	9.8%	7.1%	12.1%	23.3%	7.0%	21.1%	16.0%	26.1%	2.7%	9.1%	1.6%	12.1%
知的障害	人数	251	111	31	23	26	38	51	37	23	40	45	11	71	7	28	4	24
	構成比		44.2%	12.4%	9.2%	10.4%	15.1%	20.3%	14.7%	9.2%	15.9%	17.9%	4.4%	28.3%	2.8%	11.2%	1.6%	9.6%
精神障害	人数	255	101	17	15	12	44	14	35	54	48	30	16	94	2	29	10	29
	構成比		39.6%	6.7%	5.9%	4.7%	17.3%	5.5%	13.7%	21.2%	18.8%	11.8%	6.3%	36.9%	0.8%	11.4%	3.9%	11.4%
難病	人数	255	88	24	34	5	31	17	42	68	17	38	37	75	4	24	6	32
	構成比		34.5%	9.4%	13.3%	2.0%	12.2%	6.7%	16.5%	26.7%	6.7%	14.9%	14.5%	29.4%	1.6%	9.4%	2.4%	12.5%
無回答	人数	35	9	1	2	2	5	0	3	5	3	5	5	6	2	9	1	4
	構成比		25.7%	2.9%	5.7%	5.7%	14.3%	0.0%	8.6%	14.3%	8.6%	14.3%	14.3%	17.1%	5.7%	25.7%	2.9%	11.4%

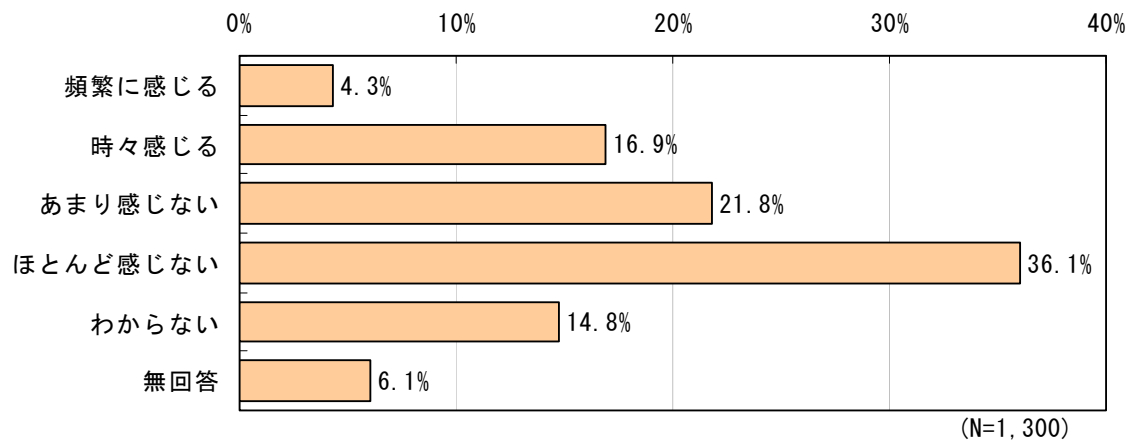
9. 障害のある人に対する理解度について

(1) 地域で生活していて感じる差別の有無

問 49 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

「ほとんど感じない」が36.1%、「あまり感じない」が21.8%となっています。
障害種別に見ると、知的障害のある方では「時々感じる」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない	無回答
全体	人数	1,300	56	220	284	469	192	79
	構成比		4.3%	16.9%	21.8%	36.1%	14.8%	6.1%
身体障害	人数	857	26	125	199	355	106	46
	構成比		3.0%	14.6%	23.2%	41.4%	12.4%	5.4%
知的障害	人数	251	21	67	55	45	48	15
	構成比		8.4%	26.7%	21.9%	17.9%	19.1%	6.0%
精神障害	人数	255	17	50	53	75	43	17
	構成比		6.7%	19.6%	20.8%	29.4%	16.9%	6.7%
難病	人数	255	11	37	59	108	26	14
	構成比		4.3%	14.5%	23.1%	42.4%	10.2%	5.5%
無回答	人数	35	2	4	8	7	8	6
	構成比		5.7%	11.4%	22.9%	20.0%	22.9%	17.1%

(2) 差別を感じた場面

問 50 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。（自由記述）

全体では 333 件の意見がありました。

	全 体	① 外出 先等	② 交通 機関等	③ 店舗・ 施設等	④ 職場や 仕事探 しの場	⑤ 差別は 感じない	⑥ その他
件数（件）	333	18	19	10	13	102	164
構成比（％）	100.0	5.4	5.7	3.0	3.9	30.6	49.2

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 外出先等での体験（18 件）

外出すると、じろじろ見られることがあるなどという意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
いつもいろいろの人にジロジロ見られる	身体障害 (肢体不自由)	60代	女性	本人
ほとんど外出しないので、たまの外出に周囲の目が差別を感じる	精神障害	40代	女性	家族

② 交通機関等での体験（19 件）

公共交通機関などで障害者手帳を見せたら、いやな顔や対応をされたなどのご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
タクシー乗車時(通院)割引制度の表示があったのを受けて、手帳を見せたら、乗務員から嫌悪感のある言葉を言われた。	身体障害 (内部機能障害)	50代	女性	本人
ほとんどないですが、バス料金が半額になる時、運転手さんがヤレヤレという態度になることがある。	身体障害 (内部機能障害)	70代	女性	不明

③ 店舗・施設等での体験（10 件）

病気等を理由に、お店などへの入場を断られたなどのご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
電動車椅子を使用していますが、操り慣れており、車の幅など把握している。店に入ろうとして店主が「中は狭いから入るな」と言った。でも自分は中に入れると判断したし、実際平気なスペースはあったが、大声でまくしたてられ、非常に不快な思いをした。	身体障害 (肢体不自由)	20代	女性	不明
人工肛門を理由に大衆浴場で断られた。非常に不愉快だった。	身体障害 (内部機能障害)	50代	女性	本人

④ 職場や仕事探しの場での体験（13 件）

職場や仕事探しの場での差別について意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
同じ職場で働いているが上目線でみている、いっている言葉にも表れている。	精神障害	60代	女性	本人
職場の上司から病気の理解は出来ない。甘えだと言われた	精神障害	20代	男性	本人

⑤ 差別は感じない（102 件）

特に差別は感じないという意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
特に何も感じません	知的障害	40代	男性	本人
特になし	精神障害 難病	60代	男性	不明

⑥ その他（164 件）

病院の中で感じるや、障害でいじめを受けたなどのご意見がありました。

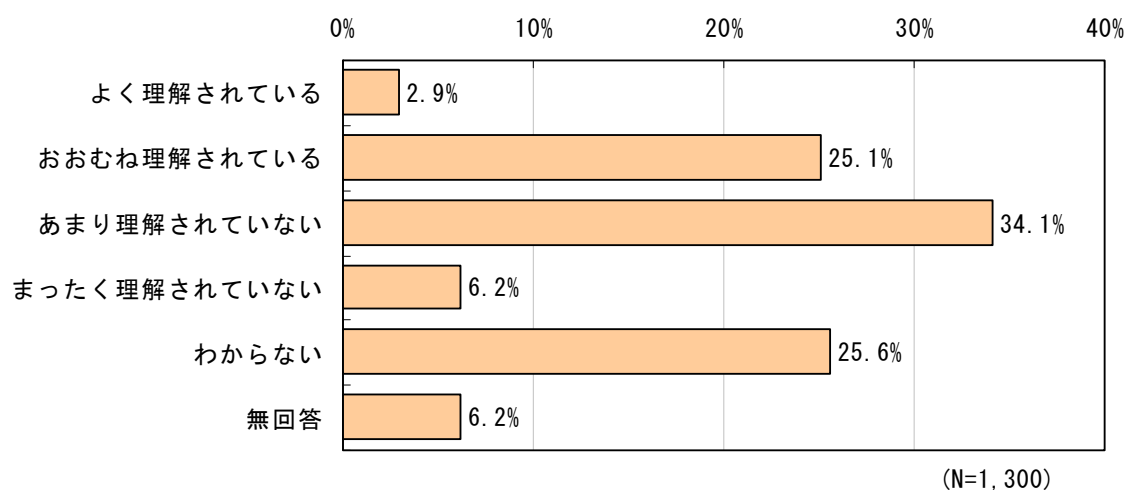
ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
病院とかで自分自身で説明ができないと、先生がちょっとおこりっぽくなる。	知的障害	20代	男性	本人
いつも学校でいじめられた。	知的障害	40代	女性	不明

(3) 障害のある人に対する市民の理解度

問51 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

「あまり理解されていない」が34.1%、「わからない」が25.6%、「おおむね理解されている」が25.1%となっています。障害種別に見ると、知的障害、精神障害のある方では、理解されていない（「まったく理解されていない」または「あまり理解されていない」と回答した方）が、多くなっています。

●全体



●障害種別

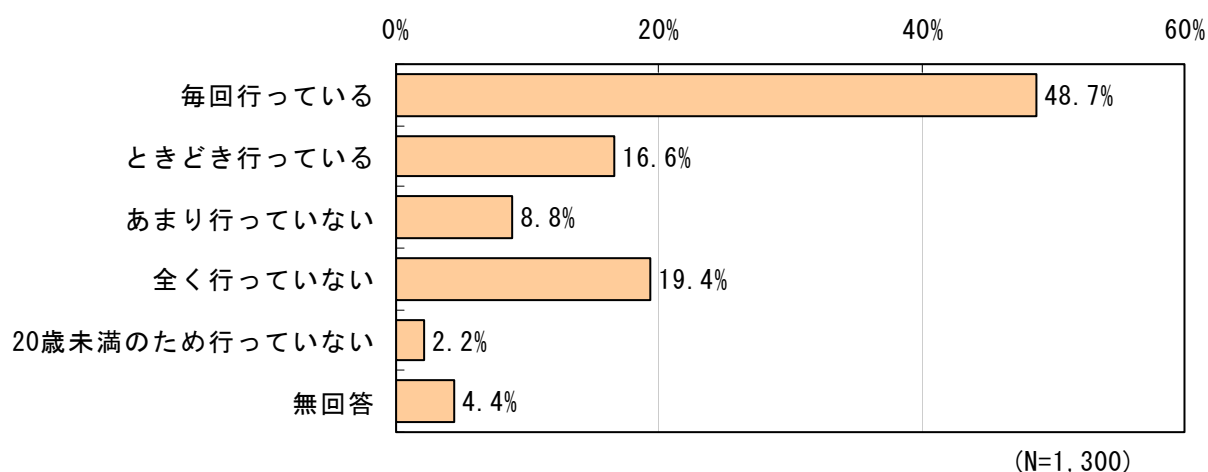
		合計	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全体	人数	1,300	38	326	443	80	333	80
	構成比		2.9%	25.1%	34.1%	6.2%	25.6%	6.2%
身体障害	人数	857	22	256	275	32	215	57
	構成比		2.6%	29.9%	32.1%	3.7%	25.1%	6.7%
知的障害	人数	251	12	36	114	20	61	8
	構成比		4.8%	14.3%	45.4%	8.0%	24.3%	3.2%
精神障害	人数	255	6	39	104	33	62	11
	構成比		2.4%	15.3%	40.8%	12.9%	24.3%	4.3%
難病	人数	255	9	71	88	14	61	12
	構成比		3.5%	27.8%	34.5%	5.5%	23.9%	4.7%
無回答	人数	35	0	8	5	2	14	6
	構成比		0.0%	22.9%	14.3%	5.7%	40.0%	17.1%

(4) 選挙投票の頻度

問 52 あなたは、選挙の投票に行っていますか。(○は1つ)

全体では、「毎回行っている」が48.7%、「全く行っていない」が19.4%となっています。
障害種別に見ると、知的障害のある方では「全く行っていない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	毎回行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	全く行っていない	20歳未満のため行っていない	無回答
全体	人数	1,300	633	216	114	252	28	57
	構成比		48.7%	16.6%	8.8%	19.4%	2.2%	4.4%
身体障害	人数	857	457	134	67	150	7	42
	構成比		53.3%	15.6%	7.8%	17.5%	0.8%	4.9%
知的障害	人数	251	63	40	23	96	22	7
	構成比		25.1%	15.9%	9.2%	38.2%	8.8%	2.8%
精神障害	人数	255	118	58	27	42	3	7
	構成比		46.3%	22.7%	10.6%	16.5%	1.2%	2.7%
難病	人数	255	129	46	19	48	2	11
	構成比		50.6%	18.0%	7.5%	18.8%	0.8%	4.3%
無回答	人数	35	18	4	5	4	1	3
	構成比		51.4%	11.4%	14.3%	11.4%	2.9%	8.6%

(5) 投票に行っていない理由

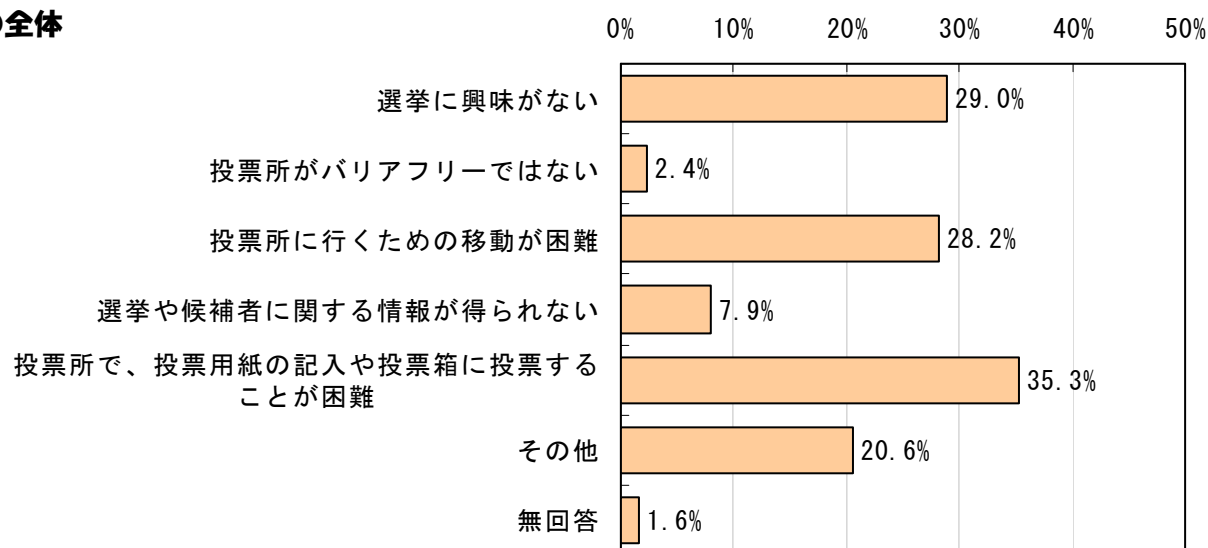
問 53 【問 52 で投票に行っていない（4、5 番）に○をつけた方におたずねします。】あまりあるいは全く行っていない理由は何ですか。（○を2つまで）

（集計にあたっては、問 52 で「4」に回答した方のみとしています）

「投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難」が 35.3%、「選挙に興味がない」が 29.0%、「投票所に行くための移動が困難」が 28.2%となっています。

障害種別に見ると、身体障害のある方では「投票所に行くための移動が困難」、知的障害のある方や難病のある方では「投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難」、精神障害のある方では「選挙に興味がない」が多くなっています。

●全体



●障害種別

(N=252)

		合計	選挙に興味がない	投票所がバリアフリーではない	投票所に行くための移動が困難	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難	その他	無回答
全体	人数	252	73	6	71	20	89	52	4
	構成比		29.0%	2.4%	28.2%	7.9%	35.3%	20.6%	1.6%
身体障害	人数	150	25	6	66	10	56	28	3
	構成比		16.7%	4.0%	44.0%	6.7%	37.3%	18.7%	2.0%
知的障害	人数	96	30	0	4	9	47	23	1
	構成比		31.3%	0.0%	4.2%	9.4%	49.0%	24.0%	1.0%
精神障害	人数	42	28	0	5	4	6	9	1
	構成比		66.7%	0.0%	11.9%	9.5%	14.3%	21.4%	2.4%
難病	人数	48	10	1	18	4	23	9	0
	構成比		20.8%	2.1%	37.5%	8.3%	47.9%	18.8%	0.0%
無回答	人数	4	1	0	1	0	1	1	0
	構成比		25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%

10. サービス利用について

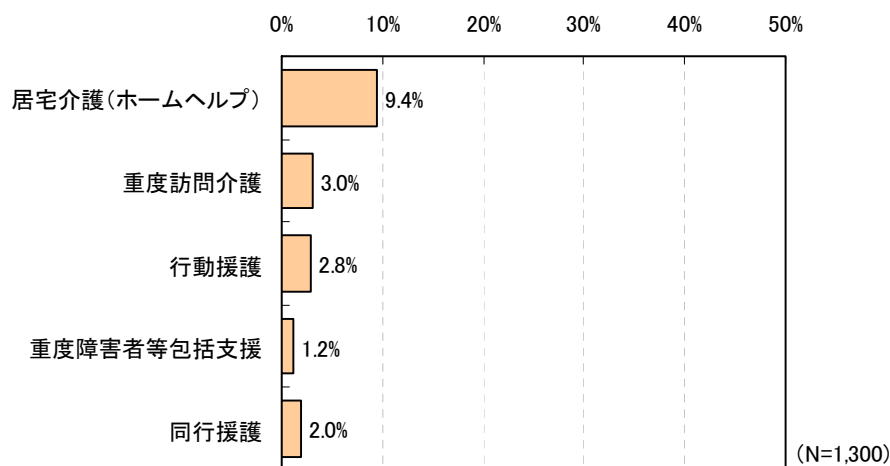
(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 54 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいとお考えですか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

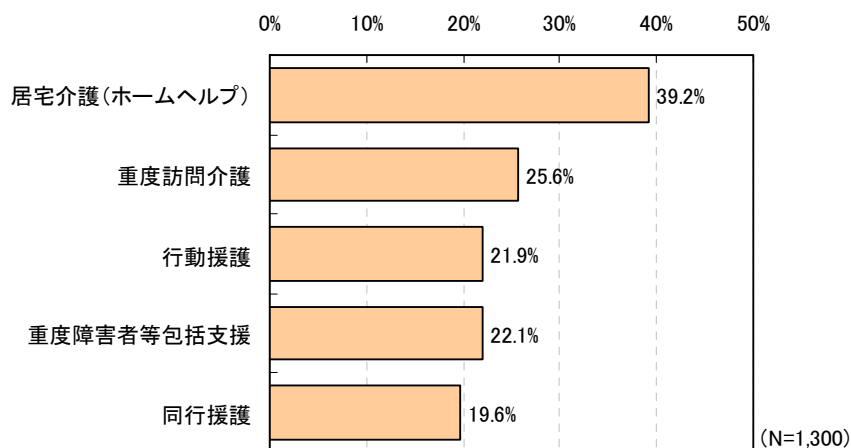
利用しているサービスについて見ると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が9.4%となっています。
利用したいサービスについて見ると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が39.2%、「重度訪問介護」が25.6%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

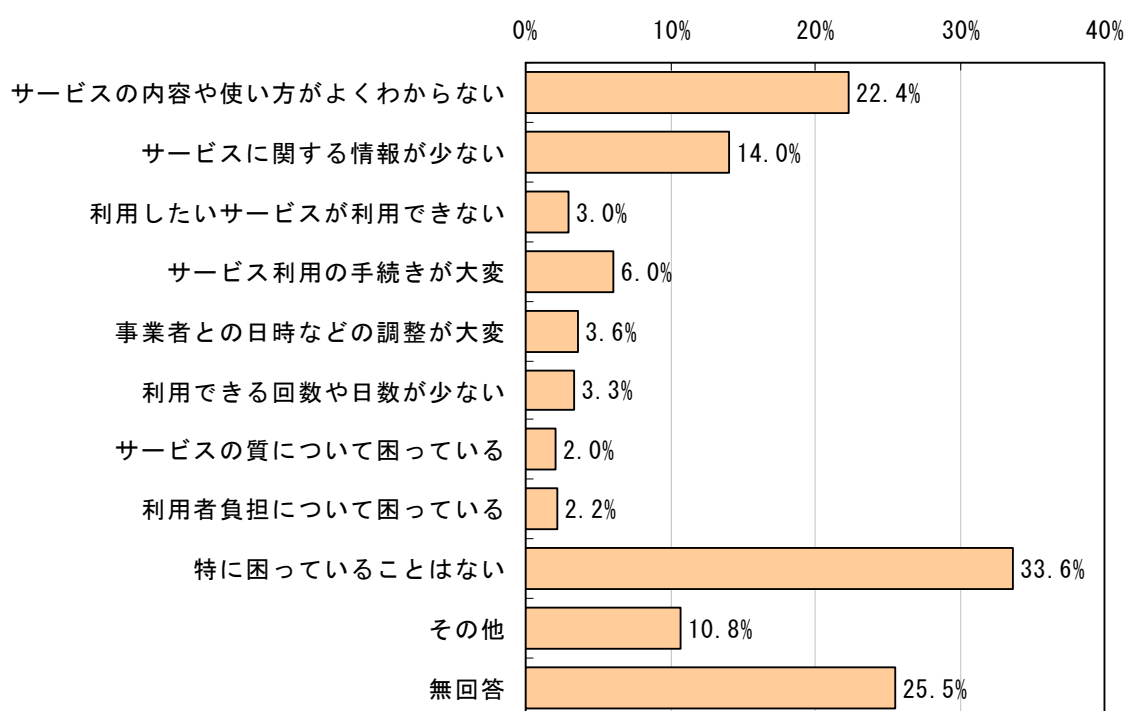


(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 55 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が33.6%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が22.4%、「サービスに関する情報が少ない」が14.0%、「サービスに関する情報が少ない」が14.0%となっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	サービスの 内容や使 い方が よくわ からない	サービ スに関 する情 報が少 ない	利用し たいサ ービス が利用 できない	サービ ス利用 の手続 きが大 変	事業 者との 日時な どの調 整が大 変	利用で きる回 数や日 数が少 ない	サービ スの質 につい て困っ ている	利用者 負担に ついて 困って いる	特に 困って いるこ とはな い	その他	無回答
全体	人数	1,300	291	182	39	78	47	43	26	29	437	140	332
	構成比		22.4%	14.0%	3.0%	6.0%	3.6%	3.3%	2.0%	2.2%	33.6%	10.8%	25.5%
身体障害	人数	857	188	111	26	47	30	29	17	17	272	94	236
	構成比		21.9%	13.0%	3.0%	5.5%	3.5%	3.4%	2.0%	2.0%	31.7%	11.0%	27.5%
知的障害	人数	251	66	44	13	21	22	12	6	8	70	28	58
	構成比		26.3%	17.5%	5.2%	8.4%	8.8%	4.8%	2.4%	3.2%	27.9%	11.2%	23.1%
精神障害	人数	255	59	43	6	17	6	8	5	7	109	26	46
	構成比		23.1%	16.9%	2.4%	6.7%	2.4%	3.1%	2.0%	2.7%	42.7%	10.2%	18.0%
難病	人数	255	65	42	8	19	8	6	0	4	81	29	60
	構成比		25.5%	16.5%	3.1%	7.5%	3.1%	2.4%	0.0%	1.6%	31.8%	11.4%	23.5%
無回答	人数	35	4	3	1	2	0	0	1	0	9	3	16
	構成比		11.4%	8.6%	2.9%	5.7%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	25.7%	8.6%	45.7%

(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

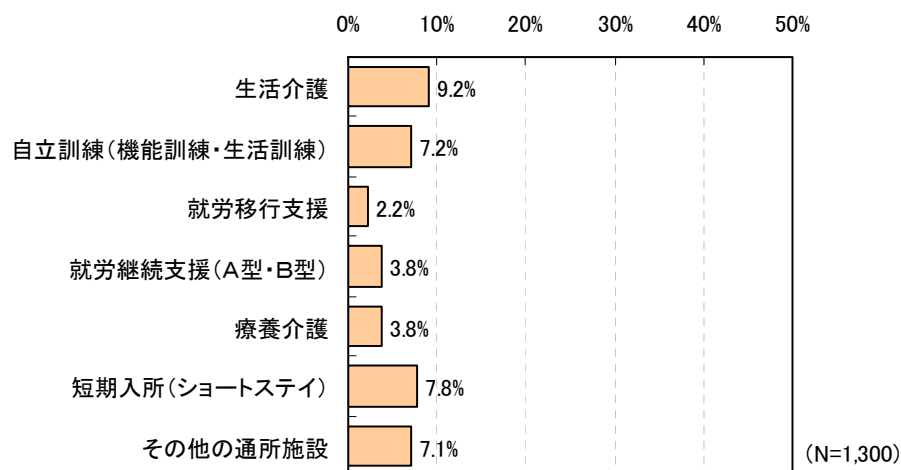
問 56 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「生活介護」が9.2%、「短期入所（ショートステイ）」が7.8%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が7.2%となっています。

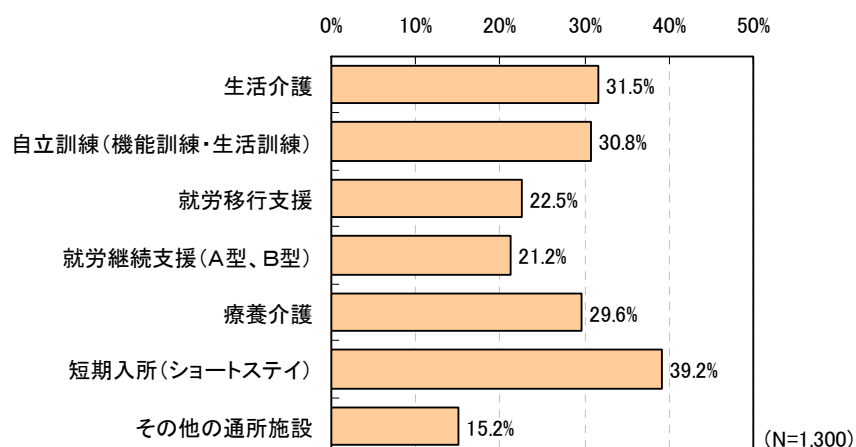
利用したいサービスについて見ると、「短期入所（ショートステイ）」が39.2%、「生活介護」が31.5%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が30.8%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

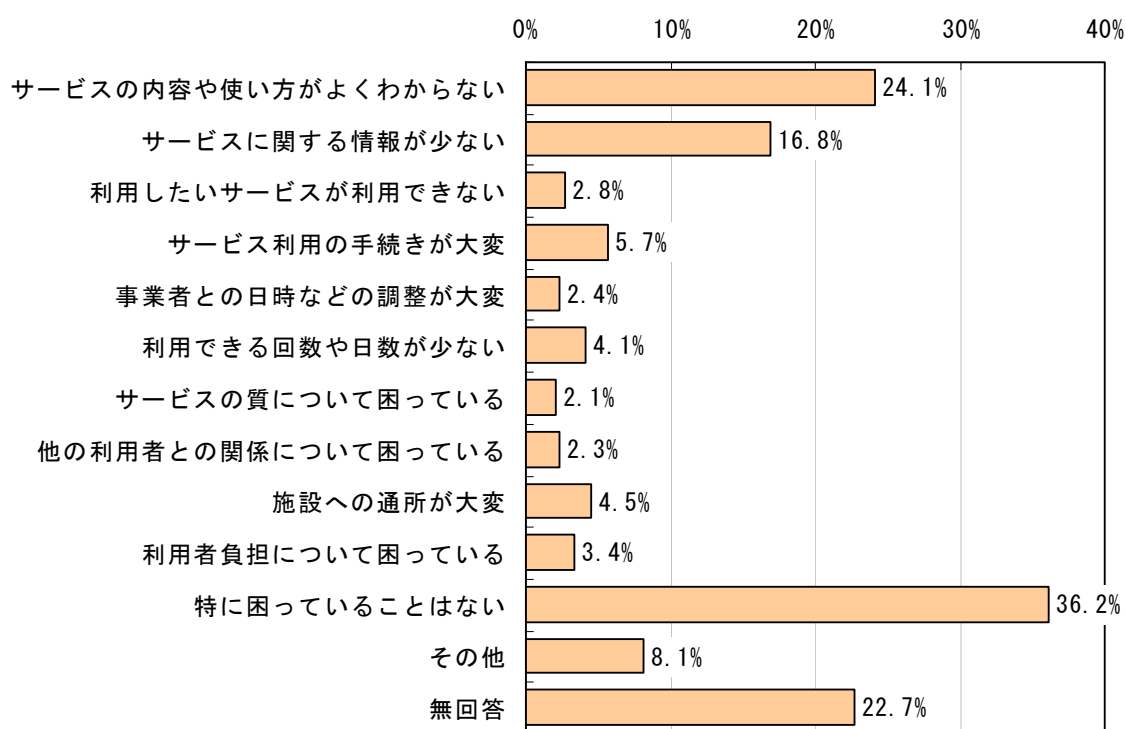


(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問57 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が36.2%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が24.1%、「サービスに関する情報が少ない」が16.8%、「サービスに関する情報が少ない」が16.8%となっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	サービスの 内容や使 い方がよ くわから ない	サービ スに関 する情 報が少 ない	利用し たいサ ービス が利用 できな い	サービ ス利用 の手続 きが大 変	事業者 との日 時など の調整 が大変	利用で きる回 数や日 数が少 ない	サービ スの質 について 困って いる	他の利 用者と の関係 について 困って いる	施設へ の通所 が大変	利用者 負担に ついて 困って いる	特に 困って いるこ とはな い	その他	無回答
全体	人数	1,300	313	219	36	74	31	53	27	30	58	44	470	105	295
	構成比		24.1%	16.8%	2.8%	5.7%	2.4%	4.1%	2.1%	2.3%	4.5%	3.4%	36.2%	8.1%	22.7%
身体障害	人数	857	202	127	18	37	13	29	16	11	27	26	303	73	212
	構成比		23.6%	14.8%	2.1%	4.3%	1.5%	3.4%	1.9%	1.3%	3.2%	3.0%	35.4%	8.5%	24.7%
知的障害	人数	251	54	41	14	22	15	19	7	8	25	10	90	21	49
	構成比		21.5%	16.3%	5.6%	8.8%	6.0%	7.6%	2.8%	3.2%	10.0%	4.0%	35.9%	8.4%	19.5%
精神障害	人数	255	74	61	6	20	6	10	6	14	13	8	100	18	36
	構成比		29.0%	23.9%	2.4%	7.8%	2.4%	3.9%	2.4%	5.5%	5.1%	3.1%	39.2%	7.1%	14.1%
難病	人数	255	78	53	5	19	5	10	3	4	7	8	90	23	45
	構成比		30.6%	20.8%	2.0%	7.5%	2.0%	3.9%	1.2%	1.6%	2.7%	3.1%	35.3%	9.0%	17.6%
無回答	人数	35	5	5	2	2	1	1	2	2	2	2	10	2	16
	構成比		14.3%	14.3%	5.7%	5.7%	2.9%	2.9%	5.7%	5.7%	5.7%	5.7%	28.6%	5.7%	45.7%

(5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

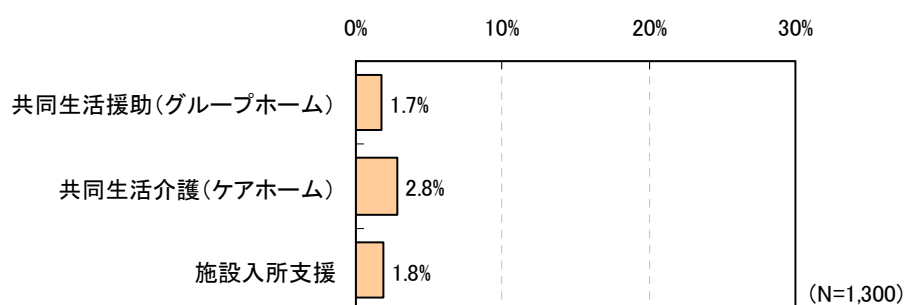
問 58 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「共同生活介護（ケアホーム）」が 2.8%となっています。

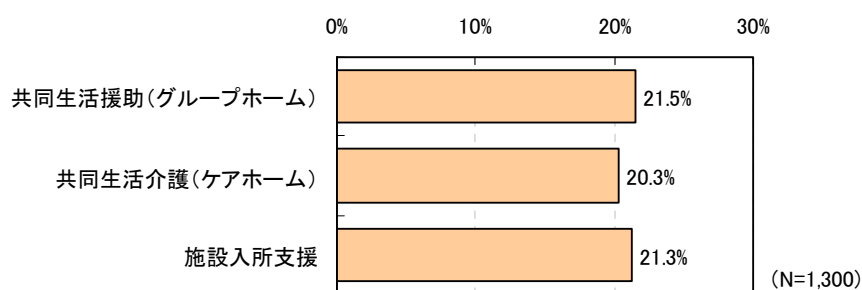
利用したいサービスについて見ると、「共同生活援助（グループホーム）」が 21.5%、「施設入所支援」が 21.3%、「共同生活介護（ケアホーム）」が 20.3%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望



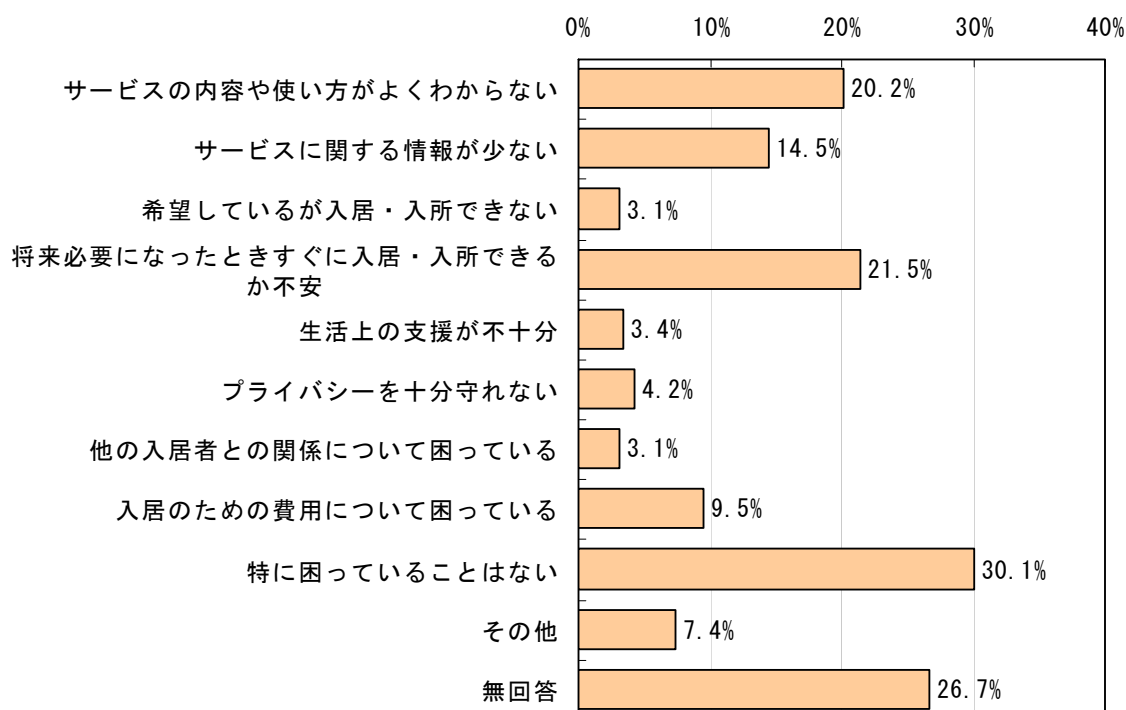
(6) 居住系サービスを利用する上で困っていること

問 59 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「特に困っていることはない」が30.1%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が21.5%、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が20.2%となっています。

障害種別に見ると、知的障害のある方では「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

(N=1,300)

		合計	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	希望しているが入居・入所できない	将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安	生活上の支援が不十分	プライバシーを十分守れない	他の入居者との関係について困っている	入居のための費用について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	1,300	262	188	40	279	44	55	40	124	391	96	347
	構成比		20.2%	14.5%	3.1%	21.5%	3.4%	4.2%	3.1%	9.5%	30.1%	7.4%	26.7%
身体障害	人数	857	164	116	20	169	23	26	14	75	245	63	246
	構成比		19.1%	13.5%	2.3%	19.7%	2.7%	3.0%	1.6%	8.8%	28.6%	7.4%	28.7%
知的障害	人数	251	43	37	19	94	15	14	14	30	63	14	60
	構成比		17.1%	14.7%	7.6%	37.5%	6.0%	5.6%	5.6%	12.0%	25.1%	5.6%	23.9%
精神障害	人数	255	69	47	7	46	9	16	12	23	100	22	41
	構成比		27.1%	18.4%	2.7%	18.0%	3.5%	6.3%	4.7%	9.0%	39.2%	8.6%	16.1%
難病	人数	255	57	37	7	61	9	14	5	27	77	24	51
	構成比		22.4%	14.5%	2.7%	23.9%	3.5%	5.5%	2.0%	10.6%	30.2%	9.4%	20.0%
無回答	人数	35	5	4	2	3	1	2	3	2	8	2	20
	構成比		14.3%	11.4%	5.7%	8.6%	2.9%	5.7%	8.6%	5.7%	22.9%	5.7%	57.1%

(7) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

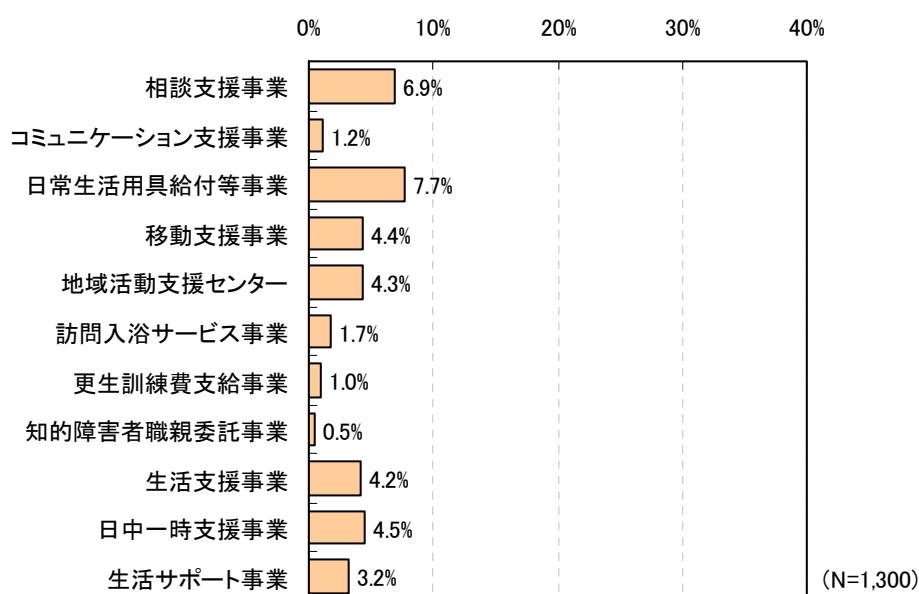
問 60 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業について見ると、「日常生活用具給付等事業」が7.7%、「相談支援事業」が6.9%となっています。

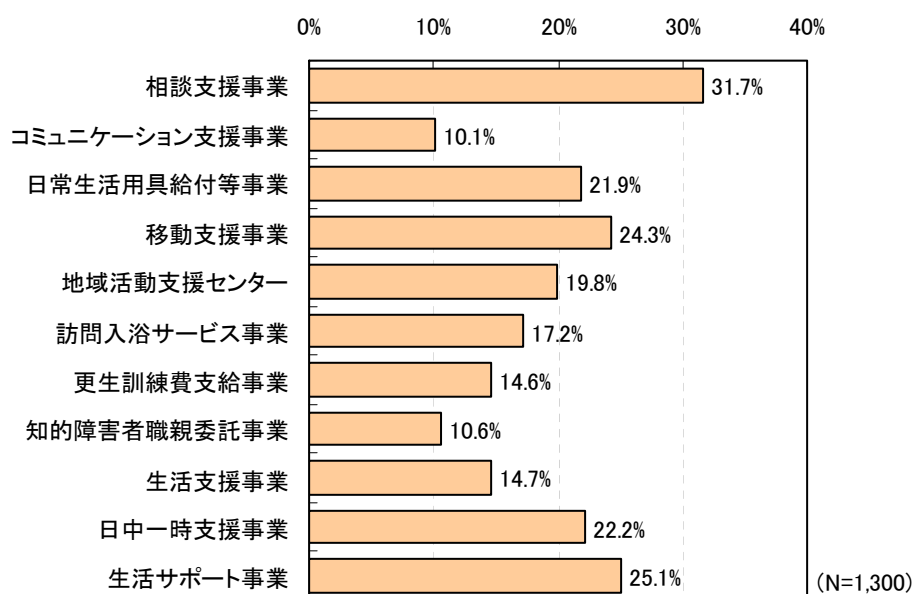
利用したい地域生活支援事業について見ると、「相談支援事業」が31.7%、「生活サポート事業」が25.1%、「移動支援事業」が24.3%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望



(8) 成年後見制度

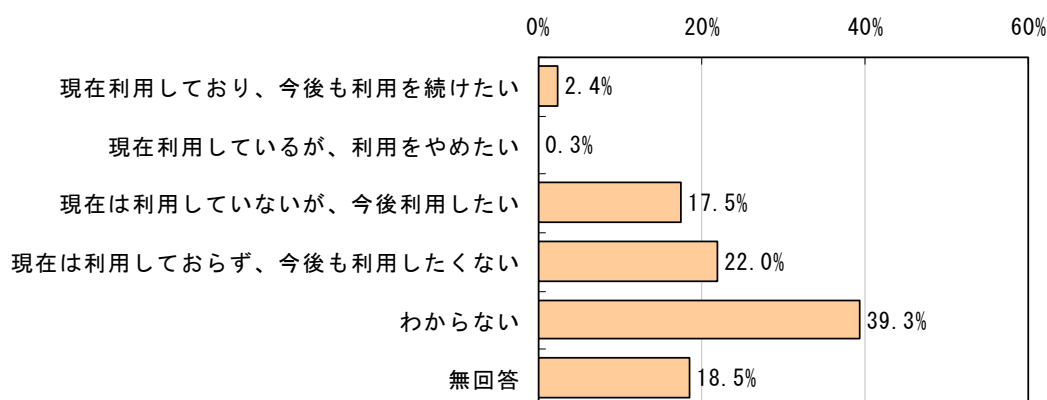
問 61 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(〇は 1 つ)

全体では、「わからない」が 39.3%、「現在は利用しておらず、今後も利用したくない」が 22.0% となっています。

障害種別に見ると、知的障害のある方では「現在は利用していないが、今後利用したい」が最も多くなっています。

年齢別に見ると、「わからない」以外において、18～39 歳では「現在は利用していないが、今後利用したい」が多くなっています。

●全体



(N=1,300)

●障害種別

		合計	現在利用 しており、 今後も利 用を続け たい	現在利用 している が、利用 をやめたい	現在は利 用してい ないが、 今後利用 したい	現在は利 用してお らず、今 後も利用 したくない	わから ない	無回答
全体	人数	1,300	31	4	228	286	511	240
	構成比		2.4%	0.3%	17.5%	22.0%	39.3%	18.5%
身体障害	人数	857	13	1	110	211	339	183
	構成比		1.5%	0.1%	12.8%	24.6%	39.6%	21.4%
知的障害	人数	251	14	1	105	21	89	21
	構成比		5.6%	0.4%	41.8%	8.4%	35.5%	8.4%
精神障害	人数	255	5	2	49	65	106	28
	構成比		2.0%	0.8%	19.2%	25.5%	41.6%	11.0%
難病	人数	255	2	0	48	62	105	38
	構成比		0.8%	0.0%	18.8%	24.3%	41.2%	14.9%
無回答	人数	35	0	1	2	5	11	16
	構成比		0.0%	2.9%	5.7%	14.3%	31.4%	45.7%

●年齢別

		合計	現在利用 しており、 今後も利 用を続け たい	現在利用 している が、利用 をやめたい	現在は利 用してい ないが、 今後利用 したい	現在は利 用してお らず、今 後も利用 したくない	わから ない	無回答
全体	人数	1,300	31	4	228	286	511	240
	構成比		2.4%	0.3%	17.5%	22.0%	39.3%	18.5%
18～39歳	人数	289	7	2	98	37	123	22
	構成比		2.4%	0.7%	33.9%	12.8%	42.6%	7.6%
40～64歳	人数	374	13	2	66	90	153	50
	構成比		3.5%	0.5%	17.6%	24.1%	40.9%	13.4%
65歳～74歳	人数	300	6	0	28	79	116	71
	構成比		2.0%	0.0%	9.3%	26.3%	38.7%	23.7%
75歳以上	人数	315	5	0	36	75	113	86
	構成比		1.6%	0.0%	11.4%	23.8%	35.9%	27.3%
無回答	人数	22	0	0	0	5	6	11
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	27.3%	50.0%

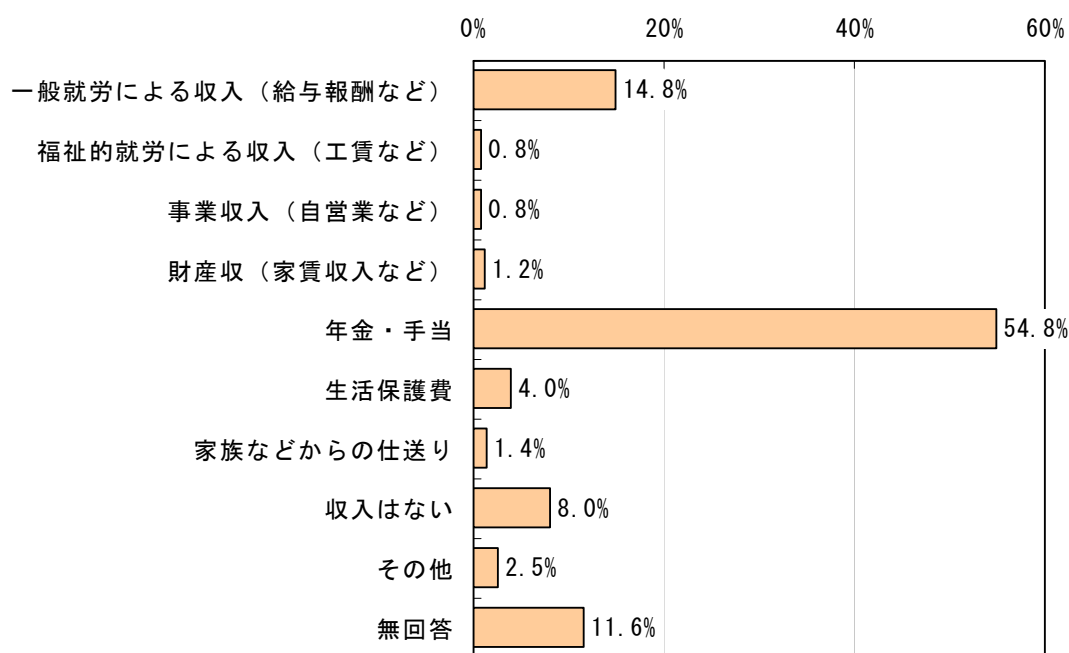
1 1. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 62 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

「年金・手当」が54.8%、「一般就労による収入（給与報酬など）」が14.8%となっています。

●全体



(N=1, 300)

●障害種別

		合計	一般就 労による 収入(給 与報酬 など)	福祉的 就労に よる収入 (工賃な ど)	事業収 入(自営 業など)	財産収 入(家賃 収入など)	年金・手 当	生活保 護費	家族など からの 仕送り	収入は ない	その他	無回答
全体	人数	1,300	193	11	10	16	713	52	18	104	32	151
	構成比		14.8%	0.8%	0.8%	1.2%	54.8%	4.0%	1.4%	8.0%	2.5%	11.6%
身体障害	人数	857	95	3	8	11	538	29	6	46	18	103
	構成比		11.1%	0.4%	0.9%	1.3%	62.8%	3.4%	0.7%	5.4%	2.1%	12.0%
知的障害	人数	251	49	10	0	2	126	5	5	20	9	25
	構成比		19.5%	4.0%	0.0%	0.8%	50.2%	2.0%	2.0%	8.0%	3.6%	10.0%
精神障害	人数	255	52	1	0	3	90	22	10	46	8	23
	構成比		20.4%	0.4%	0.0%	1.2%	35.3%	8.6%	3.9%	18.0%	3.1%	9.0%
難病	人数	255	29	2	3	3	152	12	6	21	7	20
	構成比		11.4%	0.8%	1.2%	1.2%	59.6%	4.7%	2.4%	8.2%	2.7%	7.8%
無回答	人数	35	4	0	2	1	13	0	1	1	1	12
	構成比		11.4%	0.0%	5.7%	2.9%	37.1%	0.0%	2.9%	2.9%	2.9%	34.3%

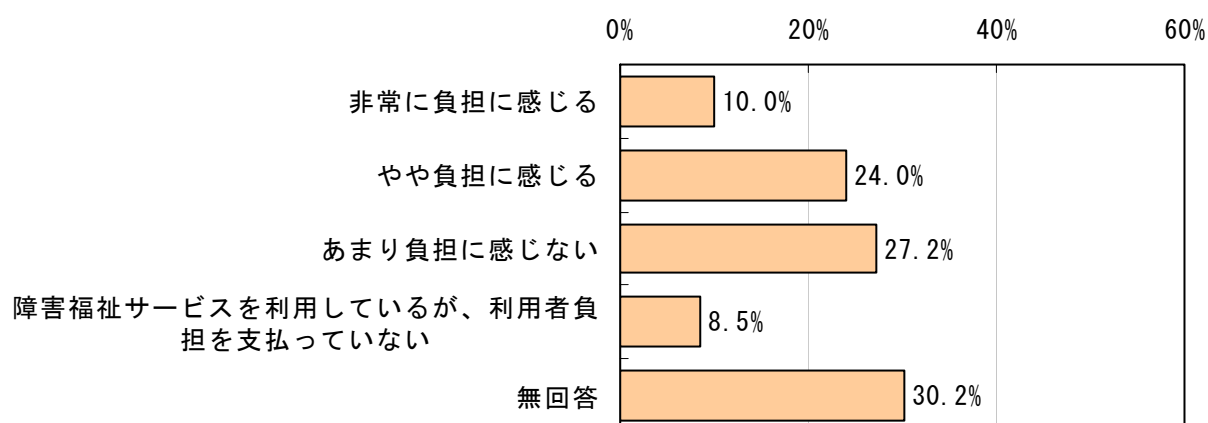
(2) 利用者負担の負担感

問 63 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

（「障害福祉サービスを利用していない」方を除いて集計）

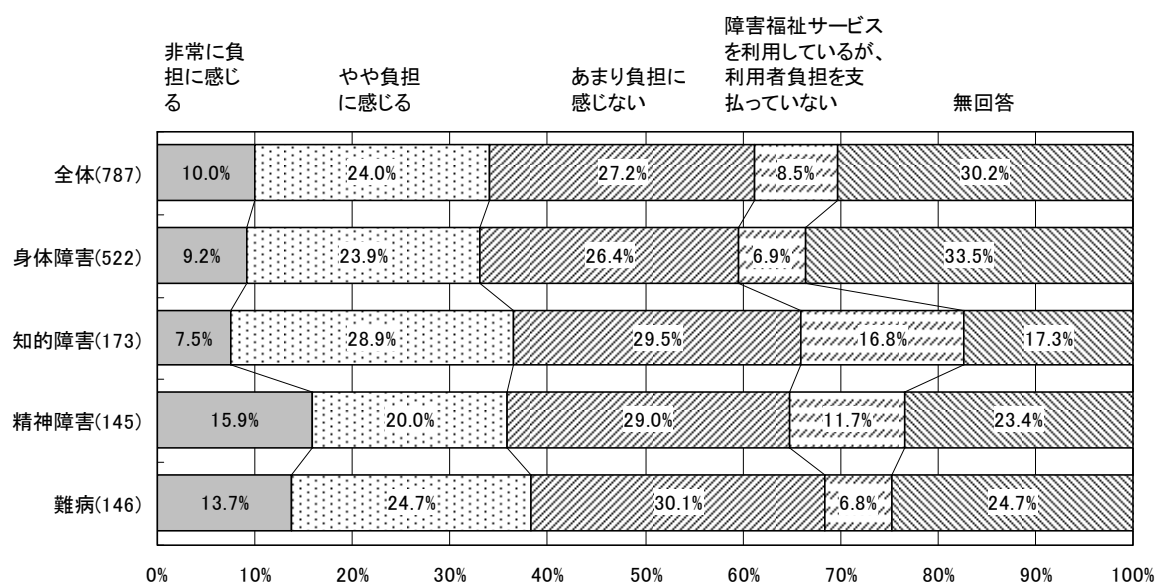
「あまり負担に感じない」が27.2%、「やや負担に感じる」が24.0%となっています。

●全体



●障害種別

(N=787)

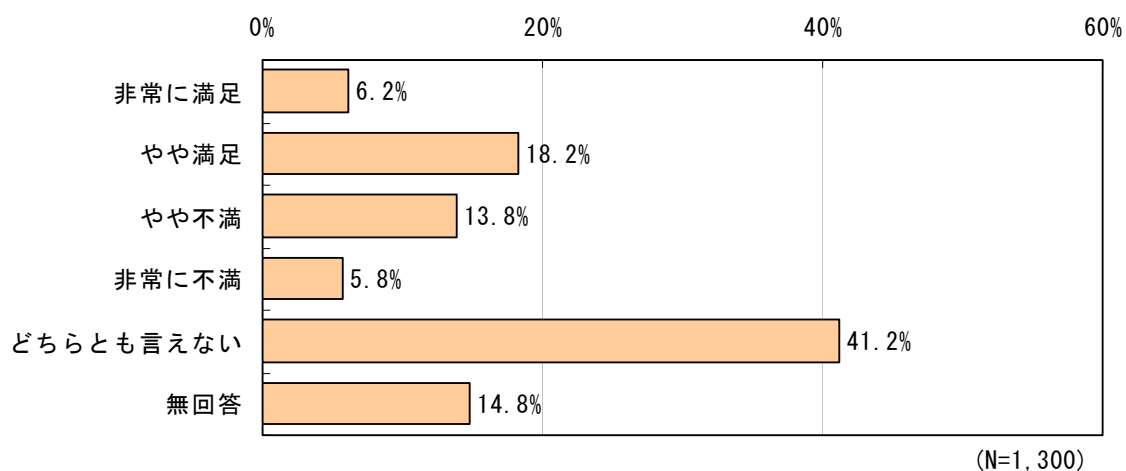


12. 市の障害者施策について

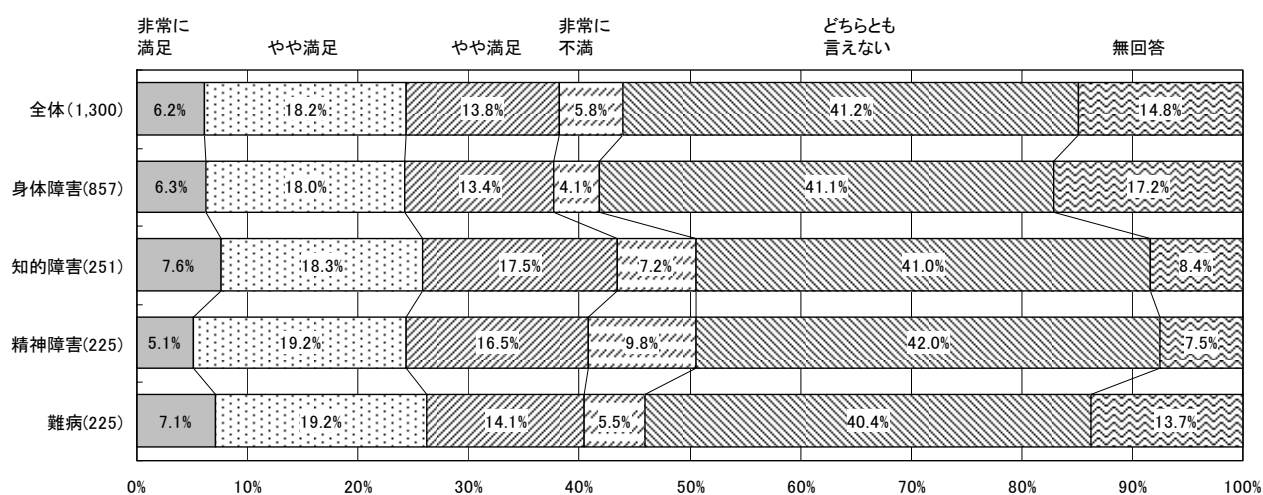
問 64 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「どちらとも言えない」が41.2%、「やや満足」が18.2%となっています。

●全体



●障害種別



13. 自由意見

問 65 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書(か)きください。(自由記述)

全体では 439 件の意見がありました。

	全体	分類 1 福祉サービス	分類 2 医療・健康	分類 3 生活環境	分類 4 雇用・労働
件数 (件)	439	125	13	37	13
構成比 (%)	100.0	28.5	3.0	8.4	3.0

	分類 5 将来について	分類 6 経済事情・ 経済的支援	分類 7 行政・制度	その他
件数 (件)	33	28	66	124
構成比 (%)	7.5	6.4	15.0	28.2

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 分類 1 福祉サービス (125 件)

居宅介護、短期入所、日中活動系事業などのサービスの充実や、タクシー券などの助成や公共交通費の減免に関する事、グループホームなどの居住場所の整備などに関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
事業所によりヘルパーの質が随分と違うものだと感じています。	身体障害 (肢体不自由) 精神障害	60 代	男性	本人
急に病気が悪化したり、具合が悪くなったときに、食事などのお手伝いをしてくださる支援があったらありがたいです。(居宅介護に関する意見：9 件)	身体障害 (視覚障害、内部機能障害)	50 代	女性	本人
仕事や長期の旅行などの時に預けられる場所が欲しいです。また、手続きもとても大変なのでもう少し働く介護者の立場に立ってほしいです。	知的障害 精神障害	20 代	男性	家族
通所(生活介護)のみの施設は近年たくさんできていて、選べるほどですが、ショートステイをお願いできる施設は少なく、緊急時介護や怪我や病気で介護ができなくなった場合の不安を感じます。(短期入所に関する意見：7 件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	20 代	女性	家族
今のグループホームは軽度の人を対象になっているようで、とても入所できる場所ではないと思っています。今後、市の方をお願いしたいことは、重度の障害者も入所できるようなグループホームを作っていただくことを切に願っています。	知的障害	40 代	男性	不明

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
グループホームの情報がもっとほしい。千葉市にグループホームを増やしてほしい。親亡き後も安心して生活できるようにするにはどうしたらよいのかわかりやすい情報が欲しい。(グループホームに関する意見：8件)	知的障害	20代	女性	家族
障害者は全般的に身体、精神ともに虚弱ですが、民間の福祉施設は病気で休むことを計算に入れておらず、補助金の減額をなくそうとするため、利用者に通所を強要します。そのため無理をして通所することも多く、結果、長期休養になり、施設から退所してほしいと申し渡されたりします。病気休暇、忌引き休暇等人間として必要なことを認めてほしいと思います。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	30代	男性	本人
介護者が高齢になってきて、私の通所送迎を負担に感じているようです。生活介護、移動介護の事業で利用できるとよいのですが、週5日月20日以上になります。生活介護の通所施設に送迎バス運行を願っています。そのためには、施設に対して、送迎をする補助金を是非予算に挙げてほしいと思います。地域で暮らせと国の方針ですが、重症の障害者にとっては介護者あつての生活です。少しでも楽に、長く家族とともに生活したいです。両親を楽にさせてください。よろしくお願いします。(日中活動系事業に関する意見：10件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	30代	女性	家族
このところ生活介護施設は増え、日中生活の面では少し充実してきたのではないかと思います。入所施設は不足しています。地域でと言っても、周りの理解や協力がなければ重度障害者が暮らしていくのは無理です。親も年を取り、今後年を取ったとき、または親亡き後を考えるとやはり入所施設は必要だと思います。新しい施設が欲しいのはもちろんですが、当面できないのなら、現在の施設の増床等考えられないのでしょうか。(入所施設に関する意見：15件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	20代	男性	家族
福祉タクシー券を利用させていただいていますが、何度も面倒そうな運転手さんに会いました。計算方法などもう少し簡単になったら利用しやすいと思います。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	20代	女性	家族
現在ガソリン券を受けているが、使い勝手が悪く現金振り込みにしてほしい。【理由】・指定されるガソリンスタンドが不便で券での給油は面倒くさいと、あまりいい顔をされない。・ガソリンはセルフ給油が中心になっており、券で入れる単価はセルフに比べ10円～15円高い。利用者に不利。・券の発行の費用、またそれをフォロー(ガソリンスタンド)する等作業の量の削減になり、行政、ガソリンスタンド、利用者とも得の案と思う。(タクシー券・ガソリン券に関する意見：7件)	身体障害 (内部機能障害)	70代	男性	本人
障害者手帳を利用して列車(JR等)に乗るとき、短距離であってもバスやモノレールと同様に料金が半額になればと思います。	身体障害 (肢体不自由)	60代	男性	本人

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
タクシーの利用料金が高額になり困っています。介護保険でも交通のための費用はカバーしてもらえず、食費や生活費を削ってタクシー代を払っています。せめてバス代を無料にしていただけると少しは支出も減り、安心できる。(公共交通費の減免に関する意見：16件)	身体障害 (内部機能障害)	80代	男性	本人
難聴が加齢とともに進むような気がしますので、補聴器の購入期限を5年とは言わずに2～3年くらいにしていただければ助かります。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	70代	男性	本人
障害福祉サービスはどのようなものがあるのですか。皆様によくわかるようにしていただきたい。	身体障害 (肢体不自由、内部機能障害) 難病	70代	女性	本人
サービスの内容が一律ではなく、きちんとアセスメントをして、個々にあった内容になるよう配慮してほしい。	身体障害 (肢体不自由)	60代	女性	本人
知的障害等級 B2 の利用できるサービスが少ない。もっと軽度の支援をしてほしい。	知的障害	10代	男性	家族
大変重度な障害を持っている場合は、ほとんどの福祉サービスを受けられない(断られる)のが実情です。呼吸器管理が加わり、短期入所もなかなか利用できず、家族が休みを取るのも困難になりました。責任問題もあり、ヘルパーがやりたがらないのはよくわかりますが、重度で特定疾患を持たないものは、あらゆる支払いが全てで実費で、しかも受けられるサービスが限られているわけで、今後増えるであろうこうした重度の子供を救う手だてが必要です。	身体障害 (肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害)	不明	男性	家族

② 分類2 医療・健康 (13件)

医療機関での情報提供に関する意見や、集団検診の実施方法などについてのご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
病院にもっと情報を置いてほしい。	精神障害	70代	女性	家族
集団検診では、聞こえないことでつらい思いをします。かかりつけ病院で受けられるようになると、とてもうれしいです。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	60代	女性	不明
病院の診察の時間が非常に短い。医者は患者の顔を見ず、パソコンに向かって生身の人間としてみているのかが疑問だ。福祉うんぬんよりも、こういった医療体制を改めてほしい。	精神障害	40代	女性	不明

③ 分類3 生活環境（37件）

道路や公共交通機関のバリアフリー化への要望や、トイレ等に関する意見、災害時に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
多目的トイレには、必ずユニバーサルシートを。福祉センターすらないし、必要であることを理解してほしい。	身体障害 (肢体不自由、 視覚障害) 精神障害	20代	男性	家族
どこへ出かけても普通に利用できるトイレがあることや、電車やバス、モノレール等普通に利用できること。段差や障害物のない歩道を作ることにより、たくさんの人々が社会参加できるようになると思います。	身体障害 (肢体不自由)	40代	女性	本人
市民会館等、古い公共施設は、階段だけでスロープになっていない。座席間も狭く、足の悪いものには、座り心地が悪い。そんなことを考えると、外出も避けがちとなってしまう。また、公民館等も同じことがあります。(2階に行くのは階段のみで、サークルを退会せざるを得なかった。)	身体障害 (肢体不自由)	70代	女性	本人
例えば駅のホームに出る際に、障害者用のエレベーターが改札近くに（もしくは、できるだけ入口近くに）設置されるとよいと思います。また、階段、エスカレーターがのぼり中心に設置されることに配慮は感じますが、実際には下りの方が、恐怖心大きいことも理解いただけるとよいと思います。(ユニバーサルデザインに関する意見：19件)	身体障害 (肢体不自由)	40代	男性	本人
一人暮らしになったとき、親に問題が起きたとき、緊急時にどこに相談すればよいかわからない(病気、事故、火災)。障害者には高齢者にならなくても安心電話をつけてほしい。	知的障害	30代	男性	家族
災害時、非常時に、一般の方と一緒に避難所での生活は不可能です。できたとしても他の方に迷惑をかけるのが心苦しい。もしも非難しなければならないことがあったとき、障害者用トイレやベッドが確保できる場所を作ってもらいたいと思います。現在、1週間ほどは災害時に暮らせるように備蓄はしてあります。(災害時の対応に関する意見：10件)	身体障害 (肢体不自由)	70代	男性	不明
障害者マークの駐車場をもっと増やしてほしいです。	身体障害 (肢体不自由)	20代	男性	家族

④ 分類４ 雇用・労働（１３件）

就労に当たっての支援や、障害者向けの雇用情報に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
生活保護ですが、働くか、働かないかのどちらかではなく、短時間の就労体験や、週に１～２度程度の職業訓練などしてほしい。週５日とかだと辛くいけない。	精神障害	30代	男性	不明
障害者向けの求人のみの広告がほしい。	精神障害	50代	女性	本人
頭脳を要求する仕事が多いように感じられる。単調な作業がもう少しあればと思う。説明会等に参加する企業が毎回同じようなところが多く、「障害者雇用」というのが一般的に取り上げられても、企業に根付いていないように感じる。	身体障害 (肢体不自由)	40代	女性	本人
障害者雇用を利用して働きたいと思っているのですが、障害のために働けないのではないかと考えるととても不安です。	精神障害 難病	30代	女性	不明
リワーク制度を利用したいと考えるが順番待ち、一定の技能や職務経験があるものに、ニーズに応じたメンタルスキルを選択して習得させる等の柔軟なプログラムの提供を検討いただきたい。	精神障害	40代	男性	不明
福祉作業所などをなくさないでほしいです。障害者が生きていくために住みやすい千葉市にしてほしいです。	知的障害 精神障害	40代	女性	家族

⑤ 分類５ 将来について（３３件）

将来を見据えて、保護者等がいなくなった後でも暮らしていけるような支援体制の構築や、多様な居住場所の整備に関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
障害者本人と支援する家族の高齢化により、親亡き後の生活に大きな不安を抱いています。暮らしの場は、自宅、グループホーム、入所施設等ありますが、どの暮らしを選んでも、成年後見制度を活用し、安心した暮らしができるように、生活の組み立てを一緒に考えていただけるマネジメント機関の充実を望みます。	知的障害	20代	男性	本人

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
入所施設の問題もいろいろあります。正直利用している施設にもあまり言うこともできません…（何かあっても…）何がよくて、何が悪いとか人それぞれ障害の程度や種別によって違いますが、私の子は知的障害、自閉症もあり、本人の考え、思いも伝えることができません。こちらが意識して感じ取るしかないのです。先々大丈夫かと本当に心配なのです。この子を理解し、うまく生活できる施設はあるのか、グループホームはあるのか、ここまで育てられたのも、周りの皆さんのおかげだと思い感謝もしていますが……。とにかく将来が不安なのです。（親亡き後の不安に関する意見：１３件）	知的障害	10代	男性	家族
父親や配偶者が病気になったり、死亡した場合一人では対応できないので、その時に 24 時間対応できるホームヘルパーなどが欲しい。また、金銭管理や、特に父親や配偶者が死亡した場合の金融関係や役所に出す書類の手続きの対応をしてくれる人が欲しい。	精神障害 難病	40代	男性	本人
現在困っていることはほとんどないのですが、将来、年齢が高くなった場合は不安があります。情報をいかに取り入れるか、今のままではできないような気がします。相談員等がどこにいらっしゃるかよりわかりやすい方法があったらと思います。	身体障害 （内部機能障害）	70代	女性	本人

⑥ 分類 6 経済事情・経済的支援（28件）

障害年金や、医療費などの負担軽減に関してご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
障害者の医療負担、自動車税の軽減等をお願いしたい。	身体障害 （肢体不自由、 内部機能障害） 難病	60代	女性	不明
今もらっている年金だけでは到底生活できず、不足分は父親の年金を当ててもらって生活しています。精神症状が重く、今のところ働いて賃金を稼ぐのはとても難しいことです。最終的には経済面が一番のしかかってきます。	精神障害	20代	女性	家族
なるべく自力で生活できるよう工夫してはおりますが、年金のみの生活に医療費が重圧ですけど、消費税等のアップでこの先経済面を考えると真っ暗です。サービスを利用させていただくことすらできなくなるような状況です。	身体障害 （聴覚・平衡機能障害）	70代	女性	本人

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
生活を普通にしている、でも仕事は無理で、夫の収入が少ないです。私の病が重いとき、両親が私の年金を払わなかったため、年金がもらえないのです。私はその頃寝たきりで、ひどい幻聴とで普通の生活ができないほどでした。年金を自分のせいではないのにもらうことができなくて苦しいです。辛いです。他に障害者が手当をいただけるような仕組みを作ってほしいです。	精神障害	30代	女性	本人

⑦ 分類7 行政・制度（66件）

情報提供に関することや手続きの簡素化に関すること、市職員の対応などに関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
市役所の担当部署より障害者に積極的に情報を提供してください。現在は提供するというより受け身のように見受けられます。	不明	80代	男性	本人
知る機会が少ない（新聞をとっていないので、市政だよりも役所へ行かないと手に入らず、役所も遠い）。（情報提供に関する意見：18件）	精神障害	70代	女性	家族
各種サービスの申請、更新等の手続きのため、月1回くらいのペースで区役所福祉課の窓口へ出向くことが多く、もう少し手続きが簡素化されると助かります。	知的障害	20代	男性	家族
一度の窓口訪問で手続きが終了できるようにしていただけるとありがたい。許可がおきるまでの期間もなるべく早くしてほしいと思います。（手続きの簡素化に関する意見：10件）	精神障害 難病	50代	女性	本人
窓口で相談に行ったこともあります。こちらの質問に「それはここではない。〇番窓口へ」と3か所回され、結局、こちらの意図する回答は得られず、すべてこちらで対処しています。（職員対応に関する意見：9件）	身体障害 （視覚障害）	70代	女性	家族
持っている手帳の種類と等級によって受けられるサービスが違ってきて、自分のように低い等級の者だとかなり制限される。同じ障害者なのにこの違いは何？生活することに困っていることには変わらないのに。	知的障害	40代	男性	不明
日本の社会保障制度はまだまだ不平等で矛盾が多いと感じます。障害年金が支給され、体力的な問題がなく、環境が整っていれば就職し、更に結婚し家庭を持ち、経済的にも社会的にも自立した生活ができる障害者の方、特定疾患の難病で医療費の助成があり、働きながら治療している方など比較的手厚い支援を受けている人がいる一方で、実態すら把握されず、支援のない人も確実に存在します。	身体障害 （音声・言語・そしゃく機能障害） 精神障害 難病	40代	女性	本人

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
制度が複雑なうえ、法律もよく変わるので、相談事業は大切だと思います。一人一人の障害に沿った生活が送れるよう気軽に相談できる窓口を多く設けてほしい。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害) 知的障害	10代	女性	家族
成年後見制度は手続きが煩雑で時間もかかるうえ、認定後は金融機関の利用等何かと不便という話もある。制度を悪用した被害などのニュースも聞くと、やはり責任の所在は民間でなく行政でなければと不安に思う。	知的障害	40代	男性	家族
住宅の連帯保証人があるため、住宅を継続して契約更新ができない。常に住居の不安が付きまとい怖い。国や地方自治体で保証人を請け負う制度が欲しい。	精神障害 難病	20代	男性	本人

⑧ その他（１２４件）

障害者理解に関することや、地域とのつながりなどに関するご意見がありました。

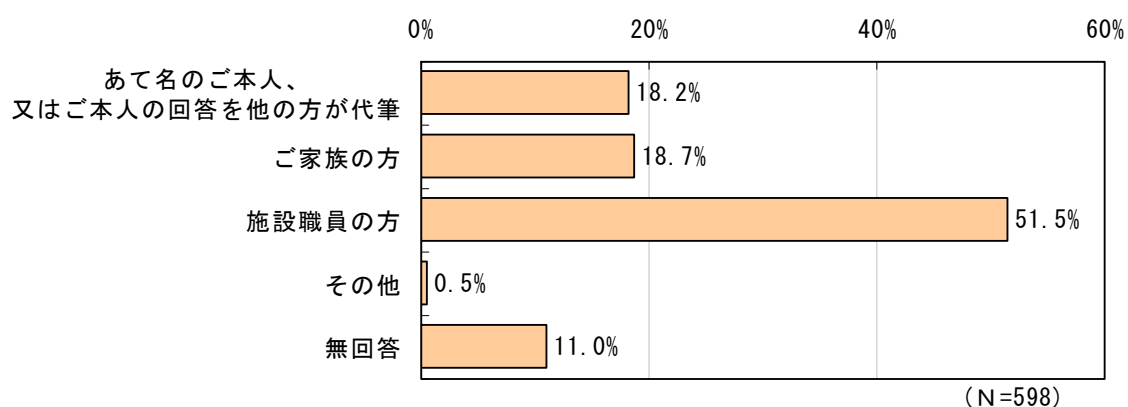
ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
右心室完全ブロックなので、外見上健常者と区別がつかず障害者バッチのようなものがあつたらいいと思う。外耳形状が正常な聾者も同様であろう。自ら「私は障害者です。」とは言いにくい。	身体障害 (内部機能障害)	60代	男性	本人
うつ病、そううつ病と、いまだ理解されるのに時間がかかり、うざがられます。もっと病気について皆に理解されるようにしてほしい。	精神障害	30代	男性	本人
とにかく企業の人に「てんかん」について正しい症状とケアの理解をしてほしい。「てんかん」というと皆、大発作（けいれん）を想像するみたいだ。私がいくら「意識障害」といっても解ってもらえない。そして面接は落とされ、いつまでたっても就職できない。手帳１級を見せても大きな偏見を持たれ、落とされる。これでは困る。正しい理解とケアを指導してほしい。	精神障害	40代	女性	本人
電車内で、数名の中学生の引率の先生が、年寄りや障害者を立たせておいて、座席に座っているのを見かけたことがあります。また、シルバーシートにも健常者が座っているのもよく見られます。障害者に対する理解ができていない人がかなりいるものと思われます。(障害者理解に関する意見：１０件)	身体障害 (肢体不自由)	60代	不明	不明
手話講習など利用したい。同じ障害を持つ人たちとのコミュニケーションの場があつたら利用してみたい。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害) 難病	30代	女性	不明
地域に障害者と健常者が集える拠点を増やした方がよい。	精神障害	30代	女性	本人

II 施設に入所している方を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「施設職員の方」が51.5%となっています。また、知的障害のある方、精神障害のある方は「あて名のご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆」が10.7%、17.6%と少なくなっています。

●全体



●障害種別

		合計	あて名のご本人、 又はご本人の回答 を他の方が代筆	ご家族の 方	施設職員 の方	その他	無回答
全体	人数	598	109	112	308	3	66
	構成比		18.2%	18.7%	51.5%	0.5%	11.0%
身体障害	人数	245	83	45	95	0	22
	構成比		33.9%	18.4%	38.8%	0.0%	9.0%
知的障害	人数	447	48	90	258	3	48
	構成比		10.7%	20.1%	57.7%	0.7%	10.7%
精神障害	人数	51	9	9	27	0	6
	構成比		17.6%	17.6%	52.9%	0.0%	11.8%
難病	人数	25	10	6	9	0	0
	構成比		40.0%	24.0%	36.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	2	2	2	0	6
	構成比		16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%

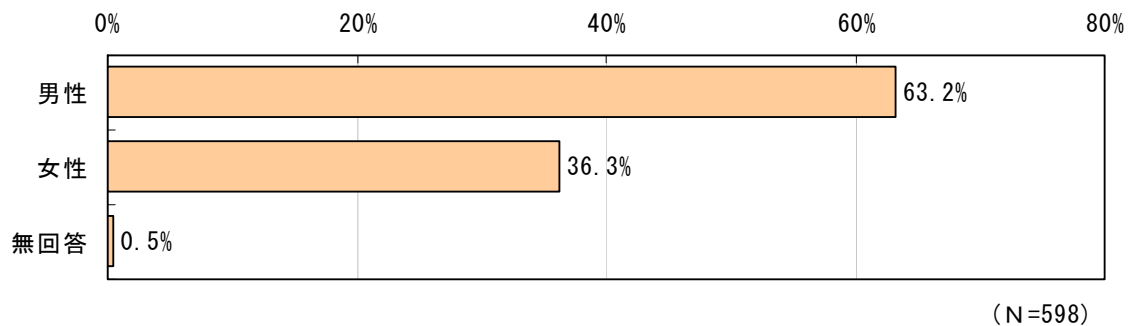
1. ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が63.2%、「女性」が36.3%となっています。

●全体



●障害種別

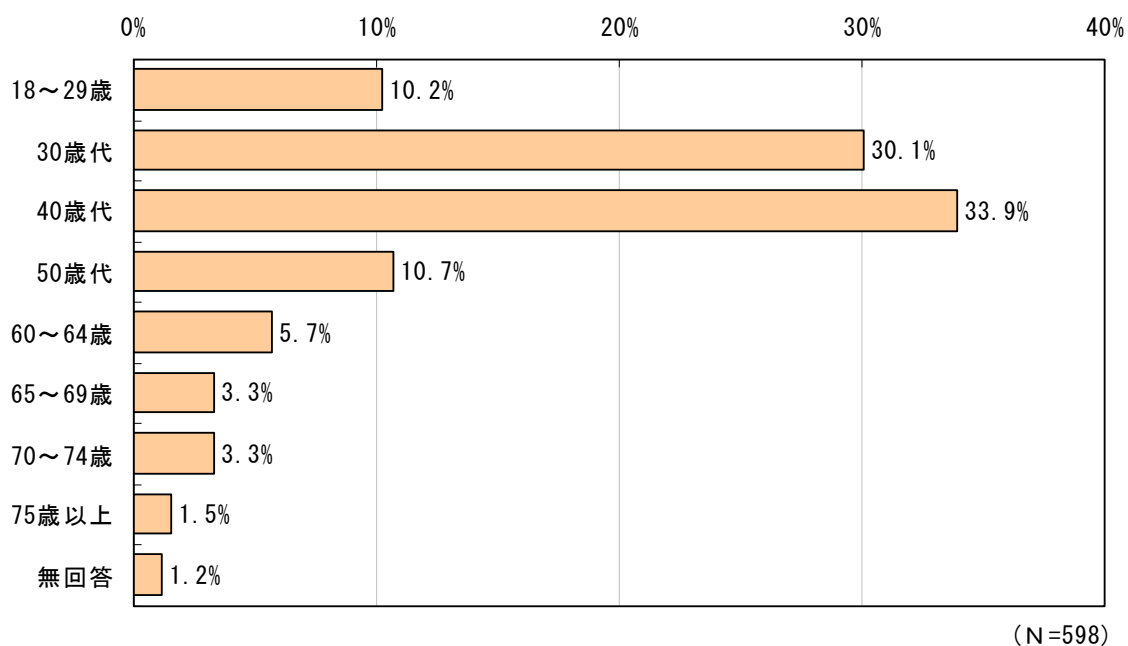
		合計	男性	女性	無回答
全体	人数	598	378	217	3
	構成比		63.2%	36.3%	0.5%
身体障害	人数	245	134	111	0
	構成比		54.7%	45.3%	0.0%
知的障害	人数	447	291	156	0
	構成比		65.1%	34.9%	0.0%
精神障害	人数	51	29	22	0
	構成比		56.9%	43.1%	0.0%
難病	人数	25	12	13	0
	構成比		48.0%	52.0%	0.0%
無回答	人数	12	7	2	3
	構成比		58.3%	16.7%	25.0%

(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

「40歳代」が33.9%、「30歳代」が30.1%となっています。

●全体



●障害種別

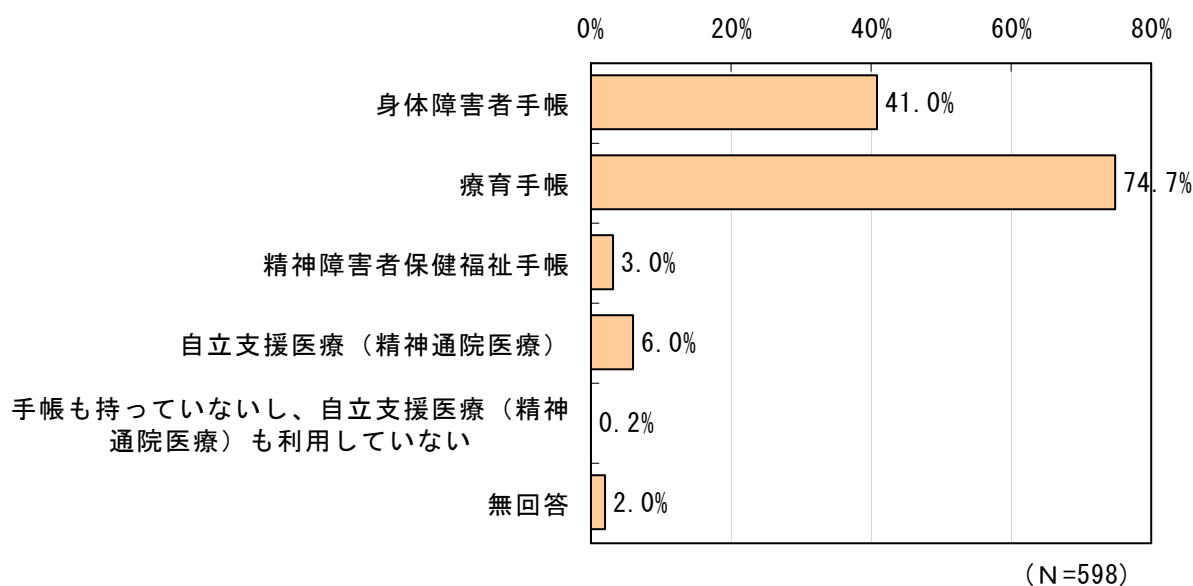
		合計	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全体	人数	598	61	180	203	64	34	20	20	9	7
	構成比		10.2%	30.1%	33.9%	10.7%	5.7%	3.3%	3.3%	1.5%	1.2%
身体障害	人数	245	16	68	76	26	22	14	15	6	2
	構成比		6.5%	27.8%	31.0%	10.6%	9.0%	5.7%	6.1%	2.4%	0.8%
知的障害	人数	447	55	147	156	49	19	7	8	4	2
	構成比		12.3%	32.9%	34.9%	11.0%	4.3%	1.6%	1.8%	0.9%	0.4%
精神障害	人数	51	12	13	15	5	2	1	2	1	0
	構成比		23.5%	25.5%	29.4%	9.8%	3.9%	2.0%	3.9%	2.0%	0.0%
難病	人数	25	3	9	7	1	1	0	4	0	0
	構成比		12.0%	36.0%	28.0%	4.0%	4.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	1	5	3	0	0	0	0	0	3
	構成比		8.3%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

(3) 障害の種別

問3 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

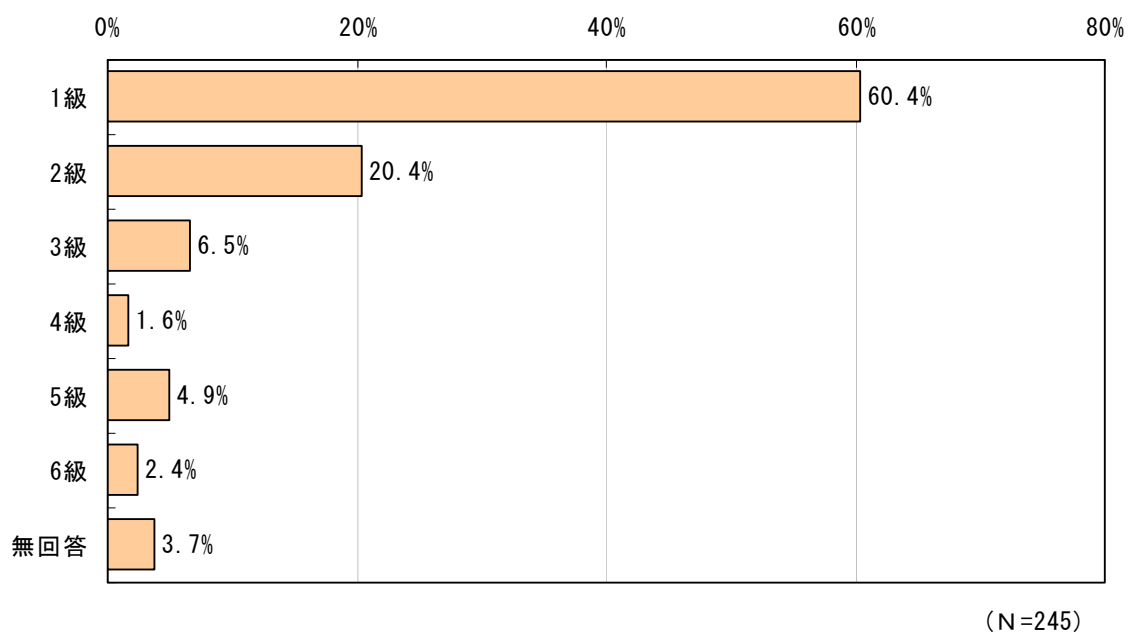
「療育手帳」が74.7%、「身体障害者手帳」が41.0%となっています。

●全体



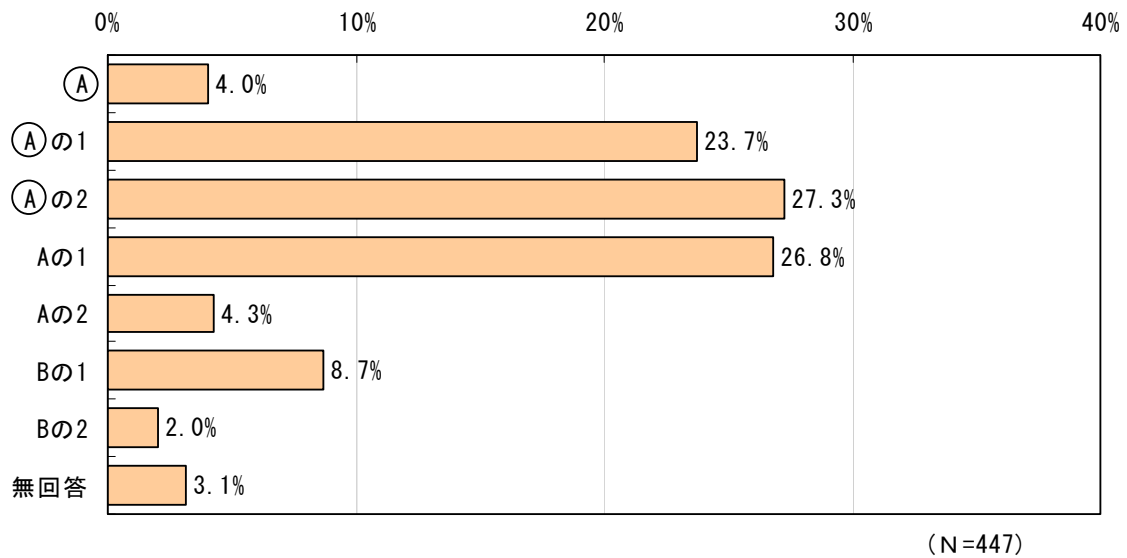
①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1級」が60.4%、「2級」が20.4%となっています。



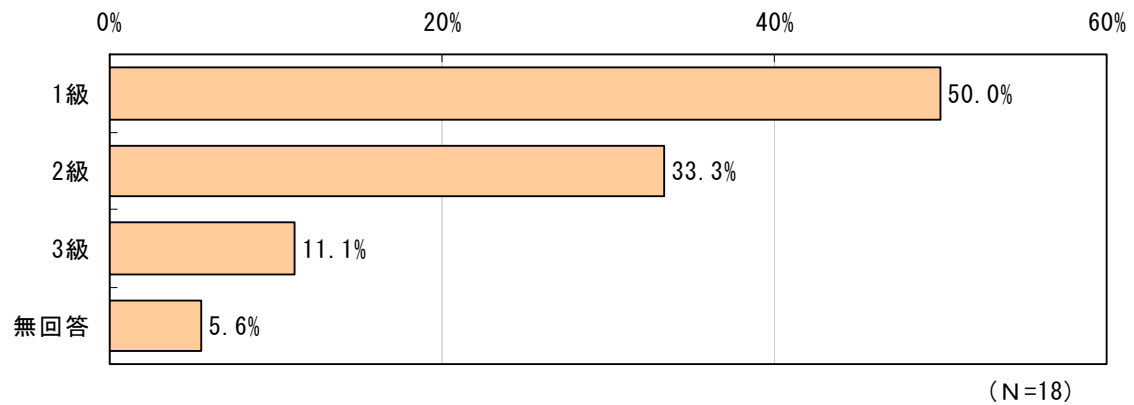
②療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「㊤の2」が27.3%、「Aの1」が26.8%となっています。



③精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級では、「1級」が50.0%となっています。

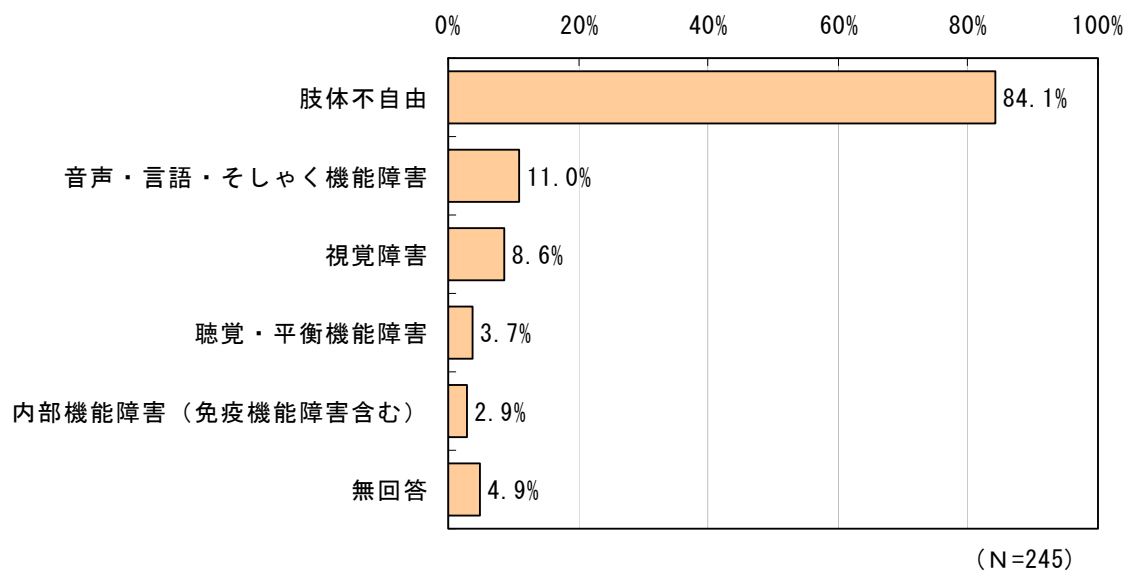


(4) 身体障害の部位

問4 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が84.1%となっています。

●全体



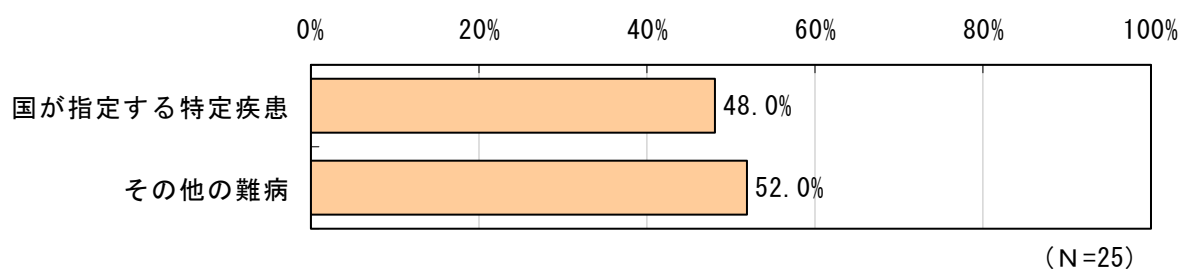
(5) 難病の種類

問5 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

(難病に罹患している方のみで集計、内訳は複数回答)

「国が指定する特定疾患」が2.0%となっています。

●全体



●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数	病名	人数
パーキンソン病	3	パーキンソン病関連疾患	1	肺動脈性肺高血圧症	0
多発性硬化症	1	アミロイドーシス	0	神経線維腫症	0
重症筋無力症	0	後縦靱帯骨化症	0	亜急性硬化性全脳炎	0
全身性エリテマトーデス	0	ハンチントン病	1	バッド・キアリ症候群	1
スモン	0	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	0	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0
再生不良性貧血	1	ウェゲナー肉芽腫症	0	ライソゾーム病(ファブリー〔Fabry〕病含む)	0
サルコイドーシス	0	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	0	副腎白質ジストロフィー	0
筋萎縮性側索硬化症	1	多系統萎縮症	0	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	0	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0	脊髄性筋萎縮症	0
特発性血小板減少性紫斑病	0	膿疱性乾癬	0	球脊髄性筋萎縮症	0
結節性動脈周囲炎	0	広範脊柱管狭窄症	0	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0
潰瘍性大腸炎	1	原発性胆汁性肝硬変	0	肥大型心筋症	0
大動脈炎症候群	0	重症急性膵炎	0	拘束型心筋症	0
ピュルガー病	0	特発性大腿骨頭壊死症	0	ミトコンドリア病	0
天疱瘡	0	混合性結合組織病	0	リンパ脈管筋腫症(LAM)	0
脊髄小脳変性症	1	原発性免疫不全症候群	0	重症多型滲出性紅斑(急性期)	0
クローン病	0	特発性間質性肺炎	0	黄色靱帯骨化症	0
難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	網膜色素変性症	0	間脳下垂体機能障害	1
悪性関節リウマチ	0	プリオン病	0	計(実人数)	12

●その他の難病の内訳(3人以上のもののみ掲載しています。)

病名	人数
てんかん	5

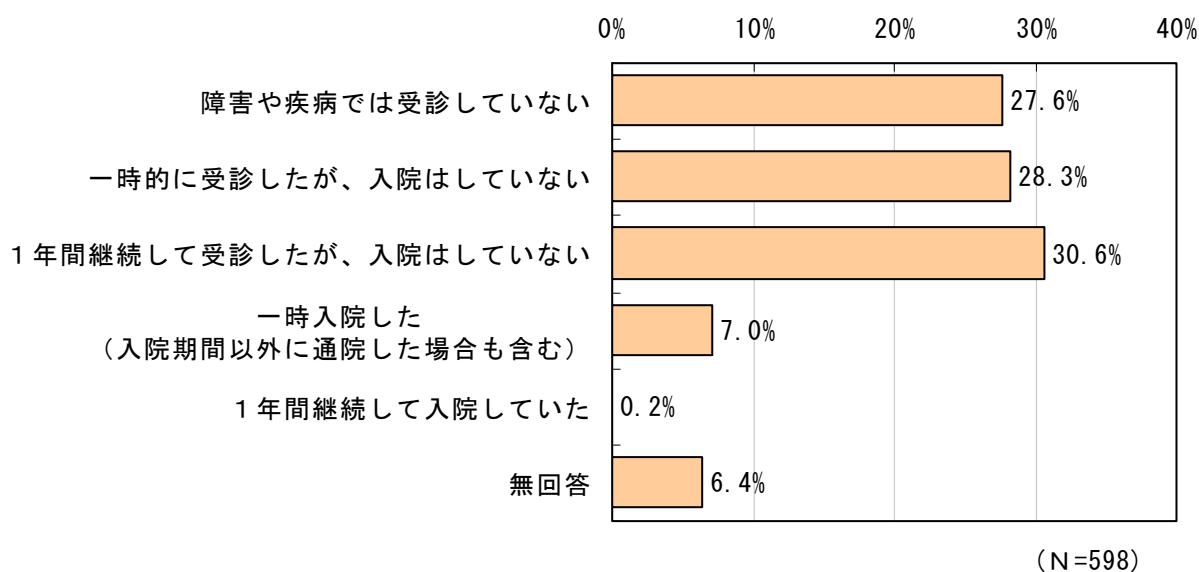
2. 医療機関への受診状況について

(1) 医療機関の受診状況

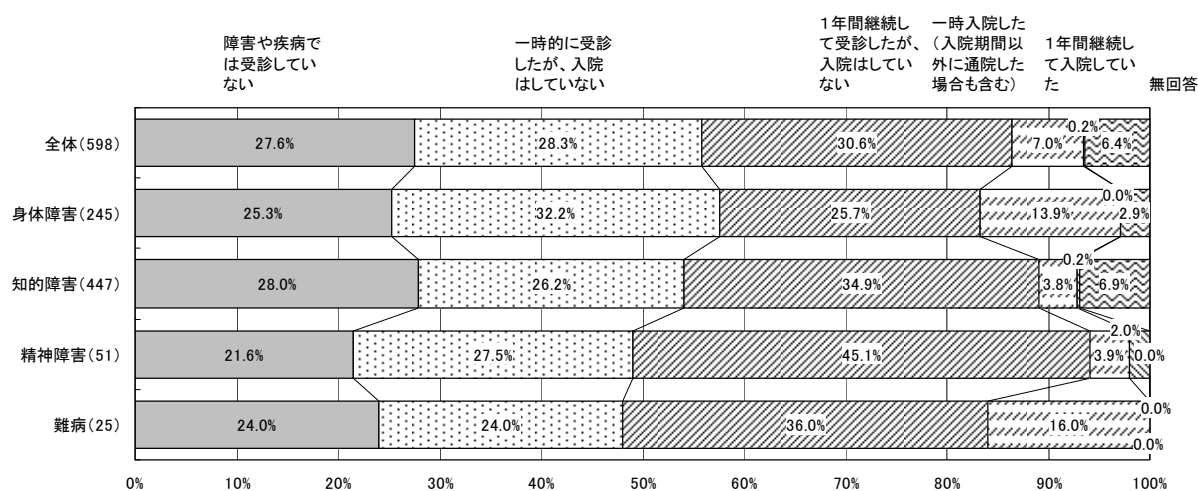
問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が30.6%、「一時的に受診したが、入院はしていない」が28.3%、「障害や疾病では受診していない」が27.6%となっています。

●全体



●障害種別

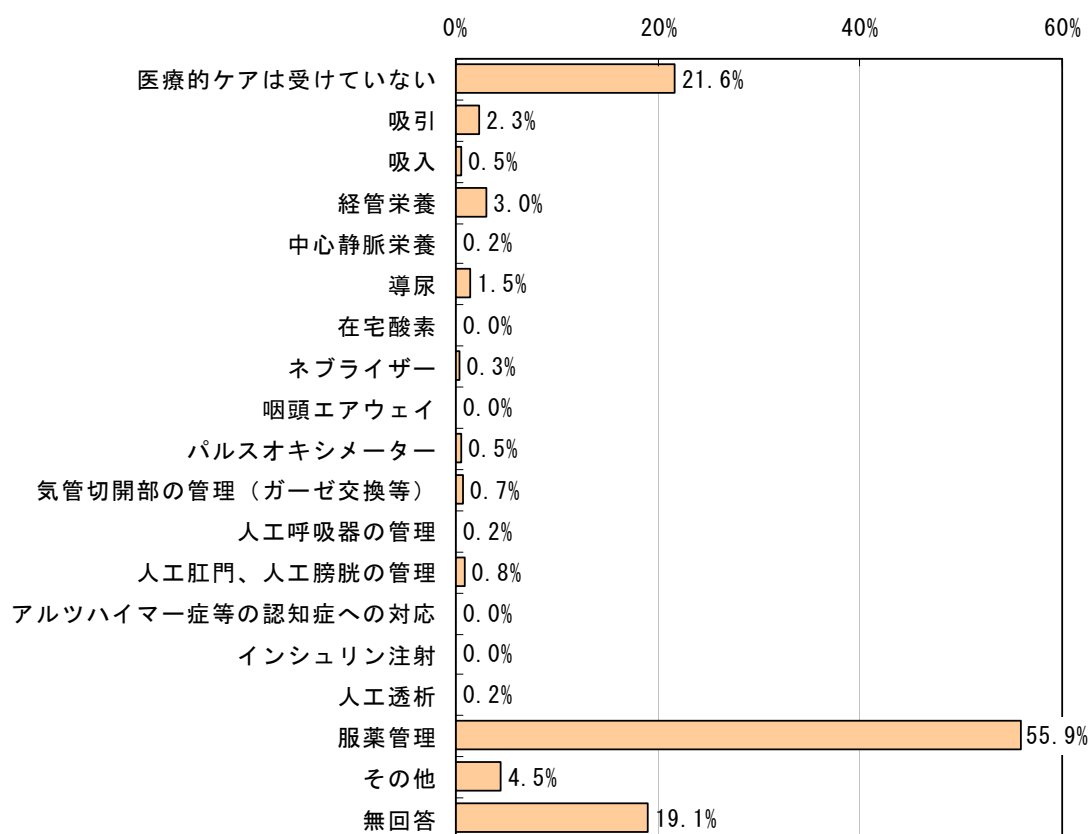


(2) 医療的ケアの種類

問 7 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

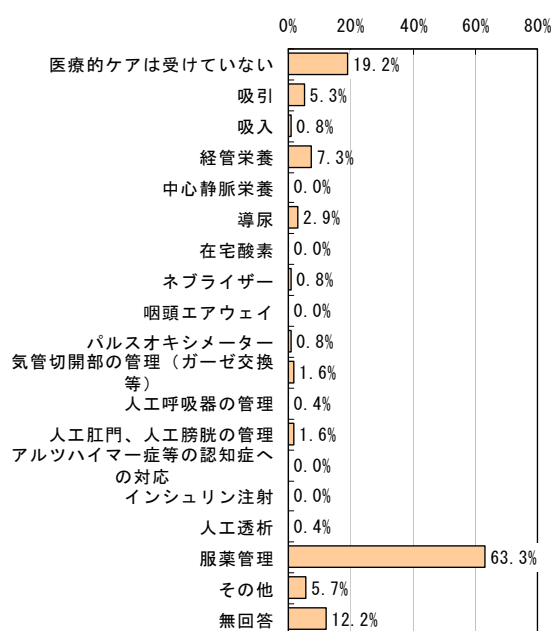
「服薬管理」が55.9%、「医療的ケアは受けていない」が21.6%となっています。

●全体



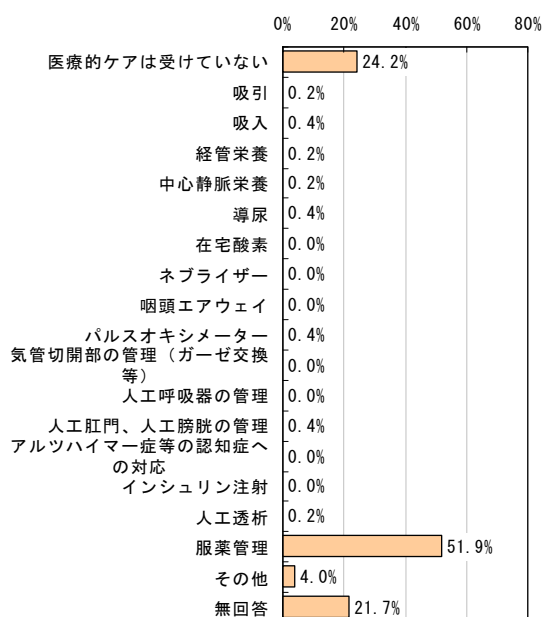
(N=598)

●身体障害



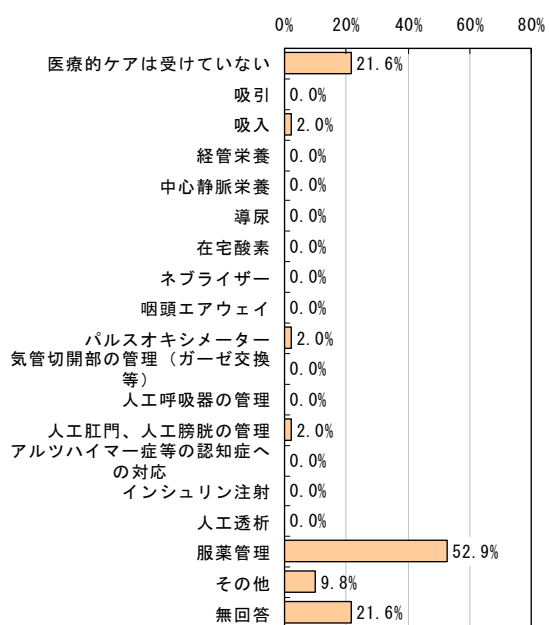
(N=245)

●知的障害



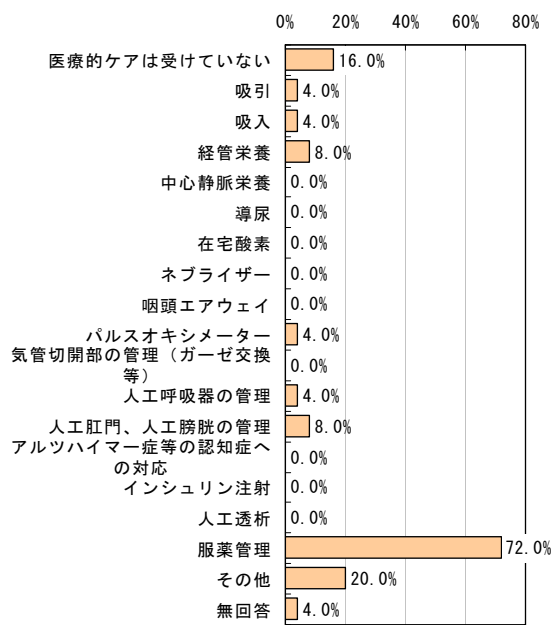
(N=447)

●精神障害



(N=51)

●難病



(N=25)

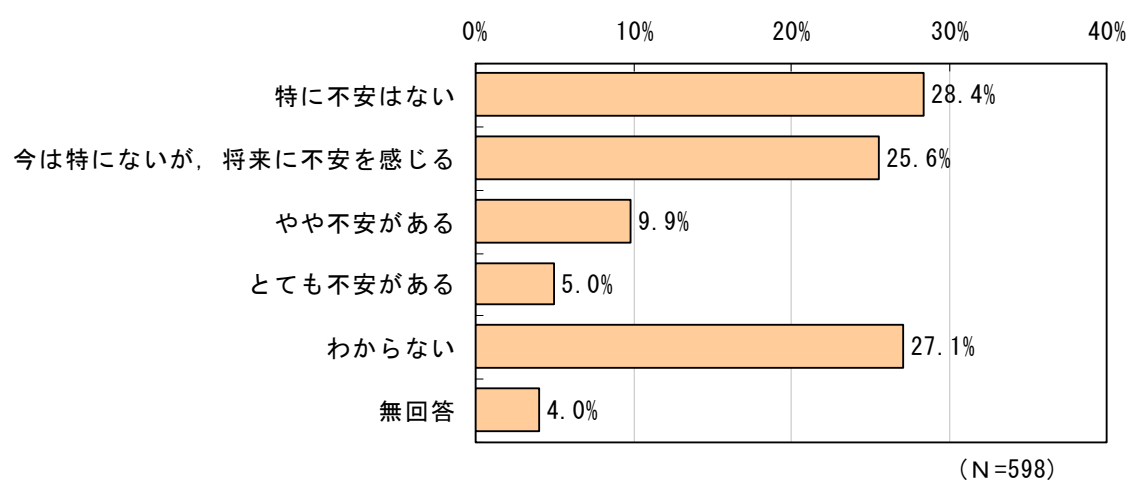
(3) 医療費に対する不安

問8 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(〇は1つ)

「特に不安はない」が28.4%、「わからない」が27.1%、「今は特にないが、将来に不安を感じる」が25.6%となっています。

年齢別に見ると、18～39歳では、「特に不安はない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	特に不安はない	今は特にないが、将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	598	170	153	59	30	162	24
	構成比		28.4%	25.6%	9.9%	5.0%	27.1%	4.0%
身体障害	人数	245	75	66	26	13	56	9
	構成比		30.6%	26.9%	10.6%	5.3%	22.9%	3.7%
知的障害	人数	447	116	118	45	20	133	15
	構成比		26.0%	26.4%	10.1%	4.5%	29.8%	3.4%
精神障害	人数	51	12	14	6	2	14	3
	構成比		23.5%	27.5%	11.8%	3.9%	27.5%	5.9%
難病	人数	25	8	4	1	2	10	0
	構成比		32.0%	16.0%	4.0%	8.0%	40.0%	0.0%
無回答	人数	12	4	2	0	1	2	3
	構成比		33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%	25.0%

●年齢別

		合計	特に不安はない	今は特 にないが、 将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	598	170	153	59	30	162	24
	構成比		28.4%	25.6%	9.9%	5.0%	27.1%	4.0%
18～39歳	人数	241	82	66	21	13	51	8
	構成比		34.0%	27.4%	8.7%	5.4%	21.2%	3.3%
40～64歳	人数	301	78	78	28	15	90	12
	構成比		25.9%	25.9%	9.3%	5.0%	29.9%	4.0%
65～74歳	人数	40	7	8	9	1	14	1
	構成比		17.5%	20.0%	22.5%	2.5%	35.0%	2.5%
75歳以上	人数	9	3	0	0	0	5	1
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%
無回答	人数	7	0	1	1	1	2	2
	構成比		0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%

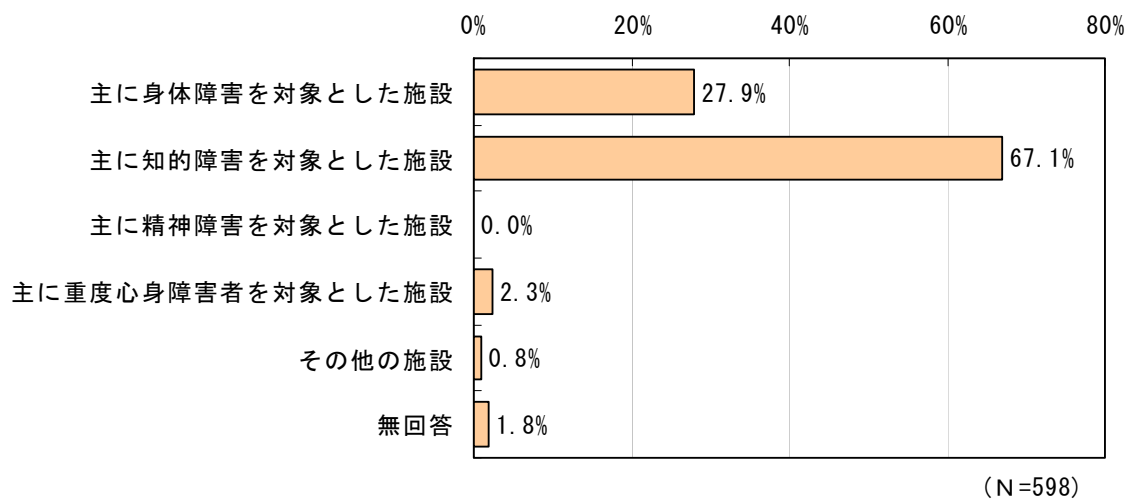
3. 施設への入所について

(1) 施設の種類

問9 あなたが入所している施設の種類をお聞きます。(〇は1つ)

「主に知的障害を対象とした施設」が67.1%、「主に身体障害を対象とした施設」が27.9%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	主に身体障害を対象とした施設	主に知的障害を対象とした施設	主に精神障害を対象とした施設	主に重度心身障害者を対象とした施設	その他の施設	無回答
全体	人数	598	167	401	0	14	5	11
	構成比		27.9%	67.1%	0.0%	2.3%	0.8%	1.8%
身体障害	人数	245	162	66	0	11	2	4
	構成比		66.1%	26.9%	0.0%	4.5%	0.8%	1.6%
知的障害	人数	447	39	388	0	10	4	6
	構成比		8.7%	86.8%	0.0%	2.2%	0.9%	1.3%
精神障害	人数	51	6	43	0	0	1	1
	構成比		11.8%	84.3%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%
難病	人数	25	11	12	0	1	0	1
	構成比		44.0%	48.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%
無回答	人数	12	2	7	0	0	0	3
	構成比		16.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

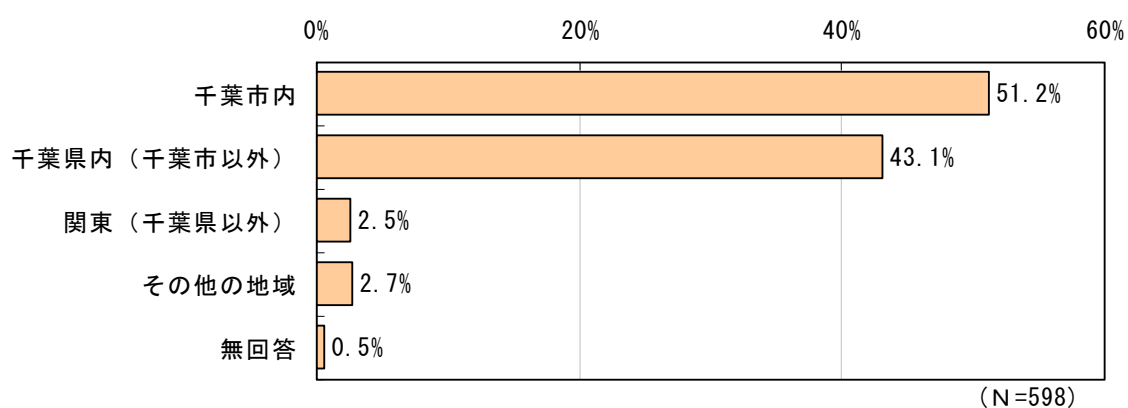
(2) 施設のある地域

問 10 あなたが入所している施設がある地域をお聞きます。(〇は1つ)

「千葉市内」が51.2%、「千葉県内（千葉市以外）」が43.1%となっています。

障害種別に見ると、知的障害のある方、精神障害のある方では「千葉県内（千葉市以外）」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	千葉市内	千葉県内 (千葉市 以外)	関東(千 葉県以 外)	その他の 地域	無回答
全体	人数	598	306	258	15	16	3
	構成比		51.2%	43.1%	2.5%	2.7%	0.5%
身体障害	人数	245	160	68	7	10	0
	構成比		65.3%	27.8%	2.9%	4.1%	0.0%
知的障害	人数	447	197	223	14	12	1
	構成比		44.1%	49.9%	3.1%	2.7%	0.2%
精神障害	人数	51	19	31	0	1	0
	構成比		37.3%	60.8%	0.0%	2.0%	0.0%
難病	人数	25	14	10	1	0	0
	構成比		56.0%	40.0%	4.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	6	4	0	0	2
	構成比		50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%

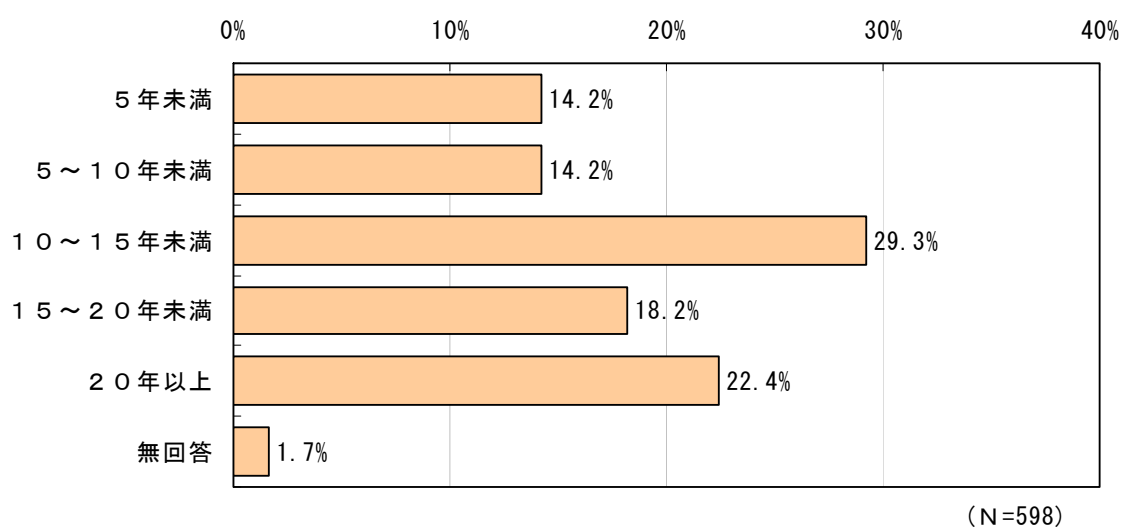
(3) 施設に入所している期間

問 11 あなたが現在の施設に入所してからの期間をお聞きします。(〇は1つ)

全体では、「10～15年未満」が29.3%、「20年以上」が22.4%となっています。

前回調査と比較すると、「20年以上」の方が7.5ポイント増加するなど、全体的に入所期間が長期になっているのが特徴です。

●全体



●障害種別

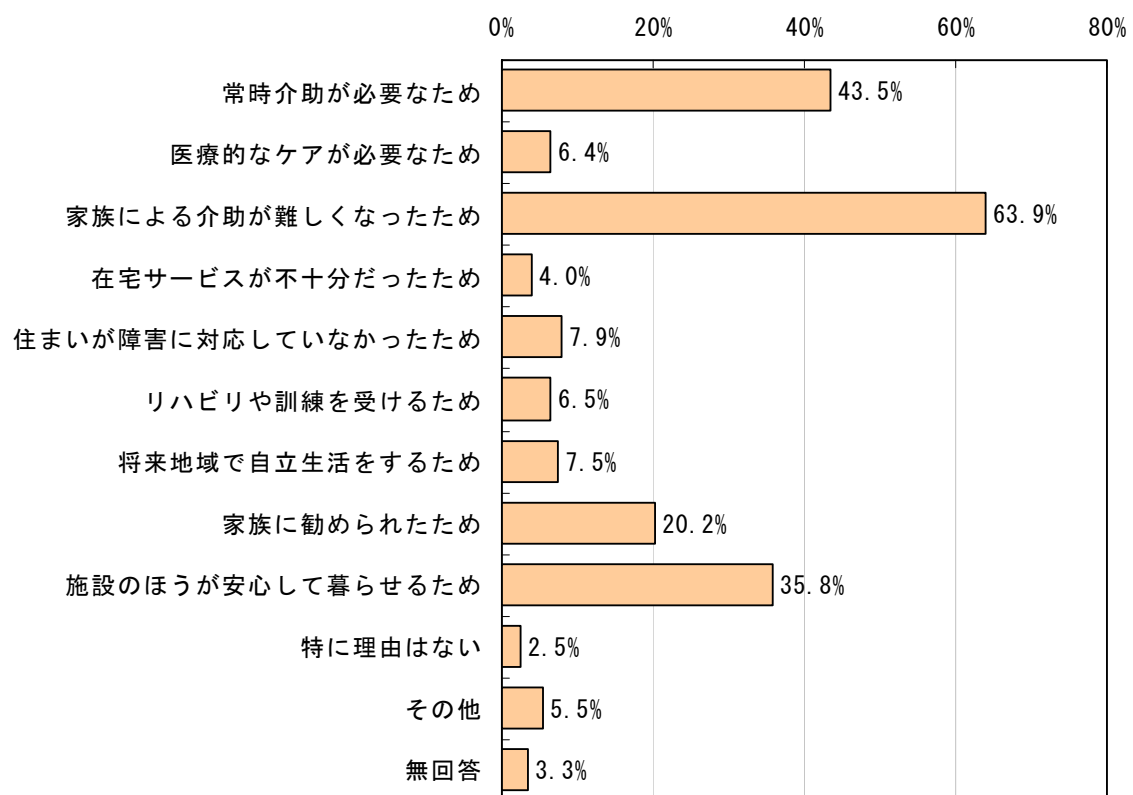
		合計	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
全体	人数	598	85	85	175	109	134	10
	構成比		14.2%	14.2%	29.3%	18.2%	22.4%	1.7%
身体障害	人数	245	42	32	82	38	49	2
	構成比		17.1%	13.1%	33.5%	15.5%	20.0%	0.8%
知的障害	人数	447	56	64	126	84	111	6
	構成比		12.5%	14.3%	28.2%	18.8%	24.8%	1.3%
精神障害	人数	51	9	11	15	8	6	2
	構成比		17.6%	21.6%	29.4%	15.7%	11.8%	3.9%
難病	人数	25	3	6	8	3	5	0
	構成比		12.0%	24.0%	32.0%	12.0%	20.0%	0.0%
無回答	人数	12	1	1	2	4	1	3
	構成比		8.3%	8.3%	16.7%	33.3%	8.3%	25.0%

(4) 施設に入所した理由

問 12 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「家族による介助が難しくなったため」が63.9%、「常時介助が必要なため」が43.5%、「施設のほうが安心して暮らせるため」が35.8%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

		合計	常時介助が必要なため	医療的なケアが必要なため	家族による介助が難しくなったため	在宅サービスが不十分だったため	住まいが障害に対応していなかったため	リハビリや訓練を受けるため	将来地域で自立生活をするため	家族に勧められたため	施設のほうが安心して暮らせるため	特に理由はない	その他	無回答
全体	人数	598	260	38	382	24	47	39	45	121	214	15	33	20
	構成比		43.5%	6.4%	63.9%	4.0%	7.9%	6.5%	7.5%	20.2%	35.8%	2.5%	5.5%	3.3%
身体障害	人数	245	134	22	159	13	33	18	14	52	89	1	18	4
	構成比		54.7%	9.0%	64.9%	5.3%	13.5%	7.3%	5.7%	21.2%	36.3%	0.4%	7.3%	1.6%
知的障害	人数	447	172	18	290	16	26	28	33	93	164	12	22	14
	構成比		38.5%	4.0%	64.9%	3.6%	5.8%	6.3%	7.4%	20.8%	36.7%	2.7%	4.9%	3.1%
精神障害	人数	51	20	3	41	2	3	2	4	13	16	1	2	1
	構成比		39.2%	5.9%	80.4%	3.9%	5.9%	3.9%	7.8%	25.5%	31.4%	2.0%	3.9%	2.0%
難病	人数	25	14	2	18	0	2	0	0	3	8	0	1	1
	構成比		56.0%	8.0%	72.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	12.0%	32.0%	0.0%	4.0%	4.0%
無回答	人数	12	2	1	2	0	0	0	2	2	1	3	1	3
	構成比		16.7%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	8.3%	25.0%	8.3%	25.0%

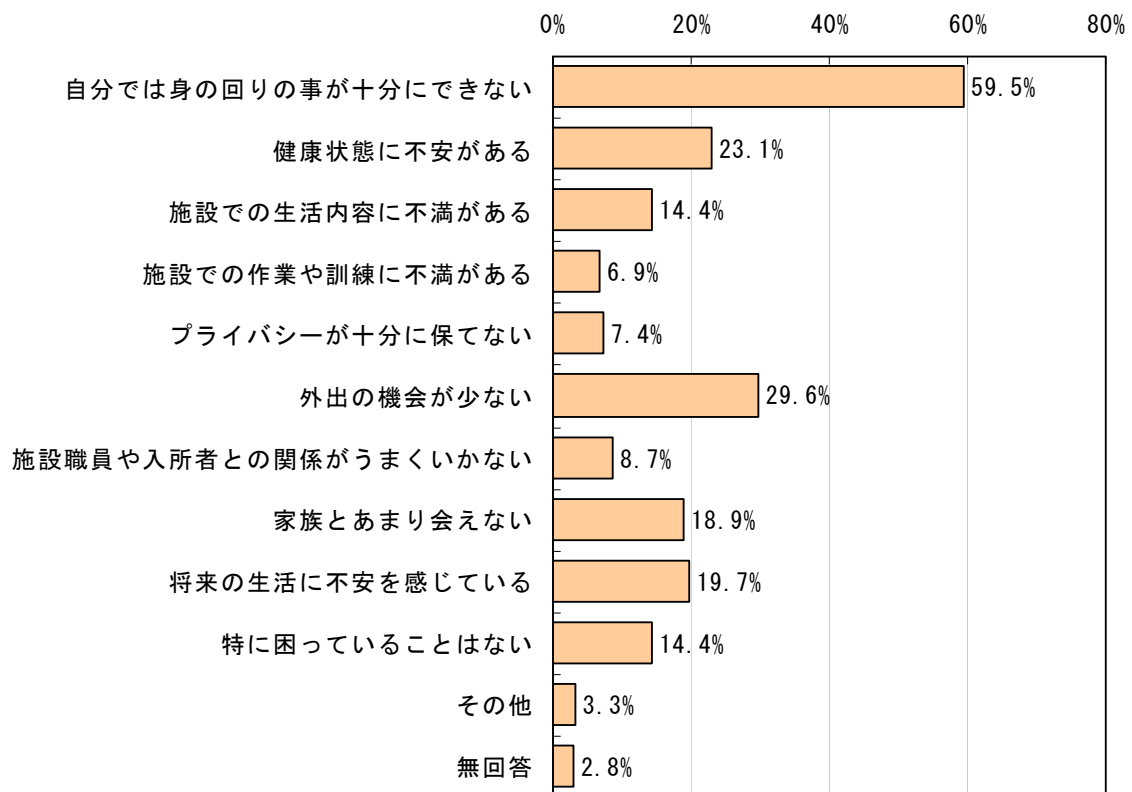
4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

問 13 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「自分では身の回りの事が十分にできない」が59.5%、「外出の機会が少ない」が29.6%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

		合計	自分では身の回りの事が十分にできない	健康状態に不安がある	施設での生活内容に不満がある	施設での作業や訓練に不満がある	プライバシーが十分に保てない	外出の機会が少ない	施設職員や入所者との関係がうまくいかない	家族とあまり会えない	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	598	356	138	86	41	44	177	52	113	118	86	20	17
	構成比		59.5%	23.1%	14.4%	6.9%	7.4%	29.6%	8.7%	18.9%	19.7%	14.4%	3.3%	2.8%
身体障害	人数	245	158	66	40	18	18	84	21	41	54	22	10	5
	構成比		64.5%	26.9%	16.3%	7.3%	7.3%	34.3%	8.6%	16.7%	22.0%	9.0%	4.1%	2.0%
知的障害	人数	447	268	94	60	29	32	125	42	95	88	71	13	10
	構成比		60.0%	21.0%	13.4%	6.5%	7.2%	28.0%	9.4%	21.3%	19.7%	15.9%	2.9%	2.2%
精神障害	人数	51	31	15	11	3	7	15	10	15	12	7	1	1
	構成比		60.8%	29.4%	21.6%	5.9%	13.7%	29.4%	19.6%	29.4%	23.5%	13.7%	2.0%	2.0%
難病	人数	25	18	9	10	3	1	11	4	5	6	3	0	0
	構成比		72.0%	36.0%	40.0%	12.0%	4.0%	44.0%	16.0%	20.0%	24.0%	12.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	3	1	3	1	0	3	0	0	2	2	0	4
	構成比		25.0%	8.3%	25.0%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%

●年齢別

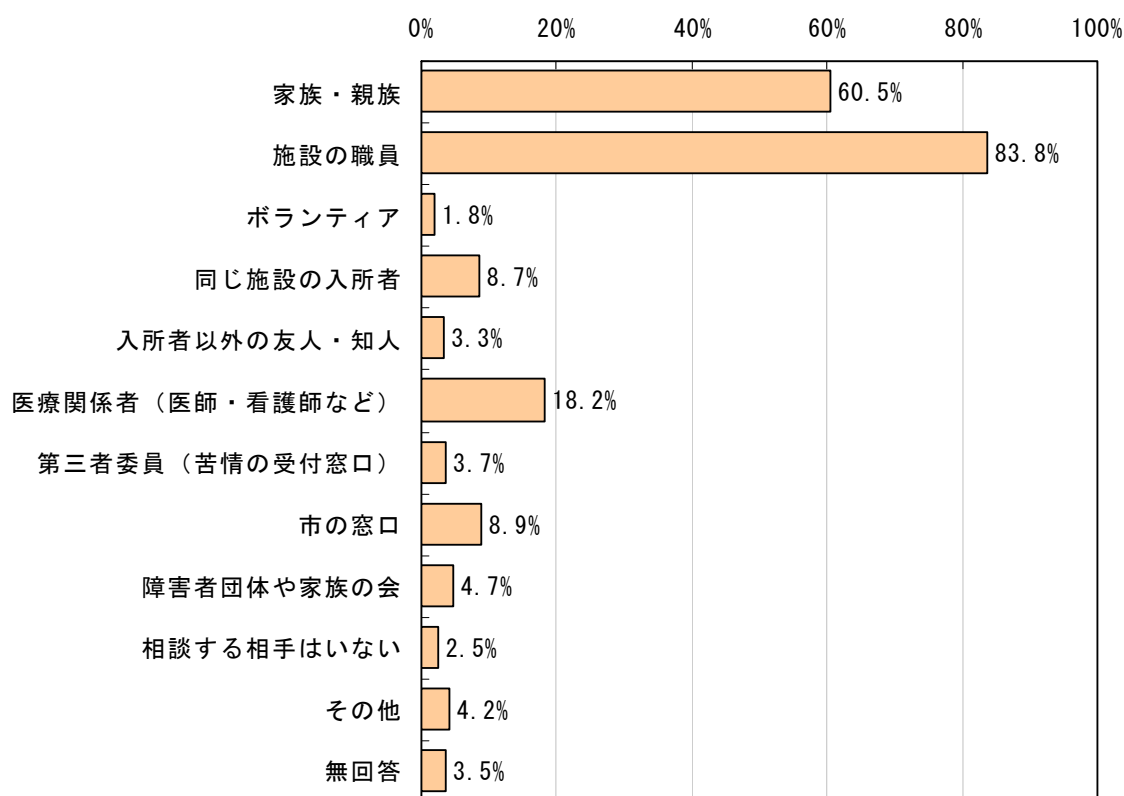
		合計	自分では身の回りの事が十分にできない	健康状態に不安がある	施設での生活内容に不満がある	施設での作業や訓練に不満がある	プライバシーが十分に保てない	外出の機会が少ない	施設職員や入所者との関係がうまくいかない	家族とあえない	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	598	356	138	86	41	44	177	52	113	118	86	20	17
	構成比		59.5%	23.1%	14.4%	6.9%	7.4%	29.6%	8.7%	18.9%	19.7%	14.4%	3.3%	2.8%
18～39歳	人数	241	158	46	37	19	14	70	19	42	61	29	10	6
	構成比		65.6%	19.1%	15.4%	7.9%	5.8%	29.0%	7.9%	17.4%	25.3%	12.0%	4.1%	2.5%
40～64歳	人数	301	162	77	41	20	27	91	27	60	51	52	8	8
	構成比		53.8%	25.6%	13.6%	6.6%	9.0%	30.2%	9.0%	19.9%	16.9%	17.3%	2.7%	2.7%
65～74歳	人数	40	28	13	6	1	3	12	4	10	4	3	1	1
	構成比		70.0%	32.5%	15.0%	2.5%	7.5%	30.0%	10.0%	25.0%	10.0%	7.5%	2.5%	2.5%
75歳以上	人数	9	5	1	1	1	0	4	1	1	0	1	1	0
	構成比		55.6%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
無回答	人数	7	3	1	1	0	0	0	1	0	2	1	0	2
	構成比		42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%

(2) 困ったときの相談先

問 14 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

「施設の職員」が83.8%、「家族・親族」が60.5%となっています。

●全体



●障害種別

(N=598)

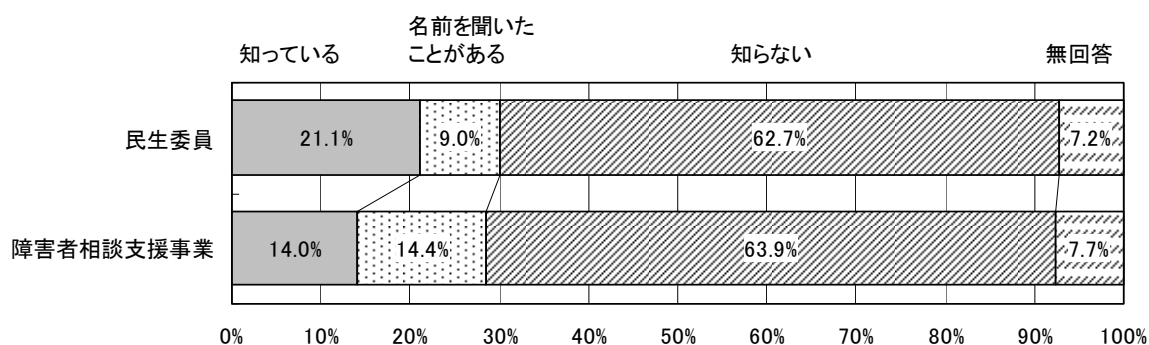
		合計	家族・親族	施設の職員	ボランティア	同じ施設の入所者	入所者以外の友人・知人	医療関係者（医師・看護師など）	第三者委員（苦情の受付窓口）	市の窓口	障害者団体や家族の会	相談する相手はいない	その他	無回答
全体	人数	598	362	501	11	52	20	109	22	53	28	15	25	21
	構成比		60.5%	83.8%	1.8%	8.7%	3.3%	18.2%	3.7%	8.9%	4.7%	2.5%	4.2%	3.5%
身体障害	人数	245	159	200	7	29	10	49	5	27	13	5	12	8
	構成比		64.9%	81.6%	2.9%	11.8%	4.1%	20.0%	2.0%	11.0%	5.3%	2.0%	4.9%	3.3%
知的障害	人数	447	264	381	6	34	10	85	20	37	20	11	20	14
	構成比		59.1%	85.2%	1.3%	7.6%	2.2%	19.0%	4.5%	8.3%	4.5%	2.5%	4.5%	3.1%
精神障害	人数	51	28	46	0	11	5	12	1	1	1	0	1	1
	構成比		54.9%	90.2%	0.0%	21.6%	9.8%	23.5%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	2.0%	2.0%
難病	人数	25	16	21	0	4	0	8	0	3	1	1	0	1
	構成比		64.0%	84.0%	0.0%	16.0%	0.0%	32.0%	0.0%	12.0%	4.0%	4.0%	0.0%	4.0%
無回答	人数	12	5	5	0	0	0	1	0	1	1	2	0	4
	構成比		41.7%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	33.3%

(3) 制度・事業の認知度

問 15 あなたは、次のようなあなたを助けてくれる人がいる制度を知っていますか。(A～Dの制度・事業について、それぞれ 1～3 のどれかにひとつずつ○をつけてください。)

どちらの制度も「知らない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

民生委員

	合計	知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	598	126	54	375	43
		21.1%	9.0%	62.7%	7.2%
身体障害	245	65	28	136	16
		26.5%	11.4%	55.5%	6.5%
知的障害	447	85	33	300	29
		19.0%	7.4%	67.1%	6.5%
精神障害	51	12	6	30	3
		23.5%	11.8%	58.8%	5.9%
難病	25	5	7	13	0
		20.0%	28.0%	52.0%	0.0%
無回答	12	0	1	6	5
		0.0%	8.3%	50.0%	41.7%

障害者相談支援事業

	合計	知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	598	84	86	382	46
		14.0%	14.4%	63.9%	7.7%
身体障害	245	42	45	143	15
		17.1%	18.4%	58.4%	6.1%
知的障害	447	57	56	300	34
		12.8%	12.5%	67.1%	7.6%
精神障害	51	11	10	28	2
		21.6%	19.6%	54.9%	3.9%
難病	25	3	7	15	0
		12.0%	28.0%	60.0%	0.0%
無回答	12	1	0	6	5
		8.3%	0.0%	50.0%	41.7%

5. 日常生活（施設での生活）について

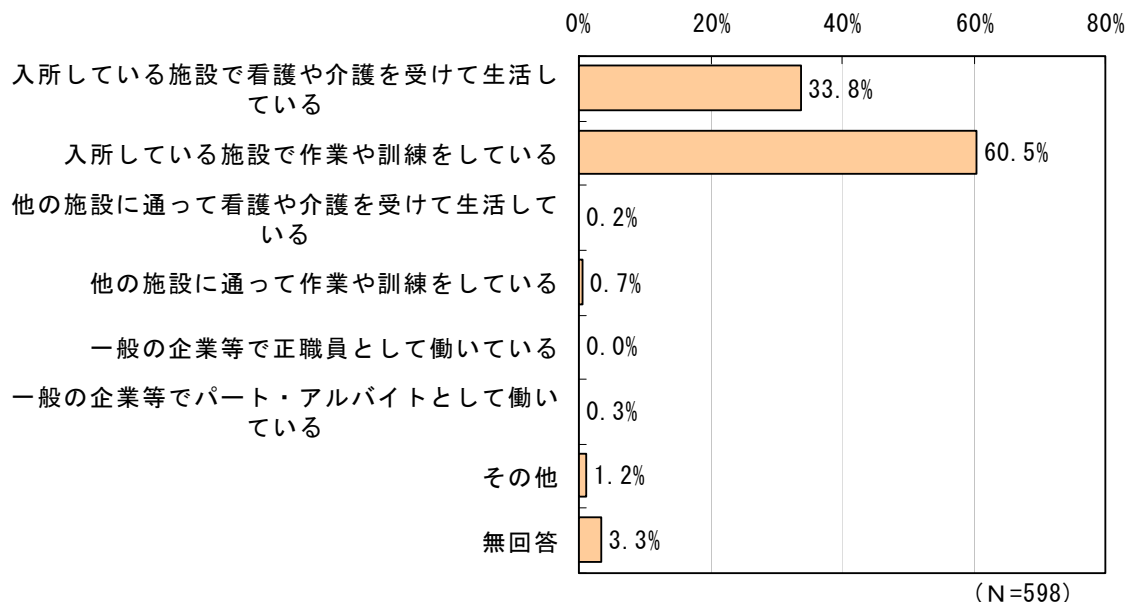
(1) 日中の過ごし方

問 16 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまる番号ひとつに○）

全体では、「入所している施設で作業や訓練をしている」が60.5%、「入所している施設で看護や介護を受けて生活している」が33.8%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方では「入所している施設で看護や介護を受けて生活している」、知的障害や精神障害のある方では「入所している施設で作業や訓練をしている」が多くなっています。

●全体



●障害種別

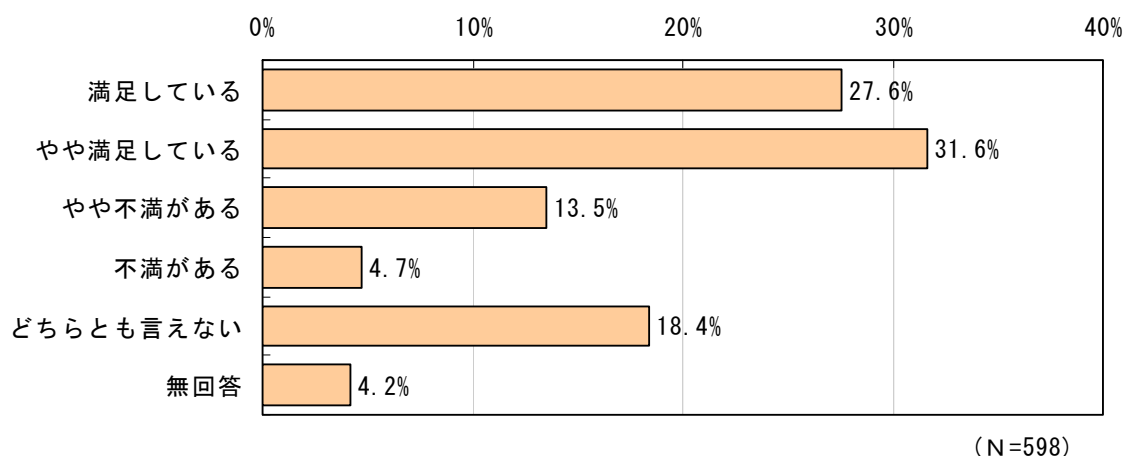
		合計	入所している施設で看護や介護を受けて生活している	入所している施設で作業や訓練をしている	他の施設に通って看護や介護を受けて生活している	他の施設に通って作業や訓練をしている	一般の企業等で正職員として働いている	一般の企業等でパート・アルバイトとして働いている	その他	無回答
全体	人数	598	202	362	1	4	0	2	7	20
	構成比		33.8%	60.5%	0.2%	0.7%	0.0%	0.3%	1.2%	3.3%
身体障害	人数	245	151	89	1	0	0	0	1	3
	構成比		61.6%	36.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.2%
知的障害	人数	447	95	325	1	4	0	1	6	15
	構成比		21.3%	72.7%	0.2%	0.9%	0.0%	0.2%	1.3%	3.4%
精神障害	人数	51	9	41	0	1	0	0	0	0
	構成比		17.6%	80.4%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	25	13	12	0	0	0	0	0	0
	構成比		52.0%	48.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	2	6	0	0	0	1	0	3
	構成比		16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%

(2) 施設生活の満足度

問 17 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つ)

「やや満足している」が31.6%、「満足している」が27.6%となっています。

●全体



●障害種別

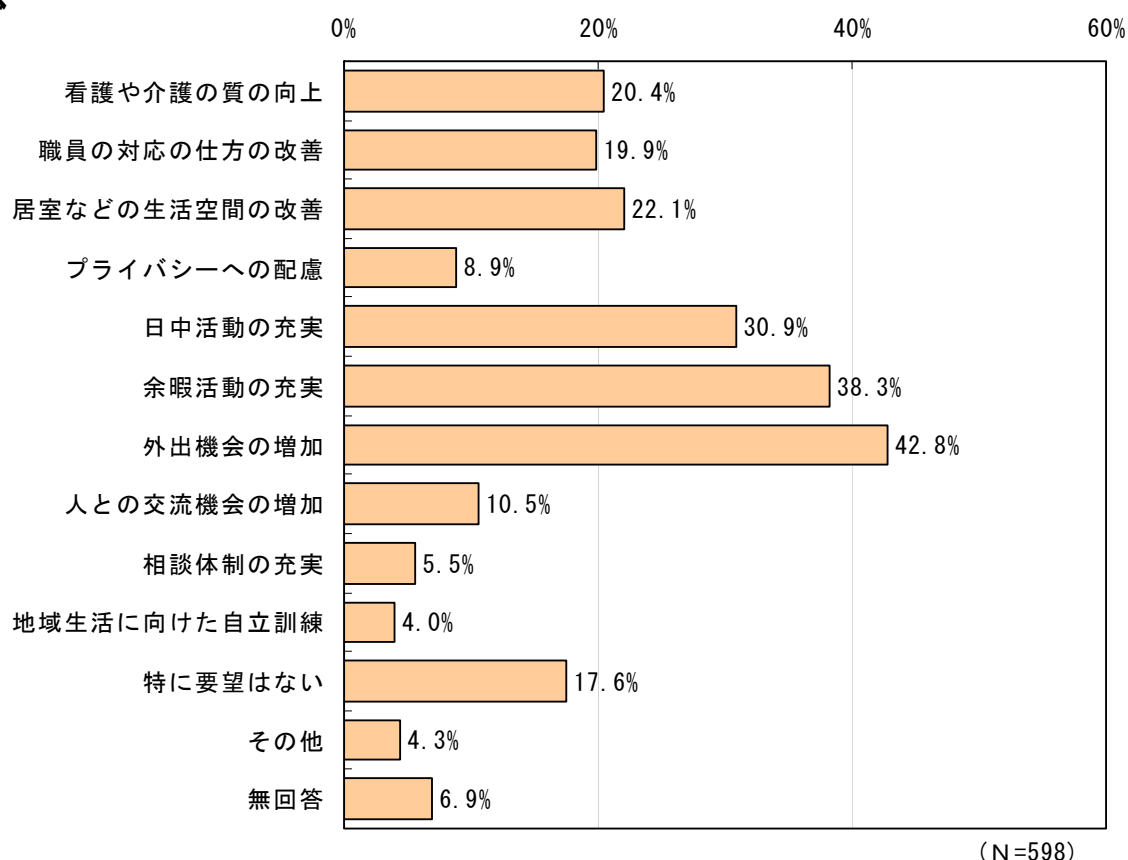
		合計	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	どちらとも言えない	無回答
全体	人数	598	165	189	81	28	110	25
	構成比		27.6%	31.6%	13.5%	4.7%	18.4%	4.2%
身体障害	人数	245	73	74	38	17	32	11
	構成比		29.8%	30.2%	15.5%	6.9%	13.1%	4.5%
知的障害	人数	447	110	153	58	16	95	15
	構成比		24.6%	34.2%	13.0%	3.6%	21.3%	3.4%
精神障害	人数	51	13	13	4	4	16	1
	構成比		25.5%	25.5%	7.8%	7.8%	31.4%	2.0%
難病	人数	25	8	4	3	8	2	0
	構成比		32.0%	16.0%	12.0%	32.0%	8.0%	0.0%
無回答	人数	12	4	2	0	1	2	3
	構成比		33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%	25.0%

(3) 施設に対する要望

問 18 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。(〇はいくつでも)

「外出機会の増加」が42.8%、「余暇活動の充実」が38.3%、「日中活動の充実」が30.9%となっています。障害種別に見ると、難病のある方では「看護や介護の質の向上」「職員の対応の仕方の改善」も高くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	看護や 介護の 質の向 上	職員の 対応の 仕方の 改善	居室な どの生 活空間 の改善	プライ バシー への配 慮	日中活 動の充 実	余暇活 動の充 実	外出機 会の増 加	人との 交流機 会の増 加	相談体 制の充 実	地域生 活に向 けた自 立訓練	特に要 望はな い	その他	無回答
全体	人数	598	122	119	132	53	185	229	256	63	33	24	105	26	41
	構成比		20.4%	19.9%	22.1%	8.9%	30.9%	38.3%	42.8%	10.5%	5.5%	4.0%	17.6%	4.3%	6.9%
身体障害	人数	245	71	64	47	22	78	88	104	43	17	11	34	8	16
	構成比		29.0%	26.1%	19.2%	9.0%	31.8%	35.9%	42.4%	17.6%	6.9%	4.5%	13.9%	3.3%	6.5%
知的障害	人数	447	71	81	109	36	144	189	207	38	22	16	78	22	31
	構成比		15.9%	18.1%	24.4%	8.1%	32.2%	42.3%	46.3%	8.5%	4.9%	3.6%	17.4%	4.9%	6.9%
精神障害	人数	51	8	10	11	8	14	19	22	5	1	4	10	3	2
	構成比		15.7%	19.6%	21.6%	15.7%	27.5%	37.3%	43.1%	9.8%	2.0%	7.8%	19.6%	5.9%	3.9%
難病	人数	25	11	10	7	3	9	11	14	4	2	0	4	2	0
	構成比		44.0%	40.0%	28.0%	12.0%	36.0%	44.0%	56.0%	16.0%	8.0%	0.0%	16.0%	8.0%	0.0%
無回答	人数	12	2	2	1	1	2	1	3	2	0	1	4	0	3
	構成比		16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	33.3%	0.0%	25.0%

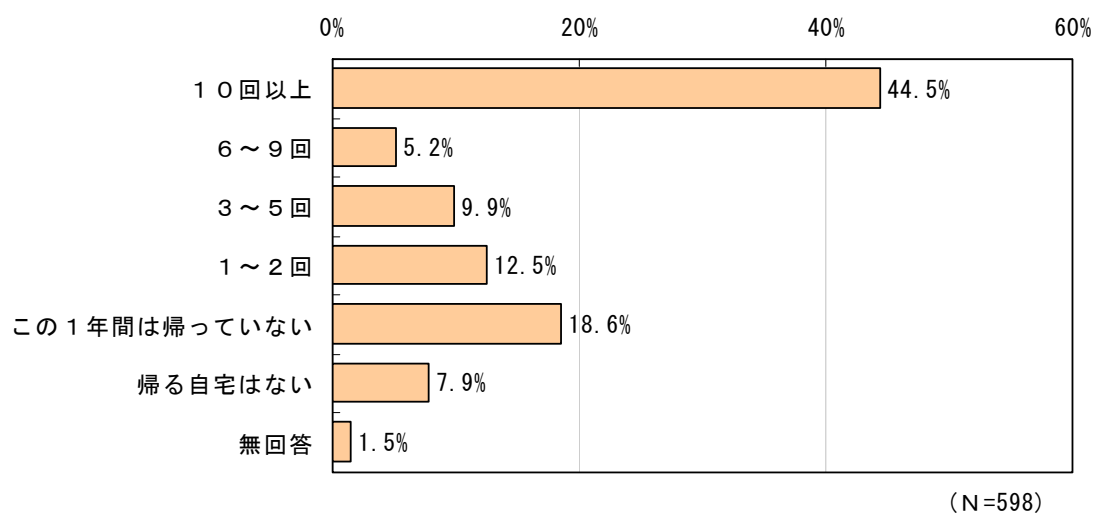
(4) 自宅に帰る頻度

問 19 あなたは、最近1年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。(〇は1つ)

全体では、「10回以上」が44.5%、「この1年間は帰っていない」が18.6%となっています。

年齢別に見ると、若年層ほど「10回以上」と回答した人の割合が高い傾向にあります。また、50歳代からは「この1年間は帰っていない」が急激に多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は帰っていない	帰る自宅はない	無回答
全体	人数	598	266	31	59	75	111	47	9
	構成比		44.5%	5.2%	9.9%	12.5%	18.6%	7.9%	1.5%
身体障害	人数	245	91	8	20	30	68	24	4
	構成比		37.1%	3.3%	8.2%	12.2%	27.8%	9.8%	1.6%
知的障害	人数	447	216	28	44	64	64	27	4
	構成比		48.3%	6.3%	9.8%	14.3%	14.3%	6.0%	0.9%
精神障害	人数	51	27	4	2	9	5	4	0
	構成比		52.9%	7.8%	3.9%	17.6%	9.8%	7.8%	0.0%
難病	人数	25	11	2	3	1	6	1	1
	構成比		44.0%	8.0%	12.0%	4.0%	24.0%	4.0%	4.0%
無回答	人数	12	7	0	1	1	0	0	3
	構成比		58.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%

●年齢別

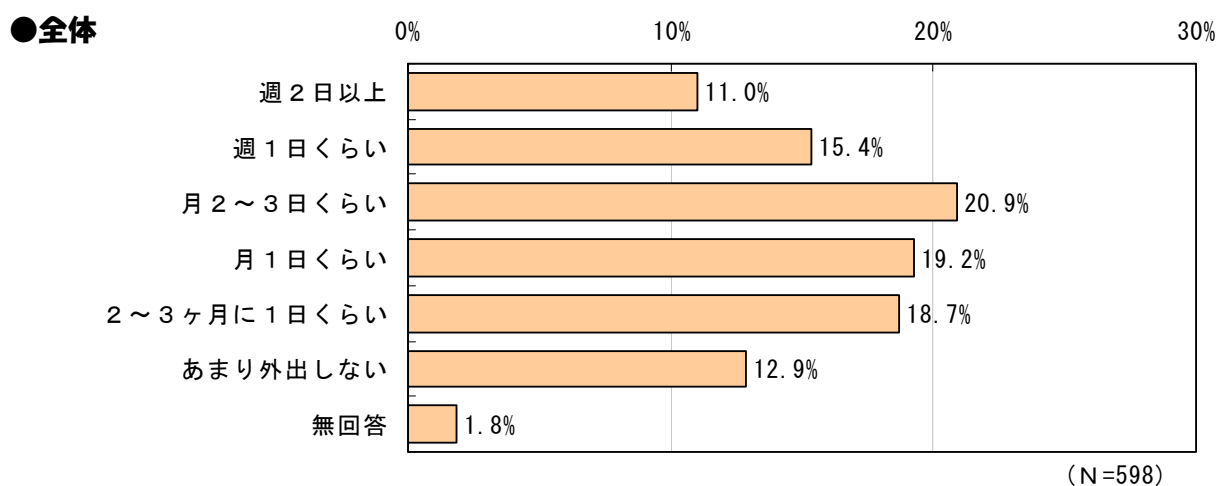
		合計	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は帰っていない	帰る自宅はない	無回答
全体	人数	598	266	31	59	75	111	47	9
	構成比		44.5%	5.2%	9.9%	12.5%	18.6%	7.9%	1.5%
18～29歳	人数	61	39	3	5	5	8	0	1
	構成比		63.9%	4.9%	8.2%	8.2%	13.1%	0.0%	1.6%
30歳代	人数	180	103	9	13	22	26	4	3
	構成比		57.2%	5.0%	7.2%	12.2%	14.4%	2.2%	1.7%
40歳代	人数	203	96	10	31	27	26	11	2
	構成比		47.3%	4.9%	15.3%	13.3%	12.8%	5.4%	1.0%
50歳代	人数	64	14	6	5	5	23	11	0
	構成比		21.9%	9.4%	7.8%	7.8%	35.9%	17.2%	0.0%
60～64歳	人数	34	3	3	0	7	11	9	1
	構成比		8.8%	8.8%	0.0%	20.6%	32.4%	26.5%	2.9%
65～69歳	人数	20	5	0	3	1	9	2	0
	構成比		25.0%	0.0%	15.0%	5.0%	45.0%	10.0%	0.0%
70～74歳	人数	20	2	0	1	5	5	6	1
	構成比		10.0%	0.0%	5.0%	25.0%	25.0%	30.0%	5.0%
75歳以上	人数	9	0	0	1	3	1	4	0
	構成比		0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	44.4%	0.0%
無回答	人数	7	4	0	0	0	2	0	1
	構成比		57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%

(5) 外出の頻度

問 20 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

全体では、「月に2～3日くらい」が20.9%、「月1日くらい」が19.2%、「2～3ヶ月に1日くらい」が18.7%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方では「あまり外出しない」が他障害のある方と比較して多くなっています。



●障害種別

		合計	週2日以上	週1日くらい	月2～3日くらい	月1日くらい	2～3ヶ月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	人数	598	66	92	125	115	112	77	11
	構成比		11.0%	15.4%	20.9%	19.2%	18.7%	12.9%	1.8%
身体障害	人数	245	13	32	35	51	60	52	2
	構成比		5.3%	13.1%	14.3%	20.8%	24.5%	21.2%	0.8%
知的障害	人数	447	60	75	102	90	73	39	8
	構成比		13.4%	16.8%	22.8%	20.1%	16.3%	8.7%	1.8%
精神障害	人数	51	6	8	13	9	12	2	1
	構成比		11.8%	15.7%	25.5%	17.6%	23.5%	3.9%	2.0%
難病	人数	25	2	7	5	5	5	1	0
	構成比		8.0%	28.0%	20.0%	20.0%	20.0%	4.0%	0.0%
無回答	人数	12	1	2	5	1	0	1	2
	構成比		8.3%	16.7%	41.7%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%

●年齢別

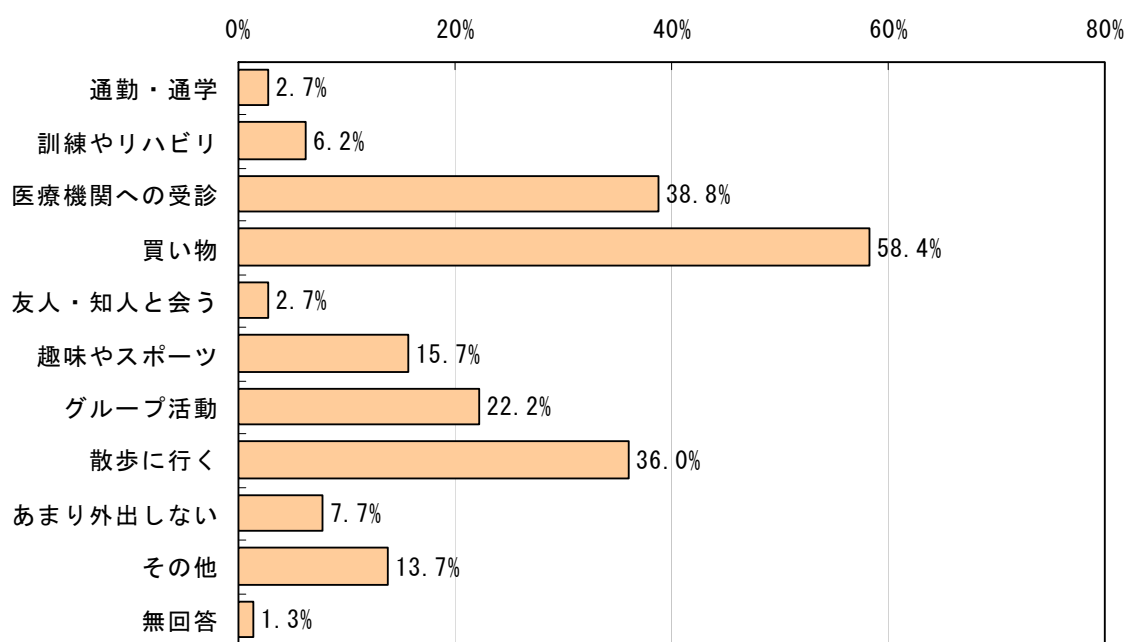
		合計	週2日以上	週1日くらい	月2～3日くらい	月1日くらい	2～3ヶ月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	人数	598	66	92	125	115	112	77	11
	構成比		11.0%	15.4%	20.9%	19.2%	18.7%	12.9%	1.8%
18～39歳	人数	241	36	51	51	43	31	23	6
	構成比		14.9%	21.2%	21.2%	17.8%	12.9%	9.5%	2.5%
40～64歳	人数	301	27	38	67	62	66	37	4
	構成比		9.0%	12.6%	22.3%	20.6%	21.9%	12.3%	1.3%
65～74歳	人数	40	2	2	4	4	11	16	1
	構成比		5.0%	5.0%	10.0%	10.0%	27.5%	40.0%	2.5%
75歳以上	人数	9	0	0	2	4	3	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	人数	7	1	1	1	2	1	1	0
	構成比		14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%

(6) 外出の目的

問 21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「買い物」が58.4%、「医療機関への受診」が38.8%、「散歩に行く」が36.0%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

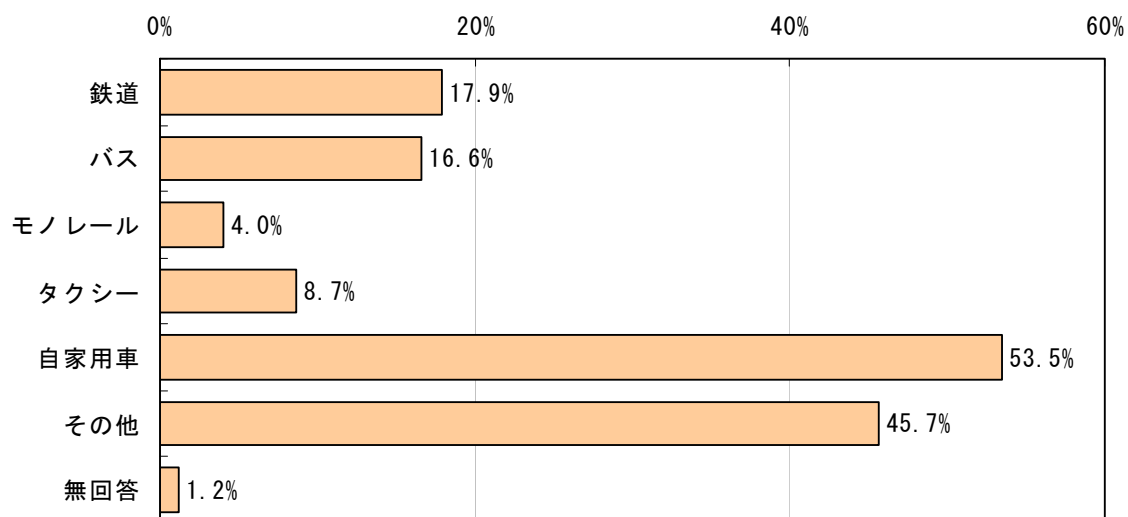
		合計	通勤・通学	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人との会	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	人数	598	16	37	232	349	16	94	133	215	46	82	8
	構成比		2.7%	6.2%	38.8%	58.4%	2.7%	15.7%	22.2%	36.0%	7.7%	13.7%	1.3%
身体障害	人数	245	2	24	114	128	12	34	55	60	26	31	2
	構成比		0.8%	9.8%	46.5%	52.2%	4.9%	13.9%	22.4%	24.5%	10.6%	12.7%	0.8%
知的障害	人数	447	13	21	161	281	8	72	100	188	30	68	5
	構成比		2.9%	4.7%	36.0%	62.9%	1.8%	16.1%	22.4%	42.1%	6.7%	15.2%	1.1%
精神障害	人数	51	0	2	23	33	3	6	14	19	4	11	0
	構成比		0.0%	3.9%	45.1%	64.7%	5.9%	11.8%	27.5%	37.3%	7.8%	21.6%	0.0%
難病	人数	25	0	4	14	11	0	4	7	8	3	2	0
	構成比		0.0%	16.0%	56.0%	44.0%	0.0%	16.0%	28.0%	32.0%	12.0%	8.0%	0.0%
無回答	人数	12	2	1	2	4	0	0	3	2	0	2	2
	構成比		16.7%	8.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%

(7) 外出時の移動手段

問 22 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

「自家用車」が53.5%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

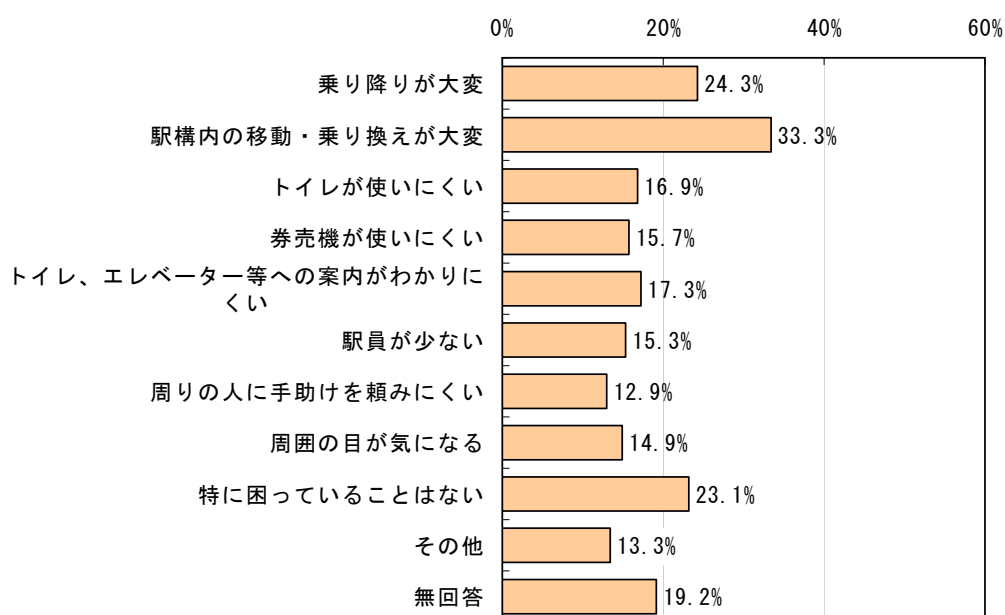
		合計	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全体	人数	598	107	99	24	52	320	273	7
	構成比		17.9%	16.6%	4.0%	8.7%	53.5%	45.7%	1.2%
身体障害	人数	245	38	32	5	30	119	106	2
	構成比		15.5%	13.1%	2.0%	12.2%	48.6%	43.3%	0.8%
知的障害	人数	447	84	78	19	31	254	208	5
	構成比		18.8%	17.4%	4.3%	6.9%	56.8%	46.5%	1.1%
精神障害	人数	51	9	10	1	7	23	28	0
	構成比		17.6%	19.6%	2.0%	13.7%	45.1%	54.9%	0.0%
難病	人数	25	1	1	0	3	14	11	0
	構成比		4.0%	4.0%	0.0%	12.0%	56.0%	44.0%	0.0%
無回答	人数	12	5	6	2	0	8	0	1
	構成比		41.7%	50.0%	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	8.3%

(8) 鉄道利用の際に困っていること（鉄道を使っていない方を除いた数で集計）

問 23 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

「特に困っていることはない」が23.1%となっています。困っていることがある方については、「駅構内の移動・乗り換えが大変」が33.3%、「乗り降りが大変」が24.3%となっています。

●全体



(N=255)

●障害種別

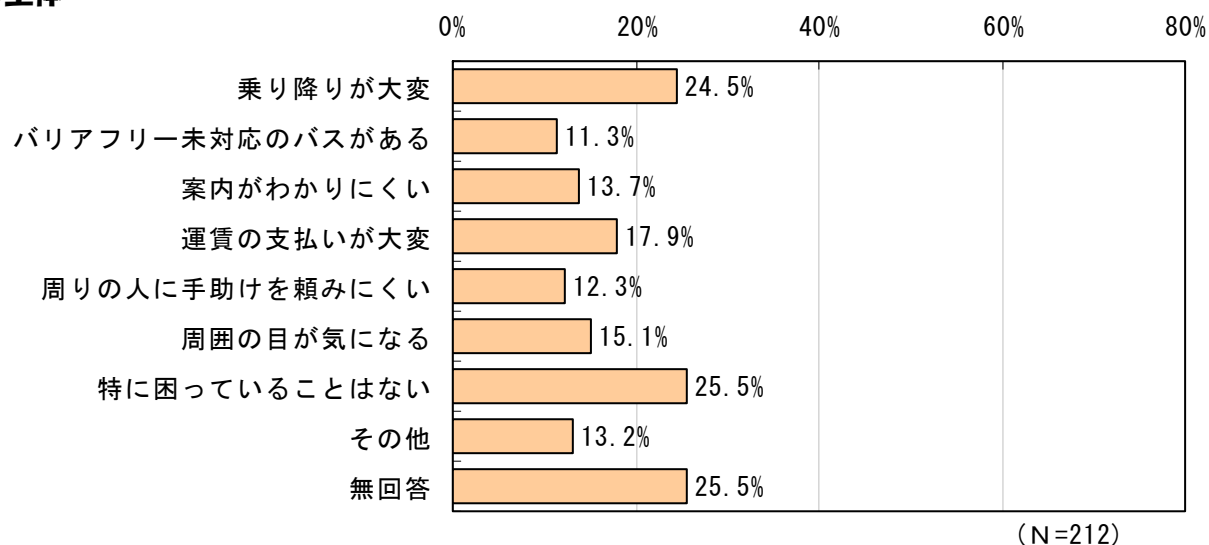
		合計	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	255	62	85	43	40	44	39	33	38	59	34	49
	構成比		24.3%	33.3%	16.9%	15.7%	17.3%	15.3%	12.9%	14.9%	23.1%	13.3%	19.2%
身体障害	人数	80	36	38	18	9	18	23	10	7	10	10	11
	構成比		45.0%	47.5%	22.5%	11.3%	22.5%	28.8%	12.5%	8.8%	12.5%	12.5%	13.8%
知的障害	人数	208	45	67	32	32	34	24	29	36	49	31	42
	構成比		21.6%	32.2%	15.4%	15.4%	16.3%	11.5%	13.9%	17.3%	23.6%	14.9%	20.2%
精神障害	人数	20	4	6	2	1	6	3	3	2	7	3	2
	構成比		20.0%	30.0%	10.0%	5.0%	30.0%	15.0%	15.0%	10.0%	35.0%	15.0%	10.0%
難病	人数	5	1	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0
	構成比		20.0%	60.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	11	4	2	2	2	2	1	1	1	5	0	1
	構成比		36.4%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	45.5%	0.0%	9.1%

(9) 路線バス利用の際に困っていること（バスを使っていない方を除いた数で集計）

問 24 あなたは、路線バスを利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

「特に困っていることはない」が25.5%となっています。困っていることがある方については、「乗り降りが大変」が24.5%となっています。

●全体



●障害種別

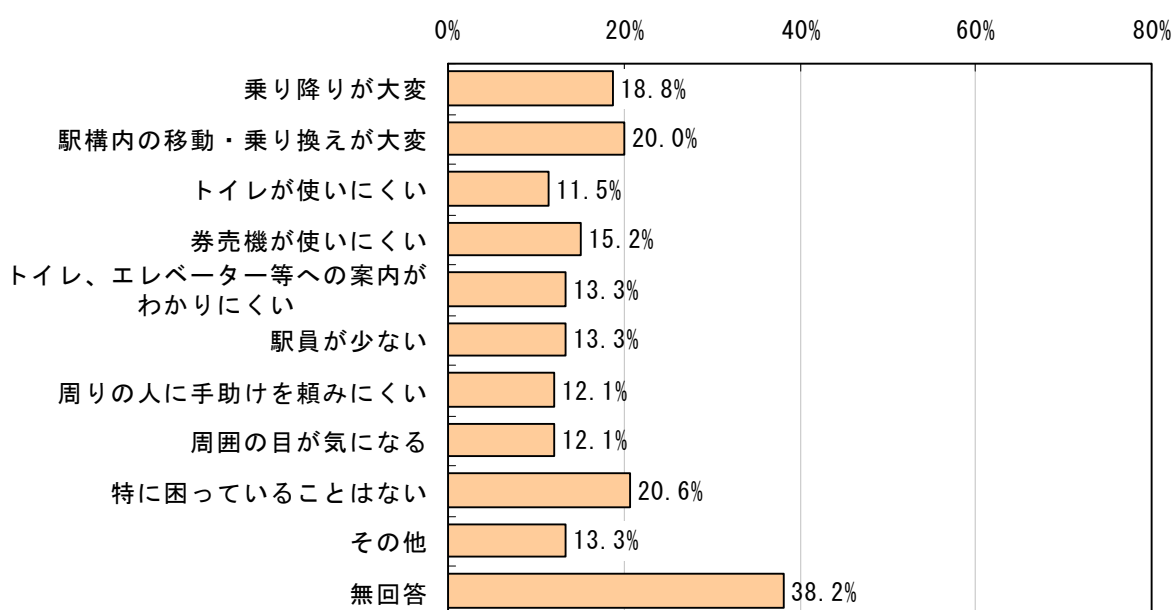
		合計	乗り降り が大変	バリアフ リー未対 応のバス がある	案内がわ かりにく い	運賃の支 払いが大 変	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全体	人数	212	52	24	29	38	26	32	54	28	54
	構成比		24.5%	11.3%	13.7%	17.9%	12.3%	15.1%	25.5%	13.2%	25.5%
身体障害	人数	62	30	15	3	10	12	5	13	5	14
	構成比		48.4%	24.2%	4.8%	16.1%	19.4%	8.1%	21.0%	8.1%	22.6%
知的障害	人数	173	39	15	25	33	18	29	45	27	43
	構成比		22.5%	8.7%	14.5%	19.1%	10.4%	16.8%	26.0%	15.6%	24.9%
精神障害	人数	19	5	2	1	4	2	1	9	2	2
	構成比		26.3%	10.5%	5.3%	21.1%	10.5%	5.3%	47.4%	10.5%	10.5%
難病	人数	2	2	1	1	0	0	0	1	0	0
	構成比		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	10	3	2	2	1	1	1	2	0	3
	構成比		30.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	30.0%

(10) モノレール利用の際に困っていること（モノレールを使っていない方を除いた数で集計）

問 25 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

「特に困っていることはない」が 20.6%となっています。困っていることがある方については、「駅構内の移動・乗り換えが大変」が 20.0%となっています。

●全体



(N=165)

●障害種別

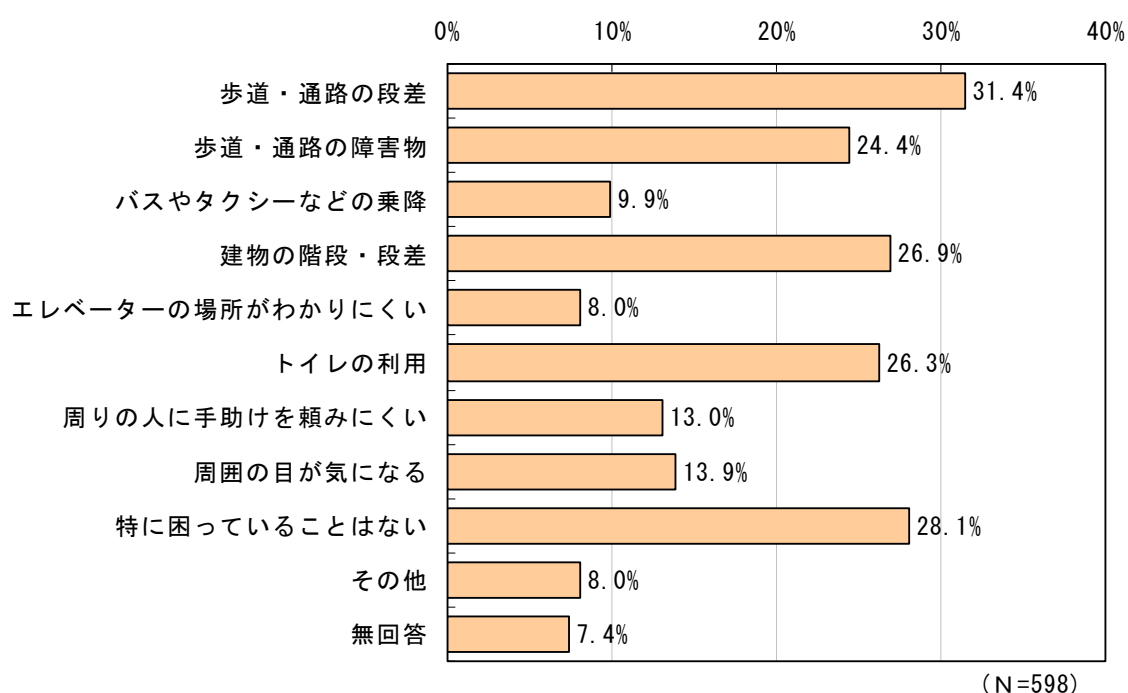
		合計	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	165	31	33	19	25	22	22	20	20	34	22	63
	構成比		18.8%	20.0%	11.5%	15.2%	13.3%	13.3%	12.1%	12.1%	20.6%	13.3%	38.2%
身体障害	人数	47	17	14	9	6	6	12	7	2	5	4	17
	構成比		36.2%	29.8%	19.1%	12.8%	12.8%	25.5%	14.9%	4.3%	10.6%	8.5%	36.2%
知的障害	人数	134	23	26	16	21	19	14	16	18	29	21	51
	構成比		17.2%	19.4%	11.9%	15.7%	14.2%	10.4%	11.9%	13.4%	21.6%	15.7%	38.1%
精神障害	人数	12	2	3	1	1	3	2	2	1	3	2	3
	構成比		16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%	25.0%
難病	人数	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0
	構成比		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	人数	9	3	1	1	1	1	1	1	1	2	0	4
	構成比		33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	44.4%

(11) 外出するときに困っていること

問 26 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が28.1%となっています。困っていることがある方については、「歩道・通路の段差」が31.4%、「特に困っていることはない」が28.1%、「建物の階段・段差」が26.9%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	歩道・通路の段差	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	598	188	146	59	161	48	157	78	83	168	48	44
	構成比		31.4%	24.4%	9.9%	26.9%	8.0%	26.3%	13.0%	13.9%	28.1%	8.0%	7.4%
身体障害	人数	245	129	100	30	109	20	84	33	22	40	20	15
	構成比		52.7%	40.8%	12.2%	44.5%	8.2%	34.3%	13.5%	9.0%	16.3%	8.2%	6.1%
知的障害	人数	447	114	86	45	101	36	115	55	70	137	37	35
	構成比		25.5%	19.2%	10.1%	22.6%	8.1%	25.7%	12.3%	15.7%	30.6%	8.3%	7.8%
精神障害	人数	51	12	12	6	11	7	10	5	2	15	12	3
	構成比		23.5%	23.5%	11.8%	21.6%	13.7%	19.6%	9.8%	3.9%	29.4%	23.5%	5.9%
難病	人数	25	12	12	4	11	3	9	4	3	4	3	1
	構成比		48.0%	48.0%	16.0%	44.0%	12.0%	36.0%	16.0%	12.0%	16.0%	12.0%	4.0%
無回答	人数	12	3	2	2	3	1	2	2	1	5	0	1
	構成比		25.0%	16.7%	16.7%	25.0%	8.3%	16.7%	16.7%	8.3%	41.7%	0.0%	8.3%

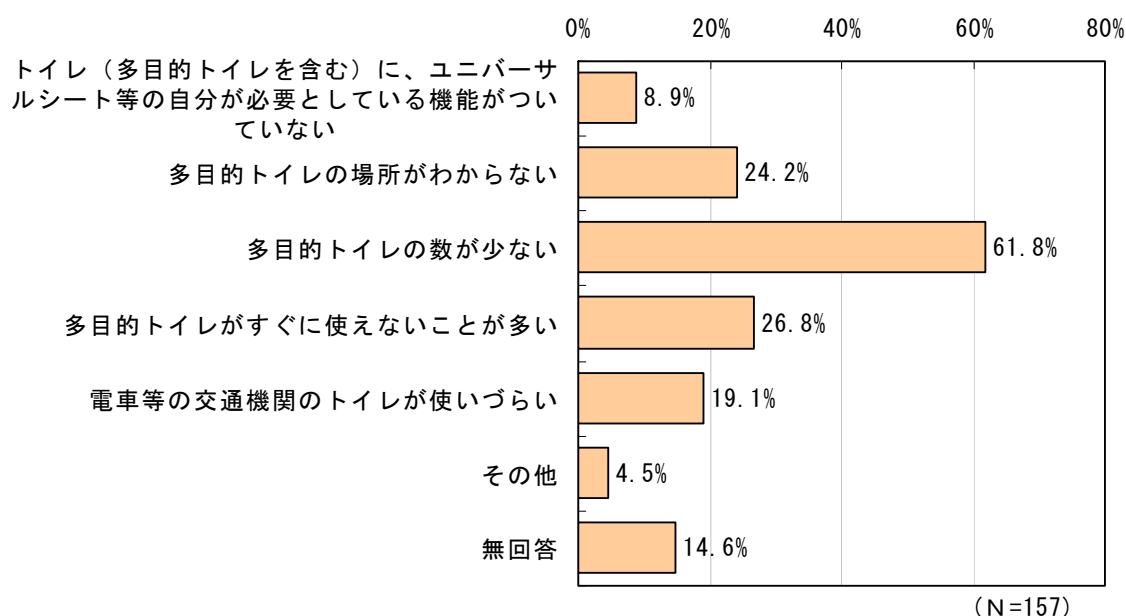
(12) 外出先でのトイレ利用の際に困ること

問 27 【問 26 で外出時のトイレ利用が困る（6番）に○をつけた方におたずねします。】 外出先でのトイレ利用について、困ることは何ですか。（○はいくつでも）

全体では、「多目的トイレの数が少ない」が61.8%となっています。

障害種別で見ると、上記に次いで、身体障害、精神障害のある方では「多目的トイレがすぐに使えないことが多い」、知的障害、難病のある方では「多目的トイレの場所がわからない」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	トイレ（多目的トイレを含む）に、ユニバーサルシート等の自分が必要としている機能がない	多目的トイレの場所がわからない	多目的トイレの数が少ない	多目的トイレがすぐに使えないことが多い	電車等の交通機関のトイレが使いづらい	その他	無回答
全体	人数	157	14	38	97	42	30	7	23
	構成比		8.9%	24.2%	61.8%	26.8%	19.1%	4.5%	14.6%
身体障害	人数	84	14	17	54	26	18	2	14
	構成比		16.7%	20.2%	64.3%	31.0%	21.4%	2.4%	16.7%
知的障害	人数	115	8	31	69	28	25	5	16
	構成比		7.0%	27.0%	60.0%	24.3%	21.7%	4.3%	13.9%
精神障害	人数	10	1	3	8	5	3	1	0
	構成比		10.0%	30.0%	80.0%	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%
難病	人数	9	3	4	6	1	1	1	3
	構成比		33.3%	44.4%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%
無回答	人数	2	0	0	1	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

(13) 外出時や災害時などのトイレ利用の際に困ること

問 28 【すべての方におたずねします。】外出時や災害時などのトイレ利用について、困ること（困るのではないかと思うこと）を、自由にお書きください。（自由記述）

全体では 202 件の意見がありました。

	全体	①設置数	②場所	③設備・備品	④洋式トイレ	⑤多目的トイレ	⑥オムツ	⑦災害時	⑧その他
件数（件）	202	35	17	7	26	16	7	16	94
構成比（％）	100.0	17.3	8.4	3.5	12.8	7.9	3.5	7.9	46.5

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 設置数について（35 件）

トイレの数が少ないという意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
トイレの設置数が少ないこと	知的障害	30代	男性	施設職員
トイレが少ない。	身体障害 （肢体不自由）	40代	男性	本人

② 場所について（17 件）

トイレの場所がわからないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
トイレの場所がわかりにくい時	身体障害 （肢体不自由、 聴覚・平衡機能 障害） 知的障害	40代	男性	家族
場所がわからない。トイレに行きたい旨の訴えがしにくい	知的障害	20代	男性	家族

③ 設備・備品について（7件）

トイレトペーパーなどに関する意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
トイレトペーパーが無くなること	身体障害 (視覚障害) 難病	30代	女性	本人
トイレにベッドがほしい	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	40代	女性	家族

④ 洋式トイレについて（26件）

洋式のトイレが少ない（和式では対応できない）という意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
和式のトイレが多い。洋式にしてほしい。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	60代	女性	本人
洋式トイレでないと利用しにくい	知的障害	30代	女性	不明

⑤ 多目的トイレについて（16件）

多目的トイレが少ないというご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
多目的トイレが少ない事で待ち時間が困難	知的障害	30代	女性	施設職員
人工肛門からの排便を自分ではできないので必ず介助者が行う。多目的トイレがない場合、男性用トイレに入るか、女性用トイレに入るか困る。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	40代	男性	家族

⑥ オムツ交換について（7件）

オムツ交換が出来る場所がほしいとの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
紙オムツ使用なので介助できる場所がほしいです。	身体障害 (肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害)	30代	男性	家族

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
オムツ交換をする際、広い場所が確保できない。	知的障害	30代	男性	施設職員

⑦ 災害時について（16件）

災害時にトイレに困ると思うというご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
災害時の仮設トイレはまず使うことができません。またこの頃多目的トイレの数に対し利用者が多過ぎたり普通のトイレで大丈夫な人が使用していて使えない事が多く困っています。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	30代	女性	家族
災害時は障害者専用のトイレを確保設置して欲しい。	不明	40代	女性	本人

⑧ その他（94件）

付き添い人がいないとトイレに入ったりすることが難しいなどのご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
電車のトイレの開閉が難しい	知的障害	30代	男性	家族
付き添いがないと一人では何もできない	知的障害	30代	男性	不明

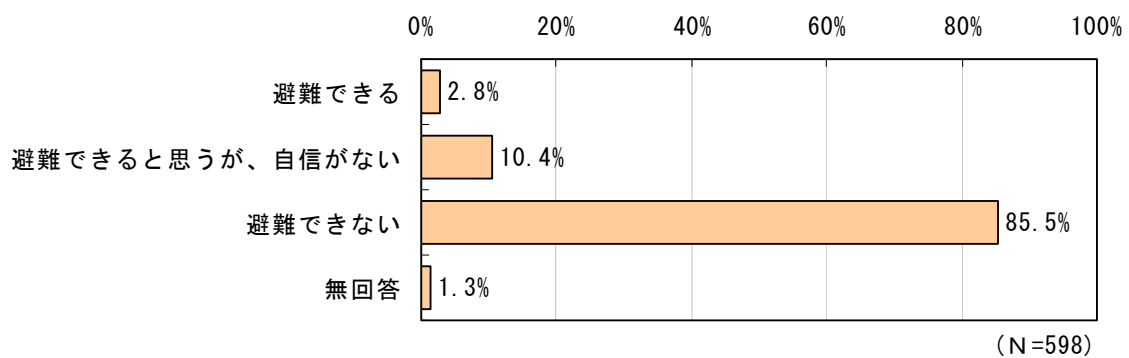
6. 災害対策について

(1) 災害時の避難

問 29 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(○は1つ)

「避難できない」が85.5%となっています。

●全体



●障害種別

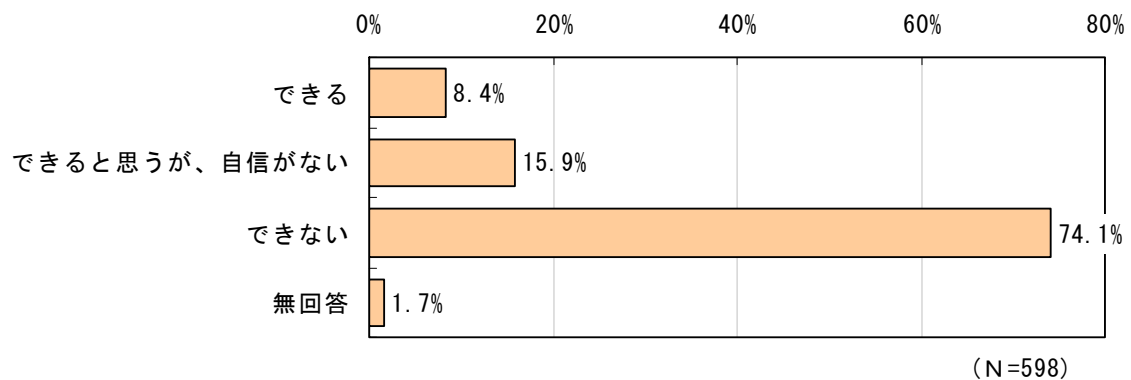
		合計	避難できる	避難できると思うが、自信がない	避難できない	無回答
全体	人数	598	17	62	511	8
	構成比		2.8%	10.4%	85.5%	1.3%
身体障害	人数	245	8	23	213	1
	構成比		3.3%	9.4%	86.9%	0.4%
知的障害	人数	447	9	44	388	6
	構成比		2.0%	9.8%	86.8%	1.3%
精神障害	人数	51	1	9	41	0
	構成比		2.0%	17.6%	80.4%	0.0%
難病	人数	25	0	3	22	0
	構成比		0.0%	12.0%	88.0%	0.0%
無回答	人数	12	1	3	7	1
	構成比		8.3%	25.0%	58.3%	8.3%

(2) 災害時に困っていることを周囲に知らせることが可能か

問 30 あなたは、災害時に自分が困っていることを周囲の人に知らせることができると思いますか。(〇は1つ)

「できない」が74.1%となっています。

●全体



●障害種別

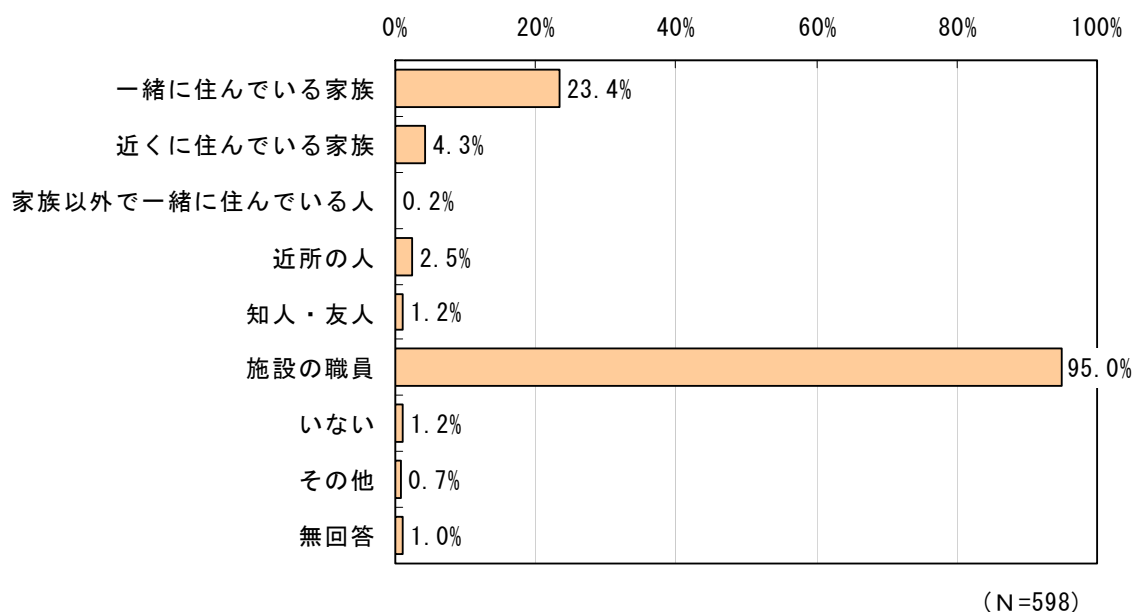
		合計	できる	できると思うが、自信がない	できない	無回答
全体	人数	598	50	95	443	10
	構成比		8.4%	15.9%	74.1%	1.7%
身体障害	人数	245	35	47	158	5
	構成比		14.3%	19.2%	64.5%	2.0%
知的障害	人数	447	21	60	360	6
	構成比		4.7%	13.4%	80.5%	1.3%
精神障害	人数	51	6	10	34	1
	構成比		11.8%	19.6%	66.7%	2.0%
難病	人数	25	0	7	18	0
	構成比		0.0%	28.0%	72.0%	0.0%
無回答	人数	12	1	2	8	1
	構成比		8.3%	16.7%	66.7%	8.3%

(3) 災害時に避難を支援してくれる人の有無

問31 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

「施設の職員」が95.0%、「一緒に住んでいる家族」が23.4%となっています。

●全体



●障害種別

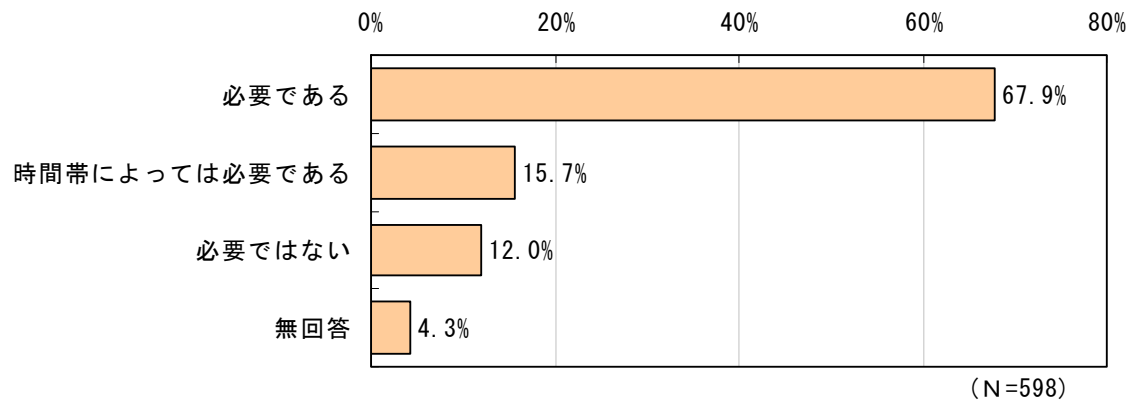
		合計	一緒に 住んで いる家 族	近くに 住んで いる家 族	家族以 外で一 緒に住 んでいる 人	近所の 人	知人・ 友人	施設の 職員	いない	その他	無回答
全体	人数	598	140	26	1	15	7	568	7	4	6
	構成比		23.4%	4.3%	0.2%	2.5%	1.2%	95.0%	1.2%	0.7%	1.0%
身体障害	人数	245	49	18	0	10	5	238	3	1	1
	構成比		20.0%	7.3%	0.0%	4.1%	2.0%	97.1%	1.2%	0.4%	0.4%
知的障害	人数	447	113	18	1	9	3	425	4	3	4
	構成比		25.3%	4.0%	0.2%	2.0%	0.7%	95.1%	0.9%	0.7%	0.9%
精神障害	人数	51	11	0	0	4	1	47	0	2	1
	構成比		21.6%	0.0%	0.0%	7.8%	2.0%	92.2%	0.0%	3.9%	2.0%
難病	人数	25	8	2	0	0	0	24	0	0	0
	構成比		32.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	5	1	0	0	1	10	0	0	1
	構成比		41.7%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	83.3%	0.0%	0.0%	8.3%

(4) 災害時に地域の方による避難の支援の必要性

問 32 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(○は1つ)

「必要である」が67.9%、「時間帯によっては必要である」が15.7%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	必要である	時間帯によっては必要である	必要ではない	無回答
全体	人数	598	406	94	72	26
	構成比		67.9%	15.7%	12.0%	4.3%
身体障害	人数	245	179	39	21	6
	構成比		73.1%	15.9%	8.6%	2.4%
知的障害	人数	447	295	71	59	22
	構成比		66.0%	15.9%	13.2%	4.9%
精神障害	人数	51	31	8	11	1
	構成比		60.8%	15.7%	21.6%	2.0%
難病	人数	25	24	1	0	0
	構成比		96.0%	4.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	6	2	3	1
	構成比		50.0%	16.7%	25.0%	8.3%

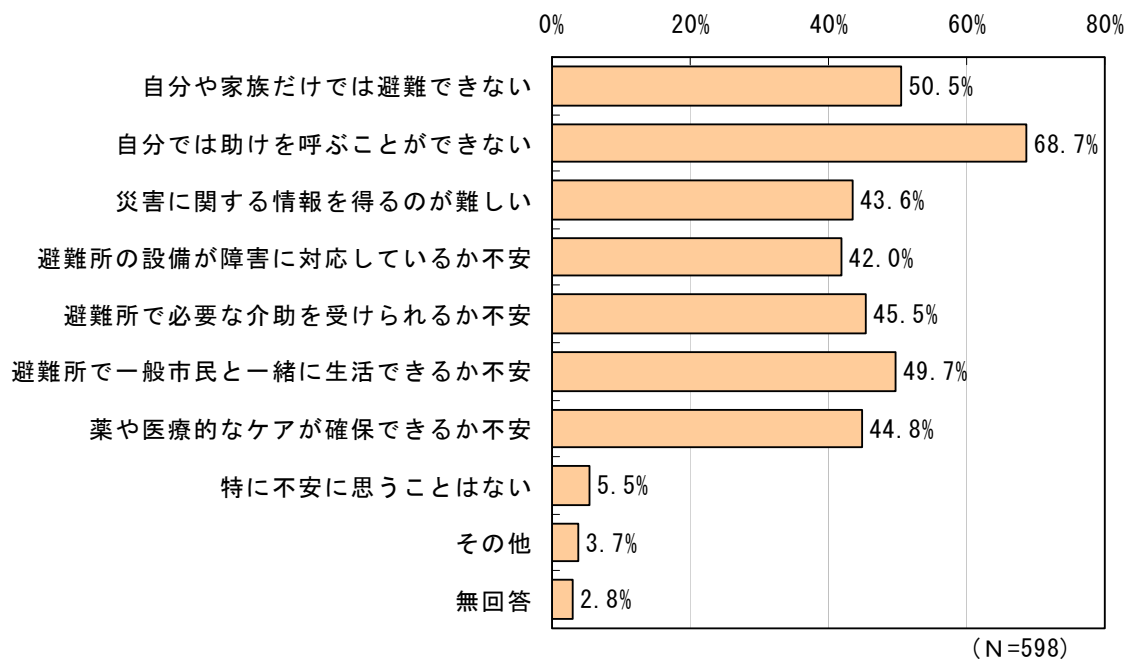
(5) 災害時に不安に思うこと

問 33 あなた（やご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「自分では助けを呼ぶことができない」が68.7%、「自分や家族だけでは避難できない」が50.5%、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が49.7%となっています。

障害種別で見ると、「自分では助けを呼ぶことができない」以外において、身体障害のある方や精神障害のある方では「自分や家族だけでは避難できない」、知的障害のある方では「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、難病のある方では「災害に関する情報を得るのが難しい」が多くなっています。

●全体



●障害種別

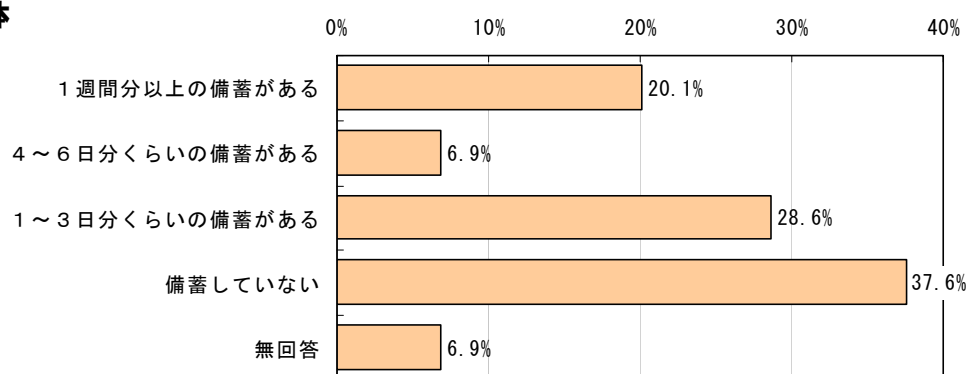
		合計	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	人数	598	302	411	261	251	272	297	268	33	22	17
	構成比		50.5%	68.7%	43.6%	42.0%	45.5%	49.7%	44.8%	5.5%	3.7%	2.8%
身体障害	人数	245	150	166	107	124	134	100	117	8	6	6
	構成比		61.2%	67.8%	43.7%	50.6%	54.7%	40.8%	47.8%	3.3%	2.4%	2.4%
知的障害	人数	447	211	323	198	186	197	252	199	27	19	11
	構成比		47.2%	72.3%	44.3%	41.6%	44.1%	56.4%	44.5%	6.0%	4.3%	2.5%
精神障害	人数	51	29	35	22	26	27	25	27	1	2	2
	構成比		56.9%	68.6%	43.1%	51.0%	52.9%	49.0%	52.9%	2.0%	3.9%	3.9%
難病	人数	25	16	23	18	14	14	14	16	1	0	0
	構成比		64.0%	92.0%	72.0%	56.0%	56.0%	56.0%	64.0%	4.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	12	4	6	2	2	0	2	4	1	0	1
	構成比		33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%

(6) 災害発生に備えた備蓄状況

問 34 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「備蓄していない」が37.6%、「1～3日分くらいの備蓄がある」が28.6%となっています。
障害種別に見ると、精神障害のある方では「1～3日分くらいの備蓄がある」が最も多くなっています。また、問33で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のうち、避難生活に必要な薬や装具等を「備蓄していない」と回答した方は34.7%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

		合計	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全体	人数	598	120	41	171	225	41
	構成比		20.1%	6.9%	28.6%	37.6%	6.9%
身体障害	人数	245	38	13	66	122	6
	構成比		15.5%	5.3%	26.9%	49.8%	2.4%
知的障害	人数	447	97	36	136	142	36
	構成比		21.7%	8.1%	30.4%	31.8%	8.1%
精神障害	人数	51	12	4	22	11	2
	構成比		23.5%	7.8%	43.1%	21.6%	3.9%
難病	人数	25	6	3	3	13	0
	構成比		24.0%	12.0%	12.0%	52.0%	0.0%
無回答	人数	12	3	1	0	6	2
	構成比		25.0%	8.3%	0.0%	50.0%	16.7%

●障害種別（問33で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のみ）

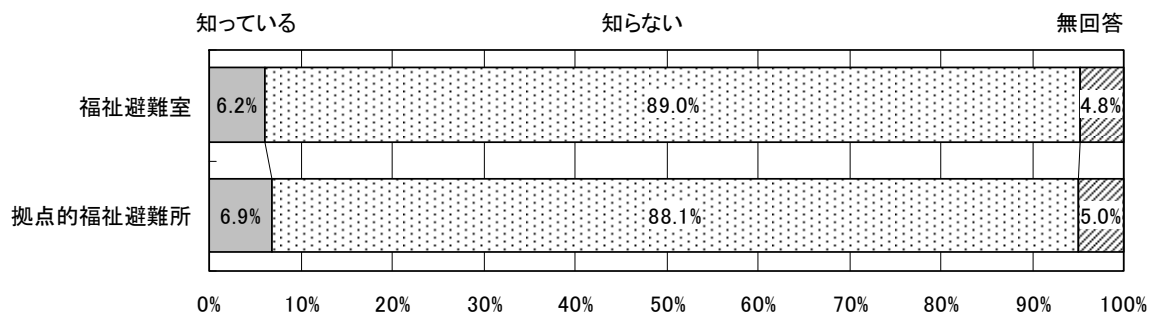
		総計	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全体	人数	268	67	23	75	93	10
	構成比		25.0%	8.6%	28.0%	34.7%	3.7%
身体障害	人数	117	24	6	29	56	2
	構成比		20.5%	5.1%	24.8%	47.9%	1.7%
知的障害	人数	199	50	19	63	59	8
	構成比		25.1%	9.5%	31.7%	29.6%	4.0%
精神障害	人数	27	6	1	11	8	1
	構成比		22.2%	3.7%	40.7%	29.6%	3.7%
難病	人数	16	4	1	2	9	0
	構成比		25.0%	6.3%	12.5%	56.3%	0.0%
無回答	人数	4	2	1	0	1	0
	構成比		50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%

(7) 福祉避難所

問 35 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。(①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかに○)

いずれの福祉避難所も「知らない」が約 90%となっています。

●全体



●障害種別

【福祉避難室】

		合計	知っている	知らない	無回答
全体	人数	598	37	532	29
	構成比		6.2%	89.0%	4.8%
身体障害	人数	245	17	220	8
	構成比		6.9%	89.8%	3.3%
知的障害	人数	447	24	400	23
	構成比		5.4%	89.5%	5.1%
精神障害	人数	51	7	43	1
	構成比		13.7%	84.3%	2.0%
難病	人数	25	2	23	0
	構成比		8.0%	92.0%	0.0%
無回答	人数	12	1	9	2
	構成比		8.3%	75.0%	16.7%

【拠点の福祉避難所】

		合計	知っている	知らない	無回答
全体	人数	598	41	527	30
	構成比		6.9%	88.1%	5.0%
身体障害	人数	245	18	218	9
	構成比		7.3%	89.0%	3.7%
知的障害	人数	447	31	393	23
	構成比		6.9%	87.9%	5.1%
精神障害	人数	51	7	43	1
	構成比		13.7%	84.3%	2.0%
難病	人数	25	2	23	0
	構成比		8.0%	92.0%	0.0%
無回答	人数	12	0	9	3
	構成比		0.0%	75.0%	25.0%

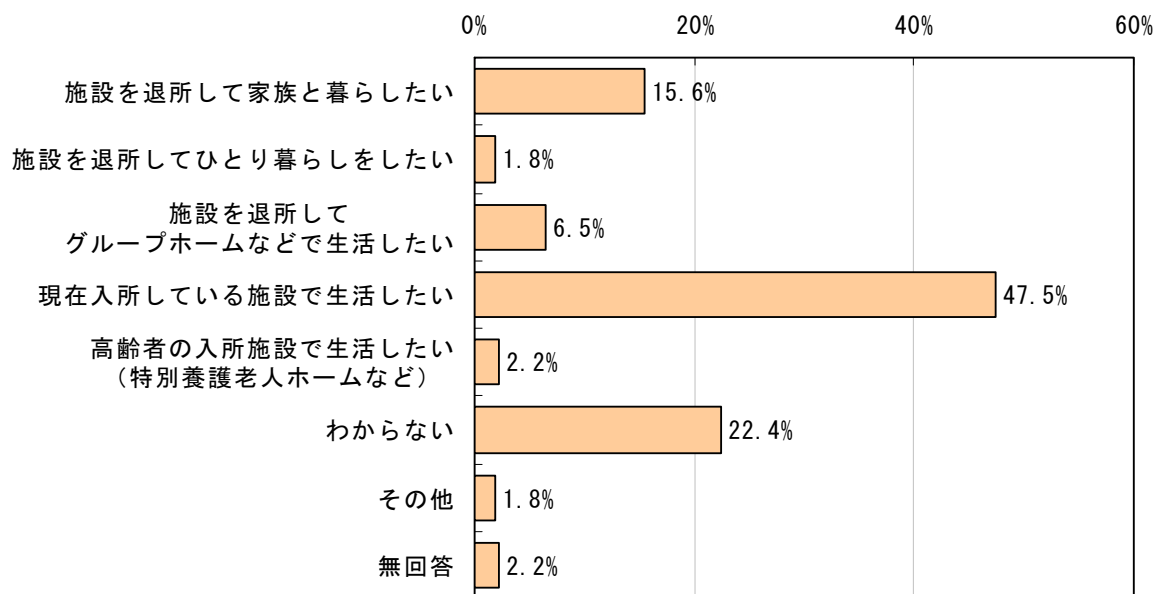
7. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 36 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「現在入所している施設で生活したい」が47.5%、「わからない」が22.4%となっています。
年齢別で見ると、「現在入所している施設で生活したい」という回答は、年齢が上がるにつれて多くなっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

		合計	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全体	人数	598	93	11	39	284	13	134	11	13
	構成比		15.6%	1.8%	6.5%	47.5%	2.2%	22.4%	1.8%	2.2%
身体障害	人数	245	36	6	15	128	7	44	3	6
	構成比		14.7%	2.4%	6.1%	52.2%	2.9%	18.0%	1.2%	2.4%
知的障害	人数	447	69	5	30	204	5	115	10	9
	構成比		15.4%	1.1%	6.7%	45.6%	1.1%	25.7%	2.2%	2.0%
精神障害	人数	51	5	3	6	28	0	7	2	0
	構成比		9.8%	5.9%	11.8%	54.9%	0.0%	13.7%	3.9%	0.0%
難病	人数	25	6	0	1	11	0	6	0	1
	構成比		24.0%	0.0%	4.0%	44.0%	0.0%	24.0%	0.0%	4.0%
無回答	人数	12	2	0	3	3	2	1	0	1
	構成比		16.7%	0.0%	25.0%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%

●年齢別

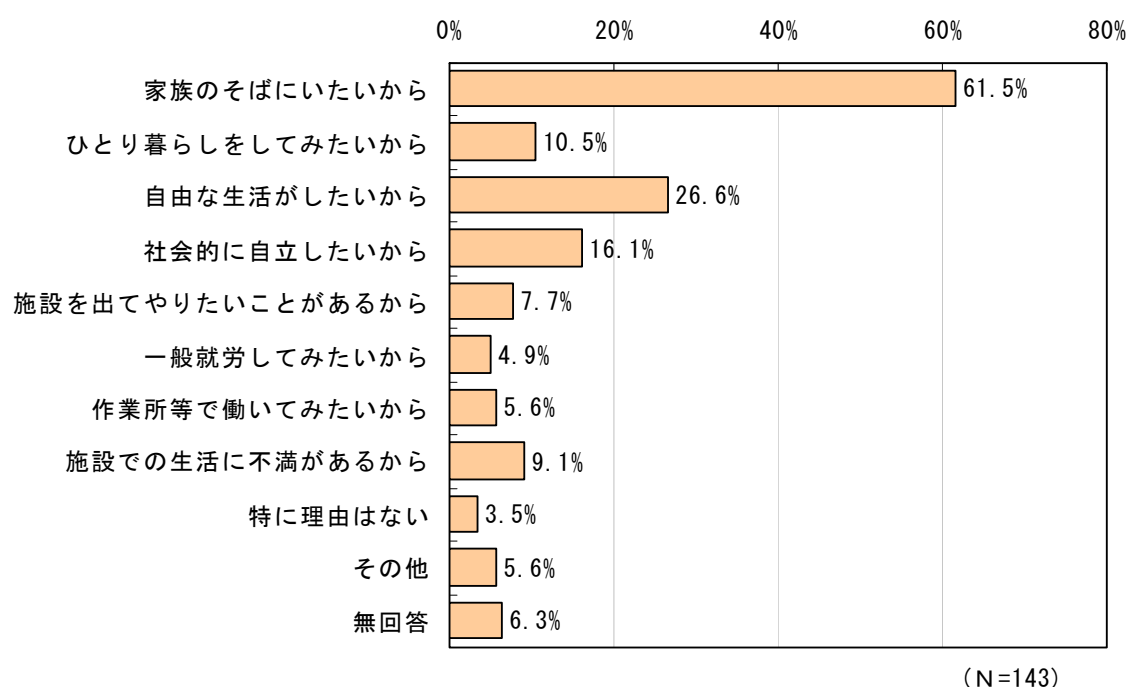
		合計	施設を退 所して家 族と暮ら したい	施設を退 所してひ と暮らし をしたい	施設を退 所してグ ループ ホームな どで生活 したい	現在入所 している 施設で生 活したい	高齢者の 入所施設 で生活し たい (特別養 護老人 ホームな ど)	わからな い	その他	無回答
全体	人数	598	93	11	39	284	13	134	11	13
	構成比		15.6%	1.8%	6.5%	47.5%	2.2%	22.4%	1.8%	2.2%
18～39歳	人数	241	37	8	23	107	3	53	5	5
	構成比		15.4%	3.3%	9.5%	44.4%	1.2%	22.0%	2.1%	2.1%
40～64歳	人数	301	46	3	15	144	8	72	6	7
	構成比		15.3%	1.0%	5.0%	47.8%	2.7%	23.9%	2.0%	2.3%
65～74歳	人数	40	9	0	1	22	0	8	0	0
	構成比		22.5%	0.0%	2.5%	55.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
75歳以上	人数	9	0	0	0	7	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
無回答	人数	7	1	0	0	4	1	1	0	0
	構成比		14.3%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%

(2) 施設を退所したい理由

問 37 【問 36 で将来は施設を退所したい（１～３番）に○をつけた方におたずねします。】
施設を退所したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「家族のそばにいたいから」が61.5%、「自由な生活がしたいから」が26.6%、「社会的に自立したいから」が16.1%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	家族のそばにいたいから	ひとり暮らしをしてみたいから	自由な生活がしたいから	社会的に自立したいから	施設を出てやりたいことがあるから	一般就労してみたいから	作業所等で働いてみたいから	施設での生活に不満があるから	特に理由はない	その他	無回答
全体	人数	143	88	15	38	23	11	7	8	13	5	8	9
	構成比		61.5%	10.5%	26.6%	16.1%	7.7%	4.9%	5.6%	9.1%	3.5%	5.6%	6.3%
身体障害	人数	57	32	8	14	14	5	3	5	5	1	3	5
	構成比		56.1%	14.0%	24.6%	24.6%	8.8%	5.3%	8.8%	8.8%	1.8%	5.3%	8.8%
知的障害	人数	104	64	7	30	11	7	3	5	7	4	7	7
	構成比		61.5%	6.7%	28.8%	10.6%	6.7%	2.9%	4.8%	6.7%	3.8%	6.7%	6.7%
精神障害	人数	14	5	3	7	3	2	3	1	2	1	1	2
	構成比		35.7%	21.4%	50.0%	21.4%	14.3%	21.4%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%
難病	人数	7	6	1	3	0	0	0	1	0	0	1	0
	構成比		85.7%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
無回答	人数	5	3	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0
	構成比		60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%

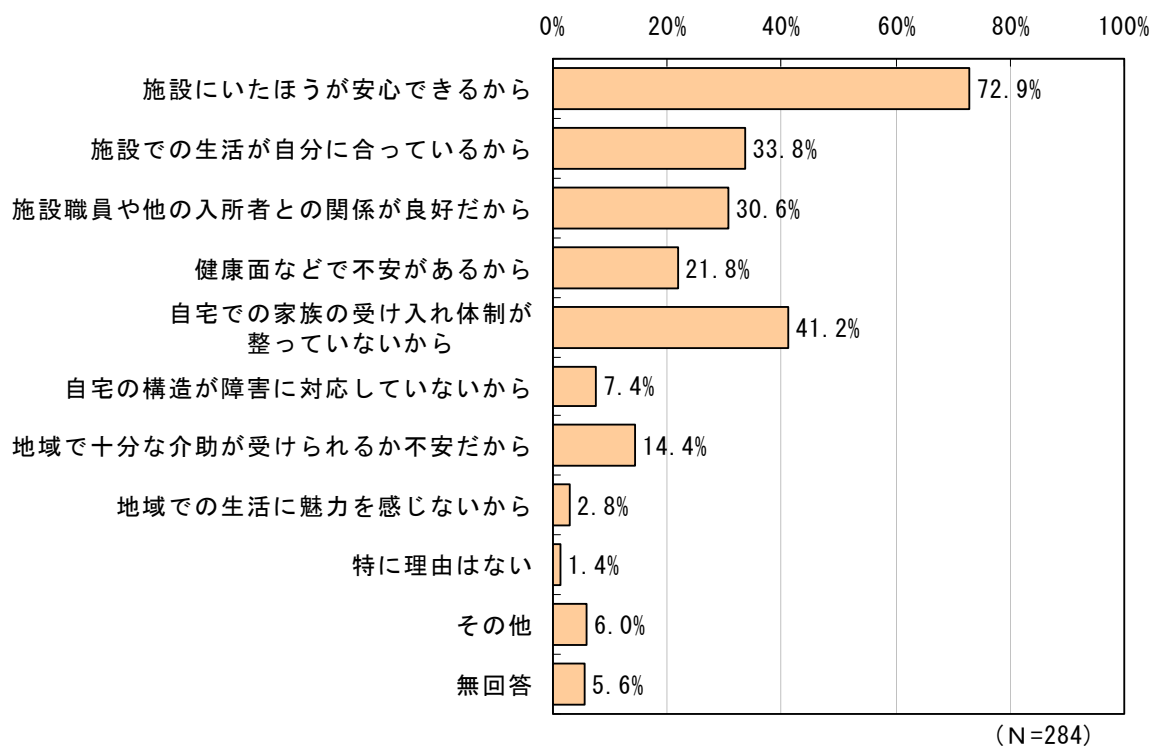
(3) 施設で暮らしたい理由

問 38 【問 36 で引き続き施設で生活したい（４番）に○をつけた方におたずねします。】今の施設での生活が続けたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「施設にいたほうが安心できるから」が 72.9%、「自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから」が 41.2%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから」が 6.9 ポイント増加しています。

●全体



●障害種別

		合計	施設にいたほうが安心できるから	施設での生活が自分に合っているから	施設職員や他の入所者との関係が良好だから	健康面などで不安があるから	自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから	自宅の構造が障害に対応していないから	地域で十分な介助が受けられるか不安だから	地域での生活に魅力を感じないから	特に理由はない	その他	無回答
全体	人数	284	207	96	87	62	117	21	41	8	4	17	16
	構成比		72.9%	33.8%	30.6%	21.8%	41.2%	7.4%	14.4%	2.8%	1.4%	6.0%	5.6%
身体障害	人数	128	98	40	40	31	54	17	19	2	3	14	5
	構成比		76.6%	31.3%	31.3%	24.2%	42.2%	13.3%	14.8%	1.6%	2.3%	10.9%	3.9%
知的障害	人数	204	141	70	68	43	81	10	33	7	3	8	12
	構成比		69.1%	34.3%	33.3%	21.1%	39.7%	4.9%	16.2%	3.4%	1.5%	3.9%	5.9%
精神障害	人数	28	24	11	7	5	10	3	3	2	0	3	0
	構成比		85.7%	39.3%	25.0%	17.9%	35.7%	10.7%	10.7%	7.1%	0.0%	10.7%	0.0%
難病	人数	11	8	3	3	1	2	1	3	0	0	3	0
	構成比		72.7%	27.3%	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%
無回答	人数	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

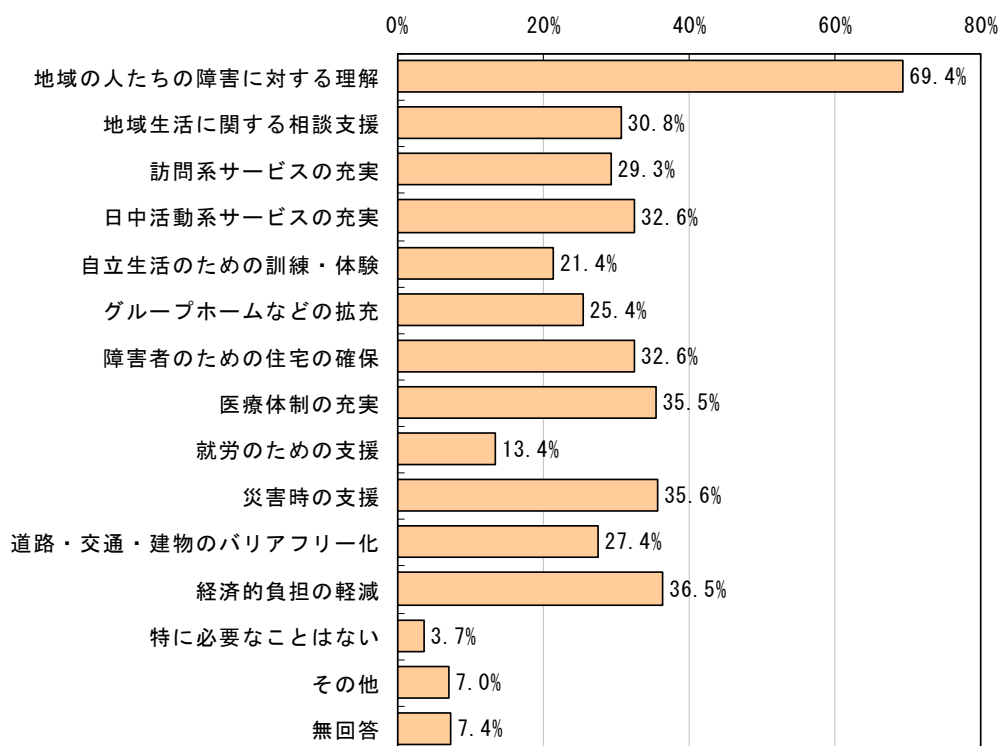
(4) 地域生活のために必要なこと

問 39 【全ての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が69.4%、「経済的負担の軽減」が36.5%、「災害時の支援」が35.6%、「医療体制の充実」が35.5%となっています。

障害種別で見ると、「地域の人たちの障害に対する理解」以外において、身体障害のある方では「道路・交通・建物のバリアフリー化」、「経済的負担の軽減」、知的障害のある方では「医療体制の充実」、精神障害のある方や難病のある方では「経済的負担の軽減」が多くなっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

		合計	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	人数	598	415	184	175	195	128	152	195	212	80	213	164	218	22	42	44
	構成比		69.4%	30.8%	29.3%	32.6%	21.4%	25.4%	32.6%	35.5%	13.4%	35.6%	27.4%	36.5%	3.7%	7.0%	7.4%
身体障害	人数	245	162	73	86	77	41	51	73	79	27	86	88	88	6	18	17
	構成比		66.1%	29.8%	35.1%	31.4%	16.7%	20.8%	29.8%	32.2%	11.0%	35.1%	35.9%	35.9%	2.4%	7.3%	6.9%
知的障害	人数	447	319	135	116	156	104	126	151	164	58	160	107	160	15	37	31
	構成比		71.4%	30.2%	26.0%	34.9%	23.3%	28.2%	33.8%	36.7%	13.0%	35.8%	23.9%	35.8%	3.4%	8.3%	6.9%
精神障害	人数	51	41	14	15	17	13	14	20	16	9	18	13	25	0	4	2
	構成比		80.4%	27.5%	29.4%	33.3%	25.5%	27.5%	39.2%	31.4%	17.6%	35.3%	25.5%	49.0%	0.0%	7.8%	3.9%
難病	人数	25	17	5	6	6	4	5	5	9	3	9	8	10	2	1	2
	構成比		68.0%	20.0%	24.0%	24.0%	16.0%	20.0%	20.0%	36.0%	12.0%	36.0%	32.0%	40.0%	8.0%	4.0%	8.0%
無回答	人数	12	4	4	2	3	2	3	3	3	3	2	2	5	2	0	1
	構成比		33.3%	33.3%	16.7%	25.0%	16.7%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	16.7%	16.7%	41.7%	16.7%	0.0%	8.3%

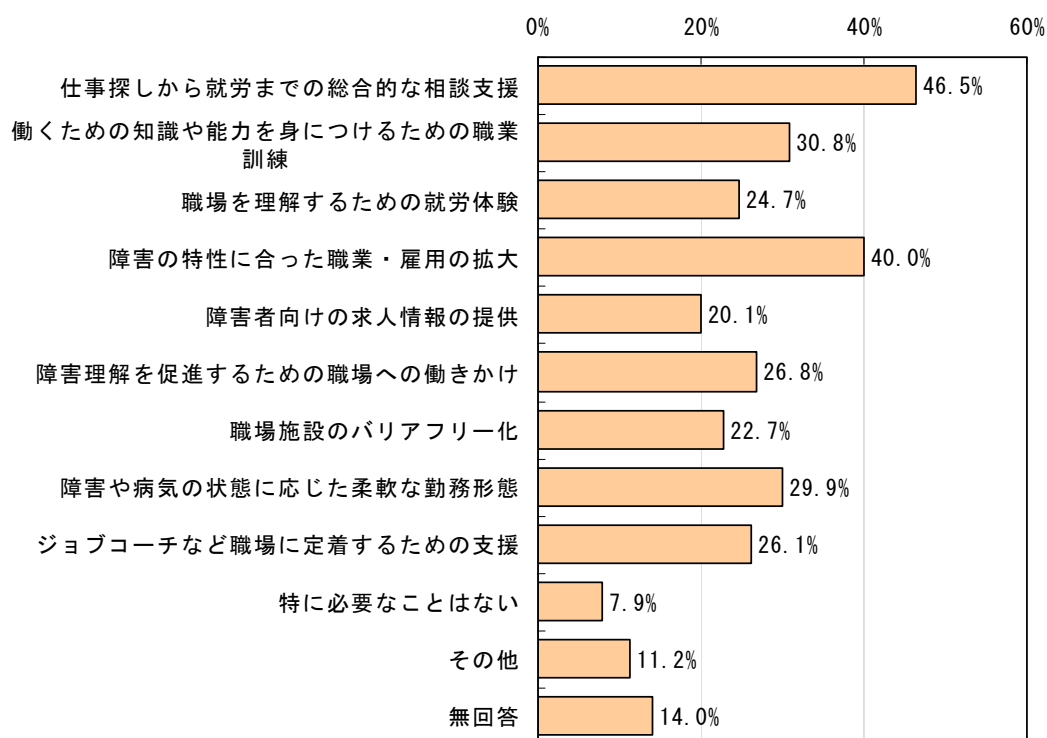
(5) 一般就労のために必要なこと

問 40 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が46.5%、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が40.0%となっています。

障害種別に見ると、精神障害、難病のある方では、上記以外に「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」も多くなっています。

●全体



●障害種別

(N=598)

		合計	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	人数	598	278	184	148	239	120	160	136	179	156	47	67	84
	構成比		46.5%	30.8%	24.7%	40.0%	20.1%	26.8%	22.7%	29.9%	26.1%	7.9%	11.2%	14.0%
身体障害	人数	245	120	74	51	93	42	58	71	75	44	15	26	35
	構成比		49.0%	30.2%	20.8%	38.0%	17.1%	23.7%	29.0%	30.6%	18.0%	6.1%	10.6%	14.3%
知的障害	人数	447	208	139	122	189	93	132	90	138	131	31	57	58
	構成比		46.5%	31.1%	27.3%	42.3%	20.8%	29.5%	20.1%	30.9%	29.3%	6.9%	12.8%	13.0%
精神障害	人数	51	25	21	17	24	16	17	16	24	18	6	6	7
	構成比		49.0%	41.2%	33.3%	47.1%	31.4%	33.3%	31.4%	47.1%	35.3%	11.8%	11.8%	13.7%
難病	人数	25	17	11	9	13	9	9	11	13	6	0	4	1
	構成比		68.0%	44.0%	36.0%	52.0%	36.0%	36.0%	44.0%	52.0%	24.0%	0.0%	16.0%	4.0%
無回答	人数	12	3	4	4	6	3	4	3	4	3	3	0	3
	構成比		25.0%	33.3%	33.3%	50.0%	25.0%	33.3%	25.0%	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%

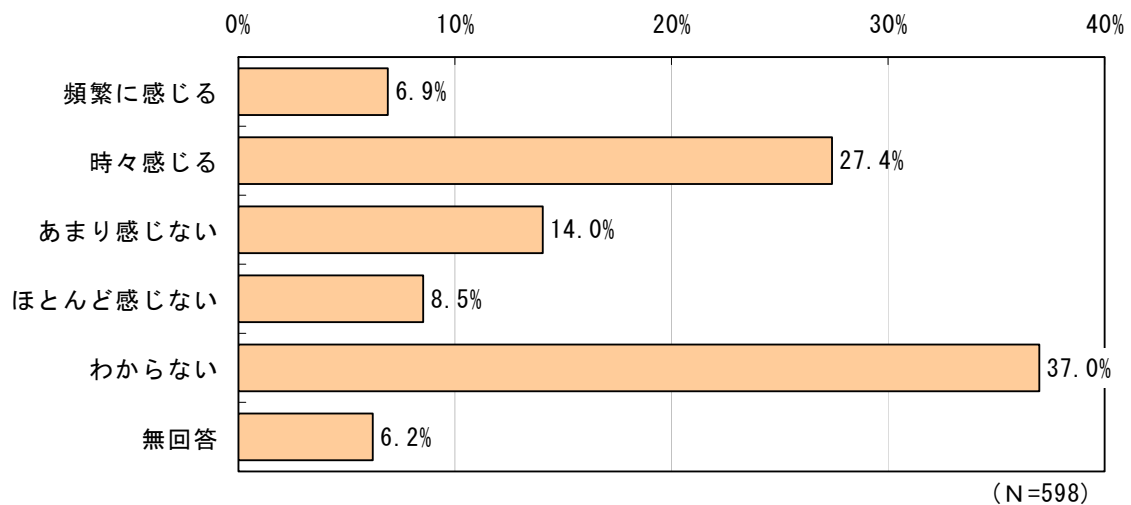
8. 障害のある人に対する理解度について

(1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 41 あなたは、ふだんの生活のなかで、差別を感じるがありますか。(〇は1つ)

「わからない」が37.0%、「時々感じる」が27.4%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない	無回答
全体	人数	598	41	164	84	51	221	37
	構成比		6.9%	27.4%	14.0%	8.5%	37.0%	6.2%
身体障害	人数	245	14	70	43	25	81	12
	構成比		5.7%	28.6%	17.6%	10.2%	33.1%	4.9%
知的障害	人数	447	33	121	56	32	178	27
	構成比		7.4%	27.1%	12.5%	7.2%	39.8%	6.0%
精神障害	人数	51	2	12	7	4	25	1
	構成比		3.9%	23.5%	13.7%	7.8%	49.0%	2.0%
難病	人数	25	1	5	7	4	8	0
	構成比		4.0%	20.0%	28.0%	16.0%	32.0%	0.0%
無回答	人数	12	3	1	1	2	3	2
	構成比		25.0%	8.3%	8.3%	16.7%	25.0%	16.7%

(2) 差別を感じた場面

問 42 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。（自由記述）

全体では 126 件の意見がありました。

	全体	① 外出先等	② 店舗・施設等	③ 差別は感じない	④ その他
件数（件）	126	54	8	12	55
構成比（％）	100.0	42.8	6.3	9.5	43.7

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 外出先等での体験（54 件）

外出すると、いろいろと見られることがあるなどという意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
外出の際、じろじろと他者から見られた。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害 難病	40代	女性	施設職員
外出時によく見られる	知的障害	40代	男性	施設職員

② 店舗や施設などでの体験（8 件）

障害等を理由に、店舗などへの入場を断られたなどのご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
理容室に行き、「他のお客さんから苦情があったので、今後は来ないで下さい。」と後で電話をもらった。	知的障害	40代	女性	施設職員
店内での対応がよくなかった。	身体障害 (肢体不自由)	60代	女性	不明

③ 差別は感じない（12 件）

特に差別は感じないという意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
特になし	知的障害	30代	男性	施設職員
ない	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	30代	男性	本人

④ その他（55 件）

グループホームの新設時の問題や、わからないなどの意見がありました。

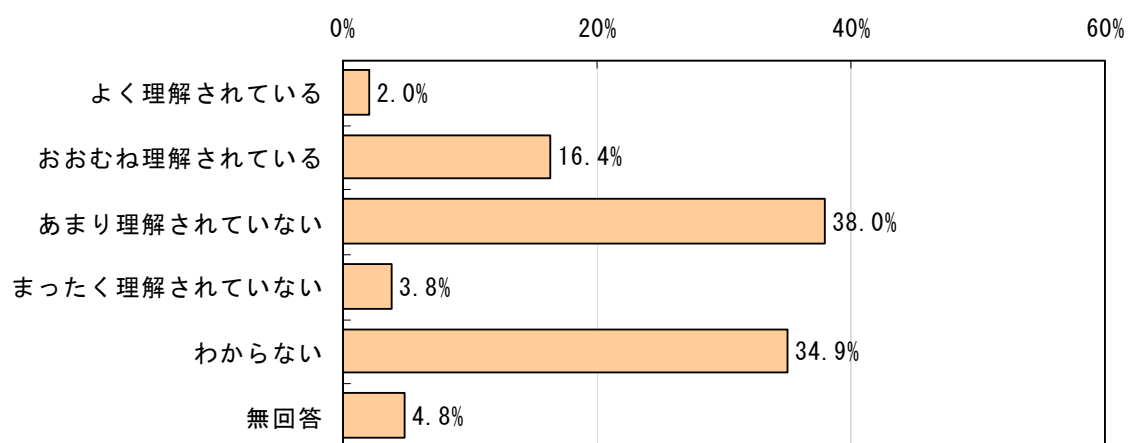
ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
障害者施設、グループホームができると聞くと必ず起きる反対運動に対して感じる。障害者は了解を得なければならない立場ではないのに。言い方を変えれば自分は人に許可を与える立場ではないのに。そこに気づいてまず知ってみようと思って欲しいもの。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	30代	男性	家族
わからない	知的障害 精神障害	40代	男性	施設職員

(3) 障害のある人に対する市民の理解度

問 43 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

「あまり理解されていない」が38.0%、「わからない」が34.9%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

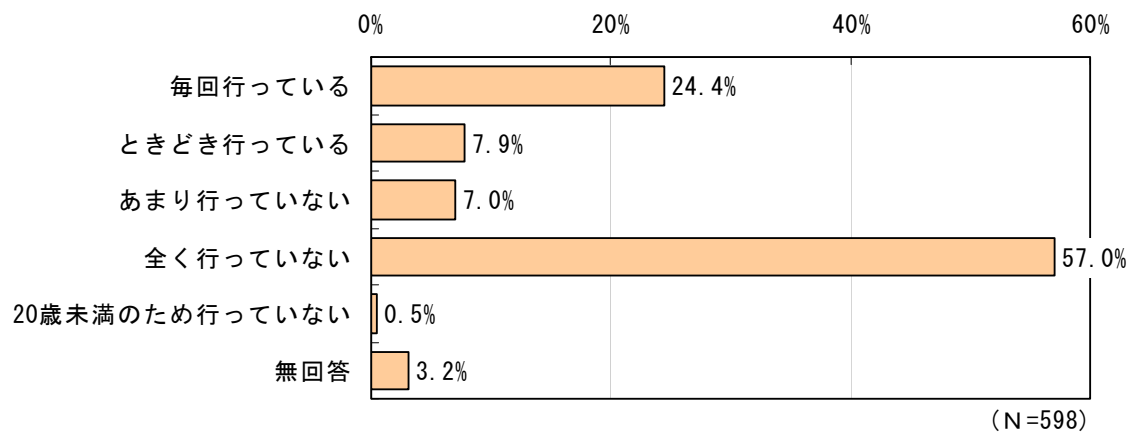
		合計	よく理解 されている	おおむね 理解されて いる	あまり理 解されて いない	まったく 理解され ていない	わから ない	無回答
全体	人数	598	12	98	227	23	209	29
	構成比		2.0%	16.4%	38.0%	3.8%	34.9%	4.8%
身体障害	人数	245	6	47	90	7	83	12
	構成比		2.4%	19.2%	36.7%	2.9%	33.9%	4.9%
知的障害	人数	447	7	69	171	19	161	20
	構成比		1.6%	15.4%	38.3%	4.3%	36.0%	4.5%
精神障害	人数	51	2	1	20	0	27	1
	構成比		3.9%	2.0%	39.2%	0.0%	52.9%	2.0%
難病	人数	25	0	4	11	2	8	0
	構成比		0.0%	16.0%	44.0%	8.0%	32.0%	0.0%
無回答	人数	12	2	2	5	0	2	1
	構成比		16.7%	16.7%	41.7%	0.0%	16.7%	8.3%

(4) 選挙投票の頻度

問 44 あなたは、選挙の投票に行っていますか。(○は1つ)

「全く行っていない」が57.0%、「毎回行っている」が24.4%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	毎回行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	全く行っていない	20歳未満のため行っていない	無回答
全体	人数	598	146	47	42	341	3	19
	構成比		24.4%	7.9%	7.0%	57.0%	0.5%	3.2%
身体障害	人数	245	52	13	12	162	0	6
	構成比		21.2%	5.3%	4.9%	66.1%	0.0%	2.4%
知的障害	人数	447	109	35	35	251	3	14
	構成比		24.4%	7.8%	7.8%	56.2%	0.7%	3.1%
精神障害	人数	51	11	8	9	22	1	0
	構成比		21.6%	15.7%	17.6%	43.1%	2.0%	0.0%
難病	人数	25	6	4	2	12	0	1
	構成比		24.0%	16.0%	8.0%	48.0%	0.0%	4.0%
無回答	人数	12	5	2	0	4	0	1
	構成比		41.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	8.3%

(5) 投票に行かない理由

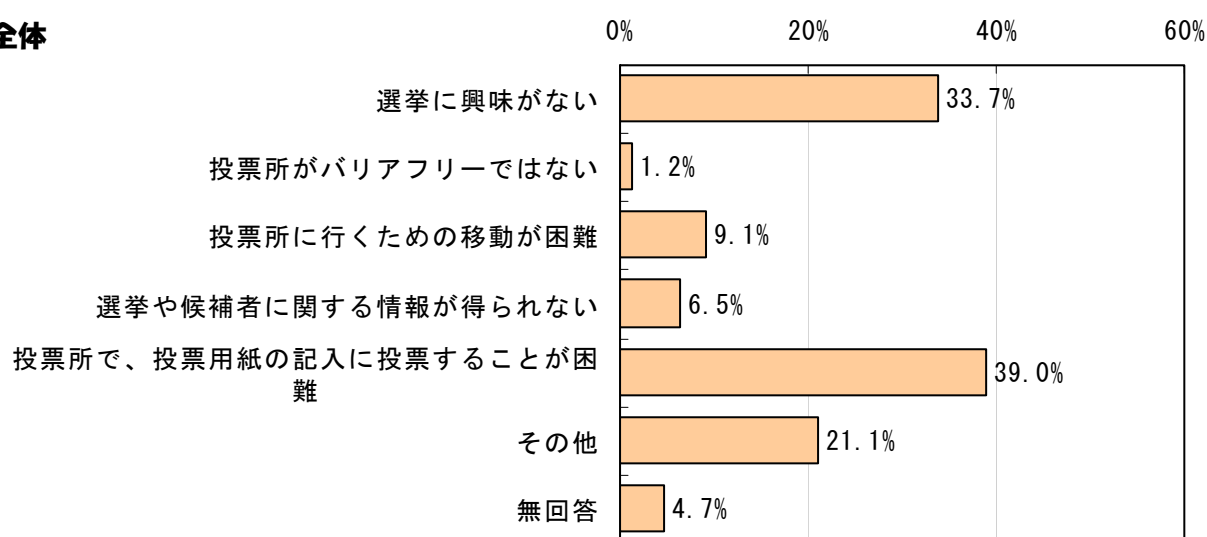
問 45 【問 44 で投票に行っていない（4、5番）に○をつけた方におたずねします。】あまりあるいは全く行っていない理由は何ですか。（○を2つまで）

（集計にあたっては、問 44 で「4」に回答した方のみとしています。）

「投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難」が 39.0%、「選挙に興味がない」が 33.7%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方では「選挙に興味がない」、知的障害のある方では「投票所で投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難」が多くなっています。

●全体



(N=341)

●障害種別

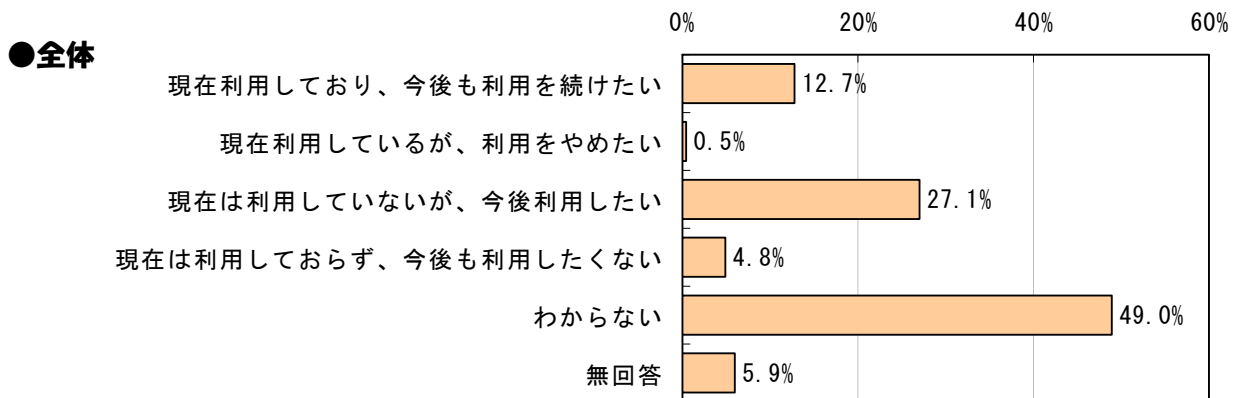
		合計	選挙に興味がない	投票所がバリアフリーではない	投票所に行くための移動が困難	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所で、投票用紙の記入に投票することが困難	その他	無回答
全体	人数	341	115	4	31	22	133	72	16
	構成比		33.7%	1.2%	9.1%	6.5%	39.0%	21.1%	4.7%
身体障害	人数	162	55	4	18	6	52	39	9
	構成比		34.0%	2.5%	11.1%	3.7%	32.1%	24.1%	5.6%
知的障害	人数	251	80	1	19	20	110	53	10
	構成比		31.9%	0.4%	7.6%	8.0%	43.8%	21.1%	4.0%
精神障害	人数	22	7	0	4	2	5	5	2
	構成比		31.8%	0.0%	18.2%	9.1%	22.7%	22.7%	9.1%
難病	人数	12	5	1	1	3	5	2	0
	構成比		41.7%	8.3%	8.3%	25.0%	41.7%	16.7%	0.0%
無回答	人数	4	1	0	0	0	1	1	1
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%

9. サービス利用について

(1) 成年後見制度の利用意向

問 46 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(〇は1つ)

「わからない」が49.0%、「現在は利用していないが、今後利用したい」が27.1%となっています。



(N=598)

●障害種別

		合計	現在利用 しており、 今後も利 用を続け たい	現在利用 している が、利用 をやめたい	現在は利 用してい ないが、 今後利用 したい	現在は利 用してお らず、今 後も利用 したくない	わから ない	無回答
全体	人数	598	76	3	162	29	293	35
	構成比		12.7%	0.5%	27.1%	4.8%	49.0%	5.9%
身体障害	人数	245	33	0	63	14	126	9
	構成比		13.5%	0.0%	25.7%	5.7%	51.4%	3.7%
知的障害	人数	447	63	3	122	18	213	28
	構成比		14.1%	0.7%	27.3%	4.0%	47.7%	6.3%
精神障害	人数	51	4	0	13	4	30	0
	構成比		7.8%	0.0%	25.5%	7.8%	58.8%	0.0%
難病	人数	25	2	0	7	2	13	1
	構成比		8.0%	0.0%	28.0%	8.0%	52.0%	4.0%
無回答	人数	12	0	0	3	0	7	2
	構成比		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	58.3%	16.7%

●年齢別

		合計	現在利用 しており、 今後も利 用を続け たい	現在利用 している が、利用 をやめたい	現在は利 用してい ないが、 今後利用 したい	現在は利 用してお らず、今 後も利用 したくない	わから ない	無回答
全体	人数	598	76	3	162	29	293	35
	構成比		12.7%	0.5%	27.1%	4.8%	49.0%	5.9%
18～39歳	人数	241	29	2	74	16	109	11
	構成比		12.0%	0.8%	30.7%	6.6%	45.2%	4.6%
40～64歳	人数	301	41	1	74	9	155	21
	構成比		13.6%	0.3%	24.6%	3.0%	51.5%	7.0%
65～74歳	人数	40	5	0	10	3	20	2
	構成比		12.5%	0.0%	25.0%	7.5%	50.0%	5.0%
75歳以上	人数	9	1	0	2	1	5	0
	構成比		11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	55.6%	0.0%
無回答	人数	7	0	0	2	0	4	1
	構成比		0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	57.1%	14.3%

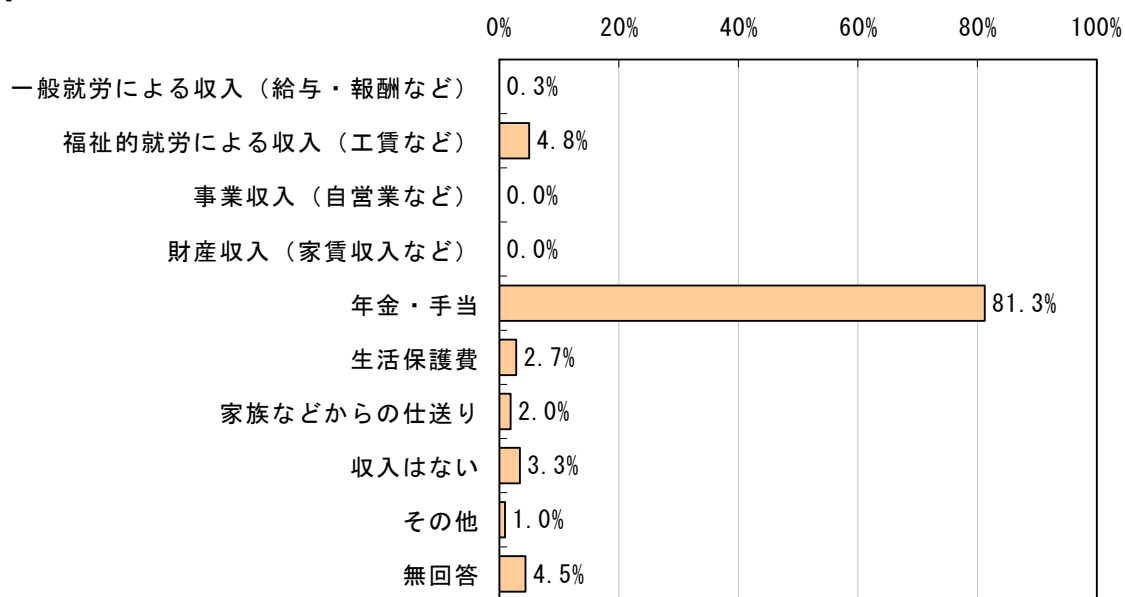
10. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 47 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

「年金・手当」が81.3%となっています。

●全体



(N=598)

●障害種別

		合計	一般就労 による収入 (給与・報酬など)	福祉的就 労による 収入(工賃など)	事業収入 (自営業 など)	財産収入 (家賃収入 など)	年金・手 当	生活保護 費	家族など からの仕 送り	収入はな い	その他	無回答
全体	人数	598	2	29	0	0	486	16	12	20	6	27
	構成比		0.3%	4.8%	0.0%	0.0%	81.3%	2.7%	2.0%	3.3%	1.0%	4.5%
身体障害	人数	245	1	6	0	0	203	12	6	7	2	8
	構成比		0.4%	2.4%	0.0%	0.0%	82.9%	4.9%	2.4%	2.9%	0.8%	3.3%
知的障害	人数	447	1	24	0	0	375	4	5	15	5	18
	構成比		0.2%	5.4%	0.0%	0.0%	83.9%	0.9%	1.1%	3.4%	1.1%	4.0%
精神障害	人数	51	0	1	0	0	38	1	2	5	3	1
	構成比		0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	74.5%	2.0%	3.9%	9.8%	5.9%	2.0%
難病	人数	25	0	2	0	0	17	2	1	2	0	1
	構成比		0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	68.0%	8.0%	4.0%	8.0%	0.0%	4.0%
無回答	人数	12	0	1	0	0	8	1	0	0	0	2
	構成比		0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	66.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%

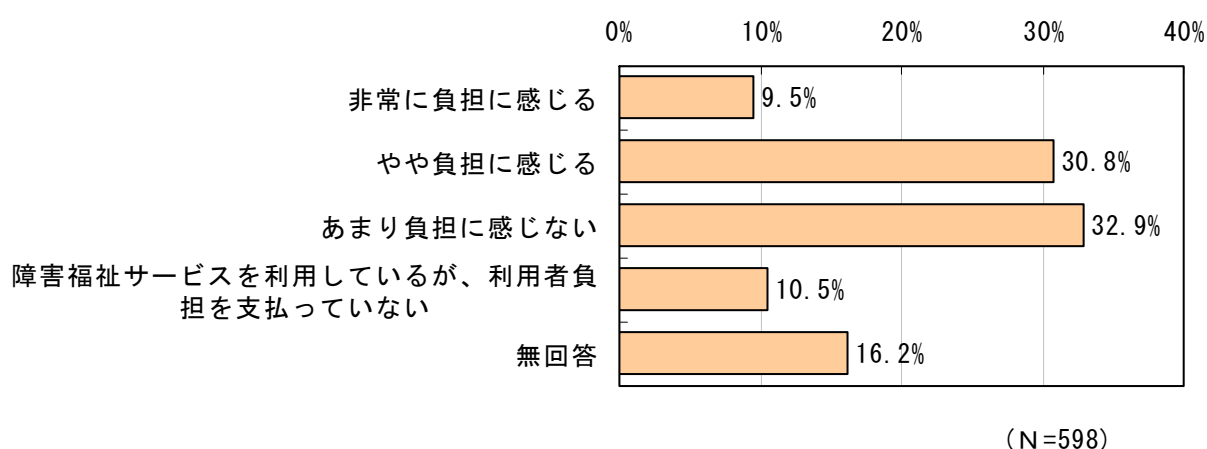
(2) 利用者負担の負担感

問 48 あなたは、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

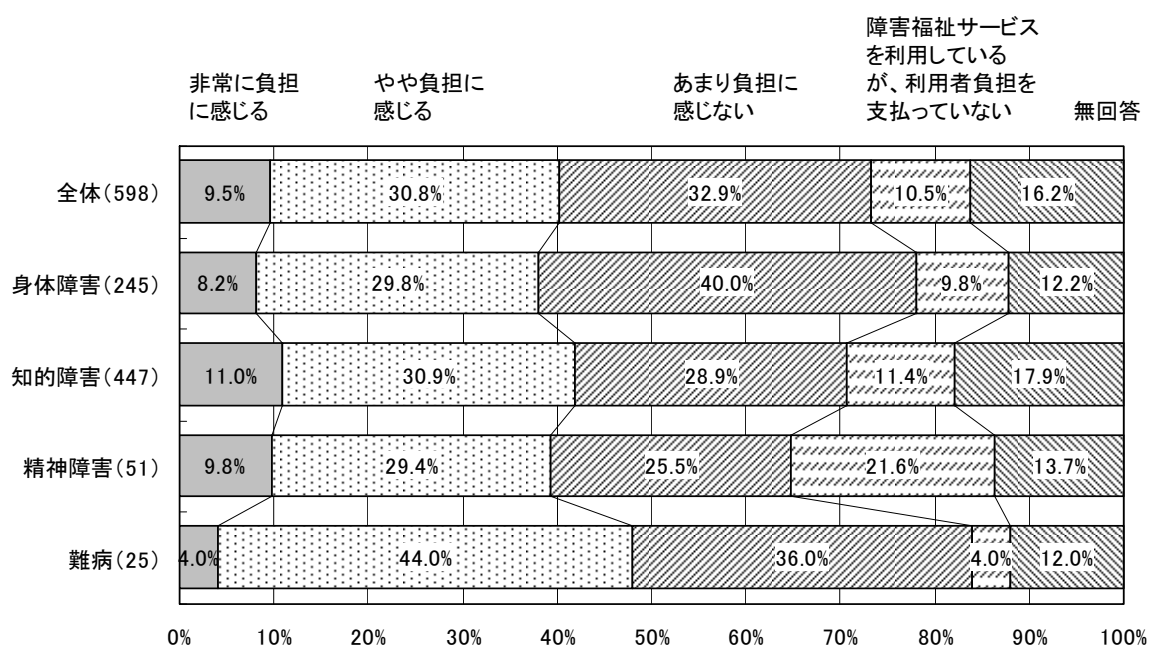
全体では、「あまり負担に感じない」が32.5%、「やや負担に感じる」が30.8%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方では「あまり負担に感じない」、知的障害、精神障害、難病の方では「やや負担に感じる」、「あまり負担に感じない」が多くなっています。

●全体



●障害種別

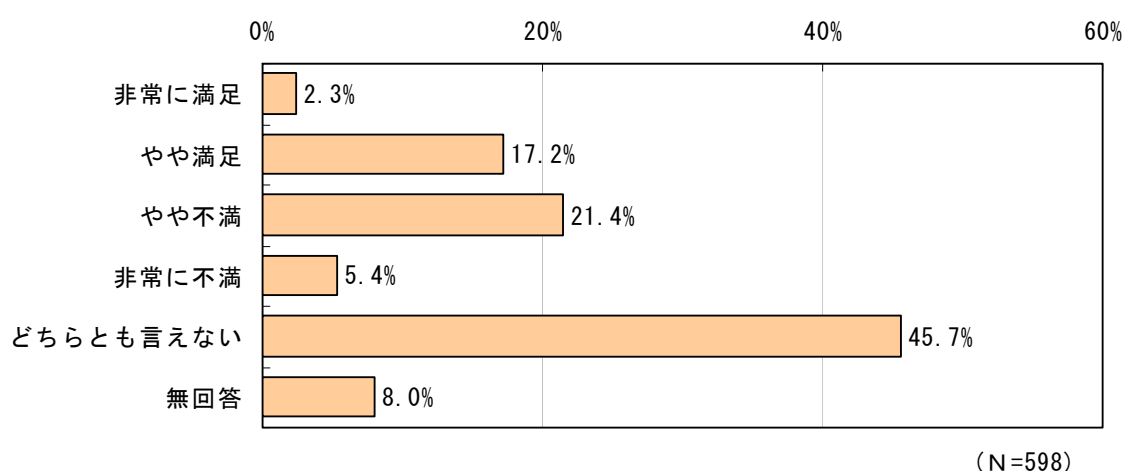


11. 市の障害者施策について

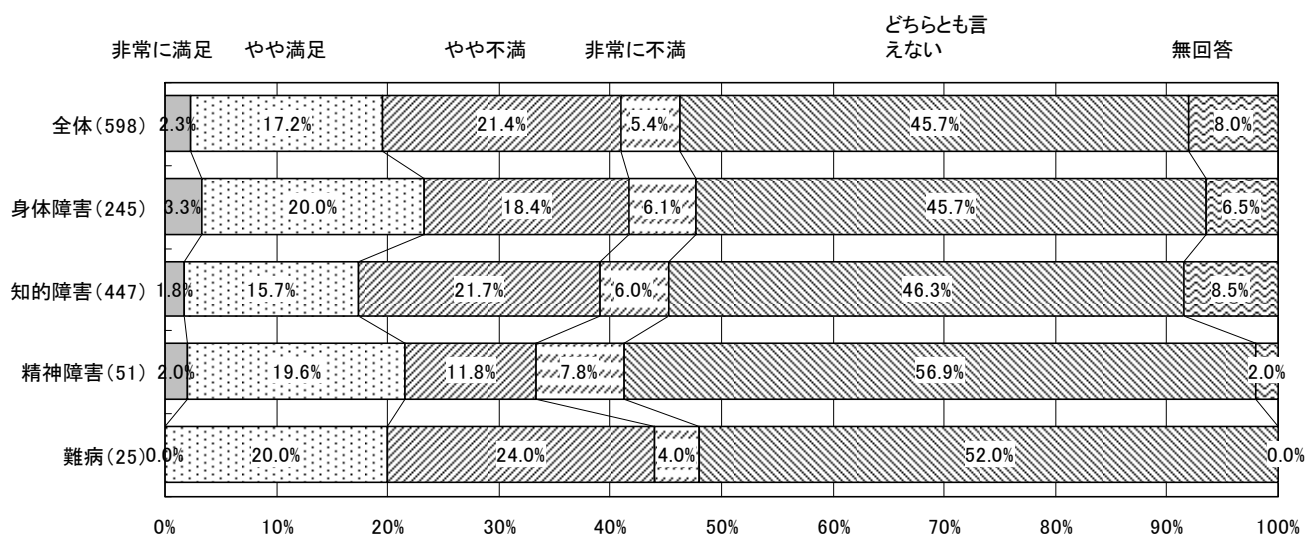
問 49 あなたは、行政の障害者施策について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「どちらとも言えない」が45.7%、「やや不満」が21.4%、「やや満足」が17.2%となっています。

●全体



●障害種別



12. 自由意見

問 50 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全体では 117 件の意見がありました。

	全体	分類 1 施設サービス	分類 2 福祉サービス	分類 3 医療・健康	分類 4 将来について
件数（件）	117	16	25	5	10
構成比（％）	100.0	13.7	21.4	4.2	8.5

	分類 5 経済事情・経済的支援	分類 6 行政・制度	その他
件数（件）	10	29	22
構成比（％）	8.5	24.7	18.8

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 分類 1 施設サービス（16件）

入所施設に対する要望、施設内での活動内容に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
外出する機会を増やしてほしい。（活動内容に関する意見：9件）	知的障害	30代	女性	本人
重度の知的障害と重度の身体障害ある人の為の余暇活動を充実させる支援。	身体障害 （内訳は未記載） 知的障害 難病	20代	男性	家族
○外出（ショッピングや外食）の機会を多くしていただきたいが現在の支援制度では別料金が発生するので外出させてあげたいのなら親がしなさいと言われます。○施設に何かお願いする場合、いつも人手が足りないと断られる。障害の重い障害者の声を聞いてほしい!!	身体障害 （肢体不自由）	30代	女性	家族
今後も現在も親が体調が悪い時でも子供の体調の悪い時に、施設から引き取りして欲しいと言われ、とても困っている。集団生活なので、例えばインフルエンザ等になった時など理解はできるが、親の方も必死で頑張るしかない。今後とても不安で安心してお願いする場、人があると助かるのですが。	知的障害	30代	女性	不明

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
閉鎖的な所なので、利用者の声が外部へとどかない。一步間違えば事故になることだらけ。責任をとりたくないから他人のせいにする。看護師がなげやりで意識のはっきりしていない人の悪口や知的の人をからかう。自分より不自由な人をからかう。	身体障害 (肢体不自由、内部機能障害)	40代	男性	不明

② 分類2 福祉サービス(25件)

外出のための支援や移動支援・同行援護に関する事、グループホームや入所施設の増設に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
外出をしたいが、介護保険が使えないので、ボランティアを使用したいが、なかなか見つからない。(外出のための支援に関する意見:3件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害 難病	30代	女性	家族
施設に入所した事によりそれまで利用していた移動支援が受けられなくなった。施設では重い症状の利用者が大勢おり、それゆえに施設での日々の生活の中で施設外への外出というのはなかなか無理(職員数も少なく支援上出かける事ができない)との事で入所生は園内のみで生活をしている。入所前の盛夏期津の質が落ち、それゆえに障害程度が後退する感も殆どの入所生にみられます。施設が悪いわけではなく、仕方ないのかと思いつつ、少しは人間らしい生活や楽しみも味わせたい。必要ではないか?とも思います。外出する事が大好きな障がい者に金銭的負担なくまた行政的縛りもなく帰省日にこれまでの様に外出支援等を受けられる様になる事を切望します。差別を感じるのはそのような人間らしい生活(余暇活動)を「入所」という事で奪われた事です。(同行援護・移動支援に関する意見:2件)	知的障害	20代	男性	家族
・福祉サービス等は充実していて有り難いと思っています。・大規模な入所施設が難しいのであれば、グループホームも良いと思いますが、10~15人程の小規模施設の建設を望みます。既存の施設の増床ができることも望みます。(グループホームに関する意見:5件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	30代	女性	家族
親が年を取ってきたら、世話が出来なくなるので、入所施設は必要です。(施設入所支援に関する意見:2件)	知的障害	30代	男性	家族

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
「入所施設 4 泊自宅 3 泊」を繰り返していますが、家族の負担が重く、家族も土・日の親戚の行事や友人つきあいも何も参加できなく、ますます孤立を深めてしまいます。本人が自閉症の為、毎週金曜に迎えに行っていると、違う日への変更が難しく、職員の負担が重くなると言われてるので、毎週金曜に迎えに行かざるをえない。「生活介護」のない土・日・祝日は「施設入所」の収入だけでは施設は受け入れたがらず、「短期入所」の人は喜んで受け入れられているように感じる。「施設入所」の単価を上げて欲しい。帰省中に他施設利用もできるような制度やヘルパー利用ができるような制度を作って欲しい。	知的障害	20 代	男性	家族
施設は通過で出ていかななくてはならないという現実の為、特に家から通所する場合いろいろ交通利用に関して問題が多いので送迎バスがあるといいと思います。	知的障害	30 代	男性	家族

③ 分類 3 医療・健康（5 件）

医療費助成の手続きに関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
医療費の支払いについて手続きが面倒です。診療後受付窓口で支払いますがのちほど心身障がい者医療費助成申請書を提出してそれから振り込まれますが医療機関の窓口ですでに支払がないならその方が大変助かります。「自立支援医療受給者証」を提出するだけで支払がないなら面倒な手続きがなく障がい者の親はいろいろな手続きで苦労しています。(医療費助成の手続きに関する意見：5 件)	知的障害	30 代	女性	家族

④ 分類 4 将来について（10 件）

将来を見据えて、介助者等がいなくなった後でも暮らしていけるような支援体制の構築や多様な居住場所の整備に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
①親が高令代（70 代）に伴い、本人の送迎が自動車ですいつまで出来るか不安です。②親亡きあと、本人の身の廻りの世話をしてもらう人が身近にいないため、介助者（施設職員以外）の育成③施設費を年金から払うので、自由に使えるお金が残らない。（介助者の高齢化や親亡きあとの介助に関する意見：5 件）	身体障害 （肢体不自由、音声・言語・そしやく機能障害）	40 代	男性	家族
外出するにも費用がかかり、買い物してもらうと、手数料がかかる。少ない障害年金で親なきあとが、非常に心配です。（経済面に関する意見：2 件）	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	40 代	女性	家族

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
重度の知的障害があるため現在入所施設で生活しており、そのことには満足しています。しかし施設が老朽化しており今後の生活が不安です。地域での生活はとても出来ません。入所施設の施設整備にご配慮下さるようお願いいたします。入所施設が「地域」なのです。なお施設周辺の地域の方々とは大変仲良くしています。(生活の場に関する意見：2件)	知的障害	20代	男性	家族
高齢になって医療が必要になった時受け入れてくれる病院がありません。障がい者施設は生活の場であり、医療行為はできません。そうなった時どこで受け入れて安定した最後の日々を過ごせるのかとても心元ないです。	知的障害	60代	男性	不明

⑤ 分類5 経済事情・経済的支援（10件）

利用者負担の軽減や通院交通費の補助に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
私は少なくとも月2回は福祉タクシーで通院しているのですが医療費は申請すれば戻ってきますがタクシー代はタクシー券を使っても年間約10万円かかってしまいます。通院しなくてはできない処置もあるため月2回は本人が行かなくてはなりません。障がい者年金が減って、タクシー代もあがるとの事。自由に使えるお金はほとんどありません。せめて通院のためのタクシー代も申請すれば戻ってくるようなサービスがあればとても助かります。施設の食費や光熱費も上がるとのこと。このままでは日常生活費まで安いものと思っているのですが買い物もなくなるとの事、安い物を探して買うこともできません。贅沢はしたいとは思っていませんがせめて2-3カ月に一度美容室へ行く事くらいはしたいです。タクシー代の年間約10万円は非常に大きいです。(通院・通所に係る交通費等に関する意見：3件)	身体障害 (肢体不自由、視覚障害) 精神障害 難病	40代	女性	本人
利用者負担の軽減(サービスに係る利用者負担に関する意見：3件)	身体障害 (肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害)	40代	男性	家族
行政がすべて負担する。障害者に負担させない。料金(交通費、入場料等)も行政が支援してほしい。福祉とは、国も含めて市も面倒を見てほしい。	身体障害 (音声・言語・そしゃく機能障害) 知的障害	40代	女性	家族

⑥ 分類6 行政・制度（29件）

情報提供に関することや手続きの簡素化に関すること、障害区分の制度に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
昔から比べると福祉サービスはずいぶんよくなったと思いますが、本当に必要な人達へは行き届いていないような気がします。就学児童に対し手厚すぎで親が介護を人任せにしている感すら感じます。小さいうちにもっと愛情をそそいで育ててほしいです。親が若く元気なうちに家族でたくさんかかわってほしい。親が年をとり身体的に介護が難しくなった時こそもっとも福祉サービスが必要です。年に一度の施設行事にも親が付き添えず外出できない人もいます。また施設の現状をもって行政関係者が把握してほしいです。特に施設職員の現状をみてもう少し給料を良くしてあげてほしいです。親が介護するのも大変なのに…、よくしていただき感謝していますがあまりにもお給料が安く転職してしまう人が多い現実があります。切に切にお願いします。（施設職員の処遇改善に関する意見：6件）	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	30代	女性	家族
色々証明書をもらいに行きますと、何の委任状とか何の証明書を持ってきてと言われて一回で用が済まず、二回三回と通います。なんとかならないでしょうか？電車代、バス代と年金暮らしでは大変です。障がい者親より（手続きに関する意見：3件）	身体障害 （肢体不自由）	50代	男性	不明
障害者も歳をとります。入所施設が必要ですが足りません。施設に出る補助金も少ないので、職員数も不足ですし、職員の給料も少ないので、定着率が少なく結局利用者達が我慢の連続。1、施設の増床。2、施設に対する補助金の増額。3、職員の増員と給料の増額。利用者への安心、安全が確保されなくなってくる。	身体障害 （肢体不自由）	30代	女性	不明
自閉症を知的障害の中で一くくりすることに無理がある。「こだわり」が強く、目に見えない、育てにくさをもっと理解して欲しい。例の障害区分の問題です。よろしくお願いいたします。	知的障害	40代	男性	家族
行政は障害者の地域での共生、差別のない県条例等の一見素晴らしい題目をとっているが、一般への理解が全然できていない。行政は十年、二十年長期の計画を立て小・中・高における障害についての教育を年間10時間以上ボランティアでなく、義務化して行すべきだ。彼等が社会人となる二十年先スウェーデンの様な福祉国家ができると考える。また、地域での生活には「社会資源の活用」が不可欠だが現状利用できるものがない。「地域へ～地域へ」と言う前に充分なる社会資源を用意するのが先ではないか。	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	20代	男性	家族

⑦ その他（２２件）

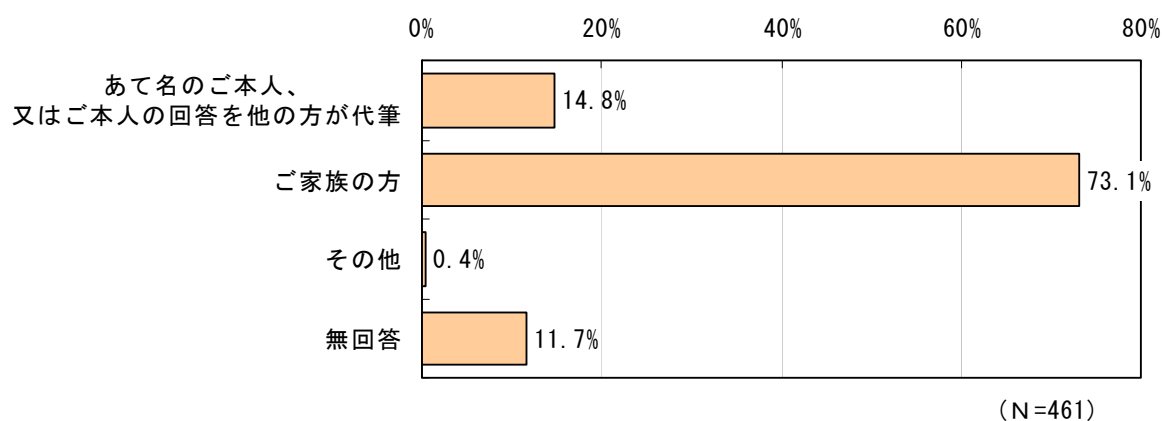
障害に対する理解に関することや、介助者の負担に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
・地域生活の充実。 ・良質な世話人の育成。 ・地域生活で きるかは、世話人しだいのところがあります。	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	30代	男性	施設職員
好きなことを出来る場所がもっとたくさんほしい。	身体障害 （肢体不自由、音声・ 言語・そしゃく機能障 害） 知的障害	30代	女性	本人
障害福祉、福祉サービスの情報や内容がよくわからないので教 えてほしい。	知的障害 精神障害	40代	男性	施設職員
障害者が安心して活動できるスポーツ施設があれば良いと思 う。	知的障害	40代	男性	家族
最新式トイレ等の使い方がわからなくて困ったりする	知的障害	30代	男性	家族
多くの人が「障害のある人が身近に居ることが当然」ととらえ られる様に、啓もうがすすめばよいと思います。慣れた住まい （それが施設であっても、自宅であっても）で昼夜を通し安心 出来る支援を受けながら、一生涯すごせる福祉サービスを受け たい。	知的障害	40代	男性	施設職員

Ⅲ 18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

「ご家族の方」が73.1%となっています。



●障害種別

		合計	あて名のご本人、 又はご本人の回答 を他の方が代筆	ご家族の方	その他	無回答
全体	人数	461	68	337	2	54
	構成比		14.8%	73.1%	0.4%	11.7%
身体障害	人数	240	41	169	1	29
	構成比		17.1%	70.4%	0.4%	12.1%
知的障害	人数	305	27	248	1	29
	構成比		8.9%	81.3%	0.3%	9.5%
精神障害	人数	7	0	5	0	2
	構成比		0.0%	71.4%	0.0%	28.6%
難病	人数	66	10	48	1	7
	構成比		15.2%	72.7%	1.5%	10.6%
無回答	人数	3	2	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	33.3%

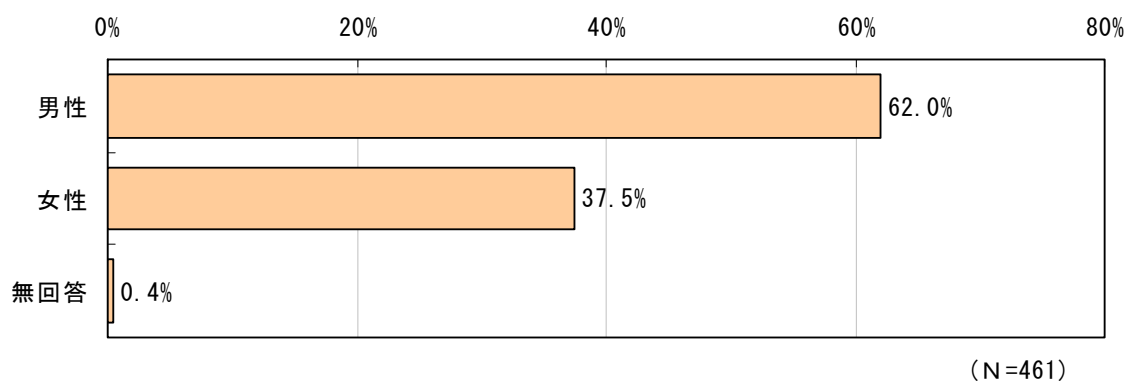
1. ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が62.0%、「女性」が37.5%となっています。

●全体



●障害種別

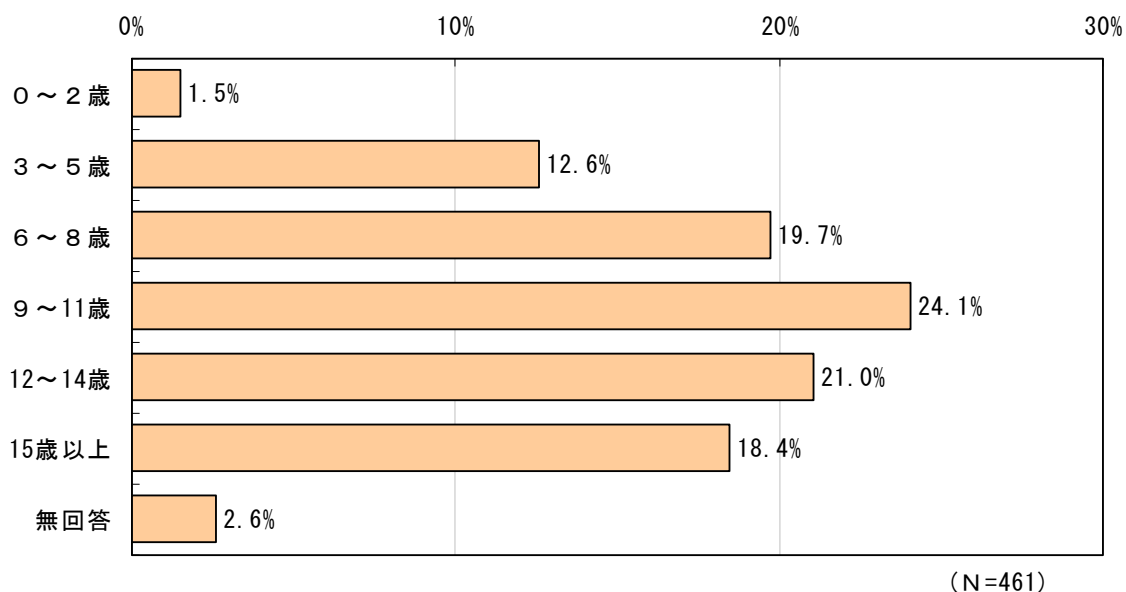
		合計	男性	女性	無回答
全体	人数	461	286	173	2
	構成比		62.0%	37.5%	0.4%
身体障害	人数	240	138	102	0
	構成比		57.5%	42.5%	0.0%
知的障害	人数	305	193	111	1
	構成比		63.3%	36.4%	0.3%
精神障害	人数	7	5	2	0
	構成比		71.4%	28.6%	0.0%
難病	人数	66	38	28	0
	構成比		57.6%	42.4%	0.0%
無回答	人数	3	1	1	1
	構成比		33.3%	33.3%	33.3%

(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

「9～11歳」が24.1%、「12～14歳」が21.0%、「6～8歳」が19.7%となっています。

●全体



●障害種別

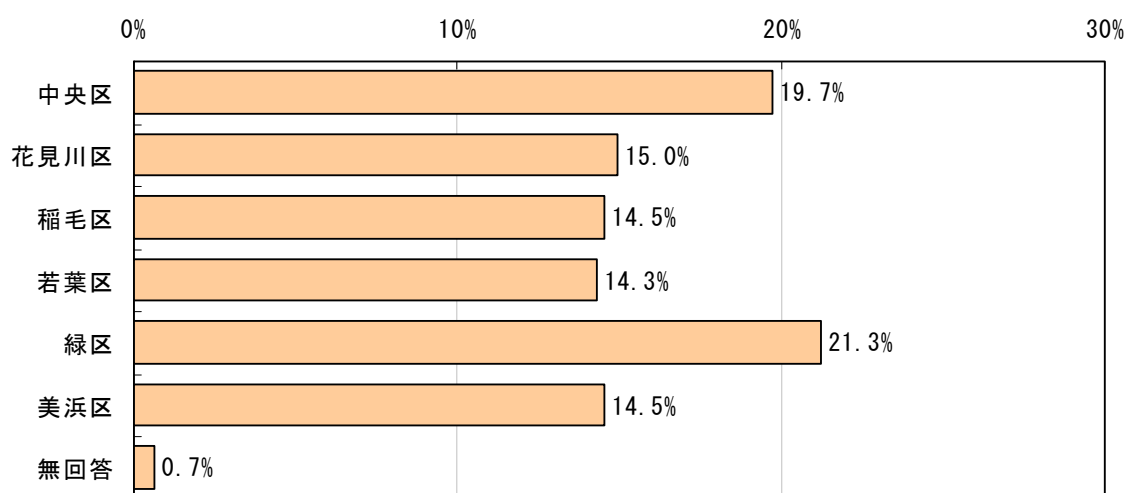
		合計	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15歳以上	無回答
全体	人数	461	7	58	91	111	97	85	12
	構成比		1.5%	12.6%	19.7%	24.1%	21.0%	18.4%	2.6%
身体障害	人数	240	4	34	51	57	49	36	9
	構成比		1.7%	14.2%	21.3%	23.8%	20.4%	15.0%	3.8%
知的障害	人数	305	5	33	64	69	63	64	7
	構成比		1.6%	10.8%	21.0%	22.6%	20.7%	21.0%	2.3%
精神障害	人数	7	0	1	0	1	2	3	0
	構成比		0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%
難病	人数	66	2	7	10	19	17	10	1
	構成比		3.0%	10.6%	15.2%	28.8%	25.8%	15.2%	1.5%
無回答	人数	3	0	0	0	1	1	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%

(3) お住まいの区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「緑区」が21.3%、「中央区」が19.7%となっています。市全体の分布に比較的近い傾向となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

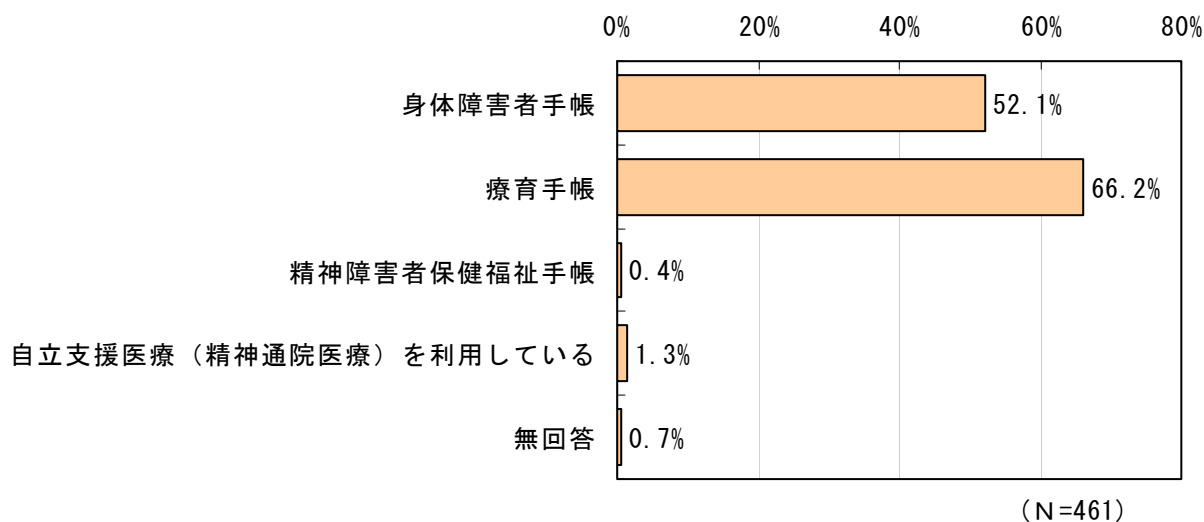
		合計	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全体	人数	461	91	69	67	66	98	67	3
	構成比		19.7%	15.0%	14.5%	14.3%	21.3%	14.5%	0.7%
身体障害	人数	240	43	34	35	33	58	35	2
	構成比		17.9%	14.2%	14.6%	13.8%	24.2%	14.6%	0.8%
知的障害	人数	305	63	51	43	41	63	43	1
	構成比		20.7%	16.7%	14.1%	13.4%	20.7%	14.1%	0.3%
精神障害	人数	7	1	1	3	0	1	1	0
	構成比		14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
難病	人数	66	9	8	9	10	18	12	0
	構成比		13.6%	12.1%	13.6%	15.2%	27.3%	18.2%	0.0%
無回答	人数	3	1	0	0	0	0	1	1
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%

(4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

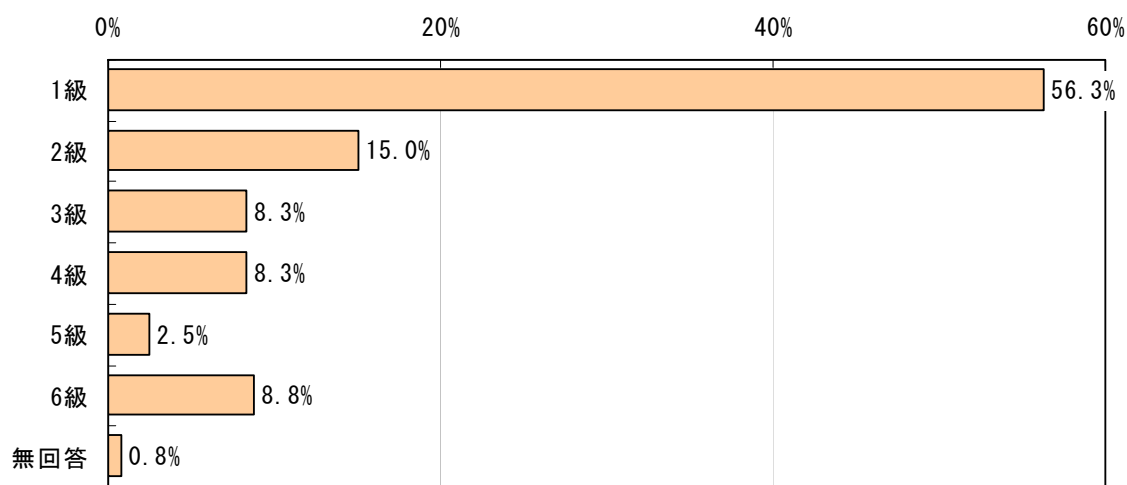
「療育手帳」が66.2%、「身体障害者手帳」が52.1%となっています。

●全体



①身体障害者手帳の等級

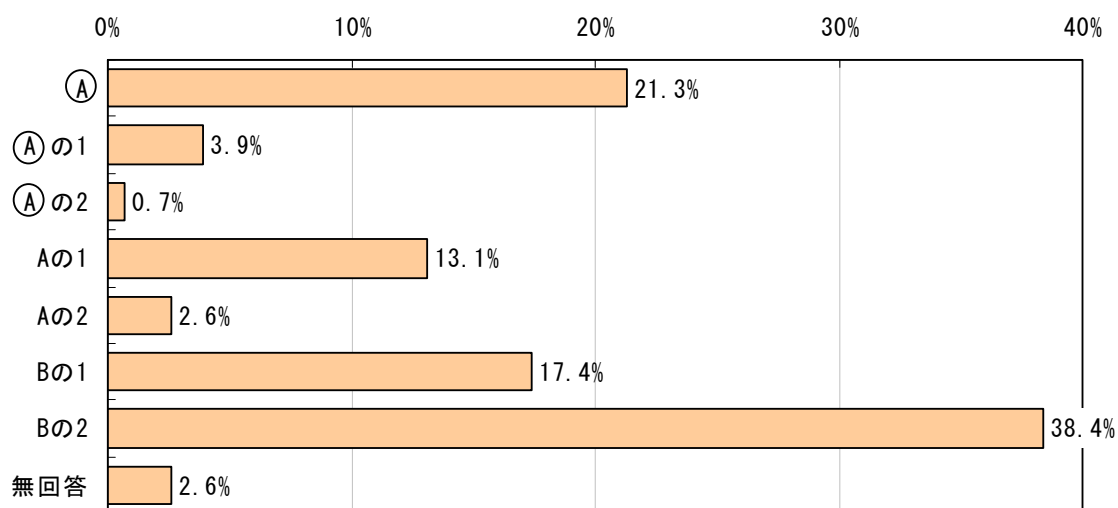
身体障害者手帳の等級では、「1 級」が 56.3%、「2 級」が 15.0%となっています。



(N=240)

②療育手帳の程度

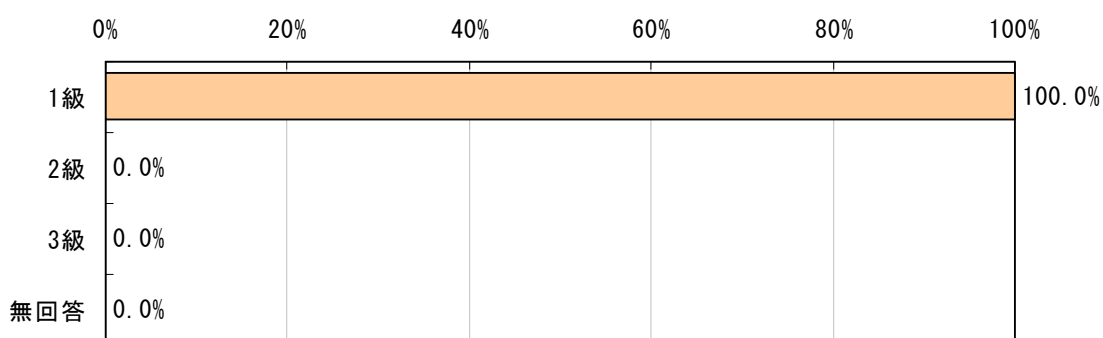
療育手帳の程度では、「B の 2」が 38.4%、「㊤」が 21.3%となっています。



(N=305)

③精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は 2 名でともに「1 級」となっています。



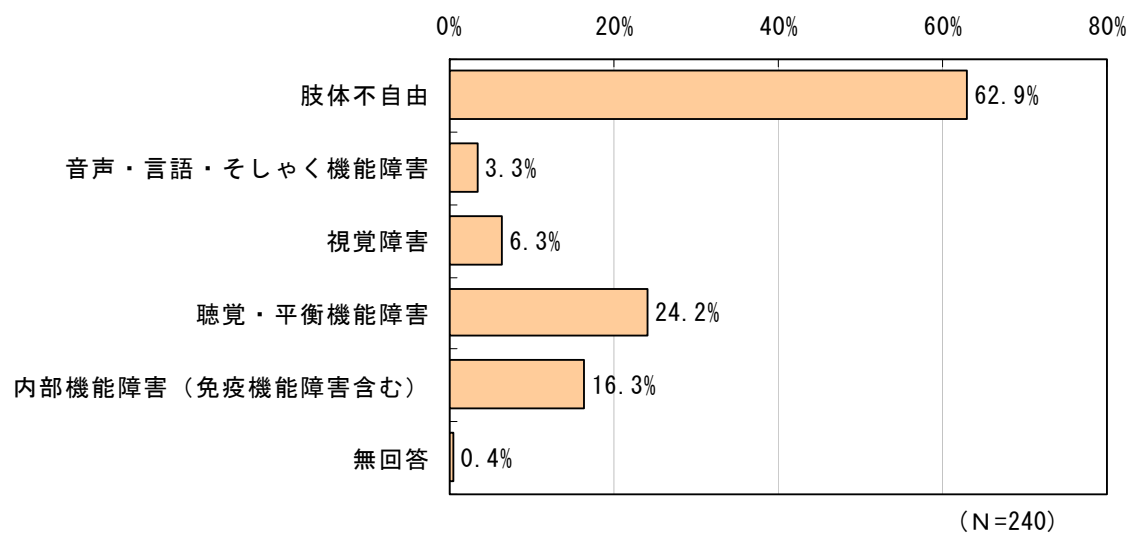
(N=2)

(5) 身体障害の部位

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が62.9%、「聴覚・平衡機能障害」が24.2%となっています。

●全体



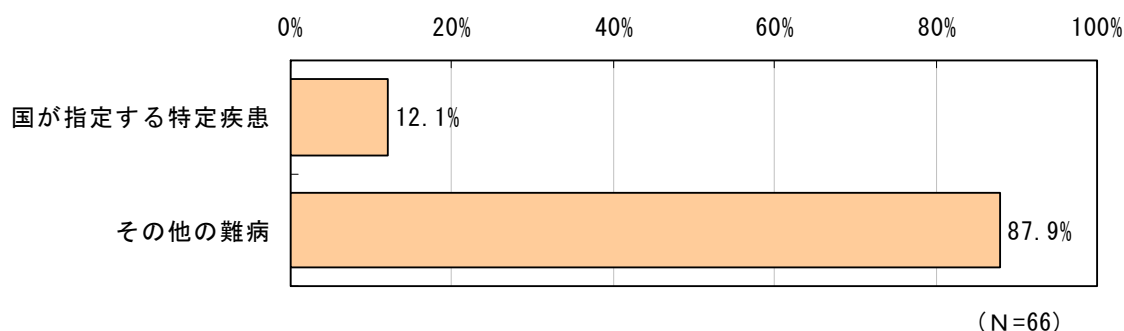
(6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

(難病に罹患している方のみで集計、内訳は複数回答)

「国が指定する特定疾患」が87.9%となっています。

●全体



●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数	病名	人数
ベーチェット病	0	パーキンソン病関連疾患	0	肺動脈性肺高血圧症	1
多発性硬化症	0	アミロイドーシス	0	神経線維腫症	0
重症筋無力症	1	後縦靱帯骨化症	0	亜急性硬化性全脳炎	0
全身性エリテマトーデス	0	ハンチントン病	0	バッド・キアリ症候群	0
スモン	0	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	0	慢性血栓性肺高血圧症	0
再生不良性貧血	0	ウェゲナー肉芽腫症	0	ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病含む)	1
サルコイドーシス	0	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	0	副腎白質ジストロフィー	2
筋萎縮性側索硬化症	0	多系統萎縮症	0	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	0	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1	脊髄性筋萎縮症	1
特発性血小板減少性紫斑病	0	膿疱性乾癬	0	球脊髄性筋萎縮症	0
結節性動脈周囲炎	0	広範脊柱管狭窄症	0	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0
潰瘍性大腸炎	0	原発性胆汁性肝硬変	0	肥大型心筋症	0
大動脈炎症候群	0	重症急性膵炎	0	拘束型心筋症	0
ピュルガー病	0	特発性大腿骨頭壊死症	0	ミトコンドリア病	0
天疱瘡	0	混合性結合組織病	0	リンパ管筋腫症(LAM)	0
脊髄小脳変性症	0	原発性免疫不全症候群	0	重症多型滲出性紅斑(急性期)	0
クローン病	0	特発性間質性肺炎	0	黄色靱帯骨化症	0
難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	網膜色素変性症	0	間脳下垂体機能障害	1
悪性関節リウマチ	0	プリオン病	0	計(実人数)	8

●その他の難病の内訳(3人以上のもののみ掲載しています)

病名	人数
てんかん	3
二分脊椎	3

2. 医療機関への受診状況について

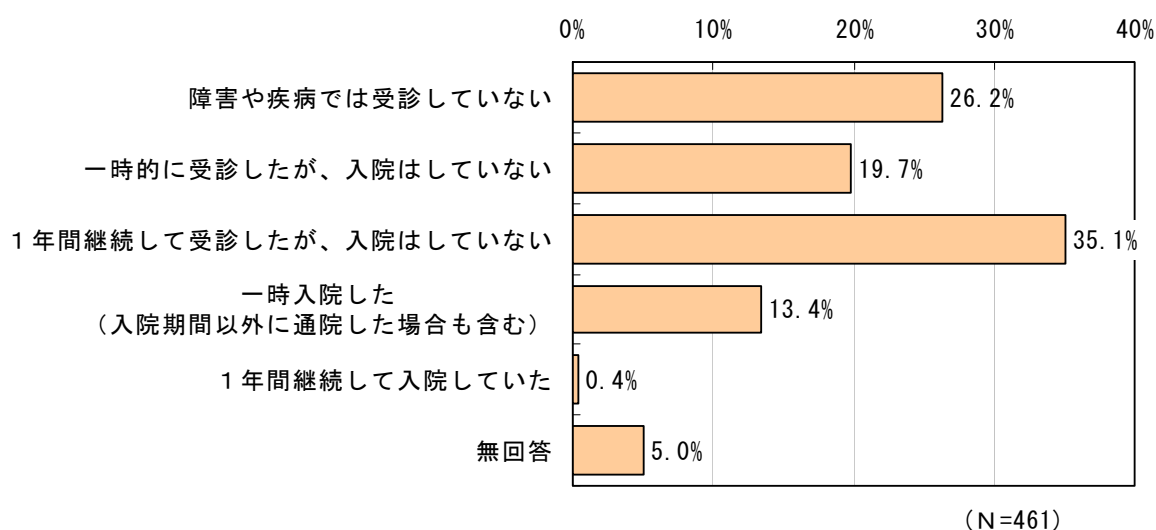
(1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

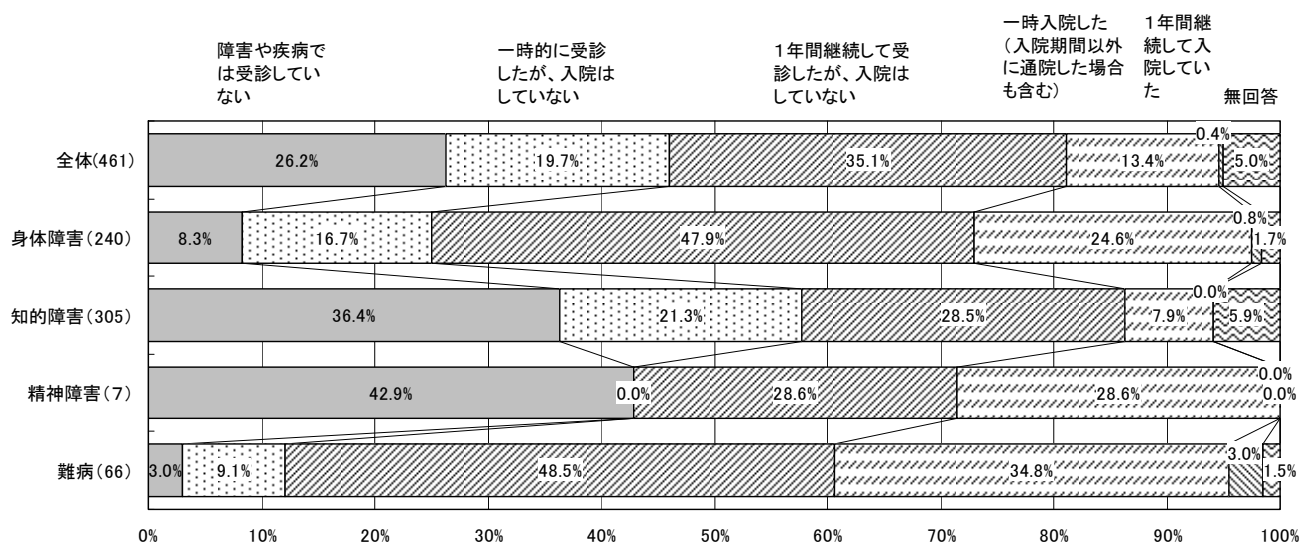
全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が35.1%、「障害や疾病では受診していない」が26.2%となっています。

障害種別で見ると、知的障害のある方や精神障害のある方では「障害や疾病では受診していない」が多くなっています。

●全体



●障害種別

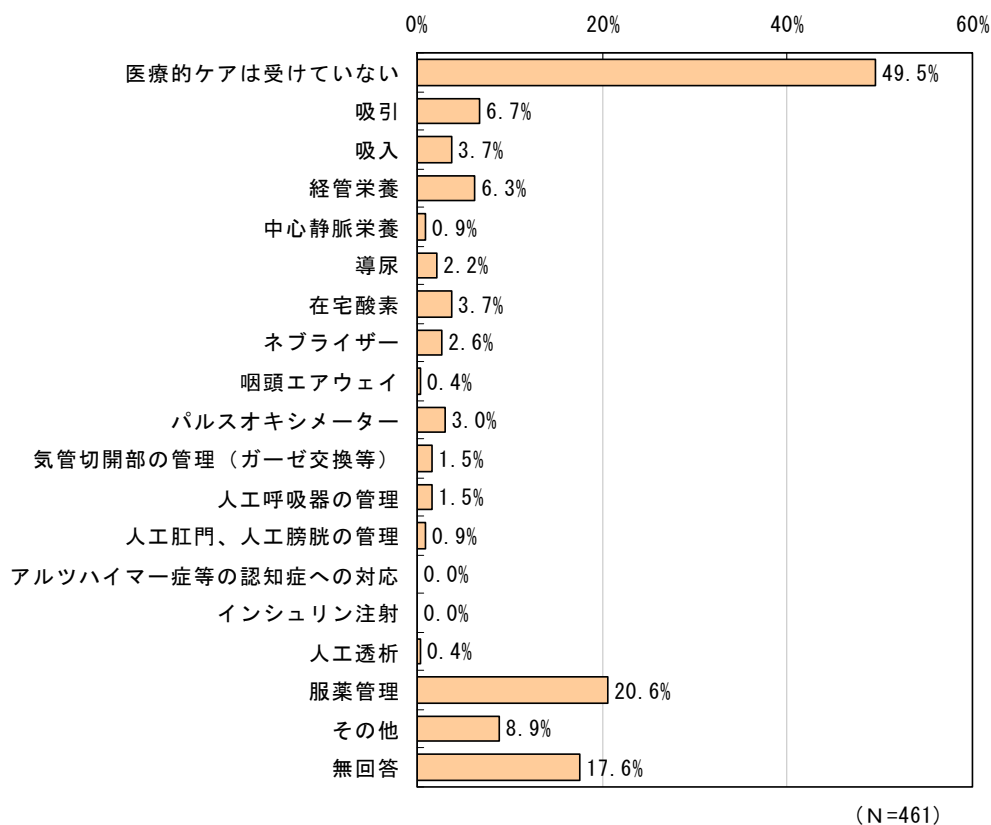


(2) 医療的ケアの種類

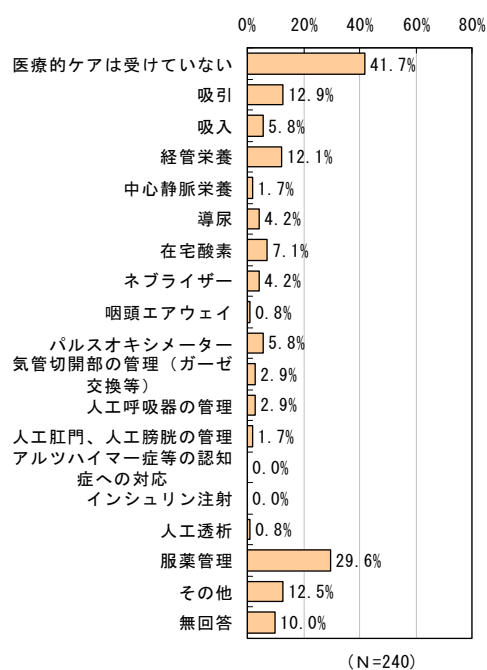
問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

「医療的ケアは受けていない」が49.5%、「服薬管理」が20.6%となっています。

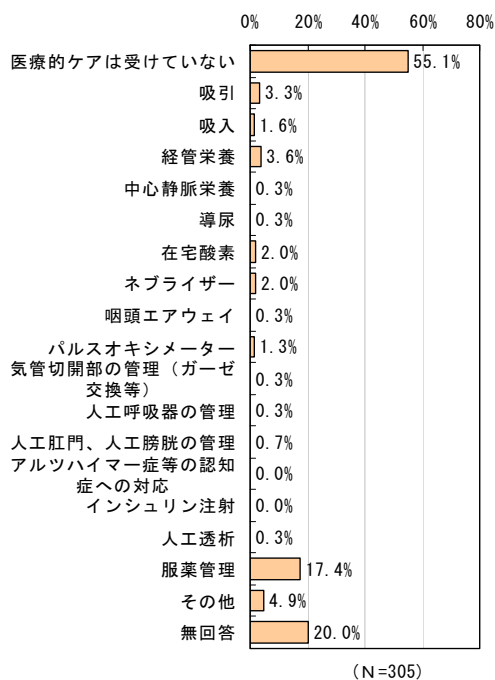
●全体



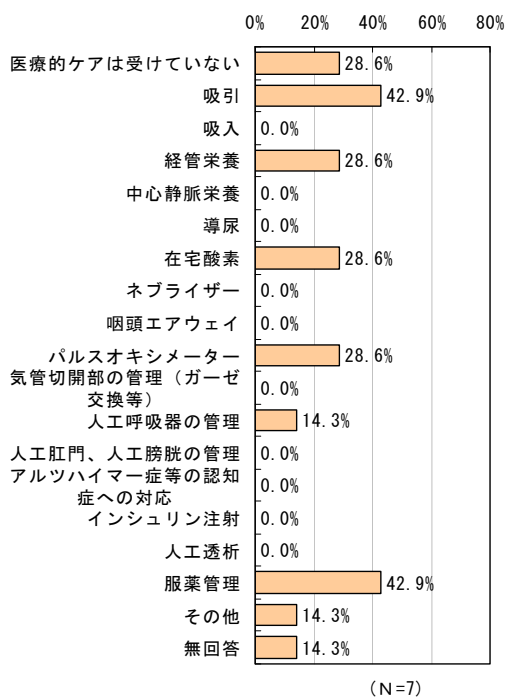
●身体障害



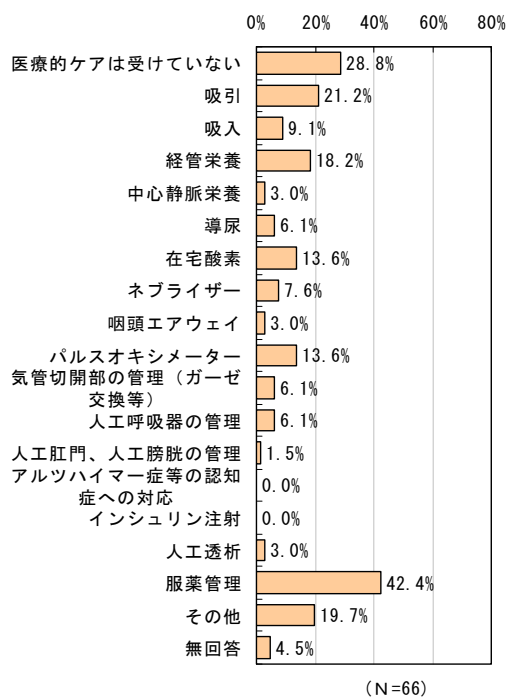
●知的障害



●精神障害



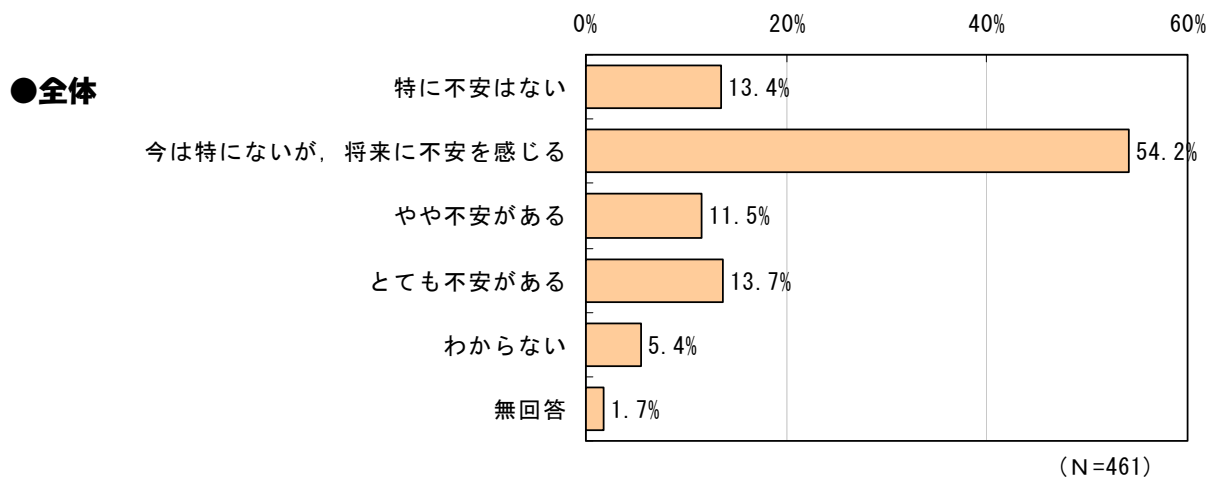
●難病



(3) 医療費に対する不安

問9 あなた（や保護者）は「医療費」について、不安はありますか。（○は1つ）

全体では、「今は特にないが、将来に不安を感じる」が54.2%、「とても不安がある」が13.7%、「特に不安はない」が13.4%となっています。



●障害種別

		合計	特に不安はない	今は特にないが、将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	461	62	250	53	63	25	8
	構成比		13.4%	54.2%	11.5%	13.7%	5.4%	1.7%
身体障害	人数	240	20	148	28	34	9	1
	構成比		8.3%	61.7%	11.7%	14.2%	3.8%	0.4%
知的障害	人数	305	48	152	36	44	18	7
	構成比		15.7%	49.8%	11.8%	14.4%	5.9%	2.3%
精神障害	人数	7	1	4	1	1	0	0
	構成比		14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	3	46	6	10	1	0
	構成比		4.5%	69.7%	9.1%	15.2%	1.5%	0.0%
無回答	人数	3	1	1	0	0	0	1
	構成比		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

●年齢別

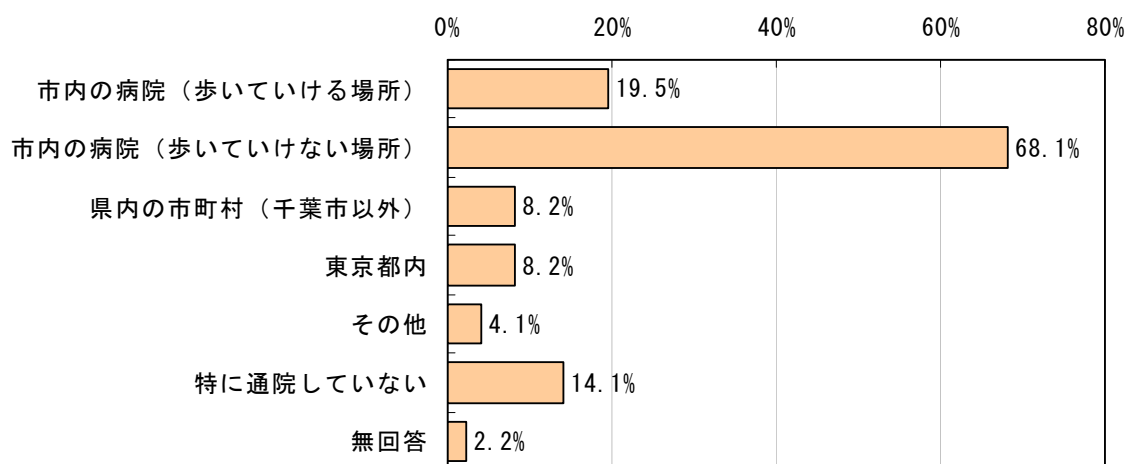
		合計	特に不安はない	今は特にないが、将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	461	62	250	53	63	25	8
	構成比		13.4%	54.2%	11.5%	13.7%	5.4%	1.7%
0～2歳	人数	7	0	5	2	0	0	0
	構成比		0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5歳	人数	58	7	37	4	7	2	1
	構成比		12.1%	63.8%	6.9%	12.1%	3.4%	1.7%
6～8歳	人数	91	11	54	9	16	1	0
	構成比		12.1%	59.3%	9.9%	17.6%	1.1%	0.0%
9～11歳	人数	111	13	58	14	15	8	3
	構成比		11.7%	52.3%	12.6%	13.5%	7.2%	2.7%
12～14歳	人数	97	15	53	8	12	8	1
	構成比		15.5%	54.6%	8.2%	12.4%	8.2%	1.0%
15歳以上	人数	85	14	39	13	11	6	2
	構成比		16.5%	45.9%	15.3%	12.9%	7.1%	2.4%
無回答	人数	12	2	4	3	2	0	1
	構成比		16.7%	33.3%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%

(4) 通院している病院

問 10 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。
(〇はいくつでも)

「市内の病院（歩いていけない場所）」が68.1%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

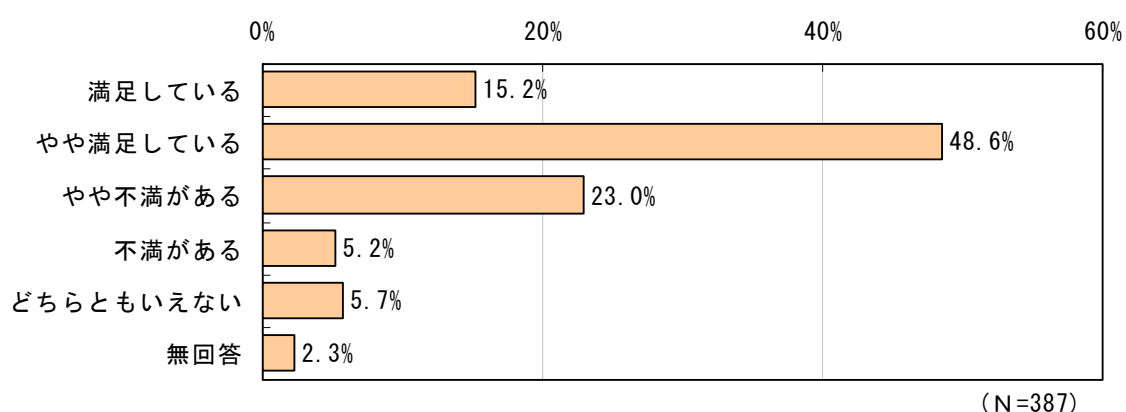
		合計	市内の病院 (歩いていける場所)	市内の病院 (歩いていけない場所)	県内の市町村 (千葉市以外)	東京都内	その他	特に通院 していない	無回答
全体	人数	461	90	314	38	38	19	65	10
	構成比		19.5%	68.1%	8.2%	8.2%	4.1%	14.1%	2.2%
身体障害	人数	240	27	200	22	32	18	6	0
	構成比		11.3%	83.3%	9.2%	13.3%	7.5%	2.5%	0.0%
知的障害	人数	305	72	194	25	11	7	60	9
	構成比		23.6%	63.6%	8.2%	3.6%	2.3%	19.7%	3.0%
精神障害	人数	7	0	5	1	1	0	1	0
	構成比		0.0%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
難病	人数	66	4	58	6	4	8	0	0
	構成比		6.1%	87.9%	9.1%	6.1%	12.1%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	0	1	0	0	0	1	1
	構成比		0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%

(5) 医療機関の満足度

問 11 【問 10 で通院している（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。（○は 1 つ）

「やや満足している」が 48.6%、「やや不満がある」が 23.0%、「満足している」が 15.2% となっています。

●全体



●障害種別

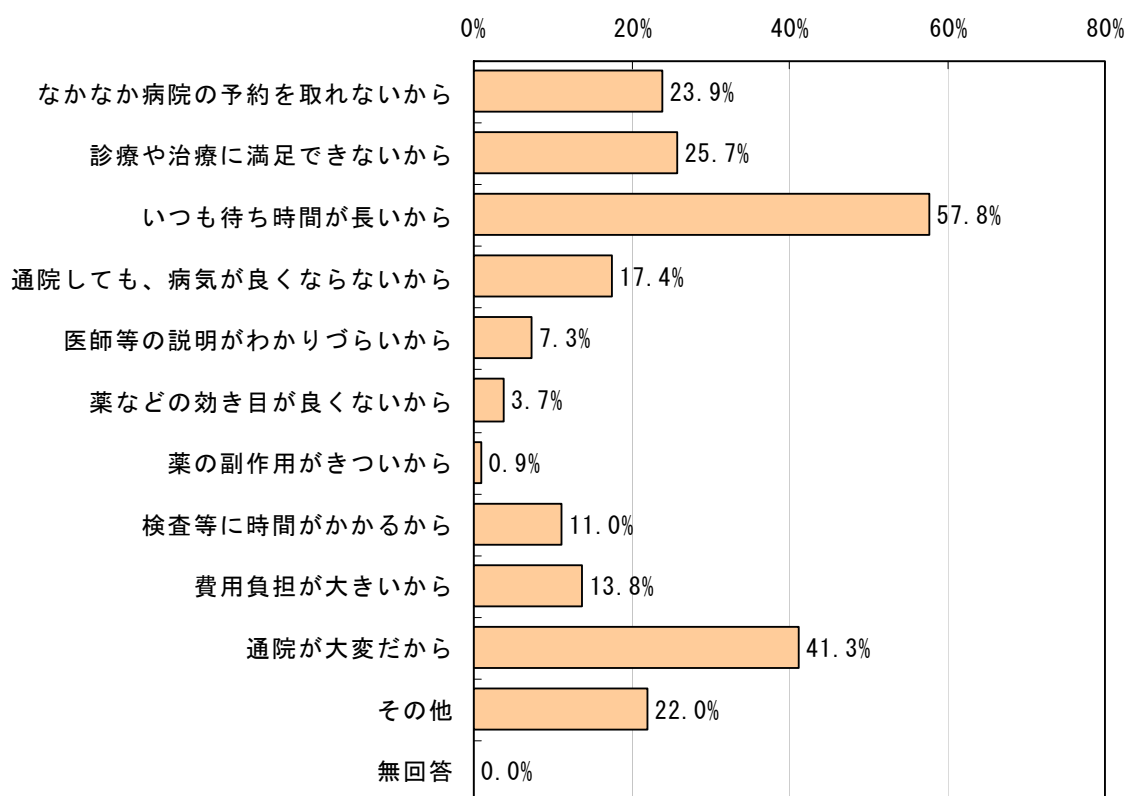
		合計	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	どちらともいえない	無回答
全体	人数	387	59	188	89	20	22	9
	構成比		15.2%	48.6%	23.0%	5.2%	5.7%	2.3%
身体障害	人数	234	38	122	48	9	13	4
	構成比		16.2%	52.1%	20.5%	3.8%	5.6%	1.7%
知的障害	人数	237	32	108	60	17	13	7
	構成比		13.5%	45.6%	25.3%	7.2%	5.5%	3.0%
精神障害	人数	6	1	3	2	0	0	0
	構成比		16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	5	33	14	7	5	2
	構成比		7.6%	50.0%	21.2%	10.6%	7.6%	3.0%
無回答	人数	1	1	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) 医療機関の不満の理由

問 12 【問(11 で医療機関に不満がある（3、4番）に○をつけた方におたずねします。】
不満の理由は何ですか。（○はいくつでも）

「いつも待ち時間が長いから」が57.8%、「通院が大変だから」が41.3%となっています。

●全体



(N=109)

●障害種別

		合計	なかなか病院の予約を取れないから	診療や治療に満足できないから	いつも待ち時間が長いから	通院しても、病気が良くならないから	医師等の説明がわかりづらいから	薬などの効き目が良くないから	薬の副作用がきついから	検査等に時間がかかるから	費用負担が大きいから	通院が大変だから	その他	無回答
全体	人数	109	26	28	63	19	8	4	1	12	15	45	24	0
	構成比		23.9%	25.7%	57.8%	17.4%	7.3%	3.7%	0.9%	11.0%	13.8%	41.3%	22.0%	0.0%
身体障害	人数	57	15	14	32	9	4	2	0	7	8	28	14	0
	構成比		26.3%	24.6%	56.1%	15.8%	7.0%	3.5%	0.0%	12.3%	14.0%	49.1%	24.6%	0.0%
知的障害	人数	77	18	23	48	13	8	4	1	10	11	30	17	0
	構成比		23.4%	29.9%	62.3%	16.9%	10.4%	5.2%	1.3%	13.0%	14.3%	39.0%	22.1%	0.0%
精神障害	人数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	21	5	9	12	5	1	1	0	1	0	5	4	0
	構成比		23.8%	42.9%	57.1%	23.8%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	23.8%	19.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

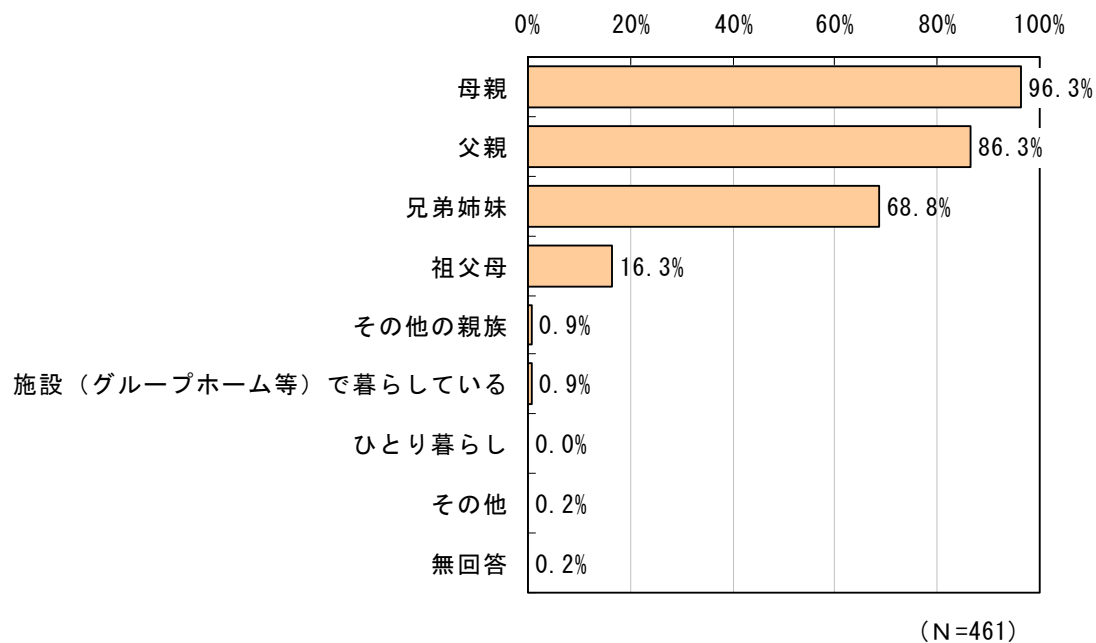
3. ご家族や介助者について

(1) 同居者

問 13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」が96.3%、「父親」が86.3%、「兄弟姉妹」が68.8%となっています。

●全体



●障害種別

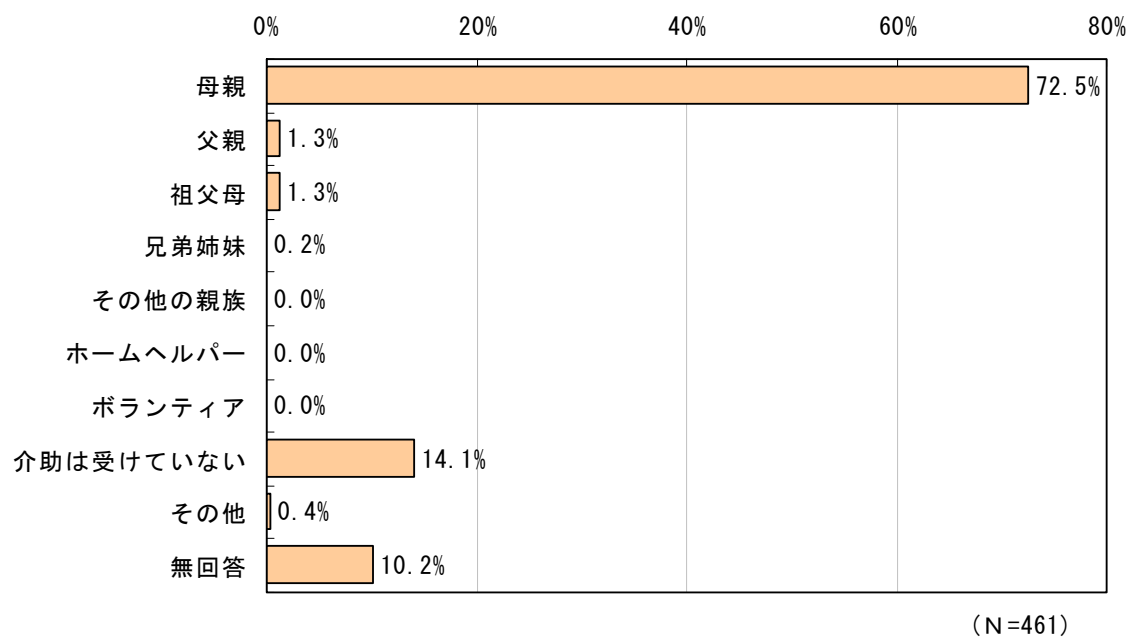
		合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全体	人数	461	444	398	317	75	4	4	0	1	1
	構成比		96.3%	86.3%	68.8%	16.3%	0.9%	0.9%	0.0%	0.2%	0.2%
身体障害	人数	240	234	216	166	37	1	1	0	0	0
	構成比		97.5%	90.0%	69.2%	15.4%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障害	人数	305	294	261	211	50	3	3	0	1	0
	構成比		96.4%	85.6%	69.2%	16.4%	1.0%	1.0%	0.0%	0.3%	0.0%
精神障害	人数	7	7	7	5	3	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	71.4%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	62	57	43	12	0	1	0	0	0
	構成比		93.9%	86.4%	65.2%	18.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1
	構成比		66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

(2) 介助の必要性・主な介助者

問 14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

全体では、「介助は受けていない」が14.1%です。また、「母親」の介助を受けているのは72.5%です。

●全体



●障害種別

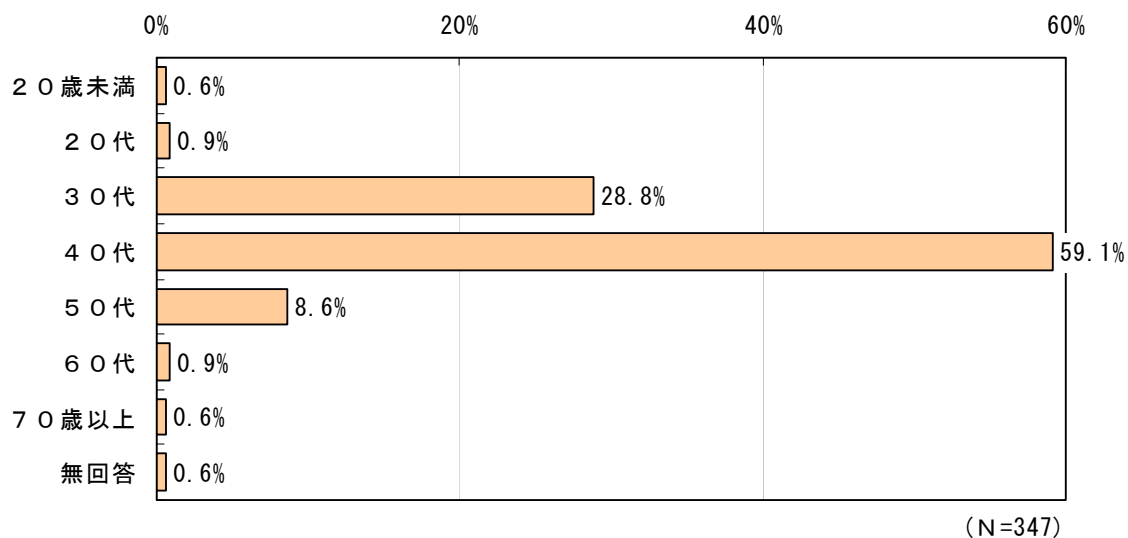
		合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全体	人数	461	334	6	1	6	0	0	0	65	2	47
	構成比		72.5%	1.3%	0.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.1%	0.4%	10.2%
身体障害	人数	240	189	4	0	2	0	0	0	24	0	21
	構成比		78.8%	1.7%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	8.8%
知的障害	人数	305	223	3	1	4	0	0	0	43	2	29
	構成比		73.1%	1.0%	0.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.1%	0.7%	9.5%
精神障害	人数	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	50	1	0	3	0	0	0	5	0	7
	構成比		75.8%	1.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%	0.0%	10.6%
無回答	人数	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

(3) 主な介助者の年齢

問 15 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５番）に○をつけた方におたずねします。
主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は１つ）

「40代」が59.1%、「30代」が28.8%となっています。

●全体



●障害種別

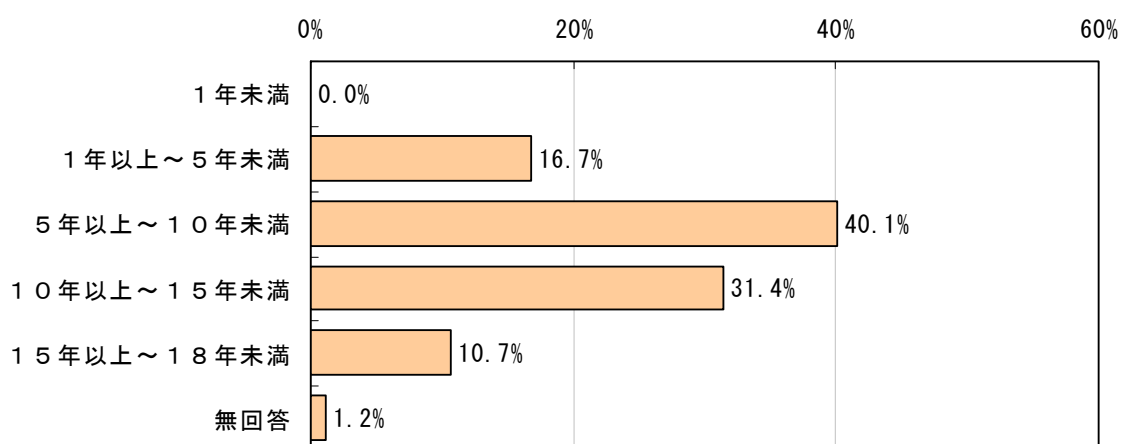
		合計	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全体	人数	347	2	3	100	205	30	3	2	2
	構成比		0.6%	0.9%	28.8%	59.1%	8.6%	0.9%	0.6%	0.6%
身体障害	人数	195	0	1	61	116	15	0	1	1
	構成比		0.0%	0.5%	31.3%	59.5%	7.7%	0.0%	0.5%	0.5%
知的障害	人数	231	2	3	61	141	19	3	1	1
	構成比		0.9%	1.3%	26.4%	61.0%	8.2%	1.3%	0.4%	0.4%
精神障害	人数	7	0	0	0	5	2	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	54	0	0	15	31	6	0	1	1
	構成比		0.0%	0.0%	27.8%	57.4%	11.1%	0.0%	1.9%	1.9%
無回答	人数	2	0	0	1	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) 主な介助者の介助継続年数

問 16 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

「５年以上～１０年未満」が４０.１％、「１０年以上～１５年未満」が３１.４％となっています。

●全体



(N=347)

●障害種別

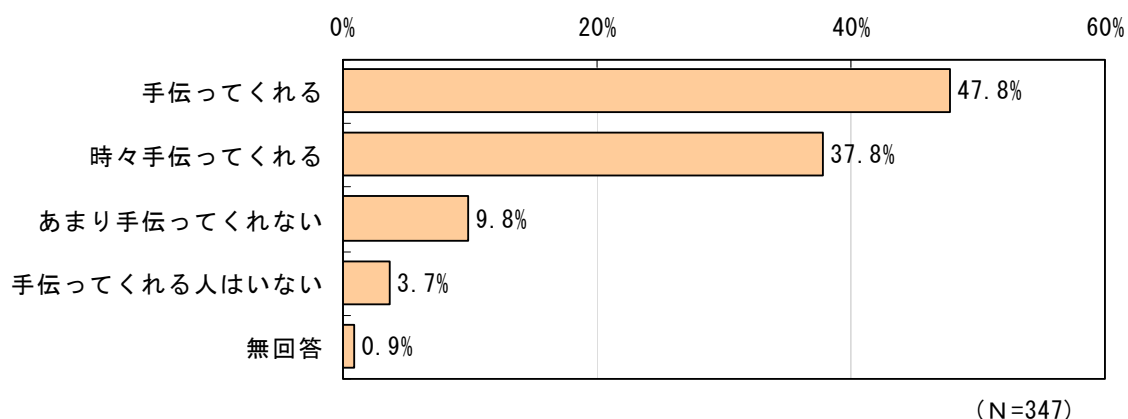
		合計	１年未満	１年以上 ～５年未 満	５年以上 ～１０年 未満	１０年以 上～１５ 年未満	１５年以 上～１８ 年未満	無回答
全体	人数	347	0	58	139	109	37	4
	構成比		0.0%	16.7%	40.1%	31.4%	10.7%	1.2%
身体障害	人数	195	0	37	81	55	20	2
	構成比		0.0%	19.0%	41.5%	28.2%	10.3%	1.0%
知的障害	人数	231	0	28	95	78	28	2
	構成比		0.0%	12.1%	41.1%	33.8%	12.1%	0.9%
精神障害	人数	7	0	0	3	3	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
難病	人数	54	0	10	23	18	3	0
	構成比		0.0%	18.5%	42.6%	33.3%	5.6%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	1	0	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(5) 主な介助者以外の手伝いの有無

問 17 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は１つ）

「手伝ってくれる」が 47.8%、「時々手伝ってくれる」が 37.8%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	手伝ってくれる	時々手伝ってくれる	あまり手伝ってくれない	手伝ってくれる人はいない	無回答
全体	人数	347	166	131	34	13	3
	構成比		47.8%	37.8%	9.8%	3.7%	0.9%
身体障害	人数	195	94	70	21	8	2
	構成比		48.2%	35.9%	10.8%	4.1%	1.0%
知的障害	人数	231	106	97	20	7	1
	構成比		45.9%	42.0%	8.7%	3.0%	0.4%
精神障害	人数	7	2	4	1	0	0
	構成比		28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	54	24	21	5	4	0
	構成比		44.4%	38.9%	9.3%	7.4%	0.0%
無回答	人数	2	1	0	1	0	0
	構成比		50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

(6) 主な介護者が困っていること

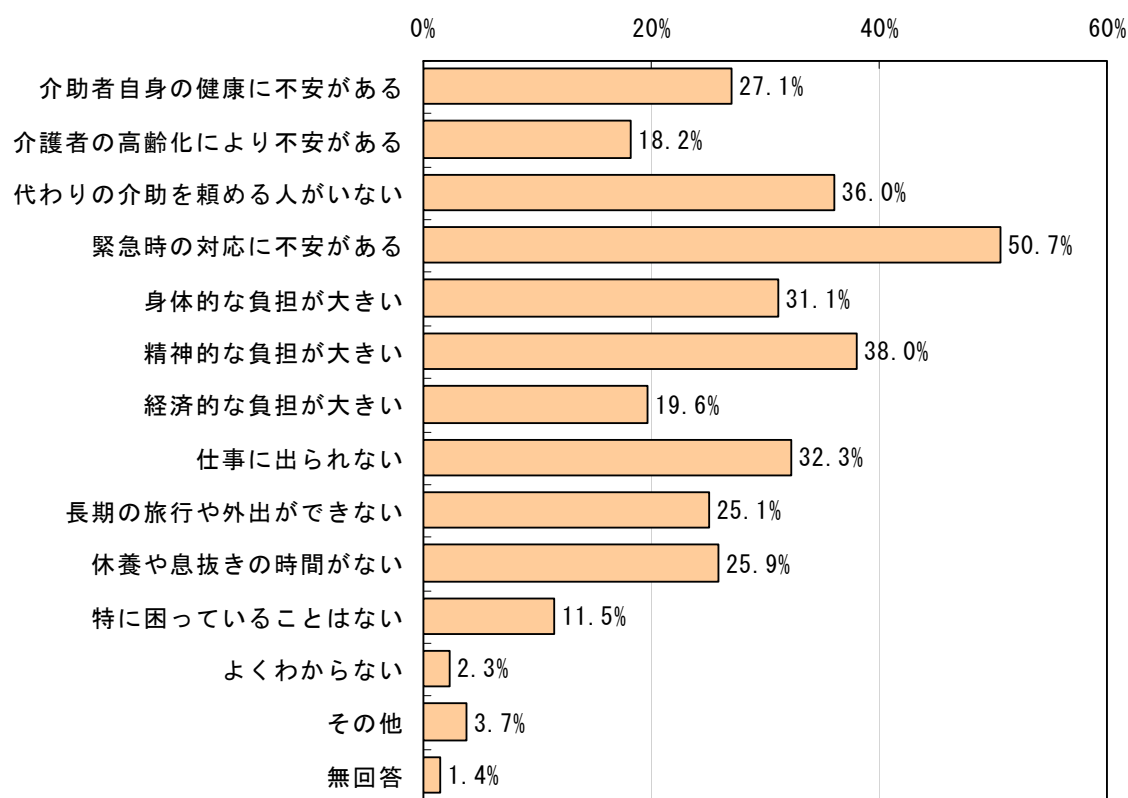
問 18 【問 14 で主な介護者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
 主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

全体では、「緊急時の対応に不安がある」が 50.7%、「精神的な負担が大きい」が 38.0%、「代わりの介護を頼める人がいない」が 36.0%となっています。

障害種別で見ると、「緊急時の対応に不安がある」以外において、身体障害のある方や難病のある方では「身体的な負担が大きい」、知的障害のある方では「精神的な負担が大きい」が多くなっています。

介護者の年齢別にみると、年齢の高い介護者への場合、健康面や高齢化に不安を感じる方の割合がやや高くなっています。

●全体



(N=347)

●障害種別

		合計	介助者自身の健康に不安がある	介護者の高齢化により不安がある	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出不来ない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	人数	347	94	63	125	176	108	132	68	112	87	90	40	8	13	5
	構成比		27.1%	18.2%	36.0%	50.7%	31.1%	38.0%	19.6%	32.3%	25.1%	25.9%	11.5%	2.3%	3.7%	1.4%
身体障害	人数	195	61	34	69	99	77	67	36	75	53	55	19	1	7	4
	構成比		31.3%	17.4%	35.4%	50.8%	39.5%	34.4%	18.5%	38.5%	27.2%	28.2%	9.7%	0.5%	3.6%	2.1%
知的障害	人数	231	66	46	89	121	69	97	46	72	61	59	27	7	9	2
	構成比		28.6%	19.9%	38.5%	52.4%	29.9%	42.0%	19.9%	31.2%	26.4%	25.5%	11.7%	3.0%	3.9%	0.9%
精神障害	人数	7	2	3	0	2	4	3	1	2	2	2	1	0	0	0
	構成比		28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	57.1%	42.9%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	54	19	14	20	32	25	21	7	18	19	14	5	0	1	2
	構成比		35.2%	25.9%	37.0%	59.3%	46.3%	38.9%	13.0%	33.3%	35.2%	25.9%	9.3%	0.0%	1.9%	3.7%
無回答	人数	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●介助者の年齢別

		合計	介助者自身の健康に不安がある	介護者の高齢化により不安がある	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出不来ない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	人数	347	94	63	125	176	108	132	68	112	87	90	40	8	13	5
	構成比		27.1%	18.2%	36.0%	50.7%	31.1%	38.0%	19.6%	32.3%	25.1%	25.9%	11.5%	2.3%	3.7%	1.4%
20歳未満	人数	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
20代	人数	3	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0
	構成比		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
30代	人数	100	20	4	36	46	29	37	24	39	20	38	16	2	4	2
	構成比		20.0%	4.0%	36.0%	46.0%	29.0%	37.0%	24.0%	39.0%	20.0%	38.0%	16.0%	2.0%	4.0%	2.0%
40代	人数	205	57	43	78	113	68	84	40	66	58	43	19	3	7	2
	構成比		27.8%	21.0%	38.0%	55.1%	33.2%	41.0%	19.5%	32.2%	28.3%	21.0%	9.3%	1.5%	3.4%	1.0%
50代	人数	30	12	12	9	12	6	7	2	5	6	6	5	1	1	0
	構成比		40.0%	40.0%	30.0%	40.0%	20.0%	23.3%	6.7%	16.7%	20.0%	20.0%	16.7%	3.3%	3.3%	0.0%
60代	人数	3	2	1	1	1	2	0	0	1	2	1	0	0	0	0
	構成比		66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上	人数	2	2	2	0	1	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

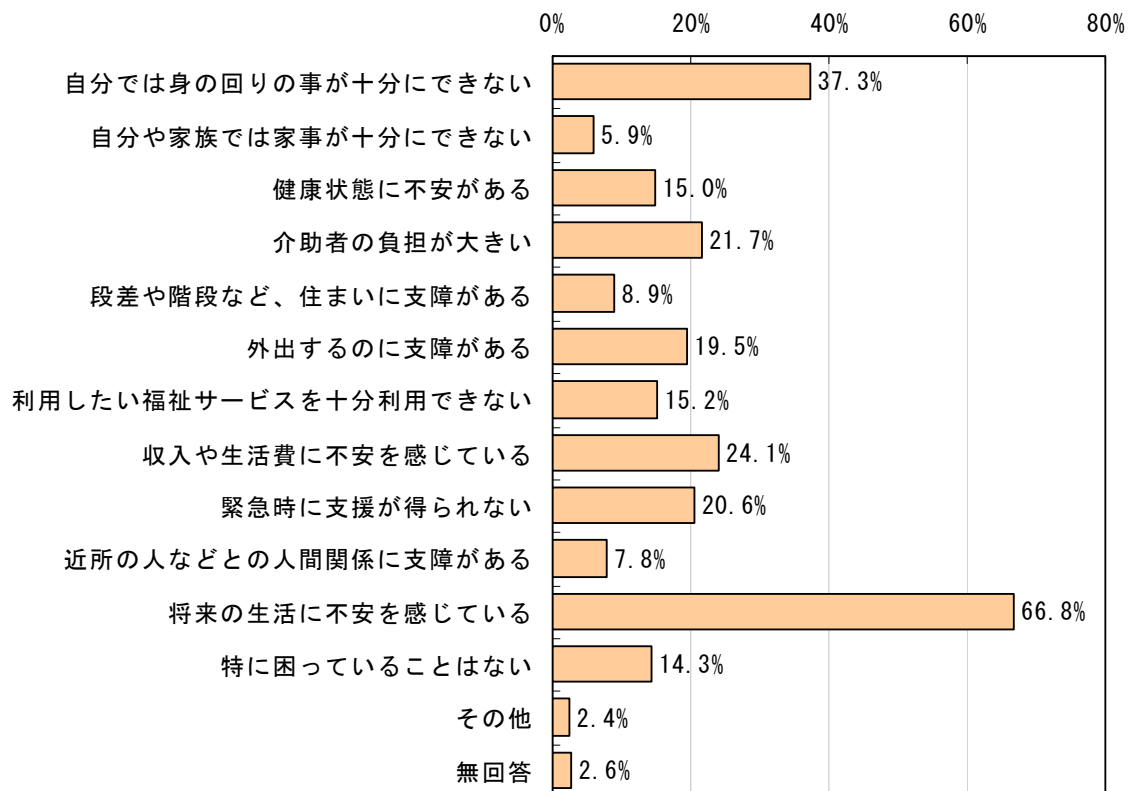
4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

問 19 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇は
いくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が66.8%、「自分では身の回りの事が十分にできない」が37.3%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	172	27	69	100	41	90	70	111	95	36	308	66	11	12
	構成比		37.3%	5.9%	15.0%	21.7%	8.9%	19.5%	15.2%	24.1%	20.6%	7.8%	66.8%	14.3%	2.4%	2.6%
身体障害	人数	240	94	15	41	62	37	55	39	52	50	9	155	26	8	6
	構成比		39.2%	6.3%	17.1%	25.8%	15.4%	22.9%	16.3%	21.7%	20.8%	3.8%	64.6%	10.8%	3.3%	2.5%
知的障害	人数	305	132	19	51	70	16	59	53	77	71	33	219	42	6	5
	構成比		43.3%	6.2%	16.7%	23.0%	5.2%	19.3%	17.4%	25.2%	23.3%	10.8%	71.8%	13.8%	2.0%	1.6%
精神障害	人数	7	3	1	1	2	0	1	3	1	1	0	6	1	0	0
	構成比		42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	25	6	18	21	8	19	11	12	9	2	42	5	3	1
	構成比		37.9%	9.1%	27.3%	31.8%	12.1%	28.8%	16.7%	18.2%	13.6%	3.0%	63.6%	7.6%	4.5%	1.5%
無回答	人数	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%

●年齢別

		合計	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	172	27	69	100	41	90	70	111	95	36	308	66	11	12
	構成比		37.3%	5.9%	15.0%	21.7%	8.9%	19.5%	15.2%	24.1%	20.6%	7.8%	66.8%	14.3%	2.4%	2.6%
0～2歳	人数	7	3	0	1	2	2	3	1	2	1	0	3	1	0	0
	構成比		42.9%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
3～5歳	人数	58	26	2	7	12	5	13	7	14	8	4	38	7	1	0
	構成比		44.8%	3.4%	12.1%	20.7%	8.6%	22.4%	12.1%	24.1%	13.8%	6.9%	65.5%	12.1%	1.7%	0.0%
6～8歳	人数	91	43	7	19	24	11	15	12	26	19	10	65	9	2	2
	構成比		47.3%	7.7%	20.9%	26.4%	12.1%	16.5%	13.2%	28.6%	20.9%	11.0%	71.4%	9.9%	2.2%	2.2%
9～11歳	人数	111	33	6	15	22	9	21	17	18	24	6	74	13	4	4
	構成比		29.7%	5.4%	13.5%	19.8%	8.1%	18.9%	15.3%	16.2%	21.6%	5.4%	66.7%	11.7%	3.6%	3.6%
12～14歳	人数	97	34	8	11	19	7	17	17	24	25	8	62	19	2	2
	構成比		35.1%	8.2%	11.3%	19.6%	7.2%	17.5%	17.5%	24.7%	25.8%	8.2%	63.9%	19.6%	2.1%	2.1%
15歳以上	人数	85	28	3	14	16	6	18	14	23	14	5	56	17	1	3
	構成比		32.9%	3.5%	16.5%	18.8%	7.1%	21.2%	16.5%	27.1%	16.5%	5.9%	65.9%	20.0%	1.2%	3.5%
無回答	人数	12	5	1	2	5	1	3	2	4	4	3	10	0	1	1
	構成比		41.7%	8.3%	16.7%	41.7%	8.3%	25.0%	16.7%	33.3%	33.3%	25.0%	83.3%	0.0%	8.3%	8.3%

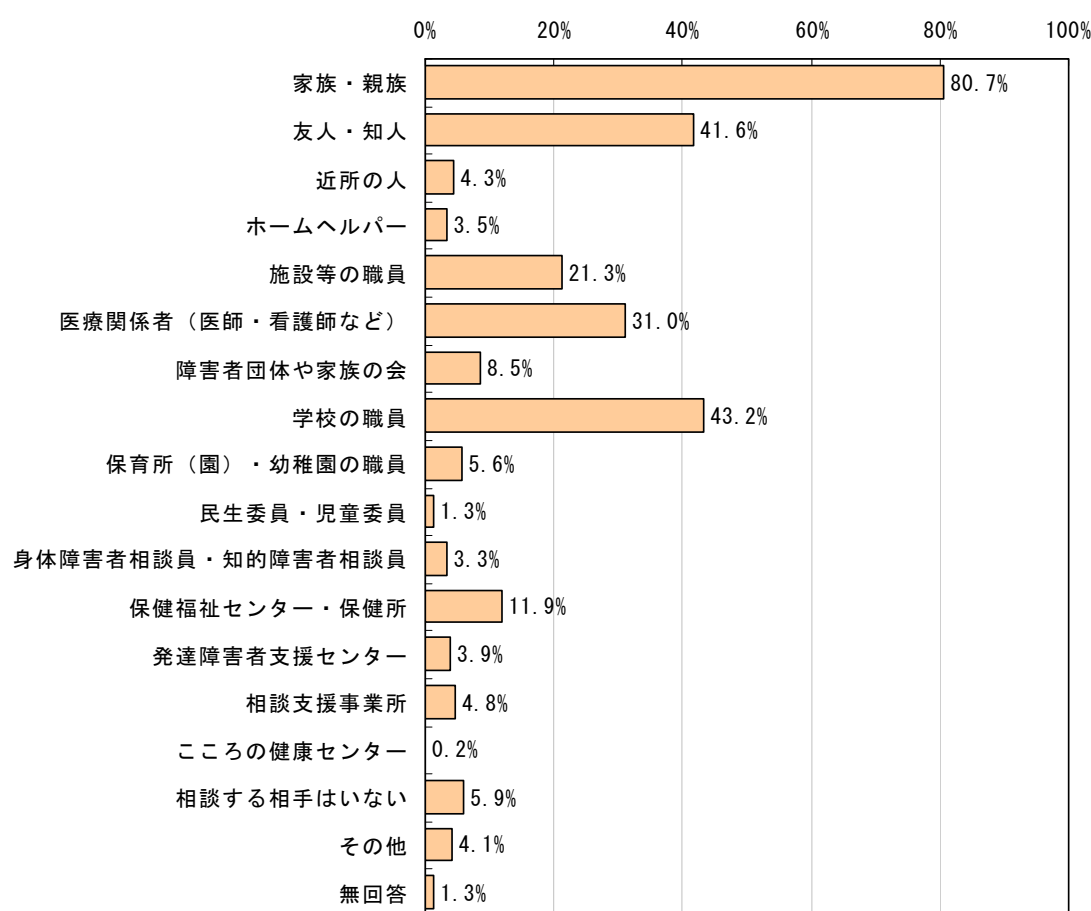
(2) 困ったときの相談先

問 20 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「家族・親族」が80.7%、「学校の職員」が43.2%、「友人・知人」が41.6%となっています。

障害種別で見ると、「家族・親族」以外において、身体障害のある方や難病のある方では「医療関係者（医師・看護師など）」、知的障害のある方では「学校の職員」が多くなっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

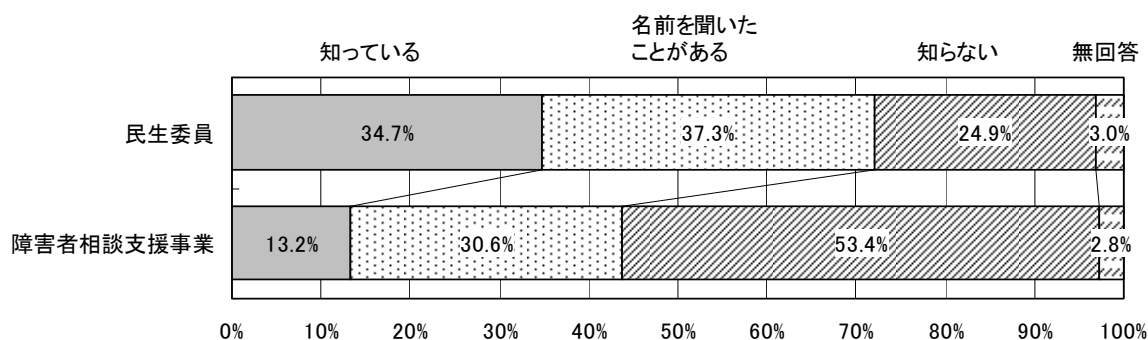
		合計	家族・親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者（医師・看護師など）	障害者団体や家族の会	学校の職員	保育所（園）・幼稚園の職員	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター・保健所	発達障害者支援センター	相談支援事業所	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全体	人数	461	372	192	20	16	98	143	39	199	26	6	15	55	18	22	1	27	19	6
	構成比		80.7%	41.6%	4.3%	3.5%	21.3%	31.0%	8.5%	43.2%	5.6%	1.3%	3.3%	11.9%	3.9%	4.8%	0.2%	5.9%	4.1%	1.3%
身体障害	人数	240	195	103	13	10	42	113	24	102	12	2	8	37	6	8	0	13	8	2
	構成比		81.3%	42.9%	5.4%	4.2%	17.5%	47.1%	10.0%	42.5%	5.0%	0.8%	3.3%	15.4%	2.5%	3.3%	0.0%	5.4%	3.3%	0.8%
知的障害	人数	305	246	133	11	12	84	75	25	138	18	6	9	34	15	20	1	18	12	3
	構成比		80.7%	43.6%	3.6%	3.9%	27.5%	24.6%	8.2%	45.2%	5.9%	2.0%	3.0%	11.1%	4.9%	6.6%	0.3%	5.9%	3.9%	1.0%
精神障害	人数	7	5	2	0	2	1	3	0	5	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	構成比		71.4%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
難病	人数	66	53	27	3	4	5	32	5	27	4	0	3	9	1	2	0	4	1	1
	構成比		80.3%	40.9%	4.5%	6.1%	7.6%	48.5%	7.6%	40.9%	6.1%	0.0%	4.5%	13.6%	1.5%	3.0%	0.0%	6.1%	1.5%	1.5%
無回答	人数	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比		33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%

(3) 制度・事業の認知度

問21 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。(A～Dの制度・事業について、それぞれ1～3のどれかひとつに○をつけてください。)

民生委員については、「名前を聞いたことがある」が最も多くなっていますが、障害者相談支援事業については「知らない」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

民生委員

		合計	知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	人数	461	160	172	115	14
	構成比		34.7%	37.3%	24.9%	3.0%
身体障害	人数	240	87	79	67	7
	構成比		36.3%	32.9%	27.9%	2.9%
知的障害	人数	305	114	119	66	6
	構成比		37.4%	39.0%	21.6%	2.0%
精神障害	人数	7	2	3	2	0
	構成比		28.6%	42.9%	28.6%	0.0%
難病	人数	66	23	24	16	3
	構成比		34.8%	36.4%	24.2%	4.5%
無回答	人数	3	0	1	1	1
	構成比		0.0%	33.3%	33.3%	33.3%

障害者相談支援事業

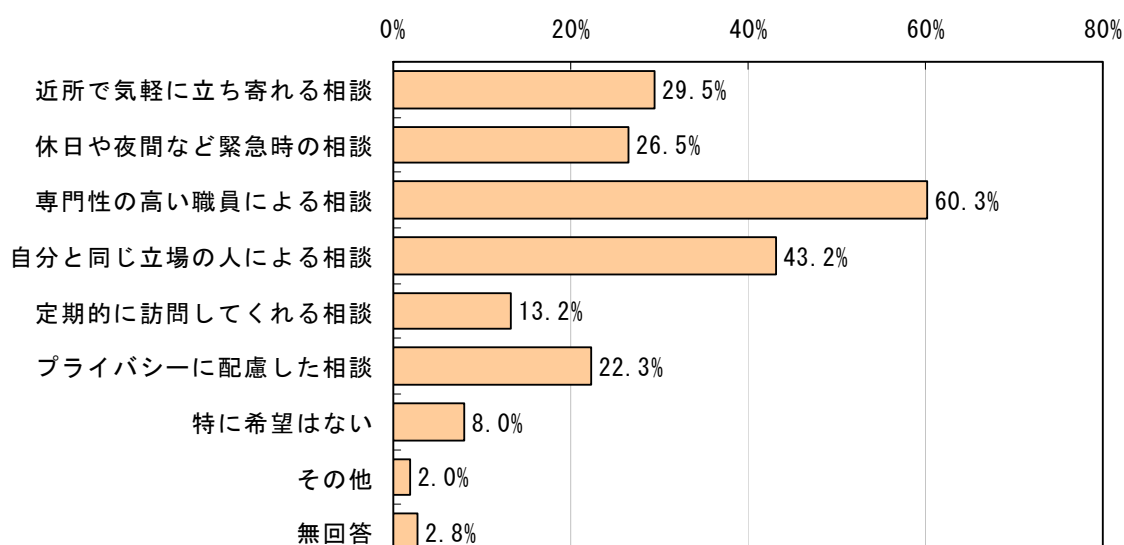
		合計	知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	人数	461	61	141	246	13
	構成比		13.2%	30.6%	53.4%	2.8%
身体障害	人数	240	32	68	133	7
	構成比		13.3%	28.3%	55.4%	2.9%
知的障害	人数	305	46	99	154	6
	構成比		15.1%	32.5%	50.5%	2.0%
精神障害	人数	7	1	3	3	0
	構成比		14.3%	42.9%	42.9%	0.0%
難病	人数	66	7	21	36	2
	構成比		10.6%	31.8%	54.5%	3.0%
無回答	人数	3	0	0	2	1
	構成比		0.0%	0.0%	66.7%	33.3%

(4) 希望する相談制度

問 22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」が60.3%、「自分と同じ立場の人による相談」が43.2%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	人数	461	136	122	278	199	61	103	37	9	13
	構成比		29.5%	26.5%	60.3%	43.2%	13.2%	22.3%	8.0%	2.0%	2.8%
身体障害	人数	240	56	69	140	111	30	48	20	5	7
	構成比		23.3%	28.8%	58.3%	46.3%	12.5%	20.0%	8.3%	2.1%	2.9%
知的障害	人数	305	105	84	195	118	44	69	21	7	6
	構成比		34.4%	27.5%	63.9%	38.7%	14.4%	22.6%	6.9%	2.3%	2.0%
精神障害	人数	7	2	1	4	3	0	1	0	0	0
	構成比		28.6%	14.3%	57.1%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	14	18	47	28	7	14	6	1	1
	構成比		21.2%	27.3%	71.2%	42.4%	10.6%	21.2%	9.1%	1.5%	1.5%
無回答	人数	3	0	0	0	1	1	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

●年齢別

		合計	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	人数	461	136	122	278	199	61	103	37	9	13
	構成比		29.5%	26.5%	60.3%	43.2%	13.2%	22.3%	8.0%	2.0%	2.8%
0～2歳	人数	7	3	3	4	4	2	0	0	0	0
	構成比		42.9%	42.9%	57.1%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5歳	人数	58	23	10	43	32	8	17	2	0	0
	構成比		39.7%	17.2%	74.1%	55.2%	13.8%	29.3%	3.4%	0.0%	0.0%
6～8歳	人数	91	24	31	57	44	16	23	7	1	2
	構成比		26.4%	34.1%	62.6%	48.4%	17.6%	25.3%	7.7%	1.1%	2.2%
9～11歳	人数	111	32	30	74	48	10	19	3	3	1
	構成比		28.8%	27.0%	66.7%	43.2%	9.0%	17.1%	2.7%	2.7%	0.9%
12～14歳	人数	97	26	25	52	39	14	20	13	4	4
	構成比		26.8%	25.8%	53.6%	40.2%	14.4%	20.6%	13.4%	4.1%	4.1%
15歳以上	人数	85	26	20	45	25	8	22	12	1	4
	構成比		30.6%	23.5%	52.9%	29.4%	9.4%	25.9%	14.1%	1.2%	4.7%
無回答	人数	12	2	3	3	7	3	2	0	0	2
	構成比		16.7%	25.0%	25.0%	58.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%

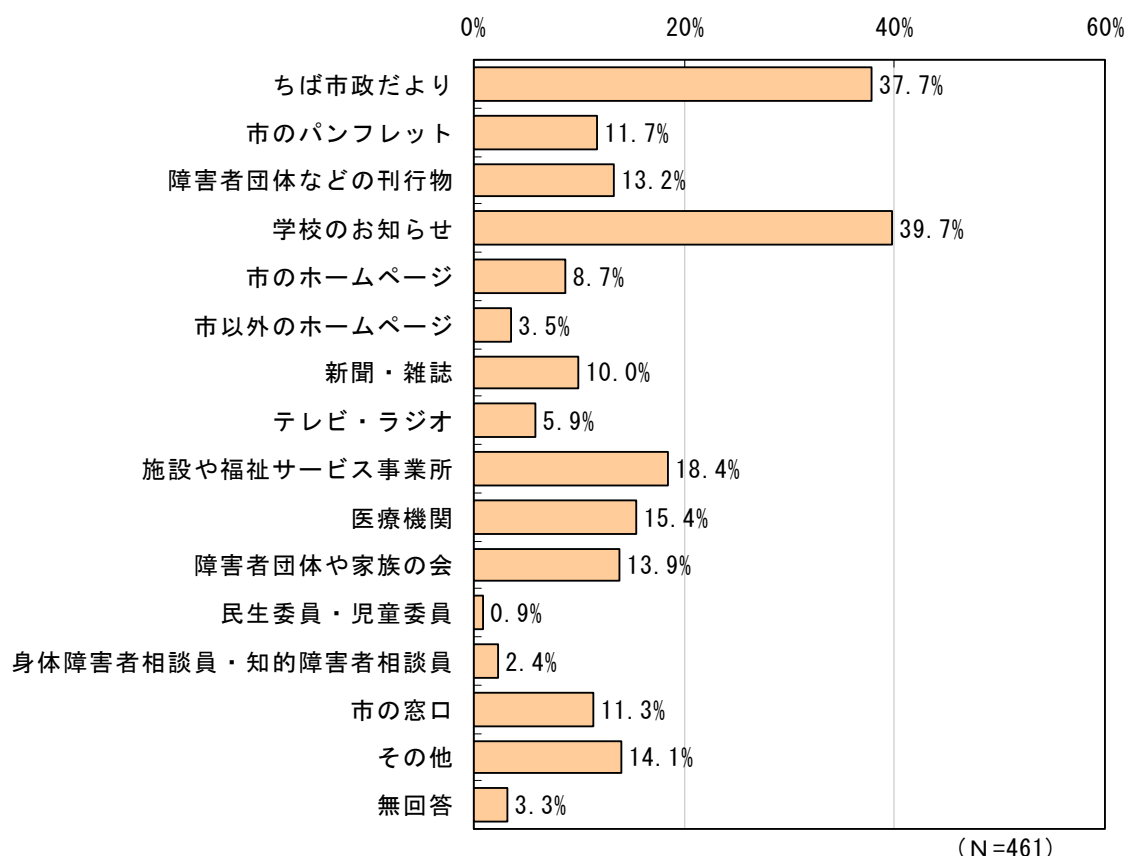
(5) 福祉情報の入手先

問 23 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

全体では、「学校のお知らせ」が39.7%、「ちば市政だより」が37.7%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方や難病のある方では「医療機関」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	ちば市政だより	市のパンフレット	障害者団体などの刊行物	学校のお知らせ	市のホームページ	市以外のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	施設や福祉サービス事業所	医療機関	障害者団体や家族の会	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	その他	無回答
全体	人数	461	174	54	61	133	40	16	46	27	85	71	64	4	11	52	65	15
	構成比		37.7%	11.7%	13.2%	39.7%	8.7%	3.5%	10.0%	5.9%	18.4%	15.4%	13.9%	0.9%	2.4%	11.3%	14.1%	3.3%
身体障害	人数	240	79	28	31	78	20	7	23	12	35	58	39	1	6	34	43	7
	構成比		32.9%	11.7%	12.9%	32.5%	8.3%	2.9%	9.6%	5.0%	14.6%	24.2%	16.3%	0.4%	2.5%	14.2%	17.9%	2.9%
知的障害	人数	305	123	34	46	136	25	11	33	21	72	28	42	4	6	33	44	7
	構成比		40.3%	11.1%	15.1%	44.6%	8.2%	3.6%	10.8%	6.9%	23.6%	9.2%	13.8%	1.3%	2.0%	10.8%	14.4%	2.3%
精神障害	人数	7	4	1	1	3	0	0	2	0	2	2	0	0	0	1	2	0
	構成比		57.1%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
難病	人数	66	17	8	8	18	7	4	7	2	4	16	12	0	4	12	15	2
	構成比		25.8%	12.1%	12.1%	27.3%	10.6%	6.1%	10.6%	3.0%	6.1%	24.2%	18.2%	0.0%	6.1%	18.2%	22.7%	3.0%
無回答	人数	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

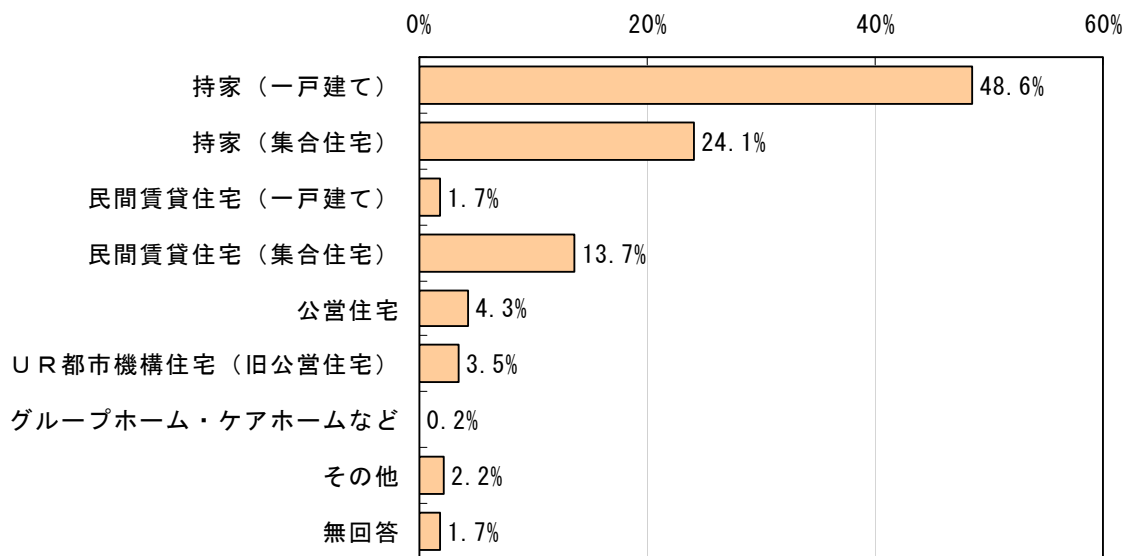
5. 暮らしについて

(1) 住まいの種類

問 24 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

「持家（一戸建て）」が48.6%、「持家（集合住宅）」が24.1%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が13.7%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公営住宅	UR都市機構住宅(旧公営住宅)	グループホーム・ケアホームなど	その他	無回答
全体	人数	461	224	111	8	63	20	16	1	10	8
	構成比		48.6%	24.1%	1.7%	13.7%	4.3%	3.5%	0.2%	2.2%	1.7%
身体障害	人数	240	117	66	5	33	11	4	0	2	2
	構成比		48.8%	27.5%	2.1%	13.8%	4.6%	1.7%	0.0%	0.8%	0.8%
知的障害	人数	305	152	70	4	40	11	13	1	9	5
	構成比		49.8%	23.0%	1.3%	13.1%	3.6%	4.3%	0.3%	3.0%	1.6%
精神障害	人数	7	3	4	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	29	18	1	12	4	1	0	1	0
	構成比		43.9%	27.3%	1.5%	18.2%	6.1%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%
無回答	人数	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

(2) 住まいについて困っていること

問 25 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

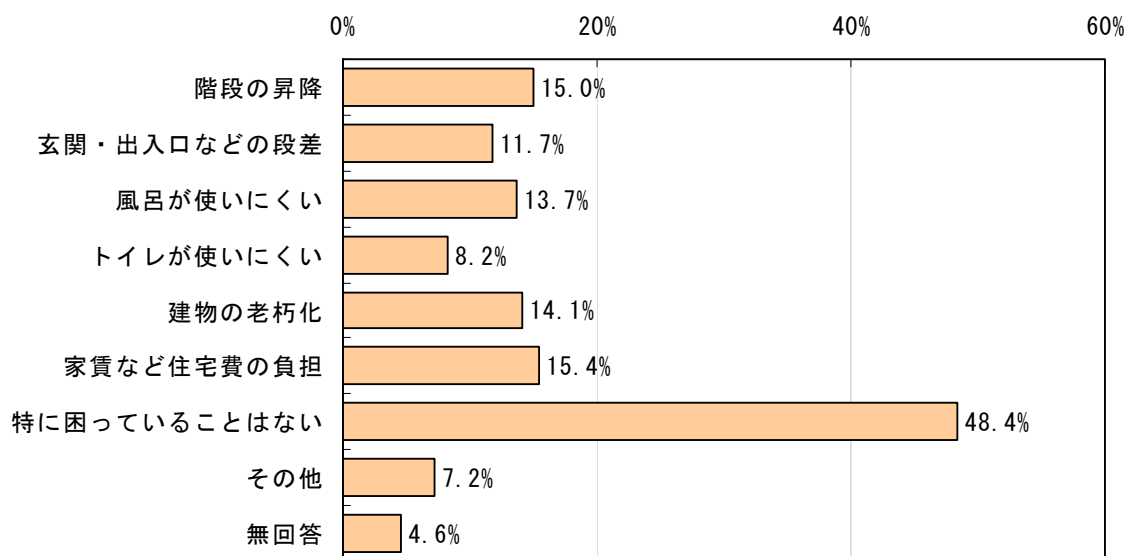
全体では、「特に困っていることはない」が48.4%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「家賃など住宅費の負担」が15.4%、「階段の昇降」が15.0%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方や難病のある方では「階段の昇降」、「玄関・出入口などの段差」、「風呂が使いにくい」が他より多くなっています。

住宅種別で見ると、公営住宅は「風呂が使いにくい」、UR都市機構住宅では「階段の昇降」が多くなっています。

身体障害の部位別にみると、視覚障害の方は「階段の昇降」、「玄関・出入口などの段差」が他より多くなっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	69	54	63	38	65	71	223	33	21
	構成比		15.0%	11.7%	13.7%	8.2%	14.1%	15.4%	48.4%	7.2%	4.6%
身体障害	人数	240	57	46	45	25	24	38	90	23	11
	構成比		23.8%	19.2%	18.8%	10.4%	10.0%	15.8%	37.5%	9.6%	4.6%
知的障害	人数	305	35	25	35	24	52	50	160	17	11
	構成比		11.5%	8.2%	11.5%	7.9%	17.0%	16.4%	52.5%	5.6%	3.6%
精神障害	人数	7	1	1	0	0	1	0	4	0	0
	構成比		14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	17	12	17	5	7	9	23	7	2
	構成比		25.8%	18.2%	25.8%	7.6%	10.6%	13.6%	34.8%	10.6%	3.0%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%

●住宅種別

		合計	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いやすいにくい	トイレが使いやすいにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	69	54	63	38	65	71	223	33	21
	構成比		15.0%	11.7%	13.7%	8.2%	14.1%	15.4%	48.4%	7.2%	4.6%
持家(一戸建て)	人数	224	31	33	21	13	27	14	125	15	9
	構成比		13.8%	14.7%	9.4%	5.8%	12.1%	6.3%	55.8%	6.7%	4.0%
持家(集合住宅)	人数	111	12	8	14	10	9	12	62	8	3
	構成比		10.8%	7.2%	12.6%	9.0%	8.1%	10.8%	55.9%	7.2%	2.7%
民間賃貸住宅(一戸建て)	人数	8	1	0	2	1	4	3	2	0	0
	構成比		12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	50.0%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%
民間賃貸住宅(集合住宅)	人数	63	13	8	13	4	8	28	19	7	2
	構成比		20.6%	12.7%	20.6%	6.3%	12.7%	44.4%	30.2%	11.1%	3.2%
公営住宅	人数	20	4	3	9	5	6	6	4	0	1
	構成比		20.0%	15.0%	45.0%	25.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	5.0%
UR都市機構住宅(旧公営住宅)	人数	16	6	2	3	4	9	6	3	3	0
	構成比		37.5%	12.5%	18.8%	25.0%	56.3%	37.5%	18.8%	18.8%	0.0%
グループホーム・ケアホームなど	人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他	人数	10	1	0	1	1	2	2	6	0	0
	構成比		10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	8	1	0	0	0	0	0	1	0	6
	構成比		12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	75.0%

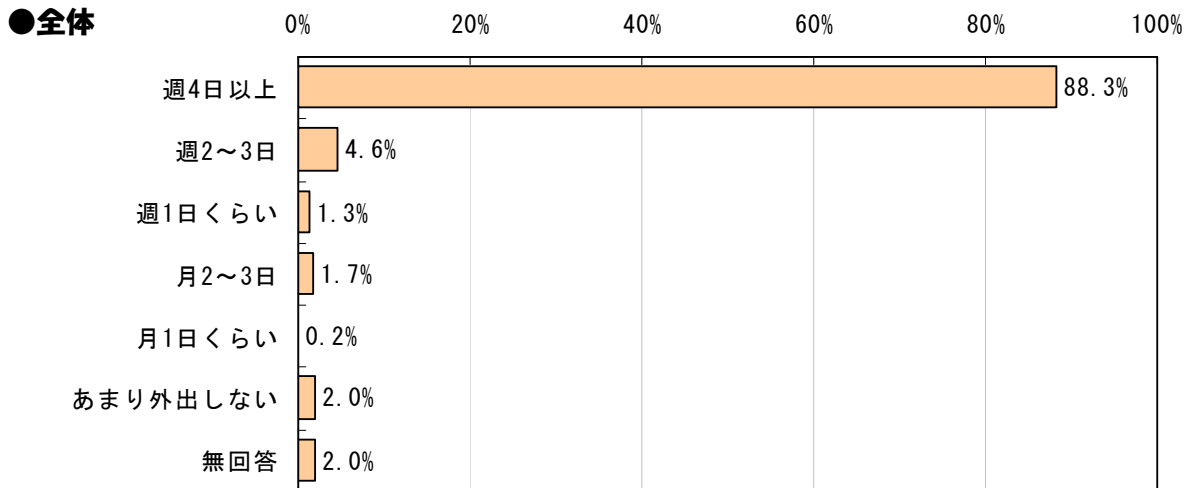
●身体障害の種類別

		合計	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いやすいにくい	トイレが使いやすいにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	106	17	17	10	8	10	13	16	10	5
	構成比		16.0%	16.0%	9.4%	7.5%	9.4%	12.3%	15.1%	9.4%	4.7%
肢体不自由	人数	36	3	4	3	3	4	6	9	4	0
	構成比		8.3%	11.1%	8.3%	8.3%	11.1%	16.7%	25.0%	11.1%	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数	8	2	2	1	0	2	1	0	0	0
	構成比		25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
視覚障害	人数	16	5	5	2	2	1	1	0	0	0
	構成比		31.3%	31.3%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
聴覚・平衡機能障害	人数	27	6	3	2	0	2	4	5	2	3
	構成比		22.2%	11.1%	7.4%	0.0%	7.4%	14.8%	18.5%	7.4%	11.1%
内部機能障害(免疫機能障害含む)	人数	19	1	3	2	3	1	1	2	4	2
	構成比		5.3%	15.8%	10.5%	15.8%	5.3%	5.3%	10.5%	21.1%	10.5%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 外出の頻度

問 26 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

「週4日以上」が88.3%となっています。年齢別では、2歳児以下の外出頻度が非常に少ないのが特徴です。



●障害種別

(N=461)

		合計	週4日以上	週2〜3日	週1日くらい	月2〜3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	人数	461	407	21	6	8	1	9	9
	構成比		88.3%	4.6%	1.3%	1.7%	0.2%	2.0%	2.0%
身体障害	人数	240	206	15	4	5	1	6	3
	構成比		85.8%	6.3%	1.7%	2.1%	0.4%	2.5%	1.3%
知的障害	人数	305	275	12	3	4	0	5	6
	構成比		90.2%	3.9%	1.0%	1.3%	0.0%	1.6%	2.0%
精神障害	人数	7	6	0	0	1	0	0	0
	構成比		85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	54	3	1	2	1	4	1
	構成比		81.8%	4.5%	1.5%	3.0%	1.5%	6.1%	1.5%
無回答	人数	3	2	0	0	0	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

●年齢別

		合計	週4日以上	週2〜3日	週1日くらい	月2〜3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	人数	461	407	21	6	8	1	9	9
	構成比		88.3%	4.6%	1.3%	1.7%	0.2%	2.0%	2.0%
0〜2歳	人数	7	2	2	1	0	1	1	0
	構成比		28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
3〜5歳	人数	58	48	7	0	3	0	0	0
	構成比		82.8%	12.1%	0.0%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%
6〜8歳	人数	91	83	3	2	2	0	0	1
	構成比		91.2%	3.3%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	1.1%
9〜11歳	人数	111	105	3	1	1	0	1	0
	構成比		94.6%	2.7%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%
12〜14歳	人数	97	89	1	2	2	0	2	1
	構成比		91.8%	1.0%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	1.0%
15歳以上	人数	85	71	5	0	0	0	4	5
	構成比		83.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	5.9%
無回答	人数	12	9	0	0	0	0	1	2
	構成比		75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%

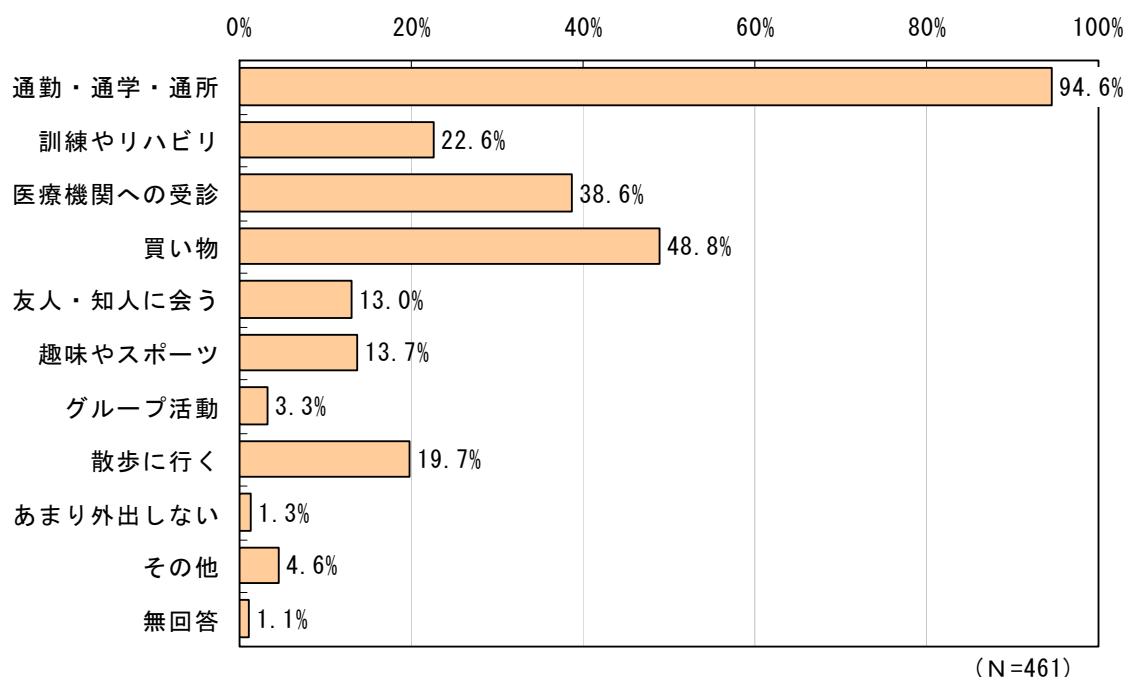
(4) 外出の目的

問27 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では、「通勤・通学・通所」が94.6%となっています。

障害種別で見ると、「通勤・通学・通所」以外において、身体障害のある方や難病のある方は「医療機関への受診」、知的障害のある方では「買い物」が多くなっています。

●全体



●障害種別

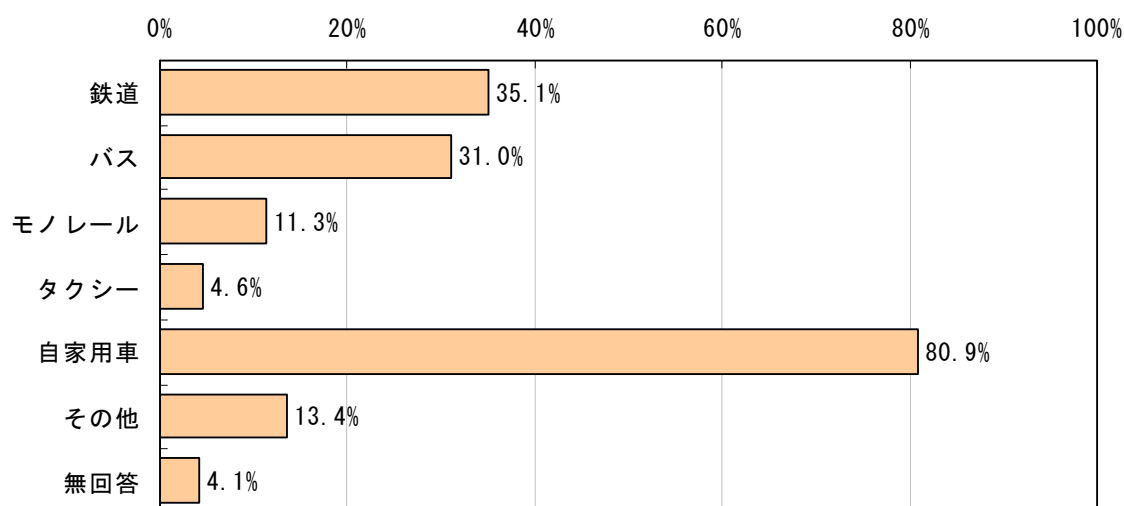
		合計	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人に会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	人数	461	436	104	178	225	60	63	15	91	6	21	5
	構成比		94.6%	22.6%	38.6%	48.8%	13.0%	13.7%	3.3%	19.7%	1.3%	4.6%	1.1%
身体障害	人数	240	224	89	126	113	34	34	11	41	3	9	1
	構成比		93.3%	37.1%	52.5%	47.1%	14.2%	14.2%	4.6%	17.1%	1.3%	3.8%	0.4%
知的障害	人数	305	293	57	105	154	35	36	9	66	5	18	3
	構成比		96.1%	18.7%	34.4%	50.5%	11.5%	11.8%	3.0%	21.6%	1.6%	5.9%	1.0%
精神障害	人数	7	6	3	4	4	1	0	0	1	1	0	0
	構成比		85.7%	42.9%	57.1%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	58	22	39	29	10	9	2	9	2	2	0
	構成比		87.9%	33.3%	59.1%	43.9%	15.2%	13.6%	3.0%	13.6%	3.0%	3.0%	0.0%
無回答	人数	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

(5) 外出時の移動手段

問 28 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

「自家用車」が80.9%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全体	人数	461	162	143	52	21	373	62	19
	構成比		35.1%	31.0%	11.3%	4.6%	80.9%	13.4%	4.1%
身体障害	人数	240	68	49	14	11	208	22	8
	構成比		28.3%	20.4%	5.8%	4.6%	86.7%	9.2%	3.3%
知的障害	人数	305	116	108	45	14	245	43	11
	構成比		38.0%	35.4%	14.8%	4.6%	80.3%	14.1%	3.6%
精神障害	人数	7	2	2	0	0	6	1	1
	構成比		28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	14.3%
難病	人数	66	12	8	4	2	57	6	4
	構成比		18.2%	12.1%	6.1%	3.0%	86.4%	9.1%	6.1%
無回答	人数	3	1	2	0	0	1	0	1
	構成比		33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%

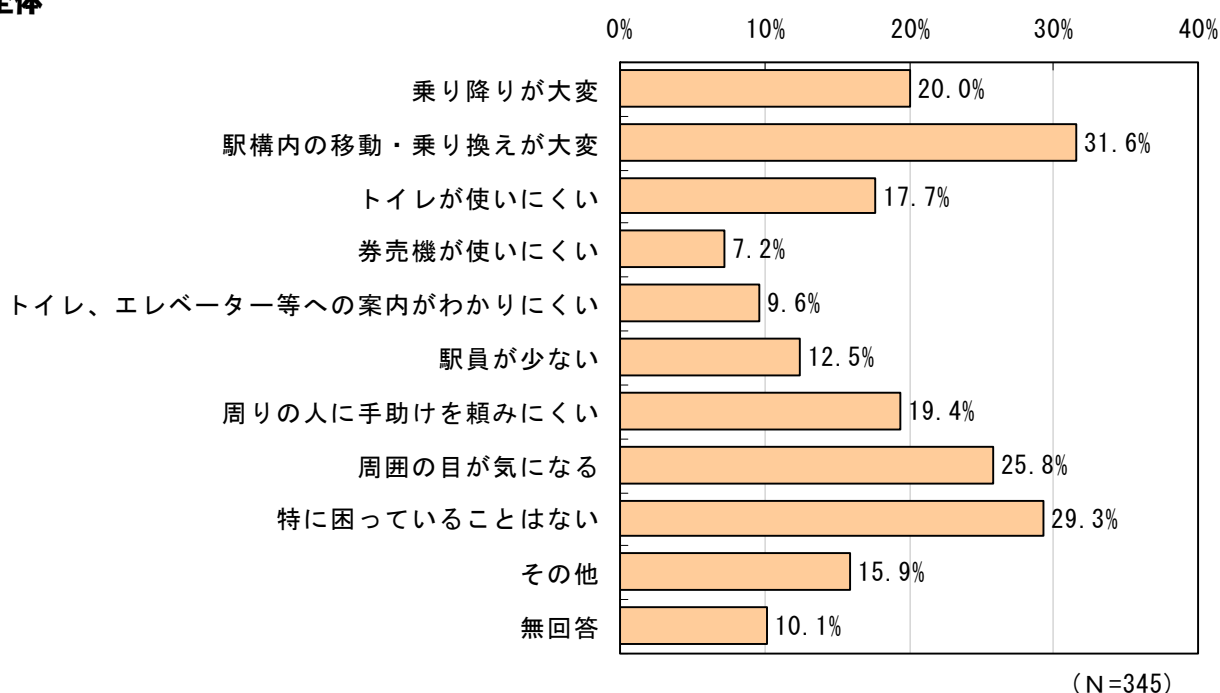
(6) 鉄道利用の際に困っていること（鉄道を使っていない方を除いた数で集計）

問 29 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が29.3%です。困っていることがある方については、「駅構内の移動・乗り換えが大変」が31.6%となっています。

障害種別では、上記のほか、知的障害のある方や精神障害のある方において、「周囲の目が気になる」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	345	69	109	61	25	33	43	67	89	101	55	35
	構成比		20.0%	31.6%	17.7%	7.2%	9.6%	12.5%	19.4%	25.8%	29.3%	15.9%	10.1%
身体障害	人数	168	61	74	40	7	20	27	42	41	38	34	17
	構成比		36.3%	44.0%	23.8%	4.2%	11.9%	16.1%	25.0%	24.4%	22.6%	20.2%	10.1%
知的障害	人数	235	37	69	42	24	21	27	39	67	69	35	19
	構成比		15.7%	29.4%	17.9%	10.2%	8.9%	11.5%	16.6%	28.5%	29.4%	14.9%	8.1%
精神障害	人数	5	3	4	0	0	0	1	1	2	1	0	1
	構成比		60.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%
難病	人数	43	16	22	12	4	8	6	7	11	6	9	6
	構成比		37.2%	51.2%	27.9%	9.3%	18.6%	14.0%	16.3%	25.6%	14.0%	20.9%	14.0%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

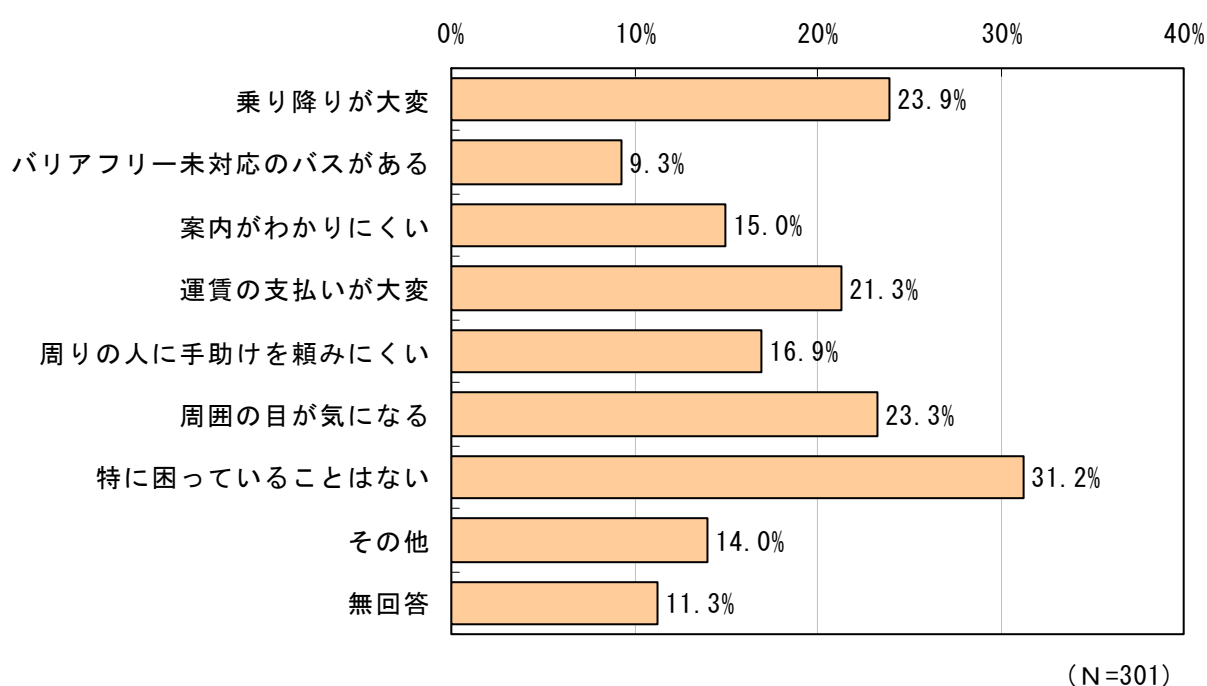
(7) 路線バス利用の際に困っていること（バスを使っていない方を除いた数で集計）

問 30 あなたは、路線バスを利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が31.2%と最も多くなっています。困っていることある方については、「乗り降りが大変」が23.9%、「周囲の目が気になる」が23.3%となっています。

障害種別で見ると、身体障害、難病のある方では「乗り降りが大変」が多く、知的障害のある方では「周囲の目が気になる」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	乗り降り が大変	バリアフ リー未対 応のバス がある	案内がわ かりにく い	運賃の支 払いが大 変	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全体	人数	301	72	28	45	64	51	70	94	42	34
	構成比		23.9%	9.3%	15.0%	21.3%	16.9%	23.3%	31.2%	14.0%	11.3%
身体障害	人数	135	56	22	21	27	29	30	33	20	17
	構成比		41.5%	16.3%	15.6%	20.0%	21.5%	22.2%	24.4%	14.8%	12.6%
知的障害	人数	208	41	12	28	48	33	53	69	29	18
	構成比		19.7%	5.8%	13.5%	23.1%	15.9%	25.5%	33.2%	13.9%	8.7%
精神障害	人数	4	2	0	1	0	2	2	1	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
難病	人数	31	13	6	6	6	4	9	6	5	6
	構成比		41.9%	19.4%	19.4%	19.4%	12.9%	29.0%	19.4%	16.1%	19.4%
無回答	人数	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

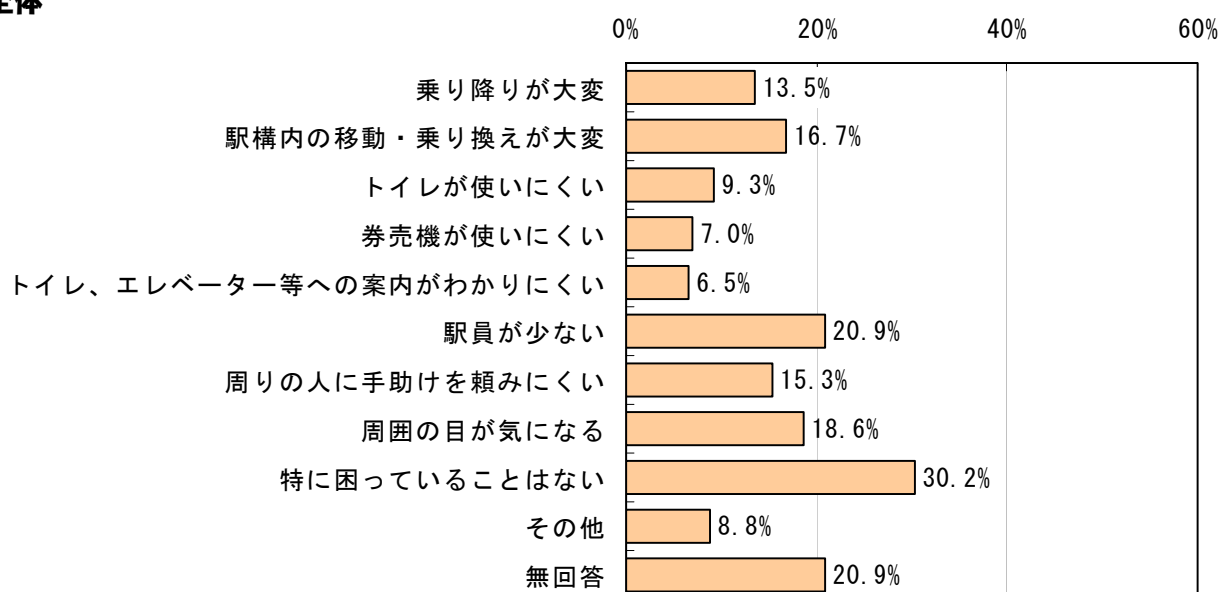
(8) モノレール利用の際に困っていること（モノレールを使っていない方を除いた数で集計）

問 31 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が30.2%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「駅員が少ない」、「周囲の目が気になる」が多くなっています。

障害種別で見ると、身体障害、難病のある方では「乗り降りが大変」が多く、知的障害のある方では「駅員が少ない」、「周囲の目が気になる」が多くなっています。

●全体



(N=215)

●障害種別

		合計	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	215	29	36	20	15	14	45	33	40	65	19	45
	構成比		13.5%	16.7%	9.3%	7.0%	6.5%	20.9%	15.3%	18.6%	30.2%	8.8%	20.9%
身体障害	人数	85	24	21	6	3	10	19	15	13	21	8	23
	構成比		28.2%	24.7%	7.1%	3.5%	11.8%	22.4%	17.6%	15.3%	24.7%	9.4%	27.1%
知的障害	人数	153	14	22	17	13	6	31	23	30	48	15	25
	構成比		9.2%	14.4%	11.1%	8.5%	3.9%	20.3%	15.0%	19.6%	31.4%	9.8%	16.3%
精神障害	人数	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%
難病	人数	23	8	6	3	1	2	6	4	7	2	2	7
	構成比		34.8%	26.1%	13.0%	4.3%	8.7%	26.1%	17.4%	30.4%	8.7%	8.7%	30.4%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

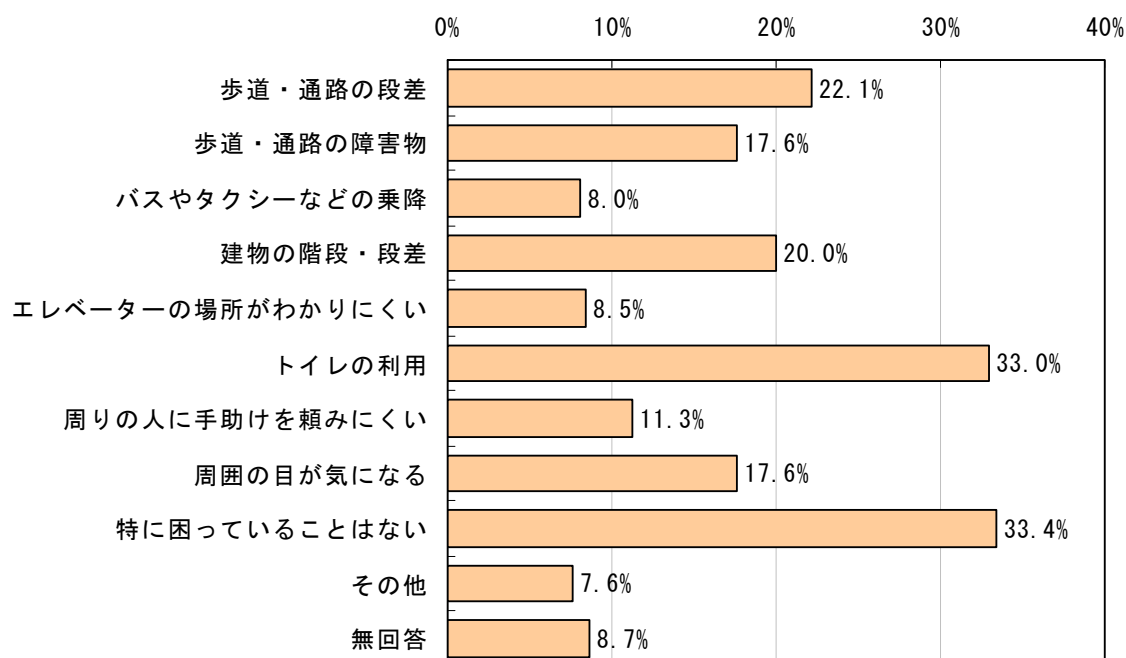
(9) 外出するときに困っていること

問 32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「特に困っていることはない」が33.4%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「トイレの利用」が33.0%、「歩道・通路の段差」が22.1%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方では「トイレの利用」、「歩道・通路の段差」、知的障害のある方では「特に困っていることはない」、「トイレの利用」、難病のある方では「歩道・通路の段差」、「トイレの利用」が多くなっています。

●全体



●障害種別

(N=461)

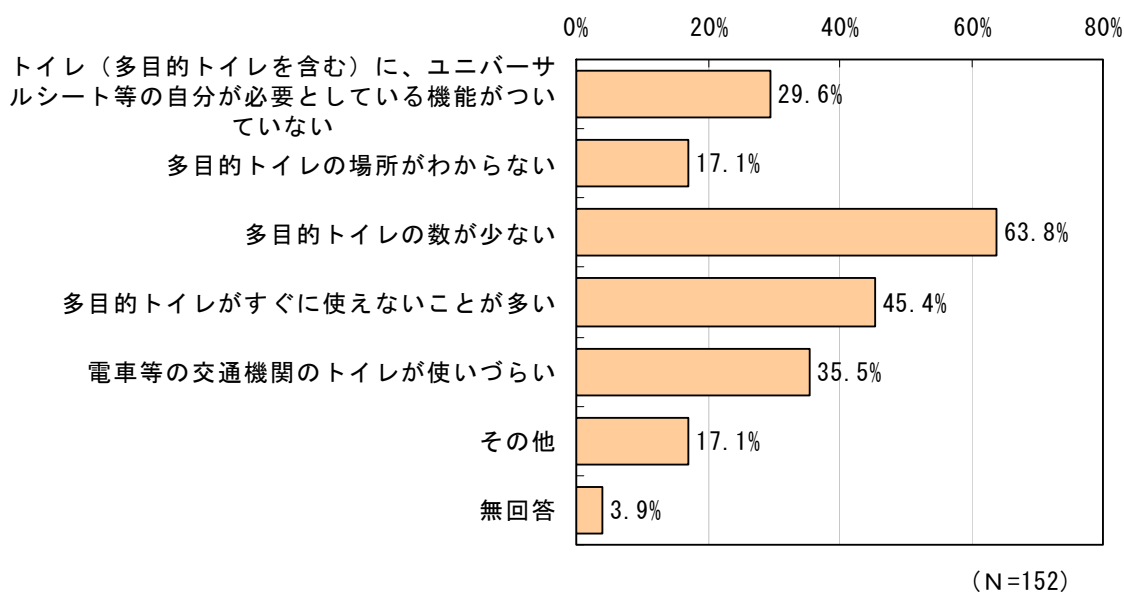
		合計	歩道・通路の段差	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	102	81	37	92	39	152	52	81	154	35	40
	構成比		22.1%	17.6%	8.0%	20.0%	8.5%	33.0%	11.3%	17.6%	33.4%	7.6%	8.7%
身体障害	人数	240	88	67	28	82	32	107	29	38	57	20	16
	構成比		36.7%	27.9%	11.7%	34.2%	13.3%	44.6%	12.1%	15.8%	23.8%	8.3%	6.7%
知的障害	人数	305	49	41	17	47	20	96	33	60	110	23	25
	構成比		16.1%	13.4%	5.6%	15.4%	6.6%	31.5%	10.8%	19.7%	36.1%	7.5%	8.2%
精神障害	人数	7	0	1	0	1	1	2	2	2	1	0	1
	構成比		0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%
難病	人数	66	32	16	8	21	11	29	5	11	11	4	5
	構成比		48.5%	24.2%	12.1%	31.8%	16.7%	43.9%	7.6%	16.7%	16.7%	6.1%	7.6%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

(10) 外出先でのトイレ利用で困っていること

問 33 【問 32 で外出時にトイレ利用が困る（6番）に○をつけた方におたずねします。】 外出先でのトイレ利用について、困ることは何ですか。（○はいくつでも）

「多目的トイレの数が少ない」が63.8%、「多目的トイレがすぐに使えないことが多い」が45.4%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	トイレ（多目的トイレを含む）に、ユニバーサルシート等の自分が必要としている機能がない	多目的トイレの場所がわからない	多目的トイレの数が少ない	多目的トイレがすぐに使えないことが多い	電車等の交通機関のトイレが使いづらい	その他	無回答
全体	人数	152	45	26	97	69	54	26	6
	構成比		29.6%	17.1%	63.8%	45.4%	35.5%	17.1%	3.9%
身体障害	人数	107	43	20	67	51	31	17	5
	構成比		40.2%	18.7%	62.6%	47.7%	29.0%	15.9%	4.7%
知的障害	人数	96	25	15	63	48	37	14	3
	構成比		26.0%	15.6%	65.6%	50.0%	38.5%	14.6%	3.1%
精神障害	人数	2	1	0	1	0	0	0	0
	構成比		50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	29	12	5	15	17	9	2	2
	構成比		41.4%	17.2%	51.7%	58.6%	31.0%	6.9%	6.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(11) 外出時や災害時などのトイレ利用で困ること

問 34 【すべての方におたずねします。】外出時や災害時などのトイレ利用について、困ること（困るのではないかと思うこと）を、自由にお書きください。（自由記述）

全体では 225 件の意見がありました。

	全体	①設置数	②場所	③洋式トイレ	④多目的トイレ	⑤オムツ	⑥災害時	⑦その他
件数（件）	225	33	5	40	20	49	28	86
構成比（％）	100.0	14.7	2.2	17.8	8.9	21.7	12.4	38.2

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 設置数について（33 件）

トイレの数が少ない、順番待ちが困るなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
トイレの数など	身体障害 （肢体不自由）	16	女性	本人
列の順番待ち	知的障害	8	男性	家族

② 場所について（5 件）

場所がわからないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
急に便意をもよおした時に、すぐに使えるトイレ（障害者用）が少なく、男の子なので女の子に比べ絶対的に少ない為、空きがなければ離れた場所にあるトイレまで本人を走らせなければならないのがきつい。	知的障害	13	男性	家族
場所がわからない事がある	身体障害 （聴覚・平衡機能障害）	16	男性	本人

③ 洋式トイレについて（40 件）

洋式トイレがない（和式では対応できない）などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
和式しかない場合、1人でトイレができない。	知的障害	7	女性	家族
洋式のトイレが少ない。特に学校（避難所となる）のトイレは全部洋式にして欲しい。一般的に男性トイレには、洋式トイレがない所が多い。	知的障害	9	男性	家族

④ 多目的トイレについて（20 件）

多目的トイレを整備してほしいなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
多目的トイレが少ない	知的障害	4	男性	家族
多目的トイレが少なくベッドもなく衣服の着脱をさせるスペースがない。狭い普通のトイレでは車イスで入れない。	身体障害 （肢体不自由）	8	男性	不明

⑤ オムツ交換について（49 件）

オムツ替えシートがないなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
車いす用トイレはあるが、おむつ替えシートがない場合が多いのが困る。	身体障害 （肢体不自由、聴覚・平衡機能障害）	不明	女性	家族
紙オムツ使用の為、平面な空間の確保（マット、敷物）が必要。身体が大きくなり、壁など目隠しとなる物がないと、周りの視線が気になる。臭いの問題。ゴミ捨てなど。	身体障害 （肢体不自由） 難病	13	男性	家族

⑥ 災害時について（28 件）

災害時にトイレが心配などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
災害時に集団になると1人でトイレに行きたくてもがまんをしてしまう可能性があるかもしれません。	身体障害 (肢体不自由)	6	女性	不明
災害時は混雑、断水。本人のみではトイレの場所が多分わからない。	知的障害	8	男性	家族

⑦ その他（91 件）

ストマの処理や、異性での介護での問題などの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
ストマの処置	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	7	女性	家族
介助者が異性であると、子供本人が大きくなってくると、ユニバーサルシートでしか対応できなくなるため、災害時には特に需要がさっとうしてこまるのではないかと思います。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	9	男性	家族

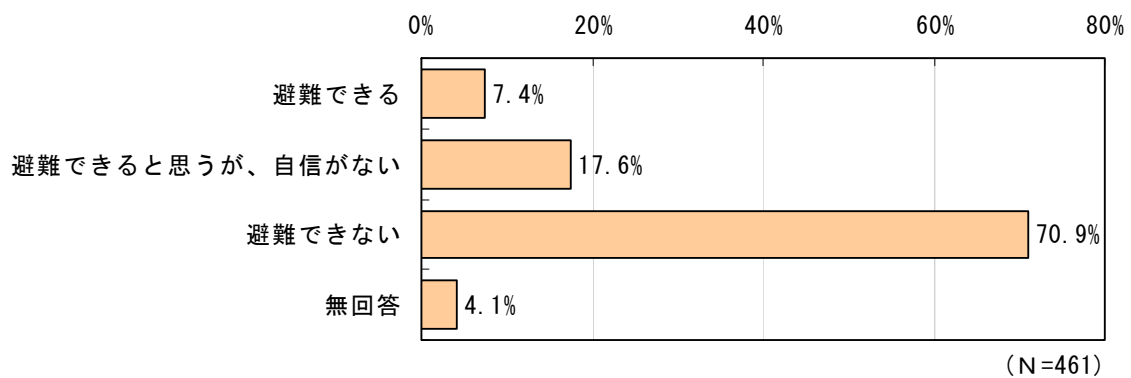
6. 災害対策について

(1) 災害時の避難

問 35 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

「避難できない」が70.9%となっています。

●全体



●障害種別

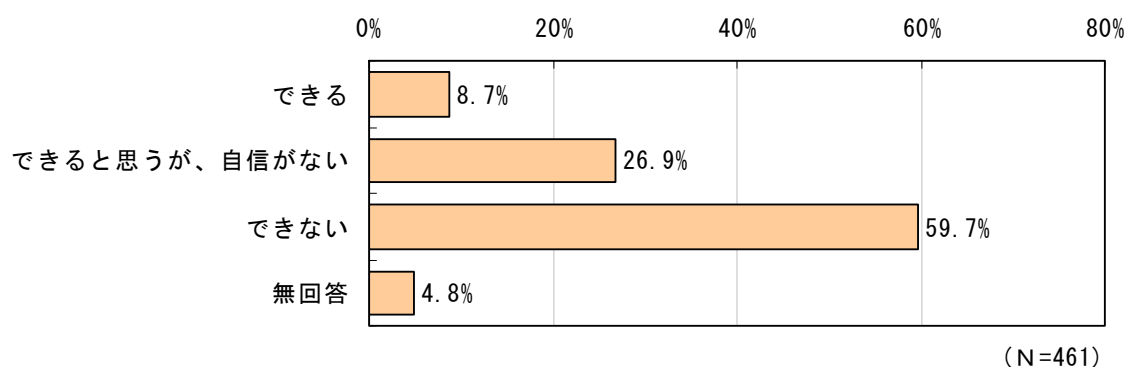
		合計	避難できる	避難できると思うが、自信がない	避難できない	無回答
全体	人数	461	34	81	327	19
	構成比		7.4%	17.6%	70.9%	4.1%
身体障害	人数	240	18	40	173	9
	構成比		7.5%	16.7%	72.1%	3.8%
知的障害	人数	305	16	45	234	10
	構成比		5.2%	14.8%	76.7%	3.3%
精神障害	人数	7	0	2	4	1
	構成比		0.0%	28.6%	57.1%	14.3%
難病	人数	66	6	10	46	4
	構成比		9.1%	15.2%	69.7%	6.1%
無回答	人数	3	0	2	0	1
	構成比		0.0%	66.7%	0.0%	33.3%

(2) 災害時に困っていることを周囲に知らせることが可能か

問 36 あなたは、災害時に自分が困っていることを、周囲の人に知らせることができると思いますか。(○は1つ)

「できない」が59.7%、「できると思うが、自信がない」が26.9%となっています。

●全体



●障害種別

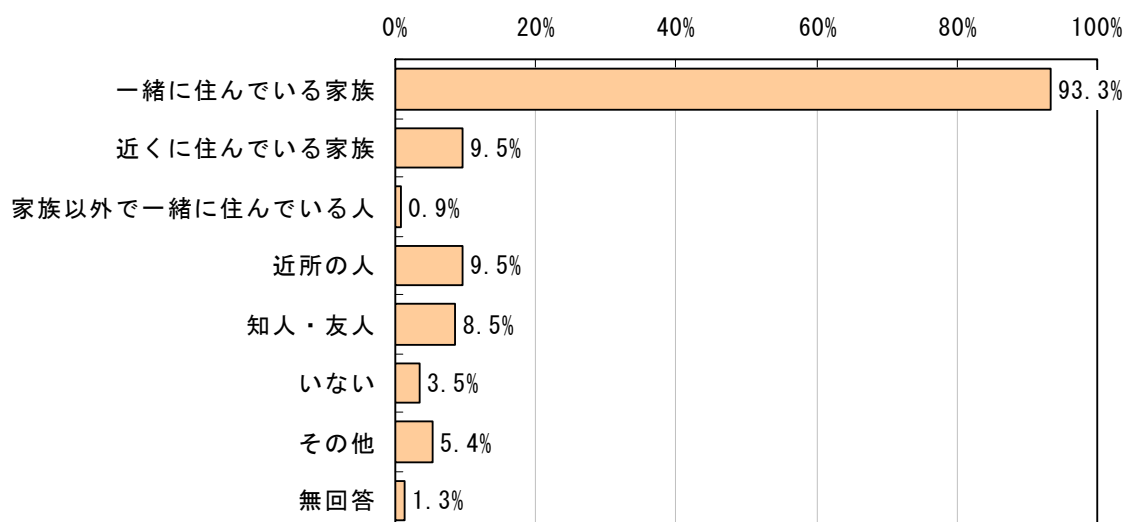
		合計	できる	できると思うが、自信がない	できない	無回答
全体	人数	461	40	124	275	22
	構成比		8.7%	26.9%	59.7%	4.8%
身体障害	人数	240	26	62	141	11
	構成比		10.8%	25.8%	58.8%	4.6%
知的障害	人数	305	16	72	205	12
	構成比		5.2%	23.6%	67.2%	3.9%
精神障害	人数	7	0	1	5	1
	構成比		0.0%	14.3%	71.4%	14.3%
難病	人数	66	9	17	36	4
	構成比		13.6%	25.8%	54.5%	6.1%
無回答	人数	3	0	2	0	1
	構成比		0.0%	66.7%	0.0%	33.3%

(3) 災害時に避難を支援してくれる人の有無

問37 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

全体では、「一緒に住んでいる家族」が93.3%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

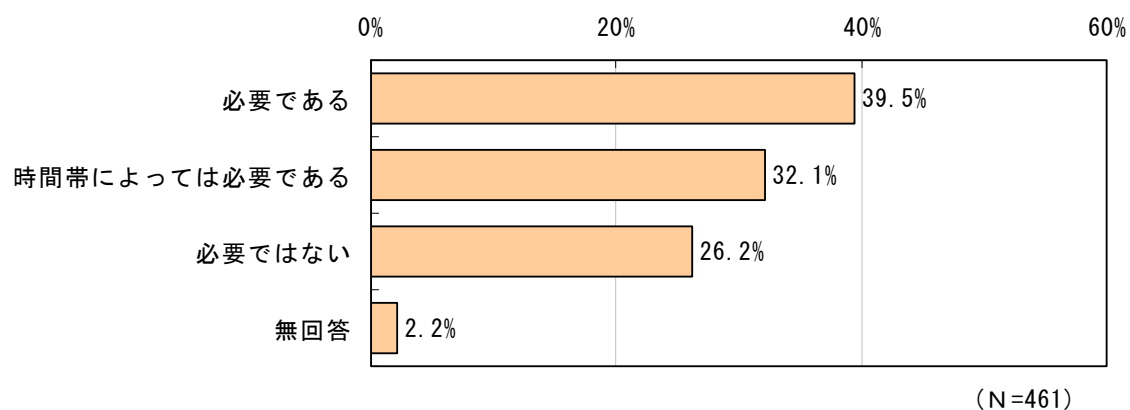
		合計	一緒に住 んでいる 家族	近くに住 んでいる 家族	家族以外 で一緒に 住んでい る人	近所の人	知人・友 人	いない	その他	無回答
全体	人数	461	430	44	4	44	39	16	25	6
	構成比		93.3%	9.5%	0.9%	9.5%	8.5%	3.5%	5.4%	1.3%
身体障害	人数	240	224	29	1	26	22	9	11	2
	構成比		93.3%	12.1%	0.4%	10.8%	9.2%	3.8%	4.6%	0.8%
知的障害	人数	305	284	22	3	25	21	11	19	4
	構成比		93.1%	7.2%	1.0%	8.2%	6.9%	3.6%	6.2%	1.3%
精神障害	人数	7	6	1	0	1	0	1	0	0
	構成比		85.7%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	63	6	1	6	5	2	6	1
	構成比		95.5%	9.1%	1.5%	9.1%	7.6%	3.0%	9.1%	1.5%
無回答	人数	3	2	0	0	0	1	0	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

(4) 災害時に地域の方による避難の支援の必要性

問 38 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(○は1つ)

「必要である」が 39.5%、「時間帯によっては必要である」が 32.1%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	必要である	時間帯によっては必要である	必要ではない	無回答
全体	人数	461	182	148	121	10
	構成比		39.5%	32.1%	26.2%	2.2%
身体障害	人数	240	107	76	53	4
	構成比		44.6%	31.7%	22.1%	1.7%
知的障害	人数	305	120	97	82	6
	構成比		39.3%	31.8%	26.9%	2.0%
精神障害	人数	7	4	1	2	0
	構成比		57.1%	14.3%	28.6%	0.0%
難病	人数	66	34	21	9	2
	構成比		51.5%	31.8%	13.6%	3.0%
無回答	人数	3	0	1	1	1
	構成比		0.0%	33.3%	33.3%	33.3%

(5) 災害時に不安に思うこと

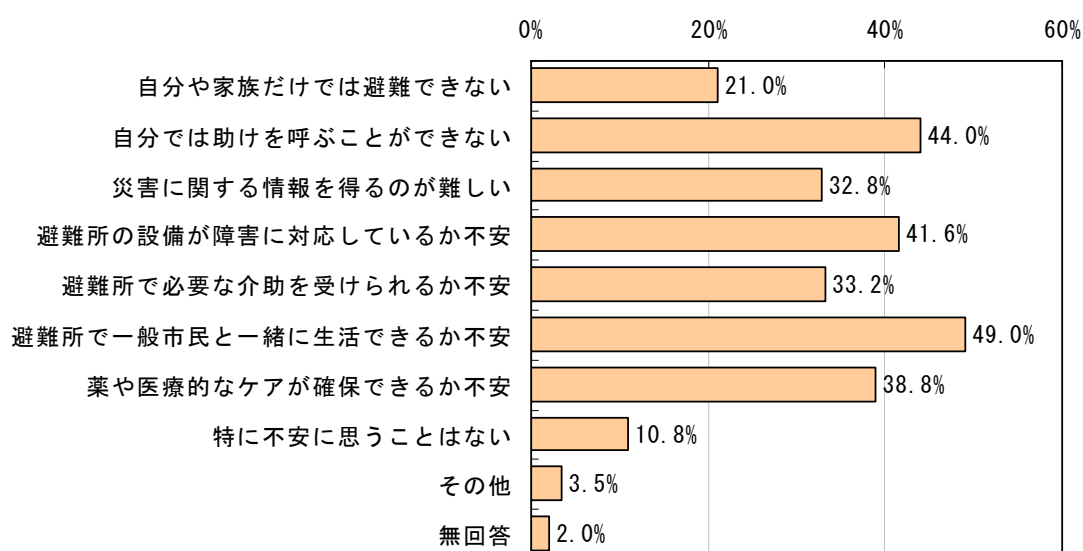
問 39 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が49.0%、「自分では助けを呼ぶことができない」が44.0%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が41.6%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方では「避難所の設備が障害に対応しているか不安」、知的障害のある方では「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、難病のある方では「薬屋医療的なケアが確保できるか不安」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回新設した「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」への回答が最も多くなったのが特徴です。

●全体



(N=461)

●障害種別

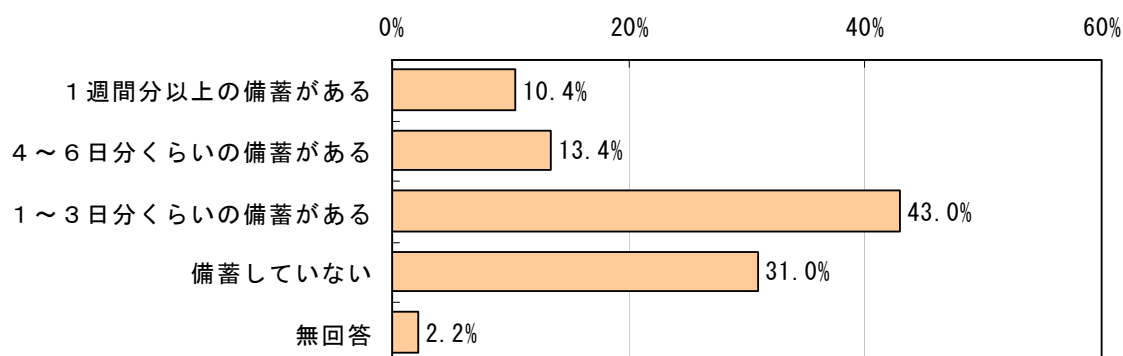
		合計	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	人数	461	97	203	151	192	153	226	179	50	16	9
	構成比		21.0%	44.0%	32.8%	41.6%	33.2%	49.0%	38.8%	10.8%	3.5%	2.0%
身体障害	人数	240	62	92	81	139	105	110	129	20	12	4
	構成比		25.8%	38.3%	33.8%	57.9%	43.8%	45.8%	53.8%	8.3%	5.0%	1.7%
知的障害	人数	305	62	157	94	111	96	167	105	33	11	5
	構成比		20.3%	51.5%	30.8%	36.4%	31.5%	54.8%	34.4%	10.8%	3.6%	1.6%
精神障害	人数	7	3	4	3	4	3	6	6	0	0	0
	構成比		42.9%	57.1%	42.9%	57.1%	42.9%	85.7%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	23	24	17	35	28	26	44	3	3	3
	構成比		34.8%	36.4%	25.8%	53.0%	42.4%	39.4%	66.7%	4.5%	4.5%	4.5%
無回答	人数	3	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1
	構成比		33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%

(6) 災害発生に備えた備蓄状況

問 40 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」が43.0%、「備蓄していない」が31.0%となっています。また、問39で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のうち、避難生活に必要な薬や装具等を「備蓄していない」と回答した方は19.6%となっています。

●全体



●障害種別

(N=461)

		合計	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全体	人数	461	48	62	198	143	10
	構成比		10.4%	13.4%	43.0%	31.0%	2.2%
身体障害	人数	240	33	41	103	57	6
	構成比		13.8%	17.1%	42.9%	23.8%	2.5%
知的障害	人数	305	24	40	137	100	4
	構成比		7.9%	13.1%	44.9%	32.8%	1.3%
精神障害	人数	7	2	2	3	0	0
	構成比		28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	13	9	25	16	3
	構成比		19.7%	13.6%	37.9%	24.2%	4.5%
無回答	人数	3	0	0	2	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%

●障害種別（問39で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」と回答した方のみ）

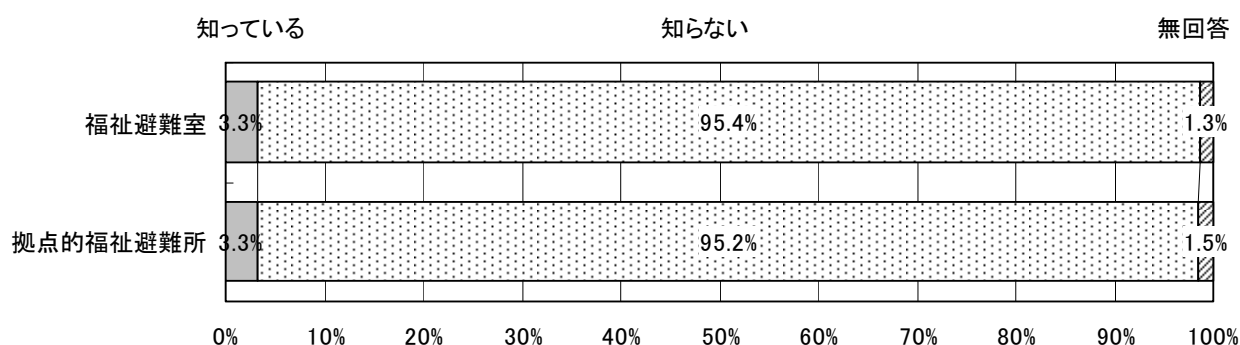
		総計	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全体	人数	179	32	36	74	35	2
	構成比		17.9%	20.1%	41.3%	19.6%	1.1%
身体障害	人数	129	26	29	53	20	1
	構成比		20.2%	22.5%	41.1%	15.5%	0.8%
知的障害	人数	105	14	19	50	21	1
	構成比		13.3%	18.1%	47.6%	20.0%	1.0%
精神障害	人数	6	2	2	2	0	0
	構成比		33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	44	11	9	16	7	1
	構成比		25.0%	20.5%	36.4%	15.9%	2.3%
無回答	人数	1	0	0	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

(7) 福祉避難所

問 41 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。(①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかに○)

「福祉避難室」、「拠点福祉避難所」ともに、「知らない」が約95%となっています。

●全体



●障害種別

【福祉避難室】

		合計	知っている	知らない	無回答
全体	人数	461	15	440	6
	構成比		3.3%	95.4%	1.3%
身体障害	人数	240	6	230	4
	構成比		2.5%	95.8%	1.7%
知的障害	人数	305	12	290	3
	構成比		3.9%	95.1%	1.0%
精神障害	人数	7	0	7	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
難病	人数	66	3	61	2
	構成比		4.5%	92.4%	3.0%
無回答	人数	3	0	2	1
	構成比		0.0%	66.7%	33.3%

【拠点福祉避難所】

		合計	知っている	知らない	無回答
全体	人数	461	15	439	7
	構成比		3.3%	95.2%	1.5%
身体障害	人数	240	10	226	4
	構成比		4.2%	94.2%	1.7%
知的障害	人数	305	13	288	4
	構成比		4.3%	94.4%	1.3%
精神障害	人数	7	0	7	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
難病	人数	66	3	61	2
	構成比		4.5%	92.4%	3.0%
無回答	人数	3	0	2	1
	構成比		0.0%	66.7%	33.3%

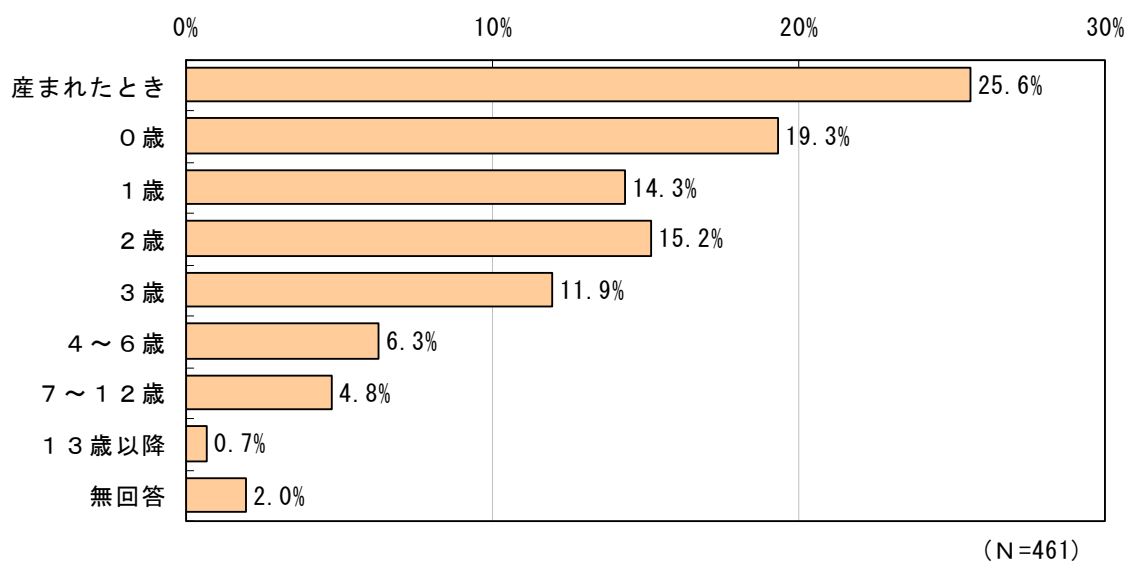
7. 療育・保育について

(1) 障害に気づいた時期

問 42 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(〇は1つ)

全体では、「産まれたとき」が25.6%、「0歳」が19.3%となっています。
障害種別で見ると、知的障害のある方では、「2歳」、「3歳」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	産まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13歳以降	無回答
全体	人数	461	118	89	66	70	55	29	22	3	9
	構成比		25.6%	19.3%	14.3%	15.2%	11.9%	6.3%	4.8%	0.7%	2.0%
身体障害	人数	240	90	68	28	16	13	12	7	0	6
	構成比		37.5%	28.3%	11.7%	6.7%	5.4%	5.0%	2.9%	0.0%	2.5%
知的障害	人数	305	60	51	46	60	46	18	15	3	6
	構成比		19.7%	16.7%	15.1%	19.7%	15.1%	5.9%	4.9%	1.0%	2.0%
精神障害	人数	7	3	0	0	0	1	2	1	0	0
	構成比		42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	22	20	5	1	3	8	4	1	2
	構成比		33.3%	30.3%	7.6%	1.5%	4.5%	12.1%	6.1%	1.5%	3.0%
無回答	人数	3	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

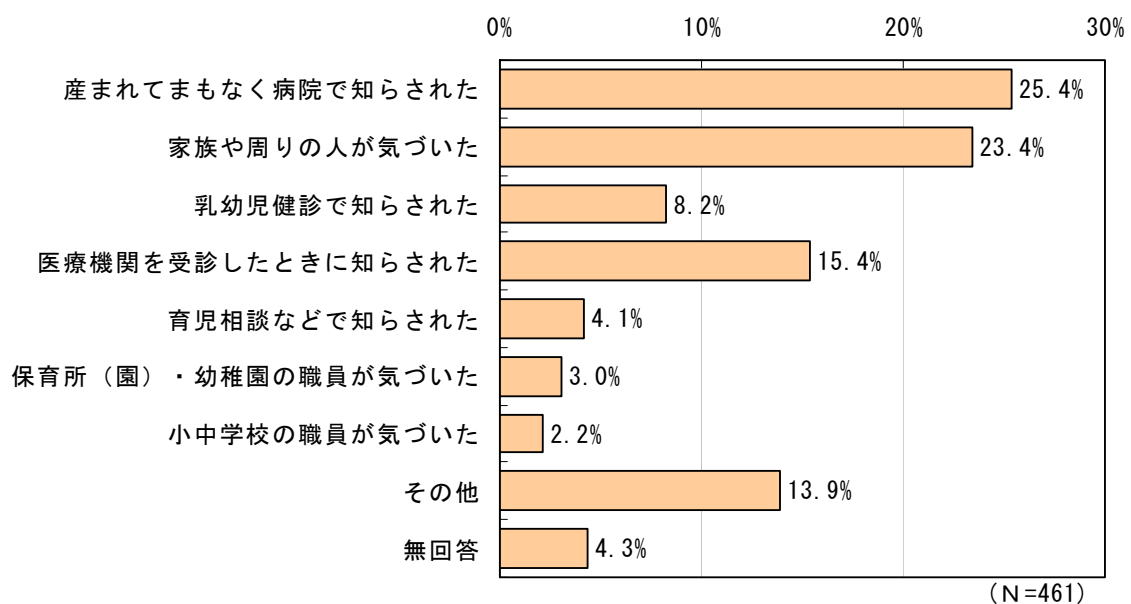
(2) 障害に気づいたきっかけ

問 43 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(〇は1つ)

全体では、「産まれてまもなく病院で知らされた」が25.4%、「家族や周りの人が気づいた」が23.4%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方や難病のある方では「産まれてまもなく病院で知らされた」、知的障害のある方では「家族や周りの人が気づいた」が最も多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	産まれてまもなく病院で知らされた	家族や周りの人が気づいた	乳幼児健診で知らされた	医療機関を受診したときに知らされた	育児相談などで知らされた	保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた	小中学校の職員が気づいた	その他	無回答
全体	人数	461	117	108	38	71	19	14	10	64	20
	構成比		25.4%	23.4%	8.2%	15.4%	4.1%	3.0%	2.2%	13.9%	4.3%
身体障害	人数	240	86	43	8	46	0	4	0	45	8
	構成比		35.8%	17.9%	3.3%	19.2%	0.0%	1.7%	0.0%	18.8%	3.3%
知的障害	人数	305	65	76	33	41	19	10	9	38	14
	構成比		21.3%	24.9%	10.8%	13.4%	6.2%	3.3%	3.0%	12.5%	4.6%
精神障害	人数	7	3	0	0	1	0	1	1	0	1
	構成比		42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
難病	人数	66	21	14	1	14	0	0	1	12	3
	構成比		31.8%	21.2%	1.5%	21.2%	0.0%	0.0%	1.5%	18.2%	4.5%
無回答	人数	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1
	構成比		0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%

(3) 療育・保育について困っていること

問 44 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（〇はいくつでも）

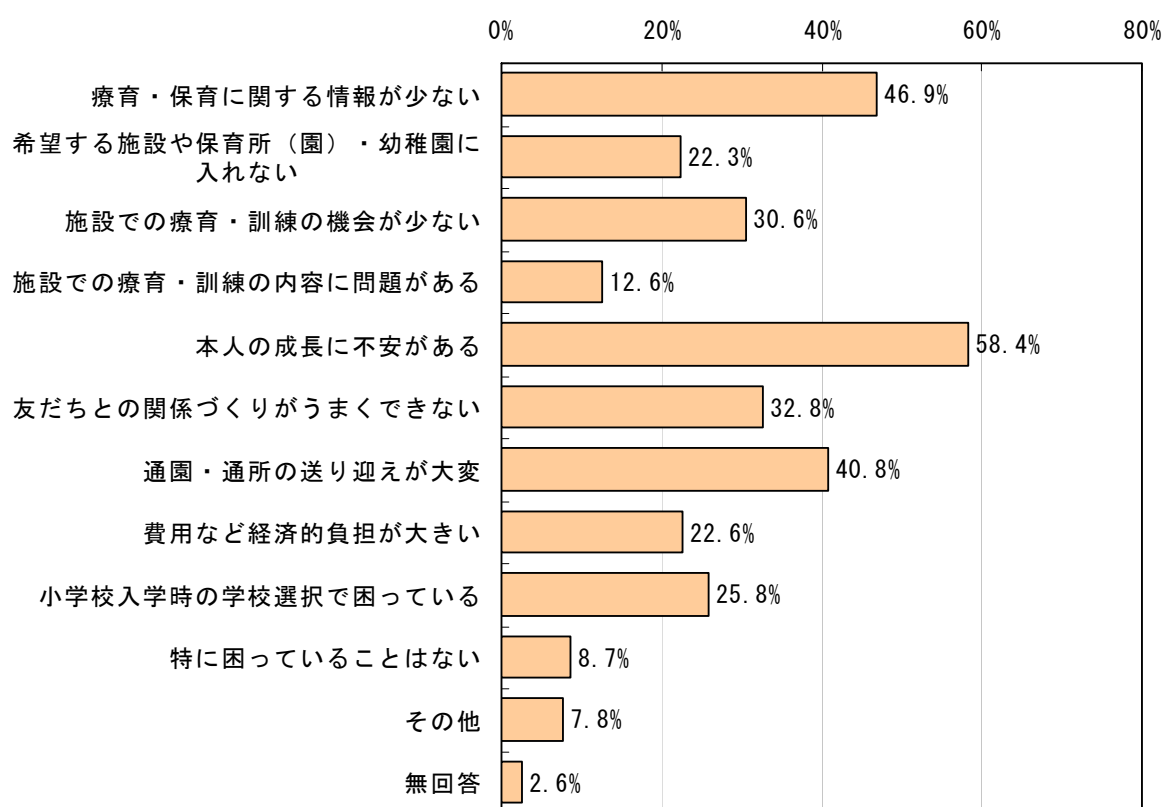
全体では、「本人の成長に不安がある」が58.4%、「療育・保育に関する情報が少ない」が46.9%、「通園・通所の送り迎えが大変」が40.8%となっています。

障害種別で見ると、知的障害のある方において、「本人の成長に不安がある」、「療育・保育に関する情報が少ない」が他障害のある方と比較して多くなっています。

年齢別で見ると、「本人の成長に不安がある」以外において、0～5歳では「療育・保育に関する情報が少ない」が多くなっています。

前回調査と比較すると、1位から3位までの項目は同じ内容となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所（園）・幼稚園に入れにくい	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	216	103	141	58	269	151	188	104	119	40	36	12
	構成比		46.9%	22.3%	30.6%	12.6%	58.4%	32.8%	40.8%	22.6%	25.8%	8.7%	7.8%	2.6%
身体障害	人数	240	107	56	57	26	128	46	103	59	51	23	18	5
	構成比		44.6%	23.3%	23.8%	10.8%	53.3%	19.2%	42.9%	24.6%	21.3%	9.6%	7.5%	2.1%
知的障害	人数	305	155	74	107	49	193	121	132	64	88	21	25	6
	構成比		50.8%	24.3%	35.1%	16.1%	63.3%	39.7%	43.3%	21.0%	28.9%	6.9%	8.2%	2.0%
精神障害	人数	7	4	0	2	1	3	1	4	1	1	1	0	0
	構成比		57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	32	12	16	6	36	8	22	7	10	4	8	3
	構成比		48.5%	18.2%	24.2%	9.1%	54.5%	12.1%	33.3%	10.6%	15.2%	6.1%	12.1%	4.5%
無回答	人数	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

●年齢別

		合計	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所（園）・幼稚園に入れにくい	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	216	103	141	58	269	151	188	104	119	40	36	12
	構成比		46.9%	22.3%	30.6%	12.6%	58.4%	32.8%	40.8%	22.6%	25.8%	8.7%	7.8%	2.6%
0～2歳	人数	7	4	3	2	1	4	1	1	0	1	0	0	1
	構成比		57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
3～5歳	人数	58	38	18	25	11	39	19	26	14	35	2	7	0
	構成比		65.5%	31.0%	43.1%	19.0%	67.2%	32.8%	44.8%	24.1%	60.3%	3.4%	12.1%	0.0%
6～8歳	人数	91	44	20	26	8	59	29	43	25	19	6	10	1
	構成比		48.4%	22.0%	28.6%	8.8%	64.8%	31.9%	47.3%	27.5%	20.9%	6.6%	11.0%	1.1%
9～11歳	人数	111	48	17	37	16	65	31	45	23	23	9	8	2
	構成比		43.2%	15.3%	33.3%	14.4%	58.6%	27.9%	40.5%	20.7%	20.7%	8.1%	7.2%	1.8%
12～14歳	人数	97	45	21	28	11	56	33	34	18	18	14	6	2
	構成比		46.4%	21.6%	28.9%	11.3%	57.7%	34.0%	35.1%	18.6%	18.6%	14.4%	6.2%	2.1%
15歳以上	人数	85	31	18	18	8	38	34	35	21	20	9	5	5
	構成比		36.5%	21.2%	21.2%	9.4%	44.7%	40.0%	41.2%	24.7%	23.5%	10.6%	5.9%	5.9%
無回答	人数	12	6	6	5	3	8	4	4	3	3	0	0	1
	構成比		50.0%	50.0%	41.7%	25.0%	66.7%	33.3%	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%

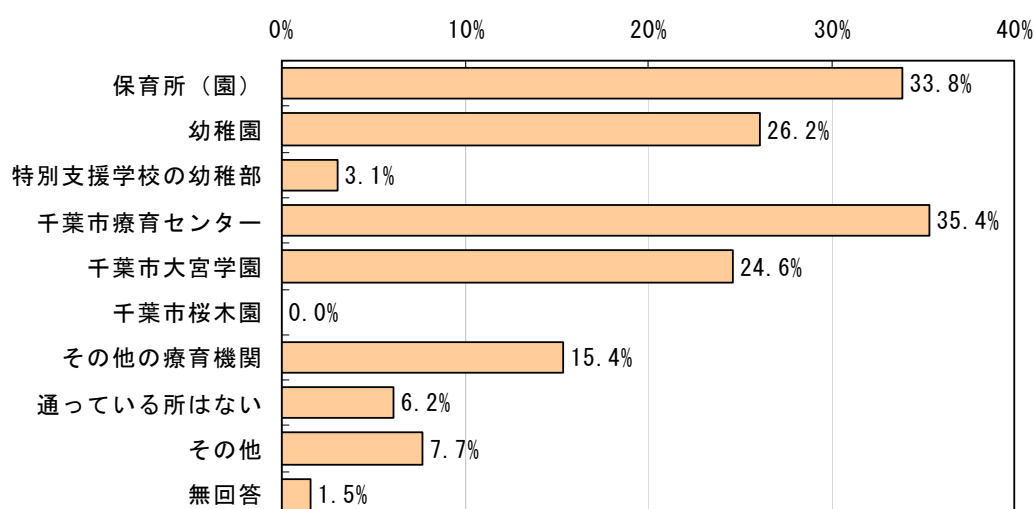
(4) 現在通っているところ（小学校入学前）

問 45 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「千葉市療育センター」が35.4%、「保育所（園）」が33.8%となっています。

障害種別で見ると、「千葉市療育センター」以外において、身体障害のある方では「保育所（園）」、知的障害のある方では「幼稚園」が多くなっています。

●全体



●障害種別

(N=65)

		合計	保育所（園）	幼稚園	特別支援学校の幼稚部	千葉市療育センター	千葉市大宮学園	千葉市桜木園	その他の療育機関	通っている所はない	その他	無回答
全体	人数	65	22	17	2	23	16	0	10	4	5	1
	構成比		33.8%	26.2%	3.1%	35.4%	24.6%	0.0%	15.4%	6.2%	7.7%	1.5%
身体障害	人数	38	13	4	2	13	5	0	3	4	3	1
	構成比		34.2%	10.5%	5.3%	34.2%	13.2%	0.0%	7.9%	10.5%	7.9%	2.6%
知的障害	人数	38	12	13	0	16	13	0	7	1	3	0
	構成比		31.6%	34.2%	0.0%	42.1%	34.2%	0.0%	18.4%	2.6%	7.9%	0.0%
精神障害	人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	9	3	1	0	2	0	0	0	3	0	0
	構成比		33.3%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●年齢別

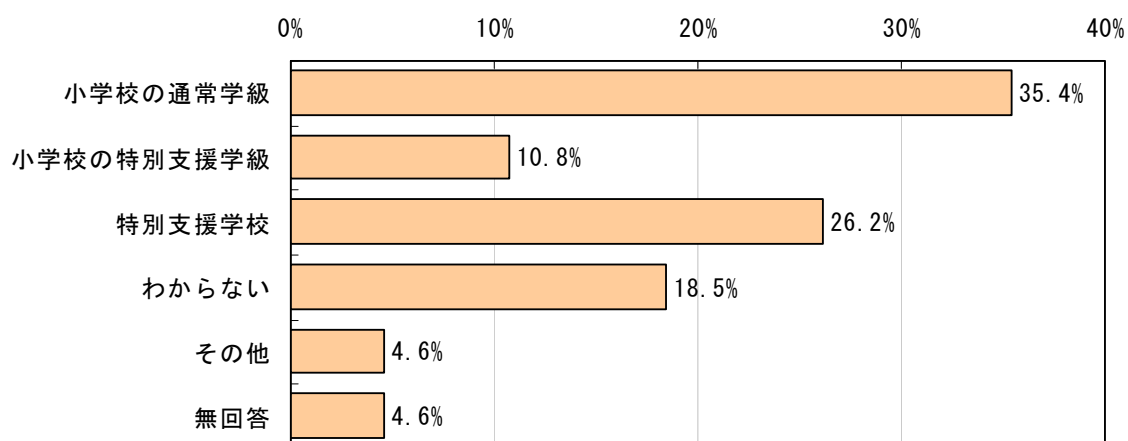
		合計	保育所（園）	幼稚園	特別支援学校の幼稚部	千葉市療育センター	千葉市大宮学園	千葉市桜木園	その他の療育機関	通っている所はない	その他	無回答
全体	人数	65	22	17	2	23	16	0	10	4	5	1
	構成比		33.8%	26.2%	3.1%	35.4%	24.6%	0.0%	15.4%	6.2%	7.7%	1.5%
0～2歳	人数	7	1	0	0	4	0	0	0	2	1	1
	構成比		14.3%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%
3～5歳	人数	58	21	17	2	19	16	0	10	2	4	0
	構成比		36.2%	29.3%	3.4%	32.8%	27.6%	0.0%	17.2%	3.4%	6.9%	0.0%

(5) 小学校入学時の希望

問 46 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

「小学校の通常学級」が 35.4%、「特別支援学校」が 26.2%となっています。

●全体



(N=65)

●障害種別

		合計	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校	わからない	その他	無回答
全体	人数	65	23	7	17	12	3	3
	構成比		35.4%	10.8%	26.2%	18.5%	4.6%	4.6%
身体障害	人数	38	12	3	14	7	1	1
	構成比		31.6%	7.9%	36.8%	18.4%	2.6%	2.6%
知的障害	人数	38	14	5	9	5	3	2
	構成比		36.8%	13.2%	23.7%	13.2%	7.9%	5.3%
精神障害	人数	1	0	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	9	2	1	2	3	1	0
	構成比		22.2%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

8. 学校・教育について

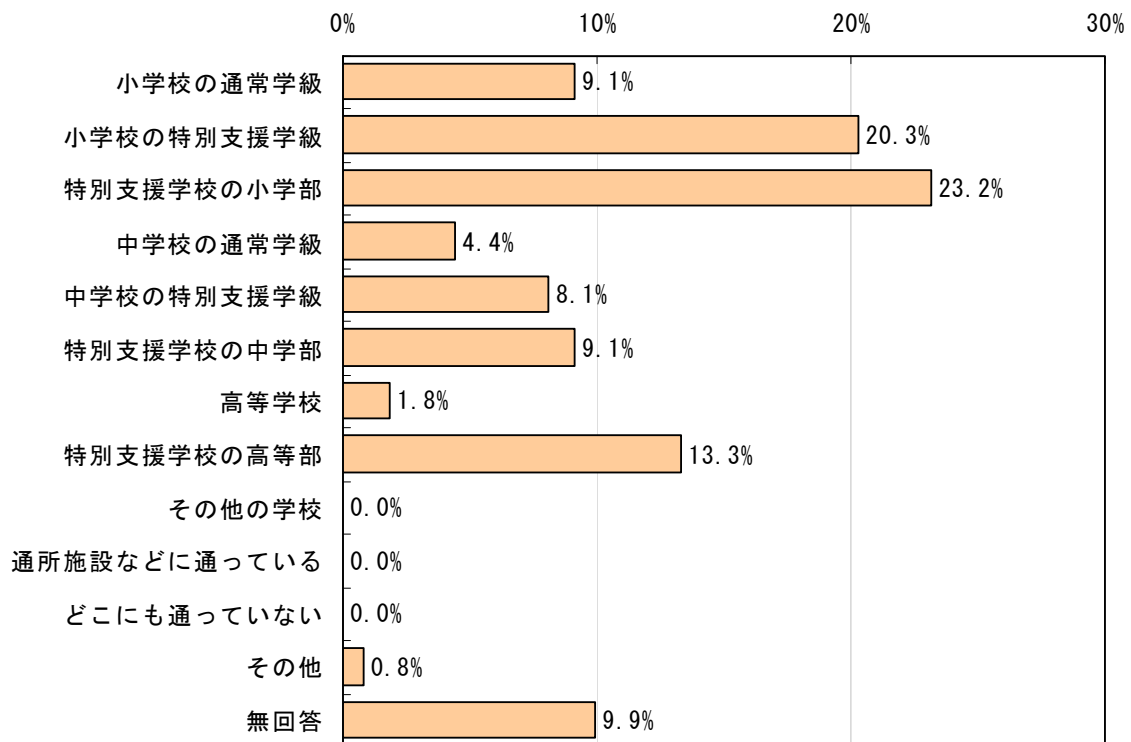
問47～51は、在学中の方のみ対象（小学校入学前・学校卒業後の場合は回答不要）

(1) 現在通っているところ（在学中）

問47 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（〇は1つ）

「特別支援学校の小学部」が23.2%、「小学校の特別支援学級」が20.3%となっています。

●全体



(N=384)

●障害種別

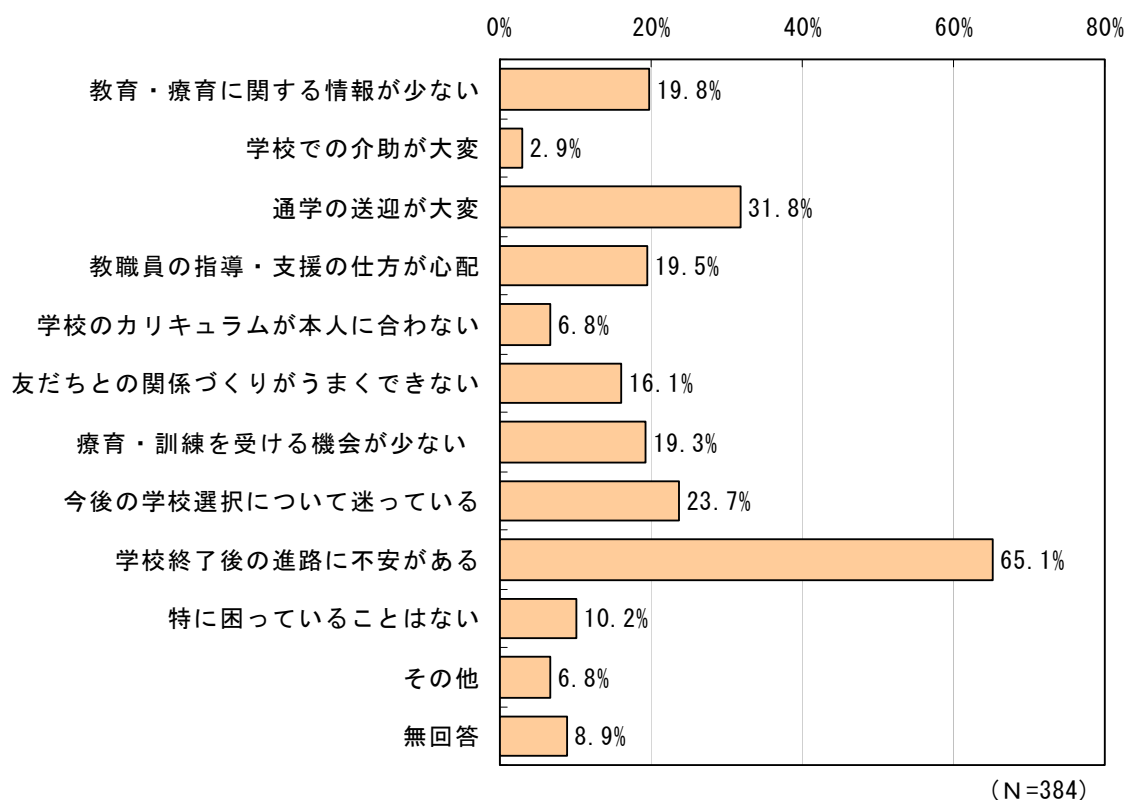
		合計	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校の小学部	中学校の通常学級	中学校の特別支援学級	特別支援学校の中学部	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	通所施設などに通っている	どこにも通っていない	その他	無回答
全体	人数	384	35	78	89	17	31	35	7	51	0	0	0	3	38
	構成比		9.1%	20.3%	23.2%	4.4%	8.1%	9.1%	1.8%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	9.9%
身体障害	人数	193	29	9	66	14	5	24	6	21	0	0	0	0	19
	構成比		15.0%	4.7%	34.2%	7.3%	2.6%	12.4%	3.1%	10.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%
知的障害	人数	260	8	73	56	4	30	18	1	43	0	0	0	3	24
	構成比		3.1%	28.1%	21.5%	1.5%	11.5%	6.9%	0.4%	16.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	9.2%
精神障害	人数	6	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
難病	人数	56	8	7	14	3	2	9	2	4	0	0	0	0	7
	構成比		14.3%	12.5%	25.0%	5.4%	3.6%	16.1%	3.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
無回答	人数	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 学校・教育について困っていること

問 48 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

「学校終了後の進路に不安がある」が65.1%、「通学の送迎が大変」が31.8%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校終了後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	384	76	11	122	75	26	62	74	91	250	39	26	34
	構成比		19.8%	2.9%	31.8%	19.5%	6.8%	16.1%	19.3%	23.7%	65.1%	10.2%	6.8%	8.9%
身体障害	人数	193	27	8	69	34	10	12	26	32	114	24	17	17
	構成比		14.0%	4.1%	35.8%	17.6%	5.2%	6.2%	13.5%	16.6%	59.1%	12.4%	8.8%	8.8%
知的障害	人数	260	63	6	83	54	20	52	60	67	189	21	14	21
	構成比		24.2%	2.3%	31.9%	20.8%	7.7%	20.0%	23.1%	25.8%	72.7%	8.1%	5.4%	8.1%
精神障害	人数	6	2	0	2	1	0	1	1	0	5	0	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	56	10	5	21	9	2	3	9	8	33	7	4	4
	構成比		17.9%	8.9%	37.5%	16.1%	3.6%	5.4%	16.1%	14.3%	58.9%	12.5%	7.1%	7.1%
無回答	人数	2	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

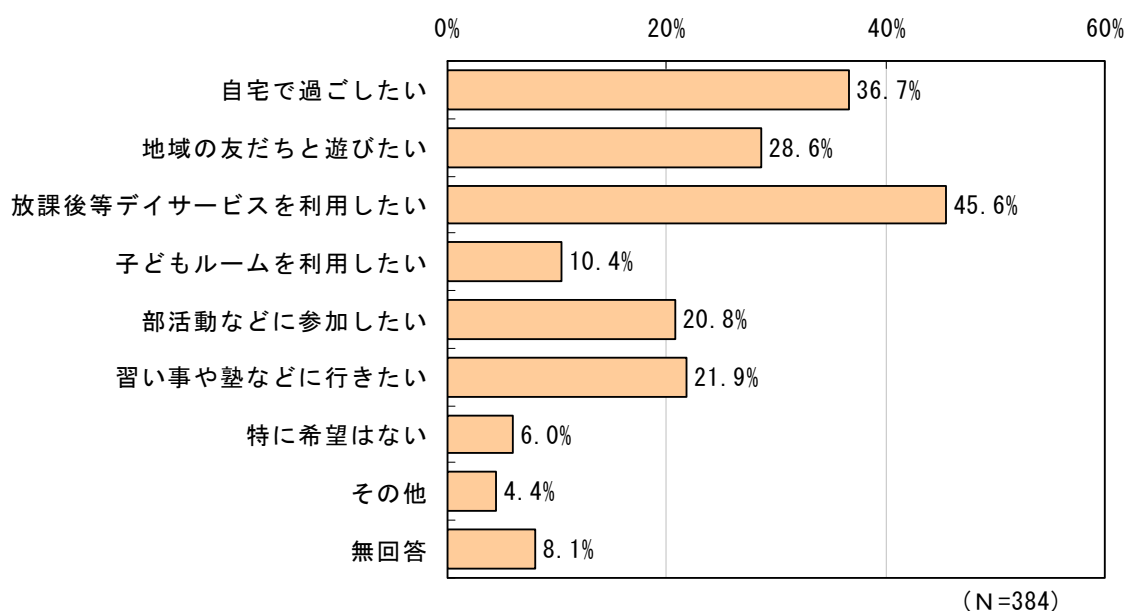
(3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 49 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

全体では、「放課後等デイサービスを利用したい」が45.6%、「自宅で過ごしたい」が36.7%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方や難病のある方では「自宅で過ごしたい」、知的障害のある方では「放課後等デイサービスを利用したい」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	自宅で過ごしたい	地域の友だちと遊びたい	放課後等デイサービスを利用したい	子どもルームを利用したい	部活動などに参加したい	習い事や塾などに行きたい	特に希望はない	その他	無回答
全体	人数	384	141	110	175	40	80	84	23	17	31
	構成比		36.7%	28.6%	45.6%	10.4%	20.8%	21.9%	6.0%	4.4%	8.1%
身体障害	人数	193	84	59	80	14	36	46	10	11	13
	構成比		43.5%	30.6%	41.5%	7.3%	18.7%	23.8%	5.2%	5.7%	6.7%
知的障害	人数	260	90	67	145	31	51	46	13	10	21
	構成比		34.6%	25.8%	55.8%	11.9%	19.6%	17.7%	5.0%	3.8%	8.1%
精神障害	人数	6	4	0	3	0	0	0	0	1	0
	構成比		66.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
難病	人数	56	23	17	19	2	9	12	2	6	4
	構成比		41.1%	30.4%	33.9%	3.6%	16.1%	21.4%	3.6%	10.7%	7.1%
無回答	人数	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

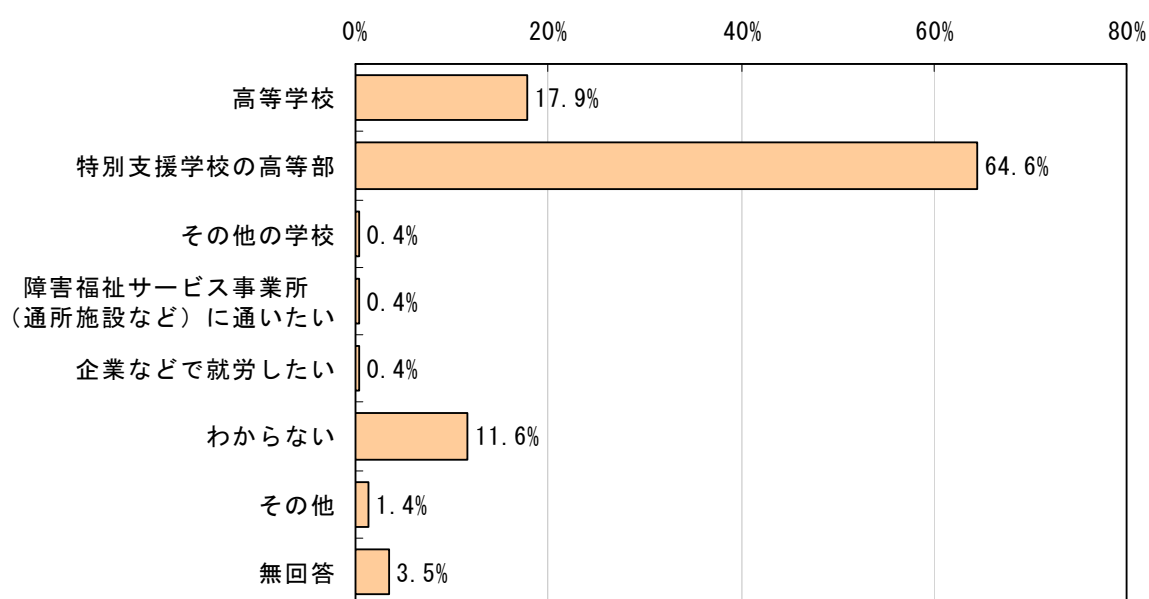
(4) 中学校卒業後の進路希望

問 50 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

全体では、「特別支援学校の高等部」が64.6%、「高等学校」が17.9%となっています。

障害種別で見ると、「特別支援学校の高等部」以外では、身体障害のある方や難病のある方では「高等学校」、知的障害のある方では「わからない」が多くなっています。

●全体



(N=285)

●障害種別

		合計	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全体	人数	285	51	184	1	1	1	33	4	10
	構成比		17.9%	64.6%	0.4%	0.4%	0.4%	11.6%	1.4%	3.5%
身体障害	人数	147	39	92	0	1	0	9	2	4
	構成比		26.5%	62.6%	0.0%	0.7%	0.0%	6.1%	1.4%	2.7%
知的障害	人数	189	16	130	1	1	1	29	3	8
	構成比		8.5%	68.8%	0.5%	0.5%	0.5%	15.3%	1.6%	4.2%
精神障害	人数	2	0	1	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
難病	人数	43	9	30	0	0	0	3	1	0
	構成比		20.9%	69.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	2.3%	0.0%
無回答	人数	2	0	2	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

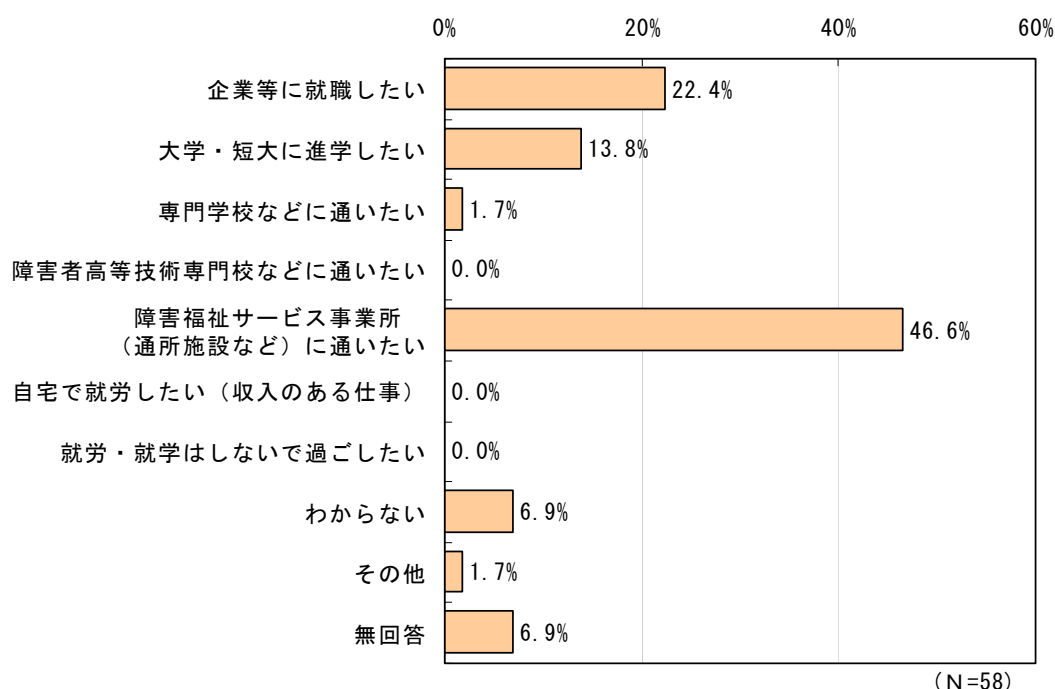
(5) 学校卒業後の進路希望

問51 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

全体では、「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」が46.6%、「企業等に就職したい」が22.4%となっています。

障害種別で見ると、「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」以外において、身体障害のある方では「大学・短大に進学したい」、知的障害のある方では「企業等に就職したい」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	企業等に 就職したい	大学・短 大に進学 したい	専門学校 などに通 いたい	障害者高 等技術専 門校など に通いた い	障害福祉 サービス 事業所 （通所施 設など） に通いた い	自宅で就 労したい （収入の ある仕 事）	就労・就 学はしな いで過ご したい	わから ない	その他	無回答
全体	人数	58	13	8	1	0	27	0	0	4	1	4
	構成比		22.4%	13.8%	1.7%	0.0%	46.6%	0.0%	0.0%	6.9%	1.7%	6.9%
身体障害	人数	27	2	8	1	0	13	0	0	2	0	1
	構成比		7.4%	29.6%	3.7%	0.0%	48.1%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	3.7%
知的障害	人数	44	13	0	0	0	25	0	0	2	1	3
	構成比		29.5%	0.0%	0.0%	0.0%	56.8%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	6.8%
精神障害	人数	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	6	0	1	1	0	1	0	0	2	0	1
	構成比		0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

9. 日中活動・就労について

問52、53は、学校卒業後の方のみ対象（小学校入学前・在学中の場合は、回答不要）

(1) 平日の日中の過ごし方

問52 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

(2) 一般就労のために必要な支援

問53 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

（1）平日の日中の過ごし方、（2）一般就労のために必要な支援、に関する設問については、学校卒業後の方のみを対象としたことにより、回答者数が非常に少なかったため、結果については省略いたします。

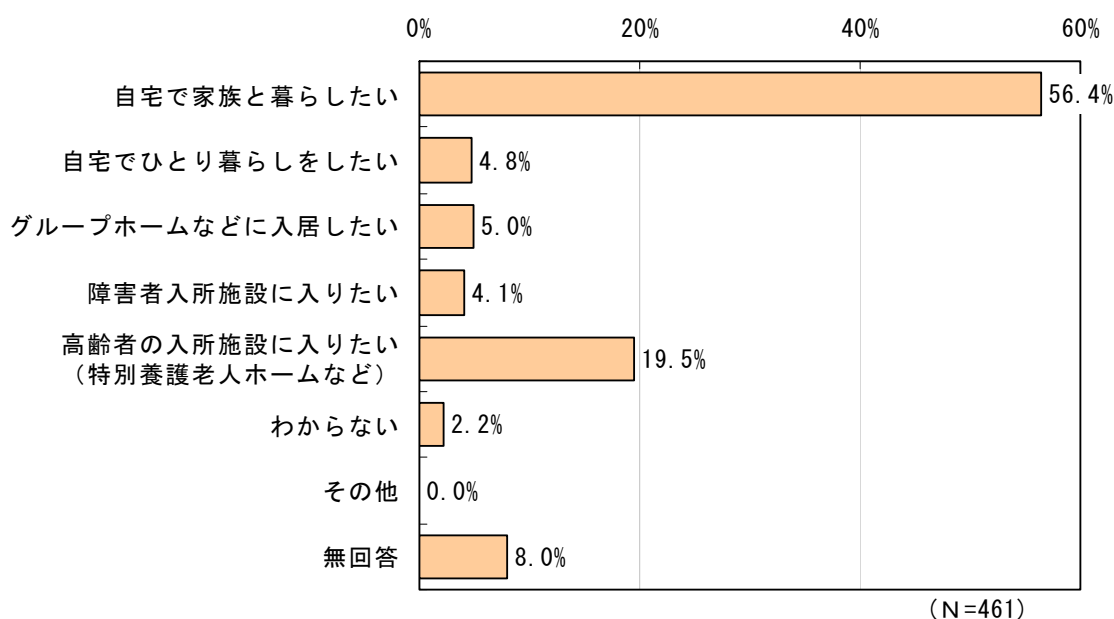
10. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 54 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」が56.4%となっており、18歳以上の在宅の方の回答（問 47）と同様の結果となっています。

●全体



●障害種別

		合計	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい (特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全体	人数	461	260	22	23	19	90	10	0	37
	構成比		56.4%	4.8%	5.0%	4.1%	19.5%	2.2%	0.0%	8.0%
身体障害	人数	240	142	14	3	13	44	7	0	17
	構成比		59.2%	5.8%	1.3%	5.4%	18.3%	2.9%	0.0%	7.1%
知的障害	人数	305	171	8	21	17	53	7	0	28
	構成比		56.1%	2.6%	6.9%	5.6%	17.4%	2.3%	0.0%	9.2%
精神障害	人数	7	4	0	0	2	1	0	0	0
	構成比		57.1%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	38	4	1	1	12	3	0	7
	構成比		57.6%	6.1%	1.5%	1.5%	18.2%	4.5%	0.0%	10.6%
無回答	人数	3	1	0	0	0	1	0	0	1
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

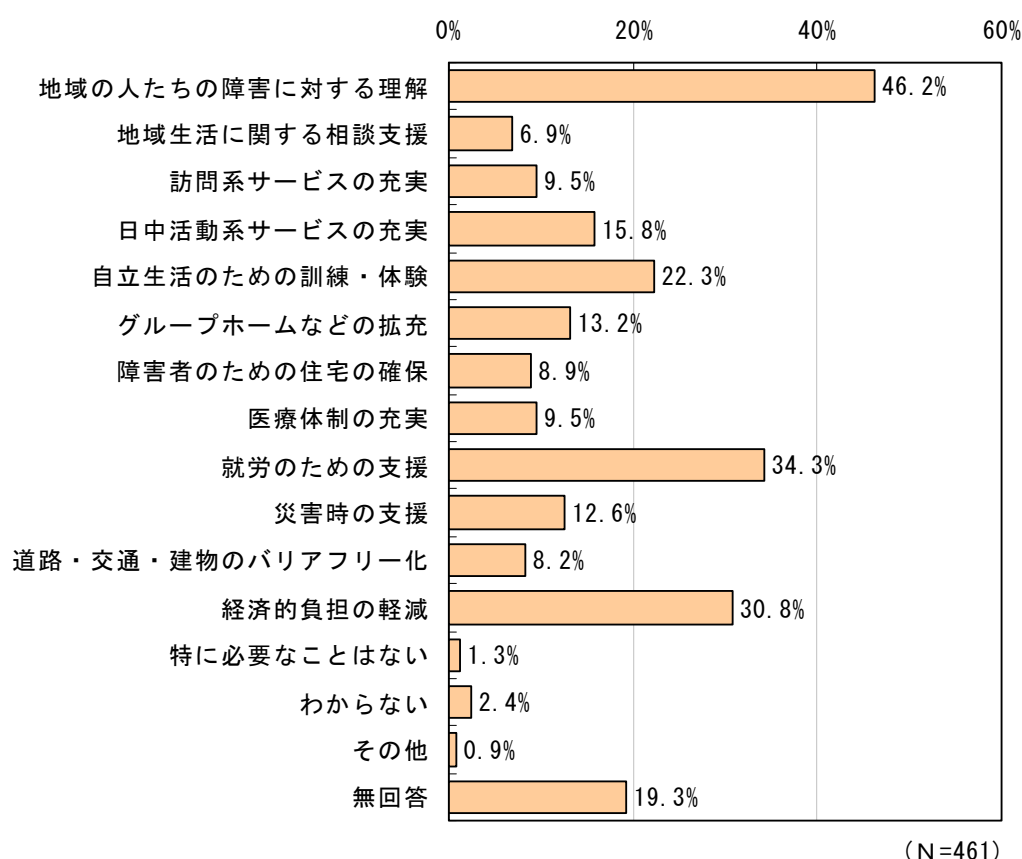
(2) 地域生活のために必要なこと

問 55 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が46.2%、「就労のための支援」が34.3%、「経済的負担の軽減」が30.8%となっています。

障害種別で見ると、「地域の人たちの障害に対する理解」以外において、身体障害のある方や難病のある方では「経済的負担の軽減」、知的障害のある方では「就労のための支援」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全体	人数	461	213	32	44	73	103	61	41	44	158	58	38	142	6	11	4	89
	構成比		46.2%	6.9%	9.5%	15.8%	22.3%	13.2%	8.9%	9.5%	34.3%	12.6%	8.2%	30.8%	1.3%	2.4%	0.9%	19.3%
身体障害	人数	240	100	15	30	43	35	27	22	36	56	34	35	88	2	5	1	49
	構成比		41.7%	6.3%	12.5%	17.9%	14.6%	11.3%	9.2%	15.0%	23.3%	14.2%	14.6%	36.7%	0.8%	2.1%	0.4%	20.4%
知的障害	人数	305	151	24	28	56	84	53	25	17	116	36	9	82	4	7	4	54
	構成比		49.5%	7.9%	9.2%	18.4%	27.5%	17.4%	8.2%	5.6%	38.0%	11.8%	3.0%	26.9%	1.3%	2.3%	1.3%	17.7%
精神障害	人数	7	5	0	2	2	2	1	0	1	2	2	0	2	0	0	0	0
	構成比		71.4%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	21	4	7	13	8	8	11	11	16	12	10	21	0	1	1	13
	構成比		31.8%	6.1%	10.6%	19.7%	12.1%	12.1%	16.7%	16.7%	24.2%	18.2%	15.2%	31.8%	0.0%	1.5%	1.5%	19.7%
無回答	人数	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

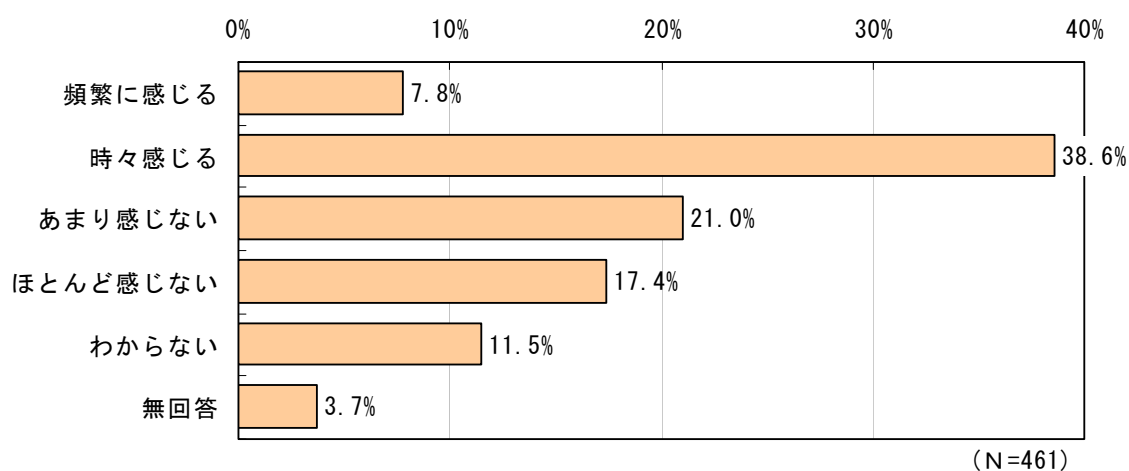
11. 障害のある人に対する理解度について

(1) 地域で生活していて感じる差別の有無

問 56 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じるがありますか。(〇は1つ)

「時々感じる」が38.6%、「あまり感じない」が21.0%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない	無回答
全体	人数	461	36	178	97	80	53	17
	構成比		7.8%	38.6%	21.0%	17.4%	11.5%	3.7%
身体障害	人数	240	20	94	45	46	26	9
	構成比		8.3%	39.2%	18.8%	19.2%	10.8%	3.8%
知的障害	人数	305	25	123	65	47	36	9
	構成比		8.2%	40.3%	21.3%	15.4%	11.8%	3.0%
精神障害	人数	7	1	3	1	1	0	1
	構成比		14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
難病	人数	66	7	27	8	13	9	2
	構成比		10.6%	40.9%	12.1%	19.7%	13.6%	3.0%
無回答	人数	3	0	1	1	0	0	1
	構成比		0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

(2) 差別を感じた場面

問57 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。

全体では 179 件の意見がありました。

	全体	① 外出先等	② 店舗・施設等	③ 教育・療育の場	④ 差別は感じない	⑤ その他
件数（件）	179	26	29	28	20	87
構成比（％）	100.0	14.5	15.6	15.6	11.2	48.6

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 外出先等での体験（26 件）

じろじろ見られることがあるとの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
装具をつけて外出するとジロジロ見られる	身体障害 (肢体不自由)	5	女性	家族
人にじっと見られる。面倒な対応をされる。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	11	女性	不明

② 店舗や施設などでの体験（29 件）

店舗や施設への入場を断られたなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
家族で外食しようとしたら、お店が混んでいて車イスが通れなく、進路をゆずってくれないばかりか店側に迷惑がられた。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	7	女性	家族
食事などで店内に入れない	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	14	男性	家族

③ 療育・教育の場での体験（28 件）

幼稚園や保育園の入園時などにおける意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
幼稚園に入園希望したらことわられた。学校でも親の付き添いを求められたり、支援級をすすめるような発言がある。	知的障害	9	女性	家族
幼稚園で3件ことわられた。言葉の療育で知的障害は×。聞こえているから手話を勉強したくても×。いったい療育をどこで受けられるのでしょうか…。学校の先生も模索しているうちに卒業ですヨ…。	知的障害	14	男性	不明

④ 差別は感じない（20 件）

特になしなどの意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
特になし	知的障害	6	男性	家族
特にない	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	16	男性	本人

⑤ その他（87 件）

地域交流・地域の施設が利用出来なかったなどの意見がありました。

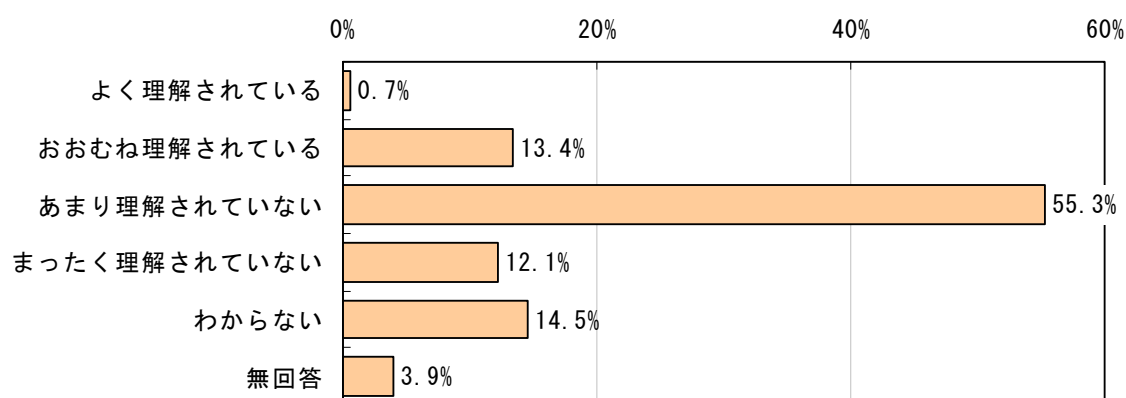
ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
地域の映画交流に入れてくれなかった。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	17	男性	家族
昔4～5才の頃だけど、遊べるミニコーナーで知らない子だけど一緒に遊ぼうとしたら、その子のお父さんたちが割って入って遊ばせてくれなかった。	知的障害	16	男性	家族

(3) 障害のある人に対する市民の理解度

問 58 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は 1 つ)

「あまり理解されていない」が 55.3%、「わからない」が 14.5%、「おおむね理解されている」が 13.4%、「まったく理解されていない」が 12.1%となっています。

●全体



(N=461)

●障害種別

		合計	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全体	人数	461	3	62	255	56	67	18
	構成比		0.7%	13.4%	55.3%	12.1%	14.5%	3.9%
身体障害	人数	240	3	37	123	29	38	10
	構成比		1.3%	15.4%	51.3%	12.1%	15.8%	4.2%
知的障害	人数	305	0	36	180	39	39	11
	構成比		0.0%	11.8%	59.0%	12.8%	12.8%	3.6%
精神障害	人数	7	0	1	4	0	1	1
	構成比		0.0%	14.3%	57.1%	0.0%	14.3%	14.3%
難病	人数	66	0	8	33	10	13	2
	構成比		0.0%	12.1%	50.0%	15.2%	19.7%	3.0%
無回答	人数	3	0	0	2	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%

12. サービス利用について

(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

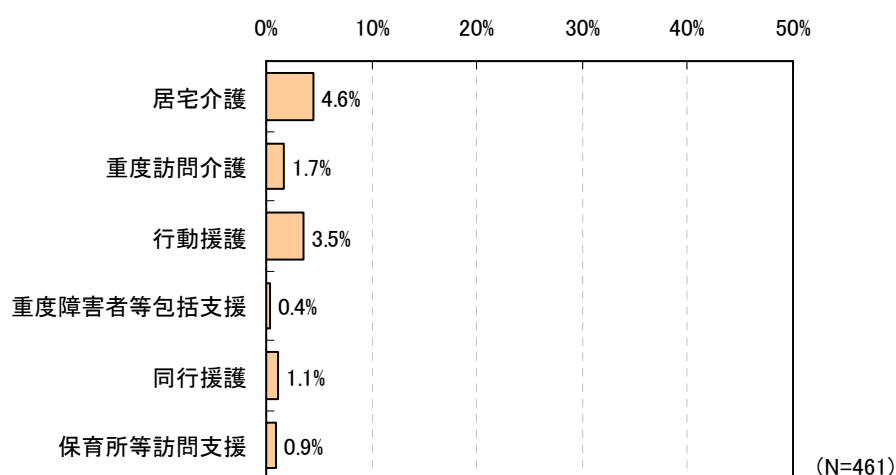
問 59 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思っていますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、全体では「居宅介護」が4.6%、「行動援護」が3.5%となっています。

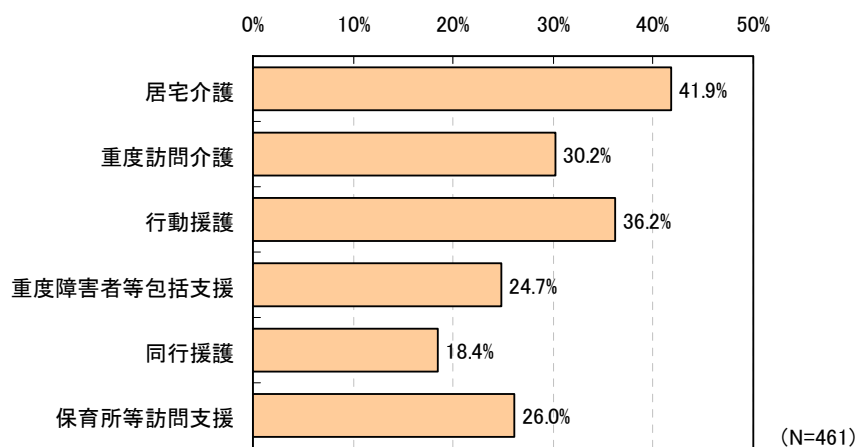
利用したいサービスについて見ると、全体では「居宅介護」が41.9%、「行動援護」が36.2%、「重度訪問介護」が30.2%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

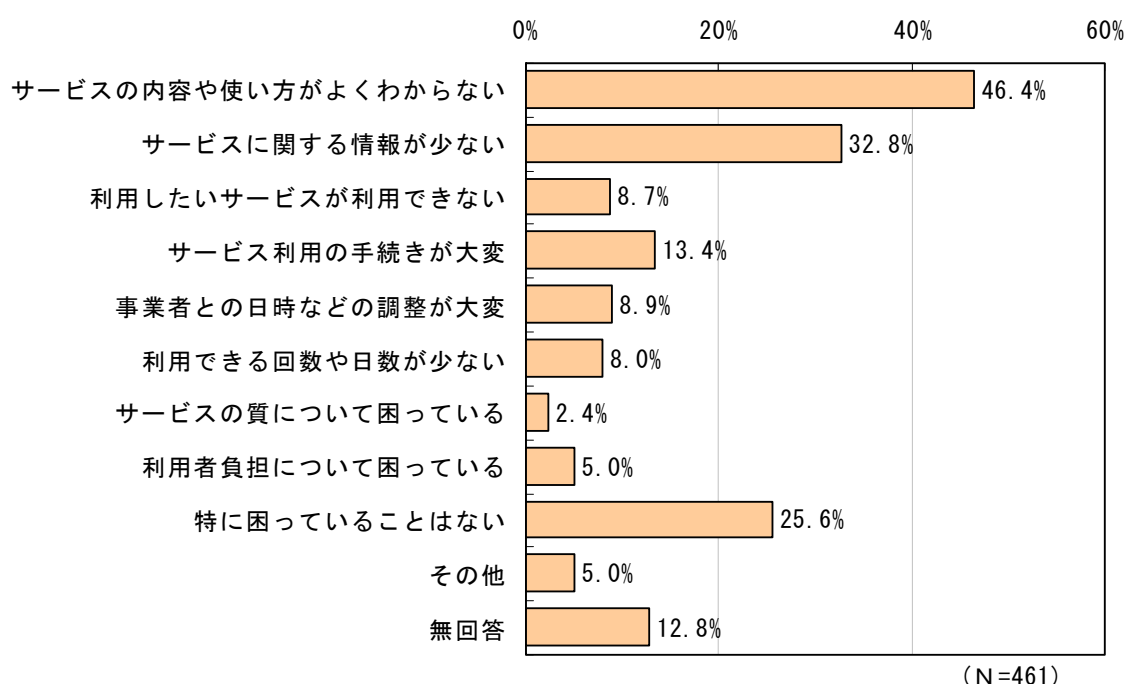


(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 60 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が25.6%で、困っていることがある方については、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が46.4%、「サービスに関する情報が少ない」が32.8%、「サービスに関する情報が少ない」が32.8%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	サービスの 内容や使い 方がよくわ からない	サービ スに関 する情 報が少 ない	利用し たいサ ービス が利用 でき ない	サービ ス利用 の手続 きが大 変	事業者 との日 時など の調整 が大変	利用で きる回 数や日 数が少 ない	サービ スの質 につい て困っ ている	利用者 負担に ついて 困って いる	特に 困って いるこ とはな い	その他	無回答
全体	人数	461	214	151	40	62	41	37	11	23	118	23	59
	構成比		46.4%	32.8%	8.7%	13.4%	8.9%	8.0%	2.4%	5.0%	25.6%	5.0%	12.8%
身体障害	人数	240	111	75	24	32	27	21	8	12	60	16	25
	構成比		46.3%	31.3%	10.0%	13.3%	11.3%	8.8%	3.3%	5.0%	25.0%	6.7%	10.4%
知的障害	人数	305	142	107	28	45	29	28	8	14	77	11	37
	構成比		46.6%	35.1%	9.2%	14.8%	9.5%	9.2%	2.6%	4.6%	25.2%	3.6%	12.1%
精神障害	人数	7	2	3	1	1	0	0	0	0	2	0	1
	構成比		28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%
難病	人数	66	34	20	10	10	7	2	4	4	11	8	9
	構成比		51.5%	30.3%	15.2%	15.2%	10.6%	3.0%	6.1%	6.1%	16.7%	12.1%	13.6%
無回答	人数	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

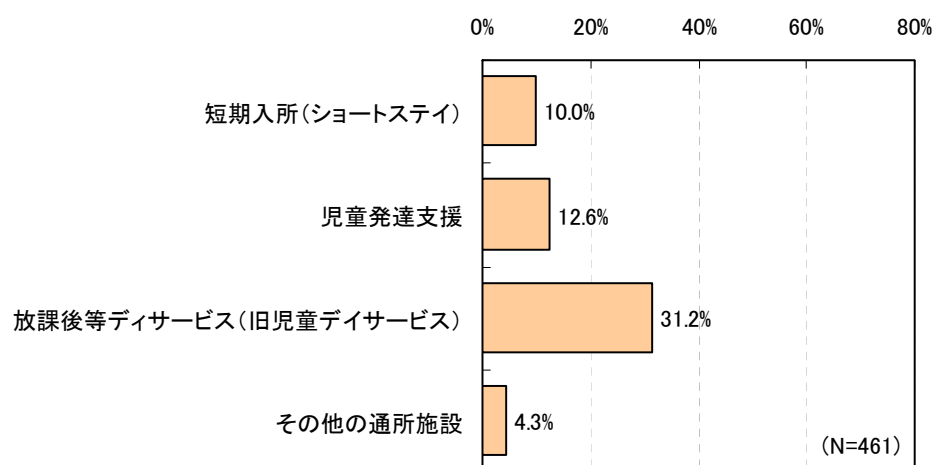
問 61 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、全体では「放課後等デイサービス（旧児童デイサービス）」が31.2%となっています。

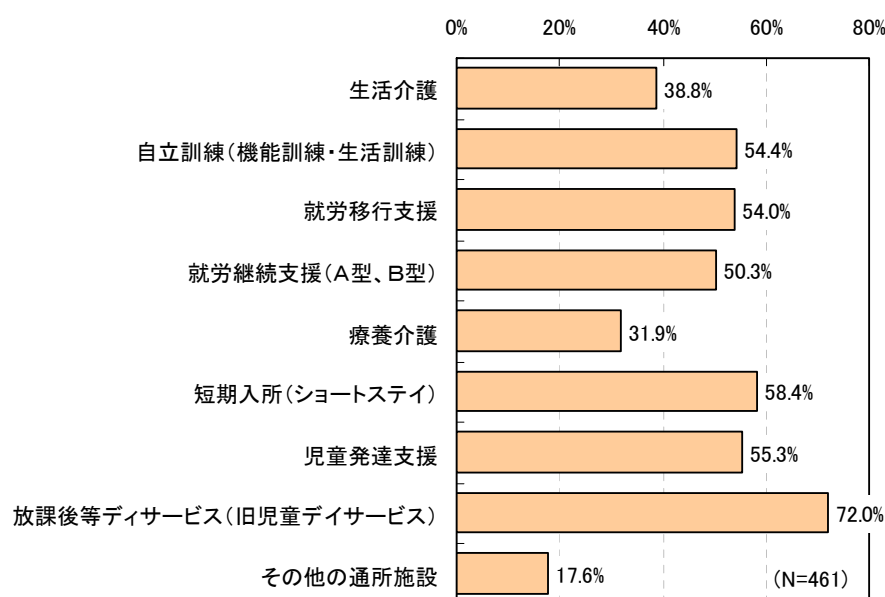
利用したいサービスについて見ると、全体では「放課後等デイサービス（旧児童デイサービス）」が72.0%、「短期入所（ショートステイ）」が58.4%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

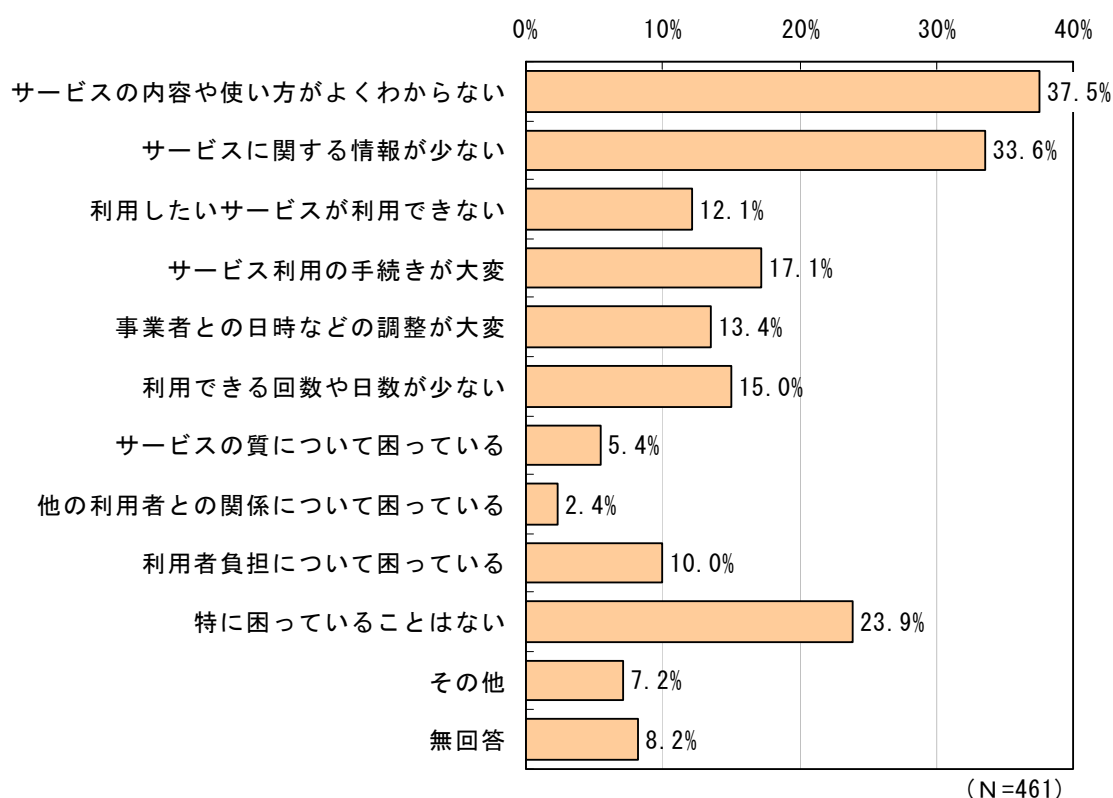


(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 62 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「サービスの内容や使い方がよくわからない」が37.5%、「サービスに関する情報が少ない」が33.6%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質について困っている	他の利用者との関係について困っている	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	人数	461	173	155	56	79	62	69	25	11	46	110	33	38
	構成比		37.5%	33.6%	12.1%	17.1%	13.4%	15.0%	5.4%	2.4%	10.0%	23.9%	7.2%	8.2%
身体障害	人数	240	87	80	24	37	30	34	14	4	19	55	17	21
	構成比		36.3%	33.3%	10.0%	15.4%	12.5%	14.2%	5.8%	1.7%	7.9%	22.9%	7.1%	8.8%
知的障害	人数	305	108	106	46	64	54	50	22	9	34	73	26	18
	構成比		35.4%	34.8%	15.1%	21.0%	17.7%	16.4%	7.2%	3.0%	11.1%	23.9%	8.5%	5.9%
精神障害	人数	7	3	4	2	0	0	1	0	0	1	2	1	0
	構成比		42.9%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%
難病	人数	66	31	17	6	10	5	6	5	2	3	12	5	9
	構成比		47.0%	25.8%	9.1%	15.2%	7.6%	9.1%	7.6%	3.0%	4.5%	18.2%	7.6%	13.6%
無回答	人数	3	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	構成比		33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

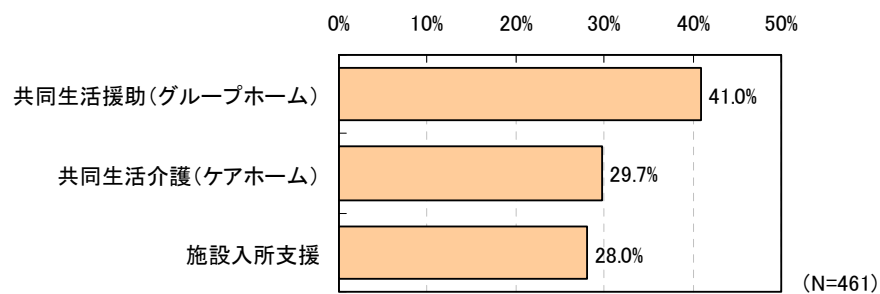
(5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

問 63 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと
思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用したいサービスについて見ると、全体では「共同生活援助(グループホーム)」が41.0%、
となっています。

●全体

今後の利用希望



(6) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

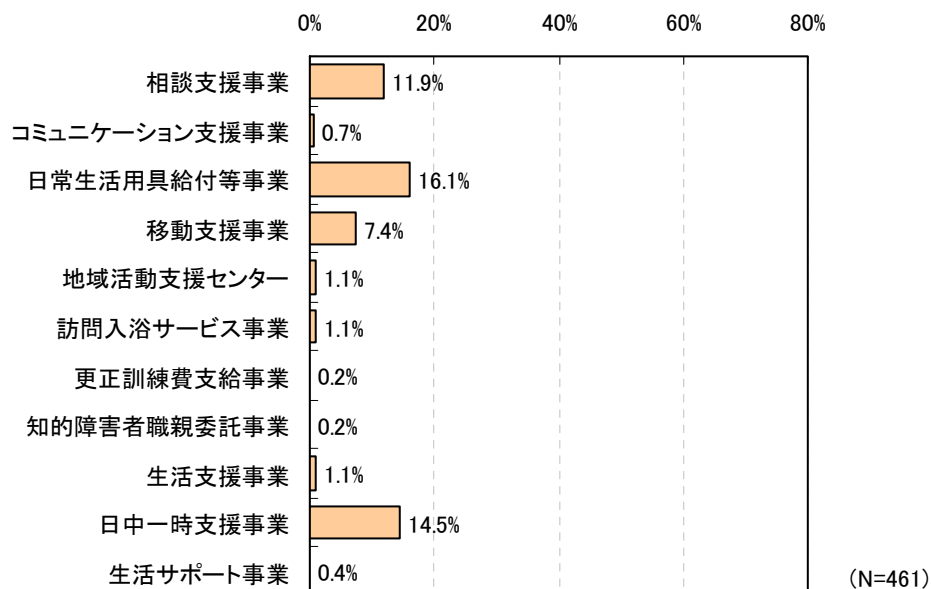
問 64 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、全体では、「日常生活用具給付等事業」が16.1%、「日中一時支援事業」が14.5%、「相談支援事業」が11.9%となっています。

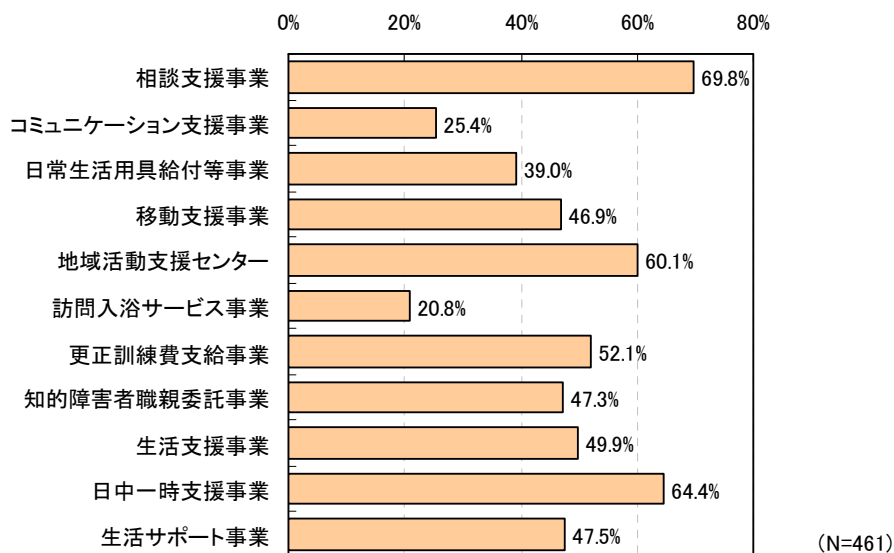
利用したいサービスについてみると、全体では、「相談支援事業」が69.8%、「日中一時支援事業」が64.4%、「地域活動支援センター」が60.1%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望



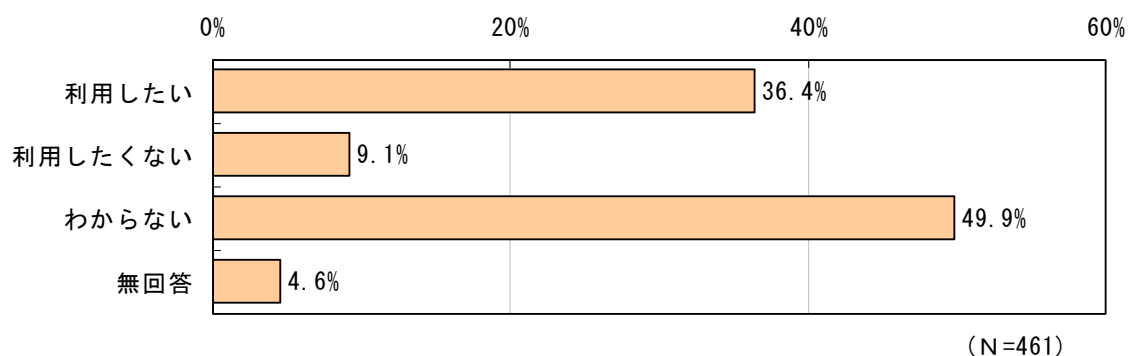
(7) 成年後見制度

問 65 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(〇は 1 つ)

全体では、「わからない」が 49.9%、「利用したい」が 36.4%となっています。

障害種別では、身体障害のある方や難病のある方では「わからない」、知的障害のある方では「利用したい」が多くなっています。

●全体



●障害種別

		合計	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
全体	人数	461	168	42	230	21
	構成比		36.4%	9.1%	49.9%	4.6%
身体障害	人数	240	70	32	127	11
	構成比		29.2%	13.3%	52.9%	4.6%
知的障害	人数	305	143	15	136	11
	構成比		46.9%	4.9%	44.6%	3.6%
精神障害	人数	7	4	0	3	0
	構成比		57.1%	0.0%	42.9%	0.0%
難病	人数	66	20	9	32	5
	構成比		30.3%	13.6%	48.5%	7.6%
無回答	人数	3	1	0	1	1
	構成比		33.3%	0.0%	33.3%	33.3%

●年齢別

		合計	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
全体	人数	461	168	42	230	21
	構成比		36.4%	9.1%	49.9%	4.6%
0～2歳	人数	7	4	1	2	0
	構成比		57.1%	14.3%	28.6%	0.0%
3～5歳	人数	58	20	5	30	3
	構成比		34.5%	8.6%	51.7%	5.2%
6～8歳	人数	91	32	7	46	6
	構成比		35.2%	7.7%	50.5%	6.6%
9～11歳	人数	111	38	9	63	1
	構成比		34.2%	8.1%	56.8%	0.9%
12～14歳	人数	97	35	10	44	8
	構成比		36.1%	10.3%	45.4%	8.2%
15歳以上	人数	85	33	10	40	2
	構成比		38.8%	11.8%	47.1%	2.4%
無回答	人数	12	6	0	5	1
	構成比		50.0%	0.0%	41.7%	8.3%

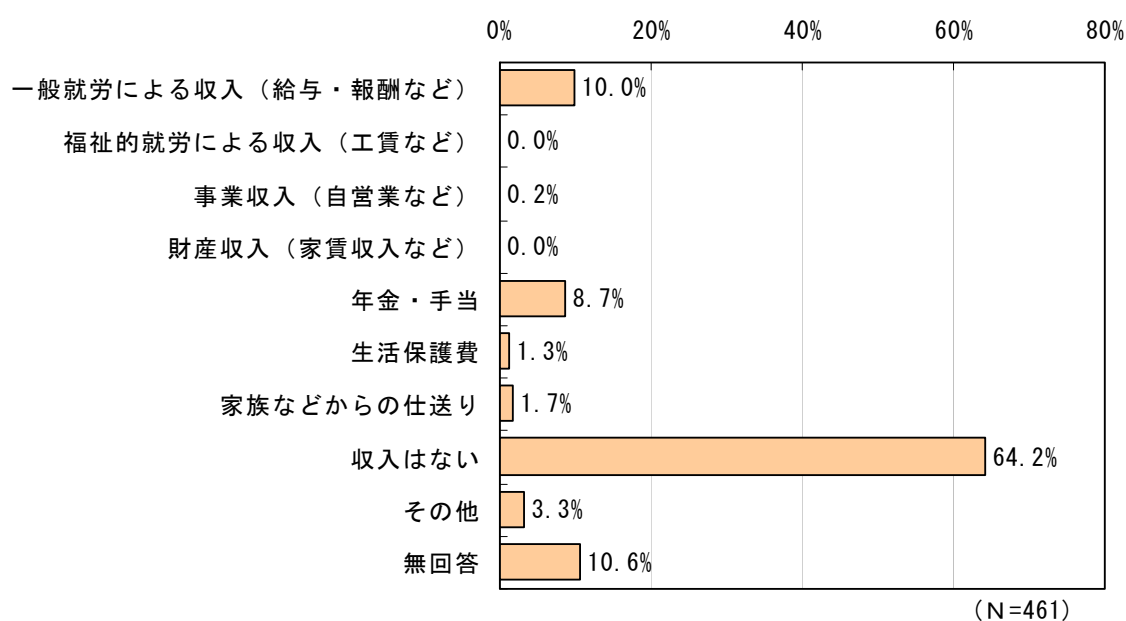
13. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 66 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

「収入はない」が64.2%となっています。

●全体



●障害種別

		合計	一般就労による収入 (給与・報酬など)	福祉的就労による収入 (工賃など)	事業収入 (自営業など)	財産収入 (家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全体	人数	461	46	0	1	0	40	6	8	296	15	49
	構成比		10.0%	0.0%	0.2%	0.0%	8.7%	1.3%	1.7%	64.2%	3.3%	10.6%
身体障害	人数	240	25	0	1	0	22	4	6	152	10	20
	構成比		10.4%	0.0%	0.4%	0.0%	9.2%	1.7%	2.5%	63.3%	4.2%	8.3%
知的障害	人数	305	31	0	1	0	27	3	3	201	7	32
	構成比		10.2%	0.0%	0.3%	0.0%	8.9%	1.0%	1.0%	65.9%	2.3%	10.5%
精神障害	人数	7	1	0	0	0	1	0	0	5	0	0
	構成比		14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%
難病	人数	66	11	0	0	0	4	1	2	37	3	8
	構成比		16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	1.5%	3.0%	56.1%	4.5%	12.1%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

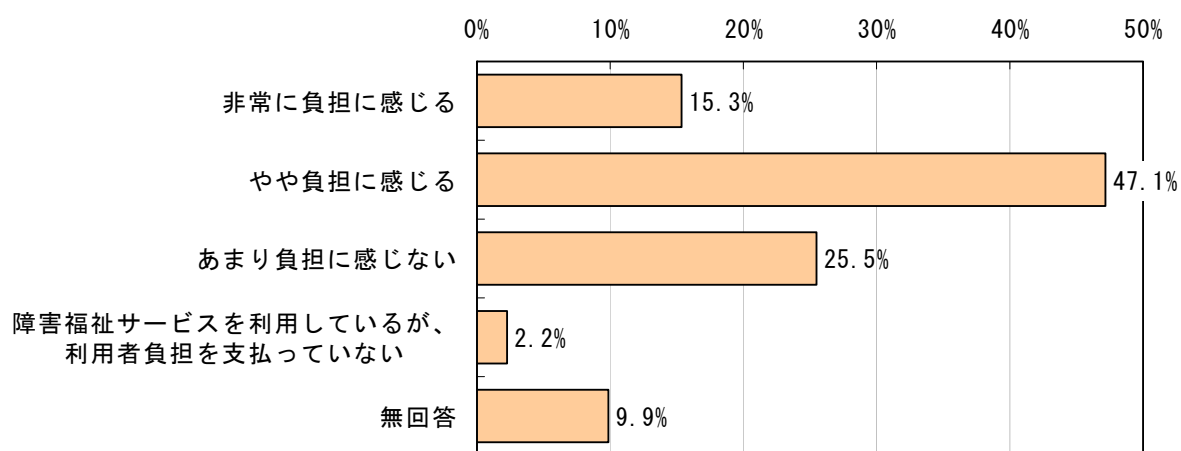
(2) 利用者負担の負担感

問 67 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

（「障害福祉サービスを利用していない」方を除いて集計）

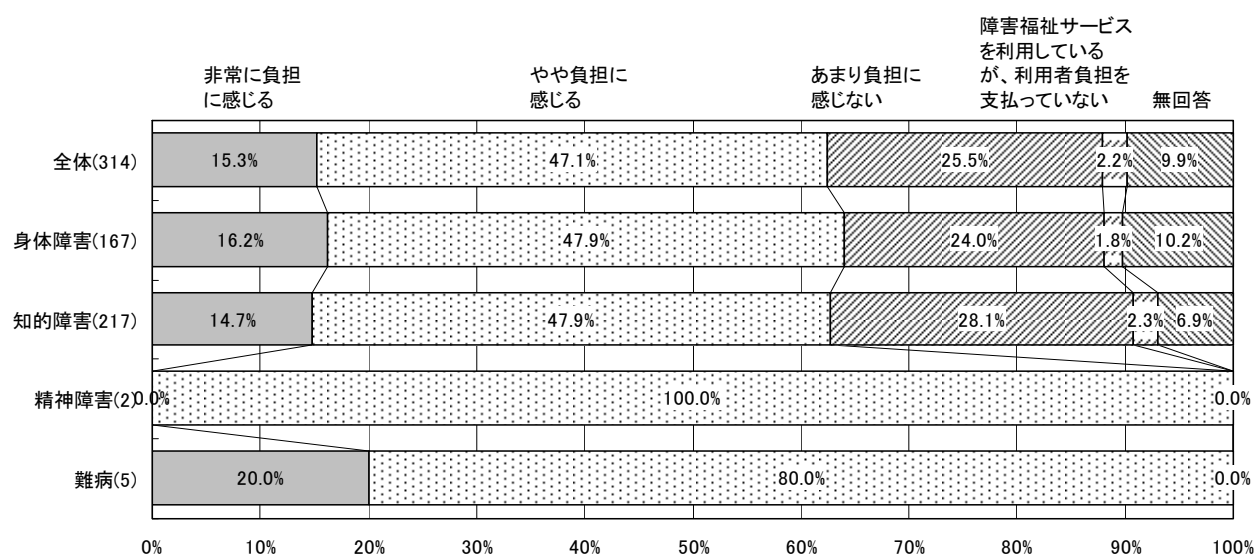
「やや負担に感じる」が47.1%となっています。

●全体



(N=314)

●障害種別

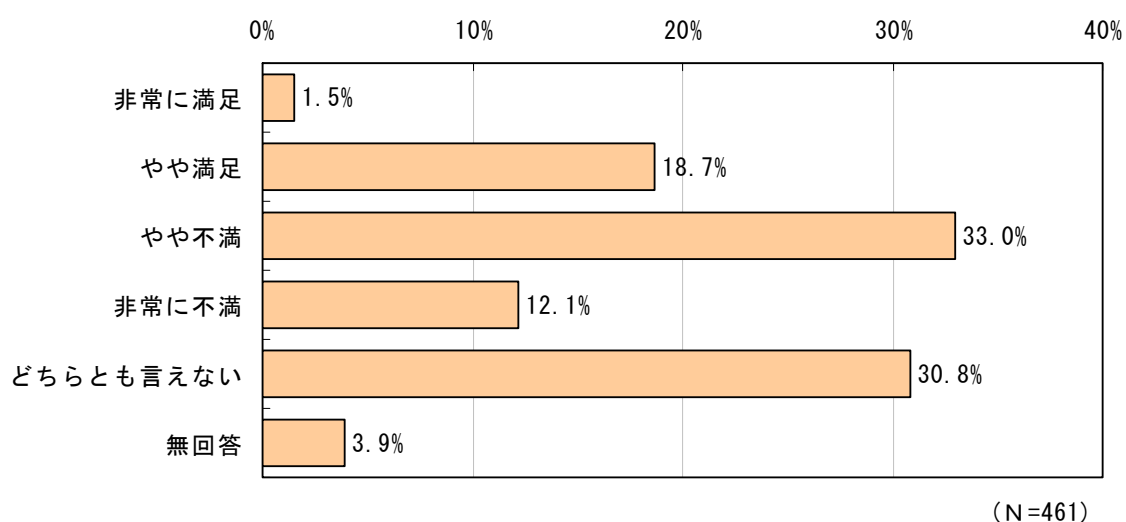


14. 市の障害者施策について

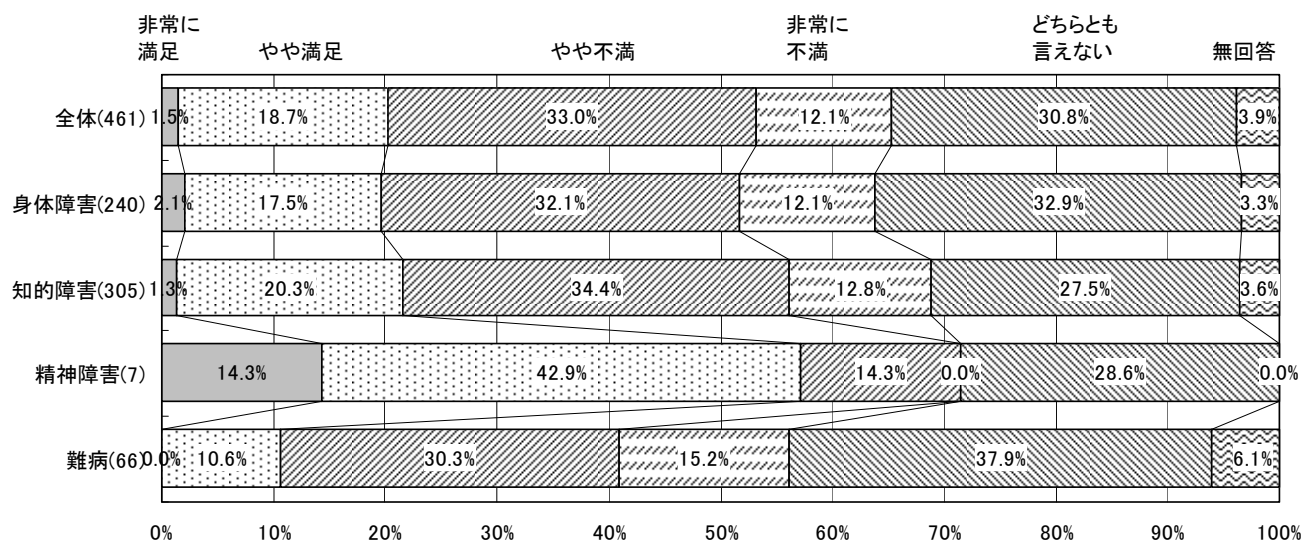
問 68 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「やや不満」が33.0%、「どちらとも言えない」が30.8%となっています。

●全体



●障害種別



15. 自由意見

問 69 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全体では、364 件のご意見がありました。

	全体	分類 1 福祉サービス	分類 2 医療・健康	分類 3 生活環境	分類 4 療育・教育	分類 5 将来について
件数（件）	364	97	21	14	63	19
構成比（％）	100.0	26.6	5.8	3.8	17.3	5.2

	分類 6 経済事情・ 経済的支援	分類 7 行政・制度	その他
件数（件）	28	66	56
構成比（％）	7.7	18.1	15.4

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 分類 1 福祉サービス（97件）

福祉サービス事業所が少ないことに関する意見、サービス内容の充実や改善に関する意見、相談支援、福祉情報の提供に関する意見、補装具や交通費の助成に関する意見、入所施設などの居住場所の整備などに関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
行動援護の条件が厳しい。いろいろな経験をさせてあげたいが、大きくなるにつれて連れて歩くのが大変。それをサポートしてくれるサービスがほしい。	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	不明	女性	家族
ヘルパー事業所を利用しているが、同居家族がいると、掃除してもらう事は出来ないと言われ、ショックでした。高齢者の方にはしてもらえないのに、不公平だと思う。重度の心身障害児の世話や学校の付き添い、送迎や頻繁な通院で親も自宅にいる時間がほとんどなく、休む暇もない状態なので、介護者がもっと安らげるような制度にしてほしいです。	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	10	男性	家族
子供は全介助です。上に兄弟がいますが、行事があってもわざわざ宿泊をともなうショートステイに行かせないといけなく、つい行事を欠席してしまいます。こういう時に 1 時間 2 時間と短時間でも気軽にみていてくれるような事ができたらいいと思います。急な用事でも見てくれる方がいたら助かるなあと思います。 （福祉サービス内容の改善に関する意見：16件）	知的障害	9	女性	家族

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
美浜区内に福祉サービス事業所が少なく、現在利用している放課後サービスは、美浜区以外の事業所です。送迎者で事故にもあいましたし、震災の時は、連絡がつかない上に、なかなか帰ってこられず、大変心配しました。学校卒業後は、美浜区の生活介護で利用できる福祉サービス事業所に通わせたいです。	知的障害	16	男性	家族
指定事業所の数が少なく、待機状態があたりまえ。指定事業所をいくつもかけもちで登録しないと希望の日での利用がままならず、子にとっても毎回違う事業所では慣れるのも大変。家族も毎月の予定がたてづらい…。子供ルームのように各地域で安定した利用ができる場所、施設、事業所を確保していただくことを望みます。	知的障害	11	女性	家族
短期入所出来る施設が少ない。緊急の時に利用出来る施設やサービスが解らない。(サービス事業所が少ないことに関する意見：25件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	11	女性	家族
障害児もケアマネージャーが必要・福祉サービスをわかりやすく教えて欲しい。	身体障害 (肢体不自由)	12	男性	家族
利用できる施設一覧を渡すだけでなく、その障害に合った施設を教えて欲しい。年齢、障害の程度に応じて「この施設が利用可能です」という事を伝えて頂ければ、自分で契約しなくちゃいけない場合でもすぐ連絡しやすい。リスト一覧を渡しただけでは利用出来ない施設もあり、自分や家族で判断するのは難しい。(相談支援に関する意見：10件)	知的障害	9	男性	家族
福祉サービスについて自分から調べないと情報が入ってこないため学校や友達、先生に教えてもらってはじめて知るとい感じです。又、サービス事業の名称も一般にはわかりづらい名称で内容も具体的に今何が受けられてどういうことに使えるのか個人負担はどのくらいかかるのか等わかりやすく提供してもらえればと思います。障害者の親ではあっても障害者の子を持つのははじめてのことでわからないことだらけです。せめて公的サービスや支援についての情報はわかりやすく教えていただければと思います。	知的障害	17	女性	家族
障害福祉サービスなどがあっても知らないことが多いため、ほぼ利用しないことがある。(福祉情報の提供に関する意見：8件)	身体障害 (肢体不自由)	8	男性	不明
補装具 etc 日常生活に必要なものは無料にしてほしい。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	16	男性	本人
重知障1人で行動できないので、自家用車がかかせないが、ガソリン代等負担。(補装具や燃料費助成など交通費用に関する意見：6件)	知的障害	10	女性	不明

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
千葉市は障害福祉には恵まれていると思います。それでも今後への不安は大きく人としての尊厳を持って生きていける場があるのか心配です。入所施設は必要だと思います（減らさないでほしい）	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	17	女性	家族
とにかく、入所施設を作ってください。入所待ちが数百人もいるのはどうなのか？ショートステイも利用方法も公平ではなく、1日数床しかないため、全く利用出来ない。	身体障害 （肢体不自由）	不明	女性	家族
脱施設といっても親なきあとは必ずやってくるので学校卒業後の生活場所の確保が一番心配です。特に重度の肢体・知的であると現状ではケアホームとなると思いますが少ないのが現状です。団体が作ろうと思っても補助金がでてなかなか場所の確保・人材の確保が難しいのが現実。市営のような形でそういったものをどんどん作っていけないだろうかと思ったりします。昔からある入所施設などは何十人待ちという現実からみると親が亡くなったりしてあわててどこかに入所させられるのではなく親が元気なうちに親と連携をとりながら家以外のところで暮らせるようならしていくために早くから入れる生涯場所が必要だと思っています。	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	13	女性	家族
知的障害者に対するサービスを充実させて欲しい。	知的障害	7	男性	家族

② 分類2 医療・健康（21件）

医療ケアに関する意見、医療費の助成制度などについてのご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
「導尿」は医療行為なので、幼稚園とかで親が毎日やりに行かなきゃいけない所が沢山あります。その辺をもう少し融通をきかせて頂けるとうれしいです。	身体障害 （内部機能障害） 難病	4	男性	家族
医療費など必ずかかる費用はできれば無条件でサポートしてほしい。薬代は減らせないので他の診療科やリハビリなど受診が難しくなるのでは…と心配している。	身体障害 （肢体不自由） 知的障害	7	男性	家族
心身障害児医療受給権は現在はまず全額自費で立て替えてから、あとで振り込まれる仕組みになっていますが、病院にたくさん行くことが多いので負担が多く、結局、通常の医療受給券で300円を払っています。病院の窓口で障害の受給券を通常の受給券のように使える様に是非ともして頂きたいです。	身体障害 （聴覚・平衡機能障害） 知的障害	3	男性	家族

③ 分類3 生活環境（14件）

道路や公共交通機関のバリアフリー化への要望や、情報のバリアフリー化に関する意見、トイレ等に関するご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
学校や公共施設の完全バリアフリー化。	身体障害 (肢体不自由) 難病	11	女性	本人
大森台駅にエレベーターやスロープを作って欲しいです。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	5	男性	家族
耳の不自由な人のために情報保障されれば良いと思う。・生涯学習センターでの字幕つき映画・プラネタリウムの字幕つき上映 etc 市主催の公演などでは、ノートテイク、手話通訳が付くことが普通、という社会になってほしい。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	5	女性	本人
駅で、目で情報がわかるようにしてほしい。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	16	男性	本人
トイレに関してですが、以前よりは車イス用のトイレは増やしていただけたのかなとは思いますが、障がい者（児）全てが車イス用があればいいだろうではありません。大人になってもオムツ交換が必要な者もいます。大人サイズのオムツ替えシートの設置をお願いしたいです。	身体障害 (肢体不自由)	16	男性	家族

④ 分類4 療育・教育（63件）

就学後の放課後の支援に関する意見や学校の受け入れ体制に関する意見、学校等への送迎に関する意見、療育内容についてのご意見などがありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
小学校高学年～中学生が利用できる、放課後デイサービスやサービスが近所（若葉区）にほとんどない。本人が自分で行けるか、送りむかえしてくれるデイサービスを作ってほしい。	知的障害	10	男性	家族
就学前の福祉サービスは利用していましたが、就学と同時に打ち切れ今は学区外の小学校への通学と自宅内でも生活に限定されています。・放課後の居場所が今後若葉区内に増えることを期待しています。・移動や放課後の支援サービスが利用しやすいよう、情報が欲しいです。	知的障害	11	男性	家族
現在幼稚園と大宮学園のデイサービスに通っていますが、就学後の支援があまりないように思います。	知的障害	6	女性	家族
中学校以降放課後に過ごす場所を増やしてもらいたい。 (就学後の放課後の支援に関する意見：25件)	知的障害	7	男性	家族
障害者の学校受け入れを広くしてほしい。小、中、大学、専門等の情報と改善を明確にしてほしい。(バリアフリー、エレベーターの設置、受け入れの仕方)	身体障害 (肢体不自由) 難病	17	男性	不明

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
障害児もそうでない子も一緒に地域で生活するという方向だと思いますが、その前に普通の小中学校の先生方をはじめ受け入れる側の理解がないと感じます。エレベーターなどもない学校も多いので、住んでいる地域の学校に通える事は親にとってはありがたく思いますが、人と環境作りも必要だと思います。(学校への受け入れ体制に関する意見：10件)	身体障害 (肢体不自由、 視覚障害) 知的障害	14	女性	家族
移動支援が学校への迎えは×となっているが学校～〇〇、〇〇～自宅と使えないと親は働けないし負担は減らない。常に送迎がつきもので体調が悪くても学校へ迎えに行かないとならないし、一人で通学・通所できない子にはどうしても学校への送迎やサポートが必要。	知的障害	10	男性	家族
学校に通学等をする為のスクールバスの充実を願います。自宅から学校まで車で送迎するのが負担になる。(送迎に関する意見：6件)	知的障害	4	男性	家族
知的な遅れのある子供に対して、気づいてから発達をうながすべき。3～5才の発達支援を親の教育を含めてもう少し厚くして頂きたいです。	知的障害	4	男性	家族
療育の内容をきめ細かなものにしていただきたい。様々な療育のプログラムを作って個人に応じてサポートしてほしい。(療育の内容に関する意見：7件)	知的障害	4	男性	家族
教育(今の公立小中学校)特別支援学級の先生の教育で、子供がより良い教育を受けてほしい。	知的障害	12	女性	不明
特別支援学校が、不便な所にあり通学が今後とても心配です。母親が車の免許がないので、バスを利用したいのですが、定員オーバーの場合は乗れないとのこと。数を増やす等の対応をしてほしい。	身体障害 (肢体不自由)	4	男性	家族
夏休み期間など長期休日に学校を解放してもらいたい。夏休みなどふつうの学校と少しずらして欲しい(夏休み期間はどこに出かけるもすごく混んでいるので、知的障害を持つ小学校の息子は人ごみがにがてなので外出に困っています)。	知的障害	7	男性	家族

⑤ 分類5 将来について（19件）

「親なき後」の支援についての不安や、将来を見据えて、保護者等がいなくなった後でも暮らしていけるような支援体制の構築に関する意見、多様な居住場所の整備に関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
親が元気なうちは、子供の世話が出来ますが、親が亡き後、子供が援助を受けながら、幸せに生活できるようにしっかり福祉体制を整えてほしい。・在宅で見守っていただけるシステムがあると助かります。完全に自立できなくとも介助を受けながら生活できるというシステム（サービス）がほしい。	知的障害	13	女性	家族
最近新聞ににぎわしていた障害者虐待のような事実があると本当に心から信頼できる所にお世話になれてるかどうか心配になってくる。学齢期では、学校もあるし、自分もまだ動けるけれど、卒業後は、自分たちも老いてくるし、兄妹にも生活がある。親なき後もずっと幸せに生きていかれるように社会全体で支えてほしい。	知的障害	16	男性	家族
今一番不安なことは卒業後の進路選択です。市内の生活介護の施設は募集が少ない事です。就労支援B型でも卒後、すぐに入れるようにして頂きたい。そうすることで進路選択に幅が広がります。	知的障害	16	男性	家族
見た目には分からない知的障害を持っている人達への理解がされていないと思う。今は学生ですが、これから就労して自立する事ができるか親として不安です。もし将来一人になった時、サポートしてくれる人がそばにいてくれる事を願います。	知的障害	15	女性	本人

⑥ 分類6 経済事情・経済的支援（28件）

福祉手当などの給付削減に関する意見や、所得による利用者負担額の軽減に関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
特別児童扶養手当が年々減らされている事が、子供の将来に不安を感じます。	身体障害 （内部機能障害） 知的障害 難病	14	男性	家族
特別児童扶養手当や補装具費支給の内容をもっと改善して頂ければと思います。例えば受給できる条件などです。（所得制限・等級が厳しすぎる）	身体障害 （聴覚・平衡機能障害） 知的障害	6	男性	家族
経済的負担を非常に感じます（医療費や手当の削減）	身体障害 （肢体不自由）	12	男性	家族

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
月の利用上限額が 4600→37000 に急に上がり、とても負担となりました。確かに所得は多いのかもしれませんが！もう少し段階があると助かります。(毎月デイサービスなどの利用を制限しています。障害のある児にだけお金をかけることは出来ません。結果的に家族の負担が増えてしまいます)	身体障害 (肢体不自由)	9	男性	家族

⑦ 分類 7 行政・制度 (66件)

情報提供に関する意見や手続きの簡素化に関すること、重複障害の場合の等級や障害者の認定制度に関する意見、市職員の対応などに関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
もっと障害ごとに分かりやすい情報を提供してくだると助かります。 ・ 駅などにパンフレットなどを置いてあると、目に付きやすいです。	知的障害	3	男性	家族
制度がわかりにくく、障害児の親同士の情報交換でやっとわかることが多い。情報について、こちらからいろいろ探さないと手に入れない。(情報の提供に関する意見：33件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害 難病	10	女性	家族
全てにおいて手続きが大変。時間もかかる。あちらの課、こちらの課とたらい回しで困り果てた事がある。一ヶ所での対応はなぜできないのでしょうか？せめて、身体障害者手帳の発行くらいは迅速であってほしい。	身体障害 (肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害、聴覚・平衡機能障害) 知的障害 難病	2	男性	家族
情報の収集がしづらく、分りづらい。窓口に行つての手続きが、一番大変。何かが足りず何度も足を運んだり、役所が縦割りの為、市民の手続き負担が大きい。(手続きの簡素化に関する意見：18件)	身体障害 (肢体不自由、内部機能障害)	6	男性	本人
重複障害で軽度だと認められないが、2つ3つと軽度の障害が重なれば本人も生きにくいし、費用もかさむ。しかし補助は何も受けられないと言う現在の状況は何ともし難い。親が活着ている間は良いが、この子だけになった時にどうすれば良いのか困るばかりです。	身体障害 (内部機能障害) 難病	13	女性	本人
認定された障害以外にも様々な持病がありますが、それぞれが認定されない程度の病なので、軽い等級のままです。また、療育と身体障害をあわせて等級をつけてほしいです。 (重複障害の方や障害の認定などの制度に関する意見：12件)	知的障害	14	男性	家族
区役所での手続きの際、職員の方の対応に不満を感じる事があった。	知的障害	7	男性	家族

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
役所の担当者によって、障害への理解、サービスへの理解、我々家族に対する対応等が違っている。また区によっても違うので、皆平等に対応して頂きたい。	身体障害 (肢体不自由)	5	男性	家族

⑧ その他（５６件）

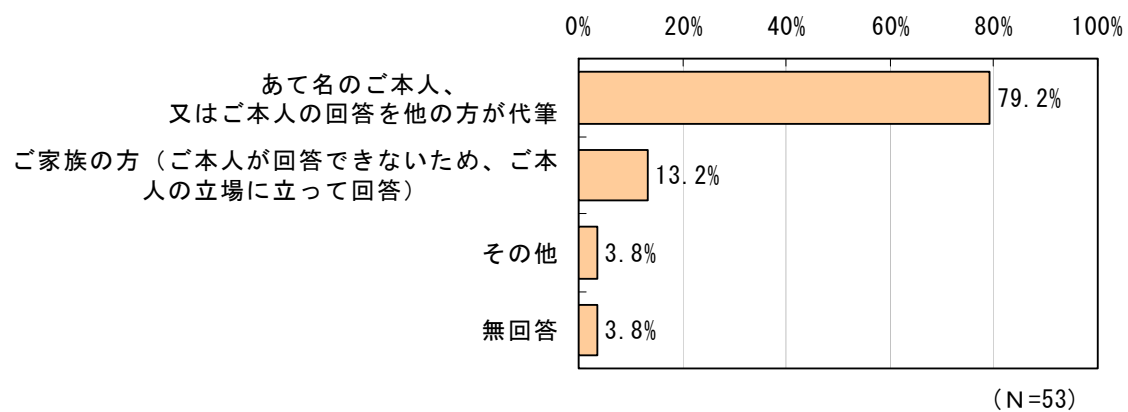
障害者理解に関することや、地域とのつながりなどに関するご意見がありました。

ご意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
軽度の障害の場合やはり軽く見られたり、他人からはぱっと見障害があると判断されず、手助けが受けられないことがあります。軽度といえど助けの求め方がわからないのでそのまま見過ごされ大事になってしまうことも。他人は仕方ないとしても教育者、相談者の方はもう少し理解してほしいです。ボーダーラインで苦しんでいる人も多々います。本当に助けを求めている人は自分で言えない事の方が多いです。もっともっと障害のある子たちの未来を明るくしてあげてください。	知的障害 難病	10	男性	家族
障害と言う言葉自体が差別だと思う。害がある人間ではないのだから一人の人間として見て欲しい。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	15	女性	家族
障害のある人も地域で生活をしていくことが求められていますが、そのためには障害のある人をサポートしてくれる人が必要です。現状は親にかなりの負担がかかっていますが、親は確実に高齢となっていきます。サポートする人材の育成が必要だと思います。例えば、グループホームなどができたとしても人材の育成ができていなければ安心してホームで生活させて挙げられません。地域の人たちには障害を理解してもらい、サポートする人材が育って欲しいと思います。	知的障害	17	男性	家族
障害者の人達が、住み良い町作りをよろしくお願い致します!!	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	5	女性	家族
普通の子育てでも親は悩みながら育てているので、親が相談できる場所やアドバイザーがたくさんいます。障害は一人一人違い、親もどうしたらいいか悩み苦しみながら、育てています。「障害者」ではなく「一人の人間を」育てている親に、その特質とどう向き合い育てて行ったらいいのか、経験と知識のある方が、本人とその家族を分かった上でアドバイスしていくそんな制度があったらいいのに！	知的障害	8	男性	家族
地域の（同年齢の子など）子供とかかわれる遊べる場所、機会がある事業所、施設が欲しい。障害者の理解を深める為、小中学生の職業体験の中などで全員、必須で障害者の施設を訪問体験してもらえるといいと思う。	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	6	女性	家族

IV 発達障害のある方を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「あて名のご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆」が79.2%となっています。



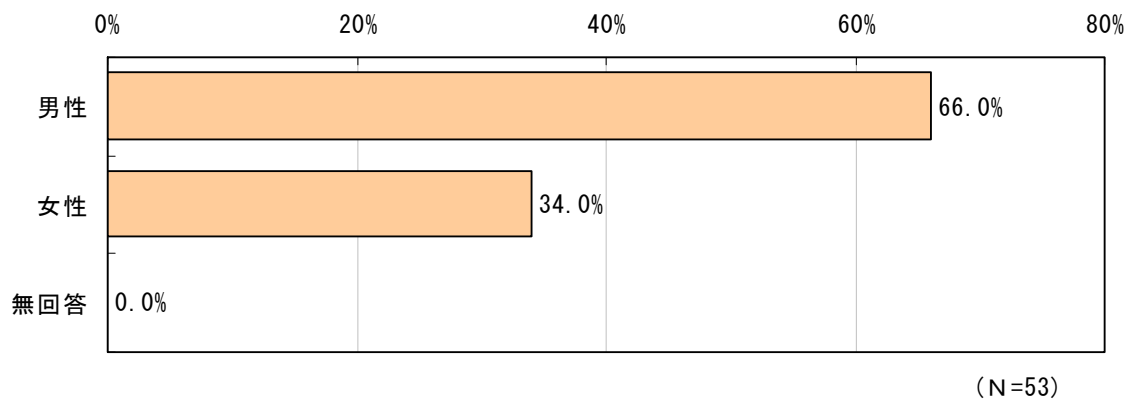
1. ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が66.0%、「女性」が34.0%となっています。

●全体

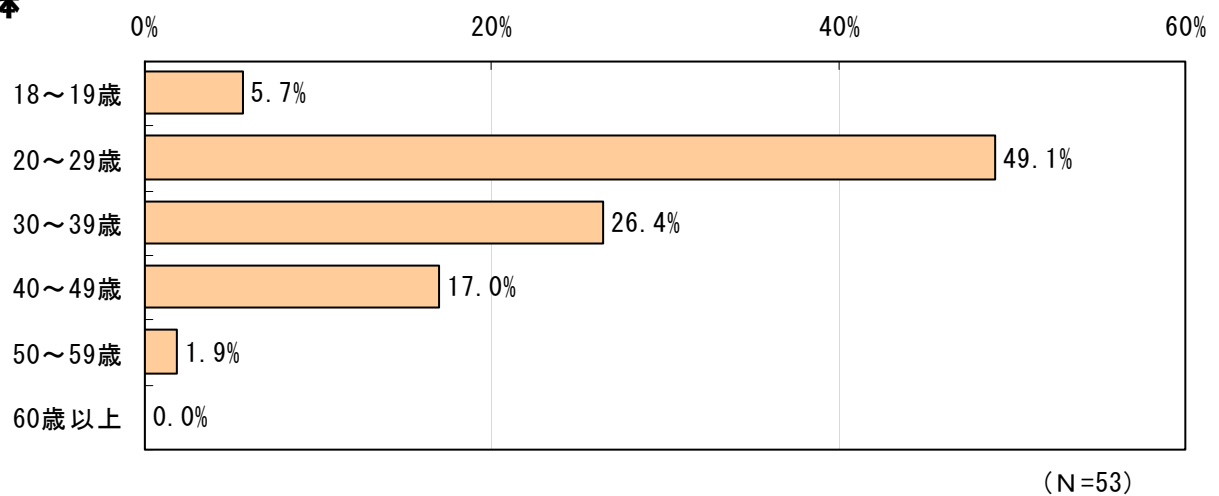


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

「20～29歳」が49.1%、「30～39歳」が26.4%となっています。

●全体

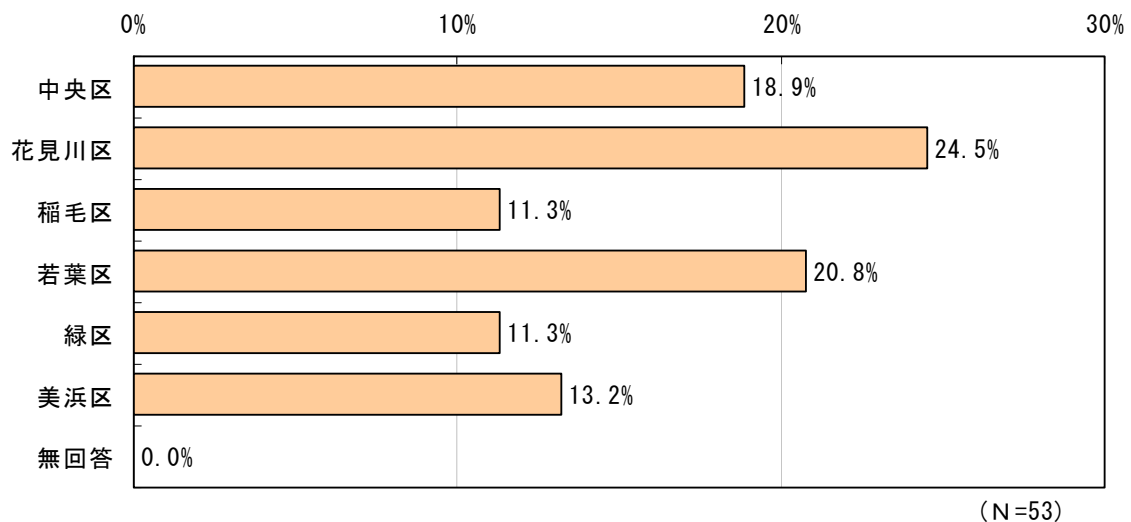


(3) お住まいの区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「花見川区」が24.5%、「若葉区」が20.8%となっています。

●全体

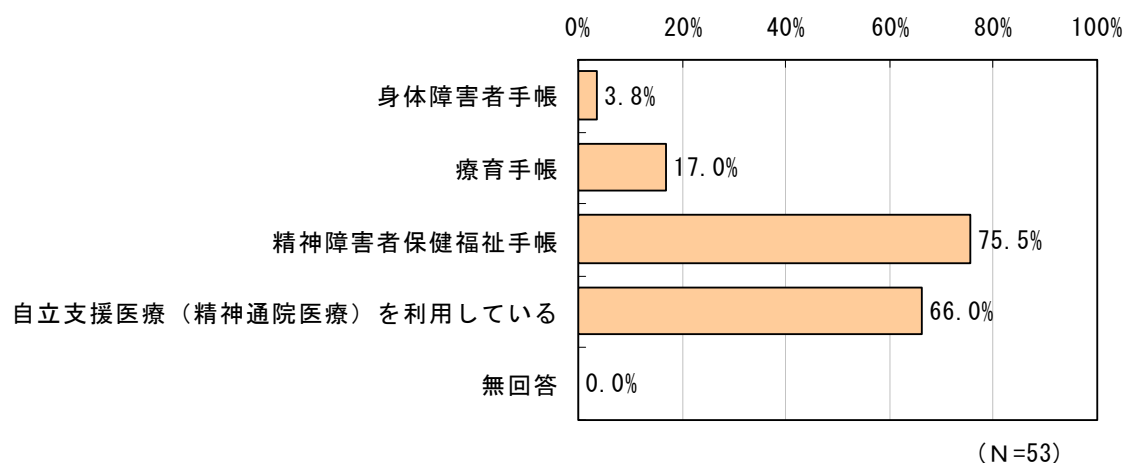


(4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。(〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。)

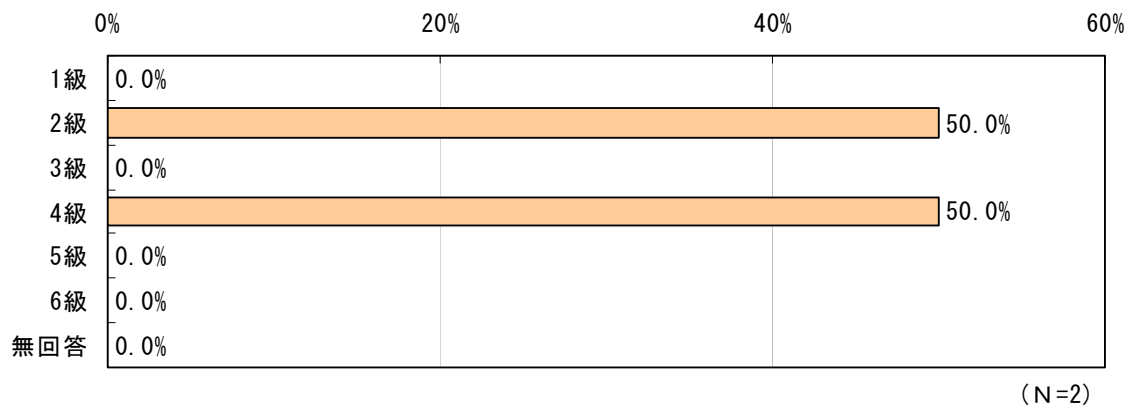
「精神障害者保健福祉手帳」が75.5%、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が66.0%となっています。

●全体



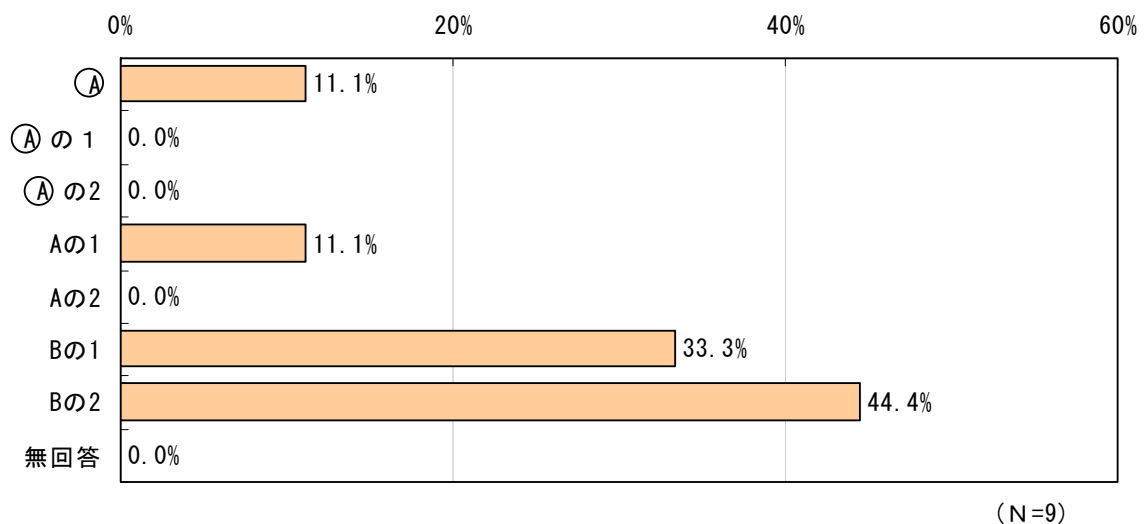
①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳をお持ちの方は2人で、「2級」が1人、「4級」が1人となっています。



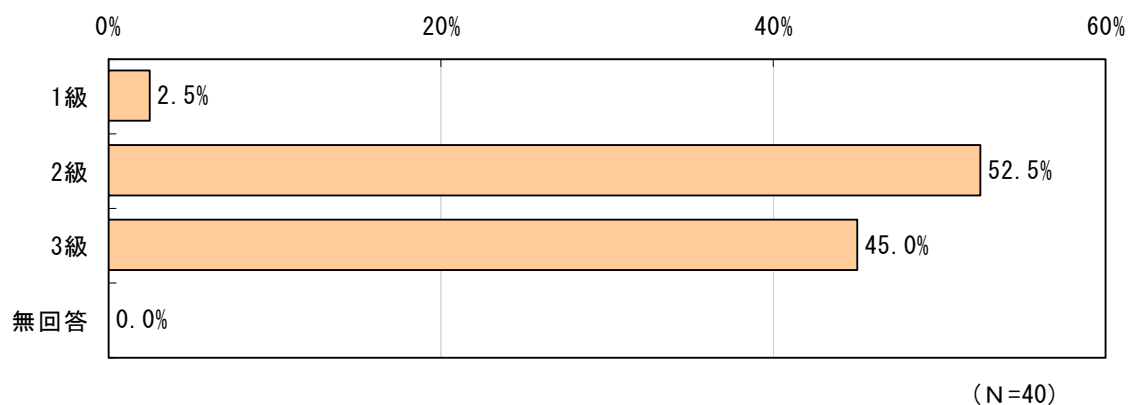
②療育手帳の程度

療育手帳をお持ちの方は、「Bの2」が44.4%、「Bの1」が33.3%となっています。



③精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、「2級」が52.5%、「3級」が45.0%となっています。

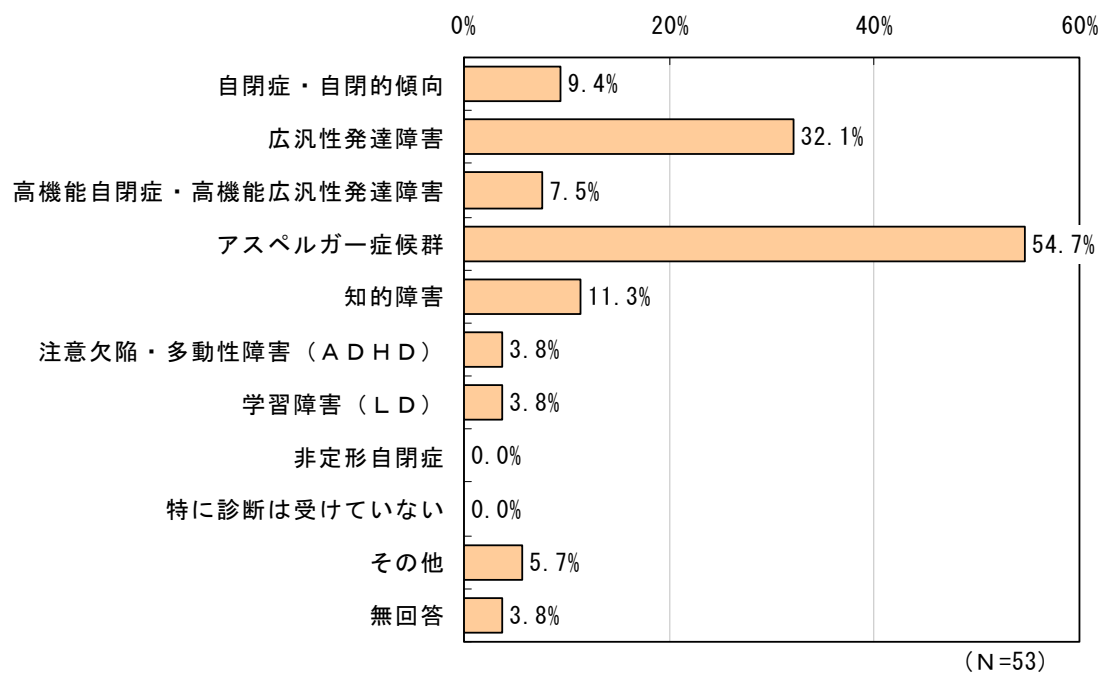


(5) 発達障害の種類

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「アスペルガー症候群」が54.7%、「広汎性発達障害」が32.1%となっています。

●全体



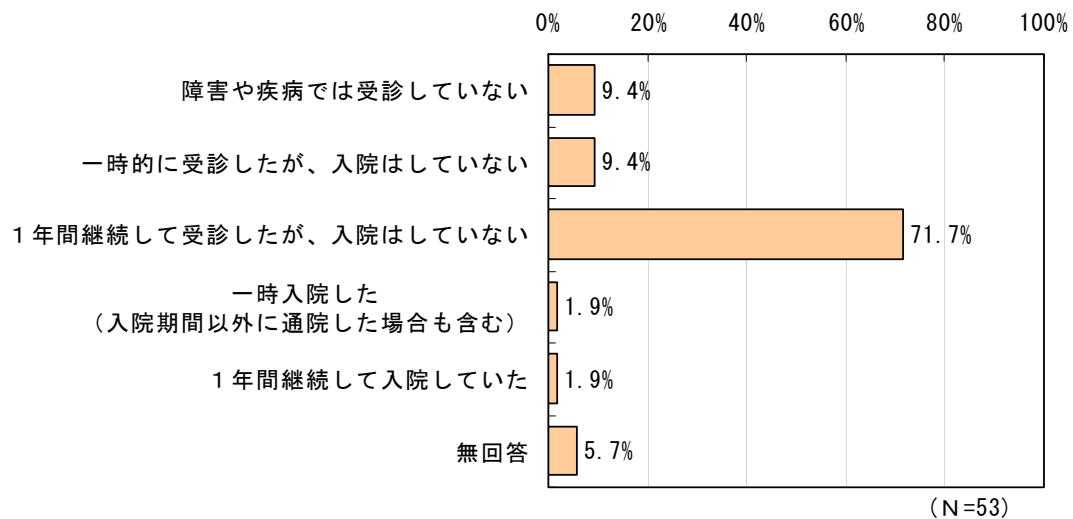
2. 医療機関への受診状況について

(1) 医療機関への受診状況

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が71.7%となっています。

●全体

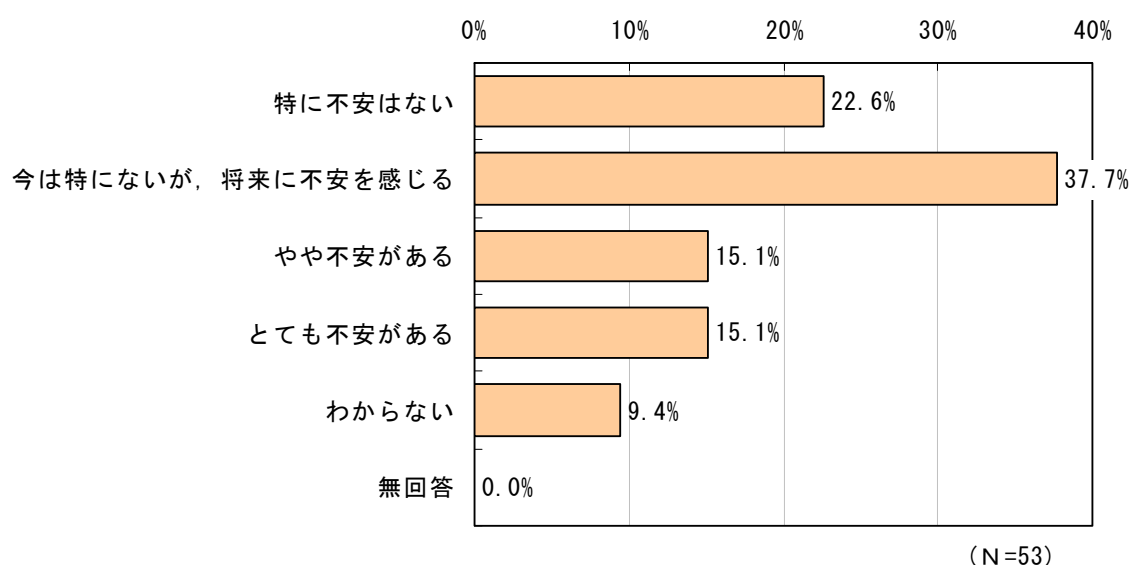


(2) 医療費に対する不安

問7 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(〇は1つ)

「今は特にないが、将来に不安を感じる」が37.7%、「特に不安はない」が22.6%となっています。また、年齢別で見ると、30～39歳の方は「とても不安がある」が最も多くなっています。

●全体



●年齢別

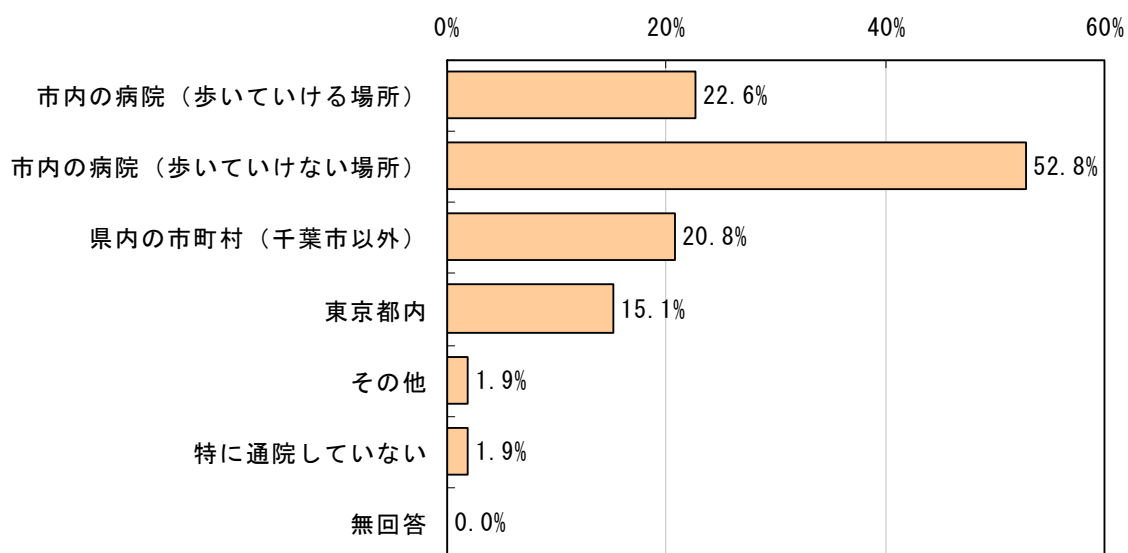
		合計	特に不安はない	今は特にないが、将来に不安を感じる	やや不安がある	とても不安がある	わからない	無回答
全体	人数	53	12	20	8	8	5	0
	構成比		22.6%	37.7%	15.1%	15.1%	9.4%	0.0%
18～19歳	人数	3	0	1	1	0	1	0
	構成比		0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
20～29歳	人数	26	8	13	3	1	1	0
	構成比		30.8%	50.0%	11.5%	3.8%	3.8%	0.0%
30～39歳	人数	14	3	3	2	6	0	0
	構成比		21.4%	21.4%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%
40～49歳	人数	9	1	3	1	1	3	0
	構成比		11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%
50～59歳	人数	1	0	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳以上	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 通院している病院

問 8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。
(○はいくつでも)

「市内の病院（歩いていけない場所）」が 52.8%となっています。

●全体



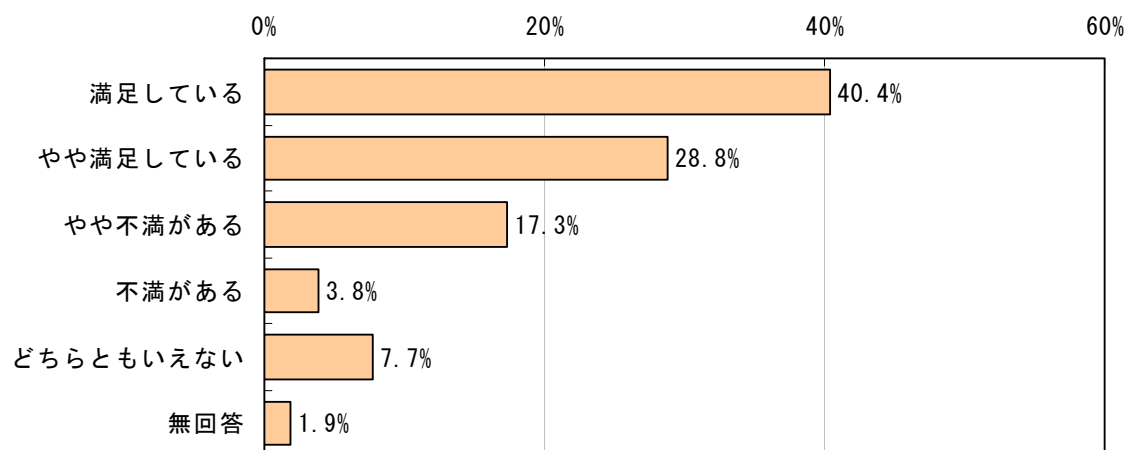
(N=53)

(5) 医療機関の満足度

問 9 【問 8 で通院している（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。（○は 1 つ）

「満足している」が 40.4%、「やや満足している」が 28.8%となっています。

●全体



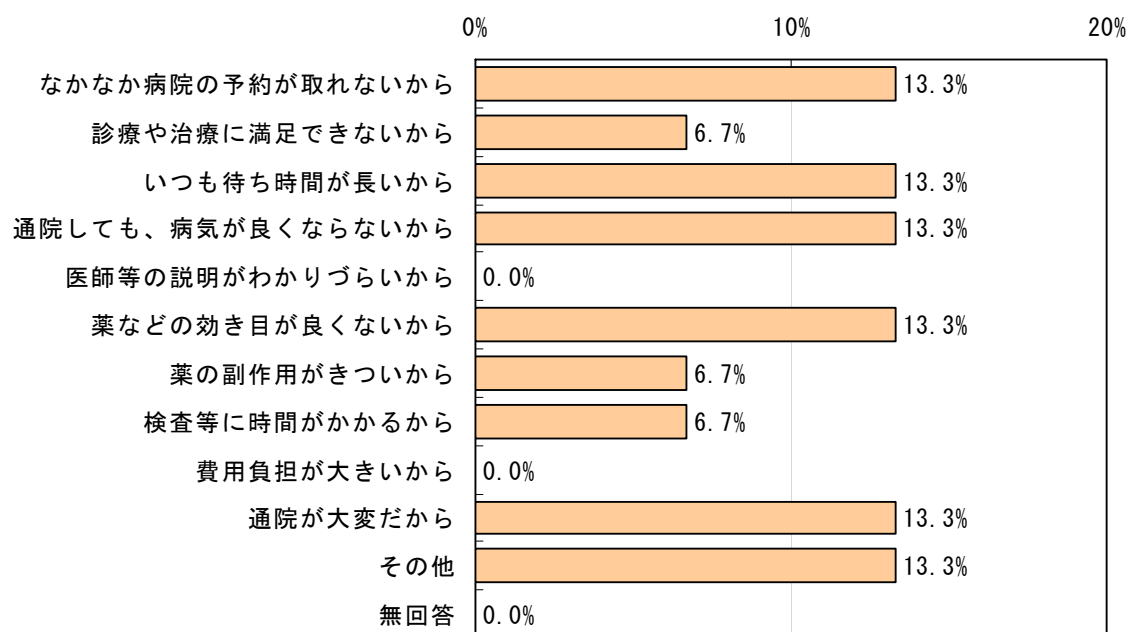
(N=52)

(6) 医療機関の不満の理由

問 10 【問9で医療機関に不満がある（3、4番）に○をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。（○はいくつでも）

「なかなか病院の予約が取れないから」、「いつも待ち時間が長いから」、「通院しても、病気が良くならないから」、「薬などの効き目が良くないから」、「通院が大変だから」がそれぞれ 13.3% となっています。

●全体



(N=15)

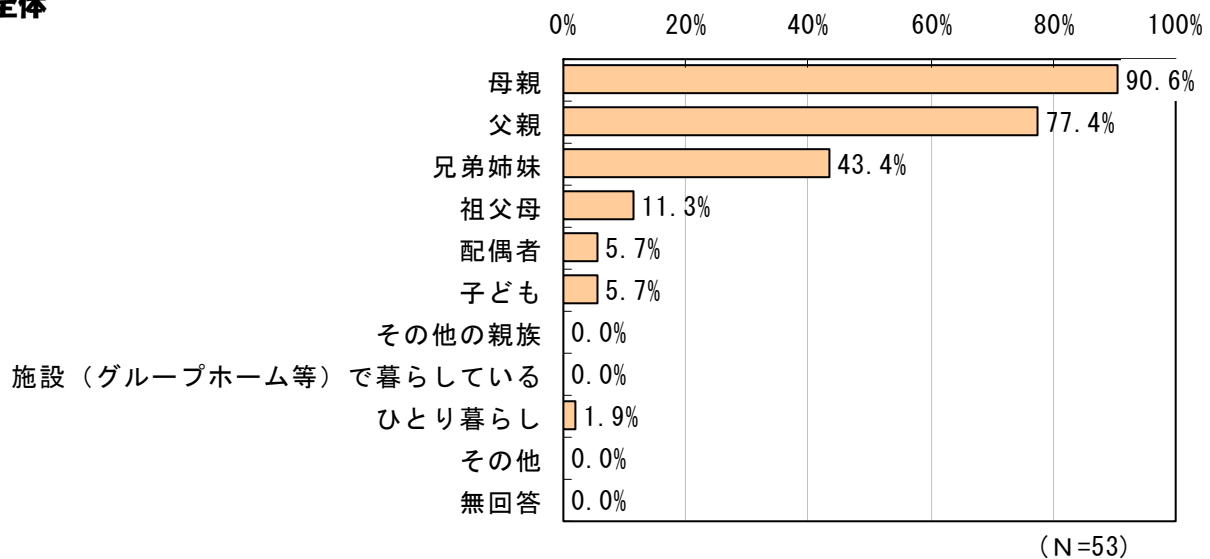
3. ご家族や介助者について

(1) 同居者

問 11 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」が90.6%、「父親」が77.4%となっています。

●全体

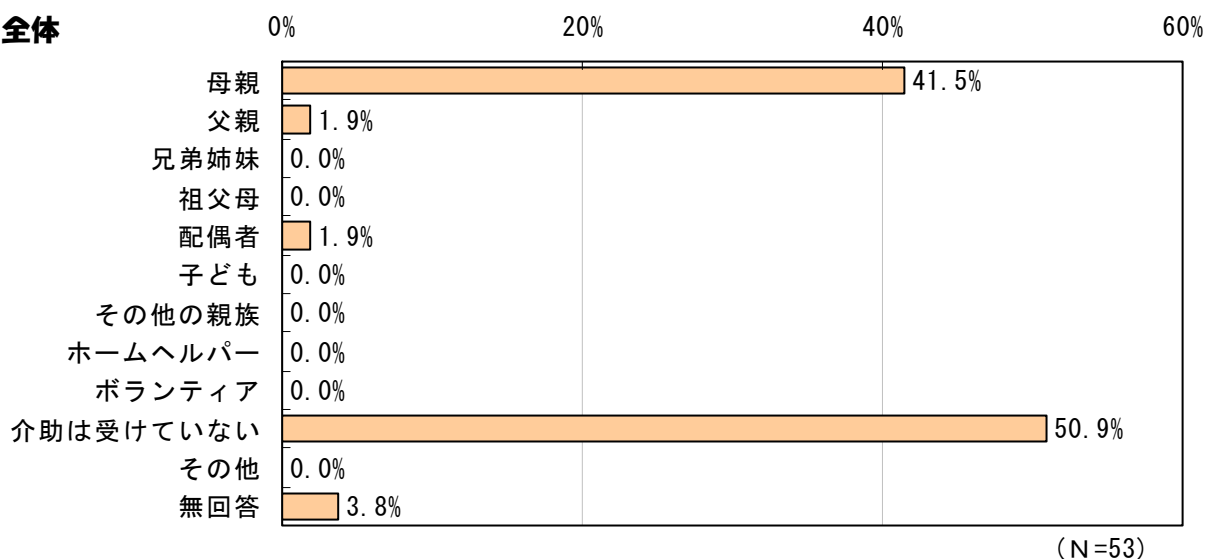


(2) 介助の必要性・主な介助者

問 12 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

「介助は受けていない」が50.9%と最も多くなっています。介助が必要という方においては、「母親」が41.5%となっています。

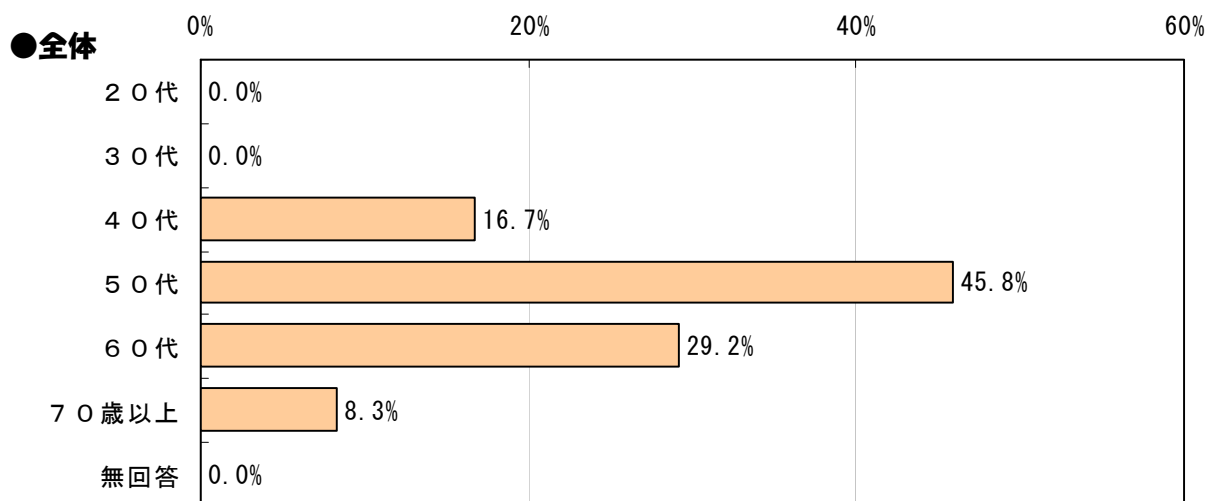
●全体



(3) 主な介助者の年齢

問 13 【問 12 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の年齢をお答えください。（○は１つ）

「50代」が45.8%、「60代」が29.2%となっています。

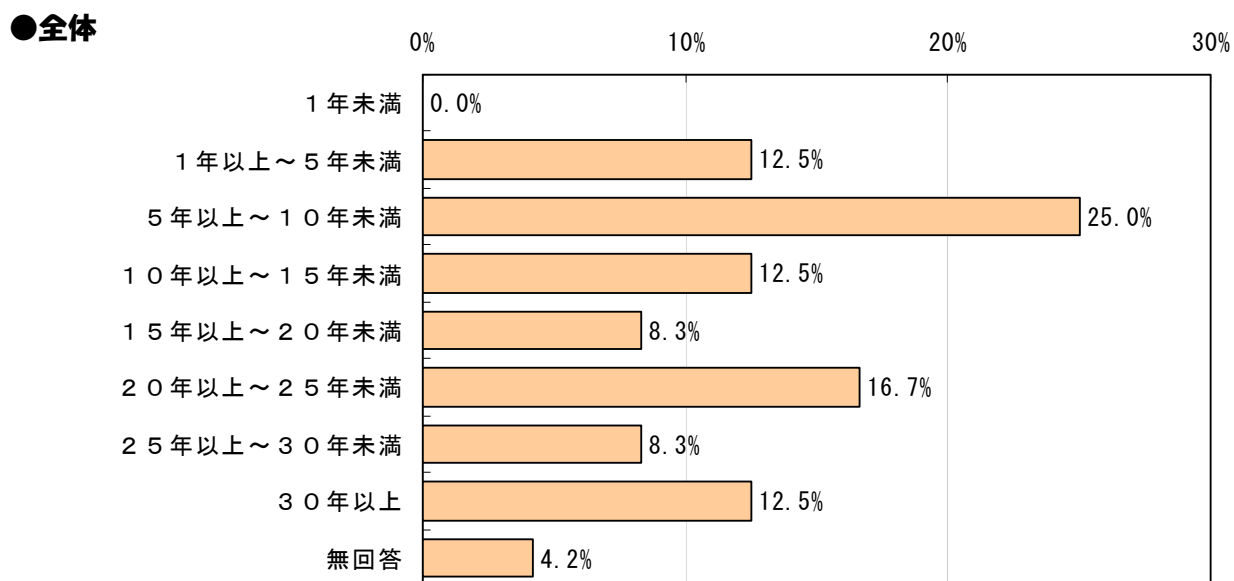


(N=24)

(4) 主な介助者の介助継続年数

問 14 【問 12 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

「5年以上～10年未満」が25.0%、「20年以上～25年未満」が16.7%となっています。



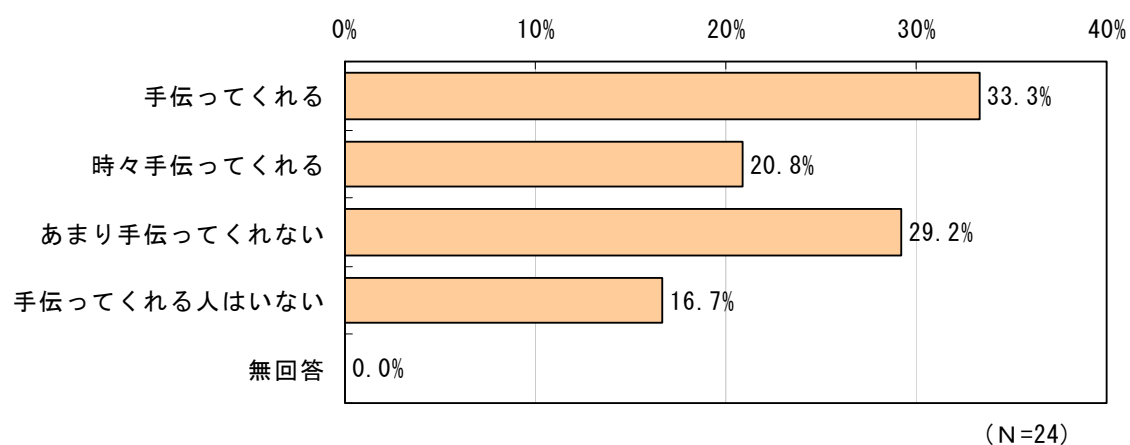
(N=24)

(5) 主な介助者以外の手伝いの有無

問 15 【問 12 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は１つ）

「手伝ってくれる」が 33.3%、「あまり手伝ってくれない」が 29.2%となっています。

●全体

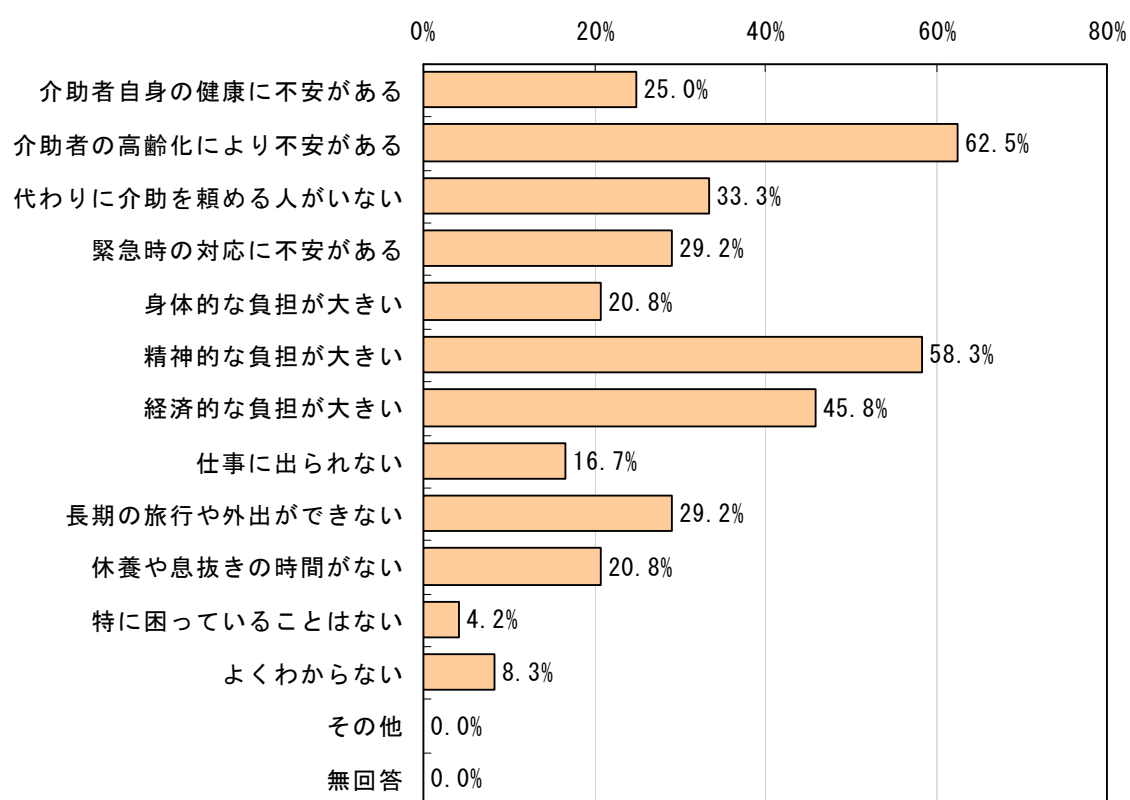


(6) 主な介護者が困っていること

問 16 【問 12 で主な介護者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「介護者の高齢化により不安がある」が 62.5%、「精神的な負担が大きい」が 58.3%、「経済的な負担が大きい」が 45.8%となっています。

●全体



(N=24)

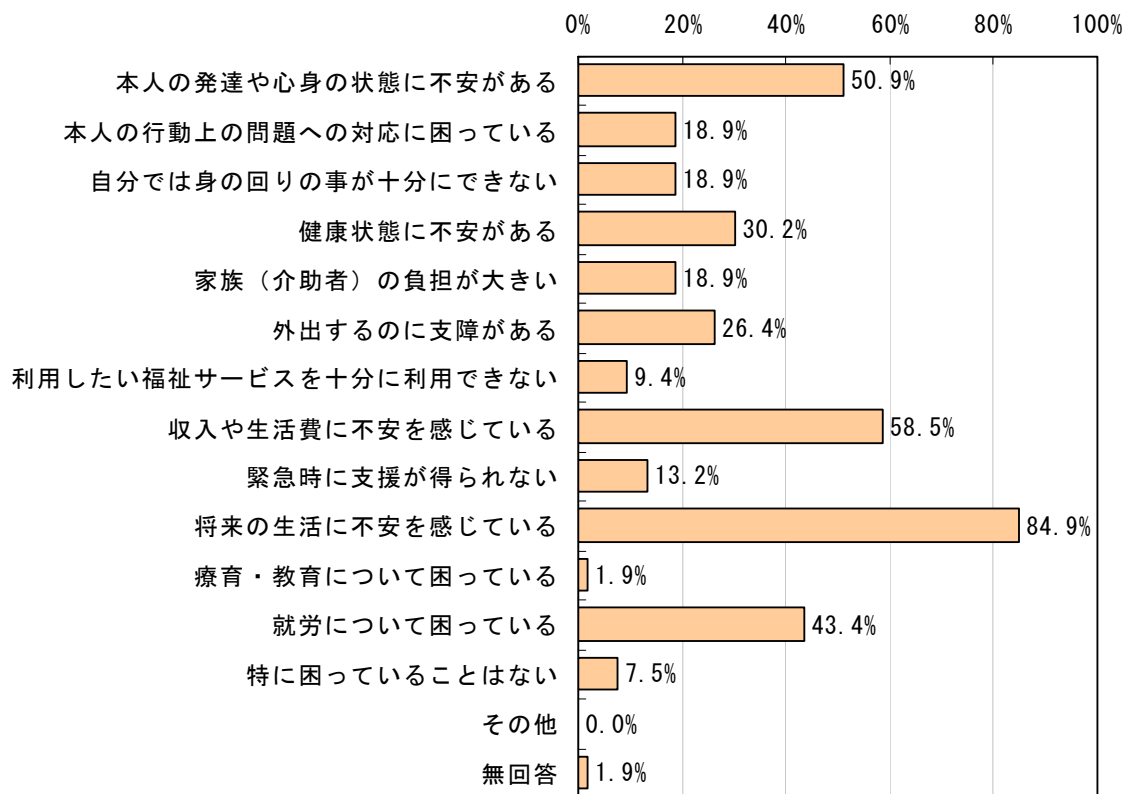
4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

問 17 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が84.9%、「収入や生活費に不安を感じている」が58.5%、「本人の発達や心身の状態に不安がある」が50.9%となっています。

●全体



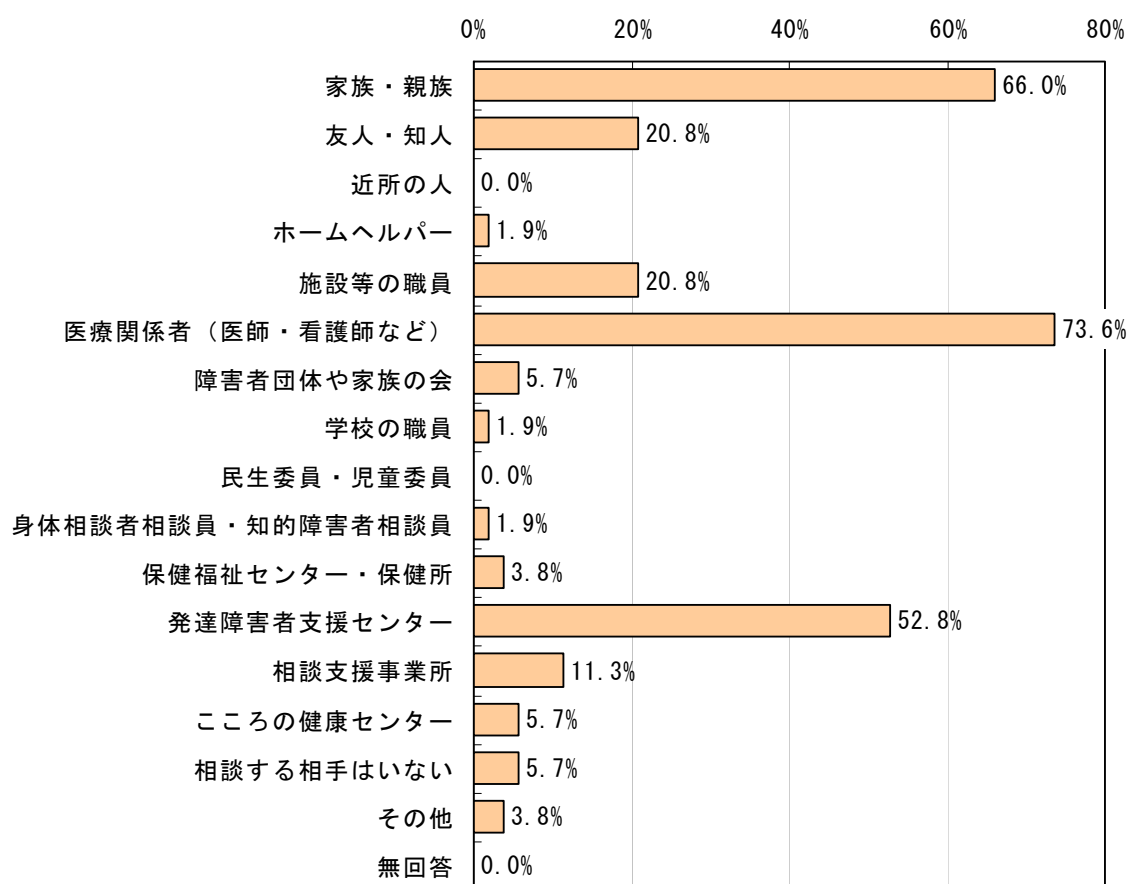
(N=53)

(2) 困ったときの相談先

問 18 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

「医療関係者（医師・看護師など）」が73.6%、「家族・親族」が66.0%、「発達障害者支援センター」が52.8%となっています。

●全体



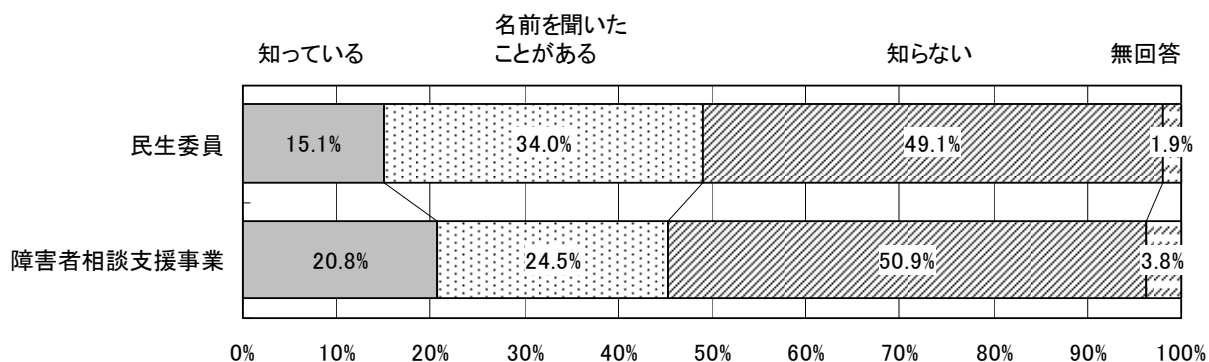
(N=53)

(3) 制度・事業の認知度

問 19 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。

どちらの制度においても、「知らない」が最も多くなっています。

●全体

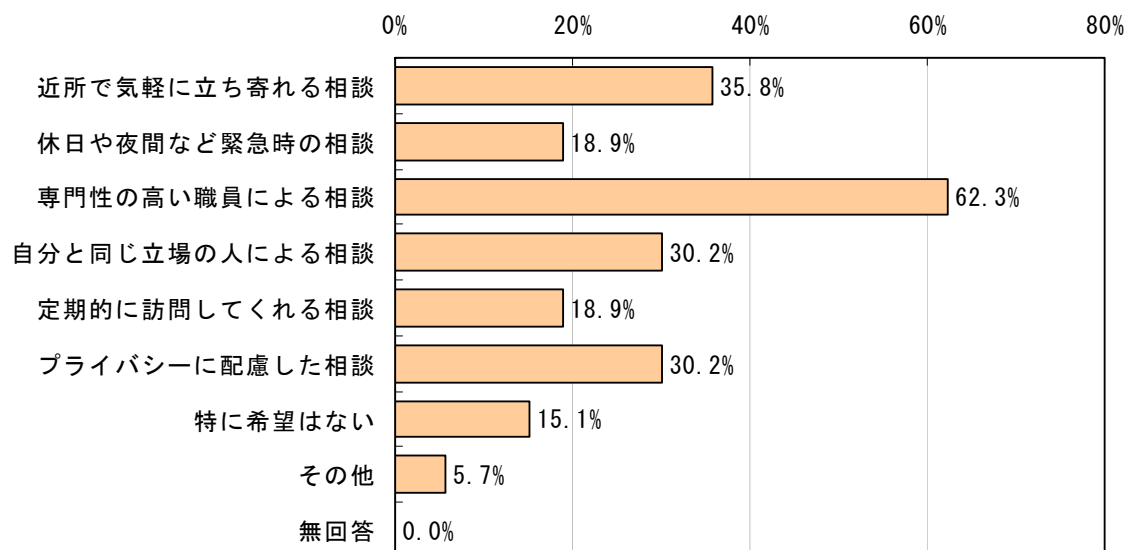


(4) 希望する相談制度

問 20 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」が62.3%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が35.8%、「自分と同じ立場の人による相談」、「プライバシーに配慮した相談」がそれぞれ30.2%となっています。

●全体



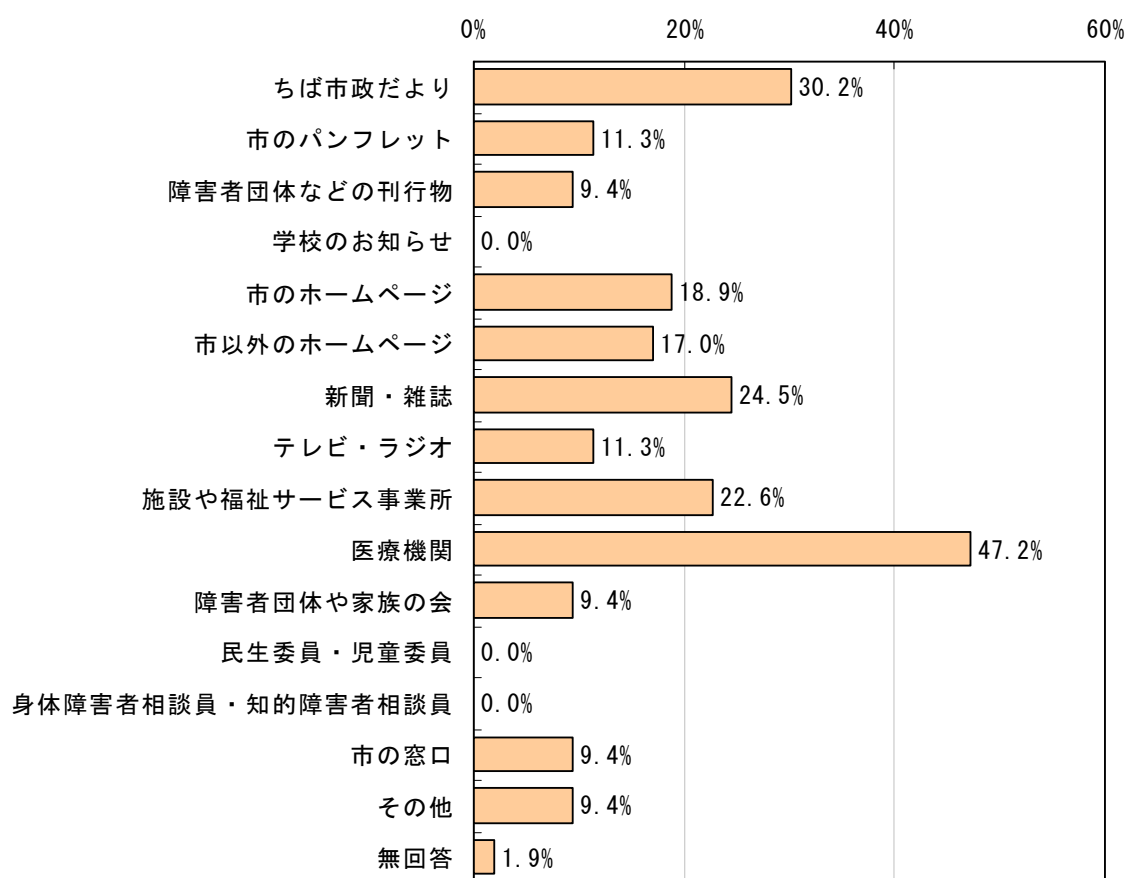
(N=53)

(5) 福祉情報の入手先

問 21 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。
（〇はいくつでも）

「医療機関」が 47.2%、「ちば市政だより」が 30.2%となっています。

●全体



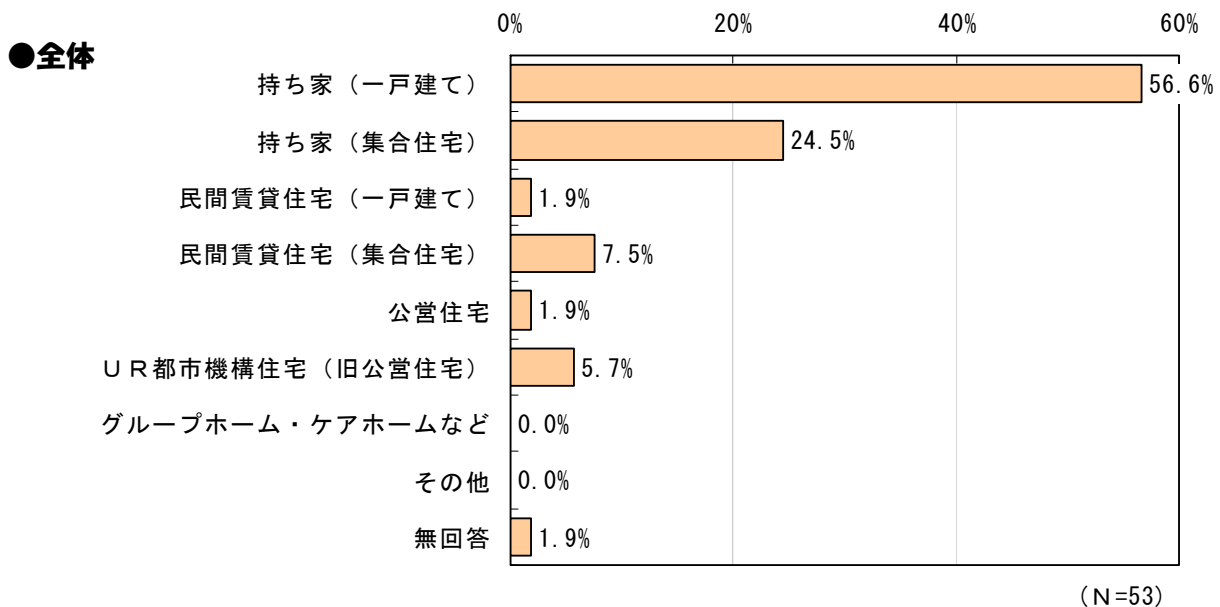
(N=53)

5. 暮らしについて

(1) 住まいの種類

問 22 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

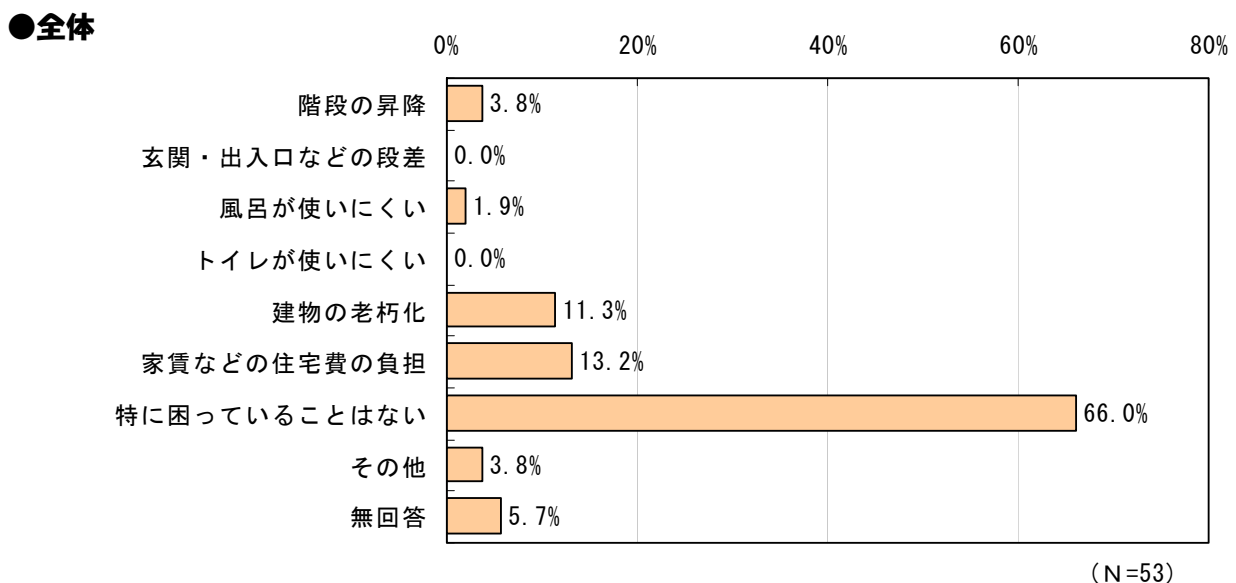
「持ち家（一戸建て）」が56.6%、「持ち家（集合住宅）」が24.5%となっています。



(2) 住まいについて困っていること

問 23 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

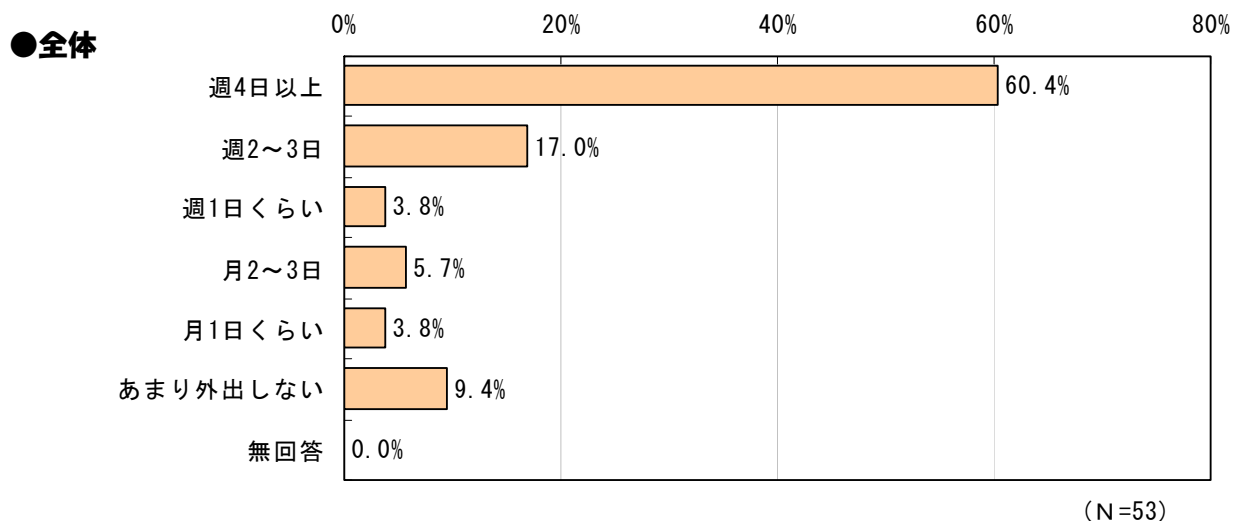
「特に困っていることはない」が66.0%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「家賃などの住宅費の負担」が13.2%、「建物の老朽化」が11.3%となっています。



(3) 外出の頻度

問 24 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

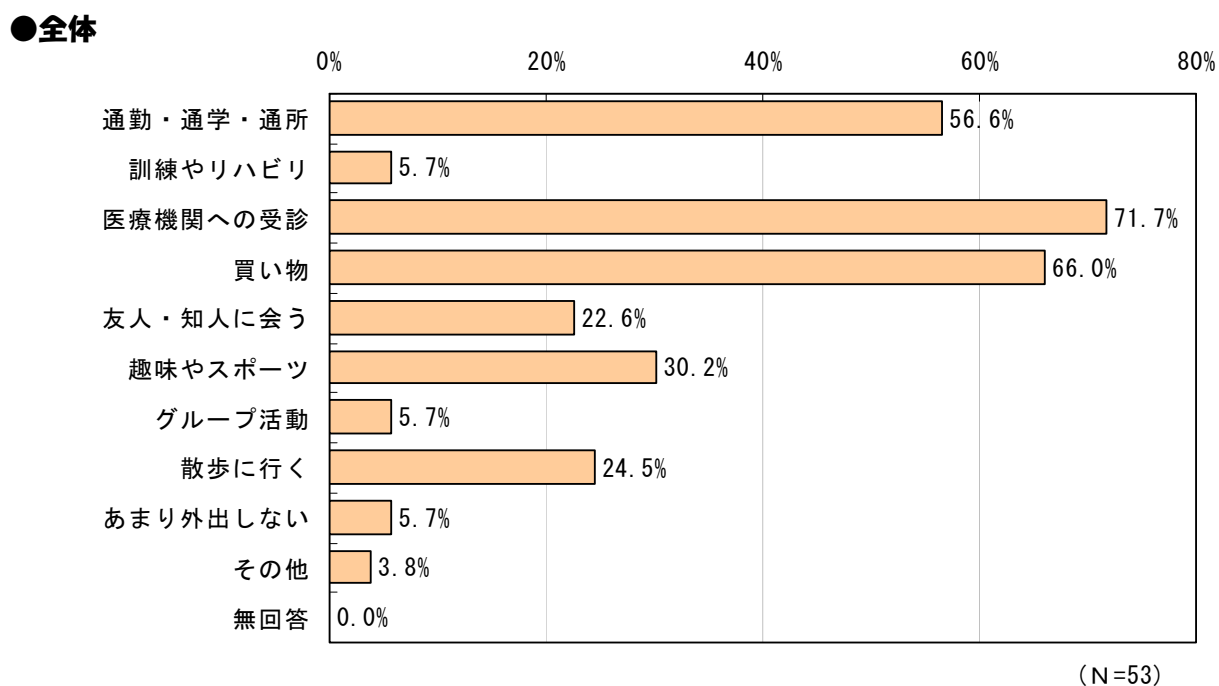
「週4日以上」が60.4%、「週2～3日」が17.0%となっています。



(4) 外出の目的

問 25 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

「医療機関への受診」が71.7%、「買い物」が66.0%、「通勤・通学・通所」が56.6%となっています。



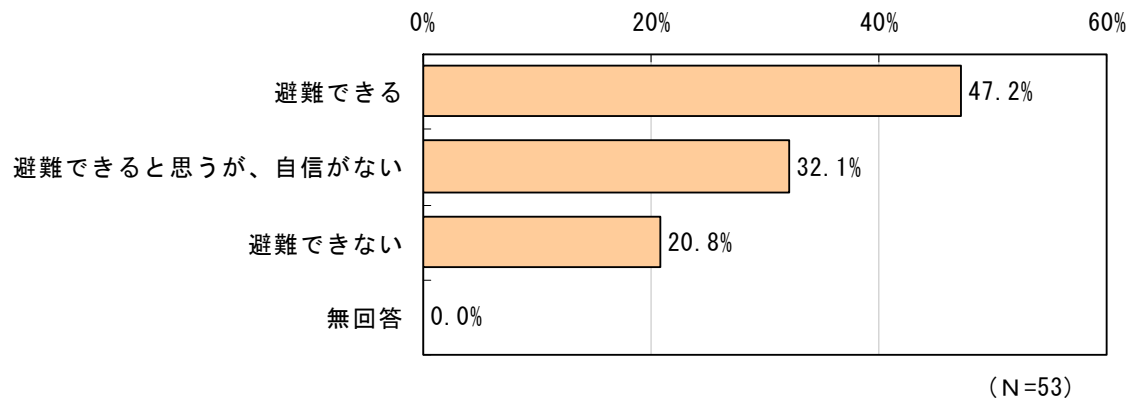
6. 災害対策について

(1) 災害時の避難

問 26 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

「避難できる」が47.2%、「避難できると思うが、自信がない」が32.1%となっています。

●全体

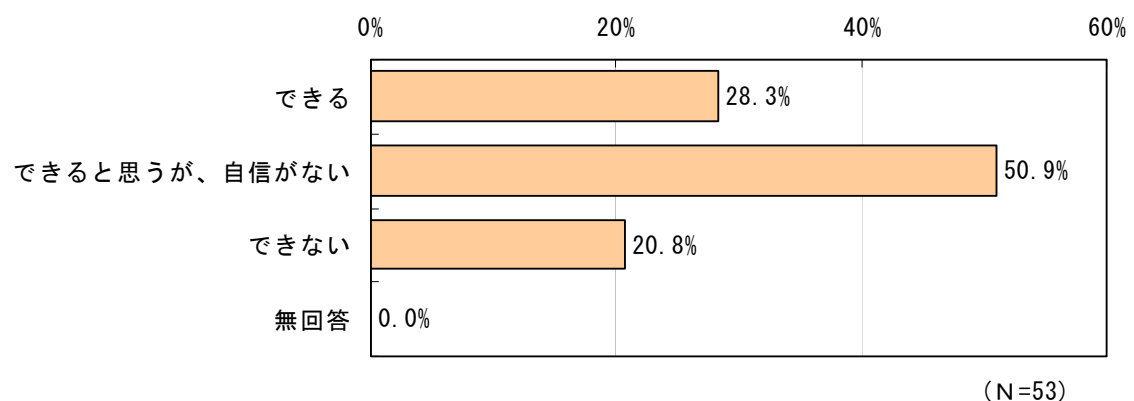


(2) 災害時に困っていることを周囲に知らせることが可能か

問 27 あなたは、災害時に自分が困っていることを、周囲の人に知らせることができると思いますか。(〇は1つ)

「できると思うが、自信がない」が50.9%、「できる」が28.3%となっています。

●全体

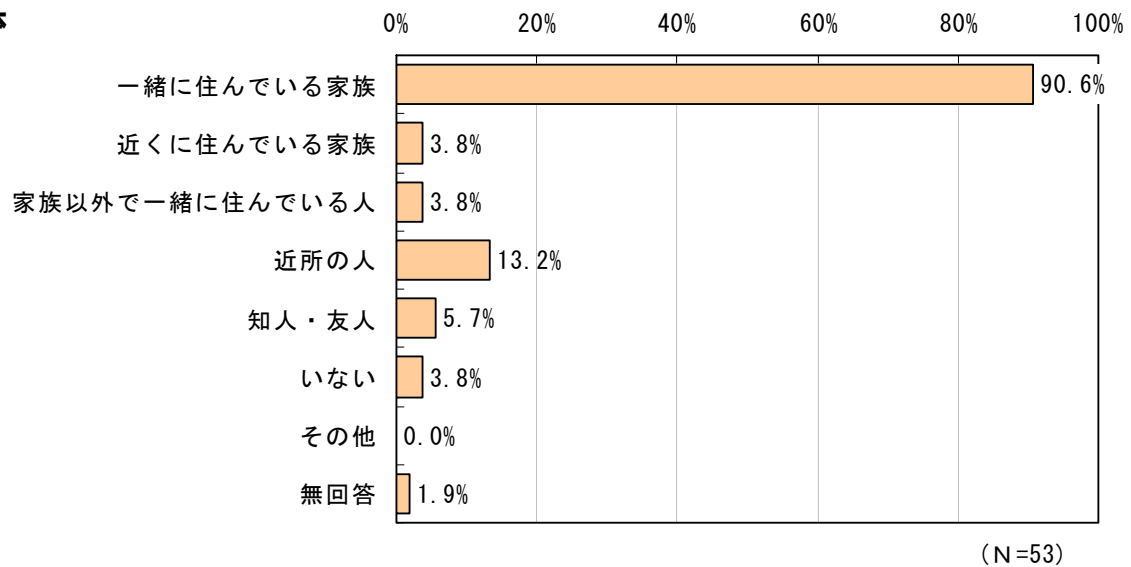


(3) 災害時に避難を支援してくれる人の有無

問 28 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

「一緒に住んでいる家族」が 90.6%となっています。

●全体

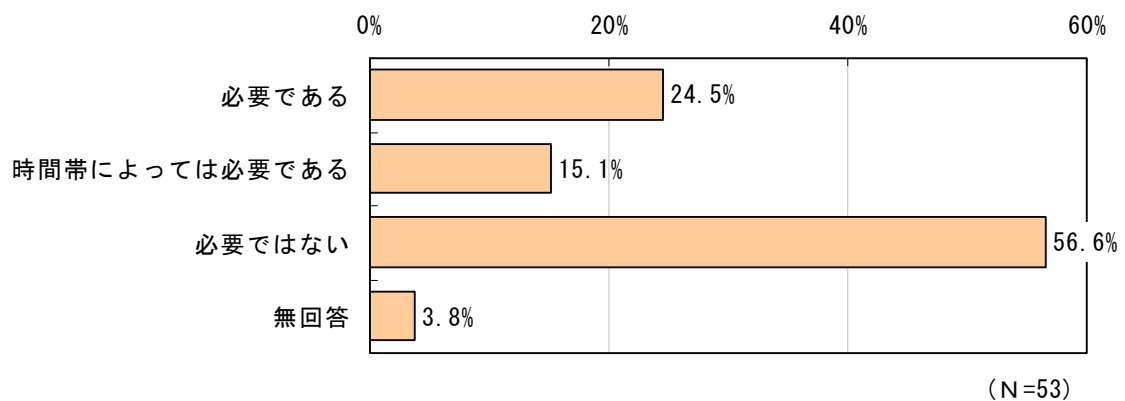


(4) 災害時に地域の方による避難の支援の必要性

問 29 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(〇は1つ)

「必要ではない」が 56.6%、「必要である」が 24.5%となっています。

●全体

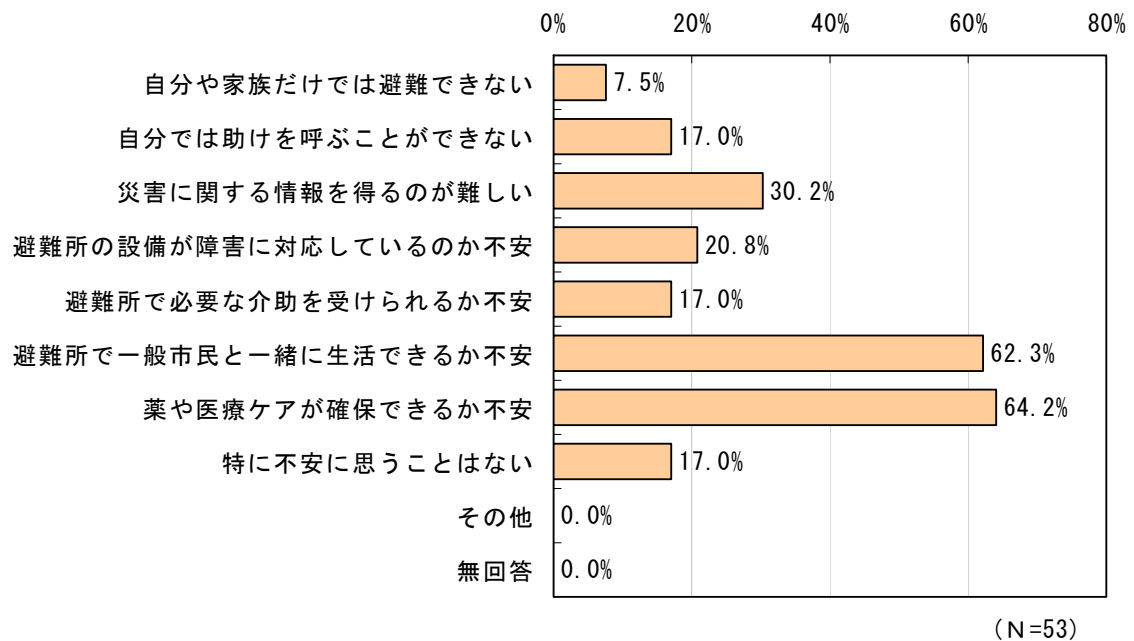


(5) 災害時に不安に思うこと

問 30 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。
(○はいくつでも)

「薬や医療ケアが確保できるか不安」が64.2%、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が62.3%となっています。

●全体

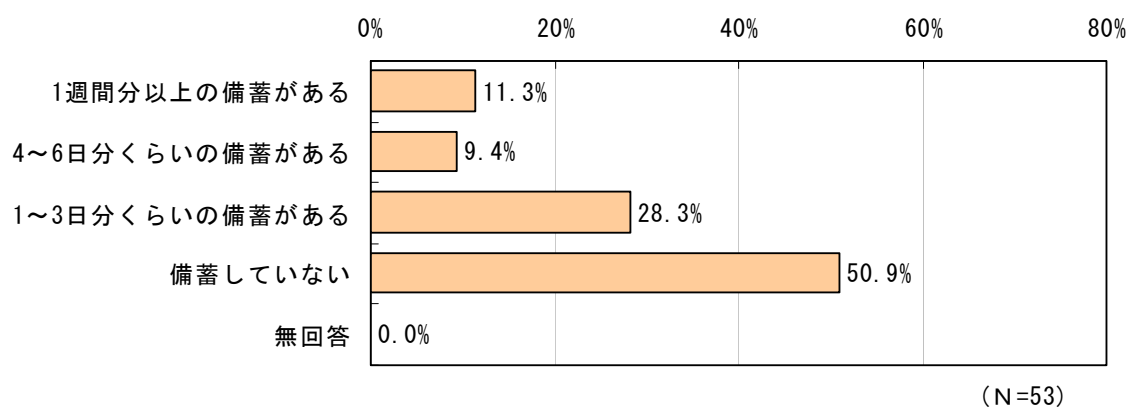


(6) 災害発生に備えた備蓄状況

問 31 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

「備蓄していない」が50.9%、「1～3日分くらいの備蓄がある」が28.3%となっています。

●全体

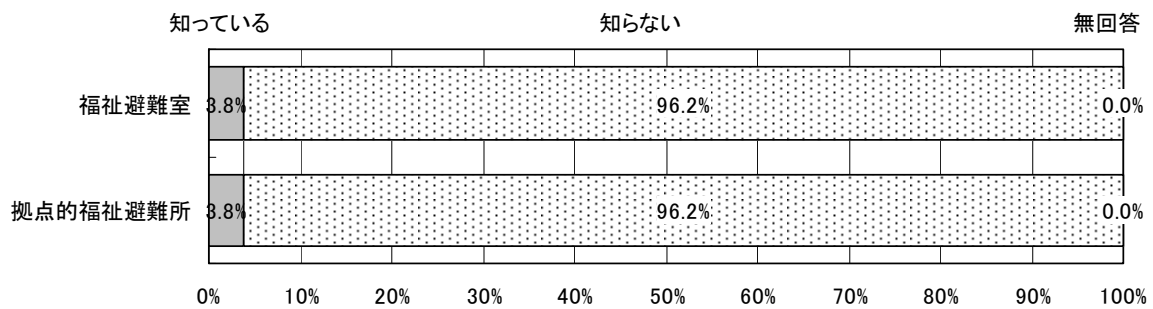


(7) 福祉避難所

問 32 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。

いずれの福祉避難所も「知らない」が多くなっています。

●全体



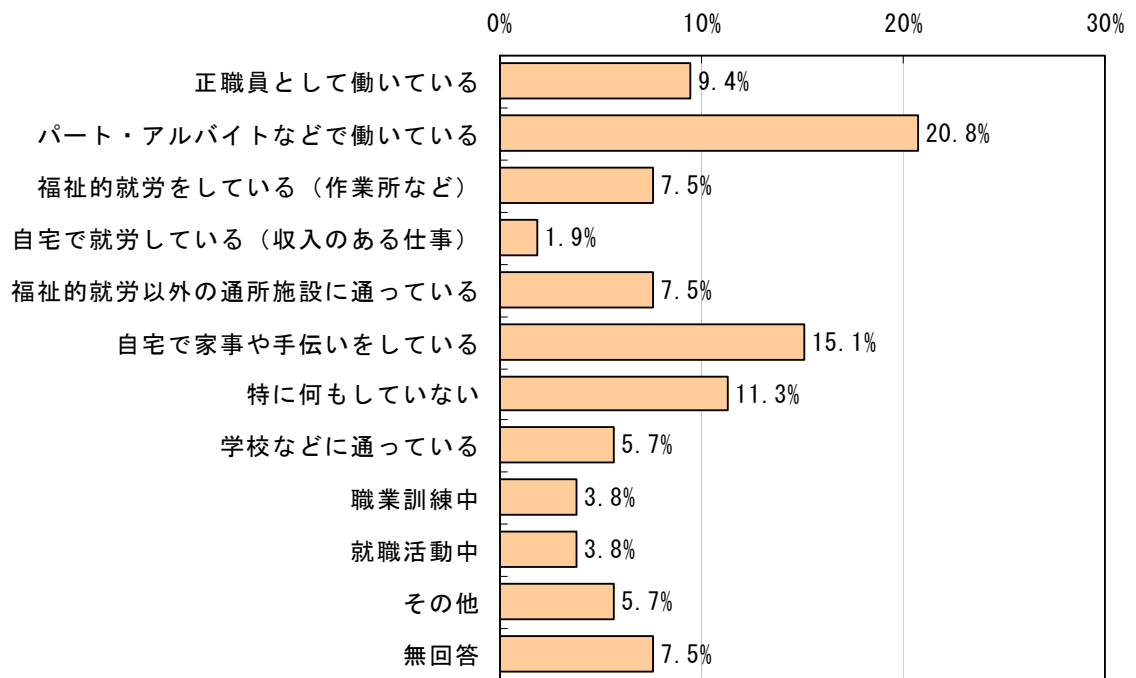
7. 日中活動・就労について

(1) 平日の日中の主な過ごし方

問 33 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまる番号ひとつに○）

「パート・アルバイトなどで働いている」が 20.8%、「自宅で家事や手伝いをしている」が 15.1%となっています。

●全体



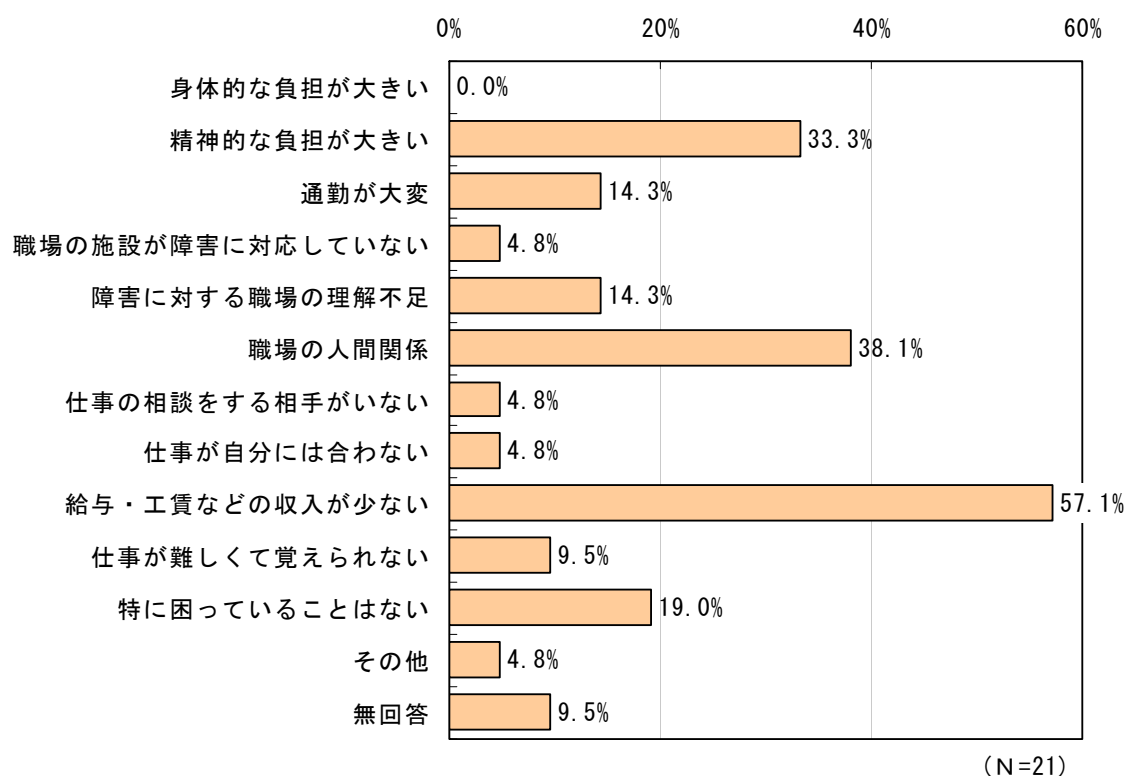
(N=53)

(2) 仕事上で困っていること

問 34 【問 33 で働いている（1～4番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。（○は3つまで）

「給与・工賃などの収入が少ない」が57.1%、「職場の人間関係」が38.1%、「精神的な負担が大きい」が33.3%となっています。

●全体

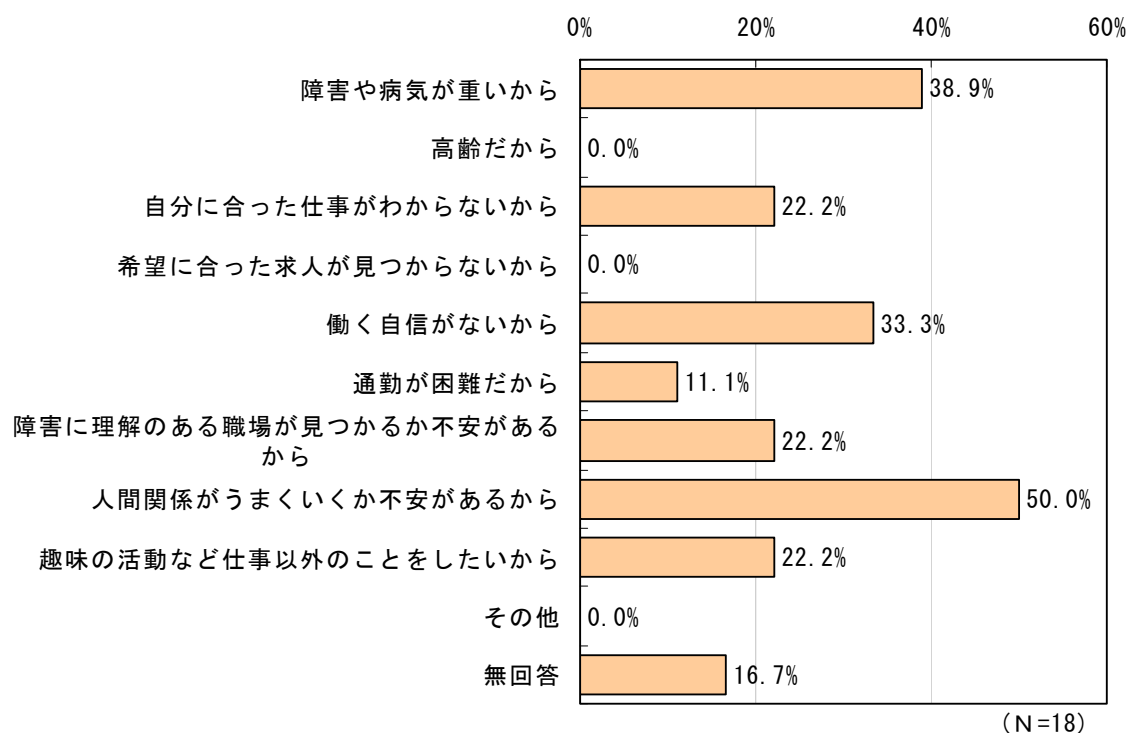


(3) 働いていない理由

問 35 【問 33 で働いていない（5～7 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

「人間関係がうまくいくか不安があるから」が 50.0%、「障害や病気が重いから」が 38.9%、「働く自信がないから」が 33.3%となっています。

●全体

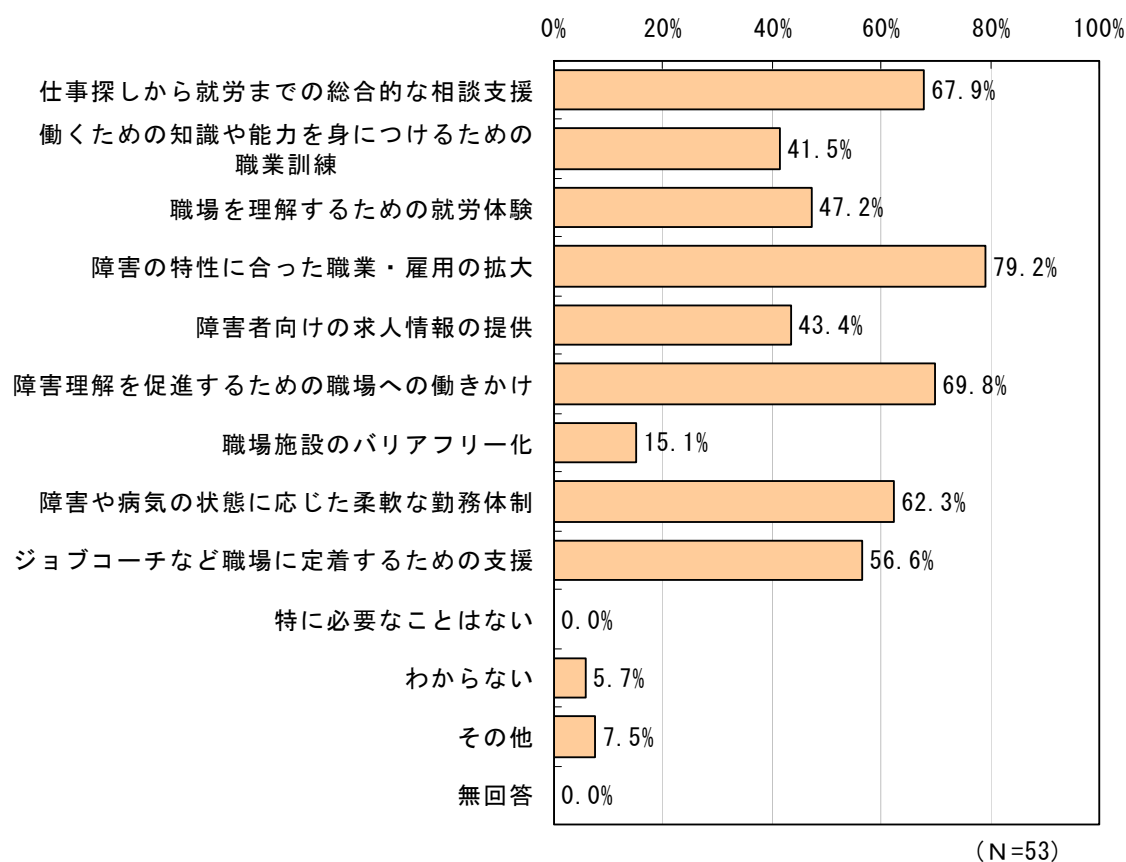


(4) 一般就労のために必要なこと

問 36 【すべての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が79.2%、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が69.8%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が67.9%となっています。

●全体



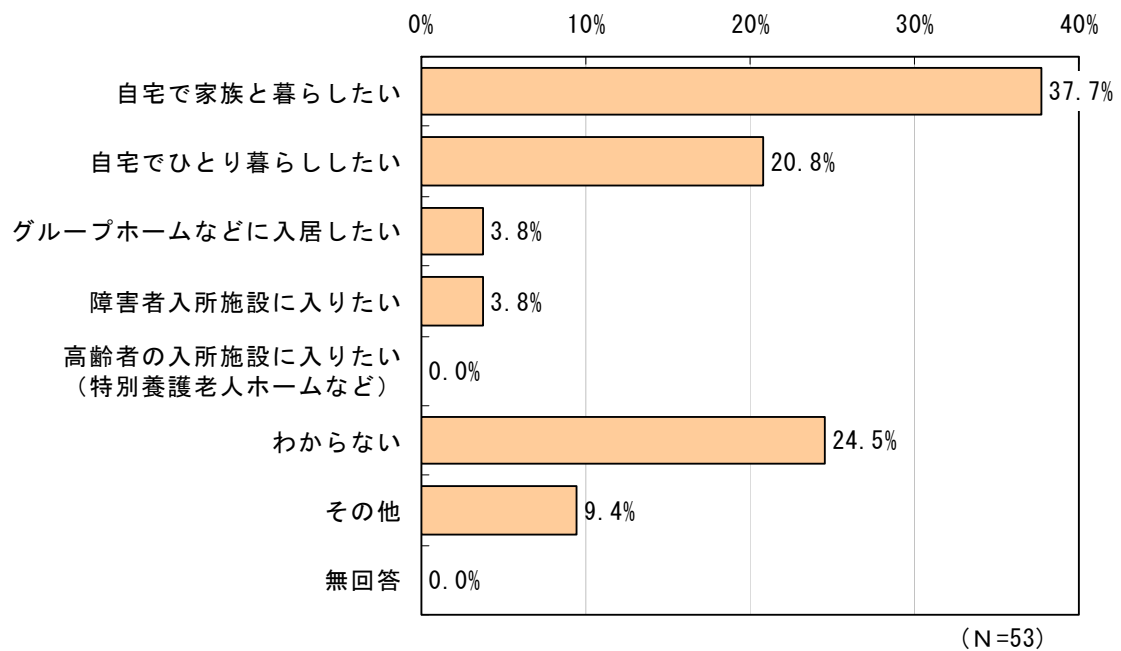
8. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 37 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」が37.7%、「わからない」が24.5%となっています。

●全体

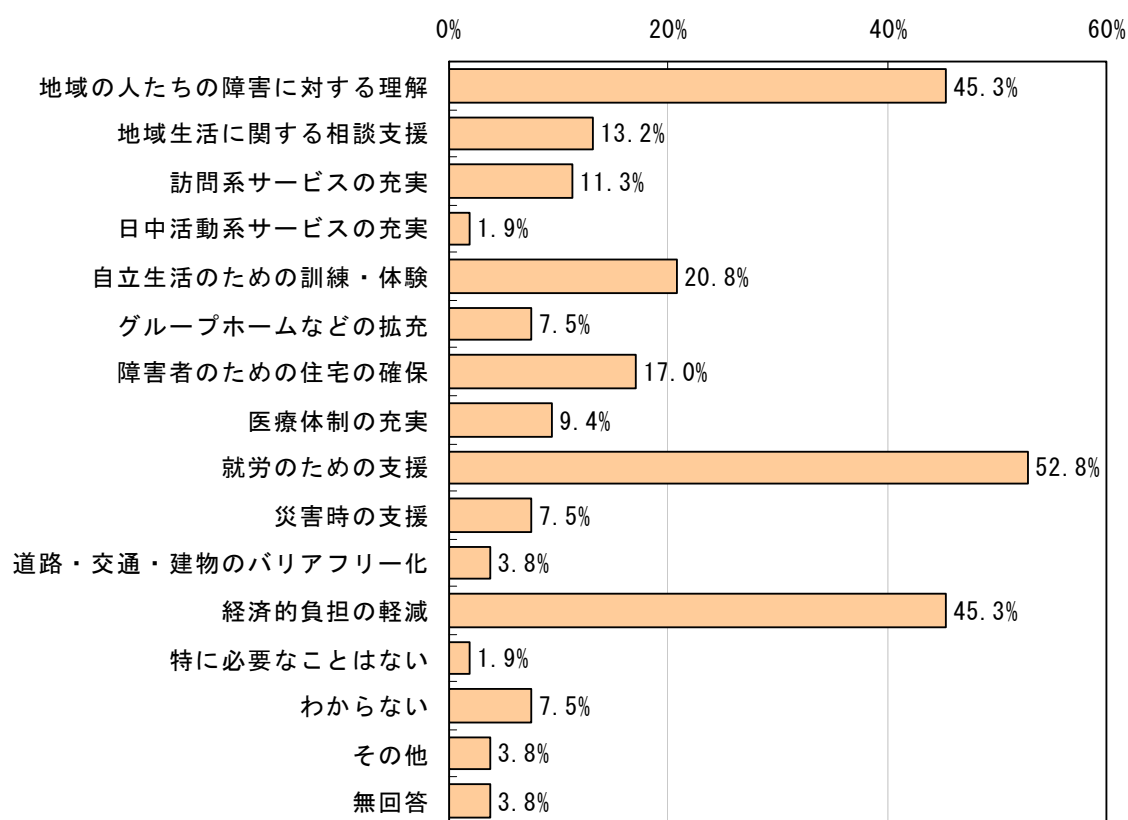


(2) 地域生活のために必要なこと

問 38 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「就労のための支援」が52.8%、「地域の人たちの障害に対する理解」、「経済的負担の軽減」がそれぞれ45.3%となっています。

●全体



(N=53)

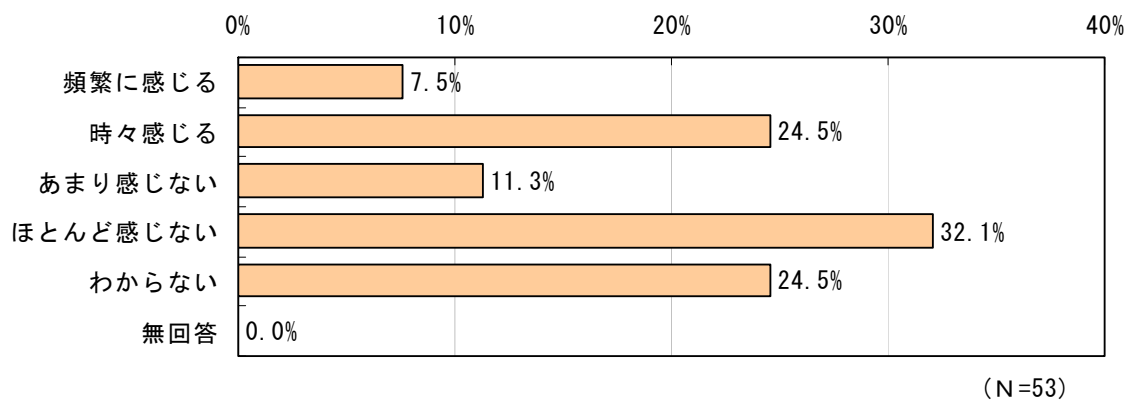
9. 障害のある人への理解度について

(1) 地域で生活していて感じる差別の有無

問 39 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

「ほとんど感じない」が32.1%、「時々感じる」、「わからない」がそれぞれ24.5%となっています。

●全体



(2) 差別を感じた場面

問 40 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。（自由記述）

全体では 22 件の意見がありました。

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

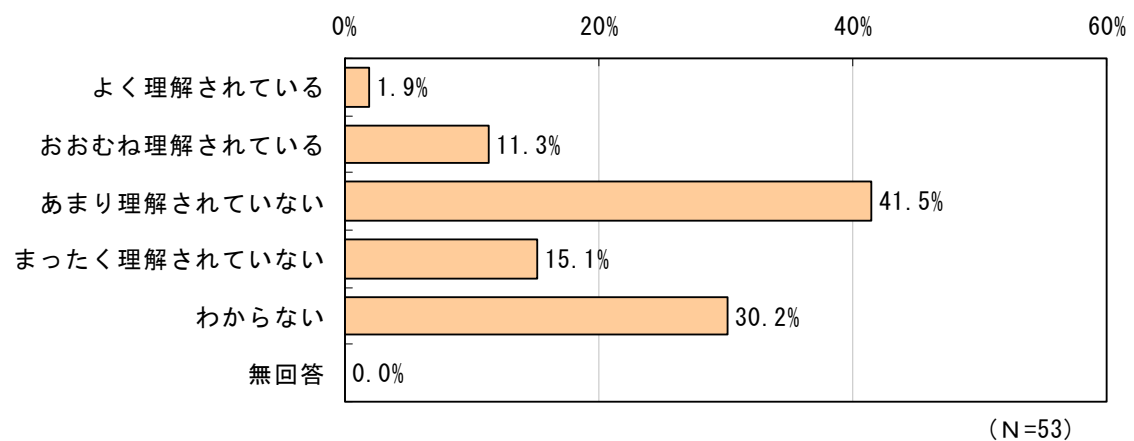
ご意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
身体障害に比べて発達障害が理解されにくいこと。	広汎性発達障害	20代	男性	本人
中学生のとき、いじめにあった。	アスペルガー症候群	20代	女性	本人
特になし	アスペルガー症候群	20代	男性	本人
引きこもりをうわさされた	アスペルガー症候群	20代	男性	本人
面接の時、発達障害があると伝えると必ずことわられる。	広汎性発達障害	20代	女性	家族
外出中にジロジロみられる。「気持ち悪い」等、嫌なことを言われる	自閉症・自閉的傾向、知的障害	10代	男性	家族
学校、家庭における生活。特に学校では半ばいじめのようなからかいにあっていました。知人関係でも現在も差別を感じる所はあります。	アスペルガー症候群	20代	男性	本人
障害はクローズドして社会生活を送っていますが、就活前に医師の方が理解してくれず、やる気が無いというニュアンスの言葉があった。その時は悩んでいたの少し戸惑った。	アスペルガー症候群	30代	男性	本人
障害は知力と別で理解されづらい。	アスペルガー症候群、注意欠陥・多動性障害（ADHD）	30代	男性	家族

(3) 障害のある人に対する市民の理解度

問 41 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

「あまり理解されていない」が41.5%、「わからない」が30.2%となっています。

●全体



10. サービス利用について

(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

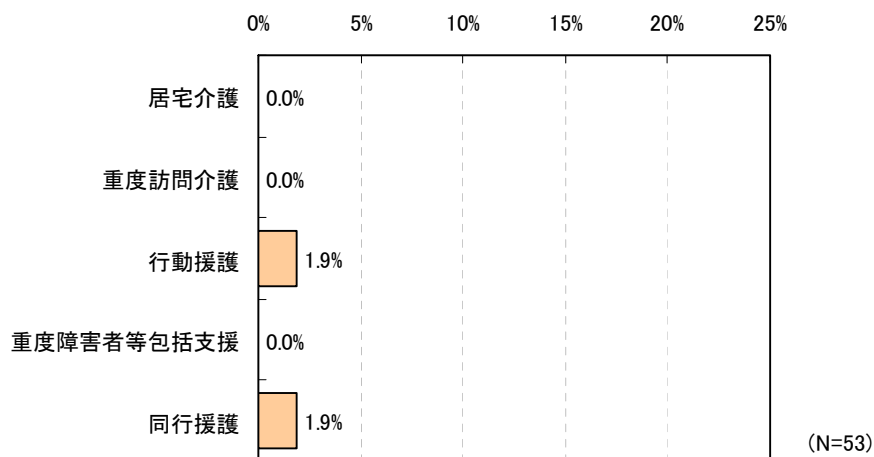
問 42 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいとお
いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「行動援護」、「同行援護」がそれぞれ 1.9%となっ
ています。

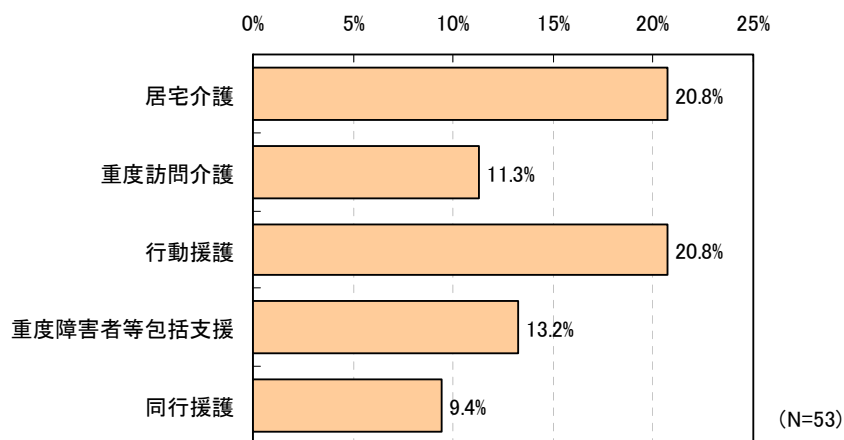
利用したいサービスについて見ると、「居宅介護」、「行動援護」がそれぞれ 20.8%となっ
ています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

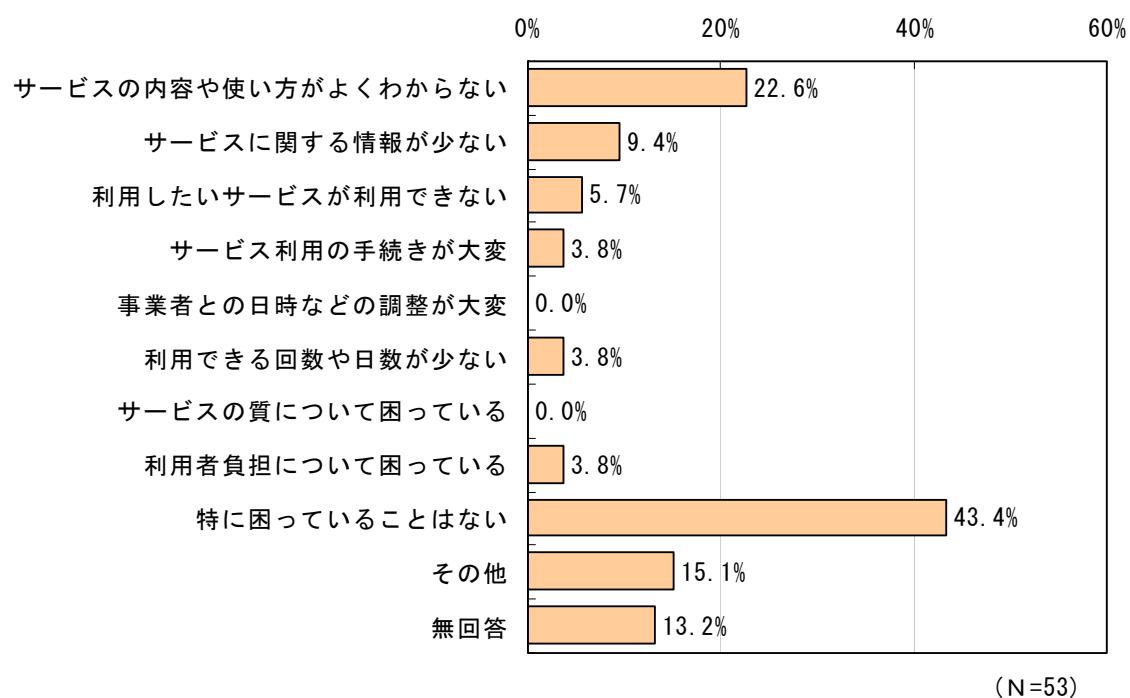


(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 43 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が43.4%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が22.6%となっています。

●全体



(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

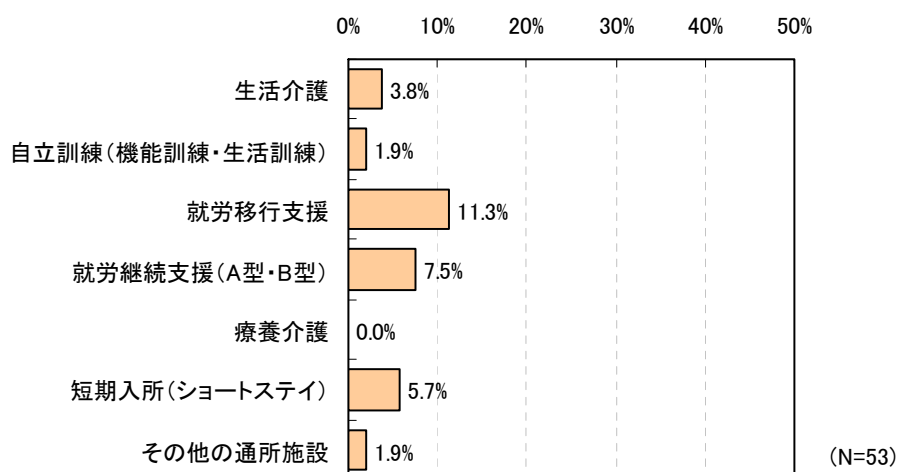
問 44 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「就労移行支援」が11.3%、「就労継続支援（A型・B型）」が7.5%となっています。

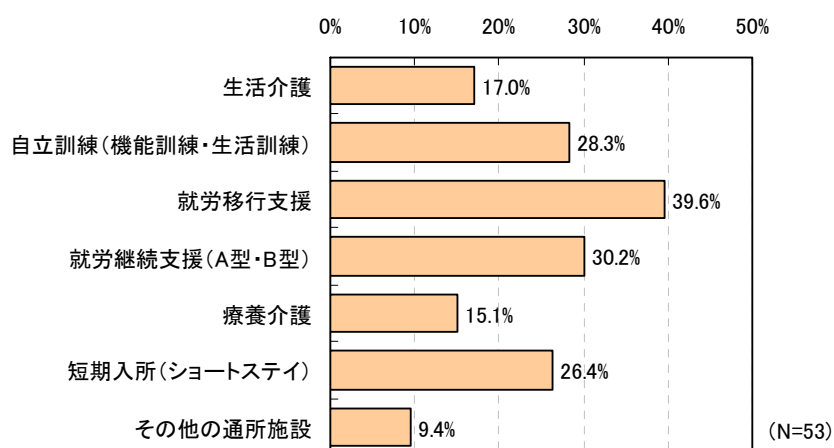
利用したいサービスについて見ると、「就労移行支援」が39.6%、「就労継続支援（A型・B型）」が30.2%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が28.3%、「短期入所（ショートステイ）」が26.4%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

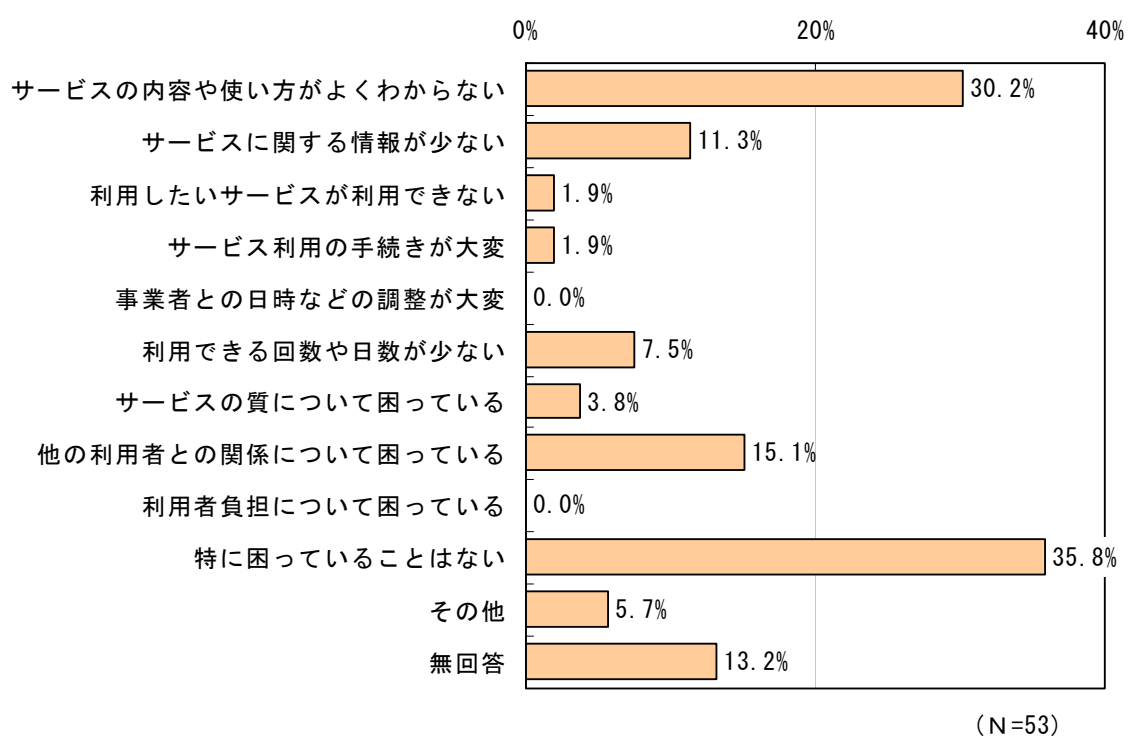


(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 45 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はい
くつでも)

「特に困っていることはない」が35.8%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が30.2%となっています。

●全体



(5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

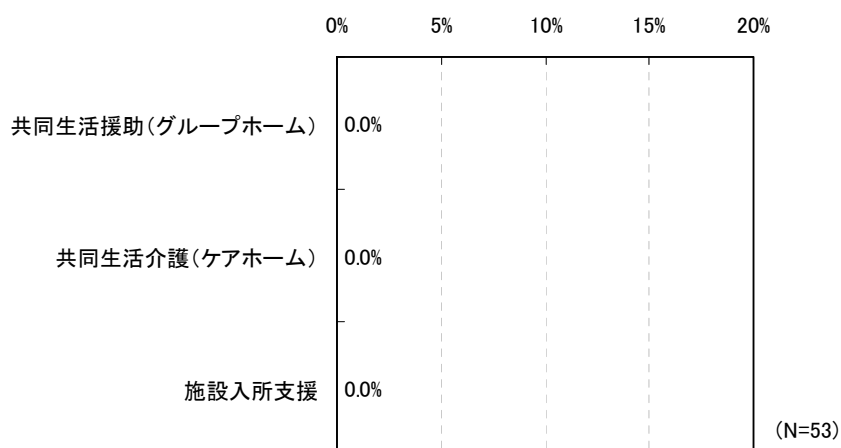
問 46 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

居住系サービスを利用しているという回答はありませんでした。

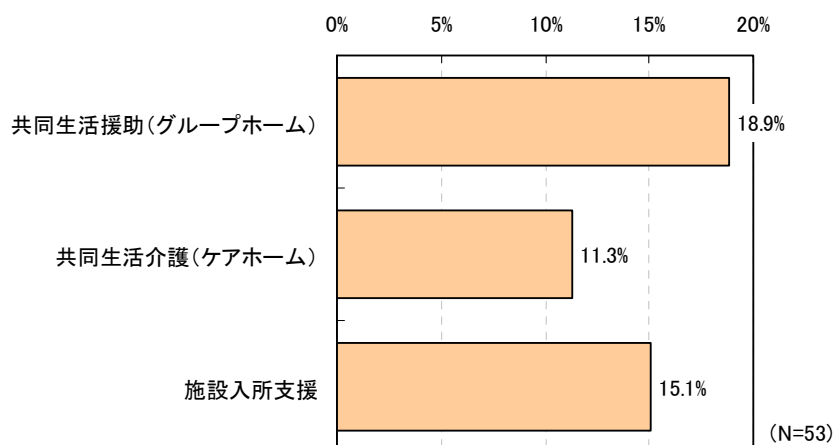
利用したいサービスについて見ると、「共同生活援助（グループホーム）」が 18.9%、「施設入所支援」が 15.1%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

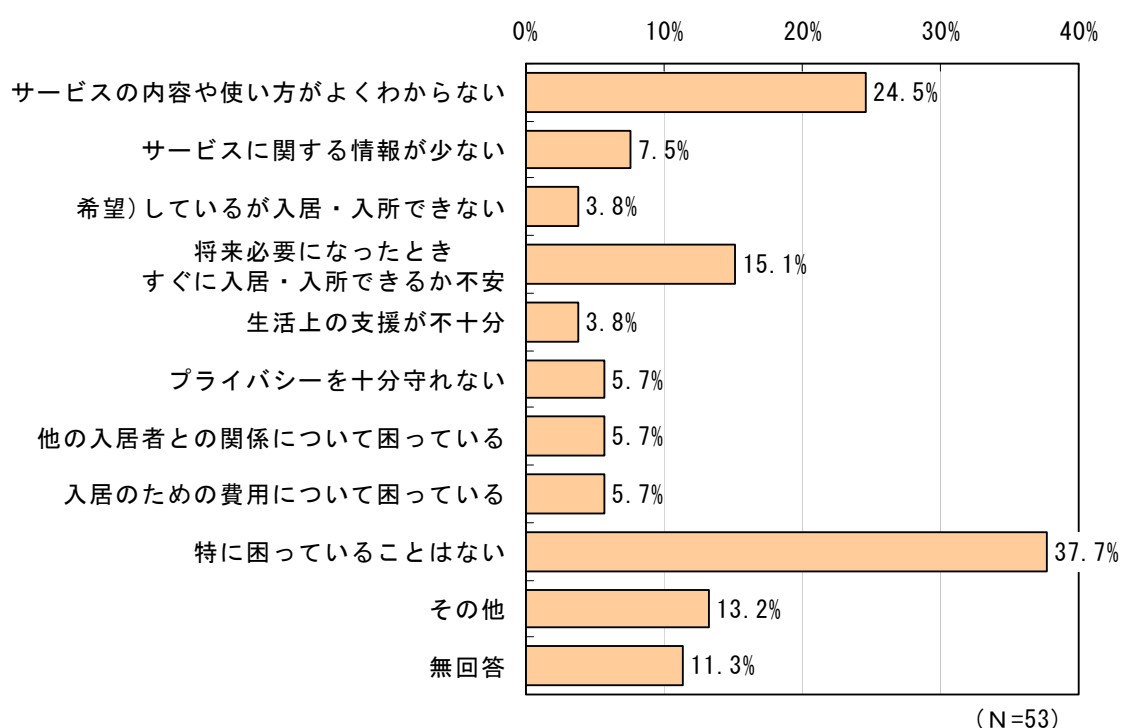


(6) 居住系サービスを利用する上で困っていること

問 47 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が37.7%と最も多くなっています。困っていることがある方については、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が24.5%となっています。

●全体



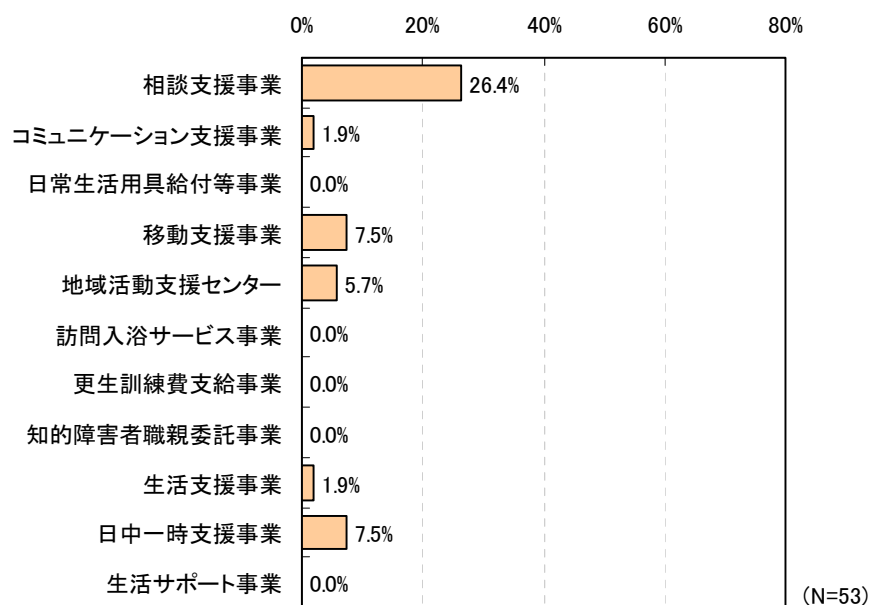
(7) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

問 48 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

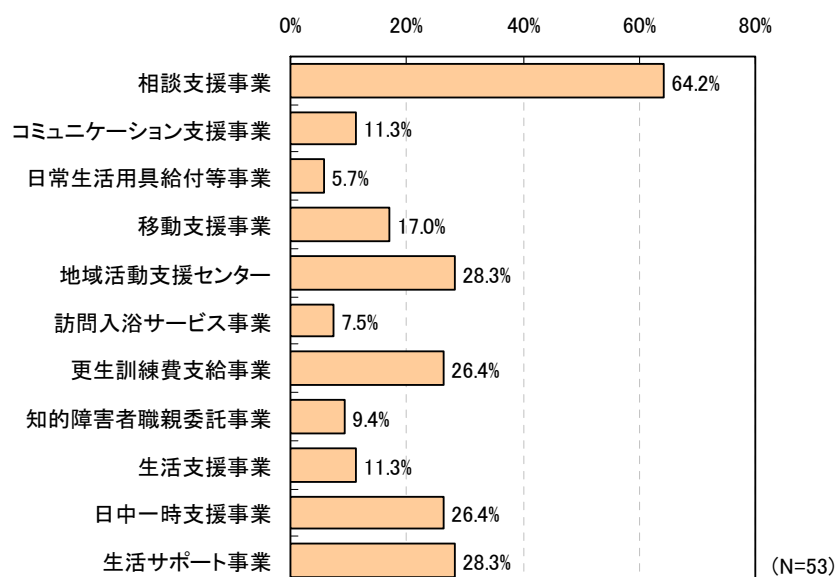
利用しているサービスについて見ると、「相談支援事業」が 26.4%となっています。
利用したいサービスについて見ると、「相談支援事業」が 64.2%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

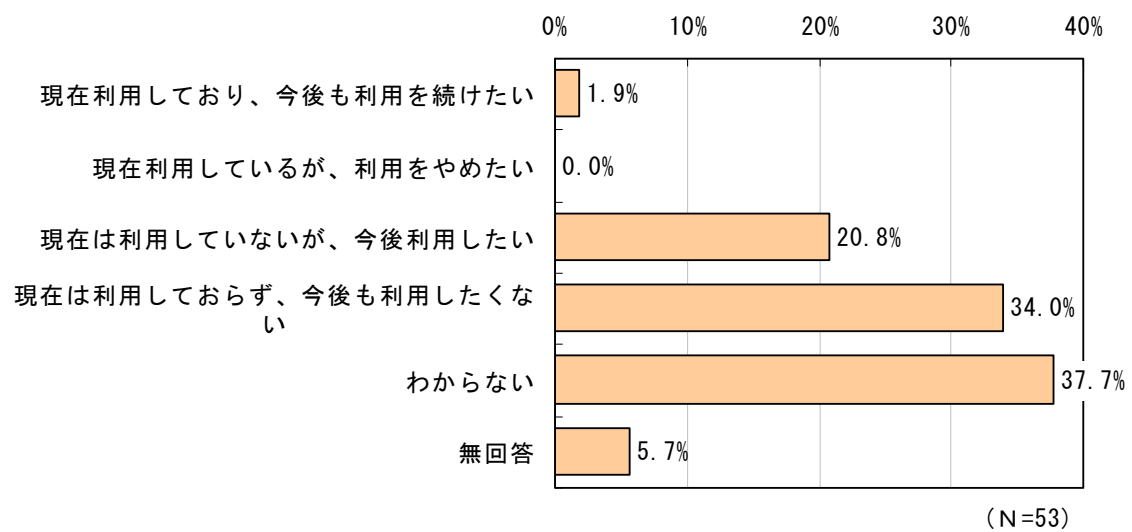


(8) 成年後見制度

問 49 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(〇は 1 つ)

「わからない」が 37.7%、「現在は利用しておらず、今後も利用したくない」が 34.0%となっています。

●全体

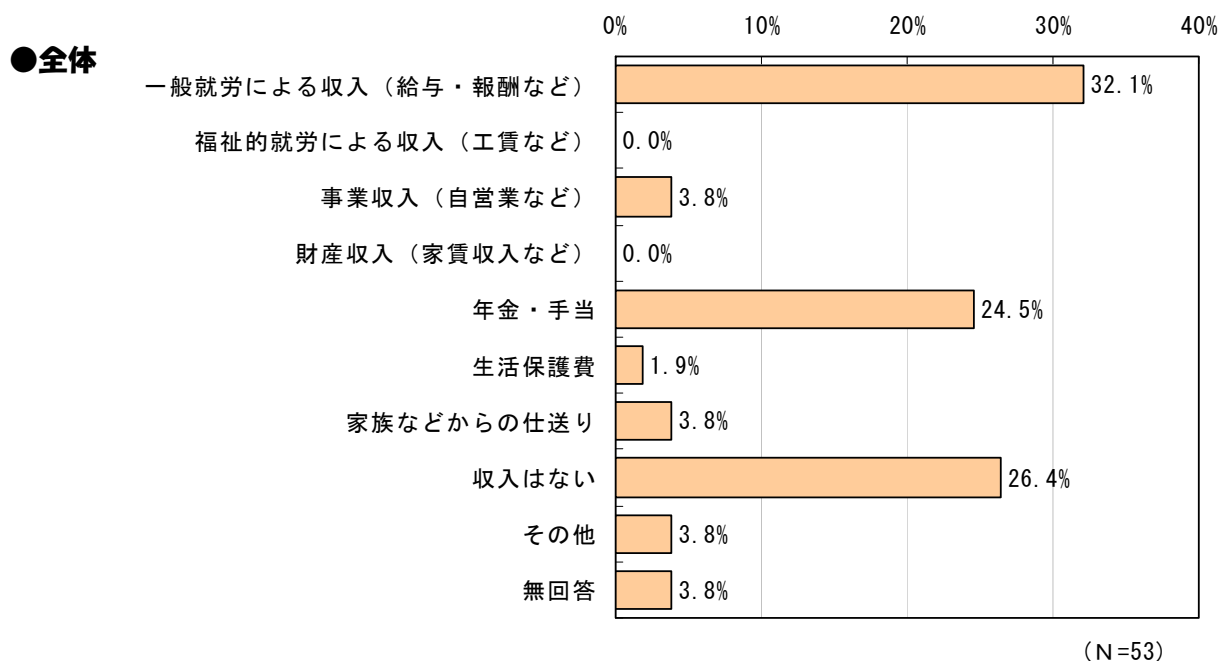


1 1. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 50 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

「一般就労による収入（給与・報酬など）」が32.1%、「収入はない」が26.4%、「年金・手当」が24.5%となっています。

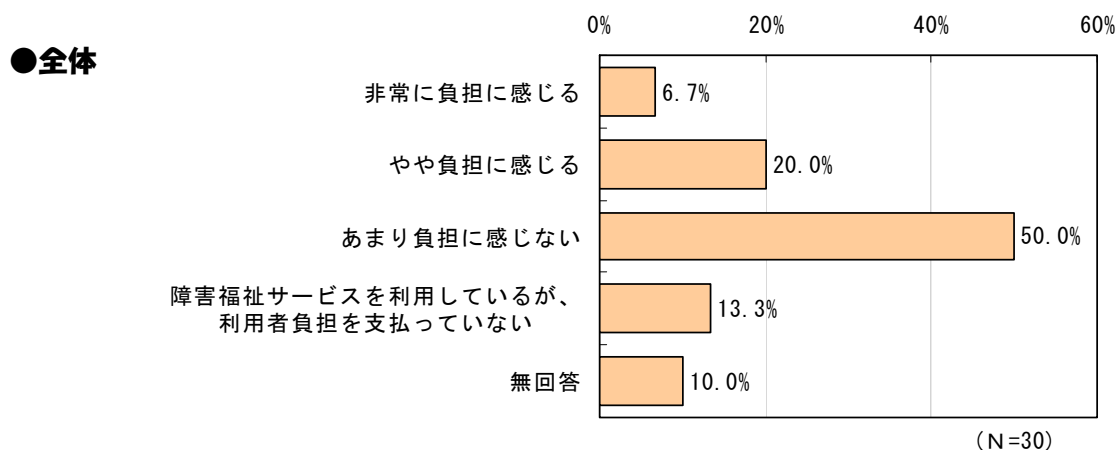


(2) 利用者負担の負担感

問 51 あなた（やご家族の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(○は1つ)

(「障害福祉サービスを利用していない」方を除いて集計)

「あまり負担に感じない」が50.0%となっています。

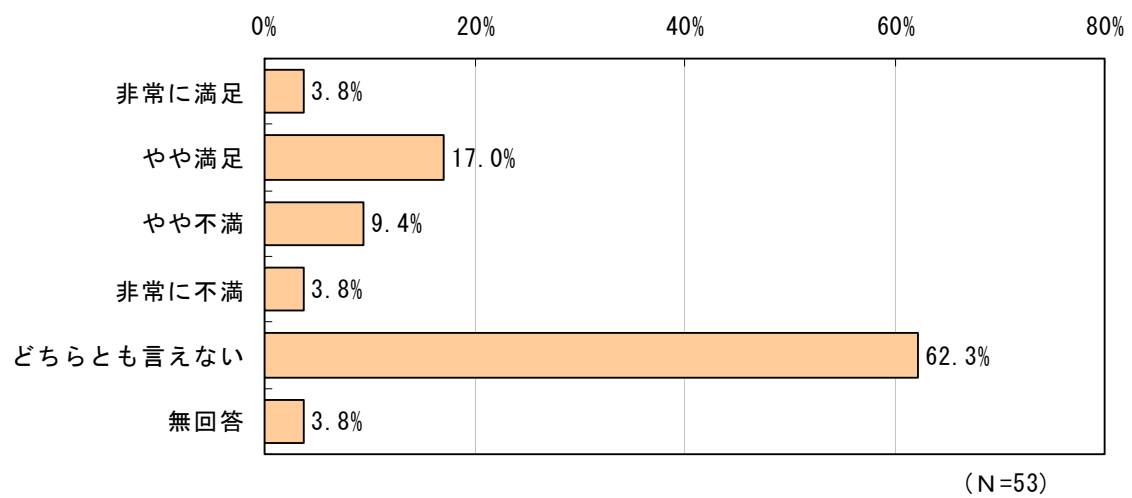


12. 市の障害者施策について

問 52 あなた（やご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。
（○は1つ）

「どちらとも言えない」が62.3%、「やや満足」が17.0%となっています。

●全体



13. 自由意見

問 53 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全体では 35 件の意見がありました。

	全体	分類 1 福祉サービス	分類 2 医療・健康	分類 3 生活環境	分類 4 雇用・就労	分類 5 将来について
件数（件）	35	6	1	0	3	4
構成比（％）	100.0	17.1	2.8	0.0	8.5	11.4

	分類 6 経済事情・経済的支援	分類 7 行政・制度	その他
件数（件）	1	19	1
構成比（％）	2.8	54.2	2.8

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 分類 1 福祉サービス（6 件）

障害特性に応じたサービスの充実や、見守り・相談に関すること、送迎サービスに関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
障害者の人は仕事をしていない人も多く、規則正しい生活のリズムが整っていないので、社会復帰のための一日に長く利用できるような（通えるような）福祉サービスがあるととてもうれしく思います。	広汎性発達障害	20 代	男性	本人
知的障害の伴わない軽度の発達障害者です。就労支援、ジョブコーチ制度等仕事についての支援を受けたことはありますが、家事サポート等を受けたことがありません（料理、洗濯は自力で可能ですが「片付け」ができなくて困っています）。こういった発達障害の特性による困りごとを助けてほしいと思います。	広汎性発達障害	30 代	女性	本人
自宅から通所施設への送迎サービスがあればよいと思います。	自閉症・自閉的傾向、知的障害	20 代	男性	不明

② 分類2 医療・健康（1件）

医療機関に関するご意見がありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
現在うけているサービスが自立支援医療なので、今回のアンケートの回答にあまり役立てることはできないと思います。申し訳ありません。今のサービスで医療機関の変更がもう少し簡素化できればよいとも思いますが、現実的には困難ですね。市の方々も大変ですが、今後も少しでも多い障害で困っている方の支援ができるようがんばった下さい。	注意欠陥・多動性障害（ADHD）	40代	女性	本人

③ 分類3 生活環境（0件）

④ 分類4 雇用・就労（3件）

就職活動に関することや、同じような障害のある方の就労体験談を希望するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
就活中ですが、学校での支援が十分でないので、ハローワークに相談し、正社員として働きたいです。	アスペルガー症候群	20代	女性	本人
障害福祉は重度の方には手厚いサポートがあるけれど、アスペルガーなどの発達障害は軽いとみなされるのでサポートが少ないと思う。どんなサポートが受けられるのかもわかりやすくしてほしい。知的障害のない発達障害の人が能力にあった職場を見つけるサポートをしてほしい。サポートしてくださる方々は経験豊富で安心してお願いできる人を希望します。同じ障害を持った先輩方がどのような会社に入ってがんばっているのか体験談を聞くことができるようなイベントをやってほしいです。	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害、アスペルガー症候群	20代	男性	家族

⑤ 分類5 将来について（4件）

保護者等がいなくなった後の居住場所や経済的での不安に関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
とにかく親の死後が心配です。生活保護は家があるとできません。就労は不透明です。親の死後（父親のあと母親とすると）年金（遺族）をもらえます。生活保護はいりませんか、遺族年金と同額が障害の子にももらえるようにならないかと思います。どこも経済きびしい。	アスペルガー症候群、注意欠陥・多動性障害（ADHD）	30代	男性	家族
多くの支援サービスに助けられて、何とか就職する事ができました。本当に感謝しております。特に発達障害者支援センターや障害者職業センターでは長期間、根気よく支援して頂き、ありがとうございました。これからも定着支援等でお世話になります。よろしくお願いします。現在困っている事としては経済的に自立できておらず、将来自立できる見通しも立っていない事です。今は親がかりで生活していますが、両親もいつまでも働けるわけでもなく、預金等もそうないので、将来生活するメドが立ちません。奨学金等の返済も必要になりますし、妹も就職できずにいます。支出は増えてゆくのに、収入が増えるあてがありません。又、アスペルガー症候群及びそれに伴ううつ診断で手帳を頂いていますが、うつの部分が解消した時にも手帳を頂き続ける事ができるのかも不安です。現在の職も障害者枠で雇用して頂いているので、手帳が無くなったら雇用し続けてもらえるのかわかりません。まして一般枠で職を見つけられるとも思えず、不安を感じています。	不明	20代	男性	男性

⑥ 分類6 経済事情・経済的支援（1件）

雇用に関する不安とそれに伴う経済的支援を望むご意見がありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
私は精神で手帳を持っているアスペルガーの障害者ですが、今は就労できているけれど、一度仕事をやめてしまう（ストレスで身体が持たなかったり、上手く仕事ができなかったり）と長期間の無収入状態になりやすいです。それなので、介護などのサービスは必要ないのですが、医療費や生活費、税金の支払いにいつも不安があります。でも、病院で障害年金は3級だとむずかしいと言われ、同じ立場の人も審査を落とされたりで申請する勇気ができません。重度ではないけど、生活に困ることは多いので、経済的支援をもっとして欲しいです。あと、就労している障害者だと、手帳や自立支援の手続きで、きぼーるの千葉市中央保健福祉センターに平日行けないので、月1回で良いので土曜にも開庁して欲しいです。あと、千葉市の発達障害支援センターは利用して助かっていますが、とても利用する人が多く、予約を入れるのにも1ヶ月、2ヶ月先になるので、もっと職員さんを入れて対応できるようにして欲しいです。（今いる職員さんがとても良い方なので、利用者が増えていると思います）	アスペルガー 症候群	30代	女性	本人

⑦ 分類7 行政・制度（19件）

情報提供に関することや手続きに関すること、関係機関の連携、市職員の対応に関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
生活が困難な状況にある人が少しでも早く障害の事実が付けられるように気軽に相談ができるシステムがあれば良いと思います。（相談に関する意見：4件）	アスペルガー 症候群	20代	男性	本人

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
「発達障害」に知的に障害がある人間だけではなく逆に知能が高くもしくは人並みより少し上位で一見「普通に見える」人間もいる。後者の人間からしてみると「障がい者なんです」って言っても「どこが障がい者なのか？」と理解されない。「知的な面やコミュニケーション面の障害だけでなく、身体的な感覚の過敏さとか様々な面でも障害があるのだということをもう少し考えてくれないか？「生活に支障」がでてくれば「もう障害」なんだというのは理解されない。それと市の障がい者施策について 5.1 に丸をつけたが「正直な話」このアンケートに書かれている福祉施策はほとんど知らなかった。病院に通院し始めた衣「自立支援医療」の事は全然知らなかったし、障害者手帳や障害者年金の資格や受給条件も全然知らなかった。「こういった」生活に関係するような事はもう少し目立つように告知してくれないか？HP を見ろって言うけど「視覚障害」って言うても「目が見える」だけでなく逆に「テレビやパソコン画面が苦痛」とか「介助している人がPC にうといという人もいるのだから、どうか「そういう」ところを考えてほしいと思う。何とか現在では自分で調べたりしているけど具合が悪い時にPC とか HP どころではない。介助者はPC に弱いし…。 (情報提供に関する意見：3件)	アスペルガー症候群、自閉症・自閉的傾向	30代	女性	本人
発達障害者にとって手帳を取得できるのが「精神保健福祉手帳」となっているのがよくわからない。もし二次障害等が出なくて手帳を取得できなかったら障がい者と認めてもらえない。私は幸い手帳を取得できたが、他の手帳等の考慮をいただきたい。なぜなら「精神一手帳」は医師の診断書を必要とするが、発達障害で安定していた状態のときも、病院に通院していないと診断書が出ないのはおかしい。脳の発達の偏りが原因とされているのに他の障害と比較すると差別を感じざるを得ない。(手続に関する意見：4件)	アスペルガー症候群	40代	女性	本人
親戚の冠婚葬祭等で緊急を要する場合の行き場がない・相談支援等利用しているので計画的な予定には対応できるが、時間に関係なく地域で相談にのってくれる方がいれば心強いと思う。現在住んでいる場所には自治会がないので相当の民生委員が誰なのかも知りません。民生委員も高齢の方が多く知的障害のことを知らない方が多いと聞きました。民生委員の理解を望みます。	自閉症・自閉的傾向、知的障害	10代	男性	家族

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
現在、発達障害者支援センターと障害者職業センターにお世話になっています。しかし、ここにたどりつくまで非常に時間がかかりました。市役所、保健福祉センターの窓口や時々行われる医師による個別相談、あるいはハローワークの障害者窓口、市内の病院のカウンセラーetc…そのどこでもどんな機関があってどんなサービスが受けられるのか、きちんと体系的にわかっていて教えてくれるところがありませんでした。発達障害者支援センターでさえ職業センターの存在を知らせてはくれませんでした。こんなことでは困ります。市役所や病院、どこかに相談に行けばその先、どんな支援が受けられるのかきちんとわかってすみやかにつなげて下さるよう…そういうシステムによるよう、よろしくお願いします。	アスペルガー症候群	20代	男性	その他

⑧ その他（1件）

障害者本人の自己決定の尊重に関するご意見がありました。

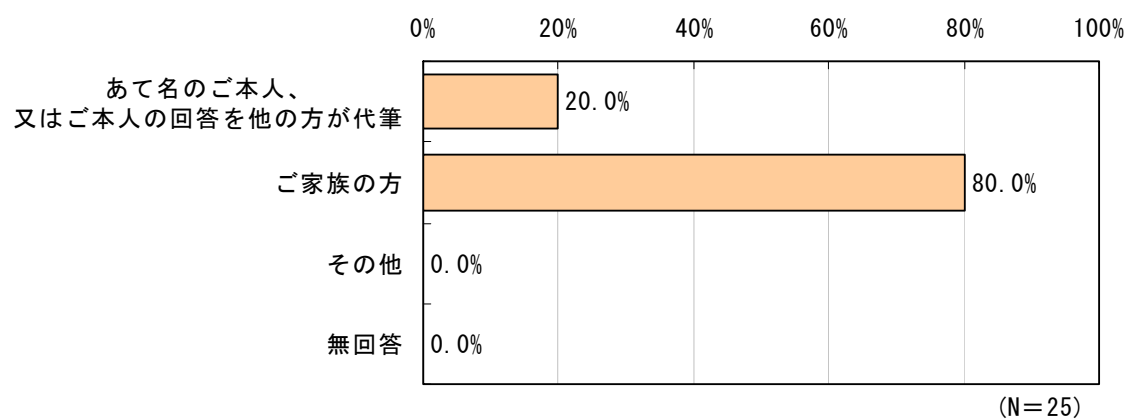
ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
自分で「これからどうしたいか」をまず表記し、専門家の方は意見を押しつけずというスタンスを認める「空気」	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害	20代	男性	不明

V 18 歳未満の発達障害者の方と保護者の方を

対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

「ご家族の方(ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答)」が80.0%となっています。



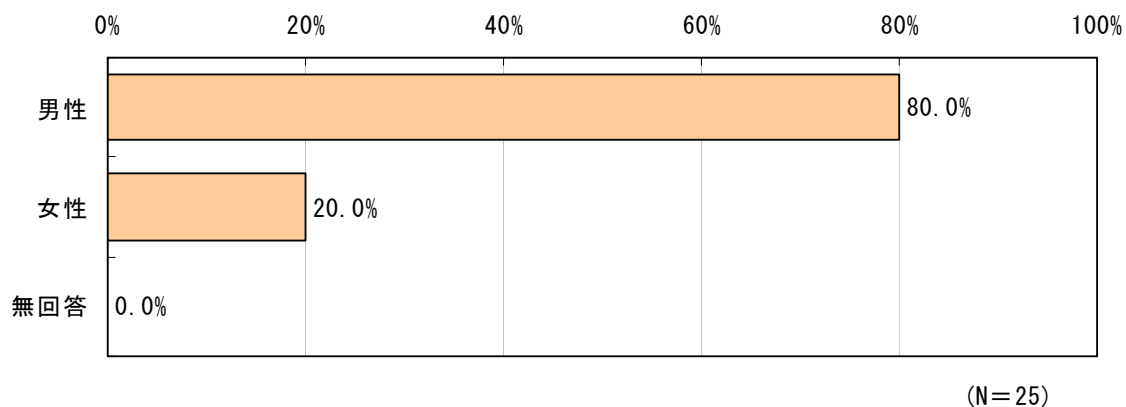
1. ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が80.0%、「女性」が20.0%となっています。

●全体

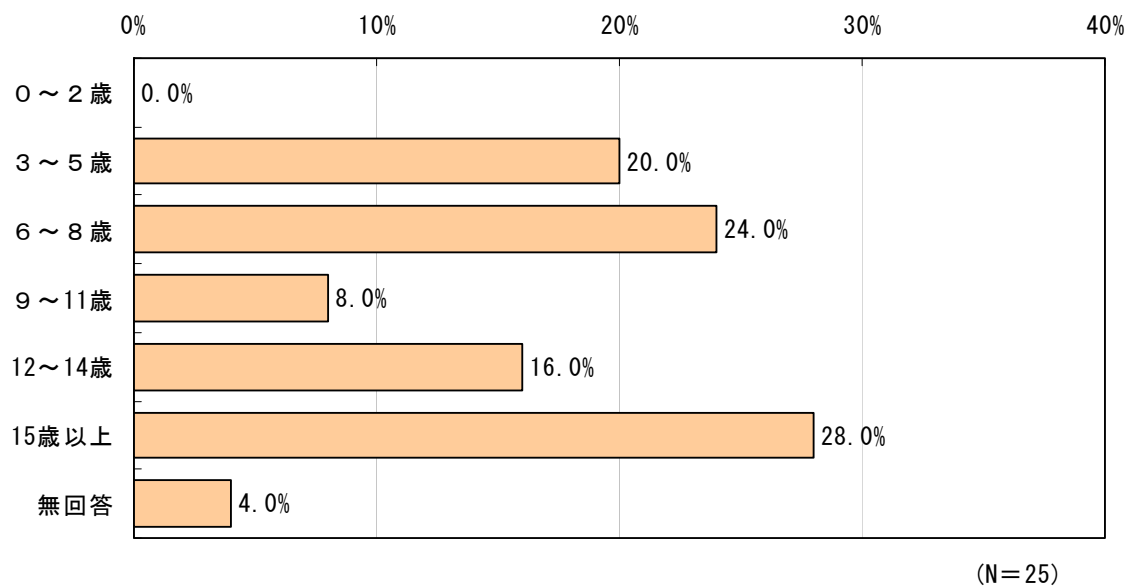


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

「15歳以上」が28.0%、「6～8歳」が24.0%、「3～5歳」が20.0%となっています。

●全体

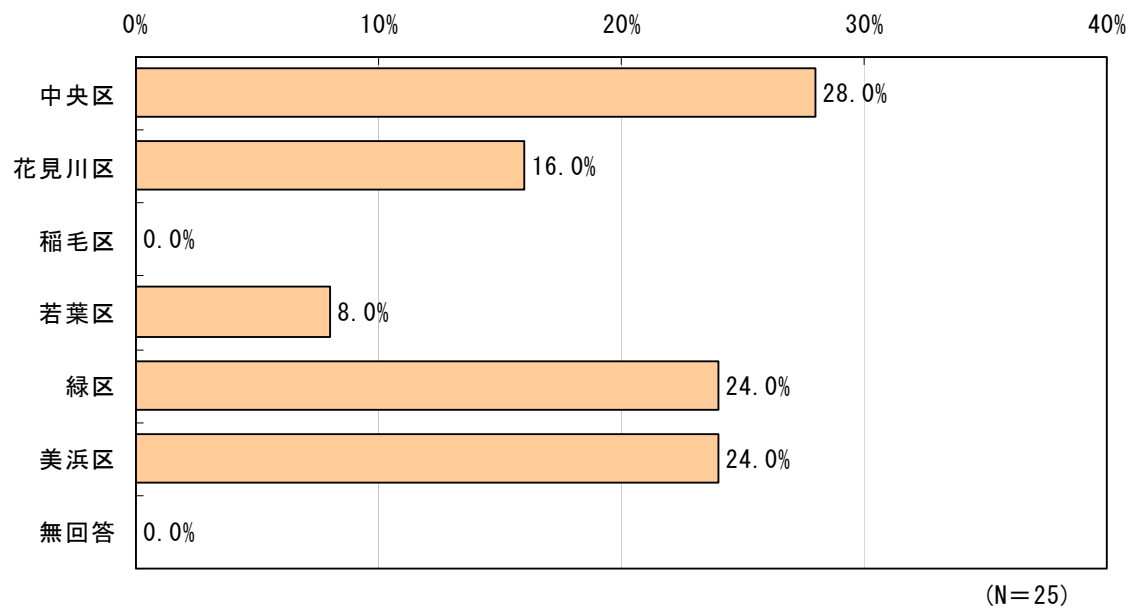


(3) お住まいの区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「中央区」が28.0%、「緑区」、「美浜区」がそれぞれ24.0%となっています。

●全体

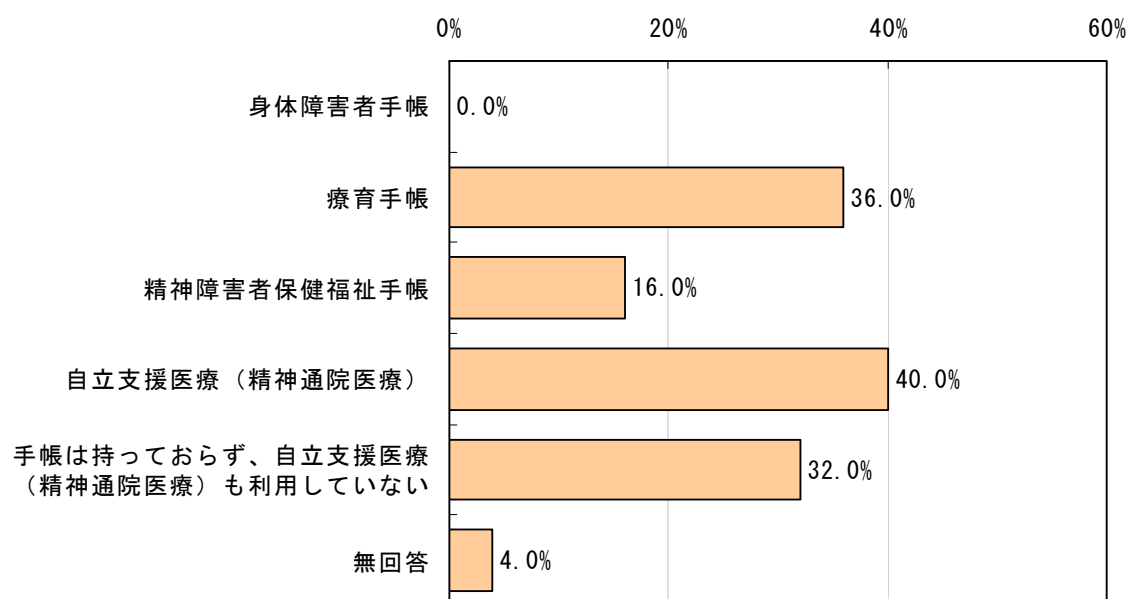


(4) 障害の種類

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

「自立支援医療（精神通院医療）」が40.0%、「療育手帳」が36.0%となっています。年齢別では、8歳以下は「手帳はもっておらず、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない」が多くなっています。

●全体



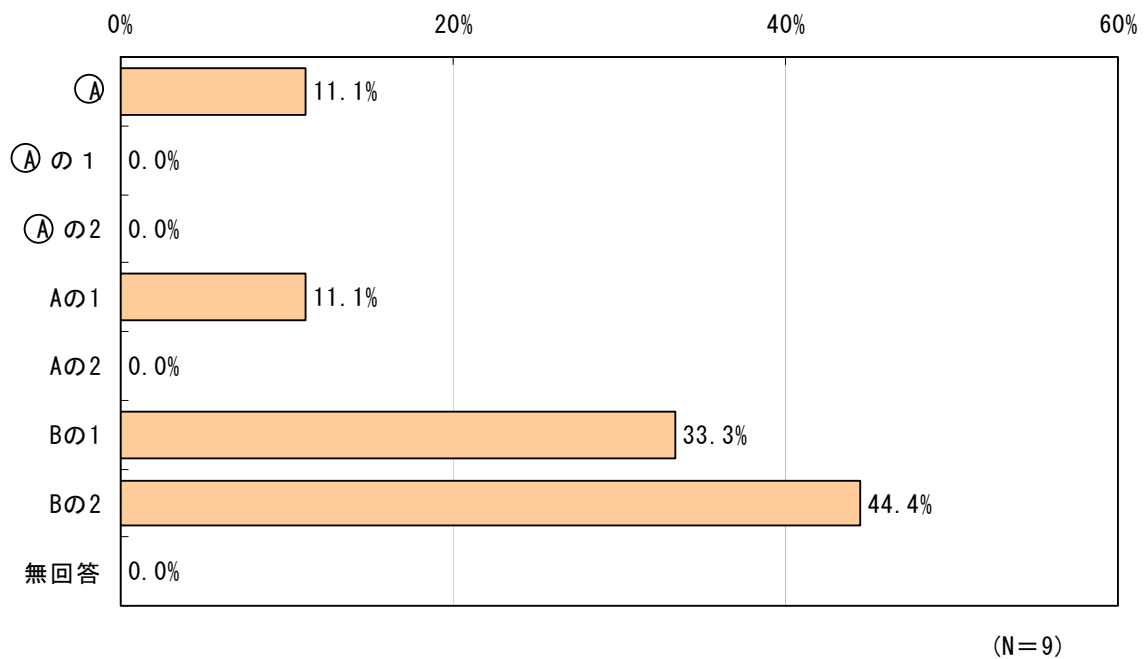
(N=25)

●年齢別

		合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療（精神通院医療）	手帳はもっておらず、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない	無回答
全体	人数	25	0	9	4	10	8	1
	構成比		0.0%	36.0%	16.0%	40.0%	32.0%	4.0%
0～2歳	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5歳	人数	5	0	2	0	0	3	0
	構成比		0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
6～8歳	人数	6	0	0	1	1	3	1
	構成比		0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%
9～11歳	人数	2	0	1	0	2	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
12～14歳	人数	4	0	2	1	2	1	0
	構成比		0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
15歳以上	人数	7	0	4	2	5	0	0
	構成比		0.0%	57.1%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

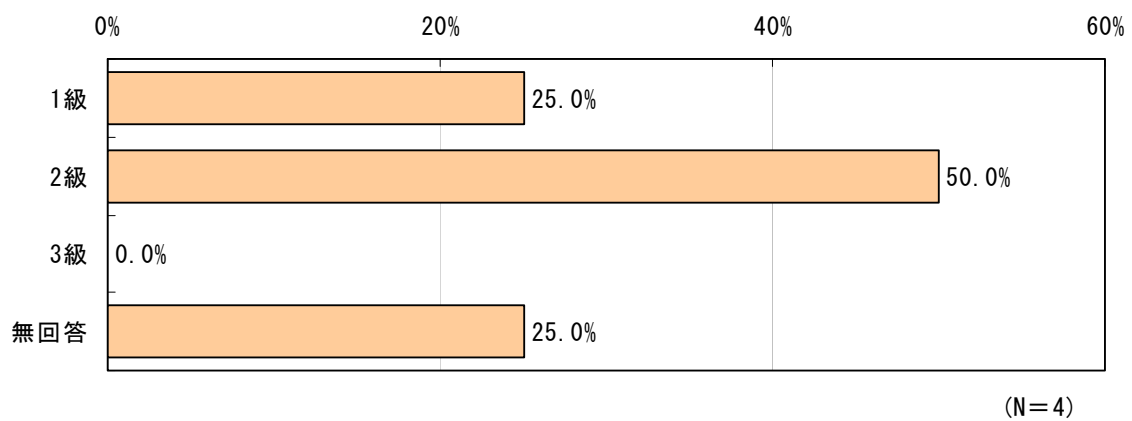
①療育手帳の程度

「B の 2」が 44.4%、「B の 1」が 33.3%となっています。



②精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は 4 人で、「1 級」が 1 人、「2 級」が 2 人でした。

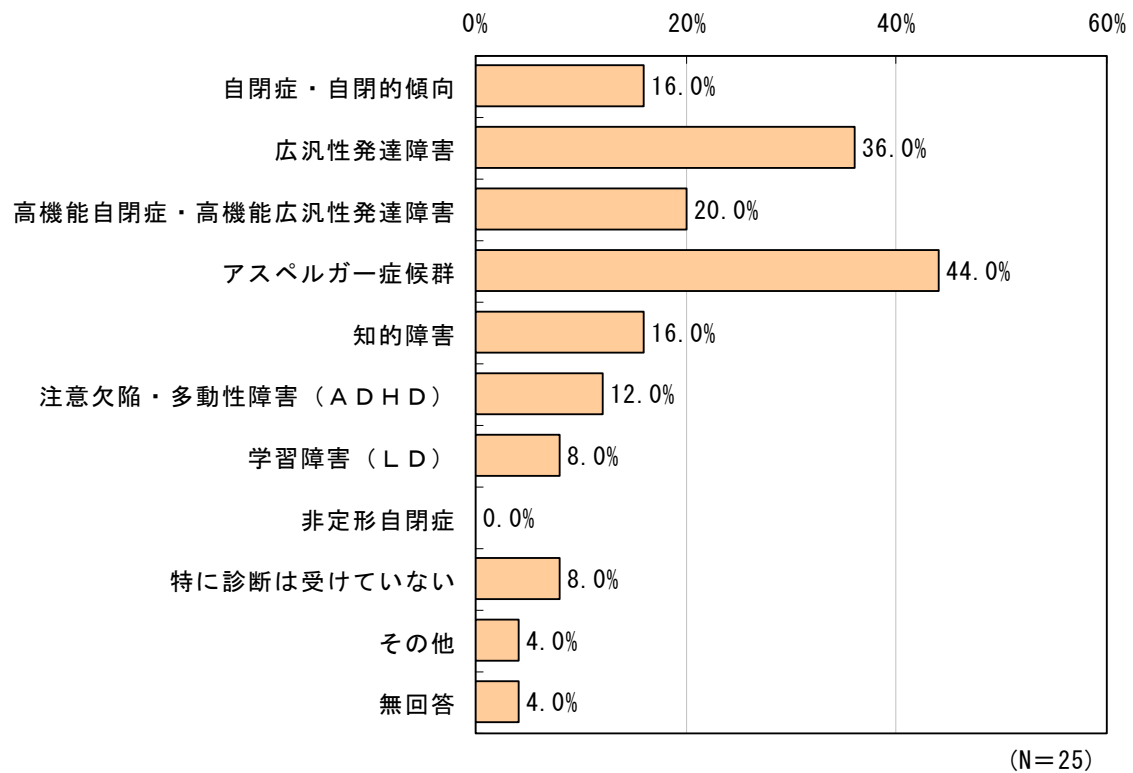


(5) 発達障害の種類

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「アスペルガー症候群」が44.0%、「広汎性発達障害」が36.0%となっています。

●全体



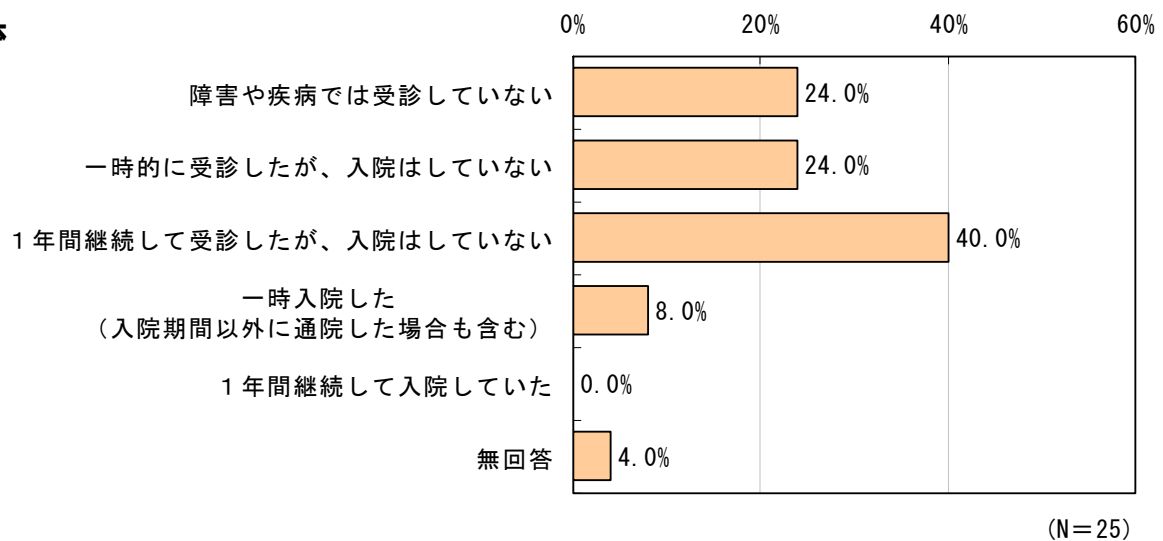
2. 医療機関への受診状況について

(1) 医療機関への受診状況

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が40.0%、「障害や疾病では受診していない」、「一時的に受診したが、入院はしていない」がそれぞれ24.0%となっています。

●全体

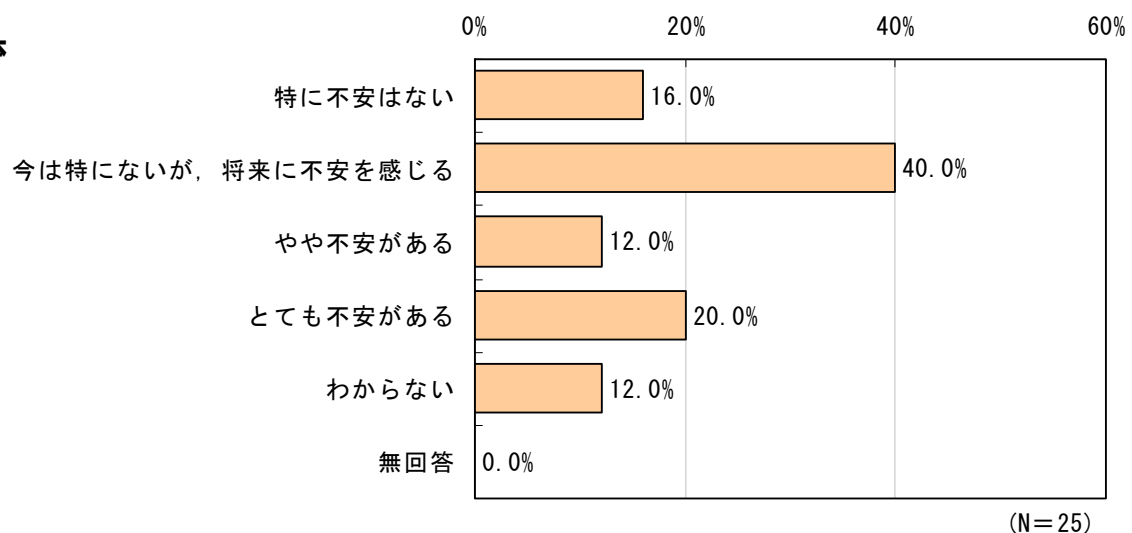


(2) 医療費に対する不安

問7 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(〇は1つ)

「今は特にないが、将来に不安を感じる」が40.0%、「とても不安がある」が20.0%となっています。

●全体

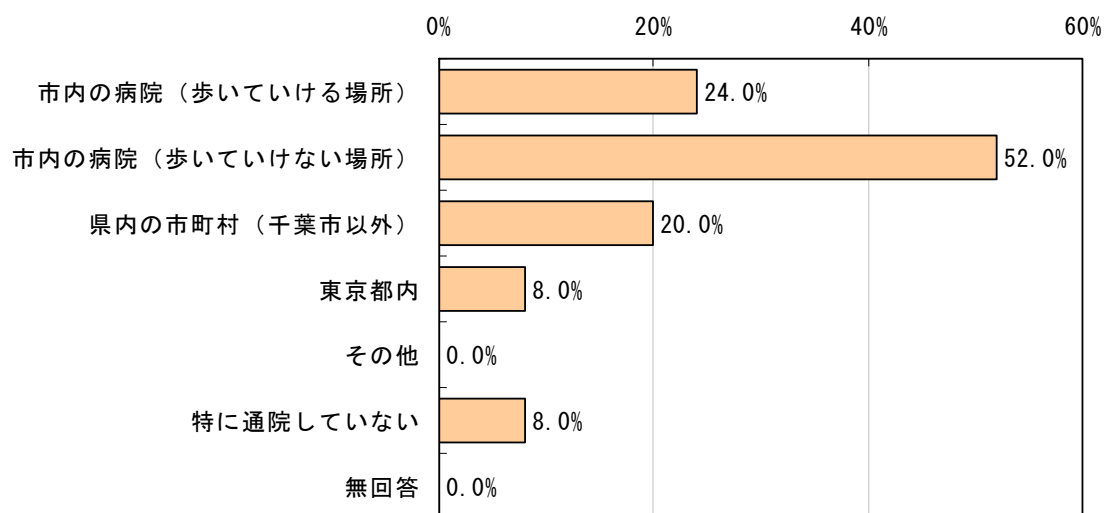


(3) 通院している病院

問 8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。
(○はいくつでも)

「市内の病院(歩いていけない場所)」が52.0%、「市内の病院(歩いていける場所)」が24.0%となっています。

●全体



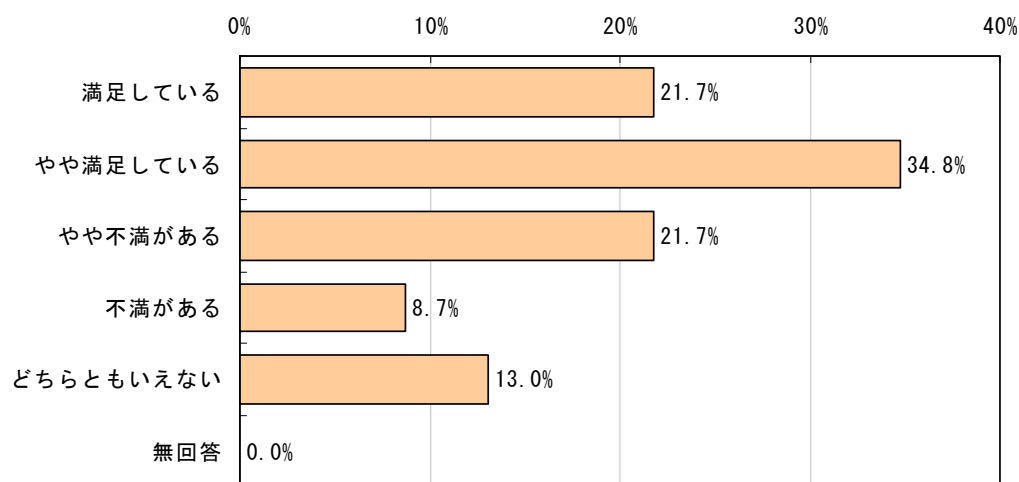
(N = 25)

(5) 医療機関の満足度

問 9 【問 8 で通院している（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。（○は 1 つ）

「やや満足している」が34.8%、「満足している」、「やや不満がある」がそれぞれ21.7%となっています。

●全体



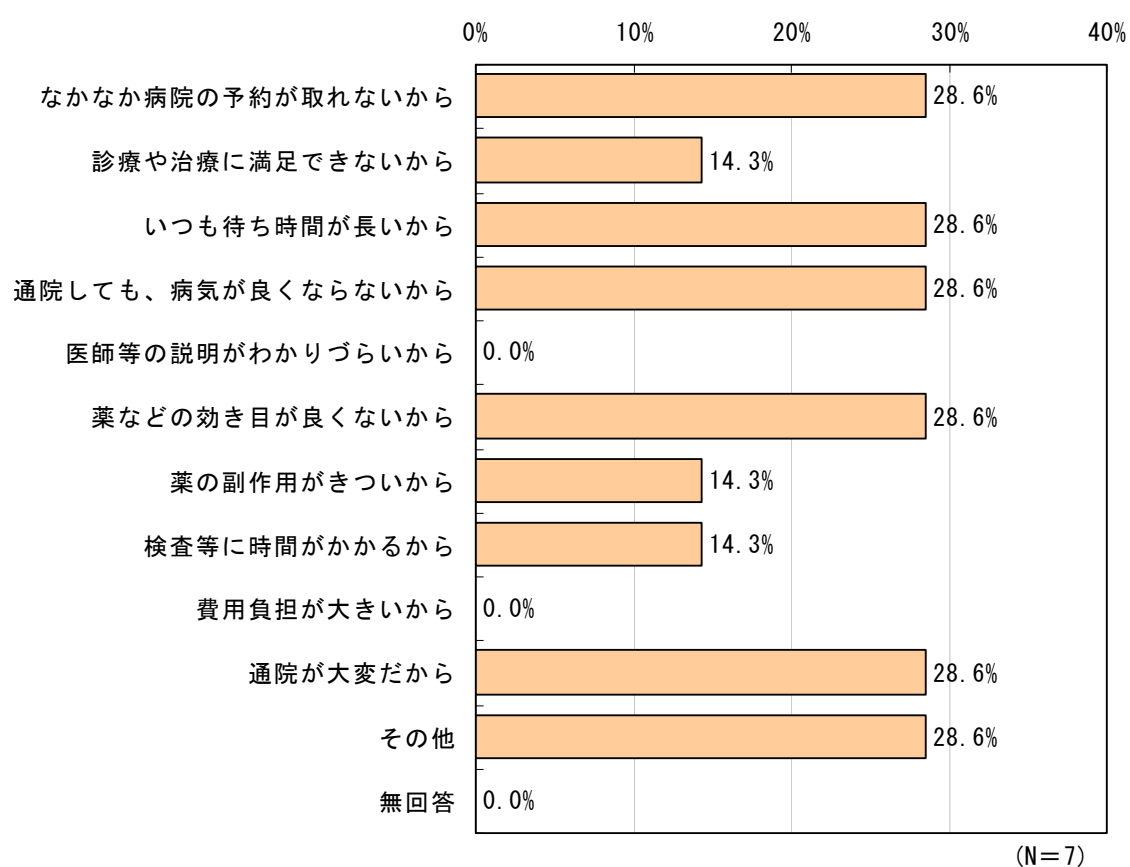
(N = 23)

(6) 医療機関の不満の理由

問 10 【問9で医療機関に不満がある（3、4番）に○をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。（○はいくつでも）

「なかなか病院の予約が取れないから」、「いつも待ち時間が長いから」、「通院しても、病気が良くならないから」、「薬などの効き目が良くないから」、「通院が大変だから」がそれぞれ 28.6% となっています。

●全体



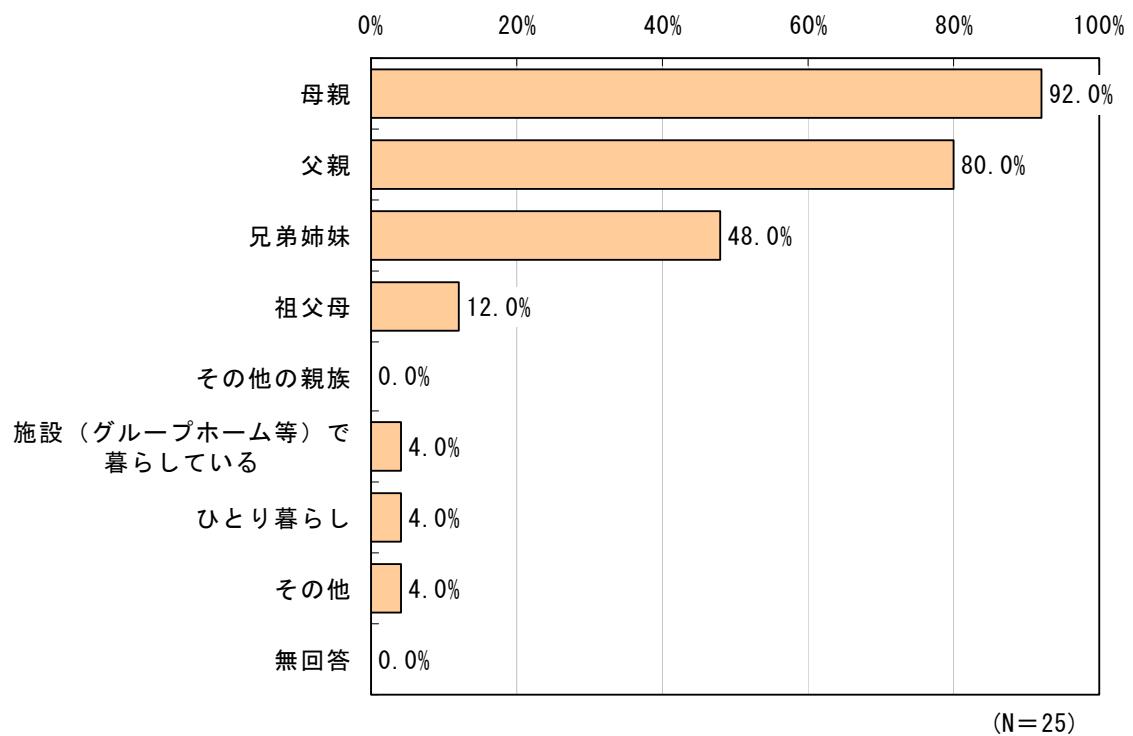
3. ご家族や介助者について

(1) 同居者

問 11 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」が92.0%、「父親」が80.0%となっています。

●全体

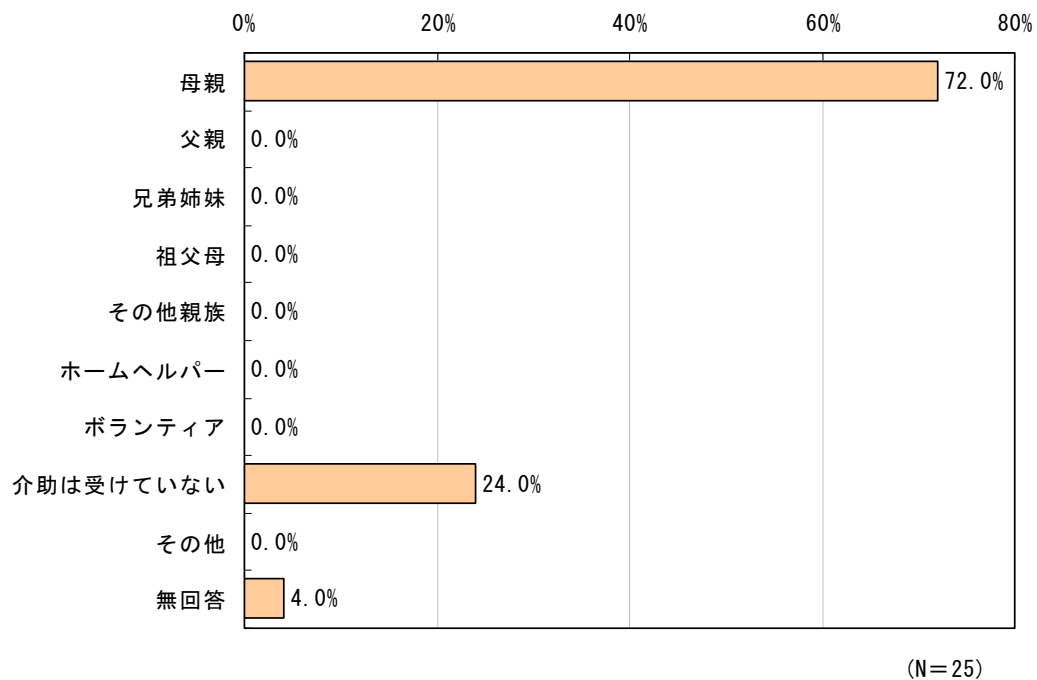


(2) 介助の必要性・主な介助者

問 12 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

「介助を受けていない」が24.0%、「母親」が介助していると回答された方が72.0%となっています。

●全体

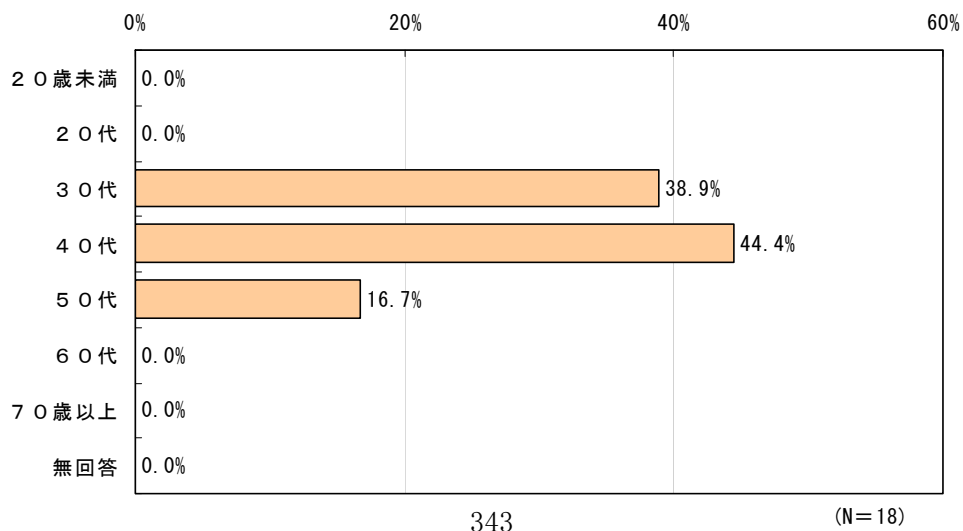


(3) 主な介助者の年齢

問 13 【問 12 で主な介助者が家族・親族（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の年齢をお答えください。(○は1つ)

「40代」が44.4%、「30代」が38.9%となっています。

●全体

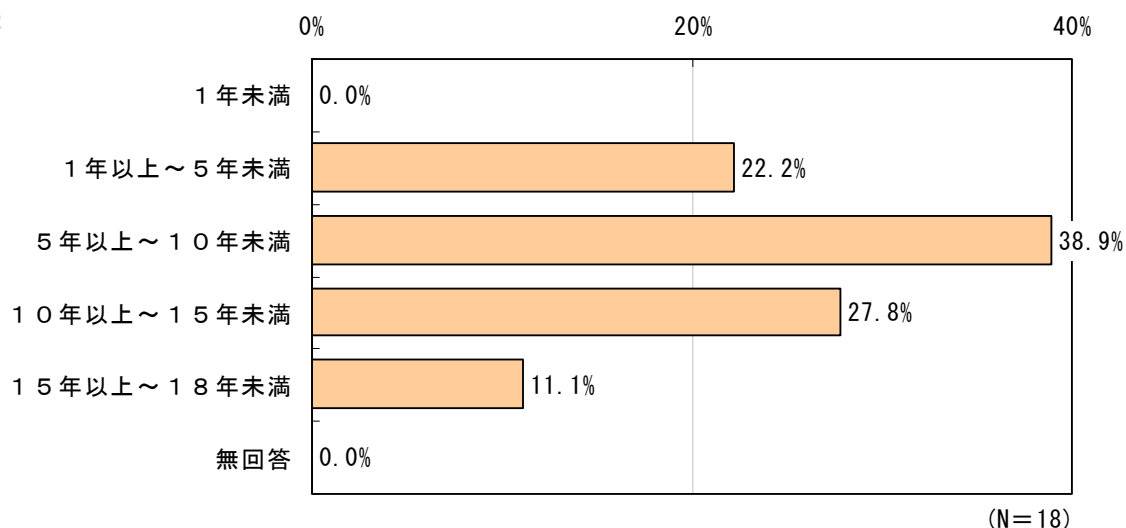


(4) 主な介助者の介助継続年数

問 14 【問 12 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

「５年以上～１０年未満」が 38.9%、「１０年以上～１５年未満」が 27.8%となっています。

●全体

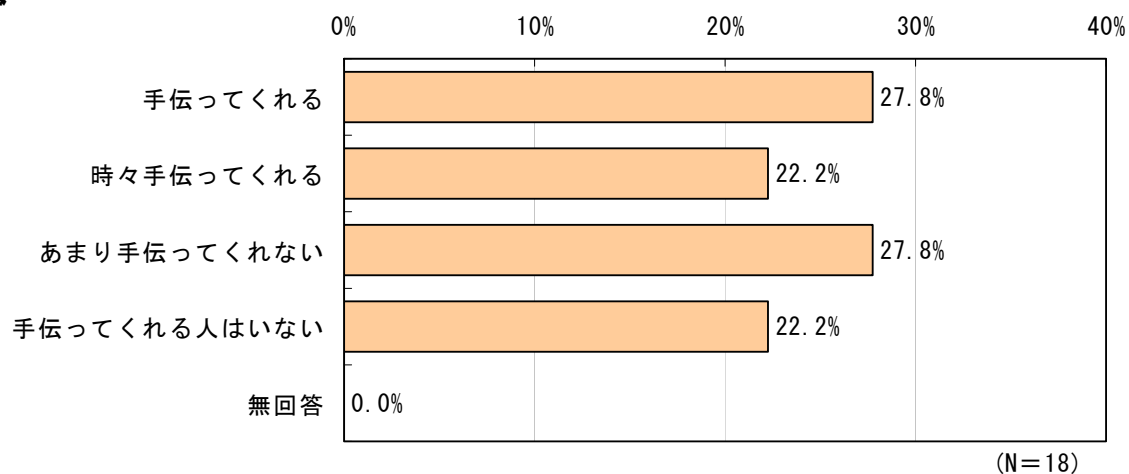


(5) 主な介助者以外の手伝いの有無

問 15 【問 12 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は１つ）

「手伝ってくれる」、「あまり手伝ってくれない」がそれぞれ 27.8%となっています。

●全体

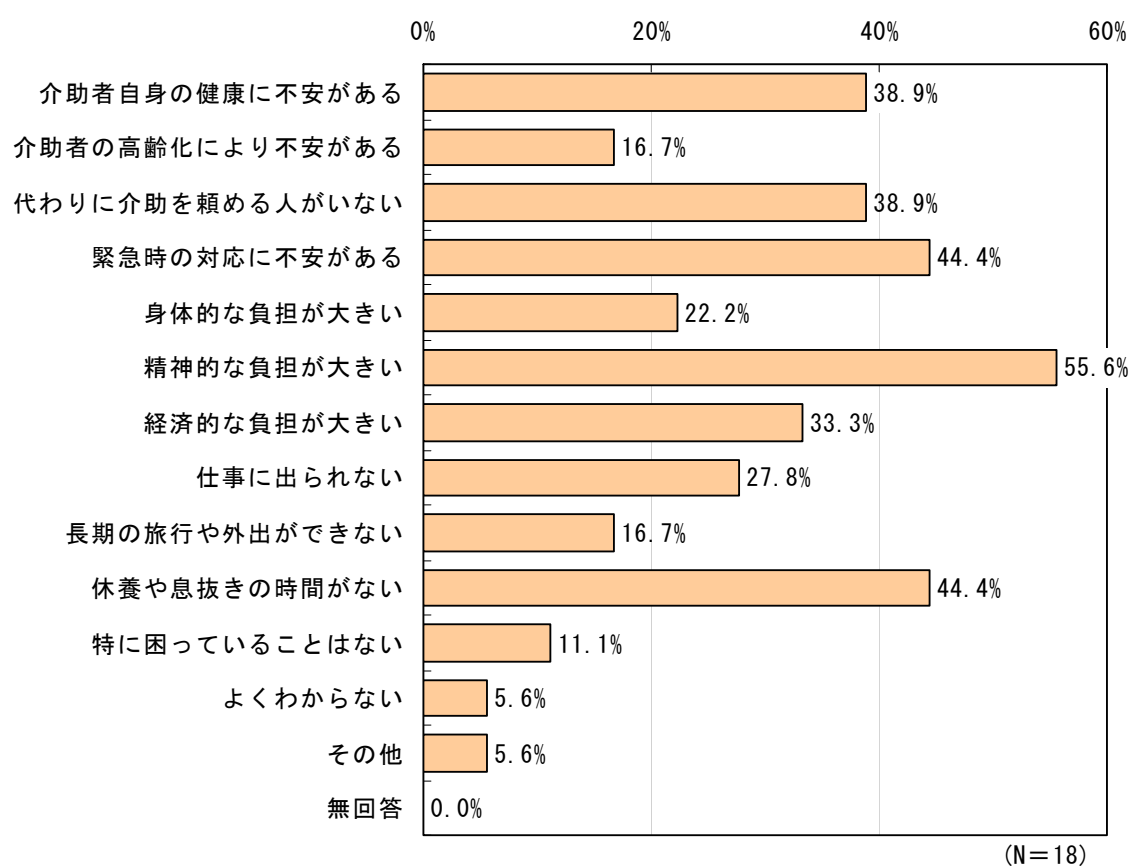


(6) 主な介助者が困っていること

問 16 【問 12 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「精神的な負担が大きい」が 55.6%、「緊急時の対応に不安がある」、「休養や息抜きの時間がない」がそれぞれ 44.4%となっています。

●全体



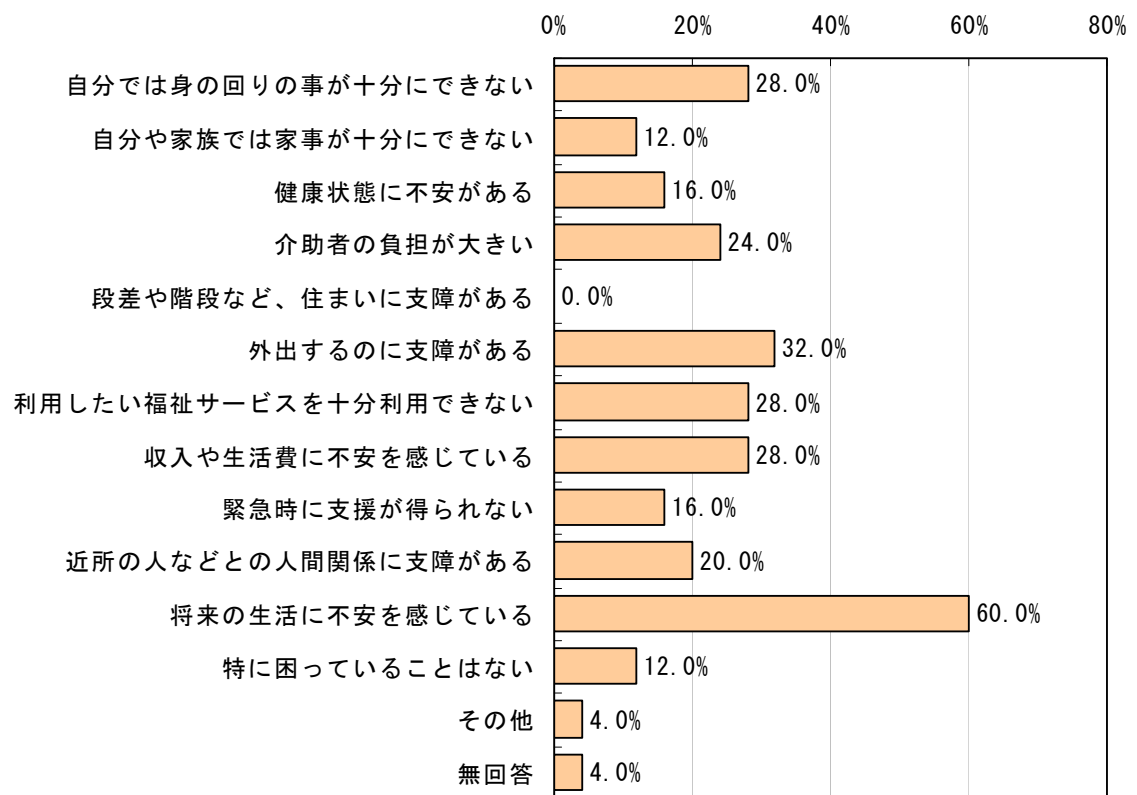
4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

問 17 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇は
いくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が60.0%となっています。

●全体



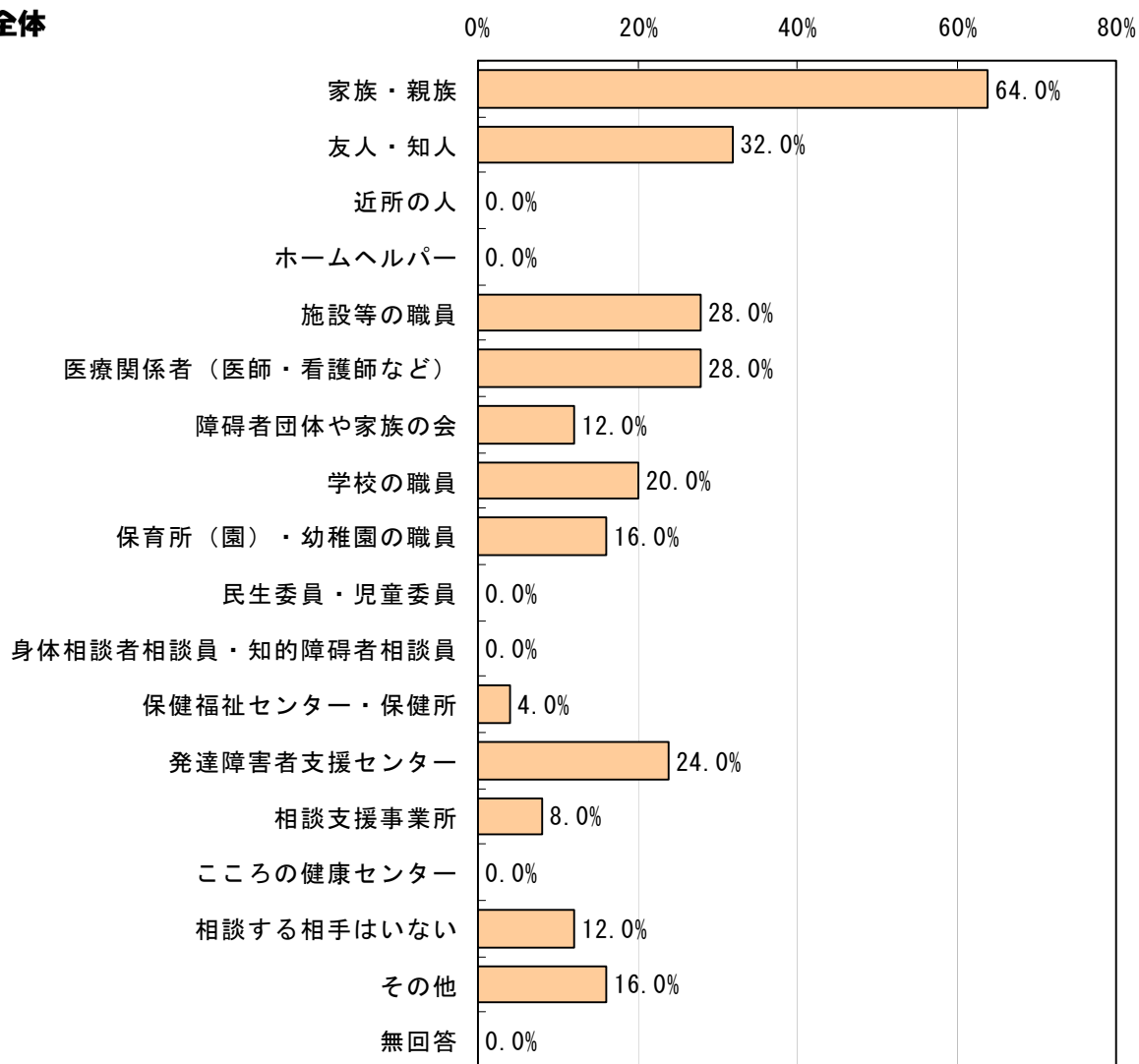
(N=25)

(2) 困ったときの相談先

問 18 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

「家族・親族」が64.0%となっています。

●全体



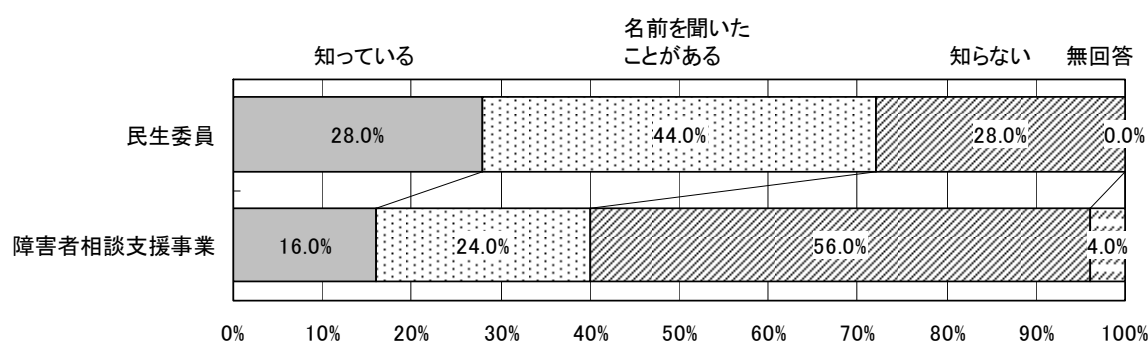
(N=25)

(3) 制度・事業の認知度

問 19 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。

民生委員については「名前を聞いたことがある」、障害者相談支援事業については「知らない」が多くなっています。

●全体

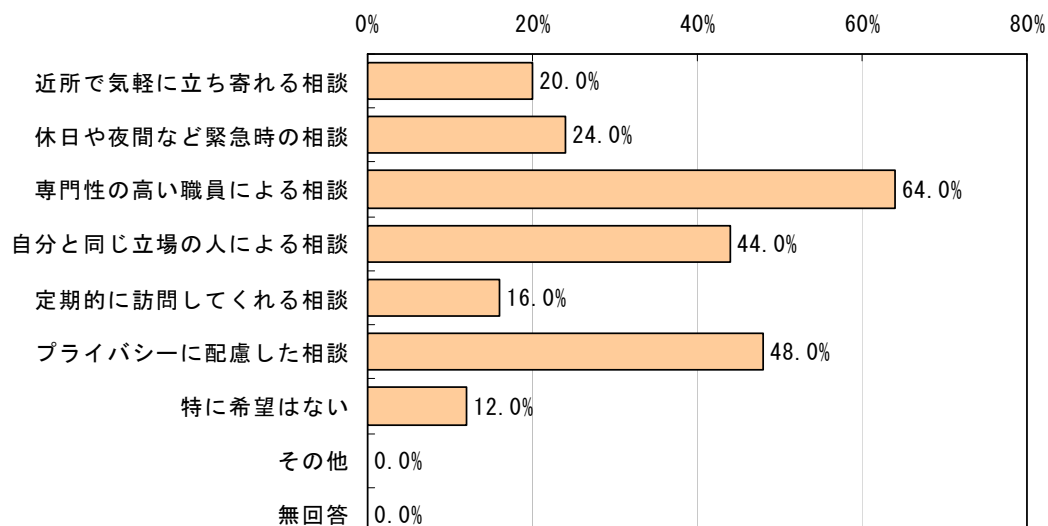


(4) 希望する相談制度

問 20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」が64.0%、「プライバシーに配慮した相談」が48.0%、「自分と同じ立場の人による相談」が44.0%となっています。

●全体



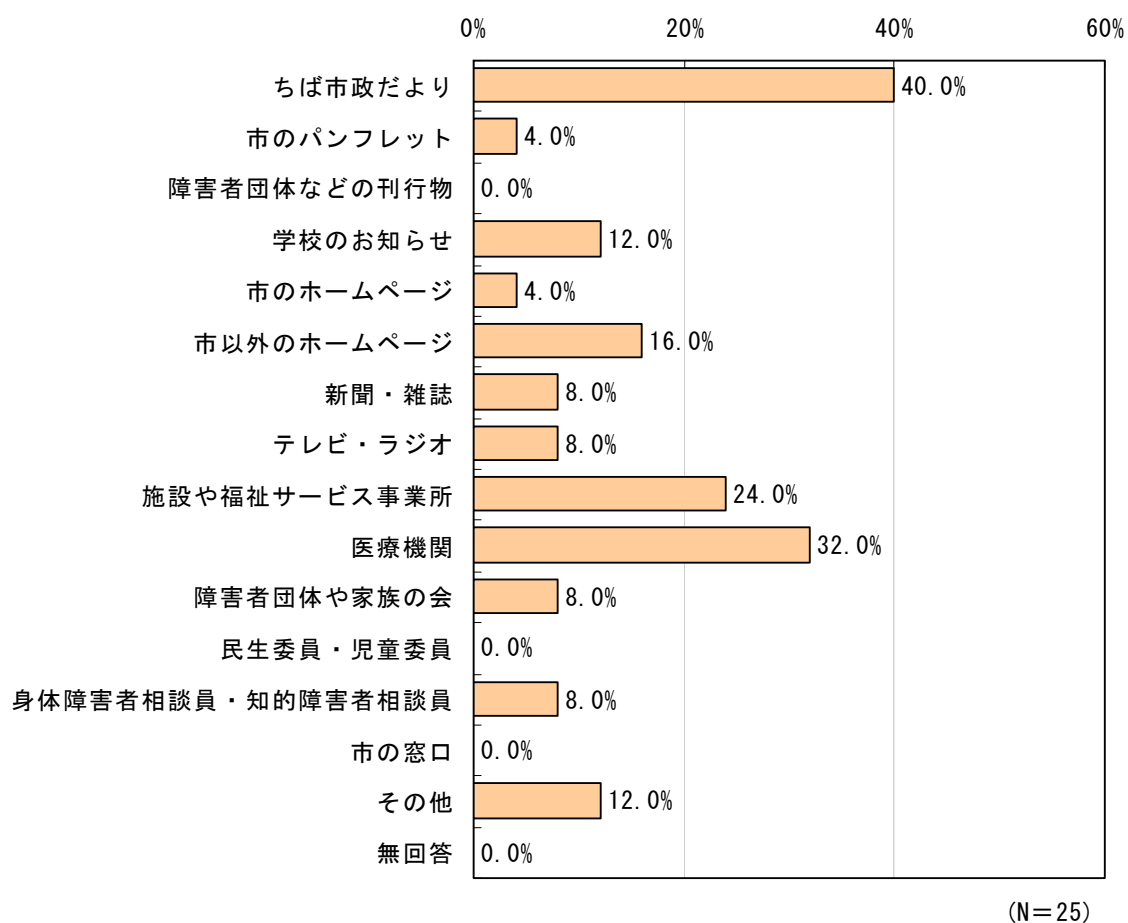
(N=25)

(5) 福祉情報の入手先

問 21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

「ちば市政だより」が40.0%、「医療機関」が32.0%となっています。

●全体



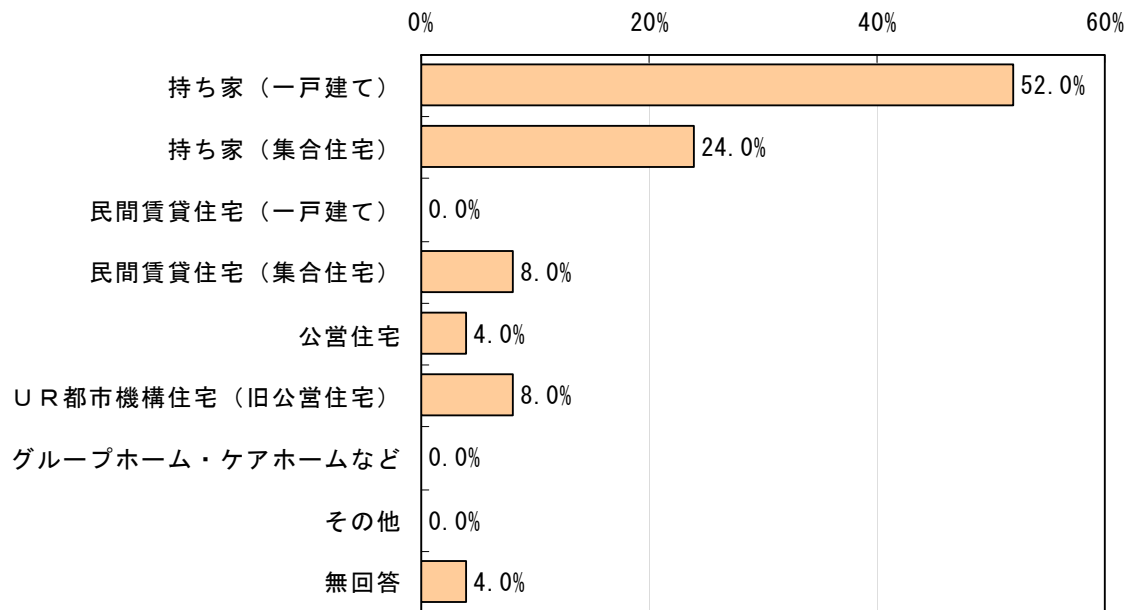
5. 暮らしについて

(1) 住まいの種類

問 22 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

「持ち家（一戸建て）」が52.0%、「持ち家（集合住宅）」が24.0%となっています。

●全体



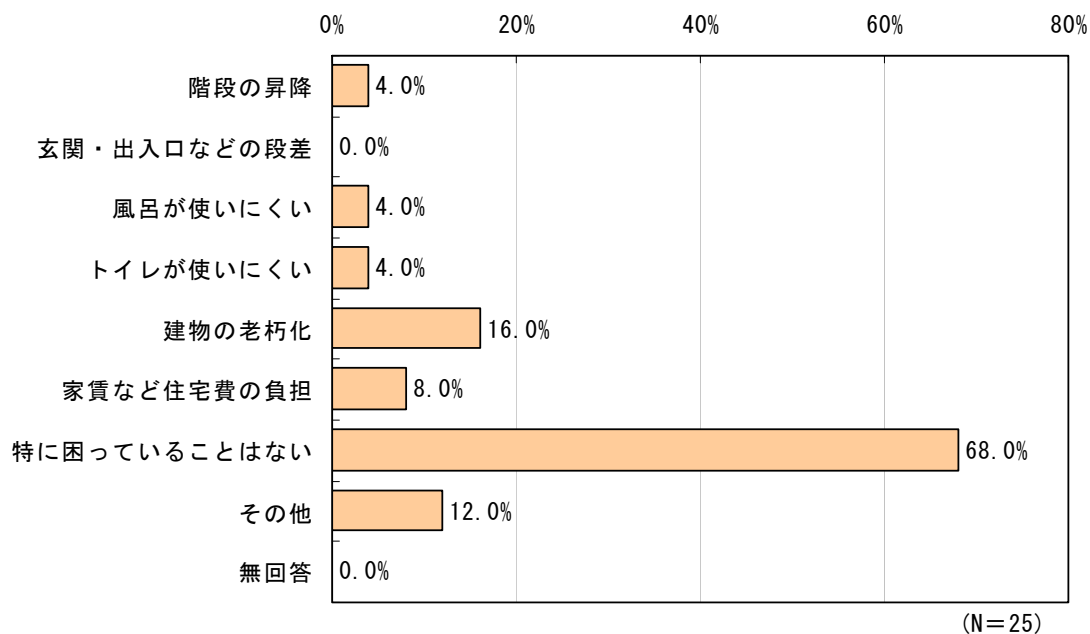
(N=25)

(2) 住まいについて困っていること

問 23 あなた（や保護者の方）には、住まいについて困っていることがありますか。（○はい
くつでも）

「特に困っていることはない」が68.0%と最も多くなっています。困っていることがある方
については、「建物の老朽化」が16.0%となっています。

●全体

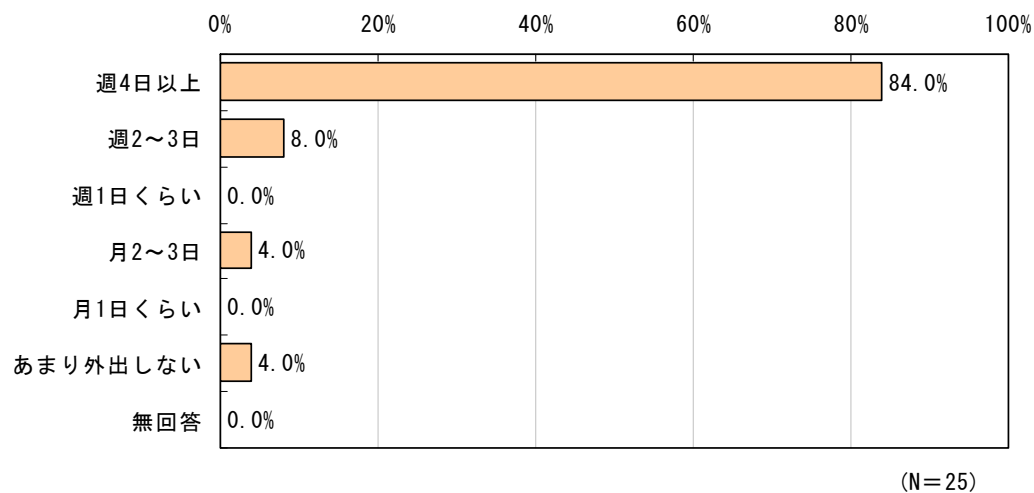


(3) 外出の頻度

問 24 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

「週4日以上」が84.0%となっています。

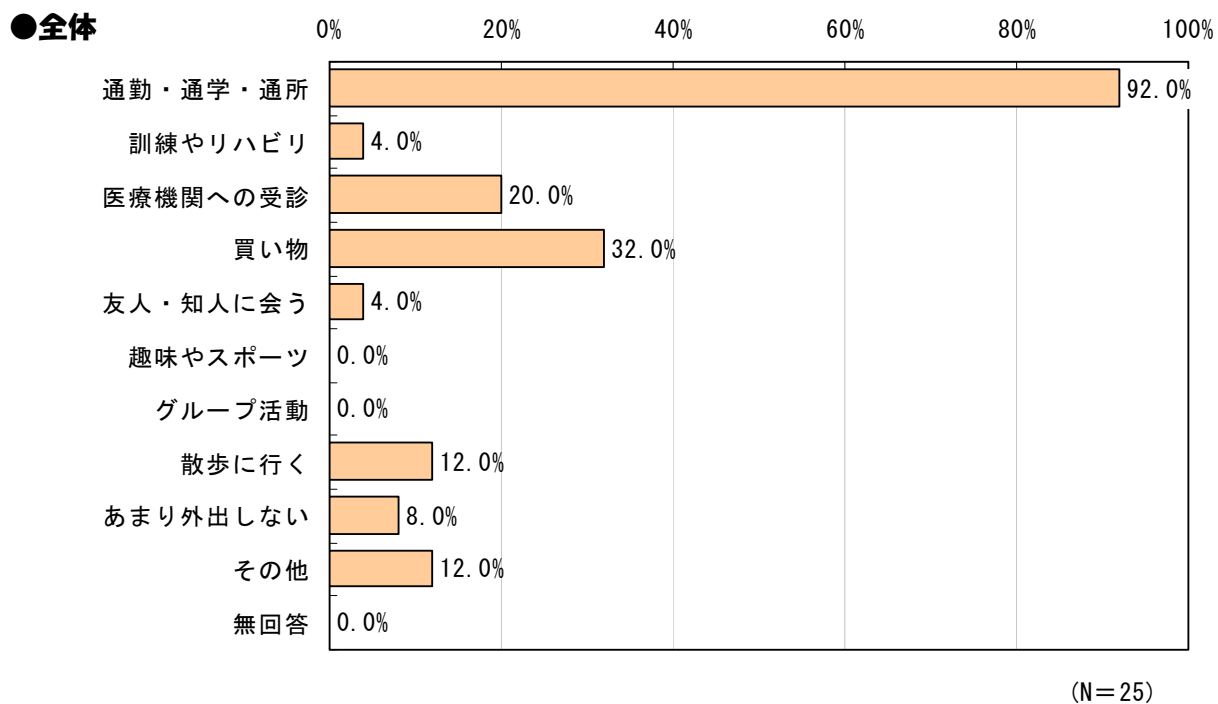
●全体



(4) 外出の目的

問 25 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「通勤・通学・通所」が92.0%となっています。

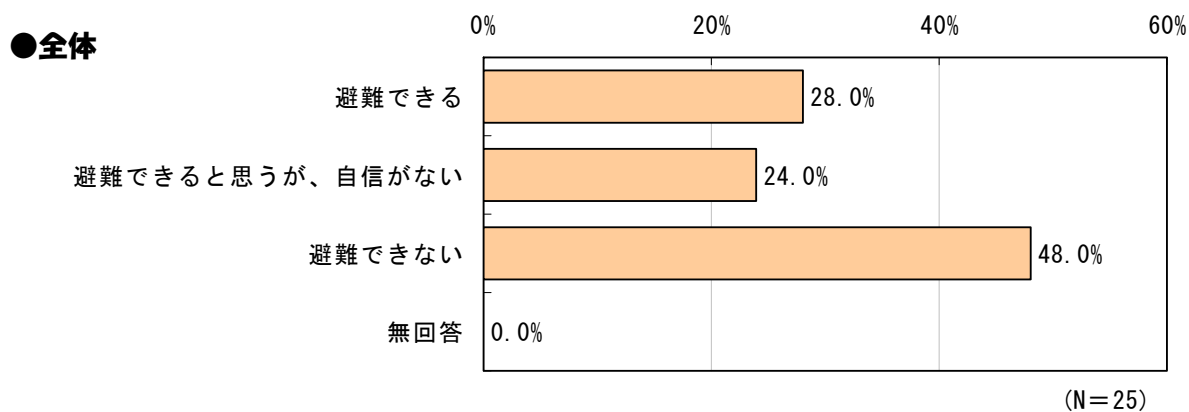


6. 災害対策について

(1) 災害時の避難

問 26 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

「避難できない」が48.0%、「避難できる」が28.0%となっています。

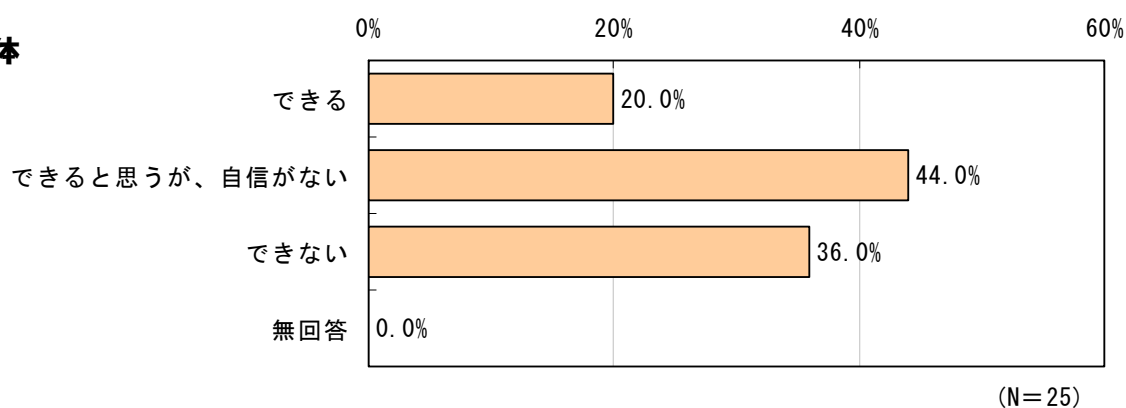


(2) 災害時に困っていることを周囲に知らせることが可能か

問 27 あなたは、災害時に自分が困っていることを、周囲の人に知らせることができると思いますか。(〇は1つ)

「できると思うが、自信がない」が44.0%、「できない」が36.0%となっています。

●全体

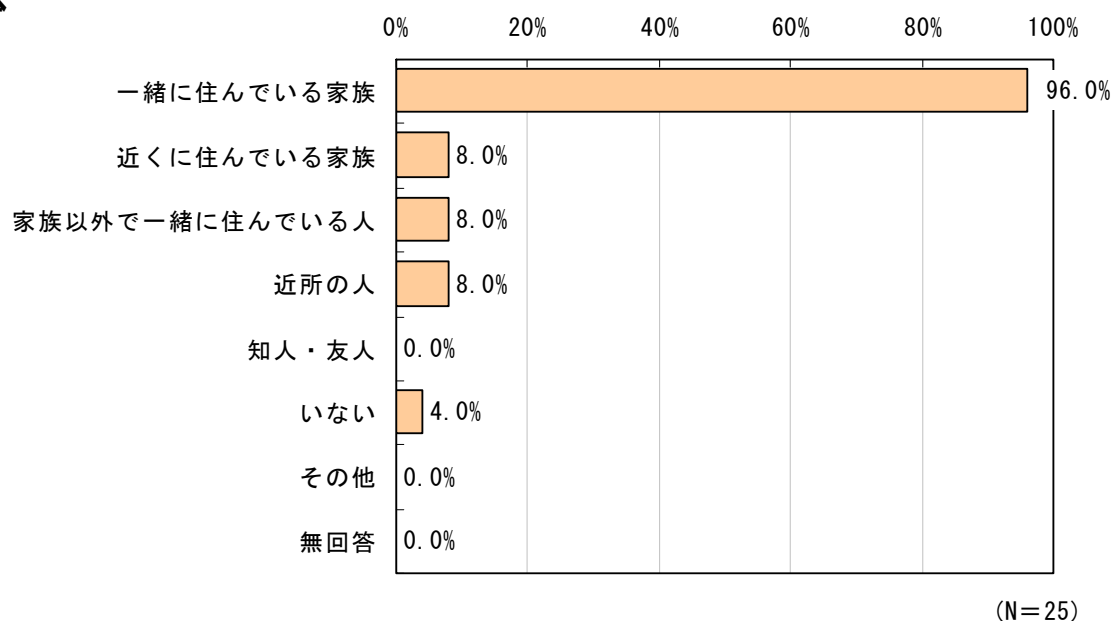


(3) 災害時に避難を支援してくれる人の有無

問 28 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

「一緒に住んでいる家族」が96.0%となっています。

●全体

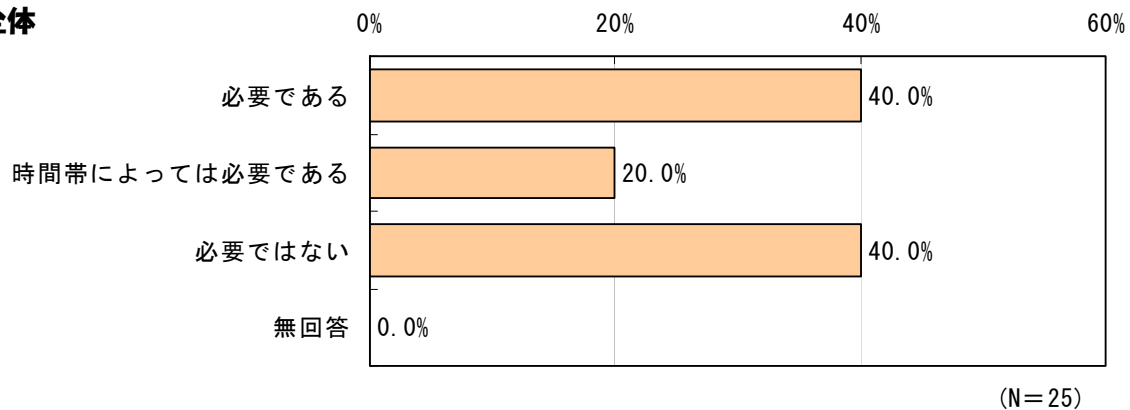


(4) 災害時に地域の方による避難の支援の必要性

問 29 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(〇は1つ)

「必要である」、「必要ではない」がそれぞれ 40.0%となっています。

●全体

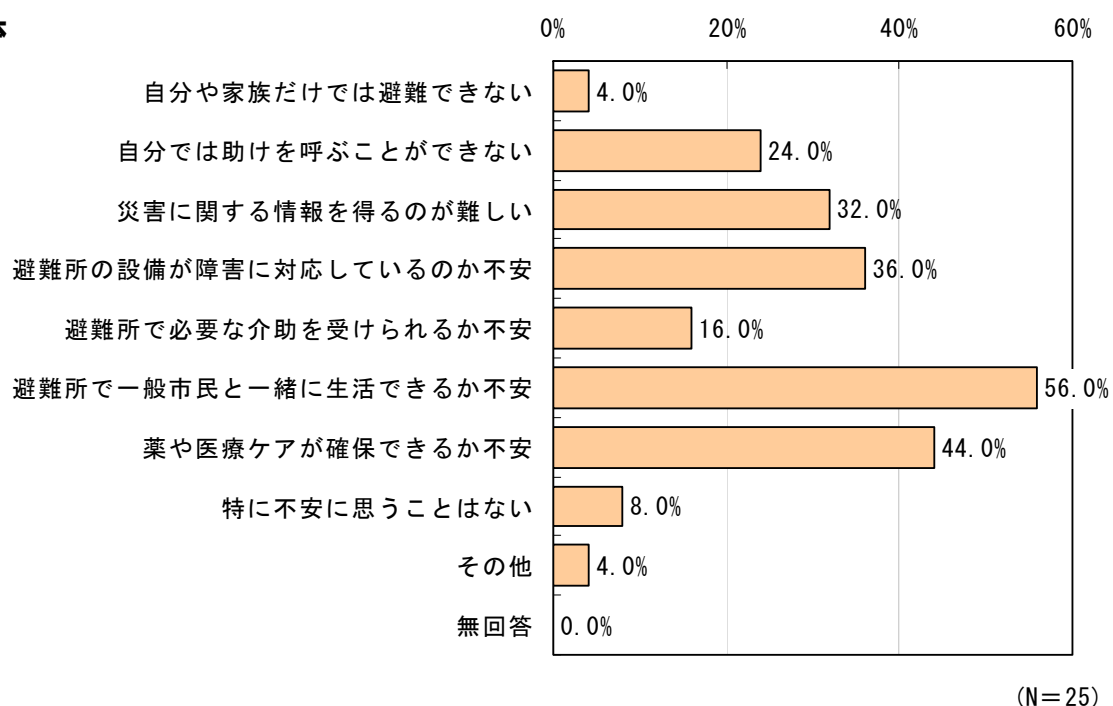


(5) 災害時に不安に思うこと

問 30 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(〇はいくつでも)

「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が 56.0%、「薬や医療ケアが確保できるか不安」が 44.0%となっています。

●全体

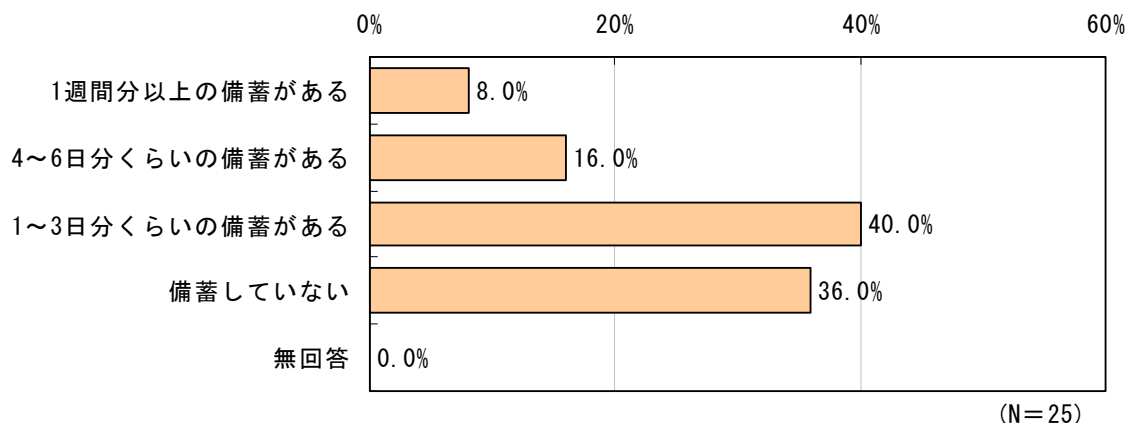


(6) 災害発生に備えた備蓄状況

問 31 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（〇は1つ）

「1～3 日分くらいの備蓄がある」が 40.0%、「備蓄していない」が 36.0%となっています。

●全体

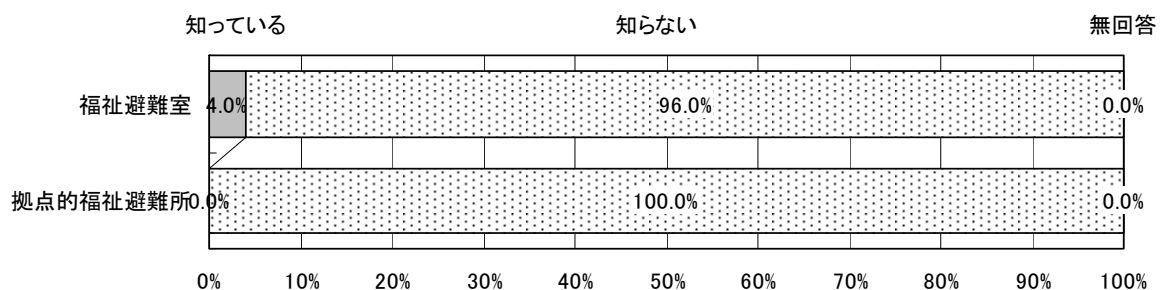


(7) 福祉避難所

問 32 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。

いずれの福祉避難所も「知らない」と答えた人がほとんどです。

●全体

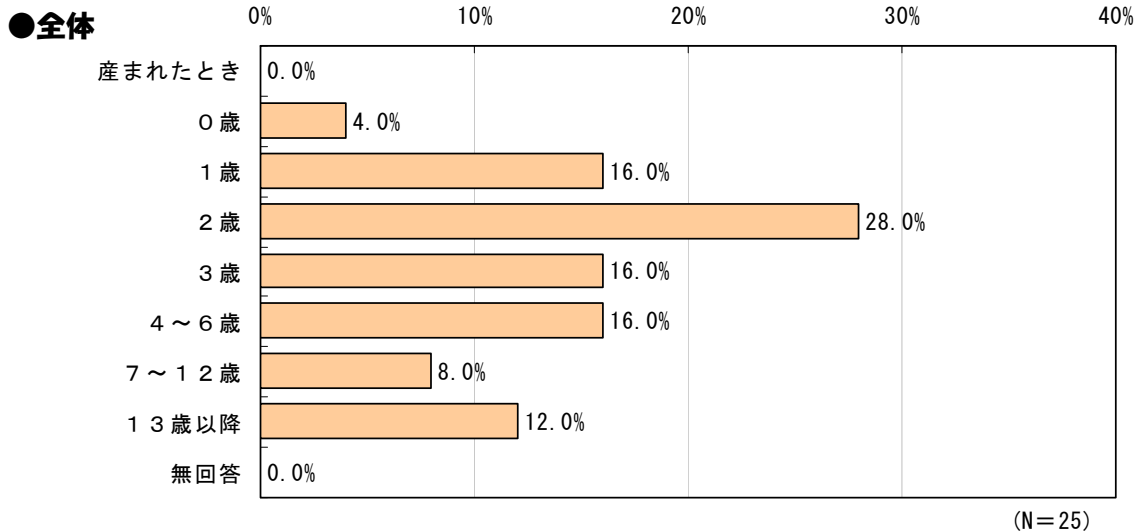


7. 療育・保育について

(1) 障害に気づいた時期

問 33 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(〇は1つ)

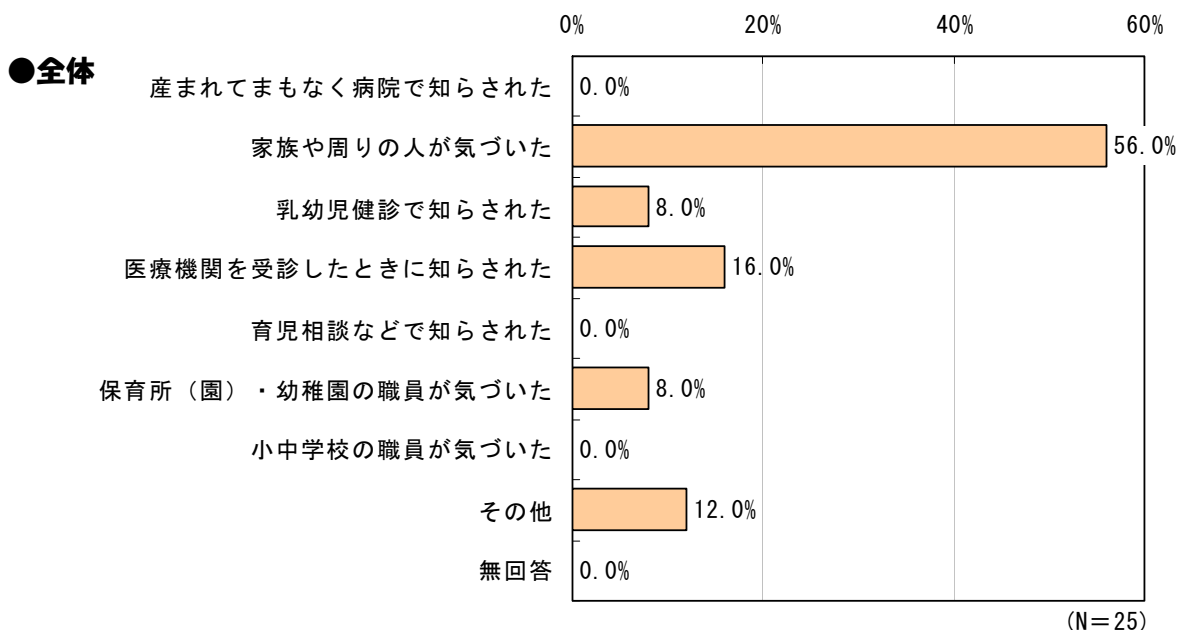
「2歳」が28.0%、「1歳」、「3歳」、「4～6歳」がそれぞれ16.0%となっています。



(2) 障害に気づいたきっかけ

問 34 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(〇は1つ)

「家族や周りの人が気づいた」が56.0%となっています。

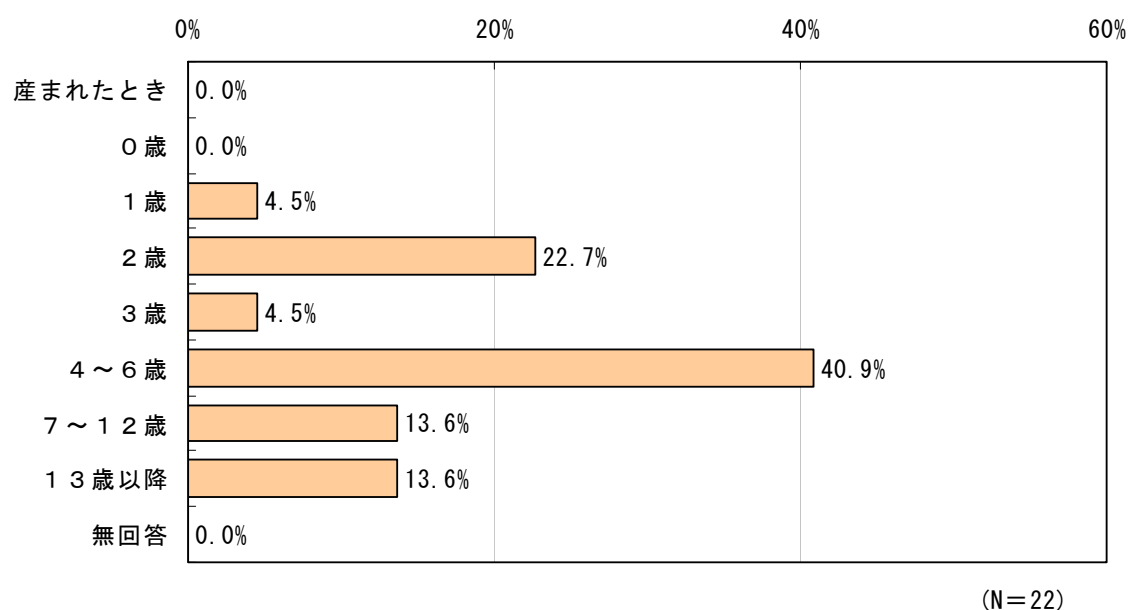


(3) 診断・判定を受けた年齢

問 35 【医師による診断名が出ている方（問5で特に診断は受けていない（9番）に○をつけなかった方）におたずねします。】あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。（○は1つ）

「4～6歳」が40.9%、「2歳」が22.7%となっています。

●全体



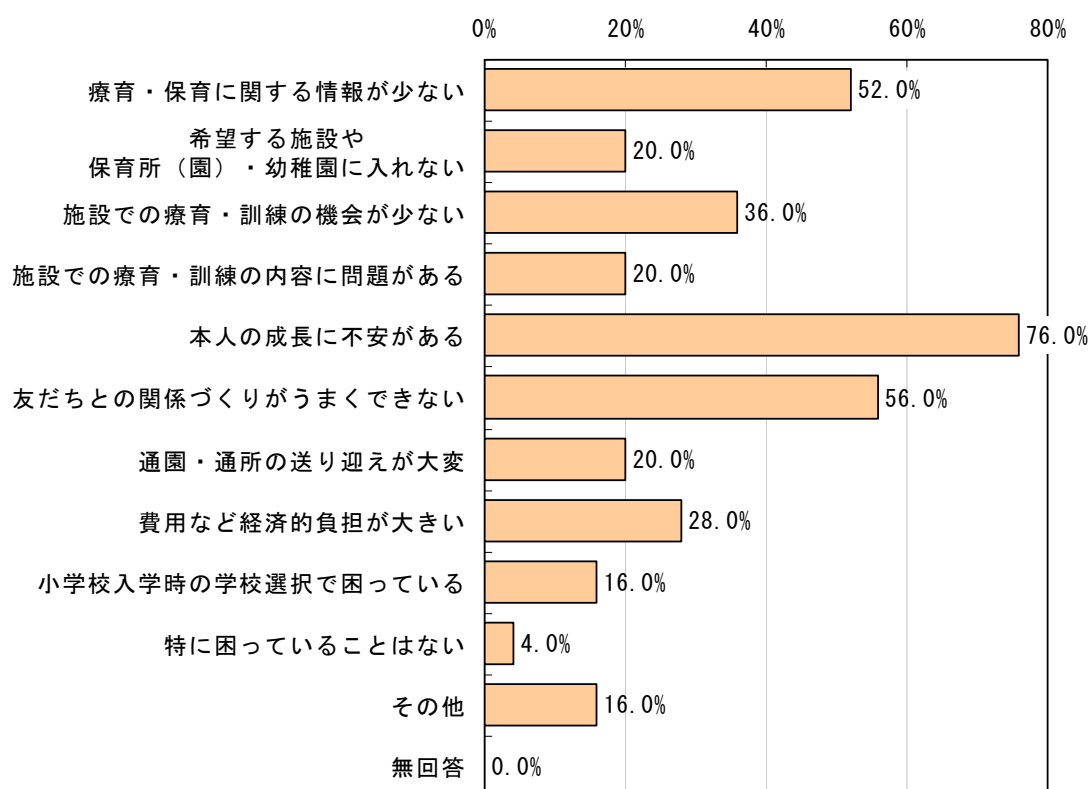
(4) 療育・保育について困っていること

問 36 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（〇はいくつでも）

「本人の成長に不安がある」が76.0%、「友だちとの関係づくりがうまくできない」が56.0%、「療育・保育に関する情報が少ない」が52.0%となっています。

年齢別では、3～8歳及び12～14歳で「療育・保育に関する情報が少ない」が多くなっています。

●全体



●年齢別

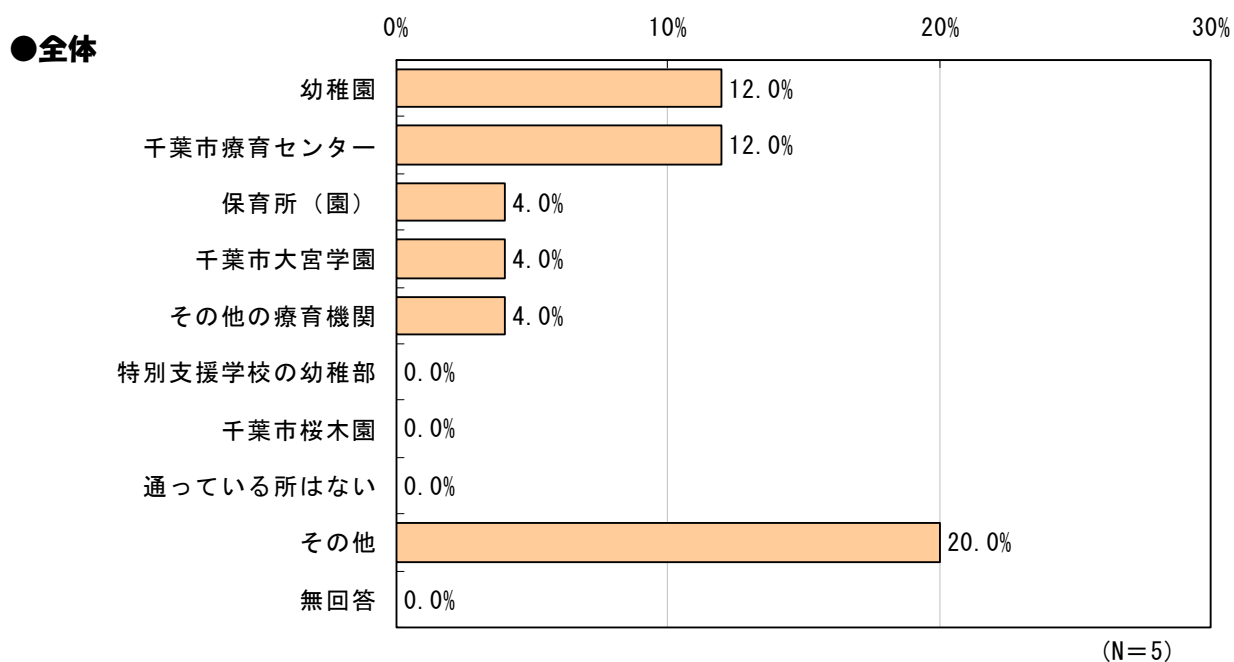
(N=25)

	合計	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所（園）・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	25	13	5	9	5	19	14	5	7	4	1	4	0
	構成比	52.0%	20.0%	36.0%	20.0%	76.0%	56.0%	20.0%	28.0%	16.0%	4.0%	16.0%	0.0%
0～2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5歳	5	4	1	3	1	4	1	0	1	1	0	1	0
	構成比	80.0%	20.0%	60.0%	20.0%	80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
6～8歳	6	4	1	1	1	5	4	2	1	1	1	2	0
	構成比	66.7%	16.7%	16.7%	16.7%	83.3%	66.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%
9～11歳	2	0	0	1	0	2	2	0	1	1	0	1	0
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
12～14歳	4	4	2	2	2	2	2	3	2	1	0	0	0
	構成比	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15歳以上	7	1	1	1	1	6	4	0	2	0	0	0	0
	構成比	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	85.7%	57.1%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(5) 現在通っているところ（小学校入学前）

問 37 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。（〇はいくつでも）

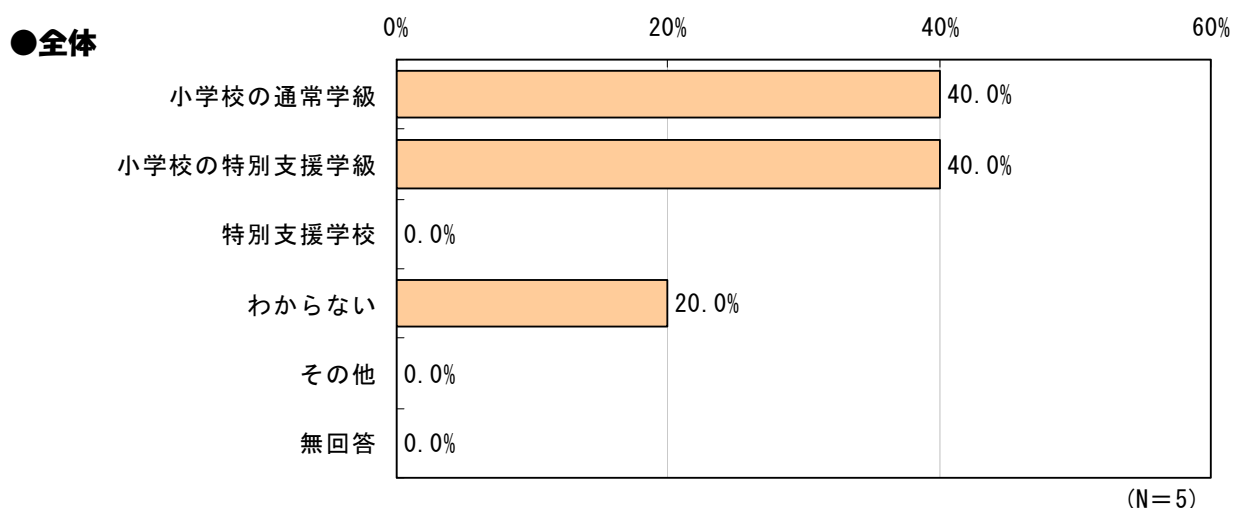
「幼稚園」、「千葉市療育センター」がそれぞれ 12.0%となっています。



(5) 小学校入学時の希望

問 38 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（〇は1つ）

「小学校の通常学級」、「小学校の特別支援学級」が 40.0%となっています。



8. 学校・教育について

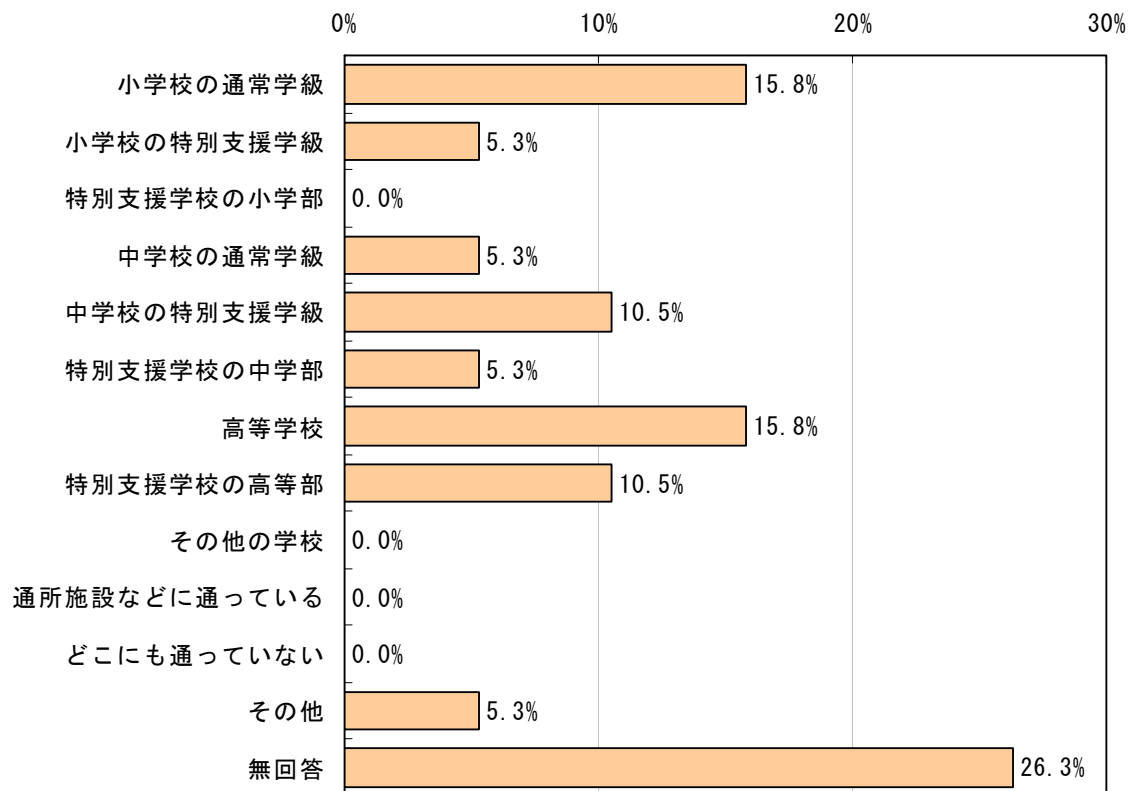
問39～43は、在学中の方のみ対象（小学校入学前・学校卒業後の場合は回答不要）

(1) 現在通っているところ（在学中）

問39 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（〇は1つ）

「小学校の通常学級」、「高等学校」がそれぞれ 15.8%となっています。

●全体



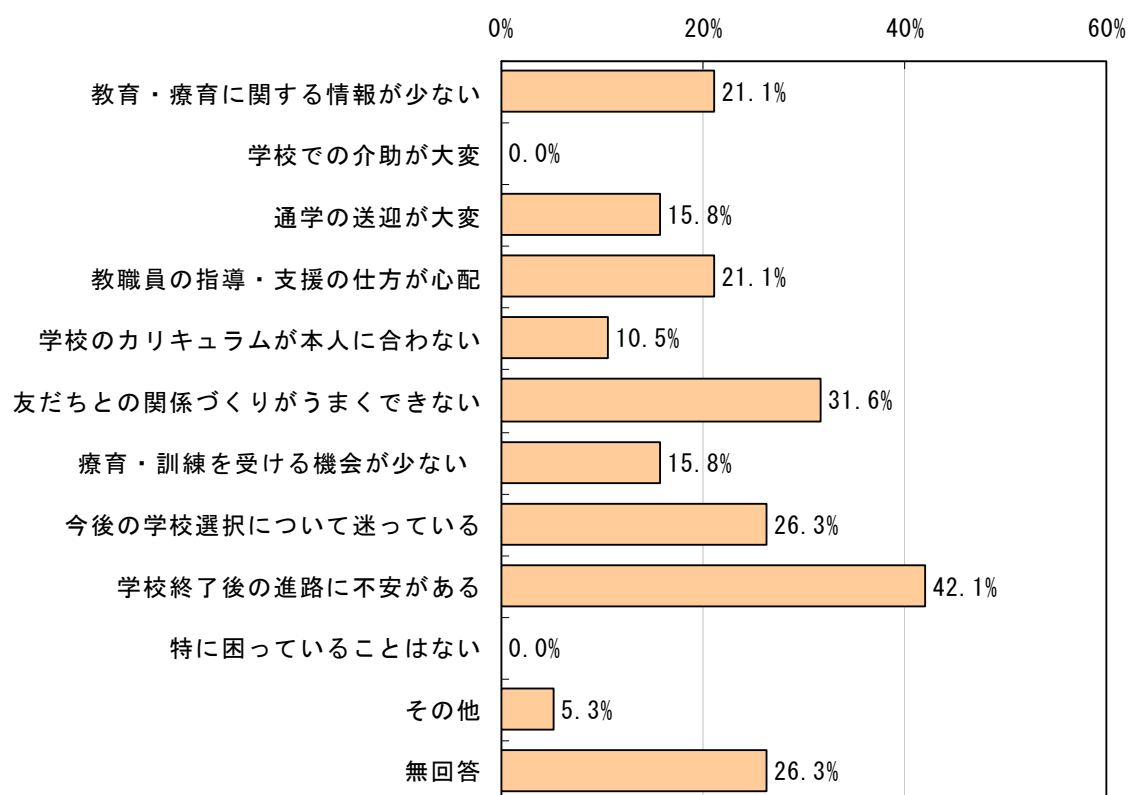
(N=19)

(2) 学校・教育について困っていること

問 40 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

「学校終了後の進路に不安がある」が42.1%、「友だちとの関係づくりがうまくできない」が31.6%となっています。

●全体



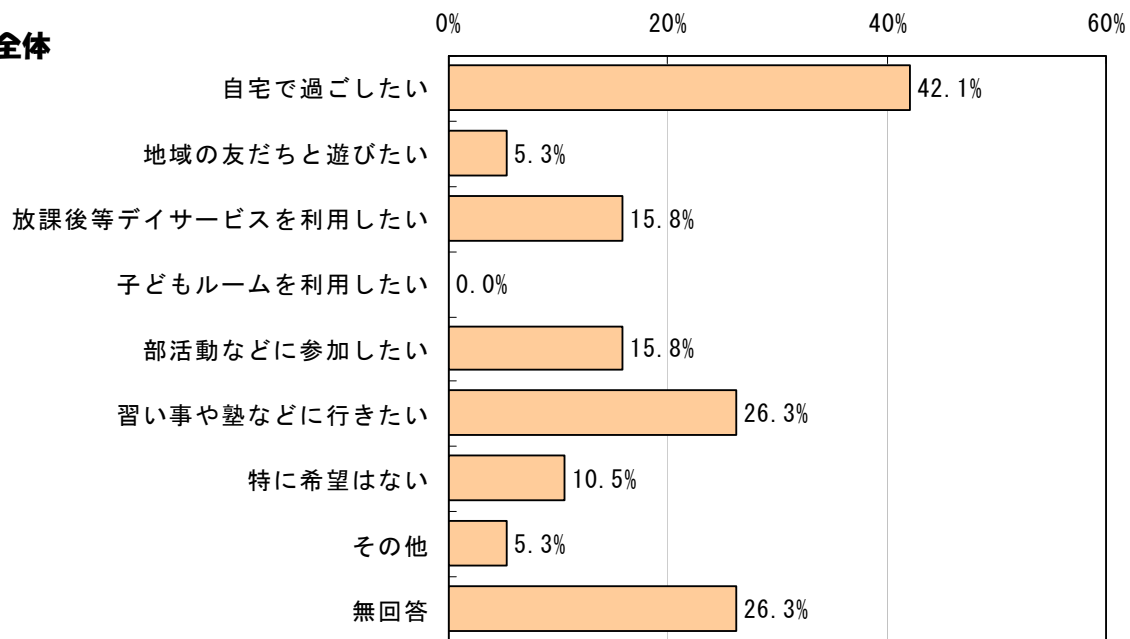
(N=19)

(3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

「自宅で過ごしたい」が42.1%、「習い事や塾などに行きたい」が26.3%となっています。

●全体



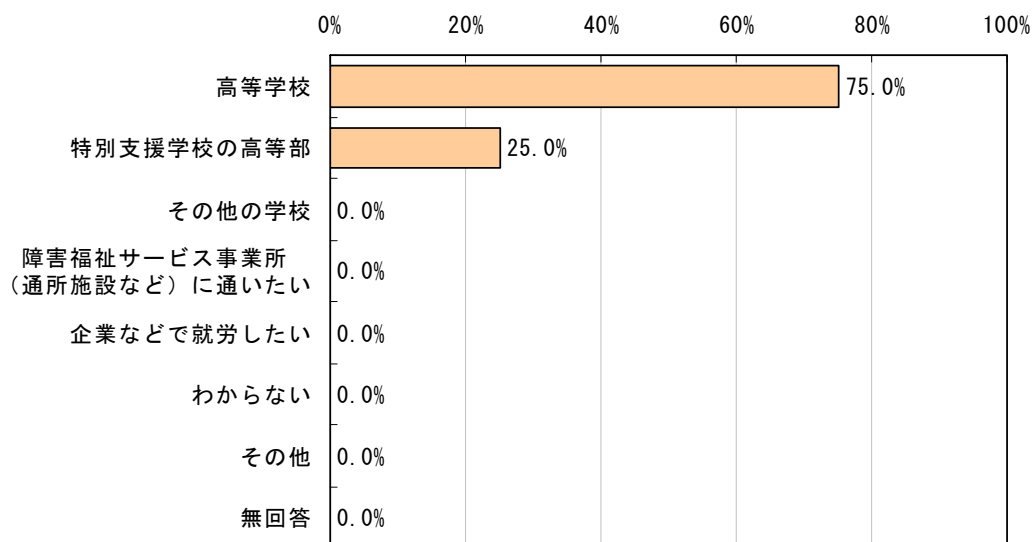
(N=19)

(4) 中学校卒業後の進路希望

問 42 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

「高等学校」が75.0%となっています。

●全体



362

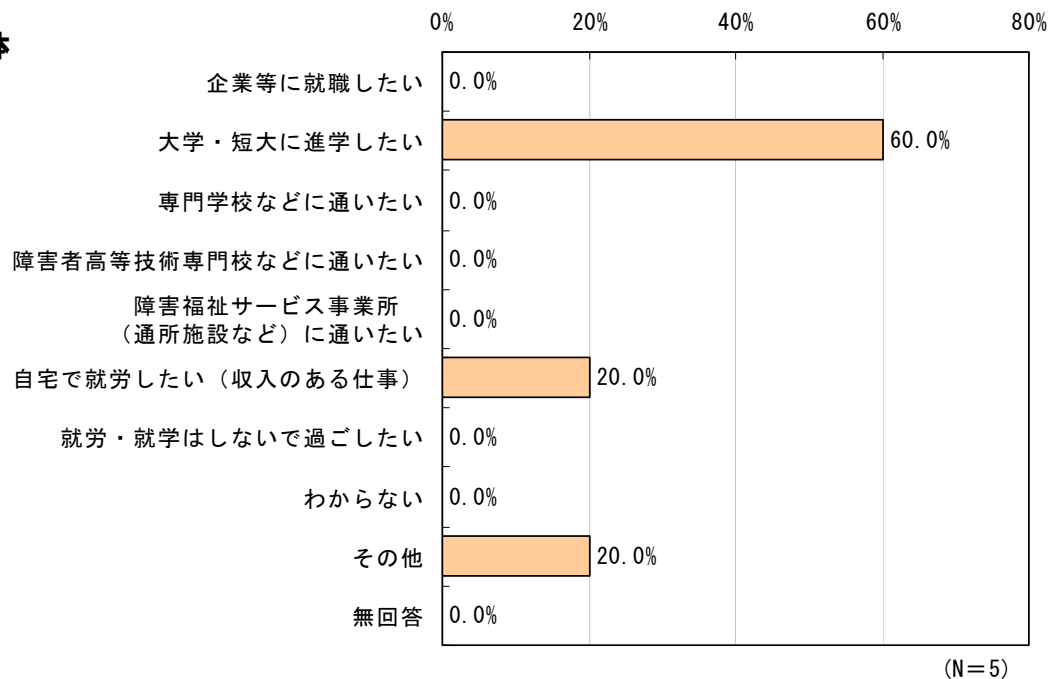
(N=8)

(5) 学校卒業後の進路希望

問 43 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

「大学・短大に進学したい」が60.0%となっています。

●全体



9. 日中活動・就労について

問 4 4、4 5 は、学校卒業後の方のみ対象（小学校入学前・在学中の場合は、回答不要）

(1) 平日の日中の過ごし方

問 44 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

(2) 一般就労のために必要な支援

問 45 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

（１）平日の日中の過ごし方、（２）一般就労のために必要な支援、に関する設問については、学校卒業後の方のみを対象としたことにより、回答者が非常に少なかったため、結果については省略いたします。

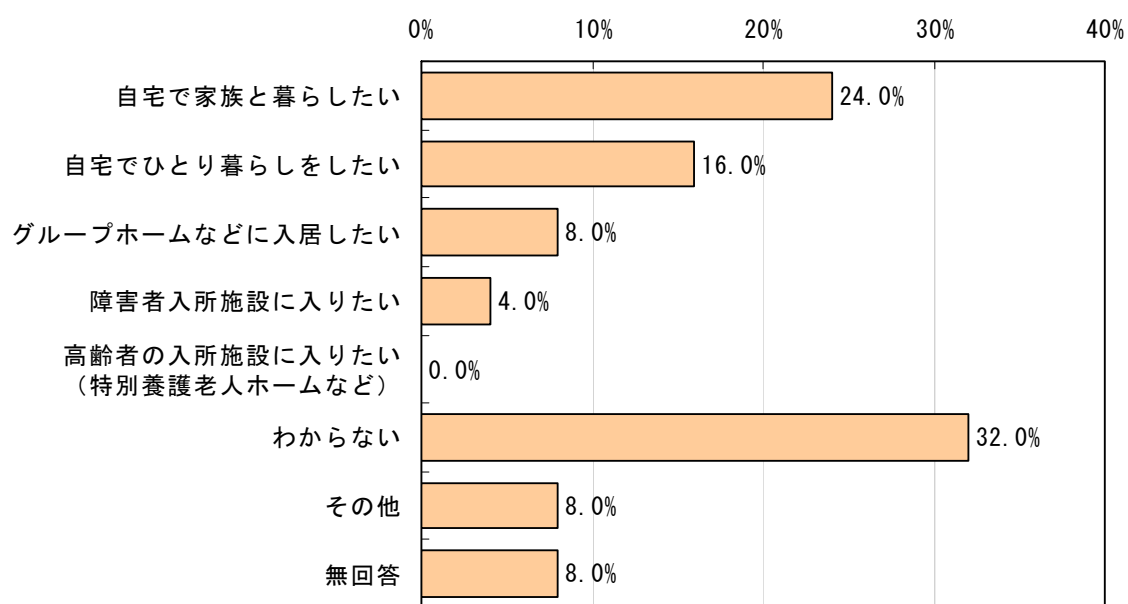
10. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 46 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「わからない」が32.0%、「自宅で家族と暮らしたい」が24.0%となっています。

●全体



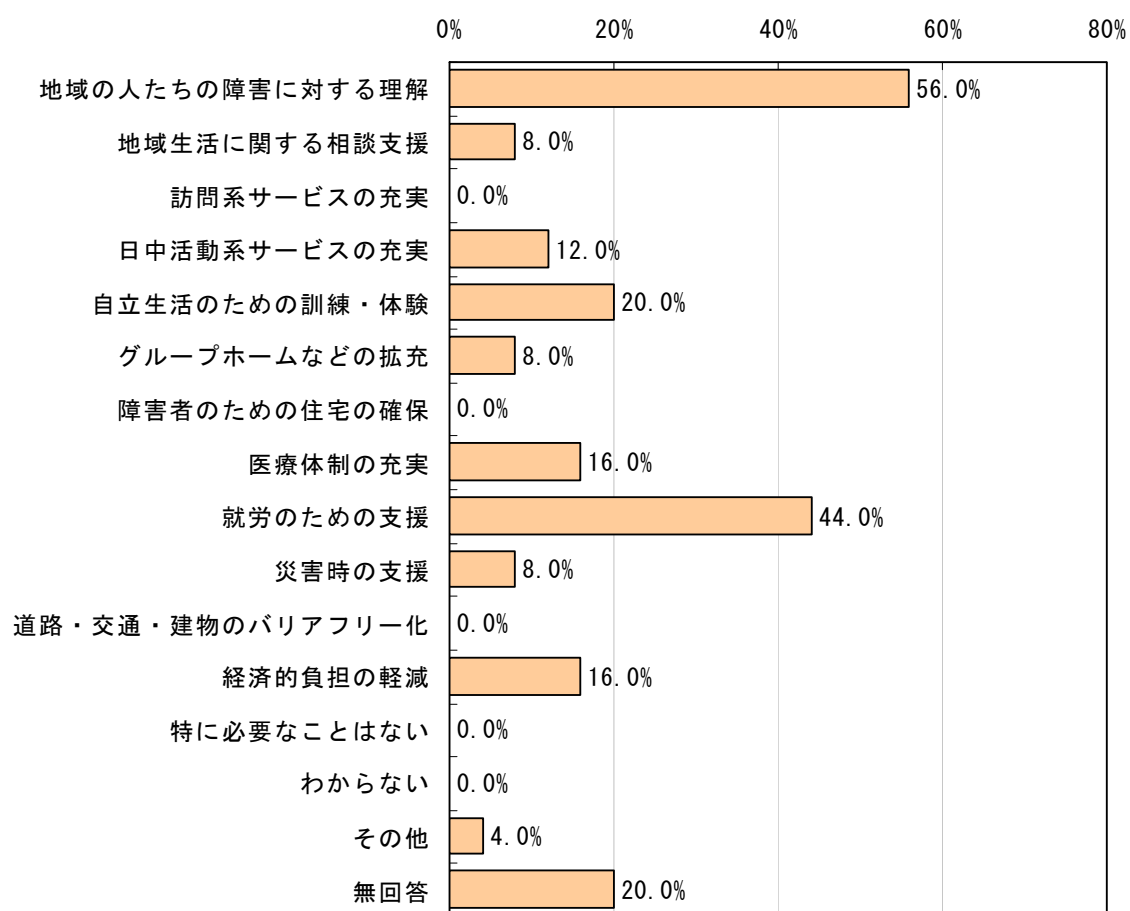
(N=25)

(2) 地域生活のために必要なこと

問 47 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「地域の人たちの障害に対する理解」が56.0%、「就労のための支援」が44.0%となっています。

●全体



(N=25)

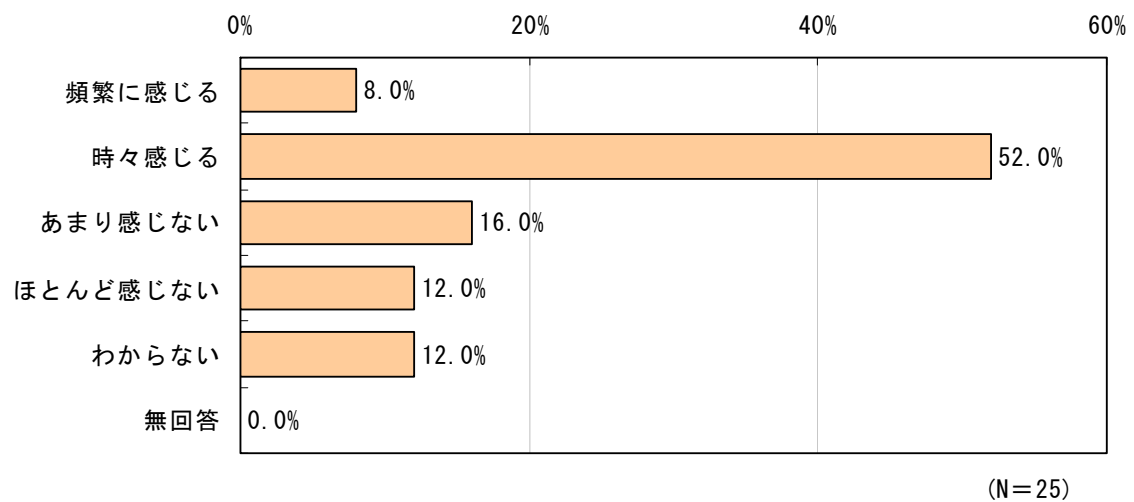
1 1. 障害のある人に対する理解度について

(1) 地域で生活していて感じる差別の有無

問 48 あなたは地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(〇は 1 つ)

「時々感じる」が52.0%となっています。

●全体



(2) 差別を感じた場面

問 49 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。

全体では 11 件の意見がありました。

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

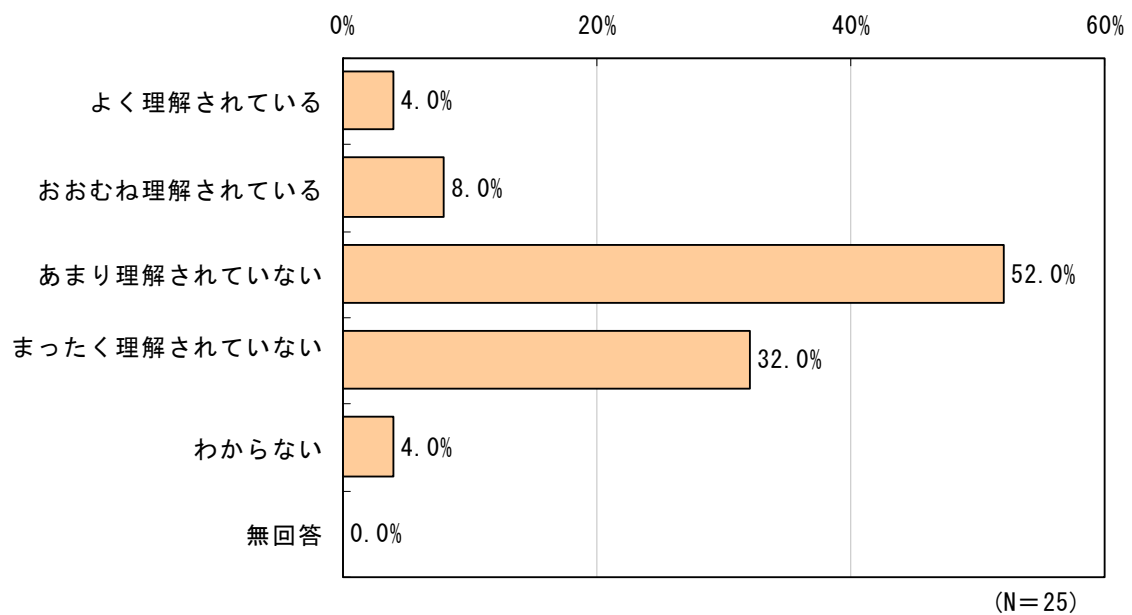
ご意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
ただ、しつけが悪いように思われた。	広汎性発達障害、注意欠陥・多動性障害 (ADHD)	12	男性	家族
多動な子なのですが街に出る時に親とひもをつないでいないのはどういうものかと言われたことがあります。	自閉症・自閉的傾向、知的障害	17	男性	家族
障害のために大声や暴言が出てしまった時、ひどくけなされたり親の育て方のせいにされた。	広汎性発達障害、アスペルガー症候群、学習障害 (LD)	6	男性	家族
幼稚園の入園希望に対し、障害があると伝えと、「当園ではなく他所のほうが近いのでは？」や「前例が無い」など嫌悪感を示され、排除されているかのようで、それ以上の相談をやめました。	その他	3	男性	家族
私は小さい時からふつうの人だったのに、なぜか小学校に入ってイジメられるようになって、私だけなんだろうってしまいました。	不明	17	女性	本人
英会話スクールに通おうと見学に行き、障害の話をしたら、後日別の理由で断られた。今からじゃついて来るのが大変だとか何とか…。	アスペルガー症候群	8	男性	家族

(3) 障害のある人に対する市民の理解度

問 50 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

「あまり理解されていない」が52.0%となっています。

●全体



12. サービス利用について

(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

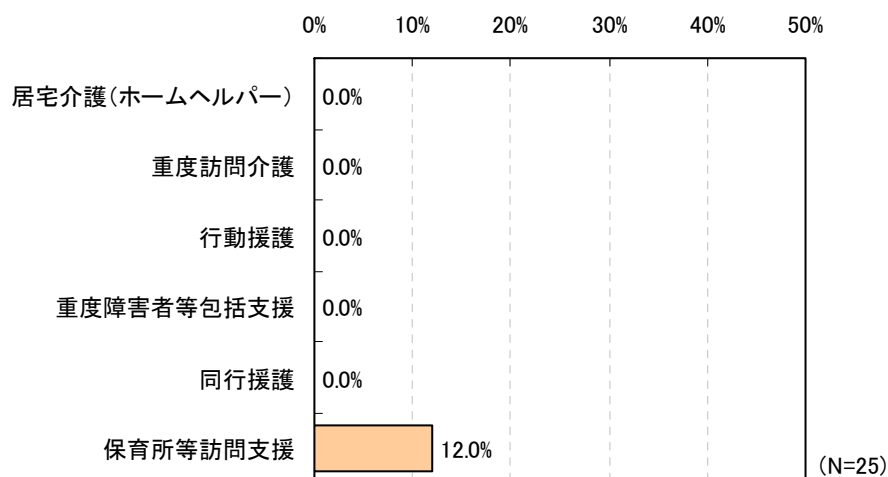
問 51 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「保育所等訪問支援」が12.0%となっています。

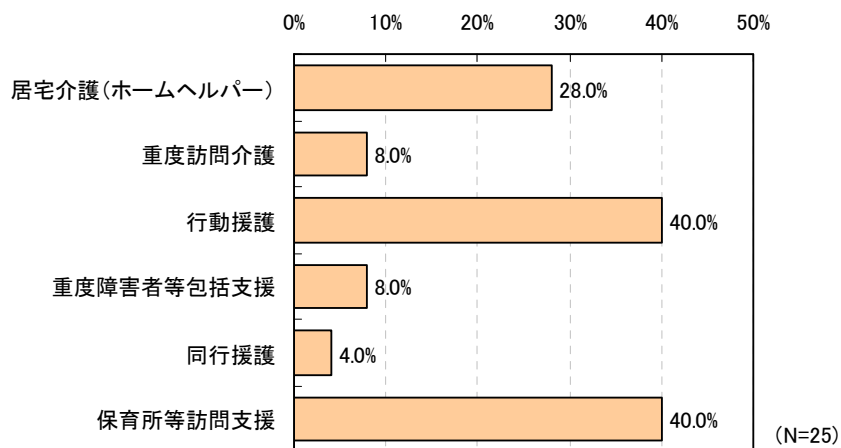
利用したいサービスについて見ると、「行動援護」、「保育所等訪問支援」がそれぞれ40.0%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

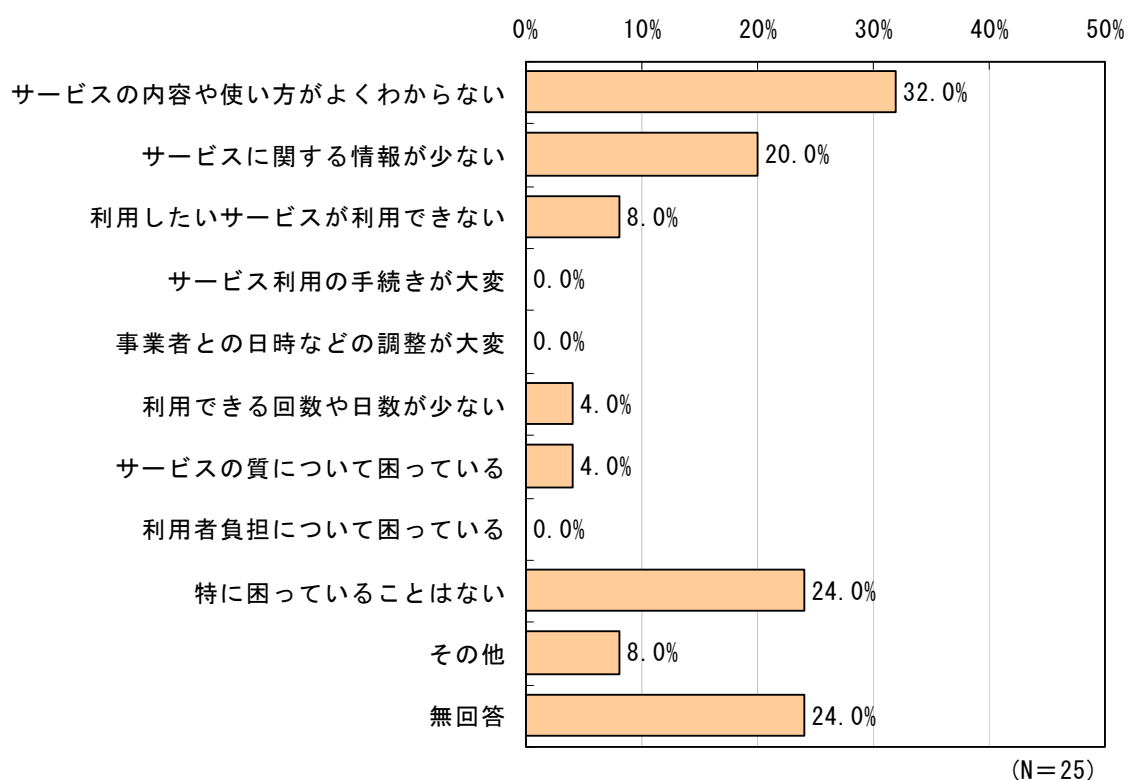


(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 52 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 32.0%、「特に困っていることはない」が 24.0%、「サービスに関する情報が少ない」が 20.0%となっています。

●全体



(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

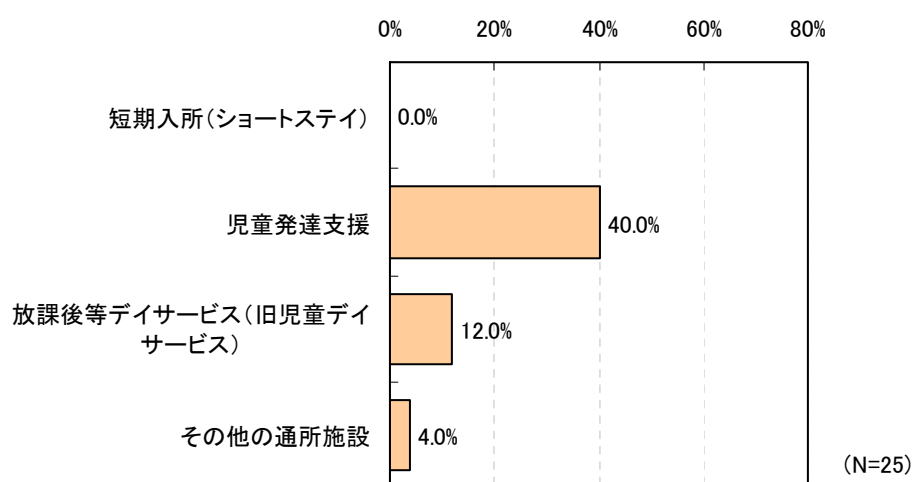
問 53 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「児童発達支援」が 40.0%となっています。

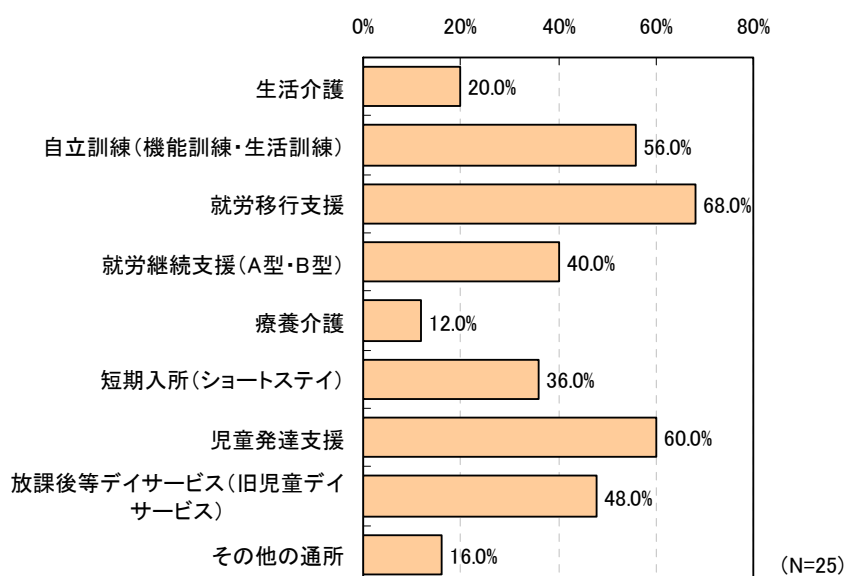
利用したいサービスについて見ると、「就労移行支援」が 68.0%、「児童発達支援」が 60.0%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

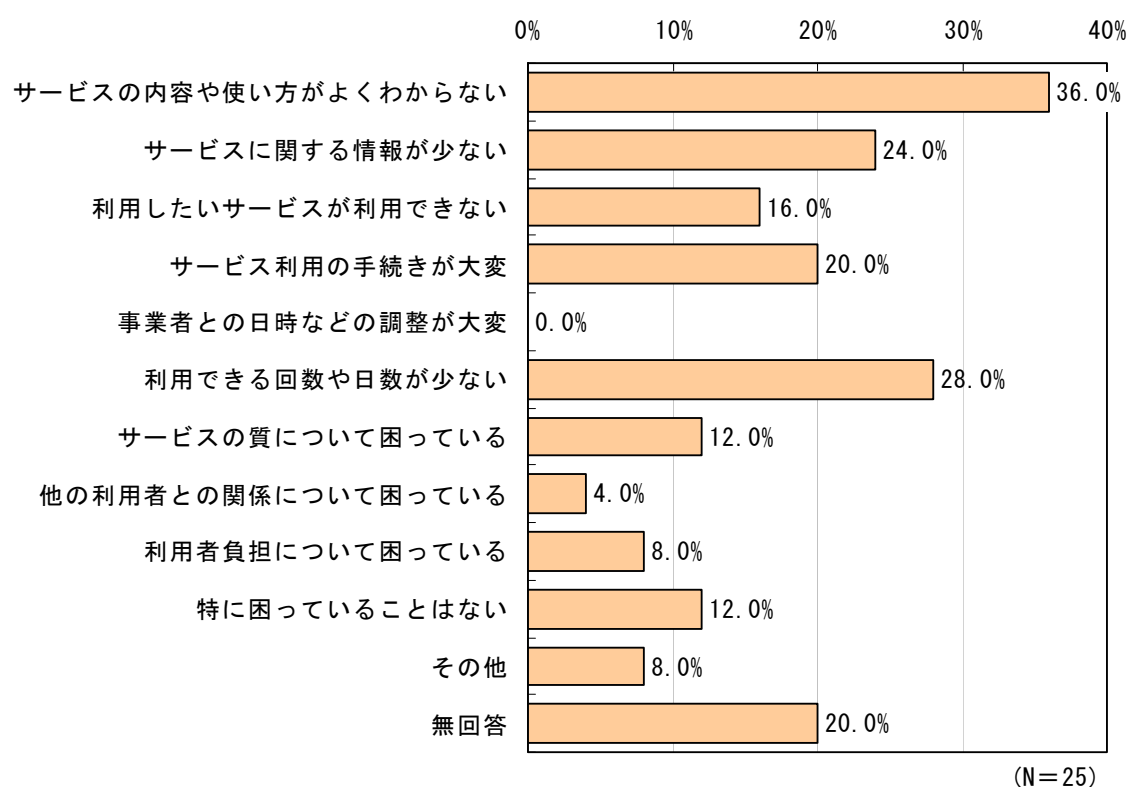


(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 54 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 36.0%、「利用できる回数や日数が少ない」が 28.0%、「サービスに関する情報が少ない」が 24.0%となっています。

●全体



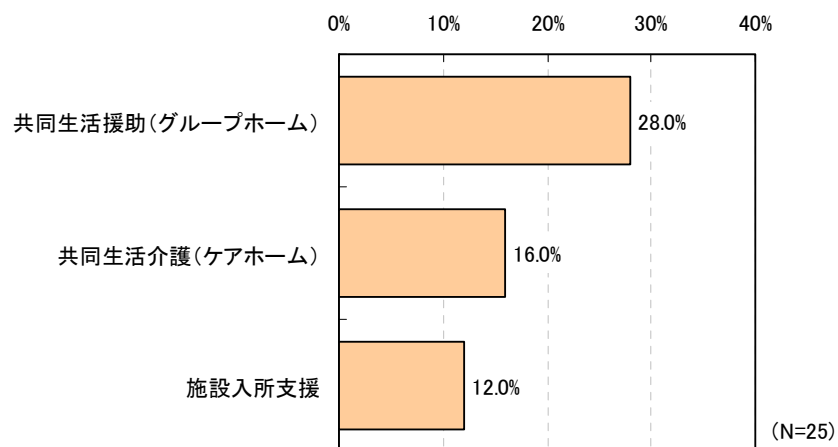
(5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

問 55 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用したいサービスについて見ると、「共同生活援助（グループホーム）」が 28.0%となっています。

●全体

B. 今後の利用希望



(6) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

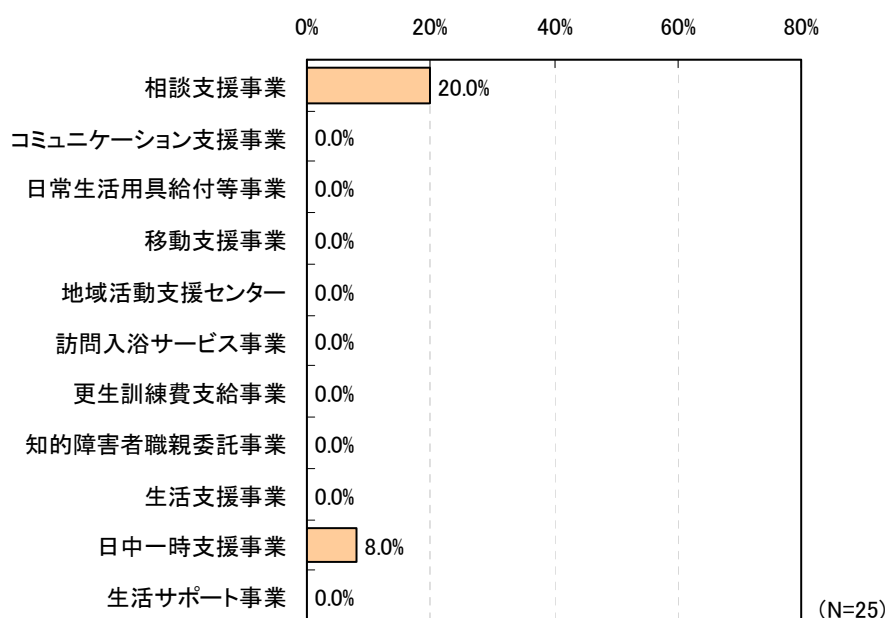
問 56 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスについて見ると、「相談支援事業」が 20.0%となっています。

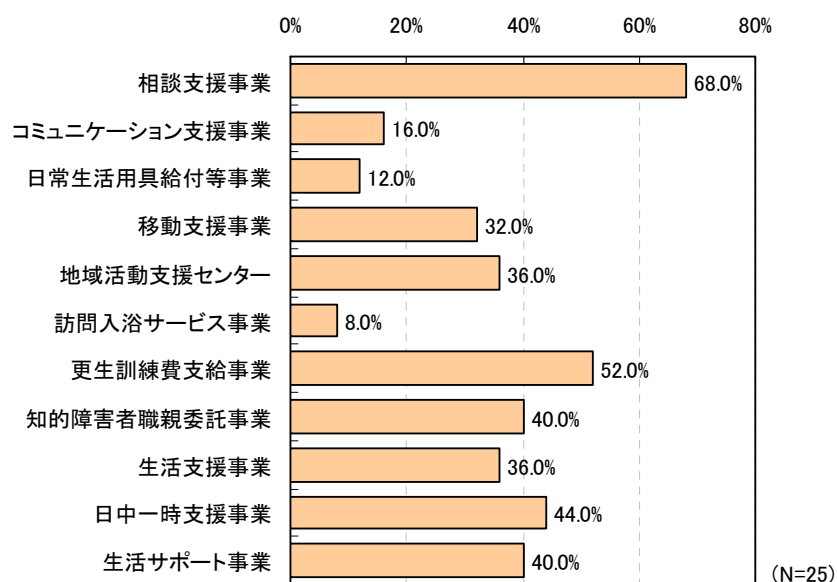
利用したいサービスについて見ると、「相談支援事業」が 68.0%、「更生訓練費支給事業」が 52.0%となっています。

●全体

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

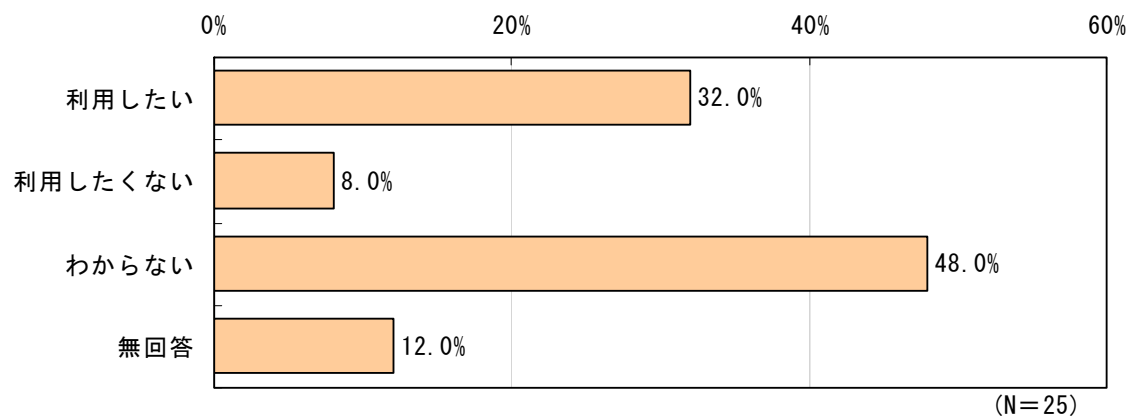


(7) 成年後見制度

問 57 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(〇は 1 つ)

「わからない」が 48.0%、「利用したい」が 32.0%となっています。

●全体



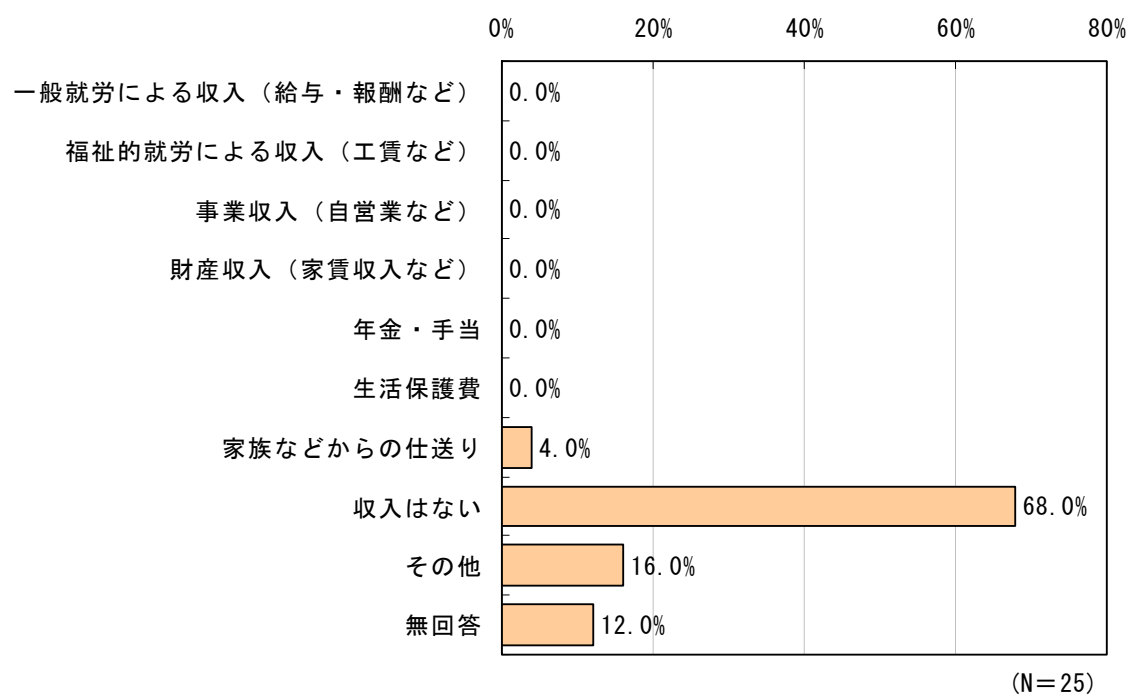
13. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 58 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

「収入はない」が68.0%となっています。

●全体



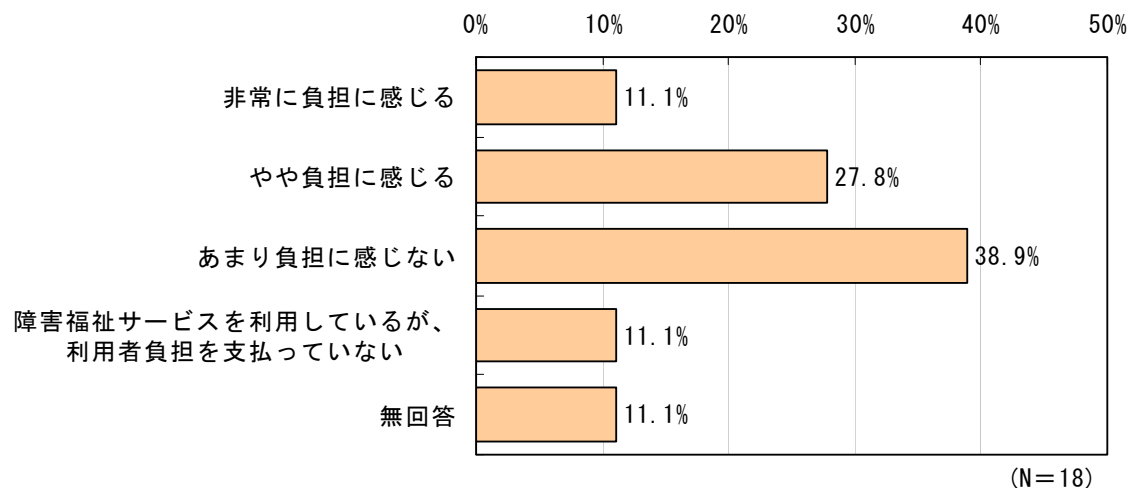
(2) 利用者負担の負担感

問 59 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

（「障害福祉サービスを利用していない」方を除いて集計）

「あまり負担に感じない」が38.9%となっています。

●全体

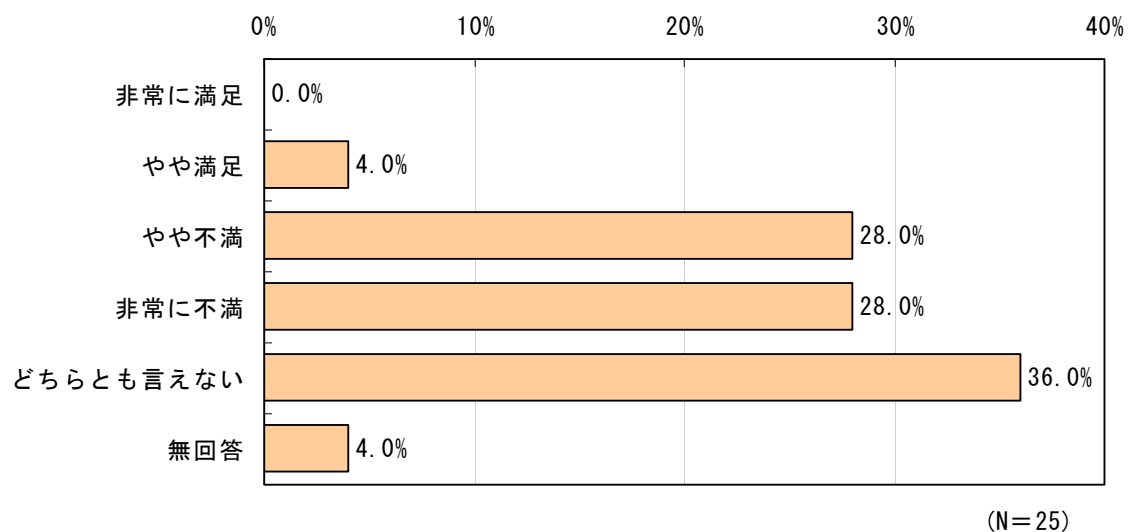


14. 市の障害者施策について

問 60 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

「どちらとも言えない」が36.0%、「やや不満」、「非常に不満」がそれぞれ28.0%となっています。

●全体



15. 自由意見

問 65 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書(か)きください。(自由記述)

全体では 25 件の意見がありました。

	全体	分類 1 福祉サービス	分類 2 医療・健康	分類 3 生活環境	分類 4 療育・教育	分類 5 将来について
件数 (件)	25	8	0	2	5	1
構成比 (%)	100.0	32.0	0.0	8.0	20.0	4.0

	分類 6 経済事情・ 経済的支援	分類 7 行政・制度	その他
件数 (件)	0	9	0
構成比 (%)	0	36.0	0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 分類 1 福祉サービス (8 件)

障害特性に応じたサービスの充実や、入所施設の増設、送迎サービスに関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
アスペルガー等知的障害のない障がい者へのサービスをもっと広げてほしい。月に 1,2 回でも児童ディのような所が使えると助かるが知的に高いため本人が嫌がることも想像がつく。障害に対して専門的な知識のあるスタッフが運営する児童館のような放課後に預かってもらえる施設がほしい。	広汎性発達障害、アスペルガー症候群、学習障害 (LD)	6	男性	家族
集団に入れられないためデイサービスを利用するにも行けずマンツーマンで専門的知識のある人がみてくれるサービスがほしい。	自閉症・自閉的傾向、広汎性発達障害、高機能自閉症・高機能広汎性発達障害、アスペルガー症候群	10	男性	家族

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
現在国の方針ではグループホームの増設に力を入れています。何度かグループホームを見学に行きましたが結局のところ重度の知的障害、自閉症、多動症のわが子には居住のむずかしさを感じるに至っております。どうしても壁に囲まれ鍵が必要な生活しか送れない人は出てきます。そして施設入所が狭き門になっているのが現状です。千葉市、市原市、袖ヶ浦市などたくさんの入所施設を訪問し断られ続けています。生き抜く為の手段がそろわない環境で生き抜かなければならない家族のジレンマ、家族の胸中を察してください。入所施設の増設に力を入れてもらえませんか？お願いします！	自閉症・自閉的傾向、知的障害	17	男性	家族

② 分類2 医療・健康（0件）

③ 分類3 生活環境（2件）

継続する介助に対する不安に関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
土日祝盆正月、これらの時に子供を預かって欲しい時があります。なぜなら母親が慢性疾患が複数あるので激痛で薬をのんでも治らない場合、預かって欲しいです。一日一日を大切にしていますがいつまでがんばれるかわからず不安ですが、夫も自分の身の世話ができない不器用さが目立つので障害児の生活を介助できない、又、任せられないので不安です。成年後見人は心ある信頼できる方に託したいです。	自閉症・自閉的傾向、広汎性発達障害、知的障害、注意欠陥・多動性障害（ADHD）	14	男性	家族

④ 分類4 療育・教育（5件）

学校・教職員に関することや、療育の機会・環境の充実や、親への指導に関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
児童の発達障害などには親に対する指導やカウンセリングなどをしてほしい。月に数回、子供に対して指導があっても家庭での対処を間違えれば意味がない。	広汎性発達障害	6	男性	家族
精神障害者の小学校高学年～中学校1～3年の難しい時期には、学校へ学年に1人くらいはカウンセラーを派遣してくれると嬉しいなと思います。	アスペルガー症候群	8	男性	家族

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
アンケートにもありましたが、児童発達支援の回数が少なすぎだと思います。正直月に1～2回では、どれくらい子供の為になっているのかと不安です。もう少し、回数を増やして欲しいです。また就学に関する事なんですけど、年長になってからでないと具体的に動けないのは、負担に感じてしまいます。”見学”というのは学校側の事情もあるので、難しいかもしれませんが…。年中くらいから就学に関する情報を教えて欲しいです。私の周りではすでに学校見学に行った人も何人もいて、みんな不安に思っているの、自分で動いたと言っていました。市からの情報があれば、もう少し不安は軽減できるのでは、と思います。今はまだ利用していませんが、放課後デイもどこも定員がいっぱいだと聞きました。学校に入学してから、自分の子供が入る放課後デイが確保できるのか心配です。最後に児童発達支援の受給者証の更新の時に、保健センターに行くと思いますが、子供の事を気かけながら書類に記入するのは大変です。（とくにうちの子はおとなしくしてられないので）少々動いても大丈夫なように、小部屋で手続きを行うなど、もう少し配慮して頂けるとありがたいです。	知的障害	5	男性	家族

⑤ 分類5 将来について（1件）

将来保護者等がいなくなった後でも暮らしていけるような支援体制の構築に関するご意見がありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
親としてあたりまえに我が子のしあわせを願っております。幼稚園から小学校中学校と、楽しくすごし成長していく、というより普通の願いも非常に困難が多く、将来が不安でたまりません。専門知識を持った、臨床発達心理士などを、療育、教育の場に配置していただき、障害を持つそれぞれの子どもへの適切な支援をどうぞお願い致します。 「療育」がなぜ就学前までなのか・人生は続きます。入学後も放課後デイサービスより細やかなレスパイトケアではない、療育の場が、切実に必要です。親が死んだのち、子どもが社会的に幸福に生きていけるようどうかご支援をよろしくがいたします。	その他	3	男性	家族

⑥ 分類6 経済事情・経済的支援（0件）

⑦ 分類7 行政・制度（9件）

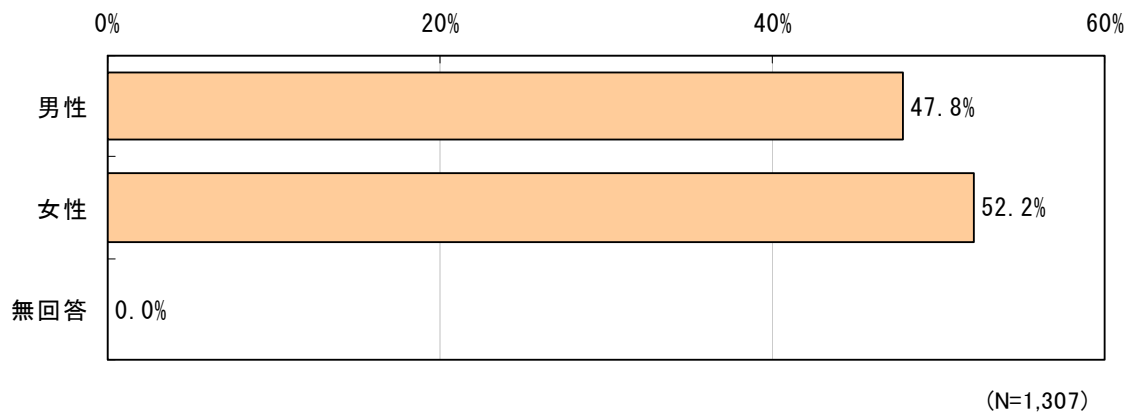
情報提供に関することや手続きに関すること、福祉と教育の連携に関するご意見などがありました。

ご意見	最新の 診断名	年齢	性別	回答者
・どんなサービスがあるのかわからない。・こちらがきかないと、おしえてくれない。・利用できるパンフレットの一覧があるが、こちらが希望しないと窓口に出してくれない。わかりやすい所においておいて欲しい。手帳だけ持っても、どのサービスが利用できるか分からない事が多すぎる。町の中でも利用できる所に、ステッカーでもはっておいてほしい。（情報提供に関する意見：2件）	広汎性発達障害	14	女性	家族
アスペルガーの子がいます。精神障害2級です。身体障害者手帳の受けられる補助と同様にしたいです。幼稚園になじめず、毎日、バスと電車を使い送り迎えをして、児童発達支援に通っています。正直なところ、交通費の負担がたつらいです。そしてIQは高いので、療育手帳の申請もできません。IQが高いから、頭がよくて何でもできる訳ではなく、本当に困っているのに「助けて」が言えません。療育手帳をお持ちの方と同じくらい困っているのです。そこをわかって頂ける様になるといいと思います。	広汎性発達障害、アスペルガー症候群	6	男性	家族
障害福祉とは少し違うのかもしれませんが就学の際に子供の様子、学校のサポートの様子（支援級の有無など）を考えて学校、学区の変更を希望しても「ADHD」を理由としての変更はできないの一言で終わってしまい、不安・不信感を教育委員会に感じました。養教の相談員の先生などは親身になって話をきいてくれたのに…。親の都合などはとても簡単に変更できるのに、子供に合わせた希望は全く聞いてもらえない…というのが今後多くなるのかと思うと、これからの子供の将来の市の対応はどうなっていくのかとても不安でなりません。障害福祉サービス、教育委員会と横の連携もしっかりとっていったってその子にとっての良い援助を考えられるようにしていただけたらと思います。	注意欠陥・多動性障害（ADHD）	6	男性	家族

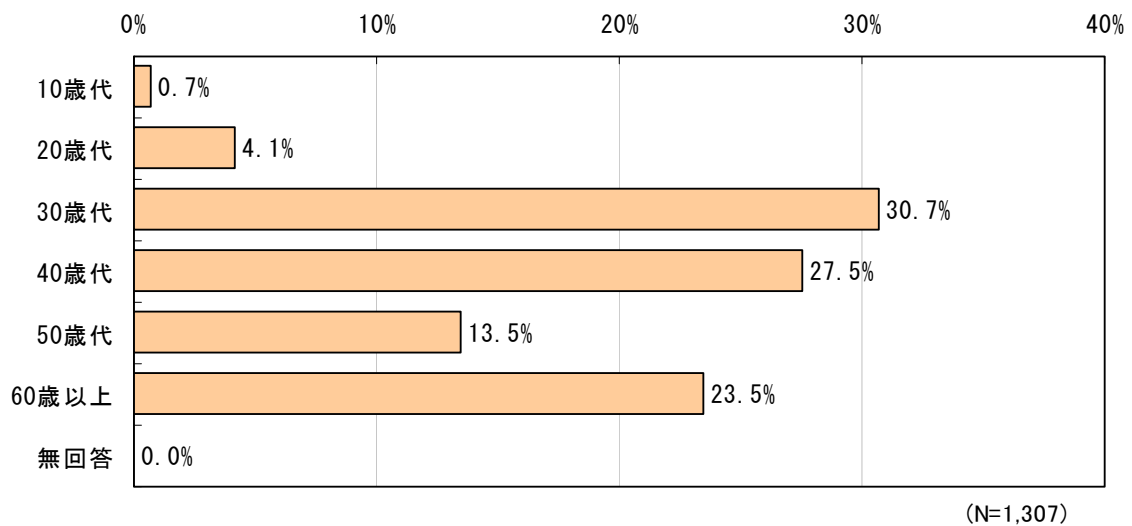
⑧ その他（0件）

Ⅵ インターネットモニターを対象とした調査

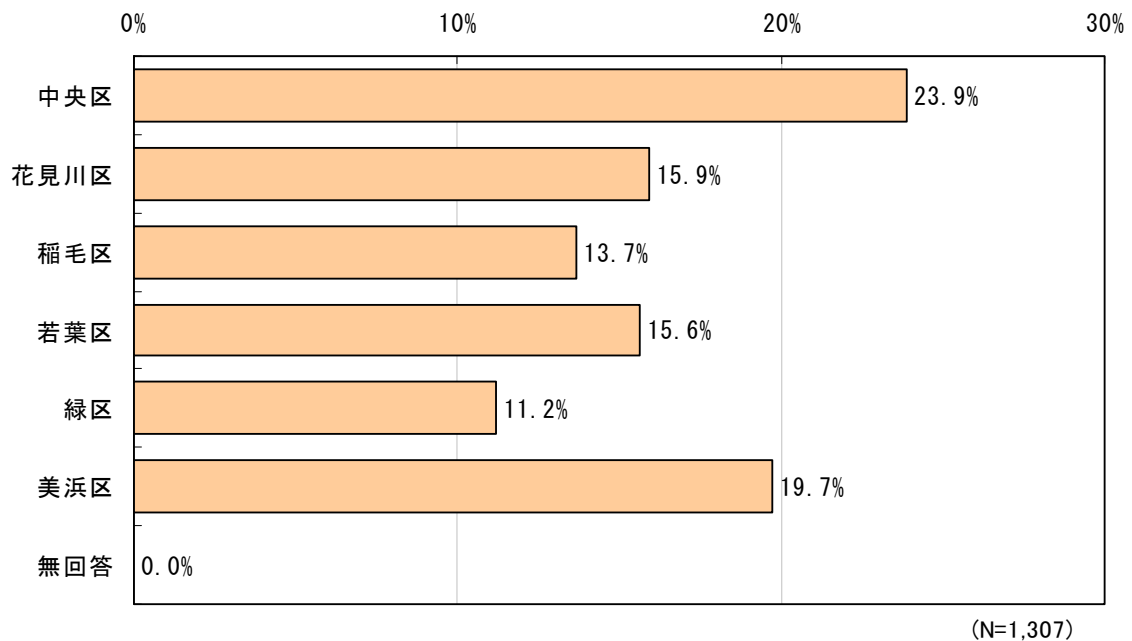
【性別】



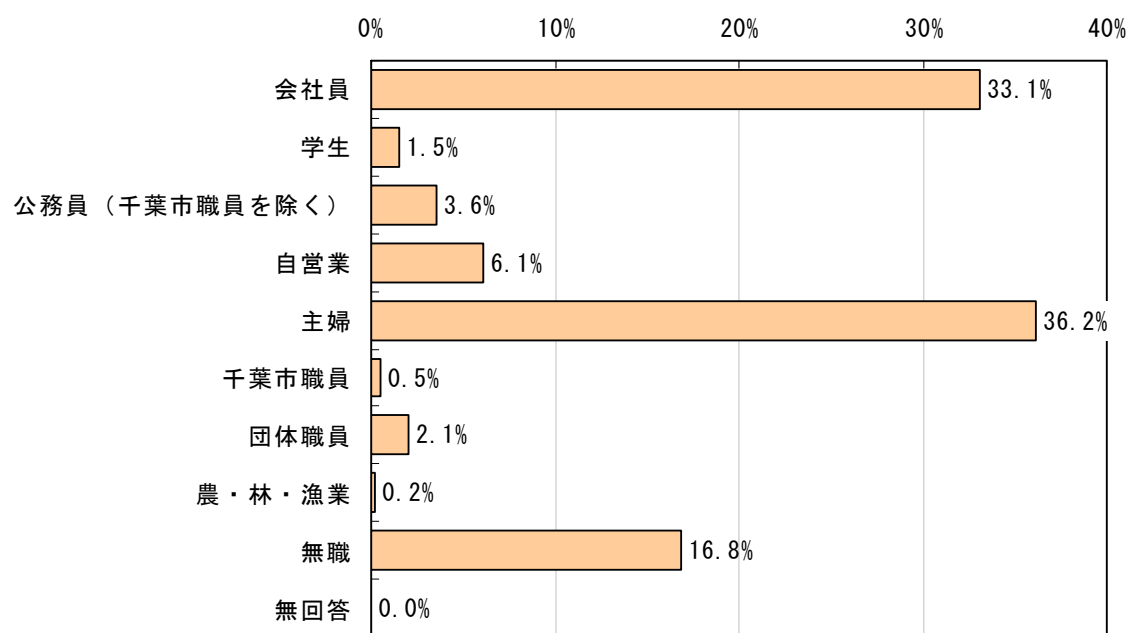
【年齢】



【お住まいの区】



【職業】



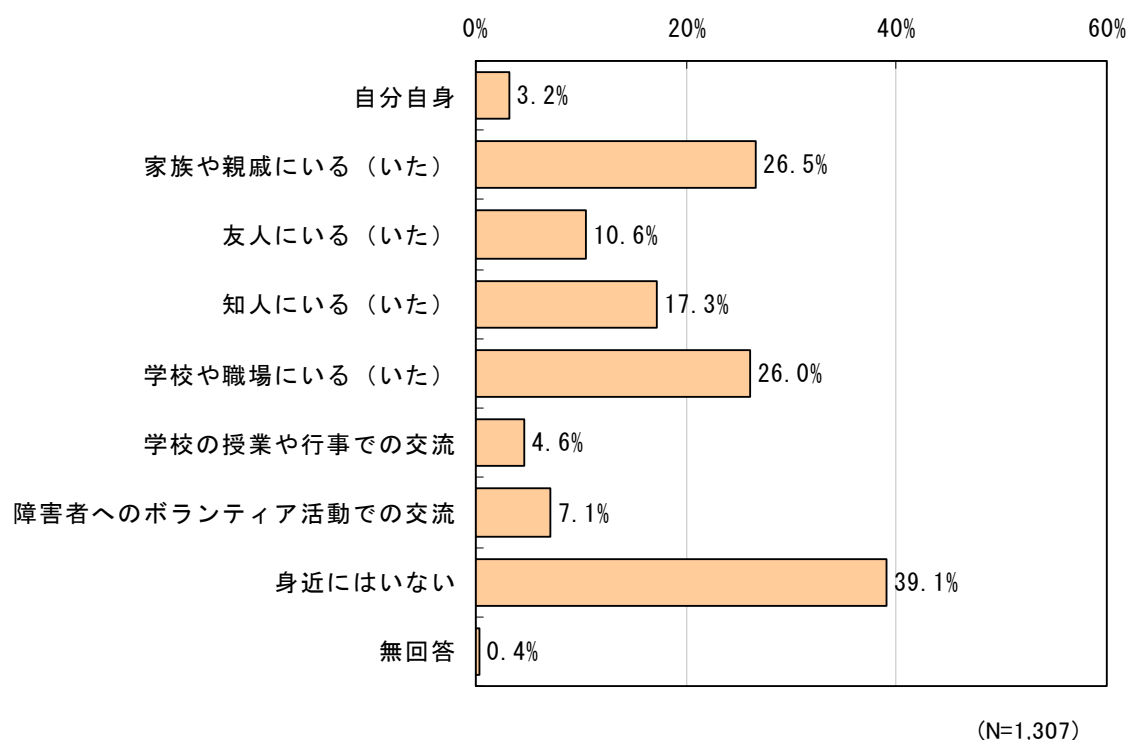
(N=1,307)

(1) 身近な障害者の存在、障害者との交流経験

問1 身近に障害のある方はいますか。また障害者との交流経験はありますか。(〇はいくつでも)

「身近にはいない」が39.1%、「家族や親戚にいる(いた)」が26.5%、「学校や職場にいる(いた)」が26.0%となっています。年齢別でみると、10歳代では、家族や親戚に障害のある方が少ないことが特徴です。

●全体



●年齢別

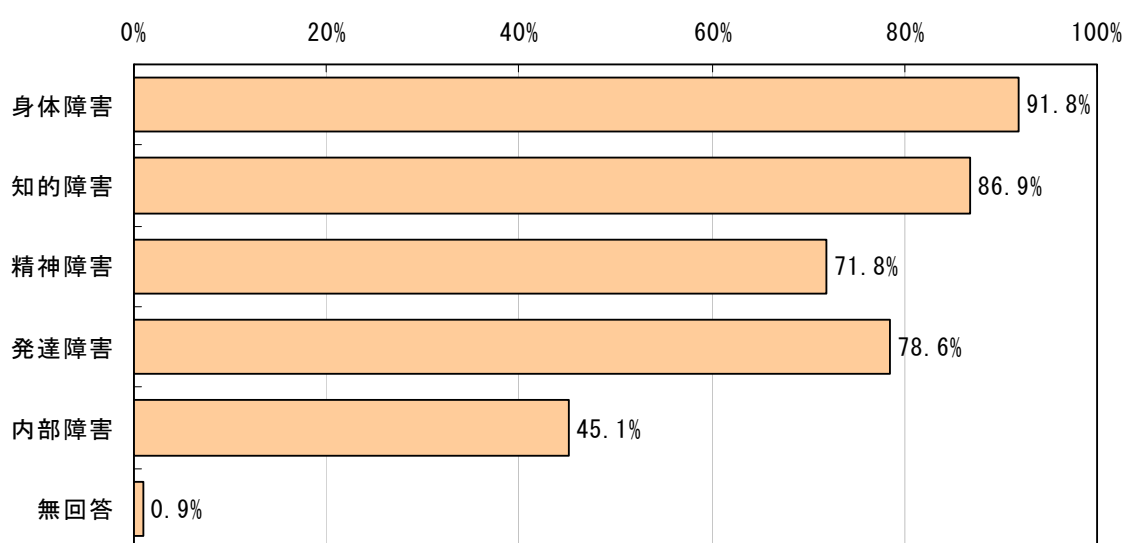
		合計	自分自身	家族や親戚 にいる(いた)	友人に いる(いた)	知人に いる(いた)	学校や 職場に いる(いた)	学校の 授業や 行事で の交流	障害者 へのボ ランテ ィア活 動での 交流	身近に はいな い	無回答
全体	人数	1,307	42	347	138	226	340	60	93	511	5
	構成比		3.2%	26.5%	10.6%	17.3%	26.0%	4.6%	7.1%	39.1%	0.4%
10歳代	人数	9	0	1	1	1	4	1	0	3	0
	構成比		0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%
20歳代	人数	54	1	15	6	7	21	6	5	14	0
	構成比		1.9%	27.8%	11.1%	13.0%	38.9%	11.1%	9.3%	25.9%	0.0%
30歳代	人数	401	8	113	38	49	122	24	17	165	1
	構成比		2.0%	28.2%	9.5%	12.2%	30.4%	6.0%	4.2%	41.1%	0.2%
40歳代	人数	360	8	92	45	68	100	11	26	135	2
	構成比		2.2%	25.6%	12.5%	18.9%	27.8%	3.1%	7.2%	37.5%	0.6%
50歳代	人数	176	12	52	22	35	63	11	16	51	0
	構成比		6.8%	29.5%	12.5%	19.9%	35.8%	6.3%	9.1%	29.0%	0.0%
60歳以上	人数	307	13	74	26	66	30	7	29	143	2
	構成比		4.2%	24.1%	8.5%	21.5%	9.8%	2.3%	9.4%	46.6%	0.7%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 障害に関する認知度

問2 次の障害について、知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

「身体障害」が91.8%と最も認知度が高く、次いで「知的障害」「発達障害」「精神障害」の順に全て70%を超えています。また、「内部障害」については45.1%と他の障害種別に比べて認知度が大幅に低くなっています。年齢別に見ると、10歳代については全体的に認知度が低くなっています。

●全体



(N=1,307)

●年齢別

		合計	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	内部障害	無回答
全体	人数	1,307	1,200	1,136	939	1,027	589	12
	構成比		91.8%	86.9%	71.8%	78.6%	45.1%	0.9%
10歳代	人数	9	6	7	2	3	2	0
	構成比		66.7%	77.8%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%
20歳代	人数	54	51	47	37	44	27	0
	構成比		94.4%	87.0%	68.5%	81.5%	50.0%	0.0%
30歳代	人数	401	363	343	280	317	171	8
	構成比		90.5%	85.5%	69.8%	79.1%	42.6%	2.0%
40歳代	人数	360	335	320	271	298	171	1
	構成比		93.1%	88.9%	75.3%	82.8%	47.5%	0.3%
50歳代	人数	176	167	160	136	142	80	1
	構成比		94.9%	90.9%	77.3%	80.7%	45.5%	0.6%
60歳以上	人数	307	278	259	213	223	138	2
	構成比		90.6%	84.4%	69.4%	72.6%	45.0%	0.7%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

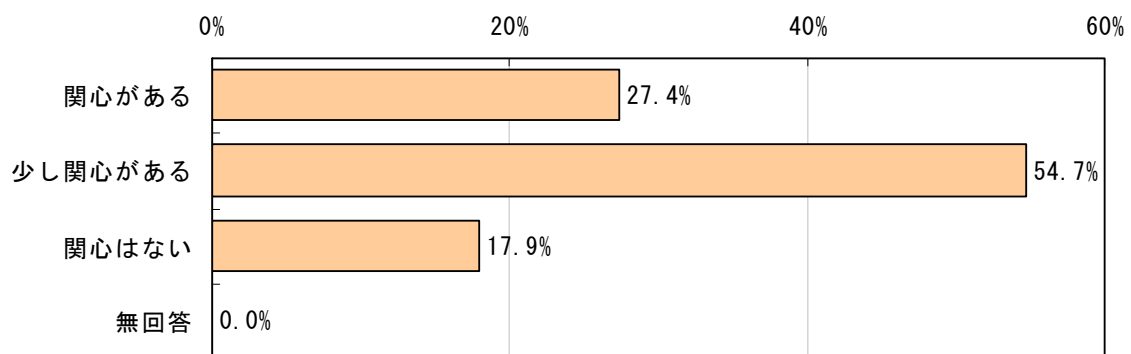
(3) 障害者福祉に対する関心

問3 障害者福祉について関心がありますか。障害者福祉とは、障害のある方に対して、生活や自立を支援する様々な施策や活動等のことです。（○は1つだけ）

全体では、「少し関心がある」が54.7%、「関心がある」が27.4%となっています。

年齢別に見ると、高年齢層になるにつれて、「関心がある」と答えた人の割合が高い傾向にあります。

●全体



(N=1,307)

●年齢別

		合計	関心がある	少し関心がある	関心はない	無回答
全体	人数	1,307	358	715	234	0
	構成比		27.4%	54.7%	17.9%	0.0%
10歳代	人数	9	0	4	5	0
	構成比		0.0%	44.4%	55.6%	0.0%
20歳代	人数	54	9	37	8	0
	構成比		16.7%	68.5%	14.8%	0.0%
30歳代	人数	401	79	220	102	0
	構成比		19.7%	54.9%	25.4%	0.0%
40歳代	人数	360	77	206	77	0
	構成比		21.4%	57.2%	21.4%	0.0%
50歳代	人数	176	67	88	21	0
	構成比		38.1%	50.0%	11.9%	0.0%
60歳以上	人数	307	126	160	21	0
	構成比		41.0%	52.1%	6.8%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) 障害への理解を深めるために必要なこと

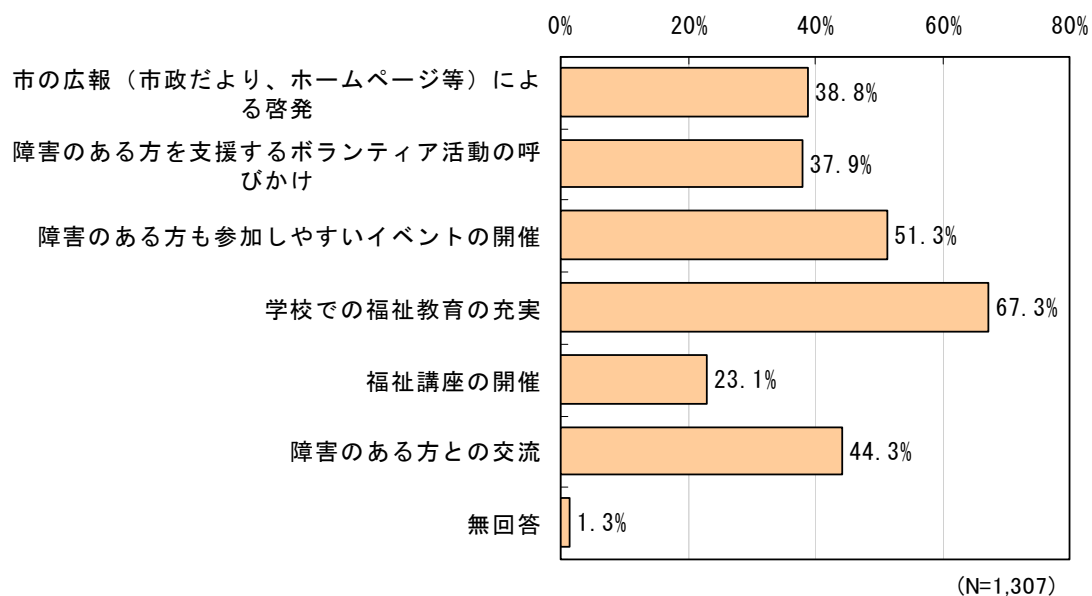
問4 障害のある方についての理解を深めるためには、どのようなことをするとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「学校での福祉教育の充実」が67.3%、「障害のある方も参加しやすいイベントの開催」が51.3%となっています。

障害者福祉の関心別に見ると、障害者福祉に「関心がある」方は、「関心はない」方と比べて「障害のある方との交流」や「ボランティア活動の呼びかけ」を重視し、「少し関心がある」方は「学校での福祉教育の充実」を重視しています。

身近な障害者の存在等の有無別に見ると、「身近に障害者がいる」方は、「イベント開催や福祉教育の充実」などの項目において、「身近にはいない」方と比較して割合が高くなっています。

●全体



●年齢別

		合計	市の広報 (市政だ より、 ホーム ページ 等)による 啓発	障害のある 方を支 援するボ ランティ ア活動の 呼びかけ	障害のある 方も参 加しやす いイベン トの開催	学校での 福祉教育 の充実	福祉講座 の開催	障害のある 方との 交流	無回答
全体	人数	1,307	507	496	671	879	302	579	17
	構成比		38.8%	37.9%	51.3%	67.3%	23.1%	44.3%	1.3%
10歳代	人数	9	5	1	2	5	1	2	1
	構成比		55.6%	11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	22.2%	11.1%
20歳代	人数	54	16	20	36	36	10	29	1
	構成比		29.6%	37.0%	66.7%	66.7%	18.5%	53.7%	1.9%
30歳代	人数	401	138	120	191	289	61	158	8
	構成比		34.4%	29.9%	47.6%	72.1%	15.2%	39.4%	2.0%
40歳代	人数	360	135	123	167	240	84	148	5
	構成比		37.5%	34.2%	46.4%	66.7%	23.3%	41.1%	1.4%
50歳代	人数	176	59	75	95	117	50	101	1
	構成比		33.5%	42.6%	54.0%	66.5%	28.4%	57.4%	0.6%
60歳以上	人数	307	154	157	180	192	96	141	1
	構成比		50.2%	51.1%	58.6%	62.5%	31.3%	45.9%	0.3%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●障害者福祉に対する関心別

		合計	市の広報 (市政だ より、 ホーム ページ 等)による 啓発	障害のある 方を支 援するボ ランティ ア活動の 呼びかけ	障害のある 方も参 加しやす いイベン トの開催	学校での 福祉教育 の充実	福祉講座 の開催	障害のある 方との 交流	無回答
全体	人数	1,307	507	496	671	879	302	579	17
	構成比		38.8%	37.9%	51.3%	67.3%	23.1%	44.3%	1.3%
関心がある	人数	358	167	202	223	269	135	238	0
	構成比		46.6%	56.4%	62.3%	75.1%	37.7%	66.5%	0.0%
少し関心がある	人数	715	274	253	378	480	147	284	7
	構成比		38.3%	35.4%	52.9%	67.1%	20.6%	39.7%	1.0%
関心はない	人数	234	66	41	70	130	20	57	10
	構成比		28.2%	17.5%	29.9%	55.6%	8.5%	24.4%	4.3%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●身近な障害者の存在等の有無別

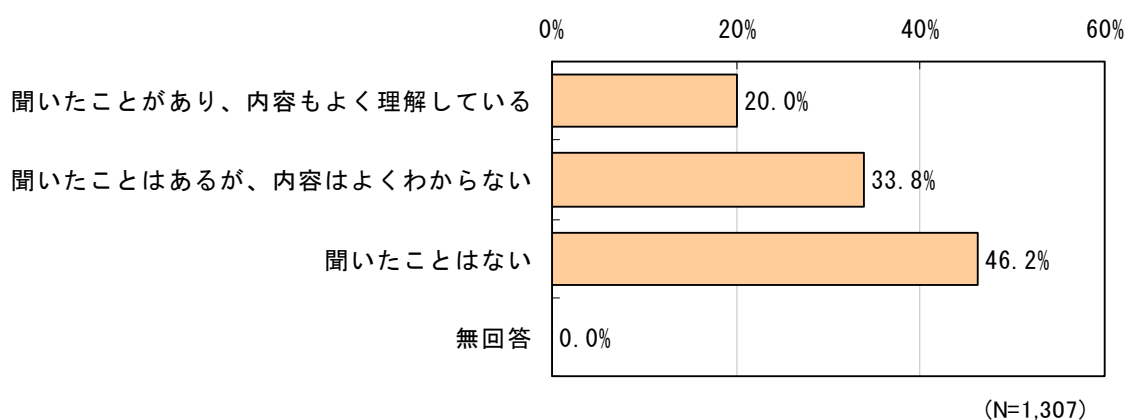
		合計	市の広報 (市政だ より、 ホーム ページ 等)による 啓発	障害のある 方を支 援するボ ランティ ア活動の 呼びかけ	障害のある 方も参 加しやす いイベン トの開催	学校での 福祉教育 の充実	福祉講座 の開催	障害のある 方との 交流	無回答
全体	人数	1,265	482	477	644	852	290	560	17
	構成比		38.1%	37.7%	50.9%	67.4%	22.9%	44.3%	1.3%
身近に障害者が いる	人数	544	222	234	312	403	144	267	2
	構成比		40.8%	43.0%	57.4%	74.1%	26.5%	49.1%	0.4%
障害者との交流 経験がある	人数	228	61	79	118	145	49	112	3
	構成比		26.8%	34.6%	51.8%	63.6%	21.5%	49.1%	1.3%
身近にはいない	人数	488	199	164	213	301	97	181	11
	構成比		40.8%	33.6%	43.6%	61.7%	19.9%	37.1%	2.3%
無回答	人数	5	0	0	1	3	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%

(5) ノーマライゼーションの認知度

問5 「ノーマライゼーション」という言葉を知っていますか。ノーマライゼーションとは、障害のある人も障害のない人も、地域社会の中で一緒に生活できる社会をつくるという考え方です。(〇は1つだけ)

「聞いたことはない」が46.2%、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が33.8%となっています。

●全体



●年齢別

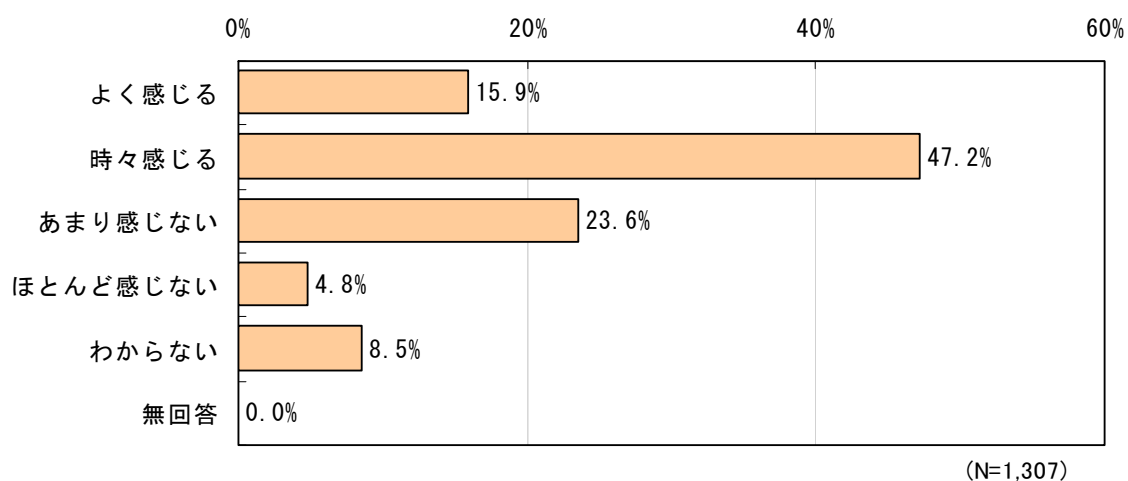
		合計	聞いたことがあり、内容もよく理解している	聞いたことはあるが、内容はよくわからない	聞いたことはない	無回答
全体	人数	1,307	261	442	604	0
	構成比		20.0%	33.8%	46.2%	0.0%
10歳代	人数	9	0	2	7	0
	構成比		0.0%	22.2%	77.8%	0.0%
20歳代	人数	54	13	18	23	0
	構成比		24.1%	33.3%	42.6%	0.0%
30歳代	人数	401	69	124	208	0
	構成比		17.2%	30.9%	51.9%	0.0%
40歳代	人数	360	71	114	175	0
	構成比		19.7%	31.7%	48.6%	0.0%
50歳代	人数	176	42	67	67	0
	構成比		23.9%	38.1%	38.1%	0.0%
60歳以上	人数	307	66	117	124	0
	構成比		21.5%	38.1%	40.4%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) 地域生活における障害者への差別、偏見、配慮のなさの有無

問6 日常生活や地域で、障害者への配慮の欠如や差別・偏見を感じることはありますか。(〇は1つだけ)

「時々感じる」が47.2%、「あまり感じない」が23.6%となっています。

●全体



●年齢別

		合計	よく感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない	無回答
全体	人数	1,307	208	617	308	63	111	0
	構成比		15.9%	47.2%	23.6%	4.8%	8.5%	0.0%
10歳代	人数	9	0	2	2	0	5	0
	構成比		0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	55.6%	0.0%
20歳代	人数	54	12	27	11	1	3	0
	構成比		22.2%	50.0%	20.4%	1.9%	5.6%	0.0%
30歳代	人数	401	63	201	77	20	40	0
	構成比		15.7%	50.1%	19.2%	5.0%	10.0%	0.0%
40歳代	人数	360	70	153	82	19	36	0
	構成比		19.4%	42.5%	22.8%	5.3%	10.0%	0.0%
50歳代	人数	176	33	85	39	5	14	0
	構成比		18.8%	48.3%	22.2%	2.8%	8.0%	0.0%
60歳以上	人数	307	30	149	97	18	13	0
	構成比		9.8%	48.5%	31.6%	5.9%	4.2%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

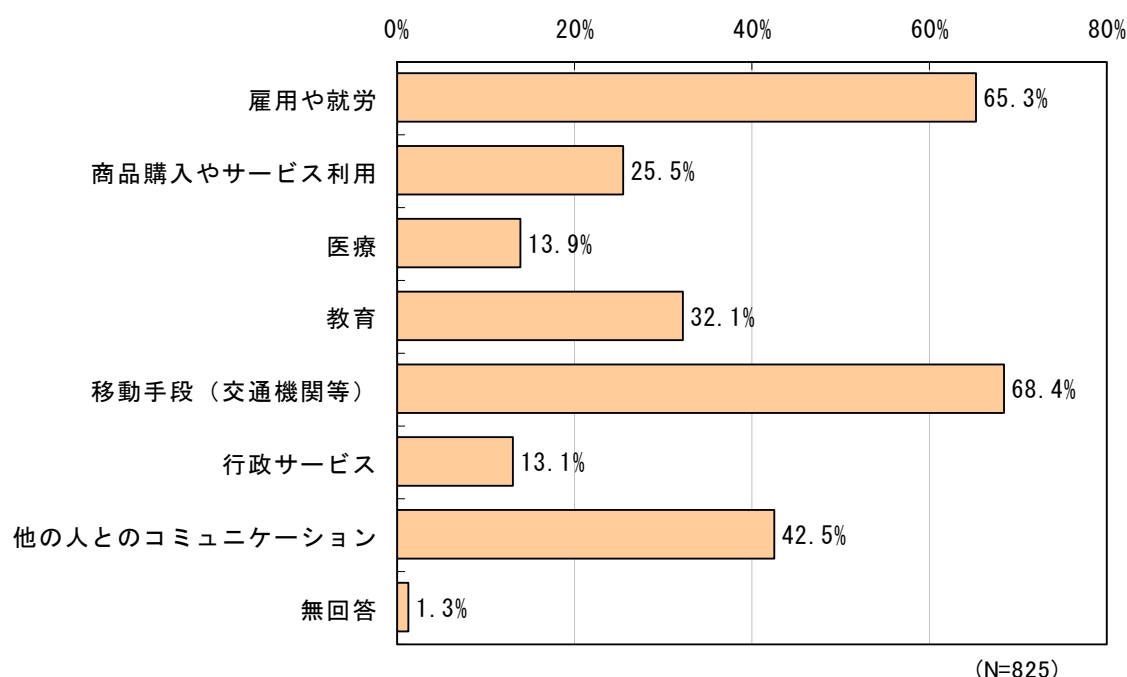
(7) 障害者への差別、偏見、配慮のなさを感じる場面

問7 問6で「よく感じる」または「時々感じる」と回答した方にお聞きます。どのような場面でそのように感じますか。(〇はいくつでも)

全体では、「交通機関等」が68.4%、「雇用や就労」が65.3%となっています。

性別に見ると、女性において「教育」、「他の人とのコミュニケーション」の割合が男性より約10ポイント高くなっています。

●全体



●性別

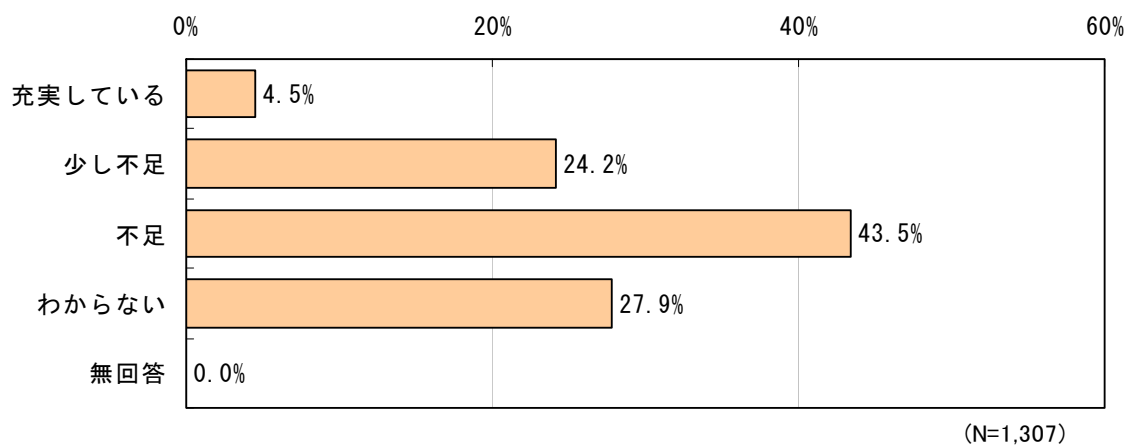
		回答者数	雇用や就労	商品購入 やサービス 利用	医療	教育	移動手段 (交通機 関等)	行政サー ビス	他の人との コミュニ ケーション	無回答
全体	人数	825	539	210	115	265	564	108	351	11
	構成比		65.3%	25.5%	13.9%	32.1%	68.4%	13.1%	42.5%	1.3%
男性	人数	380	254	92	53	100	257	51	138	8
	構成比		66.8%	24.2%	13.9%	26.3%	67.6%	13.4%	36.3%	2.1%
女性	人数	445	285	118	62	165	307	57	213	3
	構成比		64.0%	26.5%	13.9%	37.1%	69.0%	12.8%	47.9%	0.7%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(8) 障害者施策の進捗度

問8 福祉、教育、雇用、まちづくり等、現在の障害者施策は充実していると思いますか。(〇は1つだけ)

「不足」が43.5%、「わからない」が27.9%、「少し不足」が24.2%となっています。

●全体



●年齢別

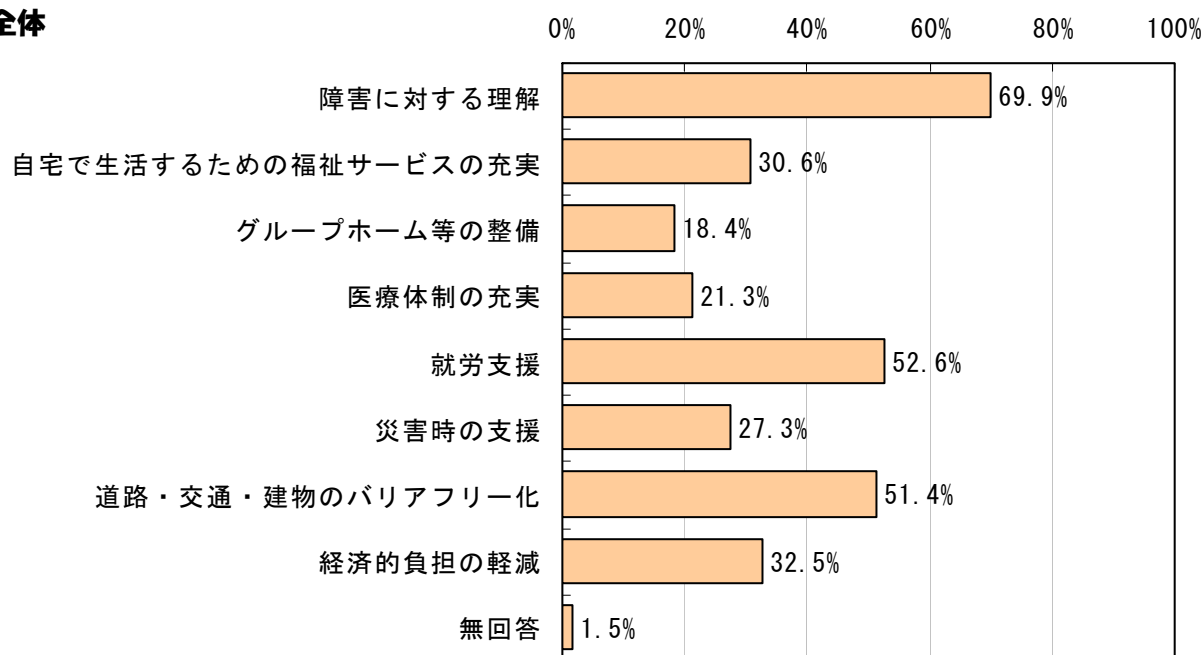
		合計	充実している	少し不足	不足	わからない	無回答
全体	人数	1,307	59	316	568	364	0
	構成比		4.5%	24.2%	43.5%	27.9%	0.0%
10歳代	人数	9	0	2	3	4	0
	構成比		0.0%	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%
20歳代	人数	54	4	18	16	16	0
	構成比		7.4%	33.3%	29.6%	29.6%	0.0%
30歳代	人数	401	14	91	170	126	0
	構成比		3.5%	22.7%	42.4%	31.4%	0.0%
40歳代	人数	360	18	78	158	106	0
	構成比		5.0%	21.7%	43.9%	29.4%	0.0%
50歳代	人数	176	5	41	87	43	0
	構成比		2.8%	23.3%	49.4%	24.4%	0.0%
60歳以上	人数	307	18	86	134	69	0
	構成比		5.9%	28.0%	43.6%	22.5%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(9) 障害のある方が地域で生活していくために必要なこと

問 9 障害のある方が地域で生活していくために、必要だと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

「障害に対する理解」が69.9%、「就労支援」が52.6%、「道路・交通・建物のバリアフリー化」が51.4%となっています。

●全体



(N=1,307)

●年齢別

		合計	障害に対する理解	自宅で生活するための福祉サービスの充実	グループホーム等の整備	医療体制の充実	就労支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	無回答
全体	人数	1,307	914	400	241	278	687	357	672	425	20
	構成比		69.9%	30.6%	18.4%	21.3%	52.6%	27.3%	51.4%	32.5%	1.5%
10歳代	人数	17	5	1	1	0	5	0	4	0	1
	構成比		29.4%	5.9%	5.9%	0.0%	29.4%	0.0%	23.5%	0.0%	5.9%
20歳代	人数	182	46	17	7	9	29	22	30	21	1
	構成比		25.3%	9.3%	3.8%	4.9%	15.9%	12.1%	16.5%	11.5%	0.5%
30歳代	人数	1,218	271	124	70	97	200	106	202	138	10
	構成比		22.2%	10.2%	5.7%	8.0%	16.4%	8.7%	16.6%	11.3%	0.8%
40歳代	人数	1,103	271	106	65	68	200	87	190	110	6
	構成比		24.6%	9.6%	5.9%	6.2%	18.1%	7.9%	17.2%	10.0%	0.5%
50歳代	人数	535	118	52	34	41	84	45	100	60	1
	構成比		22.1%	9.7%	6.4%	7.7%	15.7%	8.4%	18.7%	11.2%	0.2%
60歳以上	人数	939	203	100	64	63	169	97	146	96	1
	構成比		21.6%	10.6%	6.8%	6.7%	18.0%	10.3%	15.5%	10.2%	0.1%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(10) 障害のある方に対してできる支援

問 10 今後、障害のある方に対して、どのような支援ができると思いますか。

全体で 719 件の意見がありました。

	全体	①障害（者） に対する理 解の促進	②就労のた めの支援	③災害時の 支援	④道路・交 通・建物の バリアフリ ー化・整備	⑤経済的支 援（寄付、 商品の購入 等）
件数（件）	719	83	24	50	25	19
構成比（％）	100.0	11.5	3.3	7.0	3.5	2.6

	⑥困ってい るときに声 をかける	⑦ボランテ ィアとして 支援	⑧交流する 機会をもつ	⑨移動・外 出時の支援 （公共交通 機関での手 助け等）	⑩何をした らよいの か、難し い・わから ない	⑪その他
件数（件）	116	14	37	47	38	266
構成比（％）	16.1	1.9	5.1	6.5	5.3	37.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

① 障害（者）に対する理解の促進 （83件）

障害者や障害の内容を理解するように努めることが必要などの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
障害に対する理解があれば、その都度臨機応変の対応が出来る。人間として対等なお付き合いを心掛けたい。	60才～	男性	無職
障害の内容を理解するよう努める。	30～39 才	男性	会社員
「どのような支援ができると思いますか」の前に、何がどのように必要なのか、私たちが何ができるのかを学ぶことが必要。場合によってはありがた迷惑な支援を一所懸命やっているケースもあり得ます。	60才～	男性	無職
・車いすでも街を一人で自由に歩けるような街づくりと、自宅で安心して生活できる医療体制。難しいとは思いますが、病院内ですら、車いすでもどなたも手を貸していただけません。このような世の中では、金銭を払ってお願いするヘルパーを頼るしか期待できません。子供のころからの教育で弱者には手を貸すように、と教えずに、だれも、頼むことすらできないと思います。	50～59 才	女性	無職
きちんとした理解をいってもらえるように、学校でも講演会をしてほしい。	30～39 才	女性	主婦

ご意見	年齢	性別	職業
その手助けが必要かどうか確認してから行動すること。声がけ一つでも勇気を出して働きかけること。双方の交流の場があるとよい。私たち健常者が障害に対して正しい理解をすることが一番の支援だと思う。	50～59 才	女性	主婦
どのような障害でどのようなときに支援が必要なのか理解し、困っているときに手助けする。	30～39 才	女性	会社員
まず障害者に対する理解を深めることが必要だと思います。	10～19 才	女性	学生
学校で、福祉の教育をもっとした方がいい。障害のある方と出会った時、何をどう接してあげるのがよいのかわからない。当り障りのないことしか言えないし手伝えないと思う。	20～29 才	女性	学生

② 就労のための支援（24件）

障害者の事務所に仕事の依頼をするなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
困っているときに声をかける・災害時に避難の手助けをする・障害者の事業所に仕事を依頼する	50～59 才	男性	団体職員
採用担当に近い仕事をしているので、採用関係の方面でのお手伝い。・ありきたりになりますが、駅などで困っている人に声をかける。	40～49 才	女性	会社員
産業を活性化させ、雇いやすいように企業を支援し、効率よく経済面でも支援する。	40～49 才	男性	自営業

③ 災害時の支援（５０件）

災害時にはお手伝いに行きたいなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
どこにどのような方がいるか、地域で把握し災害時などは、お手伝いに行く。	40～49才	女性	主婦
困っている時や災害時の時に手助けをしたり、少しでも経済面の負担を軽くするために障害のある方に募金活動などする。	20～29才	女性	主婦
やはり災害時の支援をどうするかが大切だと思います。みんなで助け合える環境を平時から作るにはどうしたら良いのか考える必要があると思います。	50～59才	女性	主婦
一般的には、プライベートな事なので、相手方も遠慮されるし、難しい面もありますが、緊急時の災害等の非常時には出来る限り手助けを行いたいと思っています。	60才～	男性	自営業
巨大地震発生時等、災害時の仕組みが気になります。近所の方との関係が希薄な昨今、周りに障害者の方がいるかどうか分かりません。	30～39才	男性	会社員
どこに障害者がいるか普段から関心を示し、災害時などに助けてやりたい。	60才～	男性	無職

④ 道路・交通・建物のバリアフリー化・整備（２５件）

どの道も、車椅子で歩けるようチェックしてほしいなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
どの道も 車椅子で歩けるよう、チェックしてみたい。歩道と車道の段差や歩道に立つ電柱によって通行が阻害されている所が市内には多々ある。過去には 車イスで通れずに 車道に出た所を後ろから車に轢かれて死亡事故になった所もある。どの道も車椅子で安全に通れる幅を確保することが必要であると思う。	60才～	女性	自営業
バリアフリーはまだ一部～というイメージがある。移動時に困難ではないかと思う時がある。住みやすく、暮らしやすい環境、施設の充実が一番ではないだろうか？	30～39才	女性	会社員
駅中での、誘導をもっとスムーズに出来るようにわかりやすい看板や指示版を多く設置する。	50～59才	女性	主婦

⑤ 経済的支援（寄付、商品の購入等）（１９件）

障害者が働く施設の物品購入をすることなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
市内移動時等の手助け。授産所での製作物等物品販売物の購入。災害時の非難、誘導。	60才～	男性	無職
暮らしを支えるために医療費や経済的な負担を軽くする事。就労への支援が絶対に必要だと思います。	30～39才	女性	主婦

⑥ 困っているときに声をかける（１１８件）

困っているときに声をかける、声をかけたいがなかなか出来ないなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
困っておられるのかなと思ったときには出来る限り声をかけるように心がけてはいますが。。。災害時は避難の手助けは健常者の義務なのではと思います。昔に比べバリアフリー化盲導犬の受け入れ等進んでいると思います。	60才～	女性	無職
困っていたら声をかけるようにしていますが、声のかけ方で叱られた事があり、躊躇する気持ちもあります。また、状況により声をかけられず申し訳ないと思う事もあります。障害のある方やお年寄りにとって暮らしやすい町(街)作りをして頂きたいと思います。現状街中には危険な箇所がたくさんあります。些細な段差や見た目重視の街路など、千葉市内は福祉とは程遠いと常日頃感じています。千葉市だけではないでしょうが…。諦めるしかないと思って過ごしていますが、障害のある方はもっと大変な思いをされていると思います。できるだけ訴えていくのも一つの方法だと思いますが、如何でしょうか？また、障害のある方と交流する機会がないのが現状です。交流が多ければ差別も無くなり、相手の事を気遣う習慣もできると思います。	50～59才	女性	会社員
声かけ 道路の整備	40～49才	女性	主婦
例にあげられている『困っている時に声をかける』などは普通に小学校の道徳で習う事です。その前に公共機関の改革が必要であると考えます。たとえば、千葉市中央保健福祉センターへ車で行くと障害者の駐車スペースに健常者と思われる車が駐車しているし、駐車した後千葉市中央保健福祉センターへ行くのに10分近く歩かされる。担当された方にその旨を伝えても他人事です。	40～49才	男性	会社員
困っている時に声をかける。災害時に避難等の手助けをする。	60才～	男性	無職

ご意見	年齢	性別	職業
困っている時に声をかける。災害時に避難等の手助けをする。気持ちは有るけど偽善的で照れくさく行動に移せない	60才～	男性	無職
困っていれば声掛け、避難時の手助けも出来ます。自分の手に余る事は数人ですれば出来るかも知れません。簡単な事なら直ぐできます。お話し相手、お買い物、今、ゴミ捨て空き缶等ボランティアしています。皆が少しずつ協力するのが当たり前になれば良い。誰もが障害になるかもしれないのだから他人事と思わない。	60才～	女性	主婦
例が一番ですね、他にもありますが、ここをおろそかには、できませんから	30～39才	男性	会社員
例示同様、1、困っていると思われるときに声をかける。2、災害発生時に状況確認および避難等の手助けをする。	60才～	男性	無職
とりあえず声を掛けることは出来るかな、と思う	20～29才	女性	会社員
日常、健常者が積極的に話しかける。企業が、障害者雇用を積極的に考える。	60才～	男性	無職

⑦ ボランティアとして支援（14件）

ボランティア活動に積極的に参加するなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
ボランティア活動として障害のある人と一緒に仕事をするとともにコミュニケーションを深める。	60才～	男性	無職
ボランティア活動などに積極的に参加する。	40～49才	女性	主婦

⑧ 交流する機会をもつ（37件）

同じような症状の子どもと親との交流や、イベントでの交流を進めるなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
困っている時に声をかけたり、イベントなどで交流する	50～59才	男性	団体職員
経済的支援や、同じような症状の子どもと親の交流の場を、病院から紹介して貰えると、退院後、幼稚園に通えない状況でも、孤立せず、不安も軽減されると思います。	30～39才	女性	主婦
地域に障害のある方がいることを知る。お年寄りを含め実態がわからないと何もできないので、色々な交流を通して知り出来ることが何か考える。災害時に出来ることを手伝う。	40～49才	女性	主婦

ご意見	年齢	性別	職業
行政サービスはどんどん充実してきていると思うが、障害の度合いはそれぞれ違い、すべての人を満足させるのは難しい。小さな頃からの障害者に対する偏見を持たない教育が大切。交流イベントも、さあ障害者と交流するぞと出掛けていくのではなく、普段のイベントにいつでも健常者と共に障害者がその場において自然に交流できたら理想的だと思う。	20～29才	女性	主婦

⑨ 移動・外出時の支援（公共交通機関での手助け等）（47件）

電車やバスなどでの配慮や、外出先でのサポートなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
電車やバス等の公共の乗物では、障害者を優先的に乗り降りや通行しやすいように心掛けることがまず大切だ。	60才～	男性	会社員
・視力障害の方が道に迷っていたら、声をかけて腕をかして案内する。	40～49才	女性	主婦
ホームで落ちないように声掛け、町で信号や車をよける手助けなど、躊躇せずできるよう心掛ける。	50～59才	女性	無職
移動中のフォロー	40～49才	女性	会社員
駅のエレベーターは健常者は出来るだけ使わない。	30～39才	女性	主婦
外出先でのサポート。例えばバスや電車などで手助けなど	40～49才	女性	無職

⑩ 何をしたらよいのか、難しい・わからない（38件）

手助けを拒否したい人もいるのでなかなか難しい。手助けの仕方がよくわからないなどの意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
困っているときに声をかける。障害の有無が判断出来ない、または援助を必要としているのか分からない(拒否したい人、場合もある)のでなかなか難しいと感じます。	40～49才	女性	主婦
手助けしたいと思っていますがどこでどのような事に手を出しているのか情報がありません。お金やサービスだけでなく気楽に少しでも力になれることがあるといいと思っています。今は商品購入程度しかできていません	50～59才	女性	主婦

ご意見	年齢	性別	職業
あまり思いつかない。逆にどのような支援が欲しいのかを公表して、どこまで支援が出来るかの可能性を探る方が双方の理解が得られるのでは？	30～39才	男性	公務員(千葉市職員を除く)
その時にならないとわからない	40～49才	女性	主婦

⑪ その他（266件）

障害者が活動できるような公園の整備や、行政の体制づくり等についての意見がありました。

ご意見	年齢	性別	職業
・動ける障害者は成るべく野外で伸び伸び「散策・運動」等が出来る公園等が必要と思う。そして、イベントも行い、その担当にはボランティアが行う。障害者を日常お世話をしている担当者の「休憩・癒し」にも繋がるのでは？	60才～	男性	無職
社協のボランティア登録をしているのでご依頼があればお手伝いをさせていただきます。視覚障害の方の代筆、傾聴ボラの経験があります。障害をお持ちの方に気軽にHELPがいえるようなお役所の体制を整えてほしいです。	50～59才	女性	主婦
お正月、神社にお参りに行ったときに障害がある方たちがたくさんいたのにびっくりしました。それと同時に日ごろあまりお見かけしないのに違和感を感じました。お正月には家族の手がたくさんあって連れてこられたのだと思います。日常的に私たちと同じように町でみかけられればと思いました。特別なことをするわけではなく、ご近所さんとして、みんながほんの少しずつ手助けをするだけで、障害者の方たちも住みやすく、また健常者にとっても居心地がいい街になります。できれば、障害者の方もどんどん街に出て、助けを求めてください。そうすれば、健常者も日常的なこととして手助けしやすくなります。市としても「一声運動」などを進めていただけると嬉しいです。	50～59才	女性	主婦
健常者が生活している街の中でも、障害のある人を見かけることは少ないと感じます。デパート、図書館、書店、コンビニなどにおいても、車いすでの買い物ができないだろうと感じます。健常者にとっては普通の場合でも、障害のある人たちにとっては、不便な場所ではないでしょうか。障害のある人がくらせるまちづくりが必要だと感じます。	50～59才	女性	自営業
自治会として、「災害時要援護者支援制度」を実施している。今後は「見守り」や「ごみ出し支援」を実施していく予定です。	60才～	男性	無職

ご意見	年齢	性別	職業
就労支援があれば、経済的自立に繋がると思います。しかし、先日の女子児童誘拐をした事件などは、ニュースを見る限り、発達障害(他人と上手く話せず悩んでいる)があると思われるのに適切な指導を受けられず、親はそんな子に一人暮らしをさせ、知らん顔。思春期を過ぎれば、誰だって異性が気になると思います。そんなときに何のアドバイスもなかったら、こういう犯罪が起こりうると思います。小さい女の子がいる家庭の方は、たまったもんじゃないと思います。障害が軽度であっても、成人しても地域や親は責任を持ってサポートしてあげるべきだと思いました。発達障害のある方は、結婚するチャンスに恵まれるのか？すごく疑問に思いました。	40～49才	女性	主婦
障害のある方の仕事や生活や補助の充実を望みます。	30～39才	女性	主婦
個人としては、人間としての権利は障害があってもなくても平等だと考える。必要とされる助けを過不足なく求めに応じてする。ノーマライゼーションの思想、理念の普及、実践。小中学校高校教育は統合教育を基本に。	60才～	女性	主婦
今後は、高齢化による障害、特に、足腰の弱者、認知症者へのサポート等、誰にでも起きてくる事態にどう対応するか、社会の仕組みづくりをいまからしないと、間に合わなくなる。	60才～	男性	無職
インターネットを介しての情報提供やフォロー	40～49才	女性	会社員
ここには障害者がいますと言う知らせ。(本人または家族がいいと言う場合のみ)。実際この家にはいるとわからないこともある。知らせることで何かあれば協力しようと言うアンケートなど取る。その場合お互いの交流をとり連絡する番号なども教えあう。じゃないと協力してもいい、とアンケートだけは書く人もいると困るから。	40～49才	女性	主婦

第3章 障害者団体ヒアリング 調査の結果

1 当事者団体

◆ 千葉市視覚障害者協会

(1) 団体について

① 団体の概要、活動内容

- 団体の設立は 1941 年で、会員数は 108 人である。活動内容としては、市からの委託事業として、中途失明者の生活訓練などを行っている。現在 NPO 化に向けて手続き中である（平成 26 年 3 月中に認可予定）。
- 実施事業は、1. 自立と社会参加推進のための事業（市委託事業）、2. 教育的事業（市補助事業）、3. 啓発的事业（市補助事業）、4. 社会参加促進事業（市補助事業）、5. 誰もが暮らしやすいまちづくり推進事業（街のバリアフリー点検など）、6. 視覚障害者向け健康作りのための事業（健康体操、スイミングクラブ、スポーツ大会への選手派遣等）、7. 災害予防のための会員の安否確認と情報提供、8. その他上部団体や関係団体の主催する各種事業や研究会への参加・連携活動などである。

② 団体としての課題

- 団体として大きな課題は 4 点あり、「加入率の低迷」「会員の高齢化と後継者不足」「事務員雇用のための資金不足」「支援ボランティアの確保」である。
- 「加入率の低迷」については、市在住視覚障害者の約 5.5% となっており、障害の特徴上、市からの伝達事項は会を通して伝えられることが多いにも関わらず、少ないのが課題である。広報の仕方でも課題だと思っている。
- 「会員の高齢化と後継者不足」については、役員には 80 歳近い人が多く、若い世代は自身が働いているため、活動に参加できないのが現状である。存在意義が大きい会であるので、後継者が必要である。
- 事務員等を雇用しようとしても、収入源が厳しい状況となってきたため、雇用が困難になっている。
- 「支援ボランティアの確保」については、手話通訳者は主催者側の負担となっている場合が多いが、視覚障害者に必要な介助などについては自己調達・自己負担となっている。

③ 地域の中で果たすべき役割について

- 第一に、行政と協力して地域で安心かつ安全に生活できるよう、音響式信号機の普及を啓発したり、障害者に対し周りの人がゆとりの心で手を貸してくれるような地域づくりをめざすこと。第二に、障害ゆえに有する経験やノウハウを積極的に地域社会に提供することによって、共生社会の実現に貢献することである。
- ある調査で、障害について知らない人が多い、という結果が出ていた。小中学校で

の福祉教育など、障害者が自ら伝えていくことによって、共生できる社会づくりに貢献していきたい。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 利用することが多い相談機関は、日本盲人会連合などの上部団体のほか、視覚障害者総合支援センターちばや保健福祉センター、生活相談室、安心ケアセンターなどである。特に、視覚障害者総合支援センターちばについては、点字図書館があり、登録している人が多い。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 会員の方への連絡については、役員による電話連絡やメールで行っている。また、会報や生活相談室による情報提供を行っている。

③ 相談支援に関するご意見

- 中途視力障害者が多いが、途中で視力を失った人にとっては仲間づくりのサポートや心の問題のケアが重要である。手帳を交付する際に、ぜひ相談先や会についての情報提供をお願いしたい。
- 制度改正や変更については、事業者に対する行政説明が行われているが、サービス利用者にはなかなか情報が伝わってこないことが多く、市政だより等の広報では不十分である。実際には、サービス利用時に事業所のヘルパーから聞くことが多いが、正しい理解がされていないことがある。そのため、関係する障害者団体にはきちんと行政説明を行って欲しい。
- 障害者は 65 歳以上になると介護保険が適用されるが、介護支援専門員の中には障害の特性などを知らない人が多く、苦情につながっている。今後、障害を持った高齢者が増えていくことから、介護支援専門員の研修に障害者福祉に関する内容を盛り込んでいただきたい。
- セルフプランの積極的な導入については、自立意識の高い障害者であればセルフケアプランの作成は十分に可能である。また、セルフケアプランであれば、サービス計画作成費の支出減にもつながる。初回作成は専門職の方が望ましいと考えるが、継続計画には積極的にセルフケアプランの導入を検討されたら良いのではないか。
- 但し、セルフケアプランの採用に当たっては、障害当事者に対する研修と個別支援が不可欠と思われる。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 利用することが多いサービスは、日常生活用具・補装具の交付や、点字図書・音声図書、自立生活訓練、同行援護や自宅での家事援助などである。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 日常生活用具については、家族に晴眼者がいる場合、音声体温計や音声体重計など、支給されないものがある。
- 同行援護利用の際に、従業員の食事代や入館料等が利用者負担となっており、負担が大きい。また、従業員不足のために、利用したいときに利用できない場合がある。

③ 今後充実してほしいサービス

- 1点目としては、視覚障害者向けのグループホームを整備して欲しい。一般の方々と同じ施設だと、なかなか行き届かないことが多い。視覚障害者には高齢の単身女性が多いことから、サポートを受けながら自立生活ができる場についてニーズが高い。
- 2点目としては、視覚障害者向けの地域活動支援センターを設置して欲しい。現状では、知的障害者、精神障害者が中心であり、視覚障害者は行動に制限があるため、お客様になってしまいがちである。
- 3点目としては、家庭における代読や代筆をしてもらえるサービスを充実して欲しい。現状では移動を伴う代読や代筆は頼むことができるが、家庭内で行う場合は家事援助の一部としてお願いしなければならない。

(4) 療育・教育、就労について

- 障害者の就労の場が拡大してはいるが、多くが知的障害者や精神障害者であり、視覚障害者の就労はほとんど進んでいない。「就業・生活支援センター」においても、視覚障害者に対する就労支援の実績はほとんどなく、十分なノウハウも有していない状況である。
- 視覚障害者の主な就労としては、マッサージや整体があるが、例えば出張でマッサージを行う場合には、同行援護のサービスが利用できないなどの制約がある。
- 今後は、視覚障害者が就労可能な職種を広げるための研究をしていただくとともに、障害種別の雇用率を導入するなど、視覚障害者が働ける機会を広げるような取り組みをお願いしたい。
- また、国によっては、視覚障害者のために仕事を生み出すような取り組みをしているところもある。スペインでは視覚障害者が宝くじの販売を行うなどしている。視覚障害者でもできる市役所の雑務などを仕事として回していただくような仕組みがあれば良い。

（５）障害に対する理解や差別について

- 虐待・相談支援と権利擁護については、相談機関がバラバラであるため、総合的な窓口があると良い。障害当事者からは「自分の相談がどのように処理されるのか、また、どこから支援が受けられるのかが分かりにくい」という声が聞かれる。これについては、平成 26 年度の内閣府モデル事業において、方向性を提案していく予定である。
- 視覚障害に対する市民の認知度と理解が不可欠であるため、実際の事例を加工して学習教材を作成するなどの工夫により、一般市民への理解啓発を進めて欲しい。
- 障害者に対する優しい取組みの応援については、障害者理解に積極的に取り組んでいる個人や団体の活動を奨励することで、市民に広報することも啓発活動の一方法として期待される。

（６）バリアフリー化の取り組みについて

- トイレについては、センサー位置や水洗の仕組みなど、場所によってマチマチで困ることが多い。内部の位置関係やボタン操作などについて、音声による説明が欲しい。また、手をかざして流す仕組みのものもあるが、視覚障害者にとっては非常に難しい。
- 公立の大病院には視覚障害者向けの誘導システムを設置してほしい。現時点では設置基準や指針がない。
- 誘導ブロックに沿って歩いていても樹木の枝が顔にあたる場所がある。
- バスについては、行き先について車外放送が聞こえないと正しいバスかどうか分からず不安になるので、車外放送の徹底をお願いしたい。

（７）防災体制の整備について

- 福祉避難所には、視覚障害者支援の専門職を配置してほしい。そうした専門の方には、避難した障害者の状況を把握し、支援をサポートする側になって欲しい。
- 防災訓練は、障害者の参加が進んでいるが、炊き出しなどの参加にとどまっており、視覚障害者としては何もできないことが多い。被災者として要援護者の立場で参加することによって地域の住民の方々が支援の実務を体験することができるのに役立つのではないかな。
- 避難所に行かず自宅待機する障害者が多いと思うが、そうした障害者にも食糧や生活用品の配付がなされるようお願いしたい。
- 当会として、会員の安否・生活状況の確認方法、支援の在り方、情報提供の方法を考えたい。

（８）市の障害福祉施策について

- 事業費補助の方式では事業実施に伴い団体負担が増えたため、脆弱な団体は活動を収縮する方向になってしまう。現状では市に代わって障害当事者に情報を伝達する役割などを担っているため、そうした活動に対する助成など、運営費の増額に寄与する仕組みを検討して欲しい。
- 市が市外の事業者に委託しているものなどについては、市内の障害者団体を優先的に選定するなどして欲しい。
- 同行援護を受けるための事前判断として「身体介護のあり・なし」の区分があるが、「なし」の場合は半額となり事業者の採算が合わなくなる。一本化して欲しい。
- ケアプランの更新については、希望する人だけを対象に更新すれば十分ではないか。

（９）自由記述

- 歩道上にペイントだけで仕切られている自転車ゾーンがあるが、視覚障害者にはわからないため大変危険である。以前から指摘をしているが改善されていない。どのように対応されたのか結果を教えて欲しい。
- 誘導ブロックの不適当な敷設については記録に残し、同じ状況が繰り返されないようにして欲しい。また、民間敷設に対しては、行政から適切な指導を徹底して欲しい。

◆ 千葉市聴覚障害者協会

（１）団体の概要について

① 団体の概要

- 団体の設立は 1963 年で、会員数は 130 人であるが、年々減ってきている。活動内容としては、聴覚障害者が社会に参加しやすい環境づくりに向けた啓発活動と、情報を獲得しにくい聴覚障害者のためのコミュニケーション手段を工夫などの取り組みを行っている。特に力を入れている活動としては、手話通訳の養成があり、8 年前から養成講座を開催している。

② 団体の課題

- 課題としては主に 3 点挙げられ、「会員減少」「運営資金不足」「人材不足」がある。
- 「会員減少」については、高齢化によるところが大きい。また、若い世代は仕事がないなど、自分の生活に精一杯で行事や会の活動に参加する余裕がないのが現状である。
- 「運営資金不足」については、3 年前までは自動販売機による売り上げや、競輪場での出店などにより運営資金を賄ってきたが、それがなくなったため、現在は会費

を集めて運営している。交通費やコピー代など、役員は自己負担で行っている。

- 「人材不足」については、魅力ある事業を行えば人が集まってくるとは思うが、現状では理事になってくれる人材などが不足している。

③ 地域の中で果たす役割

- 聴覚障害者は聞こえないがために孤立することが多い。老人ホームに入所しても一人だけ聞こえない不安を抱えている者も少なくない。多くの聴覚障害者は本来おしゃべりが好きな人が多く、ひとりぼっちの聴覚障害者をなくすために、たまり場やカフェなど、交流の場を設け、親睦を深めていきたい。
- 聴覚障害者が社会参加できるよう、手話通訳ボランティアなどを増やして、利用したいときに頼めるような形にしていきたい。（今は予約が必要）

（２）相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 県で相談支援制度が発足したが、当協会ではまだ対応できていない。唯一の情報入手先が市行政だけであるため、不安を感じる。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 中央区役所にのみ、週３回相談できる時間を設けており、そこでPRしている。
- また、講演会や交流会等で質問を受けた時には、随時紹介している。

③ 相談支援に関するご意見

- 相談支援事業は行っていないが、独自に相談員を集めて懇親会を開催したいと考えている。懇親会のイメージは、たまり場や井戸端会議のような感じで、定期的に決まった時間や場所で開催し、聴覚障害者が立ち寄りやすい場としたい。
- また、現状では、中央区役所にしか相談室がないので、各区の拠点施設に相談室を設置したい。

（３）サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 利用することが多いサービスは、手話通訳（電話による通訳を含む）や講演会・イベント等への参加などである。
- 手話まつりにおいては、聴覚障害についてのPRを行っている。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 手話通訳について、趣味やビジネスについては利用できないという制限がある。制

限がある理由としては、予算の関係や人材不足があると思うが、個人で依頼するには負担が大きいため、ぜひサービスを利用できるようにして欲しい。

- 政令指定都市で、手話通訳の養成講座を実施していないのは千葉市のみだということを知ったので、ぜひボランティア養成にも力を入れて欲しい。

③ 今後充実してほしいサービス

- 聴覚障害者はコミュニケーションの必要性から会議・会合を行うことが多いため、会議用の会場を増やすとともに、施設予約方法については簡略化して欲しい。

（４）療育・教育、就労について

① 療育・教育や学校生活について、問題となっていること

- 18歳未満の会員はいないが、卒業後に当協会に入会してもらえるようパンフレットを用意し配布している。
- パンフレットは、一般の方向けの理解促進ツールにもなると考え、自己資金で作成した。現在は、18歳未満向けのパンフレットを作成している。

② 一般就労するために必要だと思うこと

- 就職できる障害者は極めて少なく、雇用率はぜひ守って欲しい。
- 特に就労できない重複障害者のために、仕事を与える機会や制度を整備して欲しい。
- 聴覚障害者は仕事をできるのに理解されていないことが多い。また、就職したとしてもコミュニケーション手段がなく、職場で一人で食事をとるなど、孤立していつか辞める人も多い。

（５）障害に対する理解や差別について

- クレジットカード申込みの際に、本人確認のための電話がかかってくるが、電話対応ができない聴覚障害者に対してはクレジットカードの使用そのものを停止している事業者もある。
- 他にも、病院での呼び出しなど、聞こえないことに対する理解やフォローが十分でないことが多く、社会の中ではコミュニケーションが本当に問題だと感じている。
- また、就労し、同じ仕事をしていても給与の差があるなどの差別がある。

（６）バリアフリー化の取り組みについて

- トイレについては特にはないが、聴覚障害者は音声に頼る事ができないため、アナウンスによる情報提供だけでは不十分である。どこに行っても、いつでも、活字で情報が見られる社会にして欲しい。
- 例えば、地震等があった場合や停電時など、電話による連絡等ができず、困ることが多い。また、電車の遅れなどについても、構内でアナウンスはされているが、聴

覚障害者には届かない。同じ量の情報が得られるような仕組みが欲しい。

(7) 防災体制の整備について

- 月1回のペースで防災委員会を実施している。また、市と話し合いながら、聴覚障害者に合った避難方法を検討・PRしていく。
- 災害時には、聴覚障害者の存在を知らせることによって、支援を受けやすくする仕組みを検討している。

(8) 市の障害福祉施策について

- 全国の20政令指定都市の中で、福祉面において、千葉市は最下位だと認識している。特に手話通訳者が不足しているため、派遣事業を再開して、聴覚障害者が安心できる社会にして欲しい。

② 今後の障害福祉施策について

- 手話通訳の養成に力を入れていただき、どこに行っても手話通訳を利用できる環境づくりと制度の充実化を進めて欲しい。
- 聴覚障害者は電話が使えないため、直接足を使って動く必要性が高い。そのため、ガソリン券やタクシー券の補助制度の充実をぜひお願いしたい。

(9) 自由記述

- 2006年、国連で手話は言語であることが制定された。これに従い、手話言語条例を議会で採決していただきたい。鳥取県をはじめ、広島市など全国約50市で条例がすでに制定されている。

◆千葉市中途失聴・難聴者協会

(1) 団体の概要について

① 団体の設立

- 団体の設立は、1993年で、会員数は49人となっている。会員数は高齢化により一時減少したが、近年やや増加傾向となっている。活動内容としては、「会員相互の親睦」「中途失聴者・難聴者の福祉」「コミュニケーション学習や生活支援訓練等」及び「要約筆記者の育成」の4つが主なものとなっている。

② 団体の課題

- 団体として大きな課題は、「中途失聴者・難聴者の掘り起こし」「人材不足」「高齢化」の3点である。

- 「中途失聴者・難聴者の掘り起こし」については、これらの方々がなかなかコミュニケーションを取ることが出来ないため、各区役所にパンフレットを置いたりしている。但し、ホームページ等での情報発信は現在のところ行っていない」
- 「人材不足」については「高齢化」と密接に関係している。それは、会員の高齢化が進んでおり、自由に活動できる人が少なくなっているためである。

③ 地域の中で果たす役割

- 本団体では、千葉市から委託を受けて要約筆記講座を年26回開催している。しかし、現在の開催方法についてはやや疑問に思っているのも、もっと市が主体的に取り組んでほしい。
- 筆談マークの普及に現在力を入れている。市としても筆談サポーターを各区に設置してほしいので、自立支援協議会に働きかけている。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 利用することが多い相談機関は、主に身体障害者福祉センター、身体障害者相談センター、療育センター、各区役所及び補聴器店などであり、会員は主にこの5カ所で相談を行っている。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 会員の方への連絡については、会報やFAXにより連絡を行っている。
- 電話は対応出来ないことが多い。補助制度が変わり、電話に対応できる方が事務所にいる時間が非常に短くなったので、聞こえる方がいない時間帯だと非常に困る。そのため、特に急ぎの用件に関する連絡はFAXかメールでいただくことをお願いしたい。

③ 相談支援に関するご意見

- ピアカウンセラーの研修をおこなう場が必要である。また、生まれつき聞こえない方たちとは背景や状況が異なるため、研修内容については、中途失聴者や難聴者に合わせた内容にしていきたい。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 利用することが多いサービスは、要約筆記者派遣や補聴器などの補装具である。会員の中には、病院等で診察を受けるときに、要約筆記者がいないと難しいのが実情である。

- 会員から補聴器に関する相談を受けることが多い。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 大きくは2点あり、1つは障害の認定基準である。現在、国の基準は70デシベルが基準であるが、欧米では40デシベルが基準となっているなど、日本の基準は非常に厳しい数値となっている。そのため、難聴でも手帳がもらえない方が多い。
- 近年は、中度・軽度の難聴者の中で、子どもに対しては補聴器の交付をしているようであるが、補聴器は大切な補装具なので、全ての中度・軽度の方にも行き渡るようにしてほしい。
- もう1つの問題として、重複障害（別の種別の手帳を持つケース）があるが、この場合、例えば68デシベル程度の方だと、補聴器の支給対象にならないといった問題がある。

③ 今後充実してほしいサービス

- 補聴器の中で、Tモード（テレコイル機能）がついているものがあり、これがある場所では、磁気誘導モードによって、より明確に音声を聞き分けることができることが利点だが、現在は自費で購入する必要がある。
- このようなタイプの補聴器がもっと普及してほしい。

（４）療育・教育、就労について

- 聴覚障害者に対して、情報の不足、意思疎通が十分でないことがあるので、情報バリアフリーの整備やコミュニケーション支援体制の充実が必要である。
- 雇用に関する法律が変わったが、情報提供をしていく人がいないのが課題である。

（５）障害に対する理解や差別について

- 実際には差別かどうかはわかりにくいのが現状である。

（６）バリアフリー化の取り組みについて

- 交通機関、公共施設、災害時の情報など、出先での情報提供が少ない。特に公共施設における文字情報について充実してほしい。リアルタイムで文字情報が出るものとかあるとなおさら良い。

（７）防災体制の整備について

- 基本、要約筆記サークルとの連携を行っている。実情として高齢化が進んだことで、メールでの情報伝達が困難である。この問題については、市との懇談会での中でも話が出ている。
- 避難するときの問題として、周りの人に面倒をみてもらう体制の構築が必要である。

（８）市の障害福祉施策について

- 政令指定都市という強みを活かして、情報提供のあり方について考慮をしていただきたい。

（９）自由記述

- 聴覚障害の認定基準とされる聴力レベル（デシベル）をもう少し下げていただきたい。また、地域のテレビ番組には、字幕をつけてほしい。

◆千葉市身体障害者福祉会

（１）団体の概要について

① 団体の概要

- 設立は 1950 年で 64 年目になる。会員は 60 代、70 代が中心であり、高齢化が進んでいる。会員数のピークは 550～560 人であったが、現在は約 470 人まで減少している。
- 主な活動内容としては、会報を奇数月に年 6 回発行するほか、家の中に閉じこもり気味の障害者を外に出すきっかけとして、体育祭や日帰り旅行、新年福祉大会などを行っている。また、千葉市身体障害者連合会や、全国組織である日本身体障害者連合会などの関連団体の行事や運営に協力している。

② 団体の課題

- 団体の課題としては、「１．財源不足」「２．会員の高齢化と新規入会者の減少」があげられる。
- １点目の「財源不足」については、３年前までは自動販売機による売り上げや、競輪場での出店などにより運営資金を賄ってきたが、それがなくなったことによる。
- 現在の補助事業制度では、１割の自己負担が発生するため、事業をやればやるだけ自己負担が増えることになり、事業の拡大ができない。
- これについて試行的に平成 25 年から行事開催にあたり参加費を徴収するようにしたが、結果的に参加者数が減少する事態となった。（【新年福祉大会】平成 23 年:149 名、平成 24 年:137 名、平成 25 年:107 名、平成 26 年:101 名）
- ２点目の「会員の高齢化と新規入会者の減少」については、何点か要因が考えられる。まず、個人情報保護の問題もあり手帳保持者を把握することができないこと、次に、医療の発達により障害者も高齢化が進んでいるとともに内部障害者が非常に増えてきていること、また、若い障害者は就労しているものの給与が少なく、自分の生活で精一杯で、こういった活動にまで参加することができない現状がある。

③ 地域の中で果たす役割

- 一つ目としては、地域社会の構成員として一般市民とのパイプ役を果たしたいと考えている。そのために、連合会から区民フェスティバルの役員に派遣を行ったり、防災訓練に障害者として参加したりしている。
- 防災訓練には、4年前あたりから視覚・聴覚・身体の障害者がそれぞれ 10 人ずつ参加しているが、例えば聴覚障害の人は炊き出しの担当をするだけなど、実際の避難などの訓練には参加できず、形だけの参加になっている。せっかく参加しているのだから、実際の避難行動において、障害者をどのように支援するか、等もふまえたより実践的な訓練にしてほしい。
- 二つ目としては、社会福祉協議会による福祉講話などへの派遣を行っている。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 障害者自立支援課・障害企画課、障害者福祉センター、療育センター、各区保健福祉センター、社会福祉協議会各区事務所、日本身体障害者連合会等が主な相談機関となっている。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 月 1 回、25 人の理事による月例会議を開催し、そこで伝達している。また、理事は担当地区の会員に周知することになっているが、会報の配付などの際には、会員宅を訪問し、できるだけ対面で伝えるようにしている。
- 一人の役員が約 30 世帯ほど受け持っているが、あくまでもボランティアなので、出来るペースで交通費などは自己負担で行っている。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- よく利用するサービスとしては、補装具の交付、タクシー利用券・給油券の交付、福祉バスたいよう号の利用、などである。
- たいよう号は他市にはない立派なもので本当に有り難い。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- タクシー利用券と給油券は自分で選択している。給油券をもらっている人が多いと思うが、ガソリン代の値上がりで給油できる量がかなり減ってしまった。
- 「たいよう号」については、車中飲食や予約期間など改善していただいているが、利用時間が 9:30~16:00 であるため、遠出ができないのでさらに改善していただければと思う。

③ 今後充実してほしいサービス

- 療育センターやハーモニープラザにおいてスポーツや文化に関するさまざまな講座を開いていただいているが、さまざまな障害者が一緒に競技できるようなスポーツ講座をぜひ実施して欲しい。
- ボッチャについては、すでに前向きに検討していただいている。

(4) 療育・教育、就労について

- 障害のことを理解している者が関わることで、障害者の就労が進むのではないか。
- 職業訓練や運転免許証の取得、パソコンの習得等については、市からのバックアップをお願いできればと思う。
- 企業側も事業所内のスロープ化などの環境を整えるだけでなく、さまざまな障害の特性を理解してもらい、同僚から日頃の心遣いをしてもらえることで、働き続けやすくなる。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 周りの人からの気遣いや心遣いというのは、子どもの頃からの環境が大きく影響すると思う。例えば、聴覚障害のための学校は県内に1校しかなく、子どもたちは寮生活を強いられている。できれば、小さい頃からさまざまな障害者に触れる機会があれば、障害者に対する理解も変わるのではないか。
- 千葉市独自の取り組みである福祉講話について、社会参加として受託している。そうした機会を通して多くの子ども達に障害のことを伝えることができ、子どもたちからもたくさんの手紙が届いている。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 多目的トイレに「誰でもトイレ」と表記されている場合があり、学生などのたまり場や着替え場所などに使われるケースがある。「誰でもトイレ」の表記は、本来の目的とは違う使われ方を招いているため、千葉市としてこの表記をやめていただきたい。「このトイレは障害者の方々が利用するものである」ことを明記して欲しい。
- 多目的トイレの設置箇所を増やしていただきたい。また、多目的トイレが設置できない場合、少なくとも一つは洋式便座を設定して欲しい。

(7) 防災体制の整備について

- 避難できないために結果的に自宅避難者となる人も多い。また、避難所に一度申し出ないと物資を配給してもらえない仕組みになっているため、動くことができず自宅避難している障害者に対しても食糧や生活用品の配付が行われるような体制をお願いしたい。

- 会としては、障害者であっても発災後 72 時間は自力で命を守る工夫をしなければならぬことを周知している。そのため、普段から隣近所との交流を積極的に行うように伝えている。
- 現時点では、一人暮らし高齢者や重度障害者については、町内会で把握しており、担当者が災害時に安否確認などを行ってくれるようになっているが、それ以外の障害者については体制がないため、対象を広げていただけるよう申し入れを行った。

(8) 市の障害福祉施策について

- 財政状況が厳しい中、よくやっていると評価している。
- 障害者団体はずっと活動が続けているが、市の障害者福祉担当の職員は、2～3年で異動するため、これまでの流れなどを随時引き継いでいただいて、円滑な対応をお願いしたい。

② 今後の障害福祉施策について

- 平成 23 年度から、行政機関への自動販売機設置について市が管理することになったため、大幅な収入減となった。現在、事業補助金はあるが、1 割負担となっているため、事業を広げれば広げるほど負担金が大きくなっている。
- 会としては、使途が自由である資金が欲しく、補助を受けなくても活動できるような団体になりたいと考えている。今後、高齢者の増加に伴い、障害者も増加することが予測され、障害者団体の存在意義もますます重要になってくる。できれば、民間に委託している事業のうち、障害者が受託できるものについては積極的に委託していただきたい。
- ホームヘルパーの質にばらつきがあるため、事業所に対し、市から指導をお願いしたい。
- 障害者手帳交付時に、該当する障害者団体の紹介をしていただければ有り難い。会としては会員を増やしていきたいが、新規の手帳保持者の情報がないため、市にもぜひ協力をお願いしたい。

(9) 自由記述

- JR の障害者割引について、片道 100km の距離制限を撤廃して欲しい。
- 障害者施策についても、地方自治体の独自性を活かせるよう、国の縛りをゆるめて欲しい。
- 個人情報保護の必要性は理解できるが、現状は行き過ぎていると感じる。目的に応じて柔軟に対応していただきたい。
- 国体と全国障害者スポーツ大会、オリンピックとパラリンピックなど、文部科学省と厚生労働省の管轄に分かれているが、一本化すべきではないか。

◆千葉市オストミー協会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 設立は 1996 年で、会員数は 97 人であるが、当初 108 名前後より微減している。毎年 20 名程度入会しており、通算で 300 人となっている。入会する会員のうち、3 分の 1 が死亡か退会により、計算上、毎年 2 人減という計算である。昨年については、8 名が入会したが、5 名死去し、さらに 10 名が退会している。患者数が増えているほか、手帳取得者も増加している。それにもかかわらず、入会者が増えないという状況である。
- オストミー協会の活動内容は、年に 3 回の講習会及び毎月のサロン開催、装具メーカー（花見川区にある国産メーカー「アルケア」等）見学の実施、オストメイトに関する手引きあるいは災害時のマニュアルの作成等であり、多岐にわたる。
- 地域のオストメイト及び家族のセルフケア及び社会復帰等による生活の質（QOL）の向上のため互いの体験を共有化し、親睦を深め、相互の協力により、人工肛門・人工膀胱に関する知識の普及及び啓発を図ることを目的として事業を実施している。

② 団体の課題

- おもに課題は 5 項目ある。第一には会員の高齢化（平均年齢 75 歳）に伴い、活動への参加者が減少傾向にある。第二には会員数の減少。毎年入会者数を上回る退会者（逝去者、施設への入居等）がある。第三には、障害者手帳発給者数に比べ会員の獲得率が低い（5.8%）こと。第四には若年層の入会者が少ない。（価値観、悩みの違い）これはニーズが異なるためと考えている。第五には、会の運営経費の捻出が苦しくなっている。自販機の販売からの寄附金収入で不足分を賄ってきた経緯もあり、3 年前から連続の赤字決算が続いている。特に自販機の寄附金収入が廃止されたことにより、会の運営経費の捻出が苦しくなっている。
- 若い人は、部会を設けて独自に活動しているという状況である。壮年と若い人では発症する病気が異なること、若い人は結婚や就職等独自の悩みを抱えていること、若い人が独自でウェブ等の情報交換を通して各地の集まりを開催していることなどの点から、若い人のオストミー協会への入会者が少なくなっている。

③ 地域の中で果たす役割

- 患者の多くは団体について知らずに自己流で病気を管理しているケースも少なくなく、この点が特に懸念される。そこで、団体として件からの委託事業で社会的貢献のための講習会を、患者本人並びに家族向けに企画することで、役に立つような情報を提供している。

（２）相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 各区の保健福祉センター、高齢障害支援課、市内拠点病院の WOC(Wound(創傷)、Ostomy(ストーマ) Continence(失禁)) の頭文字をとった用語) のストーマ外来、オストメイトサロン、ハーモニープラザの利用が多い。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 新しく入会する会員に対しては、会則、会の活動の略歴、会の活動内容案内のセット一式を渡すようにしている。

③ 相談支援に関するご意見

- ストーマ用装具蓄便袋、蓄尿袋の呼称について、女性が病院等障害者の目に触れる場所で呼ばれる際に困るなどの声が多くあるため、滋賀県に倣い、「ストーマ装具(消化器系)」、「ストーマ装具(泌尿器系)」などといった呼称に変更して欲しい。
- 各区によって保健福祉センターの対応が異なる場合がある。全体的に稲毛区、美浜区の評判が良い。若葉区については会員数が多く、作成した会報やパンフレットを置くなど、対応がよい。また、申請の際の対応も良い。
- 福祉センターにおける高齢障害支援課の窓口対応は良いと感じる。

（３）サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 日常生活用具（ストーマ用補装具）費の支給サービス、市営駐車場の利用、千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）など。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- ３年前に都道府県の蓄尿袋、蓄便袋の利用に関する調査を行った。結果的に地区によってばらつきがあることが判明した。個人差が激しい。基準月額の見直しを図ってほしい。
- 市営駐車場の利用に関して、駐車場の区画の幅が狭いため、改善して欲しい。
- 千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）の駐車場に料金が発生するため、利用しづらい。

③ 今後充実してほしいサービス

- ストーマ装具費支給者に対して配慮されたゴミ袋の配布については、会員から感謝の声が出ているが、さらに言えば、大きなサイズのゴミ袋の検討をお願いしたい。

(4) 療育・教育、就労について

- 特になし。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 介護施設でストーマ交換の経験者がいないという理由で介護施設の入居を断られる場合がある。
- 病院でも装具を知らない医師がいる。介護が必要となった場合に、病院等の施設で交換を行う際、未経験の看護師が交換を行うこともあり、危険が伴う。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 一般的に自分がオストメイトであると説明しても伝わりにくいことが多いため、内部障害を表示するバッジ（ハートプラスマーク）及び内部障害に関する説明をトイレのドアに表示するなどの配慮を行って欲しい。
- 高速道路のパーキングエリアでは女性トイレの一室に、オストメイト優先のトイレ（折りたたみの台が付いているもの）を設置しており、こういった配慮のおかげで、安心して利用できる。

(7) 防災体制の整備について

- 災害時に備えストーマ装具一式を用意はしているが、持ち出せなかった際に心配である。また、液状化等でトイレが使用できなくなった場合不安である。
- ストーマ装具を使用している場合はトイレの使用ができなくても、ある程度まではやりくりできる。ただし、避難所等において配布された装具が体に合わないことも想定されるため、避難所等に自身のストーマ装具を保管してもらうなど、検討が必要である。

(8) 市の障害福祉施策について

① これまでの市の障害福祉施策について

- 千葉市はオストメイト対応のトイレの設置数が多い。

② 今後の障害福祉施策について

- 災害時のストーマ装具の備蓄については、メーカーを決定する必要がある。
- ストーマ装具の取り替えに時間がかかるため、躊躇して避難所に行くべき人が行かない場合が多い。ストーマ装具にたまった排泄物を破棄できるような仮設トイレを設置して欲しい。

(9) 自由記述

- 費用支給に関して、全国一律の給付基準額とすべきだと考える。

◆千葉市腎臓病患者友の会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 設立は 1996 年で、会員数は 561 人である。会員数は年々減少している。定期総会は年 1 回で 40 人程度が出席している。また、定期総会の開催にあわせて勉強会を開催している。

② 団体の課題

- 団体の課題としては、「1. 会員の減少（高齢化）」「2. 会の役員のなり手がいない」「3. 会員の増員にあたり、病院の先生方の理解が得られないので、現状では病院の訪問が困難」の 3 点が大きな原因である。
- 2 番目の「役員のなる手がいない」問題については、会員でも若い方は就労しているケースが多く、会の運営に時間を割くことができないためである。逆に時間が割けるような年齢になると、今度は体が動かなくなるといった問題が出てくる。
- 病院では、なかなか人目につく場所に、会のポスターやチラシを置いてもらうことが難しくなっている。場所を指定して張らせていただければいい方で、病院から見ると、あまりかわりを持ちたくない団体のように見えるのかもしれない。

③ 地域の中で果たす役割

- 大きく 2 つの役割を考えている。1 つは、腎臓病患者は増加しているため、食事や日々の生活習慣についての知識を備えることで、透析患者を減少できればと考えていること、もう 1 つは、比較的元気な会員もいるので、出来ることはお手伝いしたい。
- 前は、ドナーのキャンペーン等を駅前で実施したりしていた。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 利用することが多い機関は、「特定非営利活動法人千葉県腎臓病協議会（NPO 千腎協）」である。本組織はこの NPO の下部組織である。
- 本組織の役員は、この NPO と兼務している方が多い。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 会員への情報提供については、本会の会報並びにNPO千腎協の会報とも、主に主要施設で掲示する形で情報提供を行っている。
- 個人個人に電話等で連絡をするのが難しい状況である。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 会員の方が利用することが多いサービスは、「1. 通院の送迎サービス・介護」及び「2. ガソリン券、タクシー券」の2つである。特に、病気の性質上、週3回通院して透析をしなくてはならないため、ガソリン券、タクシー券の需要は大きい。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 透析のための通院送迎について、送迎バスは1度の運行で10人程度の自宅を回るため、乗車時間を含めると通院が1日ばかりとなってしまう。
- 最近では、透析をする人が多くなっているためと思うが、希望する時間での透析に対応してもらえないことが多くなった。病院から空き時間を指定されて、その時間内でのみ利用可能とされている病院が増えている。

③ 今後充実してほしいサービス

- 今後利用してほしいサービスは、ガソリン券の増加である。前は、ガソリン券がリッター数での支給であったが、今は金券での支給となっており、今のように入金が高騰すると、入れることのできる量が少なくなる。
- 車を持っている人の場合、使い勝手としては、タクシー券よりガソリン券の方がありがたい。

(4) 療育・教育、就労について

- 腎臓病患者の場合には、多くの人は透析のため、時間調整に企業が理解と協力をいただければ、障害のない人と同様に就労することが出来る。
- 病院の方の受け入れ体制であるが、一般的には2クールでの運用をしているケースが多い。夕方から開始する3クール制をとっている病院は少ないのが実情である。そのため、なかなかフルタイムでの就労が難しいのが実情である。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 上記の就労に関する回答と関連するが、透析に多くの時間を要するため、就労時間等が企業と折り合わず、会社を退職する方もいる。また、腎臓病は内部障害のため、自身が障害者であることを周囲に伝えていない人が多い。そのため、外見では障害

者と判断できないことで支障がでることもある。

- モノレールは、障害者割引により半額で乗ることが出来るが、実際には大人料金の半額である子供用切符を購入することになる。有人改札であれば問題ないが、無人駅の場合には自動改札を通ることになり、自動改札に子供用切符を入れると「こども」とわかるランプが点くので、恥ずかしくて使いづらい。そのため、人の多い駅では、障害者割引を利用できないなどの問題がある。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 透析患者の中にも、ストーマを使っている人がいるが、トイレは外出先ではなるべく使わないようにしていることが多い。障害者用トイレを使用しない理由としては、外見上、障害者とわからないため、周囲から不審な目で見られることを懸念しているからである。
- 透析患者の場合、いつ車いすの利用になるかわからないのが実情である。今は歩けても、将来的なことを考えると不安である。

(7) 防災体制の整備について

- 腎臓病で透析をしているということについて、カミングアウトをしていない人が多いので、災害時に近くの自治体との連携が結構厳しいのではないかと。そのため、自分から申し出ることが必要である。
- 避難所の受付に障害者専用の窓口をつくってもらえると非常に助かる。
- 透析患者の場合、電気と新鮮な水が必要なのであるが、東日本大震災の時には、電気と水が不足したため、1回だけ透析時間を4時間から2時間に短縮したことがあった。また、病院によって十分な発電機を有していないものもあり、対応はまちまちである。

(8) 市の障害福祉施策について

① これまでの市の障害福祉施策について

- 基本、非常に充実しており、恵まれている。しかし、年収に応じて障害者福祉に違いがありすぎるのが、少々納得がいかない。特に医療費や薬代でその傾向が顕著となっている。
- 特に、腎臓病の場合には、収入の幅が非常に大きいのが実情である。幸い、市の施策はガソリン券、タクシー券とも大変充実しており、透析での利用の場合にはタクシー券が多くもらうことが出来る。

② 今後の障害福祉施策について

- タクシー券と比較すると、ガソリン券の方が使いやすいので、ガソリン券を増額していただけるとありがたい。

(9) 自由記述

- 上記「(8) 市の障害福祉施策について」と同様の内容です。

2 障害児者の親の会

◆千葉市肢体不自由児者父母の会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 団体の設立は 1958 年で、会員数は 184 人となっている。親が力を入れずに子を介護する方法や、成年後見人制度に関する相談体制についてなど、研修を開催している。また、クリスマス会の開催、広報、育成旅行の企画を通して親睦を深めたり会員数を増やしたりすることを狙う。
- 研修部が活動内容として中心的なものにあたる。上記のような研修を開催しており、毎回平均 40～50 人の参加人数となっている。
- 厚生部（もともとは「事業部」）が中心となって、クリスマス会の開催、広報、育成旅行の企画を通して親睦を深めたり会員数を増やしたりすることを狙う。
- 母親が会員の活動に参加しやすくなった。その理由として、放課後児童クラブやショートステイ受け入れ充実等により母親が出かけることができるようになったことが挙げられる。

② 団体の課題

- 近年、肢体不自由児者ともに、ウェブでのつながりにより、団体への参加が減ってきたことが考えられる。この他に、市内の障害福祉施策が充実してきている影響で組織への所属のニーズが弱まってきていることも会員数減少の原因のひとつとして考えられる
- 本来、親同士のつながりについては、父母の会で重要と見ているため、学校への案内等、積極的に普及活動を行っているが、伸び悩んでいるという実態である。
- 父母の会に関する団体の重要性を理解している人は多いが、実態として、役員数、理事について人数が減っている。
- 症状の重い障害者が多いため、グループホームのみではまかなえない部分がある。重心施設と重なる部分もあるが、いずれも不足している。グループホーム・ケアホームの人件費や維持費がかかること承知している。そこで、ディアフレンズ美浜と組んで独自のグループホームを設立しようと動いているが、ボランティアや大学生の支援が求められている。

③ 地域の中で果たす役割

- 活動を通じての啓発が必要と考えている。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 各福祉事業所、各施設の相談支援センター、（在学中の場合、）特別支援学校、教育委員会、児童相談所の利用が多い。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 年に 3 回広報誌「のびる」の発行、父母の会だより（随時発行）、理事会

③ 相談支援に関するご意見

- 福祉事務所での対応を見ると、担当の専門性が課題に感じられるときがある。
- 教育委員会は相談支援の対応ができていないといったような声がある。
- 理事が学校に情報発信する機会に関しては回数に限りがある。その上、学校行事・通学・放課後等にまつわることが近年、個人の都合に合わせる形をとるようになった影響で、親同士で関わる機会が減った。そのため、情報提供が難しくなっている。
- 相談支援事業所でたらい回しにされることがある。現在、施設で予約が取りにくくなっている。その中で、移動支援等に対応できる、専門性のある支援員が少なく、支援員の確保が課題といえる。
- 学校にも相談できる窓口があるが、相談が多くなっているため、今後は担当の支援員を増員して欲しい。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 利用することが多いサービスは、生活介護、短期入所、移動支援、居宅介護、重度訪問介護、放課後支援、日中一時支援の利用が多い。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 重度訪問介護を実施している事業所が少ないことと時間が最低 3 時間となっていること。
- 事業所の職員が少なく、移動支援・居宅介護の利用が思うように使えない。

③ 今後充実してほしいサービス

- 今後充実してほしいサービスは、放課後支援、日中一時支援、移動支援、居宅介護、短期入所となっている。

(4) 療育・教育、就労について

- 療育については、市内施設で遊び方を教えたり、親との交流が可能になったりしていることは評価できる。そのまま続けて欲しい。
- 全体的に教育において先生が重度身障への支援が手厚く行うことに対し、障害の程度が軽い子どもへの支援が疎かにされることがある。特に若い先生にありがちな優遇であるため、スキル向上に向けてベテランの先生の助言が求められる。また、重度身障に関しても、スキルだけでなく、遊ばせてあげたいなどの「思い」を醸成して欲しい。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 近年、「障害者」が地域に溶け込んでいるためか、周りの人が障害に対して無関心になっているような印象がある。障害者に関与してなにか手伝うというような光景は見られない。
- 障害のある家族の兄弟は学校で「近づくな」などといったいやがらせを受けることが未だにある。
- 外出支援に関しては、東京都からボランティアの応募があるなど、市外からの支援があるのがありがたい。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- トイレに関しては、高速道路のパーキングエリアや道の駅などで折りたたみ式シート付きのトイレがあるなどの配慮により、安心して使用できる。
- 商業施設等でストーマ付きトイレを目にすることが多くなったことは評価する。市役所等の公共施設のトイレは障害者への配慮が足りないような印象がある。

(7) 防災体制の整備について

- 災害における炊き出し訓練を行うべきである。
- 日常より近所と関わっていれば、近所で助けてくれる。
- 東日本大震災では、会員の中でも高層エレベーターが停まってしまったことにより、障害の性質上、帰宅できなくなった方がいたことから、こうした帰宅困難者に対する支援体制なども検討してほしい。
- 災害時に、障害者に対して連絡網を流すような体制を考えて欲しい。
- 団体会員には、備蓄をきちんと行うようにと伝えている。

(8) 市の障害福祉施策について

- 福祉事務所等の市職員で人事異動がある場合、きちんと引き継ぎをしてほしい。

(9) 自由記述

- 親が元気な間はグループホームに入りにくい。入所施設のほうが対応できると思われるため、入所施設を充実させたい。
- ケアホームの一号を構築したい。その上で運営状況を経過観察する予定である。
- 入所施設数を変えられない場合は増設などの策を検討して欲しい。

◆千葉市ことばを育てる会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 団体の設立は 1959 年で、会員数は 309 人となっている。会員の年齢層は 20 代～50 代である。活動内容としては、交流活動（年 1 回のバスでの親子レク（70～80 人程度の参加）等）、市後援のことばの相談会、「ことば、きこえの教室」を増やす陳情活動、「幼児のことば、きこえの教室」をつくるための陳情、ことば・きこえの教室の先生方との交流会（情報交換）がある。

② 団体の課題

- 市内には 12 校のことばの教室と 3 校の聞こえの教室があるが、子どもの通学する学校に教室がない場合は、通級という形となる。各区に 2 校となると、保護者の送迎が必要となる。家庭の事情で送迎が出来ない場合、困る。また、通級先は必ずしも公共交通で便利な場所にあるとは限らない（乗り換え等が大変）。教室への人数が増加傾向にある中で、単純に学区で振り分けることについて再検討し、適切な配置を図って欲しい。
- 子どもの通う学校での理解不足が見受けられる。きこえの教室に行く際、先生が「授業に後れをとっている」、「他の子とは違う」などといった言葉を、親に対して漏らす場合がある。きこえの教室の先生が直接通学先の先生に説明しに来ることさえある。
- 校長と担任の理解が足りない学校がある。子ども同士についても問題がないわけではないが、対応できるように親から自分の子どもに呼びかけるなど、配慮をしている。遠くの学校に通級する場合、授業を抜けることにはなるが、保護者の希望を確認した上で（通級を隠したい保護者もいるため、）先生から生徒にうまく説明をすれば、子ども同士のトラブルが解消されるはずである。
- 教室への通級に関して、親が共働きの場合、あるいは、きょうだいの関係で面倒がみられない場合等、送迎に関して限界があるため、通級を断られるケースがある。

③ 地域の中で果たす役割

- 早期発見のために幼児向けの教室開設に向けて陳情活動等をしているが、場所、担当の関係で課題が残る。
- 通級する子どもの環境整備を行っている。
- 先生の巡回訪問に向けて働きかけを行いたい。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 療育センター、児童相談所、養護教育センター。
- 就学前のことばの教室に関する場所や人員について、療育センターが多少相談に乗ってくれている。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 通学中の子ども親の会員が各教室に案内を貼ったり、会員に対して郵送で手紙を送付したりしている。情報発信のために名簿管理を行っている。
- 市報だよりに「ことばの相談会」の開催について幼稚園、保育所等で紹介を行っている。

③ 相談支援に関するご意見

- 療育センターについては、混み合っているために相談の予約がなかなかとれない。そのため、指導を開始するまでに時間がかかる。結局、小学校入学まで待つことになるケースが多い。療育センターは、ことばの問題以外の障害や病気に関する対応も行っているため、ことばの問題の場合は後回しにされているような感触がある。また、相談等で早めに切り上げられてしまうこともある。
- 小児科等では療育センターを紹介しないため、知らない人も多い。また、小児科がことばに関する適切な相談先（療育センター等）を認知していない場合もある。
- ことばのみの相談機関がないことが問題である。
- 会で企画していることばの相談会では、参加者が会員に対して専門的な相談をすることもある。会員は親なので、専門的な内容に関しては対応できない場合がある。
- ことばの教室について、発達に合わせたテストを行い、特別支援学級とことばの教室に振り分けられるが、親が子どもにことばの教室のみに通わせたいなどといった内容の相談がある。
- 子どもに関する障害の可能性等を知りたい場合、あるいは先生との意思疎通の問題が生じた場合に、会に相談されることがある。相談先を教えて欲しいなどといった相談もあるため、療育センター以外には思い当たらないという実情を伝えるほかない。また、専門的な相談内容については、あくまで親の立場でしか回答が出来ない。このような実情も、相談機関の不足を再認識させられる。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 補聴器、要約筆記

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 学校で自分の子どものために要約筆記を依頼しようとしても、教室に外部からボランティアが教室にいることへの懸念からか、学校側が要約筆記を認めない場合がある。
- 要約筆記を行うボランティアの方の人数が少ない。
- きこえ、ことばの教室に縁の薄い先生の場合は、通級に関する意思疎通がうまくいかないことから、結果的に子ども同士のトラブルが発生するケースがある（教室のプログラムに対して、通級しない子どもが誤解をする場合がある）。
- きこえ、ことばの教室における先生のレベルに関して、専門外の先生が配置されることもある。親同士の交流の折りに教室に関する様々な話を聞くと、ただでも子どものことばの問題について不安を抱える中で、自分の子どもが通い続けても効果が見られない場合、さらに不安になるという話を聞く。先生に対して研修があり、名目上は統一したプログラムを遂行しなければならないのだが、実際は各教室で差がある。

(4) 療育・教育、就労について

- ことば、きこえの教室が存在しても、学校側における説明が足りない。学校全体で認識の統一をする必要がある。保護者会等で問題が共有される場合がある。
- ことば、きこえの教室への通級のために授業を抜けると、イヤミを言われることがある。すると、子どもが教室に行くことがいやになるというケースがある。

(5) 障害に対する理解や差別について

- ・ 地域での差別については、学校と違って親が間に立つため、顕著ではない。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 特になし

(7) 防災体制の整備について

- 特になし

(8) 市の障害福祉施策について

- 現在生じている問題は、社会、行政よりも、学校に関わるものが多いため、該当無し。

(9) 自由記述

- 特になし

◆ 千葉市重症心身障害児（者）を守る会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 団体の設立は 1991 年で、会員数は 103 人となっている。会員は 60 代～70 代が多くなっている。活動としては、理事会、守る会大会に参加したり、研修会・医療的ケアができるスタッフ派遣・療育キャンプ・施設見学等の活動を実施している。
- 基本姿勢として「決して争ってはいけない、争いの中に弱いものの生きる場はない、党派を超える」などの3項目を位置づけている。

② 団体の課題

- 会の姿勢として、施設中心的な姿勢がある。入所施設利用者には比較的入会してもらえが、通所施設利用者（在宅生活者）にはなかなか入会してもらえない。通所施設利用者の保護者等に入会案内することに理解が得られないなどがあるため、活動方法（入会案内）を検討する必要がある。
- 「守る会」としては、皆に伝えたいという思いがある。施設における「守る会」への理解を深めてほしい。

③ 地域の中で果たす役割

- 障害者団体の中でも少数派であるが、医療的ケアに伴う重度の心身障害をもって生きていく子どもたちを理解すること。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 障害者団体の情報誌、守る会、親同士が主たる相談機関となっている。病気の相談に関しては主治医が対応している。また、療育指導に行く場合も多い。ただ、総じて重症児のための相談機関は少ない。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 会の理事会や重度心身協で提示されたものを、保護者同士で情報交換している。また、相談機関が少ないため、提供する内容について検討を行っている。

③ 相談支援に関するご意見

- 相談機関の少なさは、障害の特性により、専門性を伴うことに起因する。市として相談支援のための事業者リストはあるにはあるが、各施設をどの程度まで利用できるのかについて、情報提供が不十分である。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- ショートステイ、居宅介護、身体介護を伴うサービス、訪問入浴の利用が多い。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 医療的なケアに対応するショートステイには限りがある。ベッド数が絶対的に不足している。また、ショートステイに十分な装備がない上、事業者によって質的な差がある。

③ 今後充実してほしいサービス

- 今後、福祉型施設に医療的ケアの機能を、という流れを検討し始めているようだ。通い慣れた施設で宿泊できるようなことが今後可能になれば、幅が広がる上、子どもが安心して過ごすことができる。ただ、スタッフ体制等の規約の関係上、実現が難しい部分もあることを耳にするため、市で何とか調整をして欲しい。
- 上記のほかに、送迎、入浴サービス（週 1 回は少ない。通所施設の場合に利用できないという実態を改善して欲しい。）、医療的ケアを必要とする重症児者に対応できる地域活動支援センターを充実して欲しい。

(4) 療育・教育、就労について

- 教育については、先生の技量において差が大きい。若くて新人の先生かベテランの先生と、二極化が生じている。また、特別支援学校で先生の障害者の個別に応じた対応への理解度にも差がある。
- 療育については、ドクターの理解度が高い。これは、親から知識を得ている部分が大きく、ドクターが親に育てられるということによる。ただし、病院全体についても技術が高いと評価できるが、病院側の親・子への精神的ケアには課題がある。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 千葉市に転入してきた人に依拠すると、千葉市ではとりわけ二度見などがしばしば見受けられる。千葉市では偏見を強く感じる。障害者に小さい頃から接していればそのような問題も生じにくいのだが、そのためには障害のある子どもの親として、子を外に出すという負担がかかる。小学校では居住地交流を推進している地域もあるが、親の気が進まないといった声を耳にすることがある。また、支援学校が集まっている地域と、そうでない地域があり、活動に地域差がある。
- 幼稚園・小・中での交流が盛んな地域では、地域の人々が障害のある子どもの顔を覚えるようになるなど、行事を通した効果がある。その一方で、施設に招待することがあっても、一般の小学校に招待されることはない。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 大人のおむつ替えができるような大人用折りたたみシート（ベンチ）付きのトイレが普及すると助かる。

(7) 防災体制の整備について

- 重度心身障害者は避難所に行くことができない。二次避難所（高齢者施設 96 か所、障害者施設 32 か所）の設置を行っても、各施設の災害時の受け入れや支援の内容についてよく分からない。また、二次避難所にさえたどり着けない場合がある。そのため、避難所に行くための手順を周知して欲しい。移動についてとるべき行動についても案内があると良い。
- 避難所に行かずに家で待つ場合は、救援物資が届くのか分からない。
- 施設の開放については今後も推進して欲しい。
- 車の移動が多いため、給油の際に優先的に利用させて欲しい。

(8) 市の障害福祉施策について

① これまでの市の障害福祉施策について

- 市で医療的ケアに取り組んできたことを評価する。

② 今後の障害福祉施策について

- 成長・高齢化していくと共に障害が重度化・重症化していくことも多く、それに伴い二次障害が出ることで後々医療的ケアが必要になることも多いため、それについての対応策を検討して欲しい。

(9) 自由記述

- 施設入所を希望するケースが多い一方で、現在、多くは在宅で生活をしている。その場合に、在宅に対する支援が必要となる。介護保険の一人暮らしの高齢者に対して

ヘルパーの支援を受けていることと同様に、障害者にも支援が受けられるようにして欲しい。

- 重症者施設の数が少ないため、ショートステイの利用の面から考えても必要である。施設数が増えるように市で手配して欲しい。

◆ 千葉市手をつなぐ育成会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 団体の設立は 1955 年で、会員数は 670 人となっている。会員は 40 代～60 代が多くなっている。
- 会報に関しては、年 3 回作成しており、さらにはミニだよりを 8 月を除く毎月発行している。
- 親がつくる手作り品の販売、スポーツ大会（市の委託事業）、要望活動（グループホームの建築基準法・消防法、支援区分、事業者の増設、災害時の支援などに関するものへの要望）を行っている。
- 5 年前より横ばいだった会員が増加傾向に転じた。また、会員数に若い人が含まれるようになった。その決め手となった活動内容は、子ども委員会、幼児期～学齢期のそれぞれの段階で、ピアカウンセリング形式で実施している「話そう会」である。こうした活動により若いママさんが話を聞いてもらえるということで、徐々に口コミで広がっている。
- 団体で HP（ホームページ）を作成している。この HP は事業所と育成会共同で使用しており、広報を行っている。
- 特別支援学級とのつながりを通して、子ども委員会が立ち上げられた。これまで、特別支援学級は人数が少なく、親同士がつながることが難しいため、子ども委員会等の設立は重宝される。

② 団体の課題

- 障害の多様化（生活の多様化）により、発生する問題も複雑なため、活動内容は広範囲となっている。
- 団体として研修会で年齢層を踏まえるなど、常に工夫を凝らすことで策をうっている。研修会では、成年後見人制度やグループホームに関する内容を取り上げている。

③ 地域の中で果たす役割

- 保護者同士の連携や支えあいの核となることと。行政への要望が中心となる。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 通っている事業所の相談窓口、地域生活支援センター「ふらる」、かかりつけ医、学校（先生、コーディネーター）、知的障害者相談員の利用が多い。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 月 1 回の会報を作成し会員に発送及び施設に手渡しをしている。（役員会のあとに役員で封入作業を行っている）
- 社会福祉法人で事業を行っている事業所に原稿を提出し、HP（ホームページ）の更新を行ってもらっている。（団体とうまく連携をとっている）

③ 相談支援に関するご意見

- 作業所については、当事者がそこに通っているために相談の使い勝手がよいが、その反面、関係が近すぎて話しにくい内容もある。
- 作業所に通っていない人について言えば、地域生活支援センターへの相談が多い。
- 持病がある場合はかかりつけ医への相談が多くなる。
- 保健福祉センターの人事異動があると、相談支援の理解及び知識が定常でなくなる場合もある。相談側からの説明しなくてはならないという事態を避けるために、しっかりと引き継ぎを行って欲しい。
- 支援区分の聞き取り等を行う際に、後ろに「待ち」が並んでいると回答しにくい。プライバシーの配慮をして欲しい。
- 時期によって母子の手続等と重なる場合、相談に時間がかかる。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 短期入所、日中一時支援、移動支援、放課後デイサービス、生活介護、就労継続支援 B 型、施設入所支援、居宅介護などである。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- サービス事業所との新規契約が難しい（特に移動介護で同性介護が困難。）

③ 今後充実してほしいサービス

- ヘルパーで男性の場合は定年退職後の年代となってしまうため、男性職員を確保して欲しい。
- 保護者の緊急時の私用で短期入所が利用できるようにして欲しい。
- 障害が重い場合、グループホームへの入所を拒む場合があるため、多機能型小規模

入所施設を検討して欲しい。

(4) 療育・教育、就労について

① 療育・教育や学校生活について、問題となっていること

- 養護学校への入学希望者が年々増しており、まだまだ教室数が不足している。
- 小学校等におけるトイレ介助は、同性の先生に対応していただきたい。

② 一般就労するために必要

- 先生は企業のことをよく知らないため、細かい進路指導ができない。そのため、卒業後のケアをして欲しい。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 市内の学校跡地に障害者施設が建設されることについて、特別支援学級が多い地域であったにもかかわらず、公聴会で周りが心配しているという保護者の声があった。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- てんかんの発作を起こすことがあるため、男性用の個室でかつ洋式のトイレを使用したいが、公園や観光地をはじめ、すべての施設には普及していない。
- 公園については、現時点の状態だと避難場所となった場合に不安である。また、高速道路では洋式のトイレが混み、困るというケースがある。

(7) 防災体制の整備について

- 育成会の安心委員会として千葉市に協力し、避難所で使用できるよう、コミュニケーションボードを作成し、広めていきたい。
- 育成会は全国規模の組織であるため、日常から防災体制について情報共有を行っている。また、団体として、障害者が地域で関係を築くように働きかけている。
- 自宅で用意しておくものについて一覧表の作成を行った。また、遠隔地の障害者とつながっておくことで、いざというときに、てんかんなどの内服薬等を支給してもらうように呼びかけている。

(8) 市の障害福祉施策について

① これまでの市の障害福祉施策について

- 年々、障害児者が増加する中で、支援が広がっている。早期発見、早期療育も充実してきている。

② 今後の障害福祉施策について

- 相談支援専門員の養成と増員を行って欲しい。
- サービス等利用計画の早期作成を行って欲しい。
- グループホームを建設しやすくして欲しい。賃貸や空き家はスプリンクラーの設置が難しい。また、グループホーム自体の支援をしてくれるような人が必要である。

(9) 自由記述

- 手帳を持っていない人など、在宅の障害者は少なくない。在宅の人が使いやすいサービスを検討して欲しい。
- グループホームの利用意向について把握することが好ましい。そういった意味でも、サービス等利用計画に向けて、状況を早めに共有をする必要がある。
- グループホームについて不安もある。人間関係への不安、お世話人の異動等に対する不安が大きい。
- 千葉市において、ひとつでも「ほかよりも進んでいる」というものを打ち出して欲しい。

◆ 千葉市自閉症協会

(1) 団体の概要について

① 団体の概要

- 団体の設立は 1974 年で、会員は 50 代～60 代が多く、会員数は 196 人となっている。活動内容については月例会、勉強会、高機能部定例会、高機能部自由集会、青年部一泊旅行が主たるものとなっている。
- 障害の特性に幅があるため、上記のように様々な活動分野に分けて事業を進めている。

② 団体の課題

- 小さい子向けの「療育キャンプ」、「クリスマス会」、「春の遠足」等の行事を廃止してからは、福祉サービス、及び学校での預かり保育等の保育サービスなどの充実により小さい子がますます会に入会しなくなるという悪循環が生まれている。
- 理事方式をとっていないこともあり、役員は全てボランティアである。そのため、役員のなり手が少なく、一度役員になるとなかなか役員の座から降りることができないため、役員の世代交代が進まないばかりか、それが原因で入会を躊躇されることもあり、新規の入会者を増やせない一因となっている。
- 毎月第一木曜日に月例会を開催し、そこで役員の役割分担をおこなったり、各種打合せや、情報提供・情報共有などをおこなっているが、月例会への参加者の固定化・高齢化とともに参加者数も減少しており、それらの改善も課題である。

③ 地域の中で果たす役割

- 障害を告知されたばかりの子どもについて、親からの理解を得ることが難しい場合もあるため、会として親の相談に対応し、寄り添う姿勢を大事にしている。

(2) 相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 中野学園（市外）は相談支援事業所であるため、何か問題に直面した際に利用するが多い。
- 込み入った相談については、地域活動支援センター「ふらる」を利用するが多い。名称を見てすぐに施設の種類の種類が特定できないため、高機能の子どもに対して紹介しやすいという面がある。
- この他に、高機能の場合に利用しやすい機関は「養護教育センター」である。
- 市外の施設利用も比較的多い。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 会報に情報を掲載することができないため、月例会や定例会でもって情報提供を行っている。

③ 相談支援に関するご意見

- 会員が地域活動支援センター等で相談をする際に、初回で相談の内容が必ずしも適切に伝わるとは限らないため、相談の前にセンターに連絡を入れるという段取りが必要となる。今後は、可能であればもう少しスムーズにやりとりができるような仕組みを構築して欲しい。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 放課後等、短期入所、日中一次支援、移動支援の利用が多い。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- 移動支援について、新規受け入れを一時取り止めとしている。青年期は、ニーズがあるにもかかわらず、体重の関係で移動支援の依頼を断念するケースが少なくはない。また、移動支援は土日に利用希望が集中するため、いずれもヘルパーが不足するという実態がある。また、同性介護の希望があるが、実現可能性については厳しい面がある。この他に、子どもが他害行為、あるいはパニック症状を起こす場合、なおさら移動支援を依頼しにくいという側面がある。

③ 今後充実してほしいサービス

- 何かあった場合のみ対応をするような「見守り」の事業を検討して欲しい。

（４）療育・教育、就労について

① 療育・教育や学校生活について、問題となっていること

- ジョブコーチにあたり、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の取得を強要したくはないが、取得していないと費用が自己負担となること。

② 一般就労するために必要

- 一般就労にあたり「ジョブコーチ」、「職場での理解支援」、「手順書など、具体的な支援方法の広報」が必要である。
- ジョブコーチに関しては、ジョブコーチがハローワークやキャリアセンターより派遣されるパターンと、人事の中より配置されるパターンの２種が考えられる。手帳を取得していない場合でもジョブコーチが利用できるような仕組みを検討して欲しい。
- 障害者に作業の「優先順位」の明示、指示における言葉使いの配慮など、職場に適應できるような環境づくりを職員が心がけられるよう、職員への広報や啓発を行う必要がある。結果的に精神障害者保健福祉手帳も取得しないで済むことが予想されるため、こういった対策に期待できる。

（５）障害に対する理解や差別について

- 障害の重い人がとりがちな、電車の中での奇異な行動に対する周りの目や避けるような態度が気になる。団体として、「医療プロジェクト」（医師への適切なかかり方指導）、「お買い物プロジェクト」を行ってきたが、今後は「公共交通機関」との連携が急務となる。

（６）バリアフリー化の取り組みについて

- エレベーターやトイレの場所が一目で分かるようなアイコンに統一して欲しい。とりわけ、ハーモニープラザのトイレのアイコンについては、デザインよりも分かりやすさを優先して欲しい。

（７）防災体制の整備について

- 避難所で不安になることが多い。そこで、パーテーションを設けたり、静かな部屋を手配したりして、静かさの確保、順路のある空間（動きが一定の空間）への配慮を行う必要がある。避難所に入らない場合は、食事の支給もないため、避難所に入

ることがやむを得ないことも考えられる。要援護者名簿があれば避難所に入らなくても食事の支給ができるのではないかと期待している。

- 会員には災害時に備えて 1 週間分（落ち着くまでに 1 週間はかかるという判断から「1 週間」としている、とのこと）の食事を備蓄しておくように呼びかけている。
- 避難所において、障害に合わせてカード、写真、メモ帳などのコミュニケーションツールを親か本人で携帯するようにする。

（８）市の障害福祉施策について

- 現在自宅で生活している障害者は将来的にどのような住まい方をするのか、今のところ見えてこない。可能であれば、会で入所施設を建設したいが、実態として実現のめどは立っていない。そこで、グループホームの増設を検討する必要がある。まずは、グループホームを増やすにあたり、どのような条件があるのかを市民に提示して欲しい。ただし、共同生活において自閉症同士がうまくやっていくとも限らないため、その点の配慮も必要となる。
- 現在の施策では、発達障害者への施策が手厚いが、その一方で重度の自閉症が議論から抜け落ちているという印象が否めない。施策が疎かであった点、及び教育の不備により、現在、後から発症する「行動障害」というものが生まれているように思える。現時点で自閉症のある人は市外の施設に入所するケースが多い。今後、手厚い支援に期待する。

（９）自由記述

- グループホームの防火壁、スプリンクラー設置代を国に負担してもらえよう、市から働きかけて欲しい。

３ 家族会・事業者団体連絡会

◆特定非営利活動法人千家連

（１）団体の概要について

① 団体の概要

- 設立は 2003 年で会員数は 300 人である。千家連の出発点は千葉市精神障害者家族会の連合会である。「相談の拠点として一本のルートをつくって欲しい」といった趣旨での市の助言により設立した

② 団体の課題

- 団体の課題としては、「1. 団体役員の高齢化」、「2. 団体事務所の運営」、「3. 運営維持にかかわる費用」の 3 点である。
- 2 点目「団体事務所の運営」については、リサイクルバンクが千家連の運営ではな

なくなったことで運営収益がなくなり、事務所を運営できなくなってしまい、現在は加盟団体の一部で事務所を借りている。

- 3 点目「運営維持にかかわる費用」については、自動販売機の寄付金等、補助がなくなってからは、役員への交通費支払いの取り止め、あるいは無料事務所（千葉ハーモニープラザ旧食堂など）の使用等について方針を示している段階である。

③ 地域の中で果たす役割

- 精神障害者が地域で生活するにあたり、服薬（向精神薬など）していることで、地域で理解されにくい、家族に受け入れられにくい、という 2 つの難しさを抱えている。
- そこで、「精神障害者明るいくらし促進事業」という市の事業に基づき加盟団体と連携し、事業に一般市民への呼びかけも行っている。この事業を通じて、精神障害者の地域における理解の啓発を進めている。

（2）相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 利用することが多い相談機関は、「各保健福祉センター」、「健康センター」、「各障害相談支援事業所」、「各メンバーの通院先」である。その中でもとりわけ、PSW（精神保健福祉士）が配置されている「保健福祉センター」への相談を推奨している。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- 会員への情報提供については、年 1 度の定例会が各団体で計 4 件開催される。代表より会員に郵便をもっての報告、あるいは各団体への周知を行うが、総じて情報提供への予算は最小限に抑えている。

③ 相談支援に関するご意見

- 健康センターをはじめ、いずれの機関においても、24 時間の相談対応を行っていないという点が悩ましい。現在、千家連で運営している支援センターとしては、精神障害者の特質上夜間の容態の変化に対応できるような機関を強く望む。
- 相談対応時間に関連して、市の相談員制度に基づきソーシャルワーカー等が相談員となっているが、ボランティアという形をとっている。相談員について情報公開を行えば、精神障害者が必要に応じて相談を依頼することができるが、難点や限界も予想される。
- 病院等や、健康センターの閉館時間も決まっている。今後は対応できる機関、あるいは「いのちの電話」等で対応できるボランティアについて、市より情報提供を行って欲しい。

(3) サービス利用について

① 会員の方が利用することが多いサービス

- 自立に向けてスキルを習得するために調理実習・生活技能訓練を実施している。また、自立に向けたスキルを身につけた上で、就労に向けてのパソコン教育等を実施している。

② サービスを利用する上で、問題となっていること

- サービスを利用する上では、PSW(精神保健福祉士)を配置することが望ましいが、十分な報酬を与えることができないため、人員の確保が困難となっている。
- 就職に向けた技能指導員(例：革細工)についても不足している。

③ 今後充実してほしいサービス

- 経験上、労働時間や給料の調整を行うことよりも、結局のところは支援センターのPSW(精神保健福祉士)における意識の向上、熱意の向上が求められる。
- 支援センターに出かけられずに引きこもっている人に対して、団体で行うピアサポート事業を推進することが望ましい。PSW(精神保健福祉士)や職員よりも、精神障害者が訪問したほうが効果的である上、訪問した精神障害者自身のやりがい(給与もある)となる。これまで国の事業として実施してきたが、市で打ち切りとなったため、予算をつけて再開を検討して欲しい。

(4) 療育・教育、就労について

- 市として「短時間労働・午前・午後のシフト制」、「通勤時間帯の配慮」、「ジョブコーチの充実」に努めて欲しい。
- 障害者権利条約の批准に伴い、国連より、障害のある人も就労できるように政府で環境を整えることが定められている。そのため、「通勤時間帯の配慮」に関して、通勤ラッシュの後に通勤できるように環境をつくる必要がある。
- 「短時間労働」に関して、内服薬の使用という条件から、早めに帰ることに関しても認められるようにすべきである。
- 「午前・午後のシフト制」に関して、現時点では6時間という労働時間の最低基準が設けられているが、午前と午後で2人の精神障害者で作業を分担できるような体制が整えられると良い。
- 「ジョブコーチの充実」に関して、就労開始後朝起きられないなどといった独自の問題を抱える場合があるため、時折訪問して相談相手となれば、障害のある人が安心することができるのではないか。市でまかなえない場合は、予算をつけて諸団体に委託をするなどの取り組みを行って欲しい。とりわけ、訓練所の場合はジョブコーチがあることに對し、支援センターではないという差を埋める必要がある。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 精神障害者への理解が課題となっているのは、「家族」と「医師」である。今後の課題として、第一に「家族」については、民生委員に相談できるような体制が成立することが望ましい。第二に、「医師」に関しては、内科等でしばしば見られるような差別的な反応が改善されることが求められる。
- 精神障害のある人が実際には数が多いが、地域に出ることができない。ただし、健康教室等を開催すると参加者数は平均して多い。このように、会や組織にも入っていない精神障害者が多いということに対して、市で団体の周知を図って欲しい。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 特になし。

(7) 防災体制の整備について

- 「避難訓練の実施」、「非常食の備蓄」、「薬・薬手帳の携帯」についての取り組みが必要だと思われる。
- 「薬・薬手帳の携帯」については、3 日間は薬の効用が続くが、きれると、不眠となったり、場合によっては異常な行動を起こしたりする可能性が否定できない。そのため、自己責任で薬手帳があれば主治医が近くにいなくても薬局で購入できるように市に後押しをして欲しい。

(8) 市の障害福祉施策について

- グループホームの条件緩和について取り組んで欲しい。また、条件について詳細が把握できないため、市で情報提供を行って欲しい。多くの精神障害者にとって、共に生活をするという声もあるため、グループホームを推進したい。
- 障害者権利条約の批准に伴い、国内の法整備をはじめ、市単位での障害者政策への投影を行って欲しい。また、条約の運営マネジメントにつても考慮すべきである。現時点では、精神障害を表に出せない人が少なくない。そのため、例えば国の政策として学校教育で障害の種別に障害の特徴等の説明を行うなどの環境整備を通して、自分の障害に気づく機会の提供や、社会における偏見の改善を行って欲しい。
- 精神障害者に関する施策を強化するために、精神障害者保健福祉手帳の取得率を向上させる必要がある。そのためにはまず、家族や社会全体の精神障害者への理解を増やすことが急務である。取得率が向上して初めて、市に向けた改善の提案を団体で行うことができるのではないかな。また、手帳を取得することで利用できる特典（電車賃等）についても検討を行って欲しい。

（９）自由記述

- 基本、（８）と同じである。

◆千葉県精神障害者共同作業所等連絡会

（１）団体の概要について

① 団体の概要

- 普段は個人単位（作業所単位）で活動しており、団体として余り活動はしていない。千葉市内のイベント等で元会員や精神障害者と顔を合わせ、情報交換を行う年１回のイベント（家族会と共催の「スプリングフェスティバル」）に実行委員（各地区より２名程度で計１５人前後）として参加し、会長あいさつ等運営の支援を行っている。
- 精神障害者は社会的に発言権が弱いという特性から、立場を強化するために団体を結成したという成り行きがある。せめて連絡会の「形」は残しておきたいという思いがある。
- 千葉市内のイベント等で元会員や精神障害者と顔を合わせ、情報交換を行う年１回のイベント（家族会と共催の「スプリングフェスティバル」）に実行委員（各地区より２名程度で計１５人前後）として参加し、会長あいさつ等運営の支援を行っている。精神障害者の参加は１５０人程度の場合が多い。
- 普段は個人単位で職員等からの相談に応じる（会長が精神保健福祉士を所持しているため）。

② 団体の課題

- 現在は個人単位（作業所単位）のみの活動のため、共通の話題がないことが問題である。かつて経済基盤が共通であったため、運営方針や費用、補助金など経済に関わる話題を共有していたが、今や、会っても利用者に関する話題しかできないという状況である。（自立支援法に基づく団体に共通する話題が多いため、そこで情報交換が行われている場合が多い。）

③ 地域の中で果たす役割

- ②と同じ。

（２）相談支援体制について

① 利用することが多い相談機関

- 障害企画課では作業所に関する係があるため、困ったことがある場合には、障害企画課の担当者に相談することが多い。また、「精神保健福祉」の案内（冊子）を利用することも多い。
- 一般的には会員が個人的に連絡会のベテラン職員等に相談することが多い。
- 団体の会員は、相談先がなくて困るということはあまり耳にしない。

② 会員の方への相談機関に関する情報提供

- スプリングフェスティバル開催の周知を行っている。
- （自身は）精神保健福祉士をもっているのも、時折、元会員より処遇等個別の問題に関する電話相談をされることがある。

③ 相談支援に関するご意見

- 相談対応を実施している公的機関の数が少ない。また、個人的かつ具体的な相談をする先としてこちらの健康センター等の公的機関を利用することはあまりない。そのため、利用者が職場生活における処遇等、職員が抱える問題については個人に相談をすることが多い。
- 相談支援に関しては、実際には相談支援事業所が対応にあたっているはずだが、どこにあるのかが分からない。案内等で紹介があったとしても、相談支援事業所で相談をしようという気が起こるわけでもない。
- 団体活動があったときは、勉強会もあった。可能であれば、そのような活動を再開したいという思いはある。

（３）サービス利用について

① サービスを利用する上で、問題となっていること

- どこで精神障害者向けサービスを実施しているのかが分からない。
- 必要なときにすぐには利用できない。
- ニーズに見合ったサービス内容を提供していない（既に自分で実施しているものなどがサービス内容である場合が多い）。

② 今後充実してほしいサービス

- 精神障害者がかかえる問題に見合ったサービスの情報提供が足りないような印象がある。住居探し、医療機関の紹介、就労情報について、精神障害者のニーズにマッチした情報でない場合が多い。
- 福祉計画の中に「医療」の分野を取り入れて欲しい。精神障害者と関わる中で、精神障害のある知り合い等が服用する内服薬の量が自分から見ても多いような印象があ

ったとしても、医学的な専門知識を持ち合わせているわけではない。

- そのため、このような場面で対応に困る場合がある。また、精神障害はしばしば合併症となる。よって、福祉計画の中に「医療」を取り上げるほか、地域医療に関しても、「福祉」の視点で推進をして欲しい。

（４）療育・教育、就労について

- 就労が謳われている今日において、統合失調症に関する就労支援が手薄な印象がある。精神障害の中でうつ病に関しては雇用が進んでいるが、統合失調症の場合は、病名への偏見等が残っているため、就労問題として対策を打ってほしい。企業担当者が「接し方が分からない」という理解のなさについても、制度として整備してほしい。

（５）障害に対する理解や差別について

- 当事者、家族が疾病と障害に対する正しい理解と自覚が求められる。家族や支援者はしばしば当事者が持つ可能性に線を引いてしまうことがあるが、早い段階で見切りを付けない方がよい。
- 精神障害者が服用する薬の副作用で眠気が出る場合があり、その結果として無気力に見えたり、動きが鈍く見えたりするため、周りに誤解をされる場合がある。

（６）バリアフリー化の取り組みについて

- 精神障害のある人の公的機関への入所がそれほど行われていない。ひとり住まいが多い。千葉市では、企業系の不動産会社であれば、精神障害という理由で入居を断られるケースはあまり耳にしない。当事者に対して、団体構成員自身が個人的に、あるいは一部で福祉事務所において、不動産会社とのやりとりを練習している。
- 薬手帳等がシステム化されており、薬局へ行けば薬が手に入る。便利になったと思う。

（７）防災体制の整備について

- 精神障害者については、地域移行を行うケースが多くなっているが、災害時の避難のプロセスについては想定をしていないような印象がある。精神障害の特性を踏まえた災害時の対策を具体的に検討する必要がある。
- 避難所で障害者のためのパーティションを行えば、当事者同士も助け合いがしやすくなるのではないか。
- 避難所に睡眠剤や安定剤が備蓄されていると良い。

（８）市の障害福祉施策について

① これまでの市の障害福祉施策について

- 法規定、制度改正などをふまえた上で、現実に即した対応をしてくれることは評価に値する。市が要望を受け止めてくれているような印象がある。

② 今後の障害福祉施策について

- プログラム等を個人対応にしたい。そこで、市内において地域性は異なるため、法的な管轄によってではなく、より小規模な単位で施策を実施して欲しい。

（９）自由記述

- 特になし。

◆千葉市心身障がい者ワークホーム等連絡会

（１）団体の概要について

① 団体の概要

団体の設立は 1992 年で、会員数は 24 団体となっている。地域に出かけられない障害者（主に知的障害者）が小規模の集まりで親睦を深めたり、日中の活動をしたりするために始まった団体である。連絡会はワークホーム等が相互に交流し、親睦を深めることを通してワークホーム等を取り巻く問題を解決しようと活動を推進している。

② 団体の課題

- 「利用者の高齢化」が団体の課題である。運営者や利用者、及び指導員の高齢化が原因で事業継続が困難になった作業所が続出している。さらに、高齢化のために事務手続自体が難しくなっているという状況である。
- 「人件費」の問題もある。運営主体者は各ワークホームに 5 人が基準となっている。運営主体者が親であるケースが多く、親は指導員にはなれないという規定がある。かといって、給与額の点、退職金がないという点から指導員を雇用することが困難であるという現状である。人件費の確保について支援があると良い。

③ 地域の中で果たす役割

- これまで、社会から隔たれてきた施設に対して、「地域の中」でワークホームがあることにメリットと意義がある。また、小規模であるため、利用者あたりの指導員数も比較的手厚い。連絡会として、生活、集い、作業の場を家庭的な雰囲気を提供することを目指している。そのような意味で、ワークホームの制度は地域福祉の役割

を担っているのではないか。今後、市として、ワークホームの事業をアピールすることで継続を図って欲しい。

(2) 相談支援体制について

- 会員（ワークホームの運営者）が運営や各ワークホームが抱える課題について研修会を4回開催しており、情報共有を行っている。

(3) サービス利用について

- 特になし。

(4) 療育・教育、就労について

- 一般就労につまずいて引きこもりになってしまった場合に、ワークホームに入所を希望するケースが少なくはない。職場全体が障害者を理解しているわけではないため、ジョブコーチのような制度で仲介をする第三者（「相談機関」ではなく、「人」）が必要である。

(5) 障害に対する理解や差別について

- 設立当初にあたる30年前に比べ、意識は変わってきている。ワークホームは町内会に入っており、地域の行事にも参加している。そのため、地域から障害への理解を得る機会や協力の得やすさを醸成してきた。フリーマーケットや地域の祭り等呼んでももらえるようになった。ただ今後は、客としてではなく、より日常的な活動参加が課題であるが、今のところ手持ちの業務で手一杯となっている。
- ワークホームごとに特色があり、食堂、サロン、黒猫メール便等の配達など、活動が多様である。地域の人々が活動を目にして理解を深めるというケースが少なくない。また、地域の人々が地域における障害者に関わる支援の相談をすることもあり、ワークホームがいわば連絡場所的な役割を担っている部分もある。

(6) バリアフリー化の取り組みについて

- 特になし。

(7) 防災体制の整備について

- 災害が起こった直後について、作業所にいる時間帯にどのような支援体制があるかが気になる。また、作業所から徒歩で帰宅できない場合に、どのような支援を行うのか。この他に、一次避難所で生活する際に当事者とその家族に対するプライバシーの確保について懸念される。
- 震災が起こった場合に、障害者の程度と分布、各障害者へのサポートの方針につい

て、具体的に計画を立てて欲しい。「支えあいカード」等を活用し、近所の人がいざというときに障害者を含む災害時要援護者への支援を行う体制を整えるべきである。総じて、市で音頭をとり、助け合いのネットワークを構築する必要がある。

- 駅等の職員への啓発を通して、震災時に駅等で障害者が困っている場合にスムーズに所属の施設、ないし親元に戻るように対応する体制を整えて欲しい。
- 上記の内容については、個人情報の問題も踏まえた上でとりまとめを行い、さらには防災体制に関わる計画（千葉市災害時要援護者支援計画？）への記載もお願いしたい。

（８）市の障害福祉施策について

① これまでの市の障害福祉施策について

- ワークホーム制度は市の単独事業であるため、継続の是非が大きな問題である。市の対応から考えると、ワークホームを今後どのように育成するか方針が見えてこない。
- ワークホーム事業に関わる市の職員異動に伴い、スタンスの変更の可能性が懸念される。

② 今後の障害福祉施策について

- ワークホームが、地域の中にとけ込んだ活動を行ってきた点をふまえ、ワークホームを活用する方法をより積極的に提案して欲しい。在宅の障害者は実際に多いため、そのような人の受け皿としてもワークホームが有効であると考え。連絡会としてはワークホームの育成を継続的に行って欲しい。今後は、行政、ワークホーム及びワークホーム連絡会の協働により、育成の視点で有効な活用方法を検討していきたい。
- 自立支援法の総合支援法への改正に伴い、自助や共助がうたわれるようになった。また、福祉の体系として、障害者の就労の位置づけが重要となっている。現状としては推進に向けて難しい部分がある。この他に、福祉の現場を担う職員が公的機関による職員であったが、事業主体の緩和に伴い株式会社が参入するようになった。上記を受けて「収益を求める」という福祉の新たな要素が加わった。
- 本来福祉政策は、「収益」ではなく、社会的な責任を負う形をとらなくてはならない。ワークホームは後者に見合った形をとっている。その反面、ワークホームには小規模であるという脆弱性も伴う。そのため、ワークホームに市が関与して制度の継続を行って欲しい。また、行っている事業をモデルケースとして全国に紹介し、国の制度へと広げてはどうか。

資料編



〇千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（在宅の方）

ちばししょうがいしゃせいかつじつたい
千葉市 障害者生活実態・意向調査

ざいたく かな
在宅の方

～アンケートへのご協力をお願い～

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、障害者手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方の中から無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いします。

平成26年1月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

きにゅう
ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が病気や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに

平成26年1月31日（金）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

電話：043-245-5227 FAX：043-245-5630

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

1. あて名のご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆
2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 榴毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（ 1級 2級 3級 4級 5級 6級 ）
2. 療育手帳（ ① ②の1 ②の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2 ）
3. 精神障害者保健福祉手帳（ 1級 2級 3級 ）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 肢体不自由
2. 音声・言語・そしゃく機能障害
3. 視覚障害
4. 聴覚・平衡機能障害
5. 内部機能障害（免疫機能障害含む）

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。

(○は1つ)

1. 国が指定する特定疾患(下の表で該当する疾患に○をつけてください。○はいくつでも。)
2. その他の難病(病名をお書きください:)

特定疾患の一覧表

No.	病名	No.	病名
1	パーチエツト病	29	膿毒性乾癬
2	多発性硬化症	30	広範囲性管状狭窄症
3	重症筋無力症	31	原発性胆汁性肝硬変
4	全身性エリテマトーデス	32	重症急性腸炎
5	スモン	33	特発性大腿骨頭壊死症
6	再生不良性貧血	34	混合性結合組織病
7	サルコイドーシス	35	原発性免疫不全症候群
8	筋萎縮性側索硬化症	36	特発性間質性肺炎
9	強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	37	網膜色素変性症
10	特発性血小板減少性紫斑病	38	プリオン病
11	結節性動脈周囲炎	39	肺動脈性肺高血圧症
12	潰瘍性大腸炎	40	神経線維腫症(Ⅰ型/Ⅱ型)
13	大動脈炎症候群	41	亜急性硬化性全脳炎
14	ヒュルガー病	42	バッド・キアリ症候群
15	大疱瘡	43	慢性血栓性肺高血圧症
16	腎臓小脳変性症	44	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病含む)
17	クローン病	45	副腎白質ジストロフィー
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
19	悪性関節リウマチ	47	腎臓性筋萎縮症
20	パーキンソン病関連疾患	48	球腎臓性筋萎縮症
21	アミロイドーシス	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎
22	後縦靱帯骨化症	50	肥大型心筋症
23	ハンチントン病	51	拘束型心筋症
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	52	ミトコンドリア病
25	ウェグナー肉芽腫症	53	リンパ脈管筋腫症(LAM)
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54	重症多形滲出性紅斑(急性期)
27	多系統萎縮症	55	黄色靱帯骨化症
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	56	間脳下垂体機能障害

2. 医療機関への受診状況について

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(○はいくつでも)

1. 医療的ケアは受けていない
2. 吸引
3. 吸入
4. 経管栄養
5. 中心静脈栄養
6. 導尿
7. 在宅酸素
8. ネブライザー
9. 咽頭エアウェイ
10. バルスオキシメーター
11. 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
12. 人工呼吸器の管理
13. 人工肛門、人工膀胱の管理
14. アルツハイマー症等の認知症への対応
15. インシュリン注射
16. 人工透析
17. 服薬管理
18. その他()

問9 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(○は1つ)

1. 特に不安はない
2. 今は特にないが、将来に不安を感じる
3. やや不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

問10 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどの病院に通院していますか。(○はいくつでも)

1. 市内の病院(歩いていける場所)
2. 市内の病院(歩いていけない場所)
3. 県内の市町村(千葉市以外)
4. 東京都内
5. その他(具体的に: (都道府県) (市区町村))
6. 特に通院していない

問11 【問10で通院している（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満がある | 4. 不満がある |
| 5. どちらともいえない | |

問12 【問11で医療機関に不満がある（3、4番）に○をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. なかなか病院の予約が取れないから | 2. 診療や治療に満足できないから |
| 3. いつも待ち時間が長いから | 4. 通院しても、病気が良くならないから |
| 5. 医師等の説明がわかりづらいから | 6. 薬などの効き目が良くないから |
| 7. 薬の副作用がきつから | 8. 検査等に時間がかかるから |
| 9. 費用負担が大きいから | 10. 通院が大変だから |
| 11. その他（ ） | |

3. 家族や介助者について

問13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

- | | | |
|------------|------------------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. 配偶者 | 6. 子ども |
| 7. その他の親族 | 8. 施設（グループホーム等）で暮らしている | |
| 9. ひとり暮らし | | |
| 10. その他（ ） | | |

問14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. 配偶者 | 6. 子ども |
| 7. その他の親族 | 8. ホームヘルパー | 9. ボランティア |
| 10. 介助は受けていない | | |
| 11. その他（ ） | | |

問15 【問14で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の年齢をお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|--------|--------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70歳以上 | | |

問16 【問14で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上～15年未満 |
| 5. 15年以上～20年未満 | 6. 20年以上～25年未満 |
| 7. 25年以上～30年未満 | 8. 30年以上 |

問17 【問14で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 手伝ってくれる | 2. 時々手伝ってくれる |
| 3. あまり手伝ってくれない | 4. 手伝ってくれる人はいない |

問18 【問14で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 介助者自身の健康に不安がある | 2. 介助者の高齢化により不安がある |
| 3. 代わりに介助を頼める人がいない | 4. 緊急時の対応に不安がある |
| 5. 身体的な負担が大きい | 6. 精神的な負担が大きい |
| 7. 経済的な負担が大きい | 8. 仕事に出られない |
| 9. 長期の旅行や外出ができない | 10. 休養や息抜きの時間がない |
| 11. 特に困っていることはない | |
| 12. よくわからない | |
| 13. その他（ ） | |

4. 相談や情報入手について

問19 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 自分では身の回りの事が十分にできない

2. 自分や家族だけでは家事が十分にできない

3. 健康状態に不安がある

4. 介護者の負担が大きい

5. 段差や階段など、住まいに支障がある

6. 外出するのに支障がある

7. 利用したい福祉サービスを十分利用できない

8. 収入や生活費に不安を感じている

9. 緊急時に支援が得られない

10. 近所の人などとの人間関係に支障がある

11. 将来の生活に不安を感じている

12. 特に困っていることはない

13. その他（ ）

問 20 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 家族・親族

2. 友人・知人

3. 近所の人

4. ホームヘルパー

5. 施設等の職員

6. 医療関係者（医師・看護師など）

7. 障害者団体や家族の会

8. 学校の職員

9. 民生委員・児童委員

10. 身体障害者相談員・知的障害者相談員

11. 保健福祉センター（保健所・保健センター・福祉事務所）

12. 発達障害者支援センター

13. 相談支援事業所

14. こころの健康センター

15. 相談する相手はいない

16. その他（ ）

問21 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。（A～Dの制度・事業について、それぞれ1～3のどれかひとつに○をつけてください。）

制度や事業の名称	1. 知っている	2. 名前を聞いたことがある	3. 知らない
A. 地域支え合い活動	1	2	3
B. 民生委員	1	2	3
C. 障害者相談支援事業	1	2	3
D. 知的障害者生活支援事業	1	2	3

問22 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談

2. 休日や夜間など緊急時の相談

3. 専門性の高い職員による相談

4. 自分と同じ立場の人による相談

5. 定期的に訪問してくれる相談

6. プライバシーに配慮した相談

7. 特に希望はない

8. その他（ ）

問23 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（○はいくつでも）

1. ちは市政だより

2. 市のパンフレットなど

3. 障害者団体などの刊行物

4. 学校のお知らせ

5. 市のホームページ（HP）

6. 市以外のホームページ（HP）

7. 新聞・雑誌

8. テレビ・ラジオ

9. 施設や福祉サービス事業所

10. 医療機関

11. 障害者団体や家族の会

12. 民生委員・児童委員

13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員

14. 市の窓口

15. その他（ ）

5. あなたの暮らしについて

問24 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（集合住宅） |
| 3. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 4. 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| 5. 公営住宅 | 6. UR都市機構住宅（旧公団住宅） |
| 7. グループホーム・ケアホームなど | |
| 8. その他（ ） | |

問25 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 階段の昇降 | 2. 玄関・出入口などの段差 |
| 3. 風呂が使いにくい | 4. トイレが使いにくい |
| 5. 建物の老朽化 | 6. 家賃など住宅費の負担 |
| 7. 特に困っていることはない | |
| 8. その他（ ） | |

問26 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週4日以上 | 2. 週2～3日 |
| 3. 週1日くらい | 4. 月2～3日 |
| 5. 月1日くらい | 6. あまり外出しない |

問27 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリ |
| 3. 医療機関への受診 | 4. 買い物 |
| 5. 友人・知人と会う | 6. 趣味やスポーツ |
| 7. グループ活動 | 8. 散歩に行く |
| 9. あまり外出しない | |
| 10. その他（ ） | |

問28 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 鉄道 | 2. バス |
| 3. モノレール | 4. タクシー |
| 5. 自家用車 | |
| 6. その他（ ） | |

問29 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変 | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい | 4. 券売機が使いにくい |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | |
| 6. 駅員が少ない | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる | 9. 特に困っていることはない |
| 10. 鉄道は使っていない | |
| 11. その他（ ） | |

問30 あなたは、路線バスを利用する際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 乗り降りが大変 | |
| 2. バリアフリー未対応のバスがある | |
| 3. 案内がわかりにくい | |
| 4. 運賃の支払いが大変 | |
| 5. 周りの人に手助けを頼みにくい | |
| 6. 周囲の目が気になる | |
| 7. 特に困っていることはない | |
| 8. バスは使っていない | |
| 9. その他（ ） | |

問31 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変 | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい | 4. 券売機が使いにくい |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | |
| 6. 駅員が少ない | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる | |
| 9. 特に困っていることはない | |
| 10. モノレールは使っていない | |
| 11. その他（ ） | |

問32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

1. 歩道・通路の段差
2. 歩道・通路の障害物
3. バスやタクシーなどの乗降
4. 建物の階段・段差
5. エレベーターの場所がわかりにくい
6. トイレの利用
7. 周りの人に手助けを頼みにくい
8. 周囲の目が気になる
9. 特に困っていることはない
10. その他（ ）

問33 【問32で外出時にトイレ利用が困る(6番)に〇をつけた方におたずねします】外出先でのトイレ利用について、困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. トイレ(多目的トイレを含む)に、ユニバーサルシート等の自分が必要としている機能がついていない
2. 多目的トイレの場所がわからない
3. 多目的トイレの数が少ない
4. 多目的トイレがすぐに使えないことが多い
5. 電車等の交通機関のトイレが使いづらい
6. その他（ ）

問34 【すべての方におたずねします。】外出時や災害時などのトイレ利用について、困ること(困るのではないかと思うこと)を、自由にお書きください。(自由記述)

6. 災害対策について

問35 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

1. 避難できる
2. 避難できると思うが、自信がない
3. 避難できない

問36 あなたは、災害時に自分が困っていることを、周囲の人に知らせることができるといいますか。(〇は1つ)

1. できる
2. できると思うが、自信がない
3. できない

問37 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

1. 一緒に住んでいる家族
2. 近くに住んでいる家族
3. 家族以外で一緒に住んでいる人
4. 近所の人
5. 知人・友人
6. いない
7. その他（ ）

問38 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(〇は1つ)

1. 必要である
2. 時間帯によっては必要である
3. 必要ではない

問39 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(〇はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 災害に関する情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他（ ）

問40 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資(薬や装具等)を、備蓄していますか。(〇は1つ)

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問41 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。(①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかに○)

福祉避難所の種類	福祉避難所の説明	知っている	知らない
①福祉避難室	専門性の高いサービスは必要としないが、指定避難所(※)での避難生活に困難が生じる方に対して特別の配慮をした避難所	1	2
②拠点的福祉避難所	緊急の入院加療等を必要としないものの、より専門性の高いサービスを必要とする方を収容するために、予め指定された高齢者施設・障害者施設などの施設	1	2

(※)指定避難所とは、災害時などに一時的な生活の本拠地として宿泊滞在するための施設として事前に指定された小中学校や公民館などをいいます。

注意！：福祉避難所は、指定避難所からの移送による二次避難所であり、直接避難することはできません。

7. 日中活動・就労について

問42 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

- 正職員として働いている
- パート・アルバイトなどで働いている
- 福祉的就労をしている(作業所など)
- 自宅で就労している(収入のある仕事)
- 福祉的就労以外の通所施設に通っている
- 自宅で家事や手伝いをしている
- 特に何もしていない
- 学校などに通っている
- 職業訓練中
- 就職活動中
- その他()

問43 【問42で働いている(1～4番)に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはありますか。(○は3つまで)

- 身体的な負担が大きい
- 精神的な負担が大きい
- 通勤が大変
- 職場の施設が障害に対応していない
- 障害に対する職場の理解不足
- 職場の人間関係
- 仕事の相談をする相手がいない
- 仕事が目分には合わない
- 給与・工賃などの収入が少ない
- 仕事が難しくて見えない
- 特に困っていることはない
- その他()

問44 【問42で働いていない(5～7番)に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。(○は3つまで)

- 障害や病気が重いから
- 高齢だから
- 自分に合った仕事が見つからないから
- 希望に合った求人が見つからないから
- 働く自信がないから
- 通勤が困難だから
- 障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから
- 人間関係がうまくいか不安があるから
- 趣味の活動など仕事以外のことをしたいから
- その他()

問45 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
- 職場を理解するための就労体験
- 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
- 障害者向けの求人情報の提供
- 障害理解を促進するための職場への働きかけ
- 職場施設のバリアフリー化
- 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態
- ジョブコーチなど職場に定着するための支援
- 特に必要なことはない
- わからない
- その他()

問46 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、
今後も取り組みたいかどうかをお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 趣味・教養に関する活動 | 2. 学習活動 |
| 3. スポーツ活動 | 4. ボランティア活動 |
| 5. 障害者団体の活動 | 6. 町内会・自治会など地域の活動 |
| 7. 特にない | |
| 8. その他（ ） | |

8. 将来について

問47 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。（〇は1つ）

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい（特別養護老人ホームなど）
6. わからない
7. その他（ ）

問48 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解 | 2. 地域生活に関する相談支援 |
| 3. 訪問系サービスの充実 | 4. 日中活動系サービスの充実 |
| 5. 自立生活のための訓練・体験 | 6. グループホームなどの拡充 |
| 7. 障害者のための住宅の確保 | 8. 医療体制の充実 |
| 9. 就労のための支援 | 10. 災害時の支援 |
| 11. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 12. 経済的負担の軽減 |
| 13. 特に必要なことはない | |
| 14. わからない | |
| 15. その他（ ） | |

9. 障害のある人に対する理解度

問49 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 頻繁に感じる | 2. 時々感じる |
| 3. あまり感じない | 4. ほとんど感じない |
| 5. わからない | |

問50 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。（自由記述）

問51 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。（〇は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. よく理解されている | 2. おおむね理解されている |
| 3. あまり理解されていない | 4. まったく理解されていない |
| 5. わからない | |

問52 あなたは、選挙の投票に行っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 毎回行っている | 2. ときどき行っている |
| 3. あまり行っていない | 4. 全く行っていない |
| 5. 20歳未満のため行っていない | |

問53 【問52で投票に行っていない（4、5番）に〇をつけた方におたずねします。】。あまりあるいは全く行っていない理由は何ですか。（〇を2つまで）

1. 選挙に興味がない
2. 投票所がバリアフリーではない
3. 投票所に行くための移動が困難
4. 選挙や候補者に関する情報が得られない
5. 投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難
6. その他（ ）

10. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問54 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(①～⑤のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や 家事援助などの支援を行 います。	1	2	ア	イ
② 重度訪問介 護	重度の肢体不自由者に、 入浴、排せつ、食事などの 介護を総合的に行います。 (平成26年度からは、 重度の知的障害者・ 精神障害者も対象となりま す。)	1	2	ア	イ
③行動援護	行動障害のある 知的障害者・精神障害者 に、移動介護や危険回避等 の援護を行います。	1	2	ア	イ
④重度障害 者等包括支 援	常に介護を必要とする 障害者に、居宅介護などの サービスを包括的に提供し ます。	1	2	ア	イ
⑤同行援護	移動に著しい困難を有す る視覚障害者に、移動時及び 外出先で、情報支援や移動 援護などを行います。	1	2	ア	イ

問55 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつで
も)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ()

(2) 日中活動サービス

問56 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと
思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・
イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①生活介護	常に介護を必要とする 障害者に、施設などで介護 や創作的活動などの機会を 提供します。	1	2	ア	イ
②自立訓練 (機能訓 練・生活訓 練)	自立した日常生活や 社会生活を営むことができ るように、必要な訓練を行 います。	1	2	ア	イ
③就労移行 支援	一般就労を希望する障害者 に、就労に必要な知識・ 能力向上のための訓練を行 います。	1	2	ア	イ
④就労継続 支援 (A 型・B型)	一般就労が難しい障害者 に、生産活動などの訓練を 行います。	1	2	ア	イ
⑤療養介護	医療を要する障害者に、 病院などで機能訓練や 看護、介護などを行います。	1	2	ア	イ

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
⑥短期入所 (ショート ステイ)	介護者が病気等のときに、 短期間、施設で必要な介護等 の支援を行います。	1	2	ア	イ
⑦その他の 通所施設	(具体的なサービス名をお書 きください：)	1	2	ア	イ

問57 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
4. サービス利用の手続きが大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
8. 他の利用者との関係について困っている
9. 施設への通所が大変
10. 利用者負担について困っている
11. 特に困っていることはない
12. その他 ()
3. 利用したいサービスが利用できない
5. 事業者との日時などの調整が大変
7. サービスの質について困っている

(3) 居住系サービス

問58 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
① 共同生活援助 (グループ ホーム)	地域での生活に支障がない 障害者に対し、共同生活を 営む住居で、日常生活の 援助を行います。	1	2	ア	イ
② 共同生活介護 (ケアホー ム)	介護を必要とする障害者に 対して、共同生活を営む 住居で、入浴、排せつ、食事 等の介護を行います。	1	2	ア	イ
③ 施設入所支援	障害者支援施設に入所する 障害者に対し、主に夜間に 入浴、排せつ・食事等の 介護を行います。	1	2	ア	イ

問59 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 希望しているが入居・入所できない
4. 将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安
5. 生活上の支援が不十分
6. プライバシーを十分守れない
7. 他の入居者との関係について困っている
8. 入居のための費用について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ()

(4) 地域生活支援事業

問60 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。
すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑪のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 している	利用して いない
① 相談支援事業	障害者等からの相談に 応じ、必要な情報提供や 権利擁護のための援助を行 います。	1	2	ア	イ
②コミュニ ケー ション 支援事業	意思疎通を図ることに支障 のある方に、手話通訳者を 派遣したり、支援者の育成 を図ります。	1	2	ア	イ
③ 日常生活用具 給付等事業	重度障害者に対して、 自立生活支援用具等の 給付・貸与を行います。	1	2	ア	イ
④ 移動支援事業	屋外での移動が困難な 障害者に対して、外出のた めの援助を行います。	1	2	ア	イ
⑤ 地域活動支援 センター	障害者に、創作的活動や 生産活動の機会を提供した り、社会との交流を促進し ます。	1	2	ア	イ
⑥訪問入浴 サービス 事業	自宅に訪問入浴車を派遣し て、入浴の機会を提供し ます。	1	2	ア	イ
⑦ 更生訓練費 支給事業	就労移行支援事業又は 自立訓練事業の利用者を 対象に、更生訓練費を支給 します。	1	2	ア	イ
⑧知的障害 者職親 委託事業	知的障害者が、 民間事業者等のもとで、 生活指導や技能習得訓練な どを受けます。	1	2	ア	イ

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 している	利用して いない
⑨ 生活支援事業	知的障害者に対して、 日常生活に必要な訓練、 指導、本人活動の支援等を行 います。	1	2	ア	イ
⑩ 日中一時支援 事業	障害者に日中生活の場を 提供し、家族の就労や 休養のための支援を行 います。	1	2	ア	イ
⑪生活サポ ート 事業	日常生活に支援が必要な 人に、掃除、洗濯、調理等の 家事援助や生活相談を行 います。	1	2	ア	イ

(5) 成年後見制度について

問61 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(○は1つ)

※成年後見制度とは、判断能力が不十分な成人の財産管理や契約などについて、選任され
た成年後見人が代理して行 う制度です。

1. 現在利用しており、今後も利用を続けたい
2. 現在利用しているが、利用をやめたい(理由:)
3. 現在は利用していないが、今後利用したい
4. 現在は利用しておらず、今後も利用したくない(理由:)
5. わからない

11. 収入や利用者負担について

- 問62 あなたご本人の主な収入源をお答えください。（最も金額の多い収入源にひとつだけ○）
1. 一般就労による収入（給与・報酬など）
 2. 福祉的就労による収入（工賃など）
 3. 事業収入（自営業など）
 4. 財産収入（家賃収入など）
 5. 年金・手当
 6. 生活保護費
 7. 家族などからの仕送り
 8. 収入はない
 9. その他（ ）

- 問63 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）
1. 非常に負担に感じる
 2. やや負担に感じる
 3. あまり負担に感じない
 4. 障害福祉サービスを利用していない
 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担を支払っていない

12. 市の障害者施策について

- 問64 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）
- | | |
|--------------|----------|
| 1. 非常に満足 | 2. やや満足 |
| 3. やや不満 | 4. 非常に不満 |
| 5. どちらとも言えない | |

13. 自由意見

- 問65 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、
平成26年1月31日（金）までに ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

千葉市 障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願いします～

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、本市から支給決定を受けて施設入所支援サービスを利用されている方全員に対して、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で利用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いします。

平成26年1月
千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が病気や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに
平成26年1月31日（金）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ
千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課
電話：043-245-5227 FAX：043-245-5630

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

- 1. あて名のご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆
- 2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
- 3. 施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
- 4. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。

- 1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
- 2. 療育手帳（㊤ ㊤の1 ㊤の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2）
- 3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
- 4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している
- 5. 手帳も持っていないし、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

問4 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1. 肢体不自由
- 2. 音声・言語・そしゃく機能障害
- 3. 視覚障害
- 4. 聴覚・平衡機能障害
- 5. 内部機能障害（免疫機能障害含む）

問5 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。

(○は1つ)

1. 国が指定する特定疾患(下の表で該当する疾患に○をつけてください。○はいくつでも。)
2. その他の難病(病名をお書きください:)

特定疾患の一覧表

No.	病名	No.	病名
1	パーチェット病	29	臍毒性乾癆
2	多発性硬化症	30	広範脊髄管狭窄症
3	重症筋無力症	31	原発性胆汁性肝硬変
4	全身性エリテマトーデス	32	重症急性肝炎
5	スモン	33	特発性大腿骨頭壊死症
6	再生不良性貧血	34	混合性結合組織病
7	サルコイドーシス	35	原発性免疫不全症候群
8	筋萎縮性側索硬化症	36	特発性間質性肺炎
9	強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	37	網膜色素変性症
10	特発性血小板減少性紫斑病	38	プリオン病
11	結節性動脈周囲炎	39	肺動脈性肺高血圧症
12	潰瘍性大腸炎	40	神経線維腫症(I型/II型)
13	大動脈炎症候群	41	亜急性硬化性全脳炎
14	ビュルガー病	42	バッド・キアリ症候群
15	太極癰	43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
16	腎臓小脳萎縮症	44	ライソゾーム病(ファブリー病[Fabry]病含む)
17	クローン病	45	副腎白質ジストロフィー
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
19	悪性関節リウマチ	47	脊髄性筋萎縮症
20	パーキンソン病関連疾患	48	球脊髄性筋萎縮症
21	アミロイドーシス	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎
22	後縦靱帯骨化症	50	肥大型心筋症
23	ハンチントン病	51	拘束型心筋症
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	52	ミトコンドリア病
25	ウェグナー肉芽腫症	53	リンパ脈管筋腫症(LAM)
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54	重症多形滲出性紅斑(急性期)
27	多系統萎縮症	55	黄色靱帯骨化症
28	表皮水疱症(接合部型及び米蕈障害型)	56	間脳下垂体機能障害

2. 医療機関への受診状況について

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問7 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(○はいくつでも)

1. 医療的ケアは受けていない
2. 吸引
3. 吸入
4. 経管栄養
5. 中心静脈栄養
6. 導尿
7. 在宅酸素
8. ネブライザー
9. 咽頭エアウェイ
10. パルスオキシメーター
11. 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
12. 人工呼吸器の管理
13. 人工肛門、人工膀胱の管理
14. アルツハイマー症等の認知症への対応
15. インシュリン注射
16. 人工透析
17. 服薬管理
18. その他()

問8 あなたは「医療費」について不安がありますか。(○は1つ)

1. 特に不安はない
2. 今は特にないが、将来に不安を感じる
3. やや不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

3. 施設への入所について

問9 あなたが入所している施設の種類をお聞きます。(○は1つ)

1. 主に身体障害を対象とした施設
2. 主に知的障害を対象とした施設
3. 主に精神障害を対象とした施設
4. 主に重度心身障害者を対象とした施設
5. その他の施設()

問10 あなたが入所している施設がある地域をお聞きます。（〇は1つ）

- 1. 千葉市内
- 2. 千葉県内（千葉市以外）
- 3. 関東（千葉県以外）
- 4. その他の地域（ ）

問11 あなたが現在の施設に入所してからの期間をお聞きます。（〇は1つ）

- 1. 5年未満
- 2. 5～10年未満
- 3. 10～15年未満
- 4. 15～20年未満
- 5. 20年以上

問12 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1. 常時介助が必要なため
- 2. 医療的なケアが必要なため
- 3. 家族による介助が難しくなったため
- 4. 在宅サービスが不十分だったため
- 5. 住まいが障害に对应していなかったため
- 6. リハビリや訓練を受けるため
- 7. 将来地域で自立生活をするため
- 8. 家族に勧められたため
- 9. 施設のほうが安心して暮らせるため
- 10. 特に理由はない
- 11. その他（ ）

4. 相談や情報入手について

問13 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

- 1. 自分では身の回りの事が十分にできない
- 2. 健康状態に不安がある
- 3. 施設での生活内容に不満がある
- 4. 施設での作業や訓練に不満がある
- 5. プライバシーが十分に保てない
- 6. 外出の機会が少ない
- 7. 施設職員や入所者との関係がうまくいかない
- 8. 家族とあまり会えない
- 9. 将来の生活に不安を感じている
- 10. 特に困っていることはない
- 11. その他（ ）

問 14 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

- 1. 家族・親族
- 2. 施設の職員
- 3. ボランティア
- 4. 同じ施設の入所者
- 5. 入所者以外の友人・知人
- 6. 医療関係者（医師・看護師など）
- 7. 第三者委員（苦情の受付窓口）
- 8. 市の窓口
- 9. 障害者団体や家族の会
- 10. 相談する相手はいない
- 11. その他（ ）

問 15 あなたは、次のようなあなたを助けてくれる人がいる制度を知っていますか。（A～Dの制度・事業について、それぞれ1～3のどれかにひとつずつ〇をつけてください。）

制度や事業の名称	1. 知っている	2. 名前を聞いたことがある	3. 知らない
A. 地域支え合い活動	1	2	3
B. 民生委員	1	2	3
C. 障害者相談支援事業	1	2	3
D. 知的障害者生活支援事業	1	2	3

5. 日常生活（施設での生活）について

問16 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまる番号ひとつに〇）

- 1. 入所している施設で看護や介護を受けて生活している
- 2. 入所している施設で作業や訓練をしている
- 3. 他の施設に通って看護や介護を受けて生活している
- 4. 他の施設に通って作業や訓練をしている
- 5. 一般の企業等で正職員として働いている
- 6. 一般の企業等でパート・アルバイトとして働いている
- 7. その他（ ）

問17 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満がある | 4. 不満がある |
| 5. どちらとも言えない | |

問18 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 看護や介護の質の向上 | 2. 職員の対応の仕方の改善 |
| 3. 居室などの生活空間の改善 | 4. プライバシーへの配慮 |
| 5. 日中活動の充実 | 6. 余暇活動の充実 |
| 7. 外出機会の増加 | 8. 人との交流機会の増加 |
| 9. 相談体制の充実 | 10. 地域生活に向けた自立訓練 |
| 11. 特に要望はない | |
| 12. その他 () | |

問19 あなたは、最近1年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 10回以上 | 2. 6～9回 |
| 3. 3～5回 | 4. 1～2回 |
| 5. この1年間は帰っていない | |
| 6. 帰る自宅はない | |

問20 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 週2日以上 | 2. 週1日くらい |
| 3. 月2～3日くらい | 4. 月1日くらい |
| 5. 2～3ヶ月に1日くらい | 6. あまり外出しない |

問21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 訓練やリハビリ |
| 3. 医療機関への受診 | 4. 買い物 |
| 5. 友人・知人と会う | 6. 趣味やスポーツ |
| 7. グループ活動 | 8. 散歩に行く |
| 9. あまり外出しない | |
| 10. その他 () | |

問22 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 鉄道 | 2. バス |
| 3. モノレール | 4. タクシー |
| 5. 自家用車 | |
| 6. その他 () | |

問23 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変 | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい | 4. 券売機が使いにくい |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | |
| 6. 駅員が少ない | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる | |
| 9. 特に困っていることはない | |
| 10. 鉄道は使っていない | |
| 11. その他 () | |

問24 あなたは、路線バスを利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------|
| 1. 乗り降りが大変 |
| 2. バリアフリー未対応のバスがある |
| 3. 案内がわかりにくい |
| 4. 運賃の支払いが大変 |
| 5. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 6. 周囲の目が気になる |
| 7. 特に困っていることはない |
| 8. バスは使っていない |
| 9. その他 () |

問25 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変 | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい | 4. 券売機が使いにくい |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | |
| 6. 駅員が少ない | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる | |
| 9. 特に困っていることはない | |
| 10. モノレールは使っていない | |
| 11. その他 () | |

問26 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1. 歩道・通路の段差
- 2. 歩道・通路の障害物
- 3. バスやタクシーなどの乗降
- 4. 建物の階段・段差
- 5. エレベーターの場所がわかりにくい
- 6. トイレの利用
- 7. 周りの人に手助けを頼みにくい
- 8. 周囲の自が気になる
- 9. 特に困っていることはない
- 10. その他（ ）

問27 【問26で外出時のトイレ利用が困る(6番)に〇をつけた方におたずねします。】外出先でのトイレ利用について、困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. トイレ(多目的トイレを含む)に、ユニバーサルシート等の自分が必要としている機能が
ついていない
- 2. 多目的トイレの場所がわからない
- 3. 多目的トイレの数が少ない
- 4. 多目的トイレがすぐに使えないことが多い
- 5. 電車等の交通機関のトイレが使づらい
- 6. その他（ ）

問28 【すべての方におたずねします。】外出時や災害時などのトイレ利用について、困ること(困るのではないかと思うこと)を、自由にお書きください。(自由記述)

6. 災害対策について

問29 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

- 1. 避難できる
- 2. 避難できると思うが、自信がない
- 3. 避難できない

問30 あなたは、災害時に自分が困っていることを周囲の人に知らせることができるとおもいますか。(〇は1つ)

- 1. できる
- 2. できると思うが、自信がない
- 3. できない

問31 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

- 1. 一緒に住んでいる家族
- 2. 近くに住んでいる家族
- 3. 家族以外で一緒に住んでいる人
- 4. 近所の人
- 5. 知人・友人
- 6. 施設の職員
- 7. いない
- 8. その他（ ）

問32 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(〇は1つ)

- 1. 必要である
- 2. 時間帯によっては必要である
- 3. 必要ではない

問33 あなた(やご家族の方)は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(〇はいくつでも)

- 1. 自分や家族だけでは避難できない
- 2. 自分では助けを呼ぶことができない
- 3. 災害に関する情報を得るのが難しい
- 4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
- 6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
- 7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
- 8. 特に不安に思うことはない
- 9. その他（ ）

問34 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

- 1. 1週間分以上の備蓄がある
- 2. 4～6日分くらいの備蓄がある
- 3. 1～3日分くらいの備蓄がある
- 4. 備蓄していない

問35 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。（①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかに○）

福祉避難所の種類	福祉避難所の説明	知っている	知らない
①福祉避難室	専門性の高いサービスは必要としないが、指定避難所（※）での避難生活に困難が生じる方に対して特別の配慮をした避難所	1	2
②拠点的福祉避難所	緊急の入院加療等を必要としないものの、より専門性の高いサービスが必要とする方を収容するために、予め指定された高齢者施設・障害者施設などの施設	1	2

（※）指定避難所とは、災害時などに一時的な生活の本拠地として宿泊滞在するための施設として事前に指定された小中学校や公民館などをいいます。

注意！：福祉避難所は、指定避難所からの移送による二次避難所であり、直接避難することはできません。

7. 将来について

問36 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。（○は1つ）

- 1. 施設を退所して家族と暮らしたい
- 2. 施設を退所してひとり暮らしをしたい
- 3. 施設を退所してグループホームなどで生活したい
- 4. 現在入所している施設で生活したい
- 5. 高齢者の入所施設で生活したい（特別養護老人ホームなど）
- 6. わからない
- 7. その他（ ）

問37 【問36で将来施設を退所したい（1～3番）に○をつけた方におたずねします。】施設を退所したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 家族のそばにいたいから
- 2. ひとり暮らしをしてみたいから
- 3. 自由な生活がしたいから
- 4. 社会的に自立したいから
- 5. 施設を出てやりたいことがあるから
- 6. 一般就労をしてみたいから
- 7. 作業所等で働いてみたいから
- 8. 施設での生活に不満があるから
- 9. 特に理由はない
- 10. その他（ ）

問38 【問36で引き続き施設で生活したい（4番）に○をつけた方におたずねします。】今の施設での生活を続けたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 施設にいたほうが安心できるから
- 2. 施設での生活が自分に合っているから
- 3. 施設職員や他の入所者との関係が良好だから
- 4. 健康面などで不安があるから
- 5. 自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから
- 6. 自宅の構造が障害に対応していないから
- 7. 地域で十分な介助が受けられるか不安だから
- 8. 地域での生活に魅力を感じないから
- 9. 特に理由はない
- 10. その他（ ）

問39 【全ての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1. 地域の人たちの障害に対する理解
- 2. 地域生活に関する相談支援
- 3. 訪問系サービスの充実
- 4. 日中活動系サービスの充実
- 5. 自立生活のための訓練・体験
- 6. グループホームなどの拡充
- 7. 障害者のための住宅の確保
- 8. 医療体制の充実
- 9. 就労のための支援
- 10. 災害時の支援
- 11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
- 12. 経済的負担の軽減
- 13. 特に必要なことはない
- 14. その他（ ）

問40 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だ
と思いますか。（〇はいくつでも）

- 1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
- 3. 職場を理解するための就労体験
- 4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
- 5. 障害者向けの求人情報の提供
- 6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
- 7. 職場施設のバリアフリー化
- 8. 障害や病気の状態に合った柔軟な勤務形態
- 9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
- 10. 特に必要なことはない
- 11. その他（ ）

8. 障害のある人に対する理解度

問41 あなたは、ふだんの生活のなかで、差別を感じることがありますか。（〇は1つ）

- 1. 頻繁に感じる
- 2. 時々感じる
- 3. あまり感じない
- 4. ほとんど感じない
- 5. わからない

問42 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。（自由記述）

問43 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。（〇は1つ）

- 1. よく理解されている
- 2. おおむね理解されている
- 3. あまり理解されていない
- 4. まったく理解されていない
- 5. わからない

問44 あなたは、選挙の投票に行っていますか。（〇は1つ）

- 1. 毎回行っている
- 2. ときどき行っている
- 3. あまり行っていない
- 4. 全く行っていない
- 5. 20歳未満のため行っていない

問45 【問44で投票に行っていない（4、5番）に〇をつけた方におたずねします。】あまり
あるいは全く行っていない理由は何ですか。（〇を2つまで）

- 1. 選挙に興味がない
- 2. 投票所がバリアフリーではない
- 3. 投票所に行くための移動が困難
- 4. 選挙や候補者に関する情報が得られない
- 5. 投票所で、投票用紙の記入や投票箱に投票することが困難
- 6. その他（ ）

9. サービス利用について

問46 成年後見制度の利用意向についておたずねします。（〇は1つ）

※成年後見制度とは、判断能力が不十分な成人の財産管理や契約などについて、選任され
た成年後見人が代理して行う制度です。

- 1. 現在利用しており、今後も利用を続けたい
- 2. 現在利用しているが、利用をやめたい（理由： ）
- 3. 現在は利用していないが、今後利用したい
- 4. 現在は利用しておらず、今後も利用したくない（理由： ）
- 5. わからない

10. 収入や利用者負担について

問47 あなたご本人の主な収入源をお答えください。（最も金額の多い収入源にひとつだけ○）

1. 一般就労による収入（給与・報酬など）

2. 福祉的就労による収入（工賃など）

3. 事業収入（自営業など）

4. 財産収入（家賃収入など）

5. 年金・手当

6. 生活保護費

7. 家族などからの仕送り

8. 収入はない

9. その他（ ）

問48 あなたは、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に負担に感じる

2. やや負担に感じる

3. あまり負担に感じない

4. 障害福祉サービスを利用していない

5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担を支払っていない

11. 市の障害者施策について

問49 あなたは、行政の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に満足

2. やや満足

3. やや不満

4. 非常に不満

5. どちらとも言えない

12. 自由意見

問50 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

平成26年1月31日（金）までにポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

ち ば し しょうがいしゃせいかつじったい い こうちょう さ
千葉市 障 害者生活実態・意向 調 査

～アンケートへのご協 力をお願い～

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協 力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状 況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ恐 縮ですが、調査へのご協 力をお願いいたします。
この調査は、障害者手帳をお持ちの方の中から無作為抽 出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。
この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協 力いただけるようにお願いします。

平成26年1月
千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

きにゅう
ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことで。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が年少の場合や、病気や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内に記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに
平成26年1月31日（金）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課
電話：043-245-5227 F A X：043-245-5630

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）

- 1. あて名のご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆
- 2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
- 3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（○は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（○は1つ）

- 1. 中央区
- 2. 花見川区
- 3. 稲毛区
- 4. 若葉区
- 5. 緑区
- 6. 美浜区

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。

- 1. 身体障害者手帳（ 1級 2級 3級 4級 5級 6級 ）
- 2. 療育手帳（ ⊙ ⊙の1 ⊙の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2 ）
- 3. 精神障害者保健福祉手帳（ 1級 2級 3級 ）
- 4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 肢体不自由
- 2. 音声・言語・そしゃく機能障害
- 3. 視覚障害
- 4. 聴覚・平衡機能障害
- 5. 内部機能障害（免疫機能障害含む）

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。
(○は1つ)

1. 国が指定する特定疾患(下の表で該当する疾患に○をつけてください。○はいくつでも。)
2. その他の難病(病名をお書きください:)

特定疾患の一覧表

No.	病名	No.	病名
1	パーチェット病	29	膿疱性乾癬
2	多発性硬化症	30	広範脊柱管狭窄症
3	重症筋無力症	31	原発性胆汁性肝硬変
4	全身性エリテマトーデス	32	重症急性腸炎
5	スモン	33	特発性大腿骨頭壊死症
6	再生不良性貧血	34	混合性結合組織病
7	サルコイドーシス	35	原発性免疫不全症候群
8	筋萎縮性側索硬化症	36	特発性間質性肺炎
9	強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	37	網膜色素変性症
10	特発性血小板減少性紫斑病	38	プリオン病
11	結節性動脈周囲炎	39	肺動脈性肺高血圧症
12	潰瘍性大腸炎	40	神経線維腫症(Ⅰ型/Ⅱ型)
13	大動脈炎症候群	41	亜急性硬化性全脳炎
14	ビュルガー病	42	バッド・キアリ症候群
15	天疱瘡	43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
16	脊髄小脳変性症	44	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病含む)
17	クローン病	45	副腎白質ジストロフィー
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
19	悪性関節リウマチ	47	脊髄性筋萎縮症
20	パーキンソン病関連疾患	48	球脊髄性筋萎縮症
21	アミロイドーシス	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎
22	後縦帯骨化症	50	肥大型心筋症
23	ハンチントン病	51	拘束型心筋症
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	52	ミトコンドリア病
25	ウェグナー肉芽腫症	53	リンパ脈管筋腫症(LAM)
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54	重症多形赤痢(急性期)
27	多系統萎縮症	55	黄変性骨化症
28	表皮水疱症(接合部型及び米蕁腫型)	56	間脳下垂体機能障害

2. 医療機関への受診状況について

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(○はいくつでも)

1. 医療的ケアは受けていない
2. 吸引
3. 吸入
4. 経管栄養
5. 中心静脈栄養
6. 導尿
7. 在宅酸素
8. ネブライザー
9. 咽頭エアウェイ
10. パルスオキシメーター
11. 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
12. 人工呼吸器の管理
13. 人工肛門、人工膀胱の管理
14. アルツハイマー症等の認知症への対応
15. インシュリン注射
16. 人工透析
17. 服薬管理
18. その他()

問9 あなた(や保護者)は、「医療費」について、不安はありますか。(○は1つ)

1. 特に不安はない
2. 今は特にないが、将来に不安を感じる
3. やや不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

問10 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどの病院に通院していますか。
(○はいくつでも)

1. 市内の病院(歩いていける場所)
2. 市内の病院(歩いていけない場所)
3. 県内の市町村(千葉県以外)
4. 東京都内
5. その他(具体的に: (都道府県) (市区町村))
6. 特に通院していない

問11 【問10で通院している（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. おおむね満足している |
| 3. やや不満がある | 4. 不満がある |
| 5. どちらともいえない | |

問12 【問11で医療機関に不満がある（3、4番）に○をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. なかなか病院の予約が取れないから | 2. 診療や治療に満足できないから |
| 3. いつも待ち時間が長いから | 4. 通院しても、病気が良くならないから |
| 5. 医師等の説明がわかりづらいから | 6. 薬などの効き目が良くないから |
| 7. 薬の副作用がきつから | 8. 検査等に時間がかかるから |
| 9. 費用負担が大きいから | 10. 通院が大変だから |
| 11. その他（ ） | |

3. 家族や介助者について

問13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

- | | | |
|------------------------|-----------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他の親族 | |
| 6. 施設（グループホーム等）で暮らしている | | |
| 7. ひとり暮らし | | |
| 8. その他（ ） | | |

問14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他の親族 | |
| 6. ホームヘルパー | 7. ボランティア | 8. 介助は受けていない |
| 9. その他（ ） | | |

問15 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|--------|--------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70歳以上 | | |

問16 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上～15年未満 |
| 5. 15年以上～18年未満 | |

問17 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 手伝ってくれる | 2. 時々手伝ってくれる |
| 3. あまり手伝ってくれない | 4. 手伝ってくれる人はいない |

問18 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 介助者自身の健康に不安がある | 2. 介助者の高齢化により不安がある |
| 3. 代わりに介助を頼める人がいない | 4. 緊急時の対応に不安がある |
| 5. 身体的な負担が大きい | 6. 精神的な負担が大きい |
| 7. 経済的な負担が大きい | 8. 仕事に出られない |
| 9. 長期の旅行や外出ができない | 10. 休養や息抜きの時間がない |
| 11. 特に困っていることはない | |
| 12. よくわからない | |
| 13. その他（ ） | |

4. 相談や情報入手について

問19 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

1. 自分では身の回りの事が十分にできない
2. 自分や家族では家事が十分にできない
3. 健康状態に不安がある
4. 介助者の負担が大きい
5. 段差や階段など、住まいに支障がある
6. 外出するのに支障がある
7. 利用したい福祉サービスを十分利用できない
8. 収入や生活費に不安を感じている
9. 緊急時に支援が得られない
10. 近所の人などとの人間関係に支障がある
11. 将来の生活に不安を感じている
12. 特に困っていることはない
13. その他（ ）

問 20 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. ホームヘルパー
5. 施設等の職員
6. 医療関係者（医師・看護師など）
7. 障害者団体や家族の会
8. 学校の職員
9. 保育所（園）・幼稚園の職員
10. 民生委員・児童委員
11. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
12. 保健福祉センター（保健所・保健センター・福祉事務所）
13. 発達障害者支援センター
14. 相談支援事業所
15. こころの健康センター
16. 相談する相手はいない
17. その他（ ）

問21 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。（A～Dの制度・事業について、それぞれ1～3のどれかひとつに〇をつけてください。）

制度や事業の名称	1. 知っている	2. 名前を聞いたことがある	3. 知らない
A. 地域支援合い活動	1	2	3
B. 民生委員	1	2	3
C. 障害者相談支援事業	1	2	3
D. 知的障害者生活支援事業	1	2	3

問22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
2. 休日や夜間など緊急時の相談
3. 専門性の高い職員による相談
4. 自分と同じ立場の人による相談
5. 定期的に訪問してくれる相談
6. プライバシーに配慮した相談
7. 特に希望はない
8. その他（ ）

問23 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

1. ちは市政だより
2. 市のパンフレットなど
3. 障害者団体などの刊行物
4. 学校のお知らせ
5. 市のホームページ（HP）
6. 市以外のホームページ（HP）
7. 新聞・雑誌
8. テレビ・ラジオ
9. 施設や福祉サービス事業所
10. 医療機関
11. 障害者団体や家族の会
12. 民生委員・児童委員
13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
14. 市の窓口
15. その他（ ）

5. あなたの暮らしについて

問24 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（集合住宅） |
| 3. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 4. 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| 5. 公営住宅 | 6. UR都市機構住宅（旧公団住宅） |
| 7. グループホーム・ケアホームなど | |
| 8. その他（ ） | |

問25 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 階段の昇降 | 2. 玄関・出入口などの段差 |
| 3. 風呂が使いにくい | 4. トイレが使いにくい |
| 5. 建物の老朽化 | 6. 家賃など住宅費の負担 |
| 7. 特に困っていることはない | |
| 8. その他（ ） | |

問26 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週4日以上 | 2. 週2～3日 |
| 3. 週1日くらい | 4. 月2～3日 |
| 5. 月1日くらい | 6. あまり外出しない |

問27 あなたは、どのような目的で外出することが多いです。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリ |
| 3. 医療機関への受診 | 4. 買い物 |
| 5. 友人・知人と会う | 6. 趣味やスポーツ |
| 7. グループ活動 | 8. 散歩に行く |
| 9. あまり外出しない | |
| 10. その他（ ） | |

問28 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 鉄道 | 2. バス |
| 3. モノレール | 4. タクシー |
| 5. 自家用車 | |
| 6. その他（ ） | |

問29 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変 | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい | 4. 券売機が使いにくい |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | |
| 6. 駅員が少ない | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる | |
| 9. 特に困っていることはない | |
| 10. 鉄道は使っていない | |
| 11. その他（ ） | |

問30 あなたは、路線バスを利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 乗り降りが大変 | |
| 2. バリアフリー未対応のバスがある | |
| 3. 案内がわかりにくい | |
| 4. 運賃の支払いが大変 | |
| 5. 周りの人に手助けを頼みにくい | |
| 6. 周囲の目が気になる | |
| 7. 特に困っていることはない | |
| 8. バスは使っていない | |
| 9. その他（ ） | |

問31 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変 | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい | 4. 券売機が使いにくい |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | |
| 6. 駅員が少ない | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる | 9. 特に困っていることはない |
| 10. モノレールは使っていない | |
| 11. その他（ ） | |

問32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1. 歩道・通路の段差
- 2. 歩道・通路の障害物
- 3. バスやタクシーなどの乗降
- 4. 建物の階段・段差
- 5. エレベーターの場所がわかりにくい
- 6. トイレの利用
- 7. 周りの人に手助けを頼みにくい
- 8. 周囲の自気がなる
- 9. 特に困っていることはない
- 10. その他 ()

問33 【問32 で外出時にトイレ利用が困る(6番)に〇をつけた方におたずねします。】外出先でのトイレ利用について、困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. トイレ(多目的トイレを含む)に、ユニバーサルシート等の自分が必要としている機能がついていない
- 2. 多目的トイレの場所がわからない
- 3. 多目的トイレの数が少ない
- 4. 多目的トイレがすぐに使えないことが多い
- 5. 電車等の交通機関のトイレが使づらい
- 6. その他 ()

問34 【すべての方におたずねします。】外出時や災害時などのトイレ利用について、困ること(困るのではないかと思うこと)を、自由にお書きください。(自由記述)

6. 災害対策について

問35 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(〇は1つ)

- 1. 避難できる
- 2. 避難できると思うが、自信がない
- 3. 避難できない

問36 あなたは、災害時に自分が困っていることを周囲の人に知らせることができると思いますか。(〇は1つ)

- 1. できる
- 2. できると思うが、自信がない
- 3. できない

問37 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

- 1. 一緒に住んでいる家族
- 2. 近くに住んでいる家族
- 3. 家族以外で一緒に住んでいる人
- 4. 近所の人
- 5. 知人・友人
- 6. いない
- 7. その他 ()

問38 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(〇は1つ)

- 1. 必要である
- 2. 時間帯によっては必要である
- 3. 必要ではない

問39 あなた(や保護者・ご家族の方)は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(〇はいくつでも)

- 1. 自分や家族だけでは避難できない
- 2. 自分では助けを呼ぶことができない
- 3. 災害に関する情報を得るのが難しい
- 4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
- 6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
- 7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
- 8. 特に不安に思うことはない
- 9. その他 ()

問40 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資(薬や装具等)を、備蓄していますか。(〇は1つ)

- 1. 1週間分以上の備蓄がある
- 2. 4～6日分くらいの備蓄がある
- 3. 1～3日分くらいの備蓄がある
- 4. 備蓄していない

問41 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。(①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかに○)

福祉避難所の種類	福祉避難所の説明	知っている	知らない
①福祉避難室	専門性の高いサービスは必要としないが、指定避難所(※)での避難生活に困難が生じる方に対して特別の配慮をした避難所	1	2
②拠点の福祉避難所	緊急の入院加療等を必要としないものの、より専門性の高いサービスを必要とする方を収容するために、予め指定された高齢者施設・障害者施設などの施設	1	2

(※)指定避難所とは、災害時などに一時的な生活の本拠地として宿泊滞在するための施設として事前に指定された小中学校や公民館などをいいます。

注意！：福祉避難所は、指定避難所からの移送による二次避難所であり、直接避難することはできません。

7.療育・保育について

問42 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(○は1つ)

- 1.産まれたとき
- 2.0歳
- 3.1歳
- 4.2歳
- 5.3歳
- 6.4～6歳
- 7.7～12歳
- 8.13歳以降

問43 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

- 1.産まれてまもなく病院で知らされた
- 2.家族や周りの人が気づいた
- 3.乳幼児健診で知らされた
- 4.医療機関を受診したときに知らされた
- 5.育児相談などで知らされた
- 6.保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた
- 7.小中学校の職員が気づいた
- 8.その他()

問44 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている(または以前に困ったことがある)ことはありますか。(○はいくつでも)

- 1.療育・保育に関する情報が少ない
- 2.希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない
- 3.施設での療育・訓練の機会が少ない
- 4.施設での療育・訓練の内容に問題がある
- 5.本人の成長に不安がある
- 6.友だちとの関係づくりがうまくできない
- 7.通園・通所の送り迎えが大変
- 8.費用など経済的負担が大きい
- 9.小学校入学時の学校選択で困っている
- 10.特に困っていることはない
- 11.その他()

問45 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところはありませんか。(○はいくつでも)

- 1.保育所(園)
- 2.幼稚園
- 3.特別支援学校の幼稚部
- 4.千葉市療育センター
- 5.千葉市大宮学園
- 6.千葉市桜木園
- 7.その他の療育機関
- 8.通っている所はない
- 9.その他()

問46 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校(小学部)に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。(○は1つ)

- 1.小学校の通常学級
- 2.小学校の特別支援学級
- 3.特別支援学校
- 4.わからない
- 5.その他()

8. 学校・教育について

この章（問47～51）は、【在学中の方のみ対象です。（あて名のお子さんが、小学校入学前・学校卒業後の場合は、回答不要です）】

問47 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 小学校の通常学級 | 2. 小学校の特別支援学級 |
| 3. 特別支援学校の小学部 | 4. 中学校の通常学級 |
| 5. 中学校の特別支援学級 | 6. 特別支援学校の中学部 |
| 7. 高等学校 | 8. 特別支援学校の高等部 |
| 9. その他の学校 | 10. 通所施設などに通っている |
| 11. どこにも通っていない | |
| 12. その他（ ） | |

問48 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 教育・療育に関する情報が少ない | 2. 学校での介助が大変 |
| 3. 通学の送迎が大変 | 4. 教職員の指導・支援の仕方が心配 |
| 5. 学校のカリキュラムが本人に合わない | |
| 6. 友だちとの関係づくりがうまくできない | |
| 7. 療育・訓練を受ける機会が少ない | 8. 今後の学校選択について迷っている |
| 9. 学校終了後の進路に不安がある | |
| 10. 特に困っていることはない | |
| 11. その他（ ） | |

問49 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 自宅で過ごしたい | 2. 地域の友だちと遊びたい |
| 3. 放課後等デイサービスを利用したい | |
| 4. 子どもルームを利用したい | 5. 部活動などに参加したい |
| 6. 習い事や塾などに行きたい | |
| 7. 特に希望はない | |
| 8. その他（ ） | |

問50 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 高等学校 | 2. 特別支援学校の高等部 |
| 3. その他の学校 | |
| 4. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい | |
| 5. 企業などで就労したい | 6. わからない |
| 7. その他（ ） | |

問51 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 企業等に就職したい | 2. 大学・短大に進学したい |
| 3. 専門学校などに通いたい | 4. 障害者高等技術専門学校などに通いたい |
| 5. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい | |
| 6. 自宅で就労したい（収入のある仕事） | |
| 7. 就労・就学はしないで過ごしたい | |
| 8. わからない | |
| 9. その他（ ） | |

9. 日中活動・就労について

この章（問52、53）は、【学校卒業後の方のみ対象です。（「あなた」が小学校入学前・在学中の場合は、回答不要です）】

問52 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ〇）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 正職員として働いている | 2. パート・アルバイトなどで働いている |
| 3. 福祉的就労をしている（作業所など） | |
| 4. 自宅で就労している（収入のある仕事） | |
| 5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている | |
| 6. 自宅で家事や手伝いをしている | 7. 特に何もしていない |
| 8. 職業訓練中 | 9. 就職活動中 |
| 10. その他（ ） | |

問53 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だ
と思いますか。(〇はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制
9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他 ()

10. 将来について

問54 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者入所施設に入りたい
5. わからない
6. その他 ()

問55 あなた(や保護者・ご家族の方)は、障害のある人が地域で生活していくためには、何
が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 地域の人たちの障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他 ()

11. 障害のある人に対する理解度

問56 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。(〇は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. ほとんど感じない
5. わからない

問57 あなたは、今までにどのようなこと(場面)で差別を感じましたか。【(たとえば)あな
たが、何をしようとしたら、障害を理由に、させてくれなかった・・・など】

問58 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇
は1つ)

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

11. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問59 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑥のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	ア	イ
②重度訪問 介護	重度の肢体不自由者に、入浴、排泄、食事などの介護を総合的に 行います。(平成26年度からは、 重度の知的障害者・精神障害者も 対象となります。)	1	2	ア	イ
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神 障害者に、移動介護や危険回避等 の援護を行います。	1	2	ア	イ
④重度 障害者等 包括支援	常に介護を必要とする障害者に、 居宅介護などのサービスを包括的 に提供します。	1	2	ア	イ
⑤同行援護	移動に著しい困難を有する視覚 障害者に、移動時及び外出先で、 情報支援や移動支援などを行います。	1	2	ア	イ
⑥保育所等 訪問支援	障害児が通う保育所等を訪問し、 集団生活への適応のための専門的 な支援を行います。	1	2	ア	イ

問60 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない

2. サービスに関する情報が少ない

4. サービス利用の手続きが大変

6. 利用できる回数や日数が少ない

8. 利用者負担について困っている

10. その他()
3. 利用したいサービスが利用できない

5. 事業者との日時などの調整が大変

7. サービスの質について困っている

9. 特に困っていることはない

(2) 日中活動サービス

問61 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑨のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	①～⑤については、18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。		ア	イ
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。			ア	イ
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。			ア	イ
④就労継続支援(A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。			ア	イ
⑤療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。			ア	イ
⑥短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気等のときに、短期間施設に入所して必要な介護等の支援を行います。	1	2	ア	イ
⑦児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練を行います。	1	2	ア	イ
⑧放課後等 デイサービス (旧児童 デイサービス)	学校の授業の終了後または夏休み等の休業日に生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を行います。	1	2	ア	イ
⑨その他の 通所施設	(具体的なサービス名をお書きください：)	1	2	ア	イ

問62 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 他の利用者との関係について困っている
9. 利用者負担について困っている
10. 特に困っていることはない
11. その他()

(3) 居住系サービス

問63 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思えますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄BのA・Iのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
① 共同生活援助(グループホーム)	地域での生活に支障がない障害者に対し、共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。	18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。		ア	イ
② 共同生活介護(ケアホーム)	介護を必要とする障害者に対して、共同生活を営む住居で、入浴、排せつ、食事等の介護を行います。			ア	イ
③ 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ、食事等の介護を行います。			ア	イ

(4) 地域生活支援事業

問64 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思えますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑪のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄BはA・Iのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
① 相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	ア	イ
② コミュニケーション支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者を派遣したり、支援者の育成を図ります。	1	2	ア	イ
③ 日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	ア	イ
④ 移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	ア	イ
⑤ 地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	ア	イ
⑥ 訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	ア	イ
⑦ 更生訓練費支給事業	就労移行支援事業又は自立訓練事業の利用者を対象に、更生訓練費を支給します。	1	2	ア	イ
⑧ 知的障害者職親委託事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	ア	イ
⑨ 生活支援事業	知的障害者に対して、日常生活に必要な訓練、指導、本人活動の支援等を行います。	1	2	ア	イ
⑩ 日中一時支援事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	ア	イ
⑪ 生活サポート事業	日常生活に支援が必要な人に、掃除、洗濯、調理等の家事援助や生活相談を行います。	1	2	ア	イ

(5) 成年後見制度について

問65 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(〇は1つ)

※成年後見制度とは、判断能力が不十分な成人の財産管理や契約などについて、選任された成年後見人が代理して行う制度です。

- 1. 利用したい
- 2. 利用したくない(理由:)
- 3. わからない

12. 収入や利用者負担について

問66 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ〇)

- 1. 一般就労による収入(給与・報酬など)
- 2. 福祉的就労による収入(工賃など)
- 3. 事業収入(自営業など)
- 4. 財産収入(家賃収入など)
- 5. 年金・手当
- 6. 生活保護費
- 7. 家族などからの仕送り
- 8. 収入はない
- 9. その他()

問67 あなた(保護者の方)は、障害福祉サービスの利用者の負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

- 1. 非常に負担に感じる
- 2. やや負担に感じる
- 3. あまり負担に感じない
- 4. 障害福祉サービスを利用していない
- 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者の負担を支払っていない

13. 市の障害者施策について

問68 あなた(や保護者・ご家族の方)は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

- 1. 非常に満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 非常に不満
- 5. どちらとも言えない

14. 自由意見

問69 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

平成26年1月31日(金)までに ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

ち ば し しょうがいしゃせいかつじったい い こうちょう さ
千葉市 障害者生活実態・意向 調査

～アンケートへのご協力をお願い～

ひごうから、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方の中から、無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いします。

平成26年1月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が病気や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに

平成26年1月31日（金）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

電話：043-245-5227 FAX：043-245-5630

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

1. あて名のご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆
2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。

1. 身体障害者手帳（ 1 級 2 級 3 級 4 級 5 級 6 級 ）
2. 療育手帳（ ㊤ ㊤の1 ㊤の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2 ）
3. 精神障害者保健福祉手帳（ 1 級 2 級 3 級 ）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。（〇はいくつでも）

1. 自閉症・自閉的傾向
2. 広汎性発達障害
3. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害
4. アスペルガー症候群
5. 知的障害
6. 注意欠陥・多動性障害（ADHD）
7. 学習障害（LD）
8. 非定型自閉症
9. 特に診断は受けていない
10. その他（ ）

2. 医療機関への受診状況について

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問7 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(〇は1つ)

1. 特に不安はない
2. 今は特にないが、将来に不安を感じる
3. やや不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。(〇はいくつでも)

1. 市内の病院(歩いていける場所)
2. 市内の病院(歩いていけない場所)
3. 県内の市町村(千葉市以外)
4. 東京都内
5. その他(具体的に: (都道府県) (市区町村))
6. 特に通院していない

問9 【問8で通院している(1～5番)に〇をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満がある
4. 不満がある
5. どちらともいえない

問10 【問8で医療機関に不満がある(3、4番)に〇をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. なかなか病院の予約が取れないから
2. 診療や治療に満足できないから
3. いつも待ち時間が長いから
4. 通院しても、病気が良くならないから
5. 医師等の説明がわかりづらいから
6. 薬などの効き目が良くないから
7. 薬の副作用がきついから
8. 検査等に時間がかかるから
9. 費用負担が大きいから
10. 通院が大変だから
11. その他()

3. 家族や介助者について

問11 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

1. 母親
2. 父親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. 配偶者
6. 子ども
7. その他の親族
8. 施設(グループホーム等)で暮らしている
9. ひとり暮らし
10. その他()

問12 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

1. 母親
2. 父親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. 配偶者
6. 子ども
7. その他の親族
8. ホームヘルパー
9. ボランティア
10. 介助は受けていない
11. その他()

問13 【問12で主な介助者が家族・親族(1～7番)に〇をつけた方におたずねします。】主な介助者の年齢をお答えください。(〇は1つ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70歳以上

問14 【問12で主な介助者が家族・親族(1～7番)に〇をつけた方におたずねします。】主な介助者の介助継続年数をお答えください。(〇は1つ)

1. 1年未満
2. 1年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上～30年未満
8. 30年以上

問15 【問12で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれますか。（○は１つ）

1. 手伝ってくれる
2. 時々手伝ってくれる
3. あまり手伝ってくれない
4. 手伝ってくれる人はいない

問16 【問12で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 介助者自身の健康に不安がある
2. 介助者の高齢化により不安がある
3. 代わりに介助を頼める人がいない
4. 緊急時の対応に不安がある
5. 身体的な負担が大きい
6. 精神的な負担が大きい
7. 経済的な負担が大きい
8. 仕事に出られない
9. 長期の旅行や外出ができない
10. 休養や息抜きの時間がない
11. 特に困っていることはない
12. よくわからない
13. その他（ ）

4. 相談や情報入手について

問17 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 本人の発達や心身の状態に不安がある
2. 本人の行動上の問題への対応に困っている
3. 自分では身の回りの事が十分にできない
4. 健康状態に不安がある
5. 家族（介助者）の負担が大きい
6. 外出するのに支障がある
7. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない
8. 収入や生活費に不安を感じている
9. 緊急時に支援が得られない
10. 将来の生活に不安を感じている
11. 療育・教育について困っている
12. 就労について困っている
13. 特に困っていることはない
14. その他（ ）

問18 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. ホームヘルパー
5. 施設等の職員
6. 医療関係者（医師・看護師など）
7. 障害者団体や家族の会
8. 学校の職員
9. 民生委員・児童委員
10. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
11. 保健福祉センター（保健所・保健センター・福祉事務所）
12. 発達障害者支援センター
13. 相談支援事業所
14. こころの健康センター
15. 相談する相手はいない
16. その他（ ）

問19 あなたは、次のような、助けてくれる人がいる制度を知っていますか。（A～Dの制度・事業について、それぞれ１～３のどれかひとつに○をつけてください。）

制度・事業の名称	1. 知っている	2. 名前を聞いたことがある	3. 知らない
A. 地域支え合い活動	1	2	3
B. 民生委員	1	2	3
C. 障害者相談支援事業	1	2	3
D. 知的障害者生活支援事業	1	2	3

問20 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
2. 休日や夜間など緊急時の相談
3. 専門性の高い職員による相談
4. 自分と同じ立場の人による相談
5. 定期的に訪問してくれる相談
6. プライバシーに配慮した相談
7. 特に希望はない
8. その他（ ）

問21 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ちは市政だより | 2. 市のパンフレットなど |
| 3. 障害者団体などの刊行物 | 4. 学校のお知らせ |
| 5. 市のホームページ（HP） | 6. 市以外のホームページ（HP） |
| 7. 新聞・雑誌 | 8. テレビ・ラジオ |
| 9. 施設や福祉サービス事業所 | 10. 医療機関 |
| 11. 障害者団体や家族の会 | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | |
| 14. 市の窓口 | |
| 15. その他（ ） | |

5. あなたの暮らしについて

問22 あなたのお住まいの種類をお聞きます。（〇は1つ）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（集合住宅） |
| 3. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 4. 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| 5. 公営住宅 | 6. UR都市機構住宅（旧公営住宅） |
| 7. グループホーム・ケアホームなど | |
| 8. その他（ ） | |

問23 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 階段の昇降 | 2. 玄関・出入口などの段差 |
| 3. 風呂が使いにくい | 4. トイレが使いにくい |
| 5. 建物の老朽化 | 6. 家賃など住宅費の負担 |
| 7. 特に困っていることはない | |
| 8. その他（ ） | |

問24 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週4日以上 | 2. 週2～3日 |
| 3. 週1日くらい | 4. 月2～3日 |
| 5. 月1日くらい | 6. あまり外出しない |

問25 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリ |
| 3. 医療機関への受診 | 4. 買い物 |
| 5. 友人・知人と会う | 6. 趣味やスポーツ |
| 7. グループ活動 | 8. 散歩に行く |
| 9. あまり外出しない | |
| 10. その他（ ） | |

6. 災害対策について

問26 あなたは、災害時に1人で避難できますか。（〇は1つ）

- | |
|--------------------|
| 1. 避難できる |
| 2. 避難できると思うが、自信がない |
| 3. 避難できない |

問27 あなたは、災害時に自分が困っていることを、周囲の人に知らせることができるといいますか。（〇は1つ）

- | | |
|---------|------------------|
| 1. できる | 2. できると思うが、自信がない |
| 3. できない | |

問28 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 一緒に住んでいる家族 | 2. 近くに住んでいる家族 |
| 3. 家族以外で一緒に住んでいる人 | 4. 近所の人 |
| 5. 知人・友人 | |
| 6. いない | |
| 7. その他（ ） | |

問29 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 必要である | 2. 時間帯によっては必要である |
| 3. 必要ではない | |

問30 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(〇はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 災害に関する情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他 ()

問31 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(〇は1つ)

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問32 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。(①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかひとつずつに〇)

福祉避難所の種類	福祉避難所の説明	知っている	知らない
①福祉避難室	専門性の高いサービスは必要としないが、指定避難所(※)での避難生活に困難が生じる方に対して特別の配慮をした避難所	1	2
②拠点的福祉避難所	緊急の入院加療等を必要としないものの、より専門性の高いサービスを必要とする方を収容するために、予め指定された高齢者施設・障害者施設などの施設	1	2

(※)指定避難所とは、災害時などに一時的な生活の本拠地として宿泊滞在するための施設として事前に指定された小中学校や公民館などをいいます。

注意！：福祉避難所は、指定避難所からの移送による二次避難所であり、直接避難することはできません。

7. 日中活動・就労について

問33 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに〇)

1. 正職員として働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. 福祉的就労をしている(作業所など)
4. 自宅で就労している(収入のある仕事)
5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
6. 自宅で家事や手伝いをしている
7. 特に何もしていない
8. 学校などに通っている
9. 職業訓練中
10. 就職活動中
11. その他 ()

問34 【問33で働いている(1～4番)に〇をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。(〇は3つまで)

1. 身体的な負担が大きい
2. 精神的な負担が大きい
3. 通勤が大変
4. 職場の施設が障害に対応していない
5. 障害に対する職場の理解不足
6. 職場の人間関係
7. 仕事の相談をする相手がいない
8. 仕事が自分には合わない
9. 給与・工賃などの収入が少ない
10. 仕事が難しく見えられない
11. 特に困っていることはない
12. その他 ()

問35 【問33で働いていない(5～7番)に〇をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。(〇は3つまで)

1. 障害や病気が重いから
2. 高齢だから
3. 自分に合った仕事が見つからないから
4. 希望に合った求人が見つからないから
5. 働く自信がないから
6. 通勤が困難だから
7. 障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから
8. 人間関係がうまくいか不安があるから
9. 趣味の活動など仕事以外のことをしたいから
10. その他 ()

問36 【すべての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するために、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態
9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他（ ）

8. 将来について

問37 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他（ ）

問38 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解 | 2. 地域生活に関する相談支援 |
| 3. 訪問系サービスの充実 | 4. 日中活動系サービスの充実 |
| 5. 自立生活のための訓練・体験 | 6. グループホームなどの拡充 |
| 7. 障害者のための住宅の確保 | 8. 医療体制の充実 |
| 9. 就労のための支援 | 10. 災害時の支援 |
| 11. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 12. 経済的負担の軽減 |
| 13. 特に必要なことはない | |
| 14. わからない | |
| 15. その他（ ） | |

9. 障害のある人への理解度

問39 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。（〇は1つ）

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. ほとんど感じない
5. わからない

問40 あなたは、今までにどのようなこと（場面）で差別を感じましたか。（自由記述）

問41 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。（〇は1つ）

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

10. サービス利用について

（1）訪問系サービス

問42 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
（①～⑤のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに〇をつけてください。）

サービス名	サービスの内容	回答欄（A）		回答欄（B）	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
①居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	ア	イ
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的に行います。（平成26年度からは、重度の知的障害者・精神障害者も対象となります。）	1	2	ア	イ
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の援護を行います。	1	2	ア	イ
④重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	ア	イ
⑤同行援護	移動に著しい困難を有する視覚障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動援護などを行います。	1	2	ア	イ

問43 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他()

(2) 日中活動サービス

問44 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに〇をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	ア	イ
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。	1	2	ア	イ
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	1	2	ア	イ
④就労継続支援(A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。	1	2	ア	イ
⑤療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。	1	2	ア	イ
⑥短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気等のときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2	ア	イ
⑦その他の通所施設	(具体的なサービス名をお書きください：)	1	2	ア	イ

問45 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 他の利用者との関係について困っている
9. 利用者負担について困っている
10. 特に困っていることはない
11. その他()

(3) 居住系サービス

問46 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに〇をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄(A)		回答欄(B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
①共同生活援助 (グループホーム)	地域での生活に支障がない障害者に対し、共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。	1	2	ア	イ
②共同生活介護 (ケアホーム)	介護を必要とする障害者に対して、共同生活を営む住居で、入浴、排せつ、食事等の介護を行います。	1	2	ア	イ
③施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ、食事等の介護を行います。	1	2	ア	イ

問47 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- 1. サービスの内容や使い方がよくわからない
- 2. サービスに関する情報が少ない
- 3. 希望しているが入居・入所できない
- 4. 将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安
- 5. 生活上の支援が不十分
- 6. プライバシーを十分守れない
- 7. 他の入居者との関係について困っている
- 8. 入居のための費用について困っている
- 9. 特に困っていることはない
- 10. その他（ ）

(4) 地域生活支援事業

問48 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑪のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに〇をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用して いる	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	ア	イ
②コミュニケーション支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者を派遣したり、支援者の育成を図ります。	1	2	ア	イ
③日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	ア	イ
④移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	ア	イ
⑤地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	ア	イ
⑥訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	ア	イ
⑦更生訓練費支給事業	就労移行支援事業又は自立訓練事業の利用者を対象に、更生訓練費を支給します。	1	2	ア	イ
⑧知的障害者職親委託事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	ア	イ
⑨生活支援事業	知的障害者に対して、日常生活に必要な訓練、指導、本人活動の支援等を行います。	1	2	ア	イ
⑩日中一時支援事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	ア	イ
⑪生活サポート事業	日常生活に支援が必要な人に、掃除、洗濯、調理等の家事援助や生活相談を行います。	1	2	ア	イ

(5) 成年後見制度について

問49 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(○は1つ)

※成年後見制度とは、判断能力が不十分な成人の財産管理や契約などについて、選任された成年後見人が代理して行う制度です。

- 1. 現在利用しており、今後も利用を続けたい
- 2. 現在利用しているが、利用をやめたい(理由:)
- 3. 現在は利用していないが、今後利用したい
- 4. 現在は利用しておらず、今後も利用したくない(理由:)
- 5. わからない

11. 収入や利用者負担について

問50 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

- 1. 一般就労による収入(給与・報酬など)
- 2. 福祉的就労による収入(工賃など)
- 3. 事業収入(自営業など)
- 4. 財産収入(家賃収入など)
- 5. 年金・手当
- 6. 生活保護費
- 7. 家族などからの仕送り
- 8. 収入はない
- 9. その他()

問51 あなた(やご家族の方)は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- 1. 非常に負担に感じる
- 2. やや負担に感じる
- 3. あまり負担に感じない
- 4. 障害福祉サービスを利用していない
- 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担を支払っていない

12. 市の障害者施策について

問52 あなた(やご家族の方)は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- 1. 非常に満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 非常に不満
- 5. どちらとも言えない

13. 自由意見

問53 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

平成26年1月31日(金)までにポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

ちばししょうがいしゃいせいかつじつたい いこうちょうさ
千葉市 障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願い～

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方、及び千葉市療育センター又は千葉市大宮学園に通っている方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方の中から、無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としての活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いします。

平成26年1月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が年少の場合や、病気や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに

平成26年1月31日（金）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

電話：043-245-5227 FAX：043-245-5630

はつたつしょうがい 発達障害のある方とその保護者

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

1. あて名ご本人、又はご本人の回答を他の方が代筆
2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成26年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。

1. 身体障害者手帳（ 1級 2級 3級 4級 5級 6級 ）
2. 療育手帳（ ㊤ ㊤の1 ㊤の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2 ）
3. 精神障害者保健福祉手帳（ 1級 2級 3級 ）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している
5. 手帳は持っておらず、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。（〇はいくつでも）

1. 自閉症・自閉的傾向
2. 広汎性発達障害
3. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害
4. アスペルガー症候群
5. 知的障害
6. 注意欠陥・多動性障害（ADHD）
7. 学習障害（LD）
8. 非定型自閉症
9. 特に診断は受けていない
10. その他（ ）

2. 医療機関への受診状況について

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

- 1. 障害や疾病では受診していない
- 2. 一時的に受診したが、入院はしていない
- 3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
- 4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
- 5. 1年間継続して入院していた

問7 あなたは「医療費」について、不安はありますか。(〇は1つ)

- 1. 特に不安はない
- 2. 今は特にないが、将来に不安を感じる
- 3. やや不安がある
- 4. とても不安がある
- 5. わからない

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。(〇はいくつでも)

- 1. 市内の病院(歩いていける場所)
- 2. 市内の病院(歩いていけない場所)
- 3. 県内の市町村(千葉市以外)
- 4. 東京都内
- 5. その他(具体的に: 都道府県) (市区町村)
- 6. 特に通院していない

問9 【問8で通院している(1~5番)に〇をつけた方におたずねします。】あなたは、医療機関に満足していますか。(〇は1つ)

- 1. 満足している
- 2. やや満足している
- 3. やや不満がある
- 4. 不満がある
- 5. どちらともいえない

問10 【問8で通院している(1~5番)に〇をつけた方におたずねします。】不満の理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. なかなか病院の予約が取れないから
- 2. 診療や治療に満足できないから
- 3. いつも待ち時間が長いから
- 4. 通院しても、病気が良くならないから
- 5. 医師等の説明がわかりづらいから
- 6. 薬などの効き目が良くないから
- 7. 薬の副作用がきつから
- 8. 検査等に時間がかかるから
- 9. 費用負担が大きいから
- 10. 通院が大変だから
- 11. その他()

3. 家族や介護者について

問11 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 兄弟姉妹
- 4. 祖父母
- 5. その他の親族
- 6. 施設(グループホーム等)で暮らしている
- 7. ひとり暮らし
- 8. その他()

問12 あなたへの介助について、主な介護者はどなたですか。(〇は1つ)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 兄弟姉妹
- 4. 祖父母
- 5. その他の親族
- 6. ホームヘルパー
- 7. ボランティア
- 8. 介助は受けていない
- 9. その他()

問13 【問12で主な介護者が家族・親族(1~5番)に〇をつけた方におたずねします。】主な介護者の年齢をお答えください。(〇は1つ)

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70歳以上

問14 【問12 で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上～15年未満 |
| 5. 15年以上～18年未満 | |

問15 【問12 で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】あなたへの介助について、主な介助者の他に家族の方などは手伝ってくれていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 手伝ってくれる | 2. 時々手伝ってくれる |
| 3. あまり手伝ってくれない | 4. 手伝ってくれる人はいない |

問16 【問12 で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 介助者自身の健康に不安がある | 2. 介助者の高齢化により不安がある |
| 3. 代わりに介助を頼める人がいない | 4. 緊急時の対応に不安がある |
| 5. 身体的な負担が大きい | 6. 精神的な負担が大きい |
| 7. 経済的な負担が大きい | 8. 仕事に出られない |
| 9. 長期の旅行や外出ができない | 10. 休養や息抜きの時間がない |
| 11. 特に困っていることはない | 12. よくわからない |
| 13. その他（ ） | |

4. 相談や情報入手について

問17 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 自分では身の回りの事が十分にできない | 2. 自分や家族では家事が十分にできない |
| 3. 健康状態に不安がある | 4. 介助者の負担が大きい |
| 5. 段差や階段など、住まいに支障がある | 6. 外出するのに支障がある |
| 7. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない | |
| 8. 収入や生活費に不安を感じている | 9. 緊急時に支援が得られない |
| 10. 近所の人などとの人間関係に支障がある | 11. 将来の生活に不安を感じている |
| 12. 特に困っていることはない | |
| 13. その他（ ） | |

問18 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. ホームヘルパー |
| 5. 施設等の職員 | 6. 医療関係者（医師・看護師など） |
| 7. 障害者団体や家族の会 | 8. 学校の職員 |
| 9. 保育所（園）・幼稚園の職員 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | |
| 12. 保健福祉センター（保健所・保健センター・福祉事務所） | |
| 13. 発達障害者支援センター | |
| 14. 相談支援事業所 | |
| 15. こころの健康センター | |
| 16. 相談する相手はいない | |
| 17. その他（ ） | |

問19 あなたは、次のような、助けてくれる人がある制度を知っていますか。（A～Dの制度・事業について、それぞれ1～3のどれかひとつに○をつけてください。）

制度や事業の名称	1. 知っている	2. 名前を聞いたことがある	3. 知らない
A. 地域支え合い活動	1	2	3
B. 民生委員	1	2	3
C. 障害者相談支援事業	1	2	3
D. 知的障害者生活支援事業	1	2	3

問20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
2. 休日や夜間など緊急時の相談
3. 専門性の高い職員による相談
4. 自分と同じ立場の人による相談
5. 定期的に訪問してくれる相談
6. プライバシーに配慮した相談
7. 特に希望はない
8. その他（ ）

問21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（○はいくつでも）

1. ちば市政だより
2. 市のパンフレットなど
3. 障害者団体などの刊行物
4. 学校のお知らせ
5. 市のホームページ（HP）
6. 市以外のホームページ（HP）
7. 新聞・雑誌
8. テレビ・ラジオ
9. 施設や福祉サービス事業所
10. 医療機関
11. 障害者団体や家族の会
12. 民生委員・児童委員
13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
14. 市の窓口
15. その他（ ）

5. あなたの暮らしについて

問22 あなたのお住まいの種類をお聞きます。（○は1つ）

1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（集合住宅）
3. 民間賃貸住宅（一戸建て）
4. 民間賃貸住宅（集合住宅）
5. 公営住宅
6. UR都市機構住宅（旧公団住宅）
7. グループホーム・ケアホームなど
8. その他（ ）

問23 あなた（や保護者の方）には、住まいについて困っていることがありますか。（○はいくつでも）

1. 階段の昇降
2. 玄関・出入口などの段差
3. 風呂が使いにくい
4. トイレが使いにくい
5. 建物の老朽化
6. 家賃など住宅費の負担
7. 特に困っていることはない
8. その他（ ）

問24 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

1. 週4日以上
2. 週2～3日
3. 週1日くらい
4. 月2～3日
5. 月1日くらい
6. あまり外出しない

問25 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・通学・通所
2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診
4. 買い物
5. 友人・知人と会う
6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動
8. 散歩に行く
9. あまり外出しない
10. その他（ ）

6. 災害対策について

問26 あなたは、災害時に1人で避難できますか。(○は1つ)

1. 避難できる
2. 避難できると思うが、自信がない
3. 避難できない

問27 あなたは、災害時に自分が困っていることを周囲の人に知らせることができると思いますか。(○は1つ)

1. できる
2. できると思うが、自信がない
3. できない

問28 あなたは、災害時に避難を支援してくれる人はいますか。(○はいくつでも)

1. 一緒に住んでいる家族
2. 近くに住んでいる家族
3. 家族以外と一緒に住んでいる人
4. 近所の人
5. 知人・友人
6. いない
7. その他（ ）

問29 あなたは、災害時に地域の方たちによる避難の支援が必要ですか。(○は1つ)

1. 必要である
2. 時間帯によっては必要である
3. 必要ではない

問30 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 災害に関する情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他（ ）

問31 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問32 あなたは、災害時に避難所での生活が困難な方の二次避難所として、以下の福祉避難所をご存じですか。(①、②のそれぞれについて、1、2のどちらかに○)

福祉避難所の種類	福祉避難所の説明	知っている	知らない
①福祉避難室	専門性の高いサービスは必要としないが、指定避難所（※）での避難生活に困難が生じる方に対して特別の配慮をした避難所	1	2
②拠点の福祉避難所	緊急の入院加療等を必要としないものの、より専門性の高いサービスが必要とする方を収容するために、予め指定された高齢者施設・障害者施設などの施設	1	2

（※）指定避難所とは、災害時などに一時的な生活の本拠地として宿泊滞在するための施設として事前に指定された小中学校や公民館などをいいます。

注意！：福祉避難所は、指定避難所からの移送による二次避難所であり、直接避難することはできません。

7.療育・保育について

問33 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 産まれたとき | 2. 0歳 |
| 3. 1歳 | 4. 2歳 |
| 5. 3歳 | 6. 4～6歳 |
| 7. 7～12歳 | 8. 13歳以降 |

問34 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 産まれてまもなく病院で知らされた | 2. 家族や周りの人が気づいた |
| 3. 乳幼児健診で知らされた | 4. 医療機関を受診したときに知らされた |
| 5. 育児相談などで知らされた | 6. 保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた |
| 7. 小中学校の職員が気づいた | 8. その他() |

問35 【医師による診断名が出ている方(問5で特に診断は受けていない(9番)に○をつけなかった方)におたずねします。】あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 産まれたとき | 2. 0歳 |
| 3. 1歳 | 4. 2歳 |
| 5. 3歳 | 6. 4～6歳 |
| 7. 7～12歳 | 8. 13歳以降 |

問36 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている(または以前に困ったことがある)ことはありますか。(○はいくつでも)

- 療育・保育に関する情報が少ない
- 希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない
- 施設での療育・訓練の機会が少ない
- 施設での療育・訓練の内容に問題がある
- 本人の成長に不安がある
- 友だちとの関係づくりがうまくできない
- 通園・通所の送り迎えが大変
- 費用など経済的負担が大きい
- 小学校入学時の学校選択で困っている
- 特に困っていることはない
- その他()

問37 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 保育所(園) | 2. 幼稚園 |
| 3. 特別支援学校の幼稚部 | 4. 千葉市療育センター |
| 5. 千葉市大宮学園 | 6. 千葉市桜木園 |
| 7. その他の療育機関 | |
| 8. 通っている所はない | |
| 9. その他() | |

問38 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校(小学部)に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。(○は1つ)

- 小学校の通常学級
- 小学校の特別支援学級
- 特別支援学校
- わからない
- その他()

8. 学校・教育について

この章（問39～43）は、【在学中の方のみ対象です。
（「あなた」が小学校入学前・学校卒業後の場合は、回答不要です）

問39 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 小学校の通常学級 | 2. 小学校の特別支援学級 |
| 3. 特別支援学校の小学部 | 4. 中学校の通常学級 |
| 5. 中学校の特別支援学級 | 6. 特別支援学校の中学部 |
| 7. 高等学校 | 8. 特別支援学校の高等部 |
| 9. その他の学校 | 10. 通所施設などに通っている |
| 11. どこにも通っていない | |
| 12. その他（ ） | |

問40 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 教育・療育に関する情報が少ない | 2. 学校での介助が大変 |
| 3. 通学の送迎が大変 | 4. 教職員の指導・支援の仕方が心配 |
| 5. 学校のカリキュラムが本人に合わない | |
| 6. 反だちとの関係づくりがうまくできない | |
| 7. 療育・訓練を受ける機会が少ない | 8. 今後の学校選択について迷っている |
| 9. 学校終了後の進路に不安がある | |
| 10. 特に困っていることはない | |
| 11. その他（ ） | |

問41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自宅で過ごしたい | 2. 地域の友だちと遊びたい |
| 3. 放課後等デイサービスを利用したい | 4. 子どもルームを利用したい |
| 5. 部活動などに参加したい | 6. 習い事や塾などに行きたい |
| 7. 特に希望はない | |
| 8. その他（ ） | |

問42 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 高等学校 | 2. 特別支援学校の高等部 |
| 3. その他の学校 | |
| 4. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい | |
| 5. 企業などで就労したい | |
| 6. わからない | |
| 7. その他（ ） | |

問43 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 企業等に就職したい | 2. 大学・短大に進学したい |
| 3. 専門学校などに通いたい | 4. 障害者高等技術専門学校などに通いたい |
| 5. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい | |
| 6. 自宅で就労したい（収入のある仕事） | |
| 7. 就労・就学はしないで過ごしたい | |
| 8. わからない | |
| 9. その他（ ） | |

9. 日中活動・就労について

この章（問44、45）は、【学校卒業後の方のみ対象です。
（「あなた」が小学校入学前・在学中の場合は、回答不要です）

問44 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ〇）

- | |
|-----------------------|
| 1. 正職員として働いている |
| 2. パート・アルバイトなどで働いている |
| 3. 福祉的就労をしている（作業所など） |
| 4. 自宅で就労している（収入のある仕事） |
| 5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている |
| 6. 自宅で家事や手伝いをしている |
| 7. 職業訓練中 |
| 8. 就職活動中 |
| 9. 特に何もしていない |
| 10. その他（ ） |

問45 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だ
とおもいますか。(○はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態
9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他 ()

10. 将来について

問46 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいとおもいますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ()

問47 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解 | 2. 地域生活に関する相談支援 |
| 3. 訪問系サービスの充実 | 4. 日中活動系サービスの充実 |
| 5. 自立生活のための訓練・体験 | 6. グループホームなどの拡充 |
| 7. 障害者のための住宅の確保 | 8. 医療体制の充実 |
| 9. 就労のための支援 | 10. 災害時の支援 |
| 11. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 12. 経済的負担の軽減 |
| 13. 特に必要なことはない | |
| 14. わからない | |
| 15. その他 () | |

11. 障害のある人の理解度

問48 あなたは地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 頻繁に感じる | 2. 時々感じる |
| 3. あまり感じない | 4. ほとんど感じない |
| 5. わからない | |

問49 あなたは、今までにどのようなこと(場面)で差別を感じましたか。【(たとえば)あなたが、何をしようとしたら、障害を理由に、させてくれなかった・など】

問50 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. よく理解されている | 2. おおむね理解されている |
| 3. あまり理解されていない | 4. まったく理解されていない |
| 5. わからない | |

12. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問51 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(①～⑥のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	ア	イ
②重度訪問 介護	重度の肢体不自由者、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的にを行います。 (平成26年度からは、重度の知的障害者・精神障害者も対象となります。)	1	2	ア	イ
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の援護を行います。	1	2	ア	イ
④重度障害者等 包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	ア	イ
⑤同行援護	移動に著しい困難を有する視覚障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動援護などを行います。	1	2	ア	イ
⑥保育所等 訪問支援	障害児が通う保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	1	2	ア	イ

問52 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他()

(2) 日中活動サービス

問53 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(①～⑨のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	①～⑤については、18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。		ア	イ
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。			ア	イ
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。			ア	イ
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。			ア	イ
⑤療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。			ア	イ

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 している	利用して いない
⑥短期 入所 (ショート ステイ)	介護者が病気等のときに、 短期間、施設で必要な介護等 の支援を行います。	1	2	ア	イ
⑦児童発達 支援	日常生活における基本的な 動作の指導や、集団生活への 適応訓練を行います。	1	2	ア	イ
⑧放課後等 デイ サービス (旧児童 デイサービ ス)	学校の授業の終了後または 夏休み等の休業日に、生活 能力向上のために必要な 訓練・社会交流促進等を行 います。	1	2	ア	イ
⑨その他の 通所 施設	(具体的なサービス名をお書 きください：)	1	2	ア	イ

問54 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はい
くつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 他の利用者との関係について困っている
9. 利用者負担について困っている
10. 特に困っていることはない
11. その他 ()

(3) 居住系サービス

問55 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思
いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Bのア・イのどちらかに○をつけてくださ
い。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①共同 生活援助 (グループ ホーム)	地域での生活に支障がない 障害者に対し、共同生活を 営む住居で、日常生活の 援助を行います。	18歳以上の方を対象と したサービスのため、現在 の利用状況は回答不要 です。右の今後の利用希望 のみ回答してください。		ア	イ
②共同 生活介護 (ケアホー ム)	介護を必要とする障害者に 対して、共同生活を営む 住居で、入浴、排せつ、食事 等の介護を行います。			ア	イ
③施設 入所支援	障害者支援施設に入所する 障害者に対し、主に夜間に 入浴、排せつ・食事等の介護 を行います。			ア	イ

(4) 地域生活支援事業

問56 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑪のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bはア・イのどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
①相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	ア	イ
②コミュニケーション支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者を派遣したり、支援者の育成を図ります。	1	2	ア	イ
③日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	ア	イ
④移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	ア	イ
⑤地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	ア	イ
⑥訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	ア	イ
⑦更生訓練費支給事業	就労移行支援事業又は自立訓練事業の利用者を対象に、更生訓練費を支給します。	1	2	ア	イ
⑧知的障害者職業親委託事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	ア	イ

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用 している	利用して いない	利用 したい	利用した くない
⑨生活支援事業	知的障害者に対して、日常生活に必要な訓練、指導、本人活動の支援等を行います。	1	2	ア	イ
⑩日中一時支援事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	ア	イ
⑪生活サポート事業	日常生活に支援が必要な人、に、掃除、洗濯、調理等の家事援助や生活相談を行います。	1	2	ア	イ

(5) 成年後見制度について

問57 成年後見制度の利用意向についておたずねします。(○は1つ)

※成年後見制度とは、判断能力が不十分な成人の財産管理や契約などについて、選任された成年後見人が代理して行う制度です。

- 1. 利用したい
- 2. 利用したくない(理由:)
- 3. わからない

13. 収入や利用者負担について

問58 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

- 1. 一般就労による収入(給与・報酬など)
- 2. 福祉的就労による収入(工賃など)
- 3. 事業収入(自営業など)
- 4. 財産収入(家賃収入など)
- 5. 年金・手当
- 6. 生活保護費
- 7. 家族などからの仕送り
- 8. 収入はない
- 9. その他()

問59 あなた（や保護者）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

- 1. 非常に負担を感じる
- 2. やや負担を感じる
- 3. あまり負担に感じない
- 4. 障害福祉サービスを利用していない
- 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担を支払っていない

14. 市の障害者施策について

問60 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

- 1. 非常に満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 非常に不満
- 5. どちらとも言えない

15. 自由意見

問61 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

平成26年1月31日（金）までに ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

○インターネットモニター調査票

インターネット
モニター用

問 1 身近に障害のある方はいますか。また障害者との交流経験はありますか。(○はいくつでも)

- 1. 自分自身
- 2. 家族や親戚にいる (いた)
- 3. 友人にいる (いた)
- 4. 知人にいる (いた)
- 5. 学校や職場にいる (いた)
- 6. 学校の授業や行事での交流
- 7. 障害者へのボランティア活動での交流
- 8. 身近にはいない

問 2 次の障害について、知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

- 1. 身体障害 (視覚、聴覚・平衡機能、音声機能・言語機能・そしゃく機能、内部機能の障害、肢体不自由です)
- 2. 知的障害 (知的機能に制約があり、適応機能に制約を伴う障害)
- 3. 精神障害 (統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症等の精神疾患)
- 4. 発達障害 (自閉症、アスペルガー症候群、学習障害等の脳機能の障害)
- 5. 内部障害 (心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸、ヒト免疫不全ウィルスによる免疫、肝臓の機能障害)

問 3 障害者福祉について関心がありますか。

障害者福祉とは、障害のある方に対して、生活や自立を支援する様々な施策や活動等のことです。(○はひとつだけ、回答必須)

- 1. 関心がある
- 2. 少し関心がある
- 3. 関心はない

問 4 障害のある方についての理解を深めるためには、どのようなことをするとよいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1. 市政だより等での啓発
- 2. 障害のある方を支援するボランティア活動の呼びかけ
- 3. 障害のある方も参加しやすいイベントの開催
- 4. 学校での福祉教育
- 5. 福祉講座
- 6. 障害のある方の社会参加の推進

問 5 「ノーマライゼーション」という言葉を知っていますか。

ノーマライゼーションとは、障害のある人もない人も、地域社会の中で一緒に生活できる社会をつくるという考え方です。(○は 1 つ、回答必須)

- 1. 聞いたことがあり、内容もよく理解している
- 2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない
- 3. 聞いたことはない

問6 日常生活や地域で、障害者への配慮の欠如や差別・偏見を感じることはありますか。(○は1つ、回答必須)

1. よく感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問7 問6で「1. よく感じる」または「2. 時々感じる」と回答した方にお聞きます。どのような場面でそのように感じますか。(○はいくつでも)

1. 雇用や就労
2. 商品購入やサービス利用
3. 医療
4. 教育
5. 移動手段(交通機関等)
6. 行政サービス
7. 他の人とのコミュニケーション

問8 福祉、教育、雇用、まちづくり等、現在の障害者施策は充実していると思いますか。(○はひとつだけ、回答必須)

1. 充実している
2. 少し不足
3. 不足
4. わからない

問9 障害のある方が地域で生活していくために、必要だと思うものはどれですか。(○は3つまで)

1. 障害に対する理解
2. 自宅で生活するための福祉サービスの充実
3. グループホーム等の整備
4. 医療体制の充実
5. 就労支援
6. 災害時の支援
7. 道路・交通・建物のバリアフリー化
8. 経済的負担の軽減

問10 今後、障害のある方に対して、どのような支援ができると思いますか。

例：困っている時に声をかける。災害時に避難等の手助けをする。

(自由記述)

千葉市障害者生活実態・意向調査

団体ヒアリング調査

～ 事前調査へのご協力のお願い ～

日頃から本市の障害者施策にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、来年度以降に予定している障害者計画・障害福祉計画の策定にあたり、今後の障害者施策の推進に役立てるための団体ヒアリング調査を実施することにいたしました。

つきましては、ヒアリングの基礎資料とさせていただくため、お忙しいところ恐縮ですが、事前調査へのご協力をお願いいたします。

平成 26 年 1 月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

＜記入方法＞

空欄の場合は回答をご記入ください。選択肢の場合は当てはまる番号に○をつけてください。

設問内容が貴団体に当てはまらない場合や、特に意見が無い場合には、その旨をご記入ください。

1 貴団体の概要についてお書きください。

団 体 名					
設立年（西暦）	年		会 員 数	人	
会員の年齢層 （多い年代・ 複数回答可）	1	18 歳未満	4	40～49 歳	7 70～79 歳
	2	18～29 歳	5	50～59 歳	8 80 歳以上
	3	30～39 歳	6	60～69 歳	

貴団体の活動内容についてお書きください。

貴団体が団体として抱えている課題についてお書きください。

今後、貴団体は地域の中でどのような役割を果たしていきたいとお考えですか。

2 相談支援体制について

貴団体や会員の方が、相談や情報入手のために利用することの多い相談機関をお書きください。

会員の方への相談機関に関する情報提供等は、どのようにおこなっていますか。

相談支援について、ご意見やご要望等があればお書きください。

3 サービス利用について

会員の方が利用することの多いサービスをお書きください。

サービスを利用する上で、問題となっていることについてお書きください。

今後充実してほしいサービスについてお書きください。

4 療育・教育、就労について

※18歳未満の会員がいらっしゃる場合にお答えください。

療育・教育や学校生活について、問題となっていることをお書きください。

障害のある方が一般就労するために必要だと思うことについてお書きください。

5 障害に対する理解や差別について

障害のある方に対する理解や差別についてのご意見や、問題となっている事例をお書きください。

6 バリアフリー化の取り組みについて

会員の方が外出先で困っている事例（特にトイレ利用について）等があれば、お書きください。

7 防災体制の整備について

災害時における支援についてのご意見や、貴団体の取り組み（検討していること）をお書きください。

8 市の障害福祉施策について

これまでの市の障害福祉施策について、どのように評価していますか。

今後、市の障害福祉施策について、希望することをお書きください。

9 自由記述

その他、国の法制度等を含め、ご意見やご要望等があれば、お書きください。

ご回答ありがとうございました。

ヒアリング当日は、この調査票にご記入いただいた内容をもとにお話を伺います。

調査票へのご記入や、ヒアリングの実施につきまして、ご不明な点などありましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ

千葉県 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

電話：043-245-5227 FAX：043-245-5630

**千葉市障害者計画・障害福祉計画策定に係る
実態調査報告書**

－障害者生活実態・意向調査－

平成 26 年 3 月発行

発 行 千葉市保健福祉局 高齢障害部 障害企画課
〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1
電話 043-245-5227 FAX 043-245-5630

調査委託機関 株式会社 地域計画連合
〒170-0004 豊島区北大塚 1-19-12
電話 03-5974-2021 FAX 03-5974-5770